

2022年度

# 病 院 年 報

令和4年4月～令和5年3月

2022.4～2023.3

関西電力病院



# 関西電力病院の理念

安全で、患者さま中心の病院を目指します。

地域医療との連携を推進し、開かれた医療を行ないます。

責任と誇りを持って、医療の向上に努めます。

## 関西電力病院の行動指針

### 安全で、患者さま中心の病院を目指します

- ・事故防止、感染対策等について、患者さまと医療従事者の安全、安心、快適さの向上に努めます。
- ・患者さまの人格、権利、プライバシーを尊重します。
- ・患者さまの満足と納得を得られるよう、インフォームドコンセント、情報公開を実践します。

### 地域医療との連携を推進し、開かれた医療を行ないます

- ・急性期病院として、地域住民の方に高度医療を提供します。
- ・地域の中核病院として、他の医療機関等との連携を強化します。
- ・地域の救急医療に貢献します。

### 責任と誇りを持って、医療の向上に努めます

- ・チーム医療の推進により、質の高い医療サービスを提供します。
- ・全職員の倫理と専門性を高め、優れた医療人を育成します。
- ・病院の「医療向上」と「経営の健全化」の「両立」に努めます。



# 目次

|                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1. 病院概要                    | 2             |
| 2. 外来患者の状況                 | 8             |
| ・ 外来患者数の年度別推移              |               |
| ・ 各科別1日当り外来患者数             |               |
| ・ 各科別外来患者数                 |               |
| ・ 患者紹介率の年度別推移              |               |
| ・ 各科別患者紹介率                 |               |
| ・ 各科別紹介率                   |               |
| ・ 外来患者の診療圏                 |               |
| ・ 外来患者の年齢別構成               |               |
| 3. 入院患者の状況                 | 13            |
| ・ 入院延べ患者数の年度別推移            |               |
| ・ 各科別1日当り在院患者数             |               |
| ・ 各科別延入院患者・稼働率             |               |
| ・ 平均在院日数の年度別推移             |               |
| ・ 各科別平均在院日数                |               |
| ・ 各科別平均在院日数<br>(看護基準別・各科別) |               |
| ・ 各科別月別入退院患者数              |               |
| ・ 病棟別患者数動向                 |               |
| ・ 病棟別病床稼働率                 |               |
| ・ 入院患者の診療圏                 |               |
| ・ 入院患者の年齢別構成               |               |
| 4. 手術の状況                   | 21            |
| ・ 手術件数の推移                  |               |
| ・ 手術実績                     |               |
| 5. 各科別診療等実績報告              | 23～<br>(右表参照) |
| 6. 病歴管理室退院統計               | 167～          |

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 安全管理室              | 24  |
| 感染管理室              | 26  |
| 循環器内科              | 27  |
| 消化器内科・肝胆膵内科・内視鏡部   | 31  |
| 糖尿病・代謝・内分泌センター     | 34  |
| 血液内科               | 40  |
| 腎臓内科               | 43  |
| リウマチ・膠原病内科         | 46  |
| 腫瘍内科               | 48  |
| 呼吸器内科              | 50  |
| 脳神経内科              | 52  |
| 心療内科・神経科           | 55  |
| 緩和医療科              | 57  |
| 呼吸器外科              | 58  |
| 消化器外科              | 60  |
| 乳腺外科               | 64  |
| 心臓血管外科             | 66  |
| 脊椎外科・手外科・整形外科      | 68  |
| リハビリテーション科         | 82  |
| 皮膚科                | 87  |
| 形成再建外科             | 88  |
| 脳神経外科              | 90  |
| 泌尿器科               | 93  |
| 婦人科                | 95  |
| 眼科                 | 97  |
| 耳鼻咽喉科              | 99  |
| 放射線診断科・放射線治療科・放射線部 | 101 |
| 麻酔科                | 106 |
| 病理診断科・病理部          | 108 |
| 救急集中治療科            | 111 |
| 外来化学療法室            | 115 |
| 臨床工学部              | 117 |
| 看護部                | 122 |
| 薬剤部                | 134 |
| 臨床検査部              | 148 |
| 手術部                | 153 |
| 疾病栄養治療センター・栄養管理室   | 154 |
| 地域医療支援センター         | 160 |
| 情報システム部            | 161 |
| 臨床研修部              | 163 |

## 1. 病院概要

### (1) 現 況

名 称 : 関西電力病院

所 在 地 : 〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号

電 話 番 号 : 06-6458-5821(FAX06-6458-6994)

開設年月日 : 昭和28年12月

開 設 者 : 関西電力株式会社

院 長 名 : 滝 吉郎

ホームページ: <https://www.kanden-hsp.jp/>

診療科目名:

内科、循環器内科、消化器・肝胆膵内科、糖尿病・内分泌代謝センター、血液内科、腎臓内科、  
リウマチ・膠原病内科、呼吸器内科、腫瘍内科、脳神経内科、心療内科、神経科、消化器外科、乳腺外科、  
神経内分泌腫瘍センター、心臓血管外科、脊椎外科・手外科・整形外科、脳神経外科、  
リハビリテーション科、呼吸器外科、形成再建外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、  
放射線診断科・放射線治療科、麻酔科（ペインクリニック）、緩和医療科、救急集中治療センター

病 床 数 : 許可病床数400床

病床の種類 : 一般病棟7対1(350床)、ICU(6床)、回復期リハビリテーション病棟(44床)

### (2) 建物施設の概要

地下2階、地上18階、塔屋1階 延床面積40,243㎡

### (3) 病院類型

病院種別 : 一般病院

### (4) 施設基準等(2022年3月末時点)

## 【基本診療料に関するもの】

一般病棟入院基本料、救急医療管理加算、超急性期脳卒中加算、診療録管理体制加算1、医師事務作業補助体制加算1、急性期看護補助体制加算2、看護職員夜間配置加算、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、無菌治療室管理加算1、無菌治療室管理加算2、放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)、緩和ケア診療加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算1、感染防止対策加算1、患者サポート体制充実加算、重症患者初期支援充実加算、報告書管理体制加算、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、呼吸ケアチーム加算、後発医薬品使用体制加算1、病棟薬剤業務実施加算1、病棟薬剤業務実施加算2、データ提出加算2イ、入退院支援加算1イ、認知症ケア加算1、せん妄ハイリスク患者ケア加算、排尿自立支援加算、地域医療体制確保加算、特定集中治療室管理料3、ハイケアユニット入院医療管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料1、看護職員処遇改善評価料58

## 【特掲診療料に関するもの】

外来栄養食事指導料の注2に規定する基準、外来栄養食事指導料の注3に規定する基準、心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算、喘息治療管理料、糖尿病合併症管理料、がん性疼痛緩和指導管理料、がん患者指導管理料イ、がん患者指導管理料ロ、がん患者指導管理料ハ、がん患者指導管理料ニ、外来緩和ケア管理料、移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)、糖尿病透析予防指導管理料、婦人科特定疾患治療管理料、腎代替治療指導管理料、院内トリアージ実施料、夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1、外来放射線照射診療料、ニコチン依存症管理料、がん治療連携計画策定料、外来排尿自立指導料、肝炎インターフェロン治療計画料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料1、医療機器安全管理料2、禁煙治療補助システム指導管理加算、在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2、在宅療養後方支援病院、在宅腫瘍治療電場療法指導管理料、持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定、持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)、遺伝学的検査、骨髄微小残存病変量測定、BRCA1/2遺伝子検査、HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)、検体検査管理加算(Ⅰ)、検体検査管理加算(Ⅱ)、遺伝カウンセリング加算、心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算、時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト、ヘッドアップティルト試験、人工膵臓検査、人工膵臓療法、単繊維筋電図、終夜睡眠ポリグラフ(安全精度管理下で行うもの)、脳波検査判断料1、神経学的検査、コンタクトレンズ検査料1、CT透視下気管支鏡検査加算、画像診断管理加算2、遠隔画像診断、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算、心臓MRI撮影加算、乳房MRI撮影加算、頭部MRI撮影加算、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、外来化学療法加算1、無菌製剤処理料、心血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)、運動器リハビリテーション料(Ⅰ)、呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)、摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2、がん患者リハビリテーション料、人工腎臓、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)、骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)、後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)、椎間板内酵素注入療法、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術、癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)、角結膜悪性腫瘍切除手術、緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)、緑内障手術(濾過泡再建術(needle法))、経外耳道の内視鏡下鼓室形成術、鏡視下喉頭悪性腫瘍手術、乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2、乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳人工中耳植込術、植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術(植補聴)第 号、耳管用補綴材挿入術、鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器

を用いる場合)、内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)、輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)、ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)、食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)、胸腔鏡下弁形成術、胸腔鏡下弁置換術、経皮的中隔心筋焼灼術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)、植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術、両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)、大動脈バルーンパンピング法(IABP法)、バルーン閉塞下経静脈的塞栓術、胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)、腹腔鏡下肝切除術、体外衝撃波脾石破碎術、腹腔鏡下脾腫瘍摘出術、腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)、生体腎移植術、膀胱水圧拡張術、腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術、人工尿道括約筋植込・置換術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)、胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)、輸血管理料Ⅰ、輸血適正使用加算、人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算、胃瘻造設時嚥下機能評価加算、麻酔管理料(Ⅰ)、放射線治療専任加算、外来放射線治療加算、高エネルギー放射線治療、1回線量増加加算、画像誘導放射線治療加算、(IGRT)、定位放射線治療、定位放射線治療呼吸性移動対策加算、保険医療機関間の連携による病理診断

【特定療養費に関するもの】

特別室(特別の療養環境の提供)、未紹介患者の初診に係る特別の料金、再診に係る特別の料金

【病棟に関するもの】

一般病棟入院基本料 急性期一般入院料1

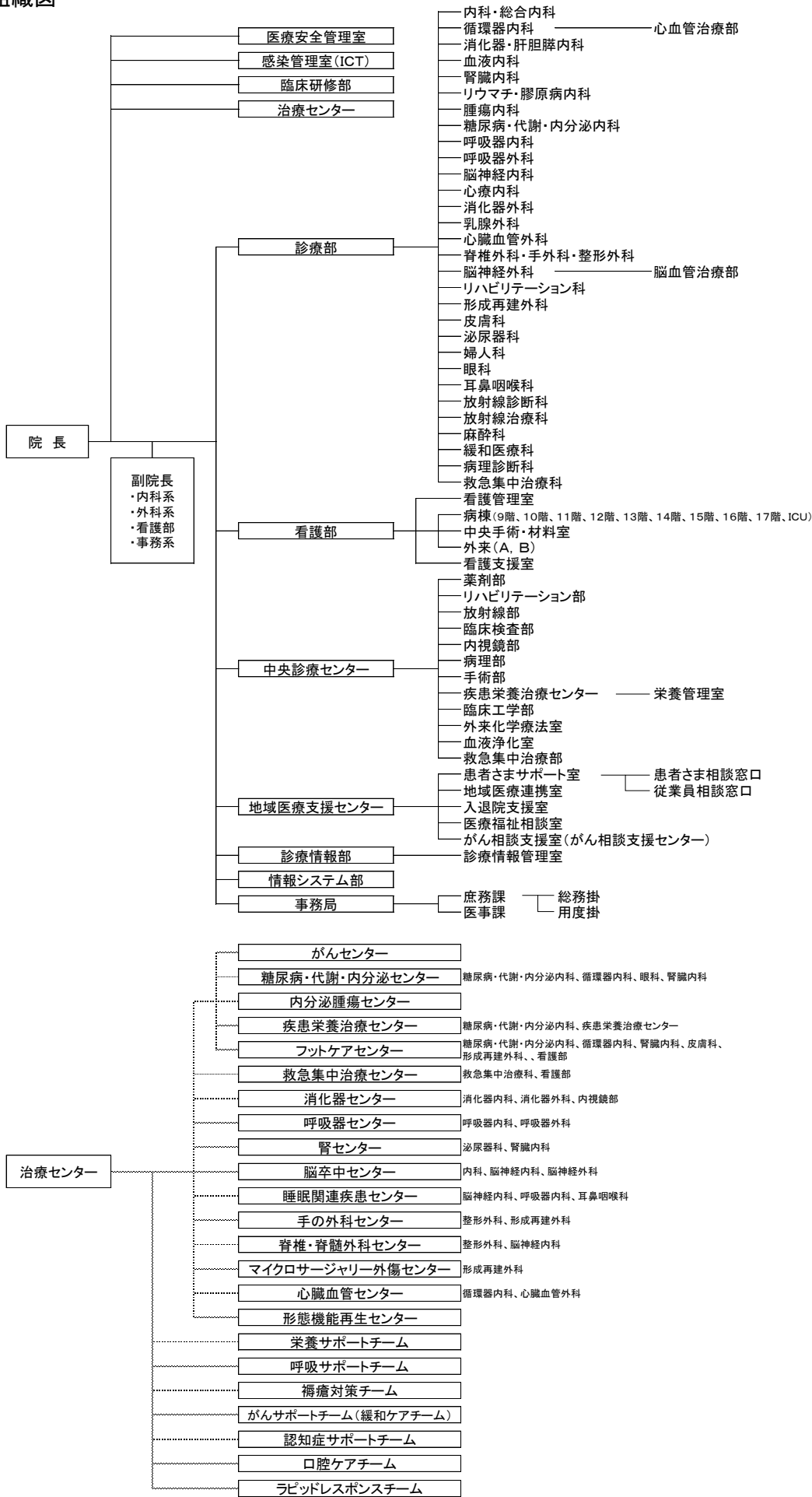
【指定等】

救急指定医療施設(2次)、臨床研修指定病院(管理型、協力型)、DPC対象病院

(5)学会認定状況

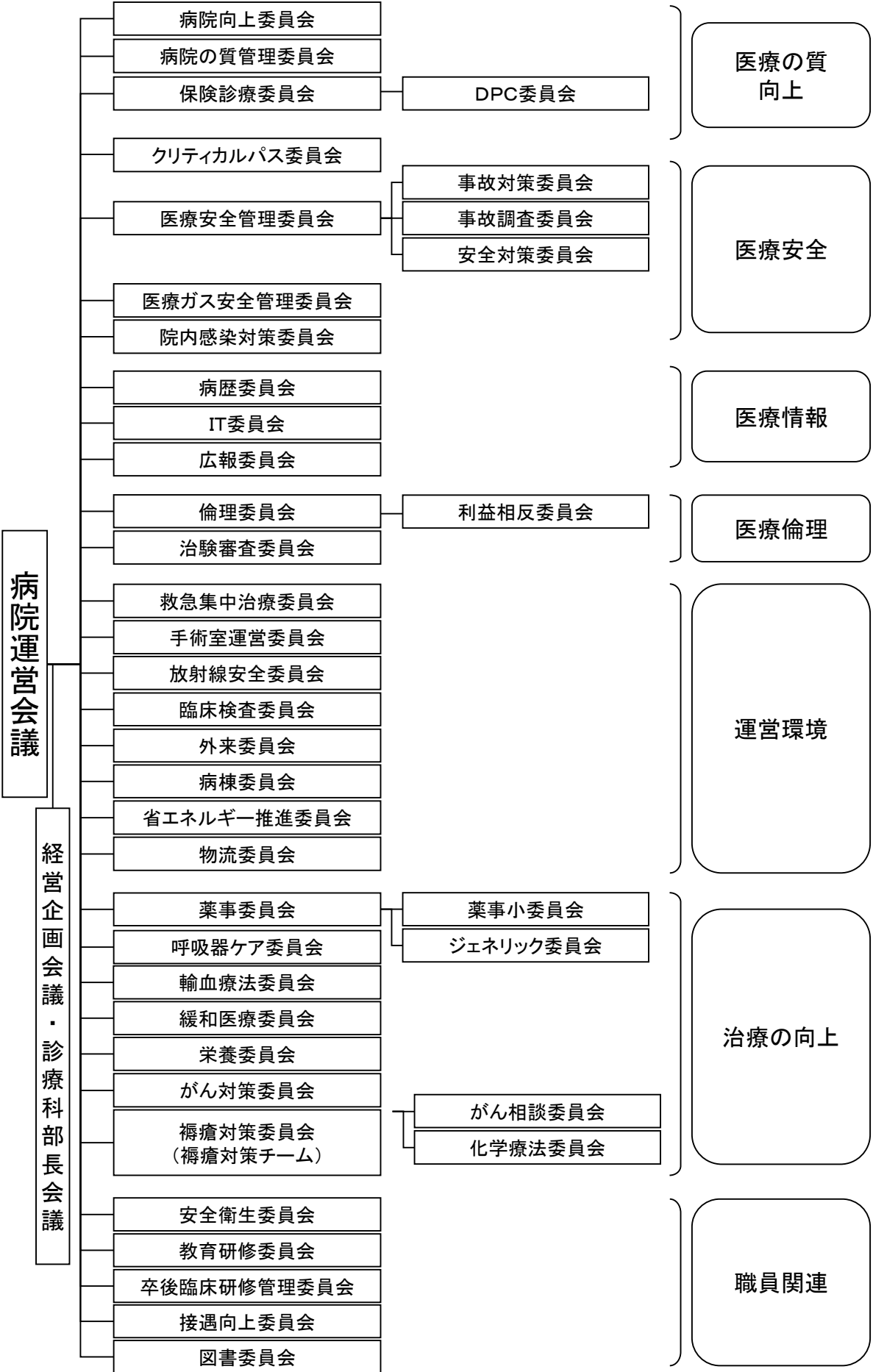
|                          |                                   |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 大阪府肝炎専門医療機関指定            | 日本整形外科学会整形外科専門医研修施設               |
| 日本医学放射線学会放射線専門医修練機関認定施設  | 日本整形外科学会認定脊椎内視鏡認定施設               |
| 日本栄養療法推進協議会NST稼動施設認定     | 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設            |
| 日本核医学学会専門医教育病院           | 日本手の外科学会専門医研修施設(基幹施設)             |
| 日本眼科学会専門医制度研修施設          | 日本糖尿病学会認定教育施設                     |
| 日本肝臓学会専門医施設認定            | 日本内科学会認定医制度教育病院                   |
| 日本がん治療認定医機構認定研修施設        | 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設               |
| 日本気管食道科学会研修施設            | 日本乳癌学会関連施設                        |
| 日本救急医学会救急科専門医指定施設        | 日本脳神経外科学会認定専門医研修施設                |
| 日本胸部外科学会指定施設             | 日本脳卒中学会認定研修教育病院                   |
| 日本形成外科学会認定施設             | 日本泌尿器科学会専門医教育施設                   |
| 日本外科学会外科専門医制度修練施設        | 日本皮膚科学会認定専門医研修施設                  |
| 日本血液学会血液研修施設             | 日本肥満学会認定肥満症専門病院                   |
| 日本呼吸器学会認定施設              | 日本病態栄養学会栄養管理・NST実施施設              |
| 日本呼吸器外科学会認定修練施設          | 日本病理学会認定施設                        |
| 日本呼吸器内視鏡学会認定施設           | 日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設              |
| 日本耳鼻咽喉科学会研修施設            | 日本ペインクリニック学会ペインクリニック<br>専門医指定研修施設 |
| 日本循環器学会循環器専門医研修施設        | 日本麻酔科学会認定病院                       |
| 日本消化器外科学会専門医修練施設         | 日本リウマチ学会教育施設                      |
| 日本消化器内視鏡学会認定指導施設         | 日本リハビリテーション医学会研修施設                |
| 日本消化器病学会認定施設             | 日本臨床細胞学会教育研修施設                    |
| 日本神経学会専門医制度教育施設          | 日本臨床腫瘍学会認定研修施設                    |
| 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設 | マンモグラフィ検診施設画像認定施設                 |
| 日本腎臓学会研修施設               |                                   |

(6) 病院組織図





(7)委員会組織図

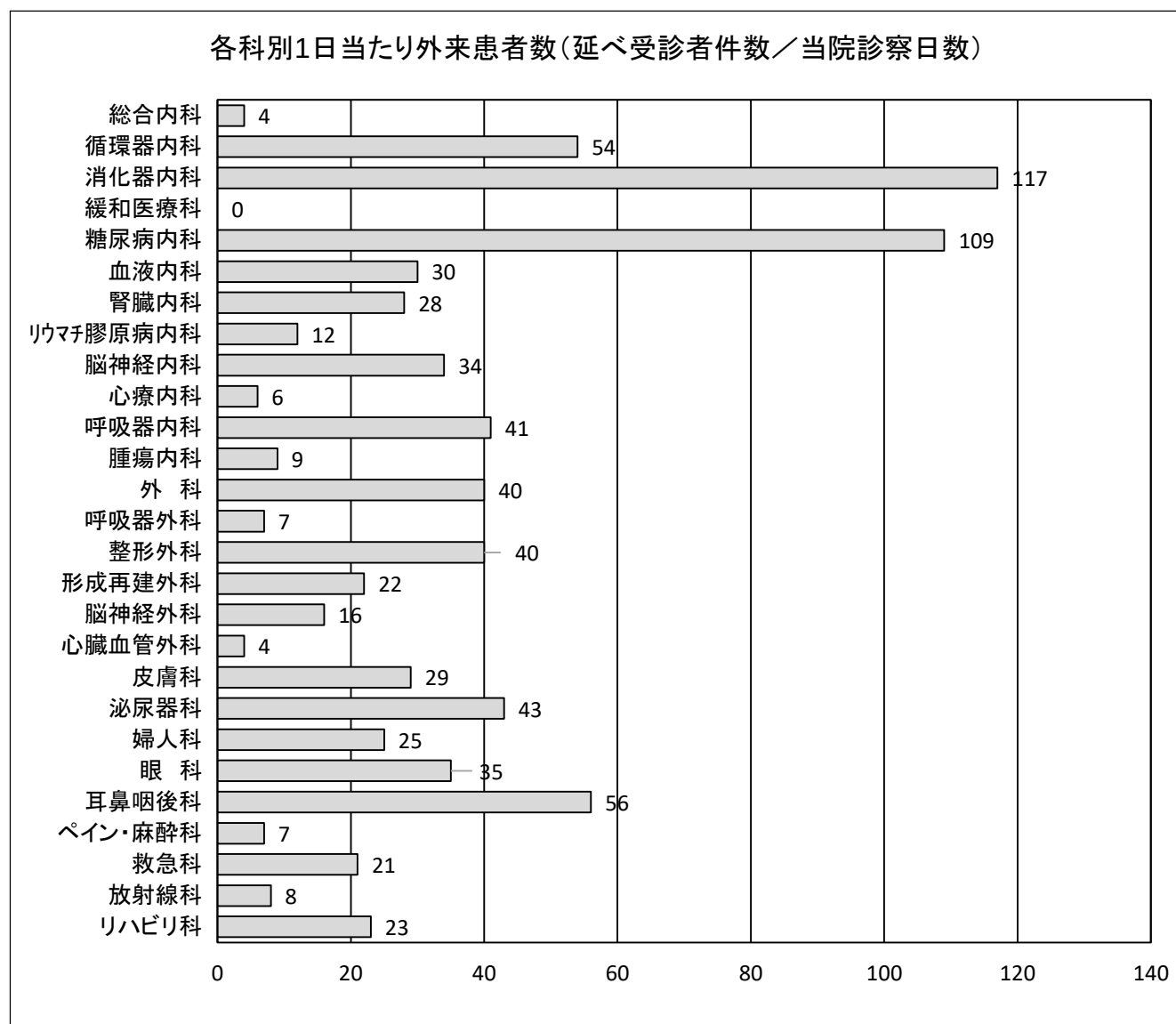
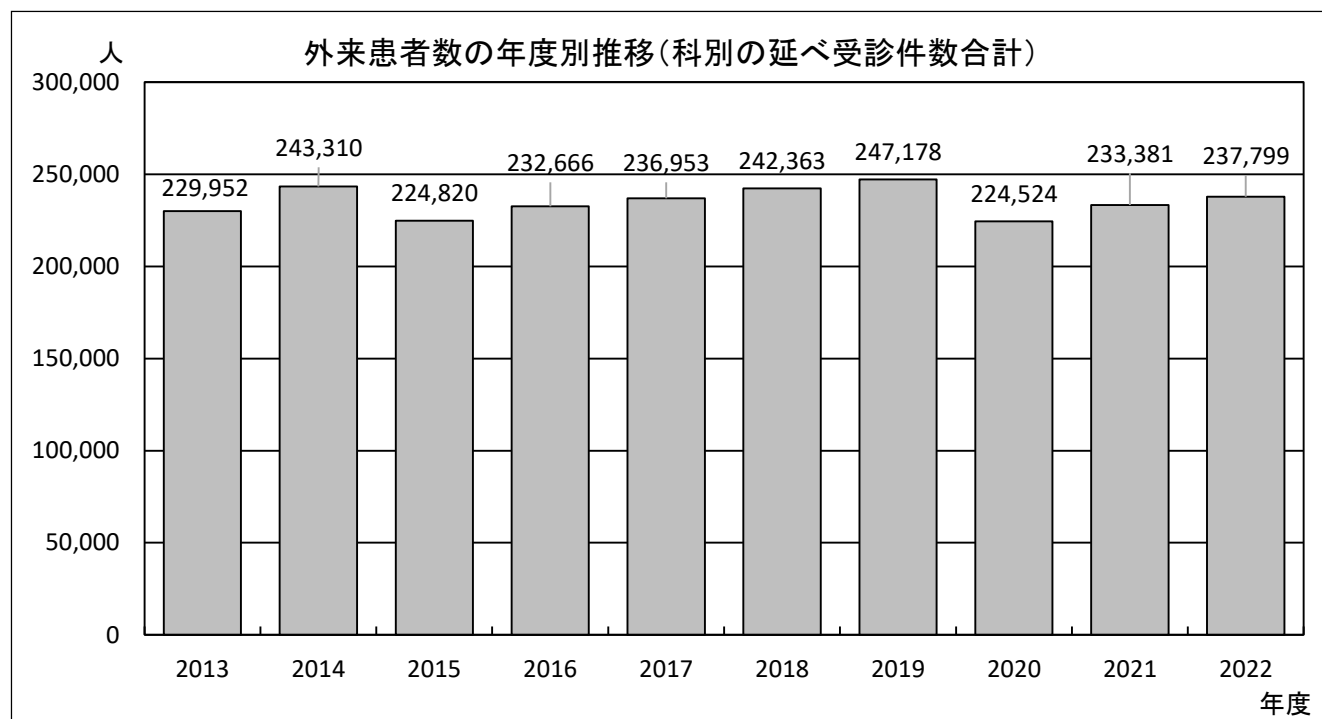


## (8)沿 革

|          |                                                                         |          |                                                                       |
|----------|-------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 1953 12月 | 関西電力健康保険組合直営の病院として開設<br>内科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・小児科・放射線科で開始<br>7診療科、病床数100床 | 1974 3月  | 3階(54床)、7階(48床)病棟閉鎖                                                   |
| 1954 9月  | 皮膚泌尿器科開設により8診療科となる                                                      | 5月       | 血液透析の実施                                                               |
| 1955 4月  | 関西電力(株)に譲渡移管・事業主病院となる                                                   | 6月       | 呼吸器科新設、14診療科となる。                                                      |
| 9月       | 3階西側病棟増設(38床)、南結核病棟新設(22床により病床数160床となる)                                 | 7月       | 優生保護法指定研修機関の指定を受ける                                                    |
| 1959 8月  | 薬局調剤室、同待合室の拡張                                                           | 7月       | 3階病棟再開                                                                |
| 11月      | 産科病棟に分娩室新設                                                              | 10月      | 特2類看護の承認                                                              |
| 1965 6月  | 臨時病院開設準備委員会発足                                                           | 1975 5月  | 大阪商工会議所会頭から庭園緑化表彰を受賞                                                  |
| 7月       | 病棟看護婦3交代勤務実施                                                            | 7月       | 7階病棟再開                                                                |
| 11月      | 基準寝具の承認                                                                 | 1976 4月  | 付属高等看護学院開設(2年課程)                                                      |
| 12月      | 基準看護1類・基準給食の承認                                                          | 11月      | 関西電力病院における原子力P/S救急患者取扱要領の実施                                           |
| 12月      | 新病院開設許可                                                                 | 1977 4月  | 休日診療所の第2次後送病院の実施                                                      |
| 1966 10月 | 労災指定病院の承認                                                               | 1980 5月  | 本館南側低層部に3階を増設                                                         |
| 1967 7月  | 新病院開設<br>泌尿器科、皮膚科が独立。整形外科、神経科、歯科麻酔科を新設<br>13診療科、病床数350床                 | 1981 4月  | 関係会社が関電健保に編入                                                          |
| 10月      | 内科を第1内科、第2内科と区別                                                         | 1984 12月 | 病院業務機械化導入(医事会計・入院)                                                    |
| 12月      | 保険医療機関(1号)遡及(7/1付)承認                                                    | 1985 2月  | 病院業務機械化導入<br>(外来・検査オーダー)                                              |
| 1968 1月  | 基準看護1類・基準給食・寝具の承認                                                       | 1987 3月  | 本館東側に地上4階、地下2階を増設する<br>14診療科、430床                                     |
| 3月       | 8階病棟(48床)開設                                                             | 1990     | 糖尿病患者の会「関電みどりの会」発足                                                    |
| 8月       | 総合病院となる                                                                 | 1991 10月 | 医事業務一部委託化<br>(入院診療報酬請求・カルテ管理)                                         |
| 1969 3月  | 9階病棟(50床)開設し、350床となる                                                    | 1992 10月 | 医事業務一部委託化<br>(外来診療報酬請求・現収金収納)                                         |
| 7月       | 日本内科学会内科専門医教育病院の指定を受ける                                                  | 1994     | 看護業務の一部委託化(クラーク業務)                                                    |
| 7月       | 第1回学術講演会開催                                                              | 1995～99  | 全病棟・外来診療科のリニューアル工事                                                    |
| 11月      | 病院運営に関し福島区医師会及び同歯科医師会と覚書交換                                              | 2000 2月  | 地域医療連絡室を設置                                                            |
| 12月      | 医学雑誌の発行                                                                 | 4月       | かんでん病院の理念策定                                                           |
| 1970 4月  | 大阪市長から庭園緑化について表彰を受ける                                                    | 9月       | ホームページ開設                                                              |
| 4月       | 人間ドック(2床)開始                                                             | 10月      | 治療材料SPDシステム導入                                                         |
| 1971 4月  | 臨床研修指定病院の指定を受ける                                                         | 11月      | オーダーリングシステム運用                                                         |
| 1972 2月  | 特類看護の承認                                                                 | 2002 5月  | 病棟改修(個室増室)に伴う病床数変更<br>(400床)                                          |
|          |                                                                         | 6月       | 内科を総合内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科と臓器別に専門分化<br>(標榜は内科)<br>神経内科を内科から独立。15診療科となる |

|      |     |                                                                                       |      |     |                                                                      |
|------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|----------------------------------------------------------------------|
| 2003 | 7月  | 第4次医療法改正に伴う病床変更<br>(その他病床→一般病床として届出・急性<br>期病院として登録)                                   | 2011 | 3月  | 病院機能評価(Ver.6)受審<br>小児科を廃止                                            |
|      | 12月 | 創立50周年                                                                                |      | 4月  | 救急集中治療室設置                                                            |
| 2004 | 4月  | 血液内科設置                                                                                |      | 6月  | 病院機能評価(Ver.6)認定                                                      |
|      | 10月 | 形成外科設置                                                                                |      | 8月  | 看護支援室設置                                                              |
|      | 11月 | 平日夜間救急開始                                                                              |      | 11月 | 血液浄化室設置                                                              |
|      | 12月 | 院外処方導入                                                                                | 2012 | 4月  | 救急集中治療・総合診療科を設置し<br>20診療科となる                                         |
| 2005 | 6月  | 休日夜間救急開始                                                                              |      | 11月 | 腫瘍内科設置                                                               |
|      | 10月 | 救急部設置                                                                                 |      | 12月 | フットケアセンター設置<br>新病院Ⅰ期竣工                                               |
| 2006 | 3月  | 付属高等看護学院閉校                                                                            | 2013 | 4月  | 腎臓内科設置                                                               |
|      | 4月  | 病院機能評価(Ver.4)認定                                                                       |      | 5月  | 新病院Ⅰ期開院 電子カルテ導入                                                      |
| 2007 | 5月  | リハビリテーション科を設置<br>17診療科となる                                                             | 2014 | 3月  | 新病院Ⅱ期開院                                                              |
|      | 7月  | 内科専門科として肝胆膵内科設置<br>歯科廃止                                                               | 2015 | 4月  | 医学研究センター設置                                                           |
| 2008 | 4月  | 外来化学療法室を設置                                                                            | 2016 | 3月  | 心臓血管外科設置                                                             |
|      | 7月  | DPC (Diagnosis Procedure Combination)<br>による包括性診療報酬の支払い請求導入<br>脳神経外科・緩和医療科設置<br>18診療科 |      | 4月  | 病院機能評価(3rdG, Ver.1.1)受診<br>DPCⅡ群病院の指定を受ける<br>病院機能評価(3rdG, Ver.1.1)認定 |
| 2009 | 4月  | 大阪府がん診療拠点病院の指定を受け<br>る                                                                | 2018 | 4月  | DPC特定病院の指定を受ける                                                       |
|      | 7月  | ICU(特定集中治療室)4床設置<br>形成外科を形成再建外科に放射線科<br>を放射線診断科と放射線治療科に<br>変更                         | 2020 | 4月  | リウマチ・膠原病内科設置                                                         |
|      | 10月 | 病理診断科を設置                                                                              |      |     |                                                                      |
| 2010 | 3月  | 新病院建設起工式                                                                              |      |     |                                                                      |

## 2. 外来患者の状況



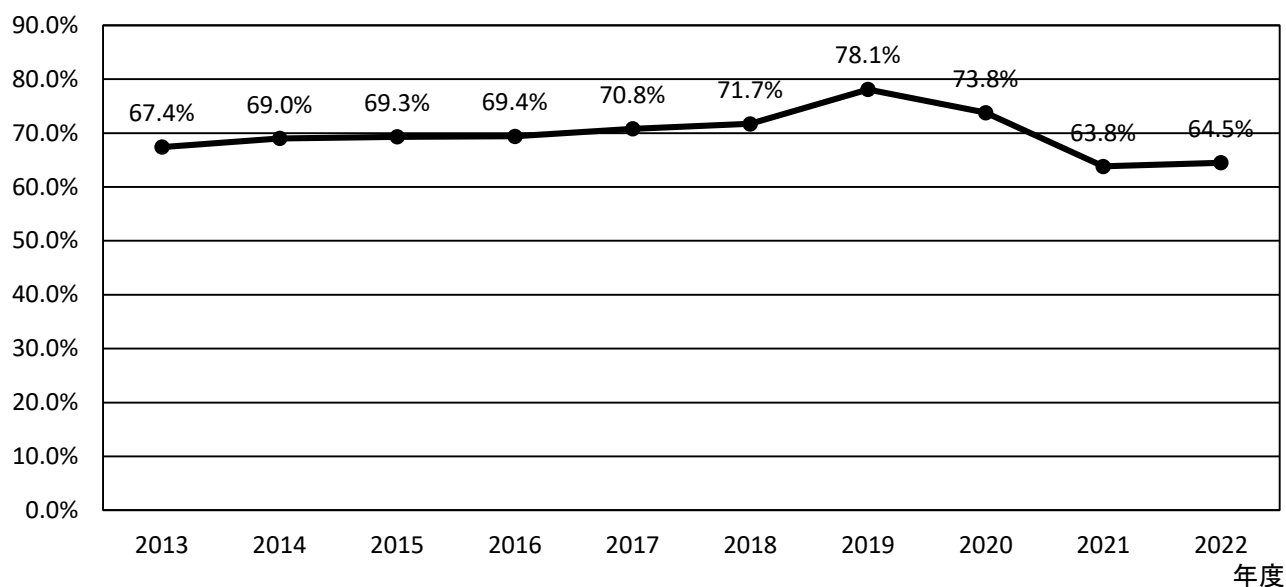
## 2022年度 各科別外来患者数

左)上段:総数 下段:1日当たり 右)上段:新患者数 下段:新患者率

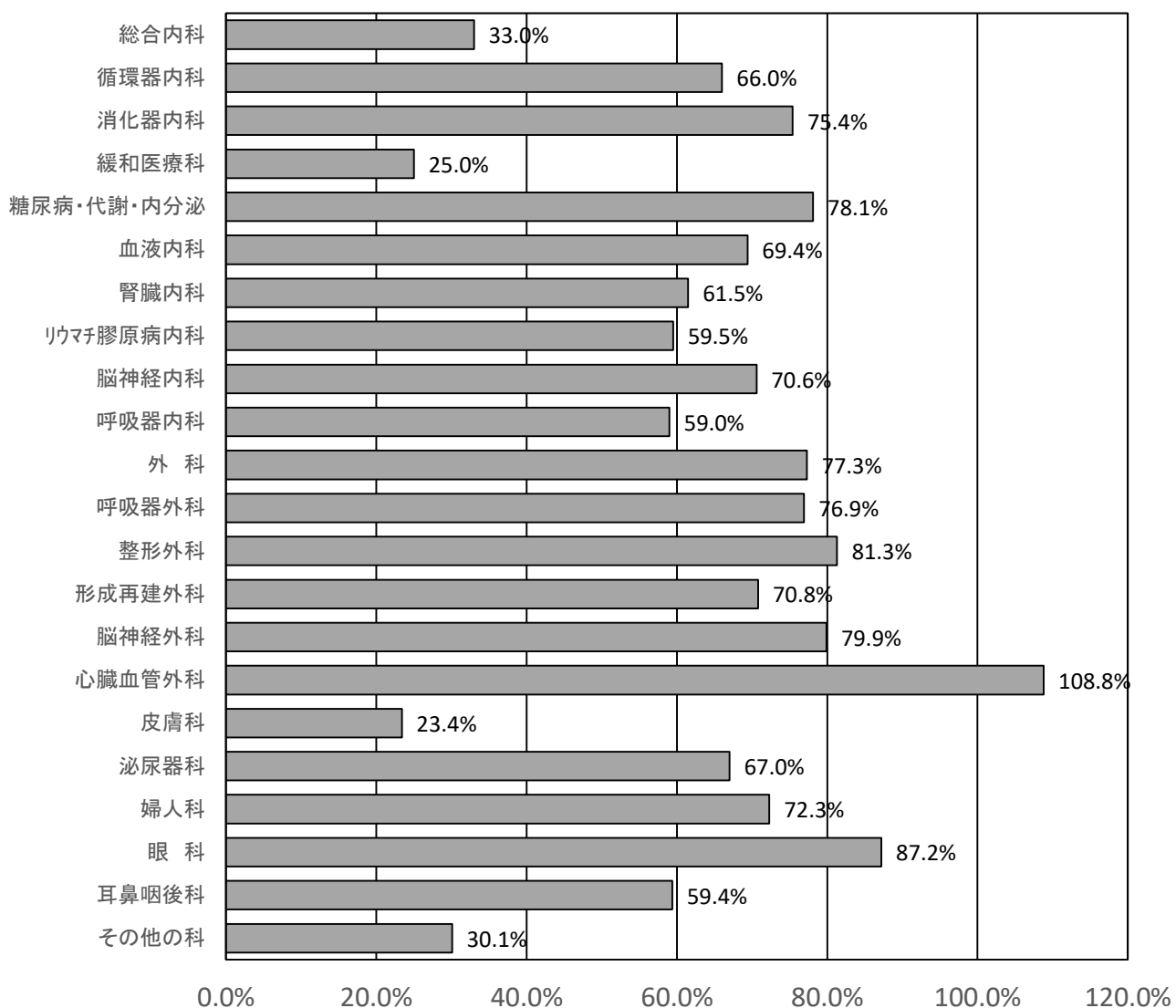
①

|            | 4月    |      | 5月    |       | 6月    |      | 7月    |      | 8月    |       | 9月    |       | 10月   |       | 11月   |      | 12月   |       | 1月    |       | 2月    |       | 3月    |       | 合 計    |       | 前年同期間  |       |
|------------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
|            | 25    |      | 23    |       | 26    |      | 25    |      | 26    |       | 24    |       | 25    |       | 24    |      | 24    |       | 23    |       | 22    |       | 26    |       | 293    |       | 293    |       |
| 内科         | 121   | 6    | 92    | 7     | 86    | 8    | 110   | 7    | 112   | 14    | 88    | 4     | 130   | 11    | 130   | 9    | 97    | 7     | 105   | 10    | 77    | 7     | 99    | 10    | 1,247  | 100   | 1,362  | 112   |
|            | 5     | 5.0% | 4     | 7.6%  | 3     | 9.3% | 4     | 6.4% | 4     | 12.5% | 4     | 4.5%  | 5     | 8.5%  | 5     | 6.9% | 4     | 7.2%  | 5     | 9.5%  | 4     | 9.1%  | 4     | 10.1% | 4      | 8.0%  | 5      | 8.2%  |
| 循環器内科      | 1,511 | 66   | 1,279 | 74    | 1,475 | 76   | 1,243 | 56   | 1,287 | 58    | 1,251 | 59    | 1,346 | 61    | 1,329 | 47   | 1,361 | 68    | 1,203 | 61    | 1,179 | 54    | 1,318 | 57    | 15,782 | 737   | 16,253 | 820   |
|            | 60    | 4.4% | 56    | 5.8%  | 57    | 5.2% | 50    | 4.5% | 50    | 4.5%  | 52    | 4.7%  | 54    | 4.5%  | 55    | 3.5% | 57    | 5.0%  | 52    | 5.1%  | 54    | 4.6%  | 51    | 4.3%  | 54     | 4.7%  | 55     | 5.0%  |
| 消化器・肝胆膵内科  | 2,994 | 148  | 2,833 | 146   | 3,198 | 152  | 2,907 | 125  | 2,680 | 124   | 2,945 | 130   | 2,787 | 162   | 2,963 | 162  | 2,826 | 149   | 2,627 | 125   | 2,687 | 143   | 2,952 | 161   | 34,399 | 1,727 | 35,877 | 1,783 |
|            | 120   | 4.9% | 123   | 5.2%  | 123   | 4.8% | 116   | 4.3% | 103   | 4.6%  | 123   | 4.4%  | 111   | 5.8%  | 123   | 5.5% | 118   | 5.3%  | 114   | 4.8%  | 122   | 5.3%  | 114   | 5.5%  | 117    | 5.0%  | 122    | 5.0%  |
| 緩和医療科      | 10    | 0    | 13    | 0     | 12    | 0    | 14    | 0    | 12    | 0     | 19    | 2     | 8     | 1     | 13    | 1    | 13    | 0     | 9     | 0     | 6     | 0     | 7     | 0     | 136    | 4     | 118    | 7     |
|            | 0     | 0.0% | 1     | 0.0%  | 0     | 0.0% | 1     | 0.0% | 0     | 0.0%  | 1     | 10.5% | 0     | 12.5% | 1     | 7.7% | 1     | 0.0%  | 0     | 0.0%  | 0     | 0.0%  | 0     | 0.0%  | 0      | 2.9%  | 0      | 5.9%  |
| 糖尿病・内分泌代謝  | 2,798 | 54   | 2,510 | 58    | 2,936 | 82   | 2,623 | 55   | 2,602 | 54    | 2,723 | 60    | 2,772 | 49    | 2,579 | 54   | 2,737 | 48    | 2,533 | 54    | 2,459 | 57    | 2,783 | 52    | 32,055 | 677   | 31,736 | 645   |
|            | 112   | 1.9% | 109   | 2.3%  | 113   | 2.8% | 105   | 2.1% | 100   | 2.1%  | 113   | 2.2%  | 111   | 1.8%  | 107   | 2.1% | 114   | 1.8%  | 110   | 2.1%  | 112   | 2.3%  | 107   | 1.9%  | 109    | 2.1%  | 108    | 2.0%  |
| 血液内科       | 722   | 29   | 642   | 17    | 691   | 33   | 690   | 26   | 705   | 20    | 722   | 30    | 699   | 23    | 676   | 26   | 716   | 20    | 669   | 26    | 874   | 32    | 865   | 42    | 8,671  | 324   | 7,479  | 284   |
|            | 29    | 4.0% | 28    | 2.6%  | 27    | 4.8% | 28    | 3.8% | 27    | 2.8%  | 30    | 4.2%  | 28    | 3.3%  | 28    | 3.8% | 30    | 2.8%  | 29    | 3.9%  | 40    | 3.7%  | 33    | 4.9%  | 30     | 3.7%  | 26     | 3.8%  |
| 腎臓内科       | 836   | 33   | 774   | 27    | 780   | 22   | 756   | 24   | 772   | 30    | 777   | 30    | 826   | 22    | 552   | 15   | 553   | 16    | 499   | 24    | 481   | 18    | 543   | 17    | 8,149  | 278   | 8,101  | 270   |
|            | 33    | 3.9% | 34    | 3.5%  | 30    | 2.8% | 30    | 3.2% | 30    | 3.9%  | 32    | 3.9%  | 33    | 2.7%  | 23    | 2.7% | 23    | 2.9%  | 22    | 4.8%  | 22    | 3.7%  | 21    | 3.1%  | 28     | 3.4%  | 28     | 3.3%  |
| リウマチ・膠原病内科 | 0     | 0    | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 261   | 7    | 294   | 5     | 277   | 6     | 292   | 7     | 323   | 12    | 1,447  | 37    | 0      | 0     |
|            | 0     | 0.0% | 0     | 0.0%  | 0     | 0.0% | 0     | 0.0% | 0     | 0.0%  | 0     | 0.0%  | 0     | 0.0%  | 11    | 2.7% | 12    | 1.7%  | 12    | 2.2%  | 13    | 2.4%  | 12    | 3.7%  | 12     | 2.6%  | 0      |       |
| 脳神経内科      | 878   | 63   | 781   | 46    | 859   | 61   | 837   | 54   | 849   | 54    | 841   | 71    | 902   | 51    | 817   | 50   | 903   | 51    | 745   | 51    | 788   | 42    | 847   | 43    | 10,047 | 637   | 9,998  | 705   |
|            | 35    | 7.2% | 34    | 5.9%  | 33    | 7.1% | 33    | 6.5% | 33    | 6.4%  | 35    | 8.4%  | 36    | 5.7%  | 34    | 6.1% | 38    | 5.6%  | 32    | 6.8%  | 36    | 5.3%  | 33    | 5.1%  | 34     | 6.3%  | 34     | 7.1%  |
| 心療内科       | 140   | 0    | 131   | 0     | 136   | 1    | 146   | 2    | 141   | 1     | 146   | 0     | 142   | 1     | 132   | 0    | 146   | 1     | 133   | 1     | 142   | 2     | 164   | 2     | 1,699  | 11    | 1,778  | 10    |
|            | 6     | 0.0% | 6     | 0.0%  | 5     | 0.7% | 6     | 1.4% | 5     | 0.7%  | 6     | 0.0%  | 6     | 0.7%  | 6     | 0.0% | 6     | 0.7%  | 6     | 0.8%  | 6     | 1.4%  | 6     | 1.2%  | 6      | 0.6%  | 6      | 0.6%  |
| 呼吸器内科      | 998   | 26   | 904   | 30    | 1,001 | 32   | 943   | 30   | 1,059 | 27    | 982   | 31    | 1,043 | 26    | 971   | 15   | 1,032 | 40    | 878   | 27    | 969   | 31    | 1,092 | 33    | 11,872 | 348   | 11,328 | 360   |
|            | 40    | 2.6% | 39    | 3.3%  | 39    | 3.2% | 38    | 3.2% | 41    | 2.5%  | 41    | 3.2%  | 42    | 2.5%  | 40    | 1.5% | 43    | 3.9%  | 38    | 3.1%  | 44    | 3.2%  | 42    | 3.0%  | 41     | 2.9%  | 39     | 3.2%  |
| 腫瘍内科       | 250   | 19   | 208   | 2     | 247   | 2    | 211   | 6    | 261   | 1     | 232   | 2     | 226   | 3     | 194   | 4    | 197   | 6     | 200   | 1     | 220   | 4     | 238   | 3     | 2,684  | 53    | 2,436  | 67    |
|            | 10    | 7.6% | 9     | 1.0%  | 10    | 0.8% | 8     | 2.8% | 10    | 0.4%  | 10    | 0.9%  | 9     | 1.3%  | 8     | 2.1% | 8     | 3.0%  | 9     | 0.5%  | 10    | 1.8%  | 9     | 1.3%  | 9      | 2.0%  | 8      | 2.8%  |
| 外科         | 1,050 | 51   | 965   | 63    | 1,003 | 43   | 1,001 | 67   | 959   | 53    | 986   | 64    | 938   | 59    | 1,008 | 59   | 947   | 49    | 824   | 41    | 887   | 51    | 1,063 | 75    | 11,631 | 675   | 11,839 | 632   |
|            | 42    | 4.9% | 42    | 6.5%  | 39    | 4.3% | 40    | 6.7% | 37    | 5.5%  | 41    | 6.5%  | 38    | 6.3%  | 42    | 5.9% | 39    | 5.2%  | 36    | 5.0%  | 40    | 5.7%  | 41    | 7.1%  | 40     | 5.8%  | 40     | 5.3%  |
| 呼吸器外科      | 178   | 5    | 110   | 1     | 168   | 4    | 174   | 9    | 105   | 5     | 210   | 10    | 176   | 5     | 145   | 7    | 168   | 9     | 145   | 4     | 136   | 5     | 214   | 7     | 1,929  | 71    | 1,905  | 75    |
|            | 7     | 2.8% | 5     | 0.9%  | 6     | 2.4% | 7     | 5.2% | 4     | 4.8%  | 9     | 4.8%  | 7     | 2.8%  | 6     | 4.8% | 7     | 5.4%  | 6     | 2.8%  | 6     | 3.7%  | 8     | 3.3%  | 7      | 3.7%  | 7      | 3.9%  |
| 整形外科       | 907   | 66   | 937   | 60    | 983   | 66   | 975   | 57   | 966   | 47    | 975   | 52    | 940   | 67    | 990   | 47   | 940   | 45    | 1,040 | 49    | 959   | 43    | 1,088 | 53    | 11,700 | 652   | 11,581 | 600   |
|            | 36    | 7.3% | 41    | 6.4%  | 38    | 6.7% | 39    | 5.8% | 37    | 4.9%  | 41    | 5.3%  | 38    | 7.1%  | 41    | 4.7% | 39    | 4.8%  | 45    | 4.7%  | 44    | 4.5%  | 42    | 4.9%  | 40     | 5.6%  | 40     | 5.2%  |
| 形成再建外科     | 500   | 26   | 514   | 30    | 551   | 27   | 600   | 29   | 616   | 23    | 512   | 30    | 544   | 33    | 599   | 29   | 558   | 21    | 552   | 15    | 454   | 24    | 588   | 34    | 6,588  | 321   | 6,504  | 334   |
|            | 20    | 5.2% | 22    | 5.8%  | 21    | 4.9% | 24    | 4.8% | 24    | 3.7%  | 21    | 5.9%  | 22    | 6.1%  | 25    | 4.8% | 23    | 3.8%  | 24    | 2.7%  | 21    | 5.3%  | 23    | 5.8%  | 22     | 4.9%  | 22     | 5.1%  |
| 脳神経外科      | 362   | 29   | 378   | 38    | 373   | 37   | 415   | 35   | 390   | 31    | 380   | 25    | 388   | 30    | 365   | 22   | 395   | 29    | 360   | 31    | 366   | 28    | 401   | 20    | 4,573  | 355   | 3,999  | 280   |
|            | 14    | 8.0% | 16    | 10.1% | 14    | 9.9% | 17    | 8.4% | 15    | 7.9%  | 16    | 6.6%  | 16    | 7.7%  | 15    | 6.0% | 16    | 7.3%  | 16    | 8.6%  | 17    | 7.7%  | 15    | 5.0%  | 16     | 7.8%  | 14     | 7.0%  |
| 心臓血管外科     | 99    | 3    | 107   | 3     | 112   | 6    | 110   | 5    | 114   | 4     | 104   | 1     | 102   | 5     | 105   | 3    | 119   | 2     | 89    | 3     | 103   | 4     | 75    | 5     | 1,239  | 44    | 1,283  | 36    |
|            | 4     | 3.0% | 5     | 2.8%  | 4     | 5.4% | 4     | 4.5% | 4     | 3.5%  | 4     | 1.0%  | 4     | 4.9%  | 4     | 2.9% | 5     | 1.7%  | 4     | 3.4%  | 5     | 3.9%  | 3     | 6.7%  | 4      | 3.6%  | 4      | 2.8%  |
| 皮膚科        | 707   | 32   | 722   | 52    | 728   | 45   | 728   | 44   | 739   | 43    | 713   | 48    | 651   | 39    | 677   | 42   | 720   | 35    | 652   | 28    | 647   | 35    | 706   | 27    | 8,390  | 470   | 8,390  | 489   |
|            | 28    | 4.5% | 31    | 7.2%  | 28    | 6.2% | 29    | 6.0% | 28    | 5.8%  | 30    | 6.7%  | 26    | 6.0%  | 28    | 6.2% | 30    | 4.9%  | 28    | 4.3%  | 29    | 5.4%  | 27    | 3.8%  | 29     | 5.6%  | 29     | 5.8%  |
| 泌尿器科       | 1,016 | 49   | 980   | 42    | 1,117 | 52   | 1,011 | 42   | 1,131 | 42    | 942   | 40    | 1,034 | 49    | 1,047 | 46   | 1,082 | 45    | 996   | 39    | 1,024 | 48    | 1,107 | 53    | 12,487 | 547   | 11,975 | 506   |
|            | 41    | 4.8% | 43    | 4.3%  | 43    | 4.7% | 40    | 4.2% | 44    | 3.7%  | 39    | 4.2%  | 41    | 4.7%  | 44    | 4.4% | 45    | 4.2%  | 43    | 3.9%  | 47    | 4.7%  | 43    | 4.8%  | 43     | 4.4%  | 41     | 4.2%  |
| 婦人科        | 594   | 52   | 584   | 45    | 731   | 50   | 634   | 45   | 624   | 36    | 661   | 58    | 576   | 44    | 636   | 50   | 659   | 54    | 537   | 31    | 558   | 34    | 661   | 49    | 7,455  | 548   | 7,738  | 565   |
|            | 24    | 8.8% | 25    | 7.7%  | 28    | 6.8% | 25    | 7.1% | 24    | 5.8%  | 28    | 8.8%  | 23    | 7.6%  | 27    | 7.9% | 27    | 8.2%  | 23    | 5.8%  | 25    | 6.1%  | 25    | 7.4%  | 25     | 7.4%  | 26     | 7.3%  |
| 眼科         | 951   | 61   | 865   | 53    | 1,026 | 79   | 893   | 71   | 996   | 75    | 782   | 78    | 859   | 83    | 767   | 75   | 689   | 73    | 724   | 76    | 735   | 78    | 825   | 89    | 10,112 | 891   | 11,103 | 825   |
|            | 38    | 6.4% | 38    | 6.1%  | 39    | 7.7% | 36    | 8.0% | 38    | 7.5%  | 33    | 10.0% | 34    | 9.7%  | 32    | 9.8% | 29    | 10.6% | 31    | 10.5% | 33    | 10.6% | 32    | 10.8% | 35     | 8.8%  | 38     | 7.4%  |
| 耳鼻咽喉科      | 1,414 | 59   | 1,202 | 57    | 1,476 | 86   | 1,302 | 50   | 1,295 | 68    | 1,397 | 57    | 1,342 | 61    | 1,342 | 50   | 1,502 | 72    | 1,251 | 72    | 1,216 | 64    | 1,606 | 81    | 16,345 | 777   | 15,954 | 820   |
|            | 57    | 4.2% | 52    | 4.7%  | 57    | 5.8% | 52    | 3.8% | 50    | 5.3%  | 58    | 4.1%  | 54    | 4.5%  | 56    | 3.7% | 63    | 4.8%  | 54    | 5.8%  | 55    | 5.3%  | 62    | 5.0%  | 56     | 4.8%  | 54     | 5.1%  |
| 麻酔科        | 189   | 7    | 173   | 3     | 172   | 7    | 213   | 3    | 198   | 2     | 182   | 2     | 171   | 4     | 179   | 1    | 172   | 5     |       |       |       |       |       |       |        |       |        |       |

患者紹介率の年度別推移



各科別患者紹介率

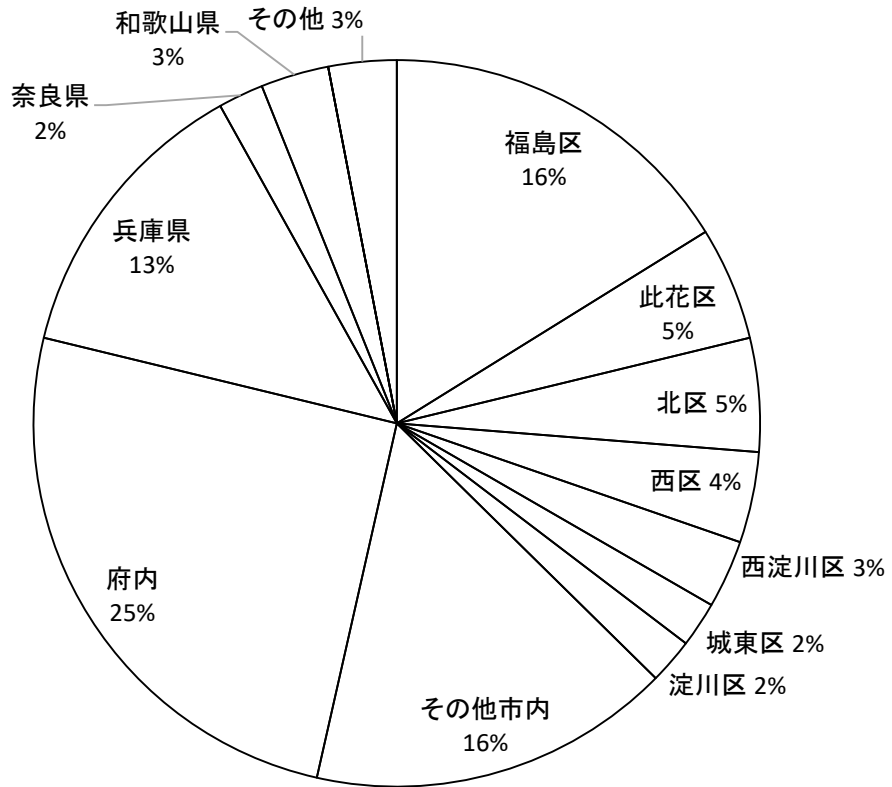


## 2022年度 各科別紹介率（紹介患者／初診患者数）

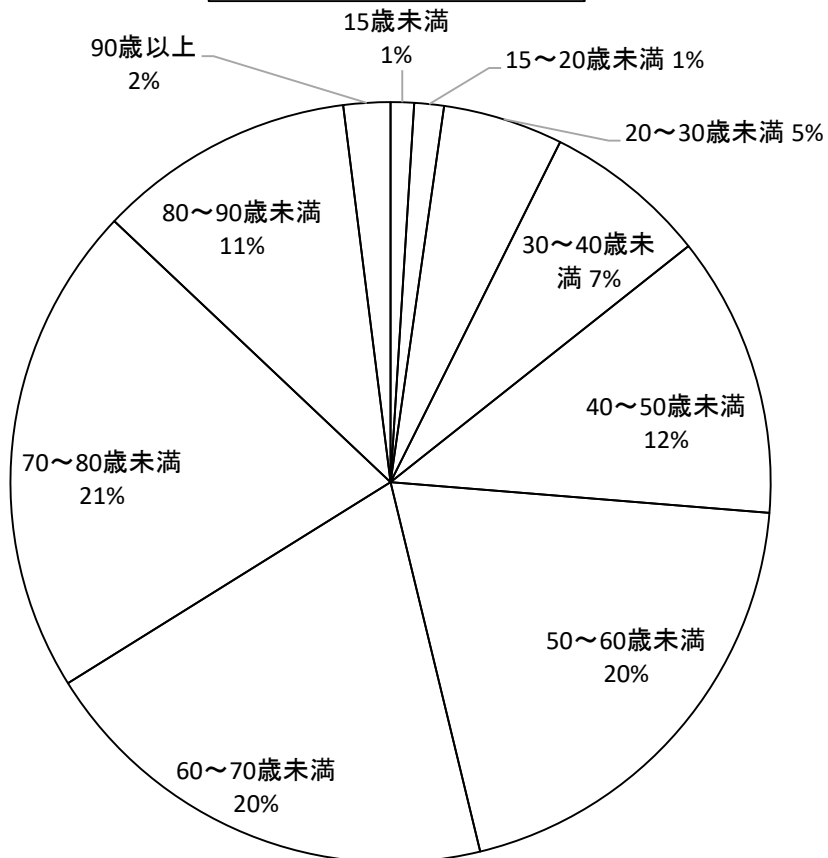
⑦-1

| 診療科       | 区分  | 4月     | 5月     | 6月    | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月    | 合計     | 前年同期間  |
|-----------|-----|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 内科        | 初診  | 6      | 7      | 8     | 6      | 12     | 4      | 11     | 9      | 7      | 10     | 7      | 10    | 97     | 109    |
|           | 紹介  | 3      | 2      | 3     | 3      | 2      | 2      | 1      | 4      | 2      | 5      | 1      | 4     | 32     | 25     |
|           | 紹介率 | 50.0%  | 28.6%  | 37.5% | 50.0%  | 16.7%  | 50.0%  | 9.1%   | 44.4%  | 28.6%  | 50.0%  | 14.3%  | 40.0% | 33.0%  | 22.9%  |
| 循環器内科     | 初診  | 61     | 71     | 72    | 50     | 50     | 51     | 57     | 45     | 62     | 54     | 51     | 53    | 677    | 747    |
|           | 紹介  | 36     | 43     | 49    | 33     | 31     | 40     | 37     | 32     | 41     | 35     | 37     | 33    | 447    | 515    |
|           | 紹介率 | 59.0%  | 60.6%  | 68.1% | 66.0%  | 62.0%  | 78.4%  | 64.9%  | 71.1%  | 66.1%  | 64.8%  | 72.5%  | 62.3% | 66.0%  | 68.9%  |
| 消化器・肝胆脾内科 | 初診  | 144    | 144    | 152   | 122    | 118    | 125    | 158    | 155    | 144    | 120    | 141    | 159   | 1682   | 1713   |
|           | 紹介  | 100    | 107    | 121   | 94     | 88     | 106    | 120    | 118    | 107    | 87     | 108    | 113   | 1269   | 1237   |
|           | 紹介率 | 69.4%  | 74.3%  | 79.6% | 77.0%  | 74.6%  | 84.8%  | 75.9%  | 76.1%  | 74.3%  | 72.5%  | 76.6%  | 71.1% | 75.4%  | 72.2%  |
| 緩和医療科     | 初診  |        |        |       |        |        | 2      | 1      | 1      |        |        |        |       | 4      | 7      |
|           | 紹介  |        |        |       |        |        |        |        | 1      |        |        |        |       | 1      | 1      |
|           | 紹介率 |        |        |       |        |        |        |        | 100.0% |        |        |        |       | 25.0%  | 14.3%  |
| 糖尿病・内分泌代謝 | 初診  | 54     | 56     | 74    | 52     | 46     | 55     | 46     | 53     | 42     | 47     | 55     | 50    | 630    | 615    |
|           | 紹介  | 43     | 43     | 45    | 39     | 29     | 39     | 42     | 46     | 34     | 42     | 49     | 41    | 492    | 437    |
|           | 紹介率 | 79.6%  | 76.8%  | 60.8% | 75.0%  | 63.0%  | 70.9%  | 91.3%  | 86.8%  | 81.0%  | 89.4%  | 89.1%  | 82.0% | 78.1%  | 71.1%  |
| 血液内科      | 初診  | 28     | 16     | 31    | 25     | 18     | 26     | 23     | 26     | 19     | 25     | 31     | 42    | 310    | 276    |
|           | 紹介  | 17     | 15     | 24    | 19     | 15     | 22     | 15     | 17     | 11     | 22     | 19     | 19    | 215    | 195    |
|           | 紹介率 | 60.7%  | 93.8%  | 77.4% | 76.0%  | 83.3%  | 84.6%  | 65.2%  | 65.4%  | 57.9%  | 88.0%  | 61.3%  | 45.2% | 69.4%  | 70.7%  |
| 腎臓内科      | 初診  | 29     | 26     | 19    | 23     | 27     | 26     | 21     | 13     | 14     | 16     | 16     | 14    | 244    | 241    |
|           | 紹介  | 19     | 16     | 10    | 16     | 16     | 14     | 16     | 9      | 7      | 12     | 7      | 8     | 150    | 160    |
|           | 紹介率 | 65.5%  | 61.5%  | 52.6% | 69.6%  | 59.3%  | 53.8%  | 76.2%  | 69.2%  | 50.0%  | 75.0%  | 43.8%  | 57.1% | 61.5%  | 66.4%  |
| 脳神経内科     | 初診  | 60     | 44     | 54    | 48     | 48     | 64     | 47     | 46     | 47     | 47     | 38     | 43    | 586    | 666    |
|           | 紹介  | 39     | 32     | 40    | 35     | 29     | 53     | 31     | 30     | 37     | 27     | 27     | 34    | 414    | 449    |
|           | 紹介率 | 65.0%  | 72.7%  | 74.1% | 72.9%  | 60.4%  | 82.8%  | 66.0%  | 65.2%  | 78.7%  | 57.4%  | 71.1%  | 79.1% | 70.6%  | 67.4%  |
| 呼吸器内科     | 初診  | 25     | 25     | 31    | 27     | 24     | 30     | 25     | 15     | 37     | 27     | 30     | 31    | 327    | 348    |
|           | 紹介  | 8      | 19     | 17    | 17     | 14     | 16     | 16     | 12     | 25     | 14     | 18     | 17    | 193    | 177    |
|           | 紹介率 | 32.0%  | 76.0%  | 54.8% | 63.0%  | 58.3%  | 53.3%  | 64.0%  | 80.0%  | 67.6%  | 51.9%  | 60.0%  | 54.8% | 59.0%  | 50.9%  |
| 外科        | 初診  | 46     | 57     | 39    | 60     | 43     | 56     | 54     | 54     | 44     | 38     | 46     | 71    | 608    | 580    |
|           | 紹介  | 31     | 40     | 33    | 46     | 35     | 47     | 39     | 44     | 35     | 29     | 35     | 56    | 470    | 425    |
|           | 紹介率 | 67.4%  | 70.2%  | 84.6% | 76.7%  | 81.4%  | 83.9%  | 72.2%  | 81.5%  | 79.5%  | 76.3%  | 76.1%  | 78.9% | 77.3%  | 73.3%  |
| 呼吸器外科     | 初診  | 5      | 1      | 4     | 9      | 5      | 8      | 4      | 7      | 7      | 3      | 5      | 7     | 65     | 71     |
|           | 紹介  | 4      | 1      | 3     | 8      | 5      | 7      | 4      | 4      | 6      | 1      | 4      | 3     | 50     | 56     |
|           | 紹介率 | 80.0%  | 100.0% | 75.0% | 88.9%  | 100.0% | 87.5%  | 100.0% | 57.1%  | 85.7%  | 33.3%  | 80.0%  | 42.9% | 76.9%  | 78.9%  |
| 整形外科      | 初診  | 63     | 55     | 65    | 51     | 46     | 48     | 63     | 46     | 43     | 45     | 41     | 48    | 614    | 566    |
|           | 紹介  | 47     | 49     | 50    | 41     | 40     | 36     | 54     | 39     | 35     | 33     | 34     | 41    | 499    | 422    |
|           | 紹介率 | 74.6%  | 89.1%  | 76.9% | 80.4%  | 87.0%  | 75.0%  | 85.7%  | 84.8%  | 81.4%  | 73.3%  | 82.9%  | 85.4% | 81.3%  | 74.6%  |
| 形成再建外科    | 初診  | 22     | 25     | 22    | 24     | 15     | 25     | 29     | 23     | 18     | 14     | 19     | 31    | 267    | 279    |
|           | 紹介  | 18     | 20     | 16    | 18     | 12     | 15     | 20     | 12     | 11     | 12     | 16     | 19    | 189    | 207    |
|           | 紹介率 | 81.8%  | 80.0%  | 72.7% | 75.0%  | 80.0%  | 60.0%  | 69.0%  | 52.2%  | 61.1%  | 85.7%  | 84.2%  | 61.3% | 70.8%  | 74.2%  |
| 脳神経外科     | 初診  | 23     | 30     | 26    | 29     | 22     | 21     | 25     | 18     | 23     | 26     | 24     | 16    | 283    | 240    |
|           | 紹介  | 18     | 25     | 22    | 19     | 19     | 16     | 21     | 13     | 23     | 20     | 17     | 13    | 226    | 177    |
|           | 紹介率 | 78.3%  | 83.3%  | 84.6% | 65.5%  | 86.4%  | 76.2%  | 84.0%  | 72.2%  | 100.0% | 76.9%  | 70.8%  | 81.3% | 79.9%  | 73.8%  |
| 心臓血管外科    | 初診  | 2      | 2      | 6     | 2      | 4      | 1      | 2      | 3      | 2      | 2      | 3      | 5     | 34     | 26     |
|           | 紹介  | 3      | 2      | 5     | 3      | 4      | 1      | 5      | 3      | 1      | 3      | 3      | 4     | 37     | 22     |
|           | 紹介率 | 150.0% | 100.0% | 83.3% | 150.0% | 100.0% | 100.0% | 250.0% | 100.0% | 50.0%  | 150.0% | 100.0% | 80.0% | 108.8% | 84.6%  |
| 皮膚科       | 初診  | 32     | 52     | 45    | 44     | 43     | 48     | 39     | 42     | 35     | 28     | 35     | 27    | 470    | 488    |
|           | 紹介  | 8      | 14     | 10    | 12     | 5      | 11     | 9      | 10     | 7      | 5      | 12     | 7     | 110    | 102    |
|           | 紹介率 | 25.0%  | 26.9%  | 22.2% | 27.3%  | 11.6%  | 22.9%  | 23.1%  | 23.8%  | 20.0%  | 17.9%  | 34.3%  | 25.9% | 23.4%  | 20.9%  |
| 泌尿器科      | 初診  | 48     | 41     | 51    | 42     | 40     | 38     | 47     | 44     | 43     | 36     | 47     | 51    | 528    | 493    |
|           | 紹介  | 33     | 29     | 34    | 27     | 30     | 24     | 34     | 24     | 28     | 26     | 32     | 33    | 354    | 319    |
|           | 紹介率 | 68.8%  | 70.7%  | 66.7% | 64.3%  | 75.0%  | 63.2%  | 72.3%  | 54.5%  | 65.1%  | 72.2%  | 68.1%  | 64.7% | 67.0%  | 64.7%  |
| 婦人科       | 初診  | 48     | 44     | 49    | 44     | 33     | 57     | 43     | 49     | 53     | 31     | 34     | 49    | 534    | 555    |
|           | 紹介  | 28     | 36     | 38    | 34     | 24     | 42     | 35     | 36     | 34     | 20     | 28     | 31    | 386    | 389    |
|           | 紹介率 | 58.3%  | 81.8%  | 77.6% | 77.3%  | 72.7%  | 73.7%  | 81.4%  | 73.5%  | 64.2%  | 64.5%  | 82.4%  | 63.3% | 72.3%  | 70.1%  |
| 眼科        | 初診  | 61     | 53     | 79    | 71     | 75     | 78     | 83     | 75     | 73     | 76     | 78     | 89    | 891    | 823    |
|           | 紹介  | 54     | 45     | 66    | 61     | 66     | 67     | 72     | 68     | 68     | 67     | 71     | 72    | 777    | 690    |
|           | 紹介率 | 88.5%  | 84.9%  | 83.5% | 85.9%  | 88.0%  | 85.9%  | 86.7%  | 90.7%  | 93.2%  | 88.2%  | 91.0%  | 80.9% | 87.2%  | 83.8%  |
| 耳鼻咽喉科     | 初診  | 59     | 55     | 86    | 49     | 66     | 57     | 59     | 47     | 70     | 71     | 63     | 81    | 763    | 815    |
|           | 紹介  | 38     | 30     | 58    | 32     | 36     | 33     | 40     | 33     | 32     | 37     | 36     | 48    | 453    | 501    |
|           | 紹介率 | 64.4%  | 54.5%  | 67.4% | 65.3%  | 54.5%  | 57.9%  | 67.8%  | 70.2%  | 45.7%  | 52.1%  | 57.1%  | 59.3% | 59.4%  | 61.5%  |
| その他の科     | 初診  | 166    | 104    | 117   | 257    | 272    | 110    | 79     | 114    | 110    | 131    | 81     | 89    | 1630   | 1459   |
|           | 紹介  | 42     | 44     | 54    | 42     | 44     | 35     | 36     | 42     | 34     | 46     | 33     | 38    | 490    | 587    |
|           | 紹介率 | 25.3%  | 42.3%  | 46.2% | 16.3%  | 16.2%  | 31.8%  | 45.6%  | 36.8%  | 30.9%  | 35.1%  | 40.7%  | 42.7% | 30.1%  | 40.2%  |
| 合計        | 初診  | 982    | 908    | 1,030 | 1,035  | 1,007  | 930    | 916    | 892    | 898    | 853    | 852    | 978   | 11,281 | 11,117 |
|           | 紹介  | 589    | 612    | 698   | 599    | 544    | 626    | 647    | 603    | 578    | 546    | 591    | 643   | 7,276  | 7,093  |
|           | 紹介率 | 60.0%  | 67.4%  | 67.8% | 57.9%  | 54.0%  | 67.3%  | 70.6%  | 67.6%  | 64.4%  | 64.0%  | 69.4%  | 65.7% | 64.5%  | 63.8%  |

外来患者の診療圏



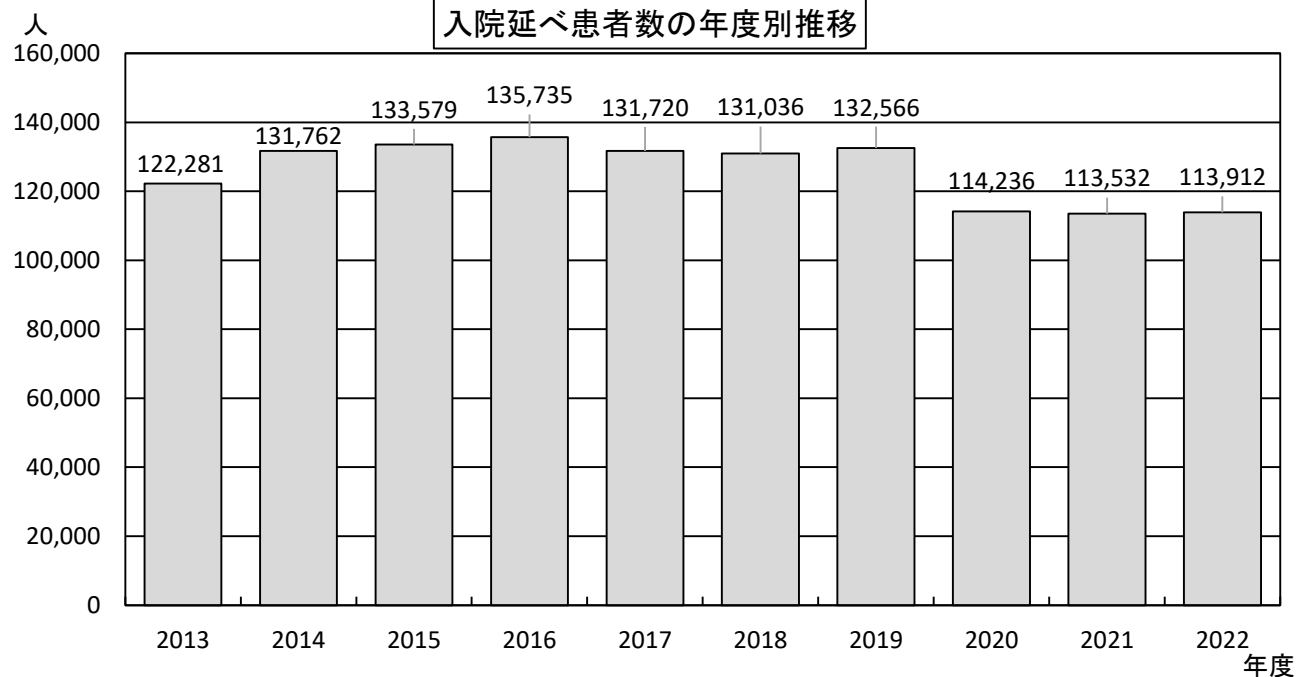
外来患者の年齢別構成



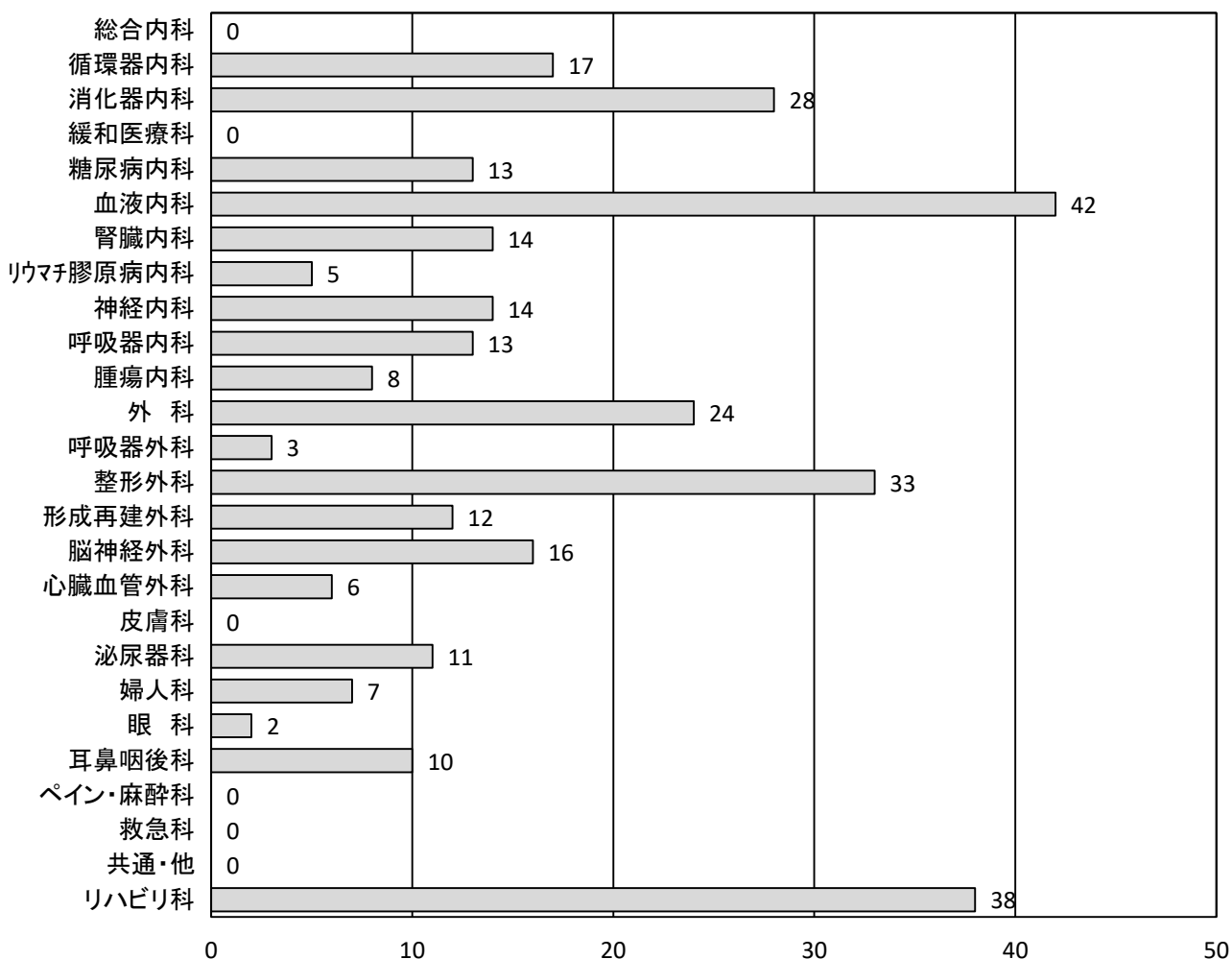


### 3. 入院患者の状況

入院延べ患者数の年度別推移



各科別1日当たり在院患者数

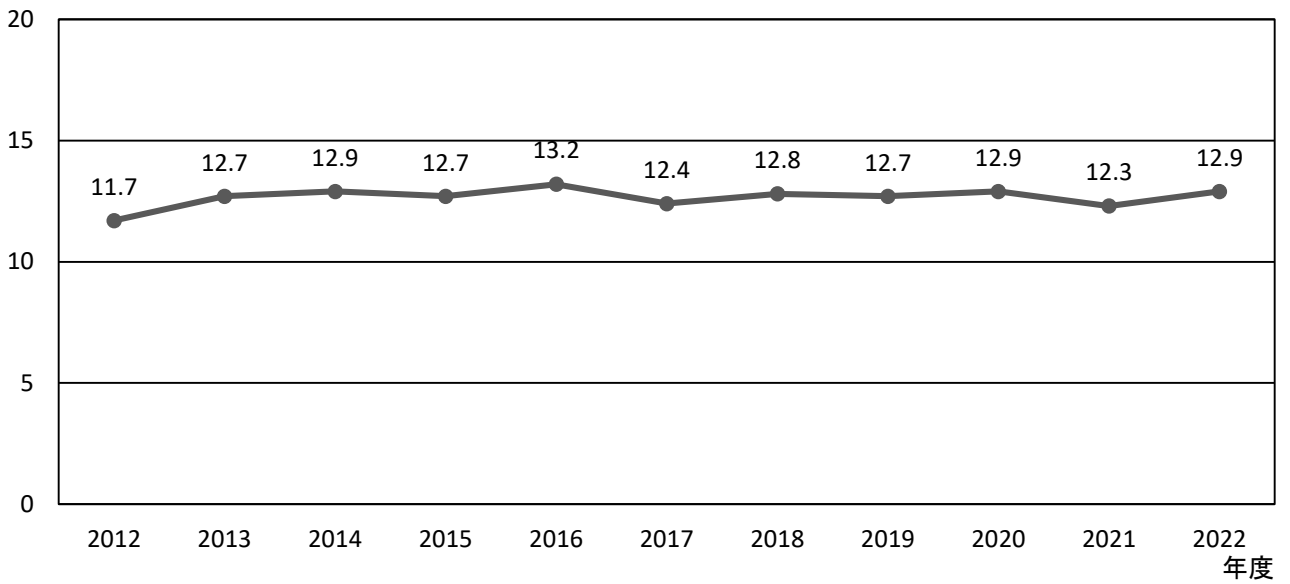


## 2022年度 各科別入院患者動向(退院日含む)

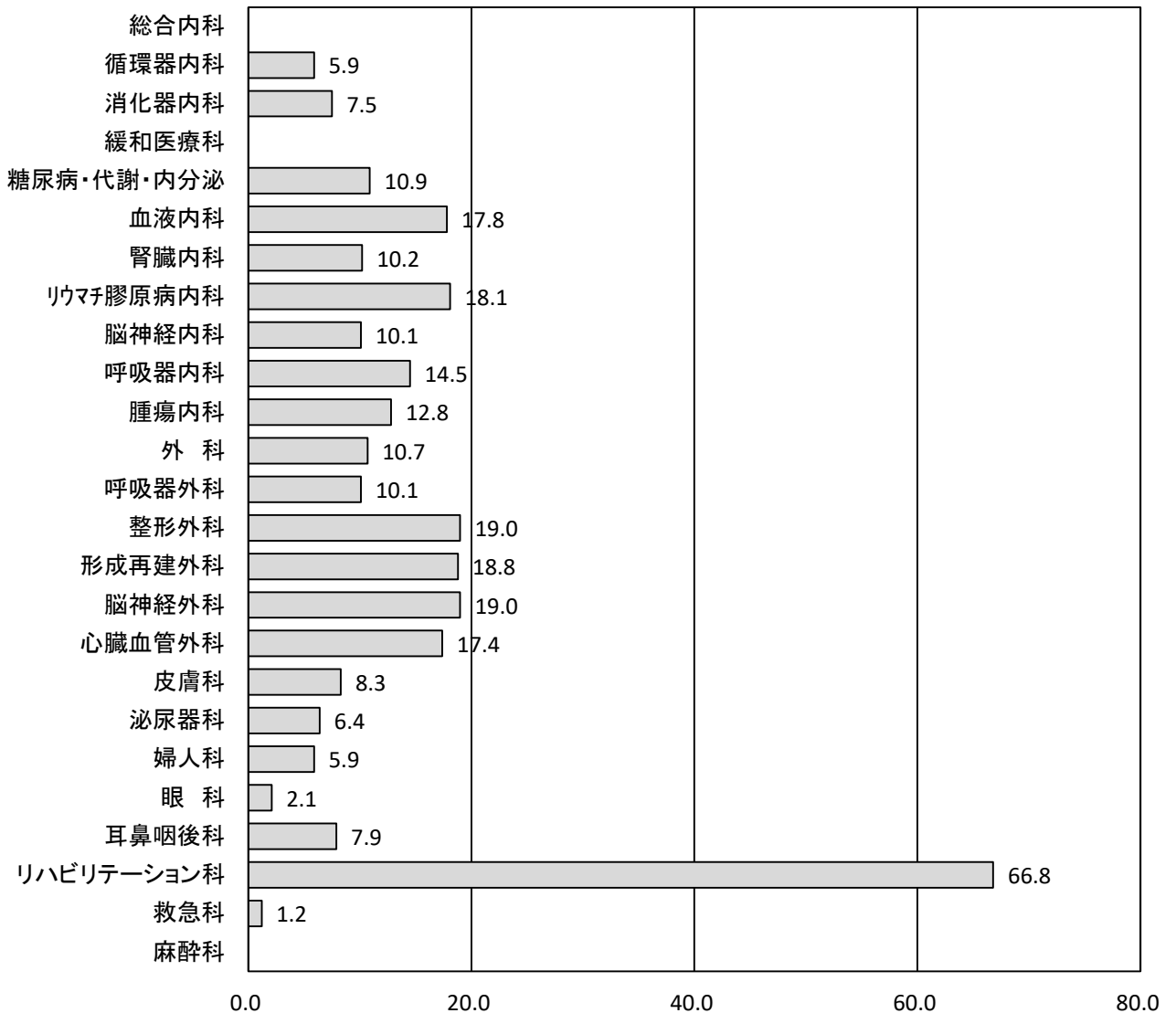
②-1

|                | 配分数 | データ部：上段＝患者数、中段＝一日平均、下段＝稼働率 |                         |                          |                          |                         |                         |                         |                         |                         |                         |                         |                          | 前年同期間                     |                           |
|----------------|-----|----------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
|                |     | 4月                         | 5月                      | 6月                       | 7月                       | 8月                      | 9月                      | 10月                     | 11月                     | 12月                     | 1月                      | 2月                      | 3月                       | 累 計                       | 累 計                       |
| 内科             | 0   | 0<br>0                     | 0<br>0                  | 0<br>0                   | 0<br>0                   | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                   | 0<br>0                    | 0<br>0                    |
| 循環器内科          | 25  | 468<br>16<br>62.4%         | 527<br>17<br>68.0%      | 450<br>15<br>60.0%       | 563<br>18<br>72.6%       | 575<br>19<br>74.2%      | 547<br>18<br>72.9%      | 475<br>15<br>61.3%      | 504<br>17<br>67.2%      | 480<br>15<br>61.9%      | 526<br>17<br>67.9%      | 525<br>19<br>75.0%      | 457<br>15<br>59.0%       | 6,097<br>17<br>66.8%      | 7,221<br>20<br>79.1%      |
| 消化器・肝胆<br>膵内科  | 42  | 820<br>27<br>65.1%         | 863<br>28<br>66.3%      | 825<br>28<br>65.5%       | 758<br>24<br>58.2%       | 739<br>24<br>56.8%      | 787<br>26<br>62.5%      | 1,057<br>34<br>81.2%    | 955<br>32<br>75.8%      | 958<br>31<br>73.6%      | 880<br>28<br>67.6%      | 719<br>26<br>61.1%      | 816<br>26<br>62.7%       | 10,177<br>28<br>66.4%     | 12,301<br>34<br>80.2%     |
| 緩和医療科          | 2   | 0<br>0<br>0.0%             | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%            | 0<br>0<br>0.0%            |
| 糖尿病・内分泌代<br>謝  | 18  | 442<br>15<br>81.9%         | 380<br>12<br>68.1%      | 381<br>13<br>70.6%       | 424<br>14<br>76.0%       | 485<br>16<br>86.9%      | 505<br>17<br>93.5%      | 309<br>10<br>55.4%      | 343<br>11<br>63.5%      | 358<br>12<br>64.2%      | 310<br>10<br>55.6%      | 365<br>13<br>72.4%      | 460<br>15<br>82.4%       | 4,762<br>13<br>72.5%      | 5,579<br>15<br>84.9%      |
| 血液内科           | 31  | 1,160<br>39<br>124.7%      | 1,197<br>39<br>124.6%   | 1,252<br>42<br>134.6%    | 1,507<br>49<br>156.8%    | 1,338<br>43<br>139.2%   | 1,184<br>39<br>127.3%   | 1,270<br>41<br>132.2%   | 1,391<br>46<br>149.6%   | 1,330<br>43<br>138.4%   | 1,283<br>41<br>133.5%   | 1,141<br>41<br>131.5%   | 1,175<br>38<br>122.3%    | 15,228<br>42<br>134.6%    | 12,032<br>33<br>106.3%    |
| 腎臓内科           | 10  | 505<br>17<br>168.3%        | 689<br>22<br>222.3%     | 467<br>16<br>155.7%      | 392<br>13<br>126.5%      | 379<br>12<br>122.3%     | 476<br>16<br>158.7%     | 392<br>13<br>126.5%     | 299<br>10<br>99.7%      | 289<br>9<br>93.2%       | 459<br>15<br>148.1%     | 285<br>10<br>101.8%     | 317<br>10<br>102.3%      | 4,949<br>14<br>135.6%     | 5,139<br>14<br>140.8%     |
| リウマチ・膠原<br>病内科 | 2   | 0<br>0<br>0.0%             | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 117<br>4<br>195.0%      | 84<br>3<br>135.5%       | 89<br>3<br>143.5%       | 179<br>6<br>319.6%      | 230<br>7<br>371.0%       | 699<br>5<br>231.5%        | 0<br>0<br>0.0%            |
| 脳神経内科          | 20  | 309<br>10<br>51.5%         | 207<br>7<br>33.4%       | 547<br>18<br>91.2%       | 611<br>20<br>98.5%       | 529<br>17<br>85.3%      | 458<br>15<br>76.3%      | 365<br>12<br>58.9%      | 381<br>13<br>63.5%      | 454<br>15<br>73.2%      | 403<br>13<br>65.0%      | 428<br>15<br>76.4%      | 403<br>13<br>65.0%       | 5,095<br>14<br>69.8%      | 4,671<br>13<br>64.0%      |
| 呼吸器内科          | 16  | 422<br>14<br>87.9%         | 497<br>16<br>100.2%     | 496<br>17<br>103.3%      | 526<br>17<br>106.0%      | 527<br>17<br>106.3%     | 449<br>15<br>93.5%      | 301<br>10<br>60.7%      | 373<br>12<br>77.7%      | 365<br>12<br>73.6%      | 260<br>8<br>52.4%       | 237<br>8<br>52.9%       | 375<br>12<br>75.6%       | 4,828<br>13<br>82.7%      | 4,437<br>12<br>76.0%      |
| 腫瘍内科           | 5   | 298<br>10<br>198.7%        | 236<br>8<br>152.3%      | 270<br>9<br>180.0%       | 279<br>9<br>180.0%       | 309<br>10<br>199.4%     | 298<br>10<br>198.7%     | 337<br>11<br>217.4%     | 252<br>8<br>168.0%      | 146<br>5<br>94.2%       | 286<br>9<br>184.5%      | 142<br>5<br>101.4%      | 184<br>6<br>118.7%       | 3,037<br>8<br>166.4%      | 3,839<br>11<br>210.4%     |
| 外科             | 33  | 869<br>29<br>87.8%         | 834<br>27<br>81.5%      | 715<br>24<br>72.2%       | 656<br>21<br>64.1%       | 691<br>22<br>67.5%      | 837<br>28<br>84.5%      | 840<br>27<br>82.1%      | 650<br>22<br>65.7%      | 656<br>21<br>64.1%      | 536<br>17<br>52.4%      | 750<br>27<br>81.2%      | 859<br>28<br>84.0%       | 8,893<br>24<br>73.8%      | 8,893<br>24<br>73.8%      |
| 呼吸器外科          | 8   | 76<br>3<br>31.7%           | 83<br>3<br>33.5%        | 93<br>3<br>38.8%         | 76<br>2<br>30.6%         | 58<br>2<br>23.4%        | 97<br>3<br>40.4%        | 130<br>4<br>52.4%       | 103<br>3<br>42.9%       | 67<br>2<br>27.0%        | 82<br>3<br>33.1%        | 89<br>3<br>39.7%        | 141<br>5<br>56.9%        | 1,095<br>3<br>37.5%       | 1,250<br>3<br>42.8%       |
| 整形外科           | 40  | 887<br>30<br>73.9%         | 1,148<br>37<br>92.6%    | 1,143<br>38<br>95.3%     | 1,109<br>36<br>89.4%     | 891<br>29<br>71.9%      | 943<br>31<br>78.6%      | 986<br>32<br>79.5%      | 974<br>32<br>81.2%      | 961<br>31<br>77.5%      | 832<br>27<br>67.1%      | 998<br>36<br>89.1%      | 1,011<br>33<br>81.5%     | 11,883<br>33<br>81.4%     | 11,634<br>32<br>79.7%     |
| 形成再建外科         | 22  | 400<br>13<br>60.6%         | 306<br>10<br>44.9%      | 343<br>11<br>52.0%       | 401<br>13<br>58.8%       | 394<br>13<br>57.8%      | 360<br>12<br>54.5%      | 393<br>13<br>57.6%      | 271<br>9<br>41.1%       | 418<br>13<br>61.3%      | 279<br>9<br>40.9%       | 407<br>15<br>66.1%      | 411<br>13<br>60.3%       | 4,383<br>12<br>54.6%      | 4,656<br>13<br>58.0%      |
| 脳神経外科          | 22  | 402<br>13<br>60.9%         | 553<br>18<br>81.1%      | 638<br>21<br>96.7%       | 420<br>14<br>61.6%       | 456<br>15<br>66.9%      | 476<br>16<br>72.1%      | 449<br>14<br>65.8%      | 556<br>19<br>84.2%      | 591<br>19<br>86.7%      | 484<br>16<br>71.0%      | 411<br>15<br>66.7%      | 425<br>14<br>62.3%       | 5,861<br>16<br>73.0%      | 4,218<br>12<br>52.5%      |
| 心臓血管外科         | 5   | 150<br>5<br>100.0%         | 147<br>5<br>94.8%       | 222<br>7<br>148.0%       | 308<br>10<br>198.7%      | 166<br>5<br>107.1%      | 118<br>4<br>78.7%       | 122<br>4<br>78.7%       | 159<br>5<br>106.0%      | 181<br>6<br>116.8%      | 184<br>6<br>118.7%      | 163<br>6<br>116.4%      | 212<br>7<br>136.8%       | 2,132<br>6<br>116.8%      | 2,123<br>6<br>116.3%      |
| 皮膚科            | 1   | 0<br>0<br>0.0%             | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 4<br>0<br>12.9%         | 10<br>0<br>33.3%        | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 14<br>1<br>50.0%        | 0<br>0<br>0.0%           | 28<br>0<br>7.7%           | 44<br>0<br>12.1%          |
| 泌尿器科           | 17  | 374<br>12<br>73.3%         | 305<br>10<br>57.9%      | 349<br>12<br>68.4%       | 377<br>12<br>71.5%       | 284<br>9<br>53.9%       | 256<br>9<br>50.2%       | 282<br>9<br>53.5%       | 272<br>9<br>53.3%       | 348<br>11<br>66.0%      | 499<br>16<br>94.7%      | 414<br>15<br>87.0%      | 361<br>12<br>68.5%       | 4,121<br>11<br>66.4%      | 4,153<br>11<br>66.9%      |
| 婦人科            | 6   | 247<br>8<br>137.2%         | 246<br>8<br>132.3%      | 268<br>9<br>148.9%       | 224<br>7<br>120.4%       | 149<br>5<br>80.1%       | 170<br>6<br>94.4%       | 155<br>5<br>83.3%       | 173<br>6<br>96.1%       | 166<br>5<br>89.2%       | 211<br>7<br>113.4%      | 193<br>7<br>114.9%      | 283<br>9<br>152.2%       | 2,485<br>7<br>113.5%      | 2,147<br>6<br>98.0%       |
| 眼科             | 4   | 65<br>2<br>54.2%           | 80<br>3<br>64.5%        | 119<br>4<br>99.2%        | 102<br>3<br>82.3%        | 86<br>3<br>69.4%        | 31<br>1<br>25.8%        | 75<br>2<br>60.5%        | 36<br>1<br>30.0%        | 32<br>1<br>25.8%        | 42<br>1<br>33.9%        | 45<br>2<br>40.2%        | 54<br>2<br>43.5%         | 767<br>2<br>52.5%         | 877<br>2<br>60.1%         |
| 耳鼻咽喉科          | 20  | 374<br>12<br>62.3%         | 317<br>10<br>51.1%      | 305<br>10<br>50.8%       | 282<br>9<br>45.5%        | 343<br>11<br>55.3%      | 362<br>12<br>60.3%      | 243<br>8<br>39.2%       | 281<br>9<br>46.8%       | 272<br>9<br>43.9%       | 235<br>8<br>37.9%       | 237<br>8<br>42.3%       | 375<br>12<br>60.5%       | 3,626<br>10<br>49.7%      | 4,526<br>12<br>62.0%      |
| 麻酔科            | 0   | 0<br>0                     | 0<br>0                  | 0<br>0                   | 0<br>0                   | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                  | 0<br>0                   | 0<br>0                    | 0<br>0                    |
| 救急部            | 2   | 0<br>0<br>0.0%             | 0<br>0<br>0.0%          | 1<br>0<br>1.7%           | 0<br>0<br>0.0%           | 7<br>0<br>11.3%         | 0<br>0<br>0.0%          | 3<br>0<br>4.8%          | 8<br>0<br>13.3%         | 6<br>0<br>9.7%          | 0<br>0<br>0.0%          | 2<br>0<br>3.6%          | 0<br>0<br>0.0%           | 27<br>0<br>3.7%           | 6<br>0<br>0.8%            |
| 共通・他           | 5   | 0<br>0<br>0.0%             | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%          | 0<br>0<br>0.0%           | 0<br>0<br>0.0%            | 0<br>0<br>0.0%            |
| 急性期計           | 356 | 8,268<br>275.6<br>77.4%    | 8,615<br>277.9<br>78.1% | 8,884<br>296.1<br>83.2%  | 9,015<br>290.8<br>81.7%  | 8,406<br>271.2<br>76.2% | 8,354<br>278.5<br>78.2% | 8,188<br>264.1<br>74.2% | 8,108<br>270.3<br>75.9% | 8,162<br>263.3<br>74.0% | 7,880<br>254.2<br>71.4% | 7,744<br>276.6<br>77.7% | 8,549<br>275.8<br>77.5%  | 100,173<br>274.4<br>77.1% | 99,746<br>273.3<br>76.8%  |
| リハビリテー<br>ション科 | 44  | 1,184<br>39<br>89.7%       | 1,229<br>40<br>90.1%    | 1,225<br>41<br>92.8%     | 1,187<br>38<br>87.0%     | 1,185<br>38<br>86.9%    | 1,004<br>33<br>76.1%    | 1,082<br>35<br>79.3%    | 1,219<br>41<br>92.3%    | 1,165<br>38<br>85.4%    | 1,065<br>34<br>78.1%    | 1,072<br>38<br>87.0%    | 1,122<br>36<br>82.3%     | 13,739<br>38<br>85.5%     | 13,786<br>38<br>85.8%     |
| 病院計            | 400 | 9,452<br>315.1<br>78.8%    | 9,844<br>317.5<br>79.4% | 10,109<br>337.0<br>84.2% | 10,202<br>329.1<br>82.3% | 9,591<br>309.4<br>77.3% | 9,358<br>311.9<br>78.0% | 9,270<br>299.0<br>77.7% | 9,327<br>310.9<br>77.7% | 9,327<br>300.9<br>75.2% | 8,945<br>288.5<br>72.1% | 8,816<br>314.9<br>78.7% | 9,671<br>312.0<br>78.0%  | 113,912<br>312.1<br>78.0% | 113,532<br>311.0<br>77.8% |
| 前年             | 400 | 10,329<br>344.3<br>86.1%   | 9,508<br>306.7<br>76.7% | 9,306<br>310.2<br>77.6%  | 9,185<br>296.3<br>74.1%  | 9,293<br>299.8<br>74.9% | 8,973<br>299.1<br>74.8% | 9,264<br>298.8<br>74.7% | 9,168<br>305.6<br>76.4% | 9,604<br>309.8<br>77.5% | 9,410<br>303.5<br>75.9% | 9,403<br>335.8<br>84.0% | 10,089<br>325.5<br>81.4% | 113,532<br>311.0<br>77.8% |                           |

平均在院日数の年度別推移



各科別平均在院日数



看護基準別

|                | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 年度   | 前年度  |
|----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 7対1病棟(全患者)     | 10.4 | 10.5 | 10.6 | 10.7 | 10.6 | 10.7 | 10.7 | 10.9 | 10.9 | 11.1 | 11.1 | 10.8 | 10.7 | 10.3 |
| 同 (入院基本料対象患者)  | 10.9 | 11.1 | 11.2 | 11.3 | 11.2 | 11.3 | 11.4 | 11.7 | 11.8 | 12.0 | 12.1 | 12.0 | 11.5 | 10.7 |
| 回復期リハビリテーション病棟 | 66.5 | 67.6 | 74.8 | 83.8 | 79.7 | 61.1 | 58.1 | 59.5 | 76.1 | 67.2 | 55.6 | 46.8 | 62.7 | 60.8 |
| ICU病棟          | 3.4  | 3.2  | 2.8  | 2.7  | 2.8  | 3.1  | 3.4  | 3.3  | 3.4  | 3.7  | 3.6  | 3.5  | 3.2  | 3.4  |
| HCU病棟          | 2.6  | 2.6  | 2.5  | 2.8  | 2.8  | 2.9  | 2.9  | 2.6  | 2.5  | 2.7  | 2.9  | 3.1  | 2.7  | 2.7  |
| 病院全体(入退院ベース)   | 12.6 | 12.7 | 12.8 | 12.9 | 12.8 | 12.8 | 12.8 | 13.0 | 13.1 | 13.3 | 13.3 | 13.1 | 12.9 | 12.3 |

各科別

|            |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 内科         |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 循環器内科      | 6.1  | 6.0  | 5.6  | 5.6  | 5.7  | 5.9  | 6.3  | 6.1  | 5.8  | 6.0  | 6.2  | 6.4  | 5.9  | 5.7  |
| 消化器・肝胆膵内科  | 6.9  | 6.5  | 6.7  | 6.5  | 6.9  | 6.8  | 8.0  | 8.5  | 9.1  | 8.9  | 8.3  | 7.8  | 7.5  | 7.1  |
| 緩和医療科      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 糖尿病・内分泌代謝  | 9.6  | 10.9 | 9.8  | 10.6 | 10.4 | 11.9 | 11.6 | 11.7 | 10.4 | 10.8 | 10.7 | 11.5 | 10.9 | 11.1 |
| 血液内科       | 19.1 | 18.4 | 17.6 | 17.9 | 17.4 | 17.8 | 17.5 | 17.5 | 17.1 | 17.3 | 18.6 | 19.1 | 17.8 | 19.7 |
| 腎臓内科       | 11.9 | 12.8 | 11.5 | 11.0 | 9.6  | 9.9  | 10.4 | 9.0  | 8.5  | 9.2  | 10.3 | 10.5 | 10.2 | 10.7 |
| リウマチ・膠原病内科 |      |      |      |      |      |      |      | 16.0 | 11.8 | 12.7 | 17.7 | 23.0 | 18.1 |      |
| 脳神経内科      | 8.5  | 7.6  | 7.9  | 10.2 | 11.2 | 11.5 | 10.0 | 9.8  | 9.9  | 11.2 | 11.6 | 11.0 | 10.1 | 9.8  |
| 心療内科       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 呼吸器内科      | 14.1 | 15.6 | 16.8 | 16.5 | 18.3 | 17.1 | 16.3 | 15.1 | 12.8 | 12.2 | 10.2 | 10.9 | 14.5 | 12.9 |
| 腫瘍内科       | 10.9 | 11.3 | 11.3 | 12.7 | 14.4 | 15.8 | 18.3 | 17.5 | 15.1 | 11.9 | 10.6 | 9.9  | 12.8 | 11.9 |
| 外科         | 11.6 | 12.3 | 12.0 | 11.0 | 10.2 | 10.9 | 10.6 | 10.5 | 9.7  | 9.7  | 10.4 | 10.3 | 10.7 | 10.8 |
| 呼吸器外科      | 9.1  | 9.4  | 9.0  | 8.9  | 8.1  | 9.1  | 9.9  | 10.8 | 10.5 | 10.9 | 11.9 | 11.5 | 10.1 | 11.2 |
| 整形外科       | 20.1 | 20.1 | 20.6 | 20.4 | 19.1 | 17.8 | 18.2 | 18.7 | 19.8 | 20.1 | 20.6 | 18.0 | 19.0 | 19.5 |
| 形成再建外科     | 19.1 | 16.6 | 17.2 | 17.6 | 17.2 | 18.8 | 18.4 | 18.2 | 17.8 | 19.4 | 23.9 | 22.2 | 18.8 | 16.1 |
| 脳神経外科      | 22.1 | 19.7 | 18.9 | 19.3 | 18.3 | 19.0 | 19.1 | 20.8 | 21.4 | 20.8 | 19.1 | 17.1 | 19.0 | 18.0 |
| 心臓血管外科     | 15.2 | 13.4 | 14.8 | 18.6 | 19.4 | 16.8 | 14.4 | 16.4 | 18.4 | 19.6 | 18.4 | 20.7 | 17.4 | 16.5 |
| 皮膚科        |      |      |      |      |      |      | 8.0  | 13.0 | 13.0 | 18.0 | 6.0  | 6.0  | 8.3  | 14.0 |
| 泌尿器科       | 6.5  | 6.6  | 7.0  | 6.5  | 6.3  | 5.7  | 5.1  | 5.1  | 5.3  | 6.6  | 7.4  | 7.5  | 6.4  | 6.6  |
| 婦人科        | 6.5  | 6.2  | 6.0  | 5.3  | 5.0  | 4.8  | 4.7  | 5.0  | 5.6  | 6.4  | 6.7  | 7.4  | 5.9  | 6.1  |
| 眼科         | 2.1  | 2.3  | 2.5  | 2.3  | 2.2  | 2.1  | 2.0  | 2.0  | 2.1  | 2.1  | 1.9  | 2.1  | 2.1  | 1.9  |
| 耳鼻咽喉科      | 9.3  | 8.4  | 8.4  | 8.2  | 8.2  | 8.4  | 8.0  | 8.4  | 7.6  | 7.4  | 7.0  | 7.2  | 7.9  | 9.2  |
| リハビリテーション科 | 66.5 | 67.6 | 74.8 | 83.8 | 81.8 | 68.7 | 64.6 | 64.6 | 77.1 | 70.2 | 61.3 | 51.7 | 66.8 | 61.5 |
| 救急部        | 0.2  | 0.3  | 0.3  | 0.3  | 1.8  | 2.0  | 2.0  | 1.8  | 1.4  | 1.5  | 0.9  | 1.0  | 1.2  | 0.3  |
| 麻酔科        |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |

## 2022年度 各科別入退患者数

②-2

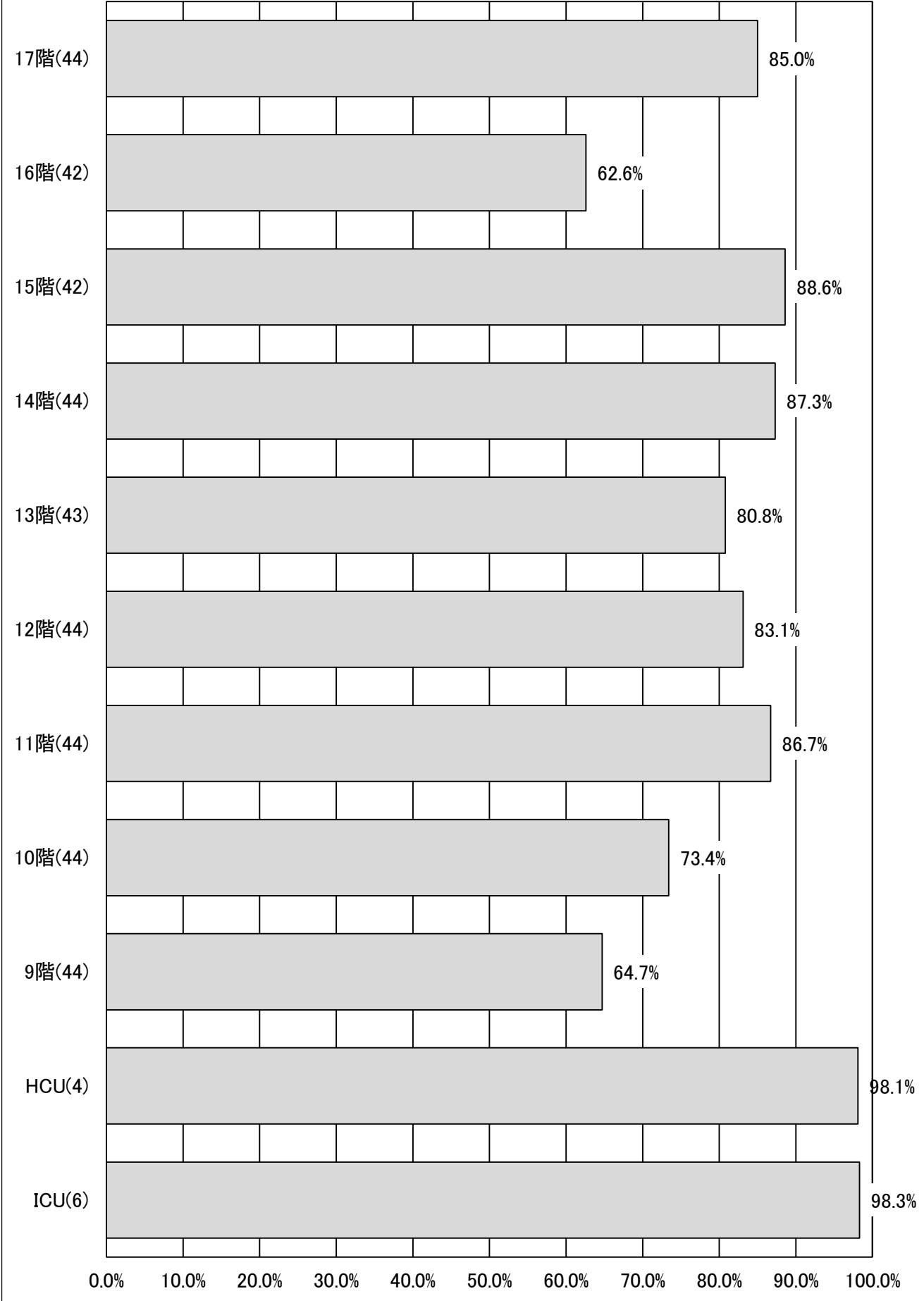
|            |    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計    | 前年同期間 |
|------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-------|-------|
| 内科         | 入院 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |       |       |
|            | 退院 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |       |       |
| 循環器内科      | 入院 | 74  | 77  | 65  | 82  | 67  | 71  | 75  |     |     |    |    |    | 511   | 513   |
|            | 退院 | 77  | 69  | 67  | 67  | 73  | 72  | 68  |     |     |    |    |    | 493   | 500   |
| 消化器・肝胆脾内科  | 入院 | 113 | 105 | 128 | 107 | 99  | 113 | 98  |     |     |    |    |    | 763   | 715   |
|            | 退院 | 121 | 96  | 120 | 109 | 102 | 118 | 95  |     |     |    |    |    | 761   | 705   |
| 緩和医療科      | 入院 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |       |       |
|            | 退院 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |       |       |
| 糖尿病・内分泌代謝  | 入院 | 28  | 35  | 23  | 27  | 27  | 28  | 27  |     |     |    |    |    | 195   | 238   |
|            | 退院 | 21  | 28  | 26  | 26  | 22  | 25  | 28  |     |     |    |    |    | 176   | 232   |
| 血液内科       | 入院 | 61  | 69  | 63  | 58  | 66  | 58  | 63  |     |     |    |    |    | 438   | 469   |
|            | 退院 | 63  | 65  | 65  | 53  | 71  | 54  | 68  |     |     |    |    |    | 439   | 469   |
| 腎臓内科       | 入院 | 31  | 25  | 29  | 41  | 24  | 33  | 24  |     |     |    |    |    | 207   | 251   |
|            | 退院 | 26  | 28  | 31  | 36  | 29  | 36  | 24  |     |     |    |    |    | 210   | 263   |
| リウマチ・膠原病内科 | 入院 | 8   | 10  | 8   | 11  | 14  | 4   | 10  |     |     |    |    |    | 65    |       |
|            | 退院 | 12  | 11  | 11  | 12  | 10  | 11  | 10  |     |     |    |    |    | 77    |       |
| 脳神経内科      | 入院 | 36  | 45  | 40  | 43  | 45  | 38  | 36  |     |     |    |    |    | 283   | 283   |
|            | 退院 | 44  | 38  | 38  | 42  | 38  | 41  | 33  |     |     |    |    |    | 274   | 260   |
| 呼吸器内科      | 入院 | 21  | 27  | 32  | 40  | 29  | 21  | 28  |     |     |    |    |    | 198   | 170   |
|            | 退院 | 20  | 28  | 29  | 38  | 32  | 26  | 19  |     |     |    |    |    | 192   | 171   |
| 腫瘍内科       | 入院 | 11  | 16  | 13  | 13  | 15  | 10  | 7   |     |     |    |    |    | 85    | 125   |
|            | 退院 | 14  | 10  | 16  | 13  | 14  | 15  | 6   |     |     |    |    |    | 88    | 128   |
| 外科         | 入院 | 59  | 39  | 55  | 65  | 62  | 46  | 56  |     |     |    |    |    | 382   | 426   |
|            | 退院 | 63  | 48  | 48  | 58  | 62  | 50  | 57  |     |     |    |    |    | 386   | 436   |
| 呼吸器外科      | 入院 | 11  | 9   | 8   | 14  | 8   | 6   | 6   |     |     |    |    |    | 62    | 56    |
|            | 退院 | 13  | 11  | 9   | 10  | 15  | 3   | 6   |     |     |    |    |    | 67    | 53    |
| 整形外科       | 入院 | 42  | 35  | 35  | 47  | 51  | 33  | 52  |     |     |    |    |    | 295   | 342   |
|            | 退院 | 29  | 32  | 34  | 46  | 43  | 32  | 45  |     |     |    |    |    | 261   | 304   |
| 形成再建外科     | 入院 | 15  | 19  | 15  | 19  | 20  | 25  | 27  |     |     |    |    |    | 140   | 126   |
|            | 退院 | 16  | 17  | 15  | 25  | 15  | 25  | 26  |     |     |    |    |    | 139   | 128   |
| 脳神経外科      | 入院 | 22  | 16  | 21  | 23  | 18  | 19  | 26  |     |     |    |    |    | 145   | 158   |
|            | 退院 | 16  | 17  | 17  | 22  | 23  | 15  | 17  |     |     |    |    |    | 127   | 147   |
| 心臓血管外科     | 入院 | 8   | 7   | 6   | 7   | 8   | 3   | 8   |     |     |    |    |    | 47    | 60    |
|            | 退院 | 11  | 9   | 6   | 7   | 10  | 4   | 6   |     |     |    |    |    | 53    | 59    |
| 皮膚科        | 入院 |     |     | 1   | 1   | 2   | 1   |     |     |     |    |    |    | 5     | 1     |
|            | 退院 |     |     | 1   | 1   | 1   |     |     |     |     |    |    |    | 3     |       |
| 泌尿器科       | 入院 | 47  | 62  | 55  | 49  | 47  | 56  | 48  |     |     |    |    |    | 364   | 304   |
|            | 退院 | 53  | 52  | 60  | 53  | 47  | 55  | 56  |     |     |    |    |    | 376   | 308   |
| 婦人科        | 入院 | 40  | 32  | 35  | 22  | 30  | 21  | 28  |     |     |    |    |    | 208   | 225   |
|            | 退院 | 45  | 26  | 41  | 24  | 27  | 20  | 29  |     |     |    |    |    | 212   | 231   |
| 眼科         | 入院 | 8   | 20  | 21  | 33  | 13  | 22  | 32  |     |     |    |    |    | 149   | 181   |
|            | 退院 | 8   | 19  | 21  | 30  | 13  | 26  | 28  |     |     |    |    |    | 145   | 177   |
| 耳鼻咽喉科      | 入院 | 31  | 28  | 38  | 37  | 41  | 34  | 35  |     |     |    |    |    | 244   | 235   |
|            | 退院 | 30  | 27  | 40  | 36  | 39  | 35  | 38  |     |     |    |    |    | 245   | 240   |
| リハビリテーション科 | 入院 | 5   | 5   | 10  | 2   | 7   | 2   | 6   |     |     |    |    |    | 37    | 34    |
|            | 退院 | 13  | 19  | 15  | 12  | 16  | 14  | 12  |     |     |    |    |    | 101   | 101   |
| 放射線科       | 入院 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |       |       |
|            | 退院 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |       |       |
| 救急部        | 入院 | 2   |     | 1   | 1   |     | 1   |     |     |     |    |    |    | 5     | 9     |
|            | 退院 |     |     |     |     |     |     | 1   |     |     |    |    |    | 1     | 2     |
| 麻酔科        | 入院 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |       |       |
|            | 退院 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |       |       |
| 合計         | 入院 | 673 | 681 | 702 | 742 | 693 | 645 | 692 |     |     |    |    |    | 4,828 | 4,921 |
|            | 退院 | 695 | 650 | 710 | 720 | 702 | 677 | 672 |     |     |    |    |    | 4,826 | 4,914 |
| (実数)       | 入院 | 648 | 649 | 670 | 706 | 670 | 621 | 663 |     |     |    |    |    | 4,627 | 4,711 |

## 2022年度 病棟別患者数動向と平均在院日数および病床回転率

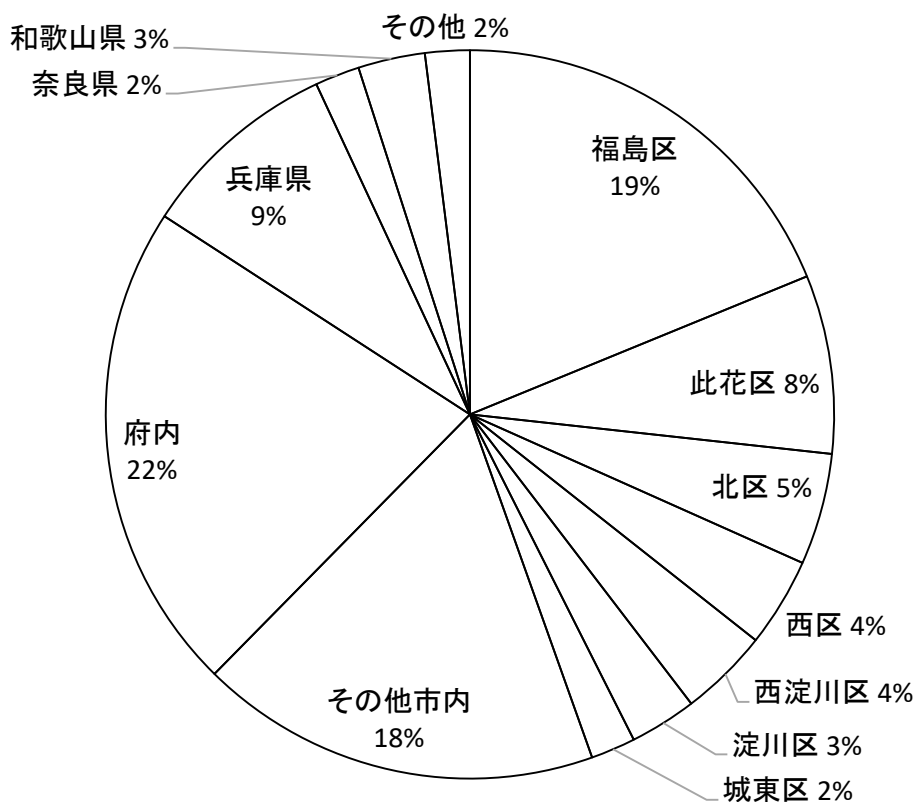
⑧

| 病棟               |              | 4月     | 5月    | 6月    | 7月    | 8月     | 9月    | 10月    | 11月   | 12月   | 1月     | 2月     | 3月     | 年度     | 前年同期間  |
|------------------|--------------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 9F<br>病床数<br>44  | 24時在院患者延べ数   | 689    | 697   | 774   | 821   | 895    | 818   | 787    | 808   | 727   | 741    | 730    | 916    | 9,403  | 8,828  |
|                  | 入院患者数        | 59     | 53    | 54    | 65    | 66     | 49    | 61     | 55    | 61    | 76     | 65     | 75     | 739    | 751    |
|                  | 転入患者数        | 16     | 16    | 17    | 23    | 26     | 18    | 21     | 20    | 18    | 24     | 28     | 22     | 249    | 157    |
|                  | 退院患者数        | 61     | 41    | 46    | 64    | 70     | 56    | 63     | 63    | 75    | 74     | 69     | 83     | 765    | 695    |
|                  | (うち、同日入院)    | 0      | 0     | 0     | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0     | 3      | 0      | 0      | 3      | 4      |
|                  | 転出患者数        | 21     | 19    | 22    | 27    | 21     | 16    | 13     | 12    | 23    | 10     | 18     | 17     | 219    | 217    |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 58.4%  | 55.5% | 63.8% | 66.9% | 72.3%  | 67.4% | 63.3%  | 66.9% | 60.5% | 60.5%  | 66.3%  | 74.5%  | 64.7%  | 60.6%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 8.8    | 10.9  | 11.2  | 9.2   | 9.7    | 11.7  | 9.9    | 10.7  | 8.3   | 7.9    | 8.0    | 9.2    | 9.5    | 9.8    |
|                  | 病床回転率        | 3.4    | 2.9   | 2.7   | 3.4   | 3.2    | 2.6   | 3.1    | 2.8   | 3.7   | 3.9    | 3.5    | 3.4    | 3.2    | 3.1    |
| 10F<br>病床数<br>41 | 24時在院患者延べ数   | 687    | 772   | 877   | 916   | 647    | 730   | 716    | 636   | 784   | 840    | 802    | 892    | 9,299  | 10,729 |
|                  | 入院患者数        | 101    | 137   | 123   | 115   | 91     | 114   | 107    | 85    | 105   | 116    | 99     | 139    | 1,332  | 1,523  |
|                  | 転入患者数        | 35     | 23    | 39    | 43    | 33     | 26    | 24     | 31    | 32    | 24     | 25     | 25     | 360    | 398    |
|                  | 退院患者数        | 117    | 128   | 121   | 133   | 99     | 117   | 121    | 93    | 130   | 101    | 110    | 128    | 1,398  | 1,614  |
|                  | (うち、同日入院)    | 1      | 0     | 0     | 1     | 1      | 0     | 2      | 0     | 0     | 0      | 0      | 0      | 5      | 11     |
|                  | 転出患者数        | 25     | 25    | 35    | 35    | 22     | 24    | 13     | 19    | 22    | 20     | 19     | 32     | 291    | 315    |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 67.4%  | 72.8% | 84.0% | 85.3% | 60.4%  | 70.8% | 66.9%  | 60.8% | 73.6% | 75.6%  | 81.1%  | 82.8%  | 73.4%  | 84.6%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 4.9    | 4.9   | 5.5   | 5.6   | 5.2    | 5.2   | 5.3    | 5.5   | 5.4   | 6.4    | 6.3    | 5.5    | 5.5    | 5.5    |
|                  | 病床回転率        | 6.2    | 6.3   | 5.5   | 5.6   | 6.0    | 5.8   | 5.8    | 5.5   | 5.8   | 4.8    | 4.4    | 5.6    | 5.6    | 5.5    |
| 11F<br>病床数<br>44 | 24時在院患者延べ数   | 1,090  | 1,192 | 1,186 | 1,123 | 1,078  | 1,071 | 1,085  | 1,056 | 1,052 | 878    | 1,043  | 1,128  | 12,982 | 13,223 |
|                  | 入院患者数        | 80     | 60    | 66    | 62    | 91     | 75    | 72     | 67    | 62    | 57     | 66     | 76     | 834    | 847    |
|                  | 転入患者数        | 19     | 11    | 7     | 18    | 9      | 10    | 4      | 4     | 6     | 14     | 9      | 7      | 118    | 113    |
|                  | 退院患者数        | 61     | 60    | 64    | 69    | 81     | 67    | 52     | 63    | 66    | 38     | 53     | 75     | 749    | 798    |
|                  | (うち、同日入院)    | 1      | 0     | 2     | 0     | 0      | 1     | 0      | 1     | 0     | 1      | 0      | 0      | 6      | 14     |
|                  | 転出患者数        | 19     | 14    | 12    | 14    | 17     | 19    | 21     | 14    | 11    | 23     | 15     | 18     | 197    | 187    |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 88.6%  | 92.8% | 95.6% | 88.4% | 86.2%  | 87.7% | 84.9%  | 85.8% | 82.8% | 68.8%  | 90.2%  | 89.5%  | 86.7%  | 88.4%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 12.2   | 16.5  | 16.0  | 13.7  | 11.0   | 12.6  | 14.8   | 14.4  | 14.6  | 13.5   | 14.7   | 12.9   | 13.8   | 13.7   |
|                  | 病床回転率        | 2.5    | 1.9   | 1.9   | 2.3   | 2.8    | 2.4   | 2.1    | 2.1   | 2.1   | 2.3    | 1.9    | 2.4    | 2.2    | 2.2    |
| 12F<br>病床数<br>44 | 24時在院患者延べ数   | 1,024  | 1,020 | 1,029 | 1,076 | 983    | 1,045 | 939    | 949   | 890   | 875    | 915    | 1,065  | 11,810 | 11,663 |
|                  | 入院患者数        | 99     | 105   | 123   | 124   | 120    | 115   | 114    | 112   | 88    | 108    | 101    | 120    | 1,329  | 1,217  |
|                  | 転入患者数        | 23     | 25    | 16    | 15    | 12     | 15    | 16     | 14    | 21    | 16     | 20     | 21     | 214    | 214    |
|                  | 退院患者数        | 99     | 109   | 127   | 124   | 105    | 107   | 117    | 102   | 101   | 89     | 93     | 114    | 1,287  | 1,219  |
|                  | (うち、同日入院)    | 1      | 1     | 2     | 1     | 4      | 4     | 4      | 0     | 3     | 2      | 1      | 2      | 25     | 24     |
|                  | 転出患者数        | 26     | 18    | 16    | 16    | 23     | 23    | 24     | 21    | 18    | 25     | 20     | 26     | 256    | 202    |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 87.0%  | 84.1% | 88.8% | 89.1% | 81.5%  | 89.0% | 79.2%  | 81.2% | 74.0% | 72.5%  | 83.4%  | 88.3%  | 83.1%  | 81.5%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 8.3    | 7.9   | 7.3   | 7.7   | 7.7    | 8.1   | 7.0    | 7.7   | 7.8   | 7.4    | 7.8    | 7.6    | 7.7    | 8.2    |
|                  | 病床回転率        | 3.6    | 3.9   | 4.1   | 4.0   | 4.0    | 3.7   | 4.4    | 3.9   | 4.0   | 4.2    | 3.6    | 4.1    | 4.0    | 3.7    |
| 13F<br>病床数<br>43 | 24時在院患者延べ数   | 938    | 961   | 990   | 900   | 946    | 912   | 914    | 969   | 913   | 842    | 818    | 929    | 11,032 | 11,482 |
|                  | 入院患者数        | 137    | 160   | 143   | 159   | 139    | 111   | 107    | 112   | 105   | 101    | 115    | 116    | 1,505  | 1,644  |
|                  | 転入患者数        | 15     | 7     | 7     | 11    | 20     | 8     | 14     | 9     | 14    | 14     | 12     | 9      | 140    | 143    |
|                  | 退院患者数        | 141    | 147   | 142   | 163   | 125    | 118   | 105    | 113   | 114   | 91     | 117    | 121    | 1,497  | 1,657  |
|                  | (うち、同日入院)    | 12     | 13    | 11    | 12    | 8      | 7     | 3      | 14    | 9     | 14     | 12     | 8      | 123    | 162    |
|                  | 転出患者数        | 15     | 17    | 6     | 17    | 25     | 7     | 6      | 10    | 20    | 8      | 11     | 12     | 154    | 129    |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 84.8%  | 84.4% | 88.2% | 81.0% | 82.2%  | 80.4% | 76.9%  | 84.7% | 78.5% | 70.6%  | 78.6%  | 79.7%  | 80.8%  | 84.5%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 6.2    | 5.9   | 6.7   | 5.2   | 6.2    | 7.5   | 7.8    | 8.1   | 7.3   | 7.9    | 6.5    | 7.3    | 6.8    | 6.4    |
|                  | 病床回転率        | 4.9    | 5.2   | 4.5   | 5.9   | 5.0    | 4.0   | 4.0    | 3.7   | 4.2   | 3.9    | 4.3    | 4.3    | 4.5    | 4.7    |
| 14F<br>病床数<br>44 | 24時在院患者延べ数   | 1,184  | 1,201 | 1,202 | 1,255 | 1,158  | 1,105 | 1,143  | 1,151 | 1,093 | 1,108  | 893    | 703    | 13,196 | 12,496 |
|                  | 入院患者数        | 64     | 57    | 66    | 60    | 56     | 50    | 47     | 61    | 53    | 46     | 39     | 36     | 635    | 593    |
|                  | 転入患者数        | 19     | 15    | 11    | 7     | 17     | 12    | 21     | 18    | 15    | 14     | 2      | 31     | 182    | 164    |
|                  | 退院患者数        | 66     | 74    | 70    | 61    | 71     | 63    | 82     | 71    | 73    | 50     | 44     | 43     | 748    | 708    |
|                  | (うち、同日入院)    | 0      | 0     | 0     | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 4      |
|                  | 転出患者数        | 10     | 1     | 4     | 8     | 6      | 0     | 5      | 9     | 4     | 0      | 18     | 7      | 72     | 53     |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 95.5%  | 93.5% | 96.7% | 97.1% | 90.5%  | 88.5% | 88.7%  | 93.3% | 85.8% | 84.9%  | 77.5%  | 55.2%  | 87.3%  | 82.5%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 14.8   | 16.1  | 15.8  | 18.5  | 15.3   | 17.5  | 16.7   | 14.4  | 14.9  | 19.9   | 17.7   | 11.6   | 16.0   | 16.3   |
|                  | 病床回転率        | 2.0    | 1.9   | 1.9   | 1.7   | 2.0    | 1.7   | 1.9    | 2.1   | 2.1   | 1.6    | 1.6    | 2.7    | 1.9    | 1.9    |
| 15F<br>病床数<br>44 | 24時在院患者延べ数   | 1,124  | 1,192 | 1,150 | 1,150 | 939    | 1,126 | 1,028  | 1,030 | 1,075 | 1,043  | 1,053  | 1,170  | 13,080 | 13,047 |
|                  | 入院患者数        | 76     | 77    | 94    | 68    | 76     | 84    | 96     | 108   | 74    | 92     | 74     | 78     | 997    | 1,115  |
|                  | 転入患者数        | 12     | 12    | 9     | 14    | 26     | 18    | 5      | 8     | 16    | 8      | 8      | 13     | 149    | 96     |
|                  | 退院患者数        | 77     | 77    | 94    | 78    | 72     | 93    | 86     | 98    | 87    | 64     | 66     | 92     | 984    | 1,051  |
|                  | (うち、同日入院)    | 1      | 1     | 0     | 0     | 1      | 1     | 1      | 1     | 1     | 0      | 0      | 0      | 7      | 13     |
|                  | 転出患者数        | 8      | 9     | 14    | 7     | 24     | 11    | 21     | 14    | 10    | 24     | 11     | 9      | 162    | 159    |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 91.6%  | 93.7% | 95.3% | 90.5% | 75.9%  | 93.2% | 83.2%  | 86.5% | 85.9% | 82.9%  | 91.7%  | 93.2%  | 88.6%  | 88.8%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 13.0   | 13.6  | 10.9  | 13.7  | 9.5    | 10.9  | 10.0   | 9.1   | 11.4  | 11.3   | 13.3   | 12.1   | 11.4   | 10.8   |
|                  | 病床回転率        | 2.3    | 2.3   | 2.7   | 2.3   | 3.3    | 2.8   | 3.1    | 3.3   | 2.7   | 2.8    | 2.1    | 2.6    | 2.7    | 2.8    |
| 16F<br>病床数<br>42 | 24時在院患者延べ数   | 642    | 665   | 763   | 809   | 856    | 731   | 687    | 691   | 737   | 752    | 674    | 803    | 8,810  | 7,937  |
|                  | 入院患者数        | 57     | 48    | 49    | 43    | 60     | 39    | 41     | 36    | 37    | 49     | 40     | 52     | 551    | 604    |
|                  | 転入患者数        | 14     | 15    | 15    | 17    | 23     | 25    | 14     | 23    | 22    | 19     | 28     | 18     | 233    | 152    |
|                  | 退院患者数        | 46     | 45    | 50    | 41    | 58     | 47    | 43     | 35    | 42    | 39     | 43     | 51     | 540    | 589    |
|                  | (うち、同日入院)    | 1      | 0     | 0     | 0     | 0      | 0     | 0      | 1     | 1     | 0      | 0      | 0      | 3      | 6      |
|                  | 転出患者数        | 25     | 14    | 13    | 17    | 26     | 20    | 13     | 24    | 21    | 23     | 21     | 22     | 239    | 166    |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 56.6%  | 55.6% | 65.6% | 66.6% | 72.2%  | 63.3% | 57.1%  | 59.5% | 61.4% | 62.5%  | 62.8%  | 67.3%  | 62.6%  | 56.7%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 9.2    | 10.9  | 12.0  | 13.7  | 10.3   | 11.1  | 12.4   | 11.7  | 12.1  | 11.6   | 10.1   | 11.3   | 11.3   | 10.5   |
|                  | 病床回転率        | 3.3    | 2.8   | 2.5   | 2.3   | 3.0    | 2.7   | 2.5    | 2.6   | 2.6   | 2.7    | 2.8    | 2.7    | 2.7    | 2.9    |
| 17F<br>病床数<br>44 | 24時在院患者延べ数   | 1,165  | 1,217 | 1,210 | 1,175 | 1,161  | 934   | 1,069  | 1,179 | 1,138 | 1,044  | 1,044  | 1,091  | 13,427 | 13,584 |
|                  | 入院患者数        | 5      | 6     | 2     | 2     | 5      | 7     | 7      | 4     | 3     | 8      | 5      | 9      | 63     | 93     |
|                  | 転入患者数        | 11     | 12    | 11    | 11    | 14     | 11    | 12     | 12    | 8     | 13     | 16     | 17     | 148    | 132    |
|                  | 退院患者数        | 19     | 12    | 15    | 12    | 12     | 22    | 9      | 12    | 15    | 18     | 20     | 18     | 184    | 200    |
|                  | (うち、同日入院)    | 0      | 0     | 0     | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|                  | 転出患者数        | 2      | 0     | 1     | 2     | 2      | 7     | 1      | 3     | 3     | 1      | 6      | 5      | 33     | 19     |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 89.8%  | 90.1% | 92.9% | 87.2% | 86.1%  | 73.0% | 79.1%  | 90.5% | 84.8% | 77.9%  | 86.9%  | 81.7%  | 85.0%  | 85.9%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 62.5   | 80.3  | 82.8  | 86.4  | 69.6   | 39.6  | 73.0   | 75.5  | 78.1  | 51.6   | 44.0   | 44.0   | 62.2   | 60.7   |
|                  | 病床回転率        | 0.5    | 0.4   | 0.4   | 0.4   | 0.4    | 0.8   | 0.4    | 0.4   | 0.4   | 0.6    | 0.6    | 0.7    | 0.5    | 0.5    |
| ICU<br>病床数<br>6  | 24時在院患者延べ数   | 138    | 136   | 105   | 135   | 150    | 112   | 152    | 123   | 132   | 164    | 140    | 151    | 1,638  | 1,557  |
|                  | 入院患者数        | 14     | 18    | 14    | 20    | 15     | 14    | 19     | 11    | 21    | 13     | 15     | 16     | 190    | 146    |
|                  | 転入患者数        | 30     | 25    | 35    | 30    | 28     | 22    | 23     | 27    | 20    | 22     | 31     | 32     | 325    | 311    |
|                  | 退院患者数        | 2      | 1     | 4     | 2     | 1      | 0     | 2      | 2     | 1     | 2      | 4      | 2      | 23     | 21     |
|                  | (うち、同日入院)    | 0      | 0     | 1     | 1     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0     | 0      | 1      | 0      | 3      | 2      |
|                  | 転出患者数        | 42     | 43    | 45    | 47    | 40     | 38    | 39     | 37    | 40    | 33     | 41     | 47     | 492    | 436    |
|                  | 病床稼働率(退院転科含) | 101.1% | 96.8% | 85.6% | 98.9% | 102.7% | 83.3% | 103.8% | 90.0% | 93.0% | 107.0% | 110.1% | 107.5% | 98.3%  | 92.0%  |
|                  | 単月の平均在院日数    | 3.4    | 3.5   | 2.4   | 3.1   | 3.9    | 3.5   | 4.0    | 3.5   | 3.7   | 5.0    | 3.3    | 3.4    | 3.5    | 3.7    |
|                  | 病床回転率        | 8.8    | 8.8   | 12.7  | 10.0  | 8.0    | 8.7   | 7.7    | 8.7   | 8.4   | 6.2    | 8.4    | 9.1    | 8.7    | 8.3    |
| HCU<br>病床数<br>4  | 24時在院患者延べ数   | 81     | 95    | 90    | 95    | 83     | 83    | 88     | 79    | 82    | 92     | 85     | 96     | 1,049  | 437    |
|                  | 入院患者数        | 1      | 2     | 1     | 0     | 1      | 1     | 2      | 6     | 0     | 0      | 0      | 0      | 14     | 5      |

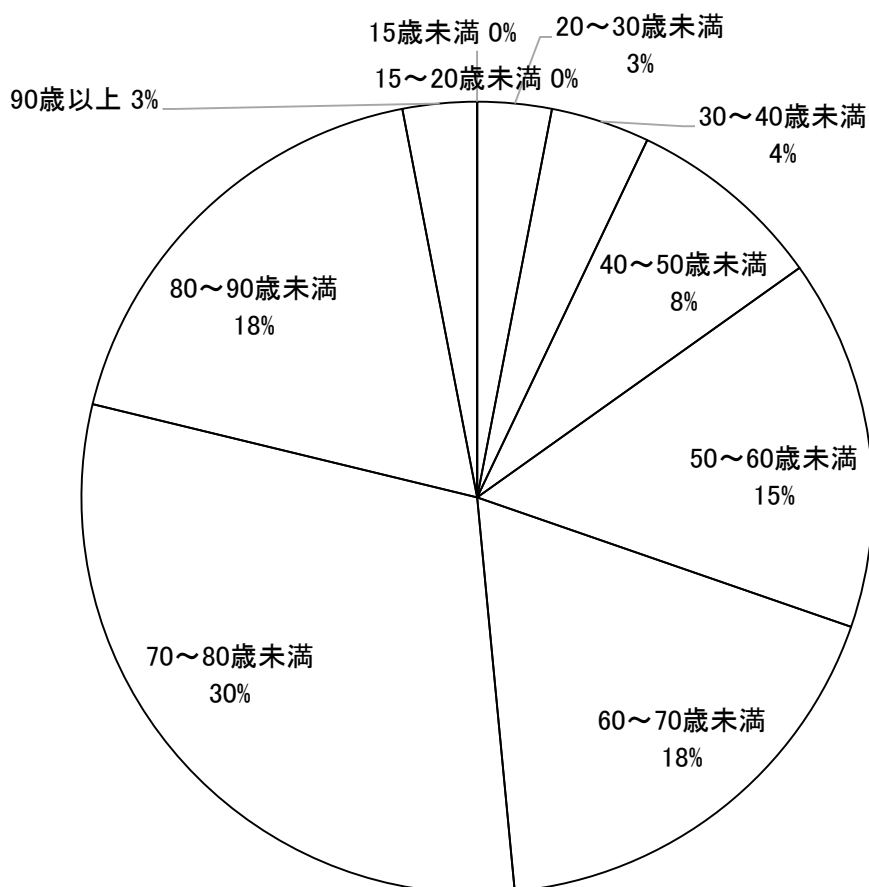
病棟別病床稼働率



入院患者の診療圏



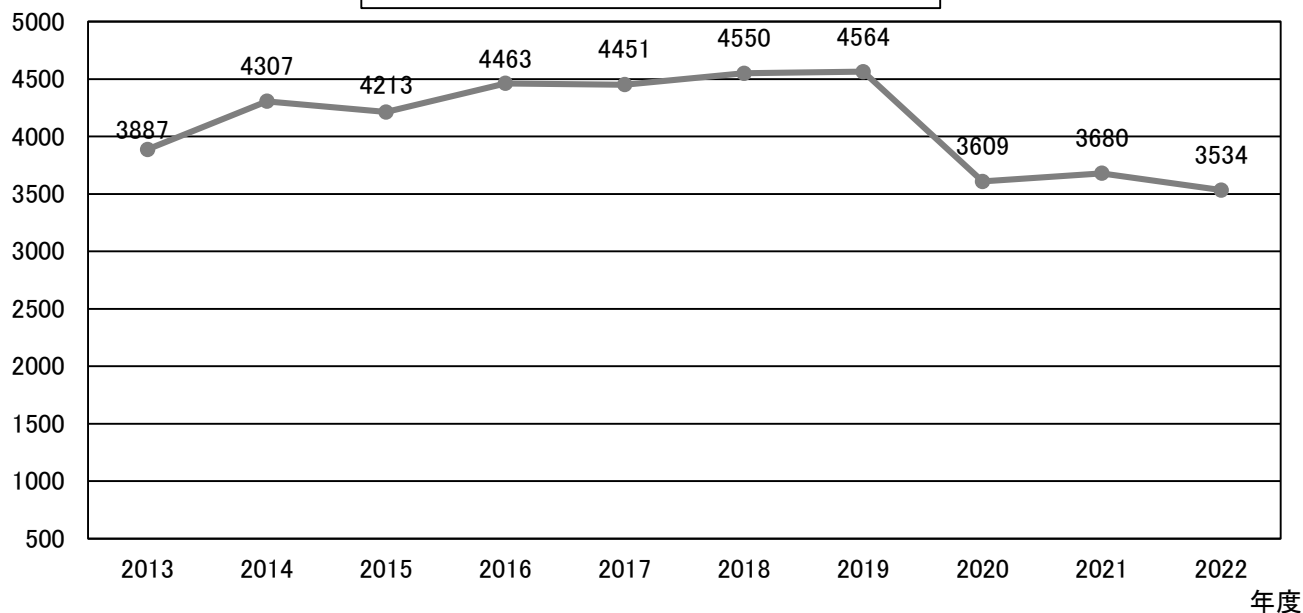
入院患者の年齢別構成



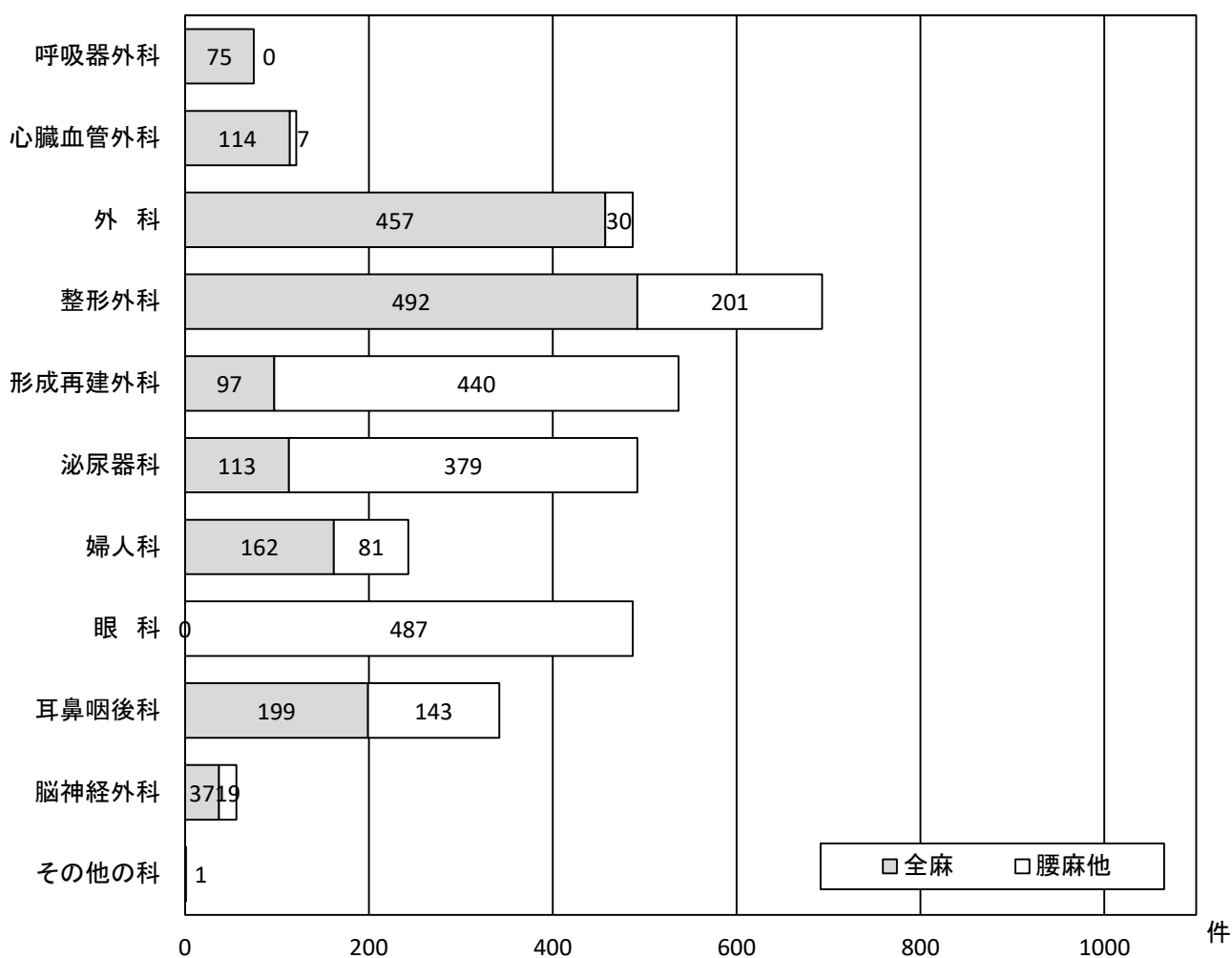


#### 4. 手術の状況

手術件数の推移(手術室で実施した手術)



手術実績(手術室で実施した手術)





# 各科別診療等実績報告

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 安全管理室              | 24  |
| 感染管理室              | 26  |
| 循環器内科              | 27  |
| 消化器内科・肝胆膵内科・内視鏡部   | 31  |
| 糖尿病・代謝・内分泌センター     | 34  |
| 血液内科               | 40  |
| 腎臓内科               | 43  |
| リウマチ・膠原病内科         | 46  |
| 腫瘍内科               | 48  |
| 呼吸器内科              | 50  |
| 脳神経内科              | 52  |
| 心療内科・神経科           | 55  |
| 緩和医療科              | 57  |
| 呼吸器外科              | 58  |
| 消化器外科              | 60  |
| 乳腺外科               | 64  |
| 心臓血管外科             | 66  |
| 脊椎外科・手外科・整形外科      | 68  |
| リハビリテーション科         | 82  |
| 皮膚科                | 87  |
| 形成再建外科             | 88  |
| 脳神経外科              | 90  |
| 泌尿器科               | 93  |
| 婦人科                | 95  |
| 眼科                 | 97  |
| 耳鼻咽喉科              | 99  |
| 放射線診断科・放射線治療科・放射線部 | 101 |
| 麻酔科                | 106 |
| 病理診断科・病理部          | 108 |
| 救急集中治療科            | 111 |
| 外来化学療法室            | 115 |
| 臨床工学部              | 117 |
| 看護部                | 122 |
| 薬剤部                | 134 |
| 臨床検査部              | 148 |
| 手術部                | 153 |
| 疾病栄養治療センター・栄養管理室   | 154 |
| 地域医療支援センター         | 160 |
| 情報システム部            | 161 |
| 臨床研修部              | 163 |

# 安全管理室

## [スタッフ]

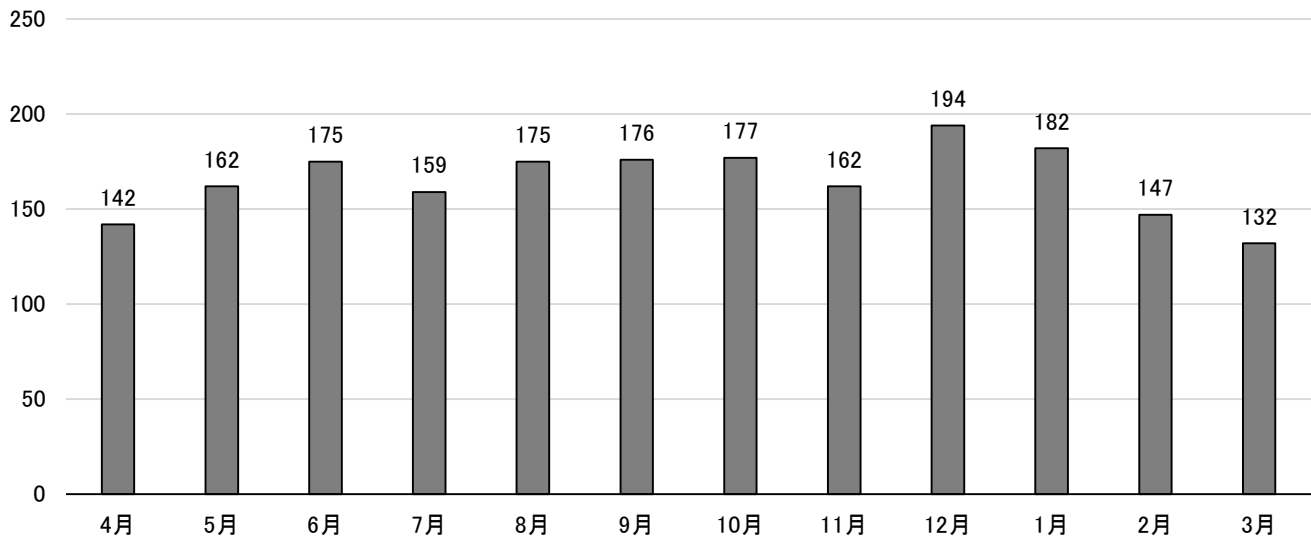
室 長：河本 泉(兼任)  
副室長：山田 祐一郎(兼任)、山口 友子  
担 当：古宮 俊幸(兼任)、濱口 良彦(兼任)、芥川 浩二(兼任)  
西井 弘美(兼任)、益崎 誠治(兼任)

## [活動実績]

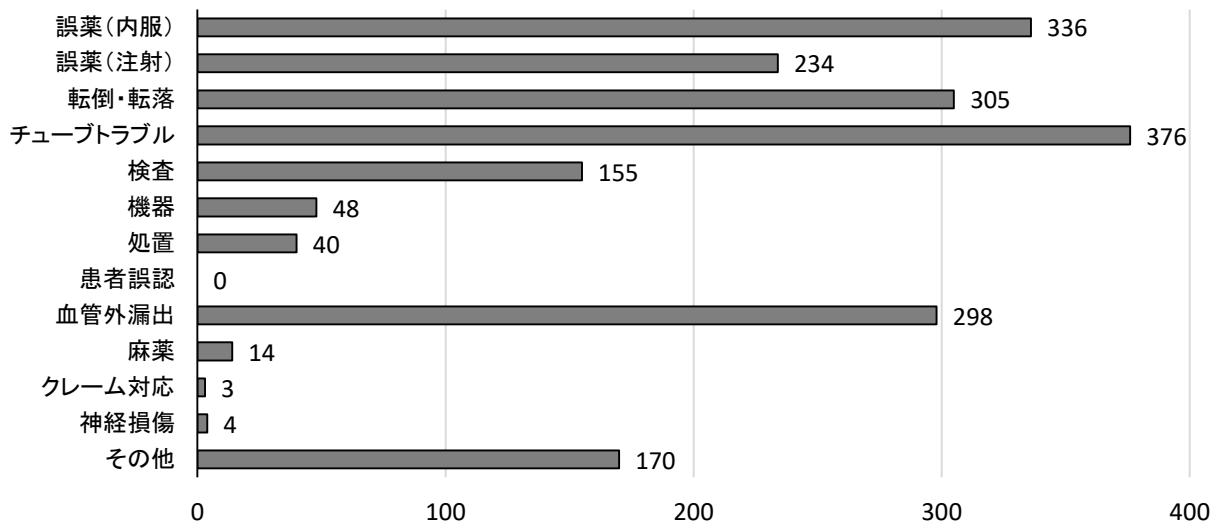
| 日時     | 項目           | 内容                    |
|--------|--------------|-----------------------|
| 4月4日   | 医療安全講演(研修)開催 | 新人研修「医療安全」            |
| 4月19日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 4月25日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 5月17日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 5月23日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 6月21日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 6月27日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 7月19日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 7月25日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 8月16日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 8月22日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 9月20日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 9月26日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 10月18日 | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 10月24日 | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 11月15日 | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 11月28日 | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 11月28日 | 医療安全動画研修開催   | 医療安全に関する動画研修          |
| 12月26日 | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 1月17日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 1月23日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 2月21日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 2月27日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |
| 3月14日  | 医療安全管理委員会    | 安全管理室の活動報告、インシデント報告、他 |
| 3月27日  | 医療安全対策委員会    | インシデント報告、安全関連の情報共有、他  |

[インシデント発生状況]

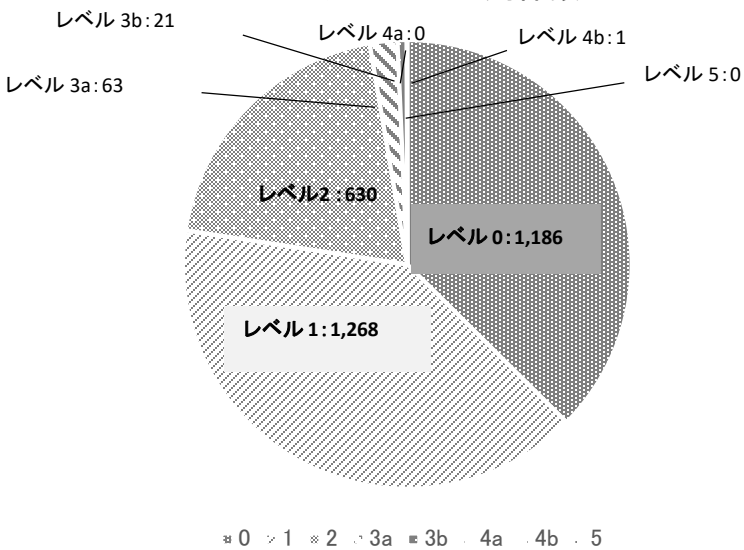
2022年度 インシデント報告件数(n=1,983)



事象別 インシデント報告件数(n=1,983)



インシデントレベル別件数



# 感染管理室

## [スタッフ]

室 長： 清地秀典

副室長： 山田祐一郎、小松美雪(専任)

担 当： 眞継賢一、上田浩貴、高崎奈津希、有島友美、坂口健治、山口拓郎、西浦 徹、表 孝徳、館 秀和、井尾克宏、佐藤 雄、原口卓也、中谷 晋、山崎裕自、井村将大、大石勝美

## [活動実績]

|            |                                   |                                         |
|------------|-----------------------------------|-----------------------------------------|
| ①感染対策ラウンド  |                                   |                                         |
|            | 毎週木曜日                             | 環境ラウンド                                  |
|            | 毎週木曜日                             | 抗菌薬適正使用 耐性菌 検討会                         |
|            | 毎週金曜日                             | 抗菌薬適正使用 耐性菌 ラウンド                        |
|            | 年4回                               | 感染対策向上加算連携施設ラウンド(大阪整形外科病院 2回、フジタ病院 2回)  |
| ②対策会議      |                                   |                                         |
|            | 月1回                               | 院内感染対策委員会                               |
|            | 月1回                               | ICT全体 ミーティング                            |
|            | 週1回＋適宜                            | 新型コロナウイルス感染症対策本部会議                      |
|            | 適宜                                | 新型コロナウイルスワクチンWG会議                       |
|            | 年4回                               | 感染対策向上加算カンファレンス 1-3連携(大阪整形外科病院、フジタ病院)   |
|            | 年1回                               | 感染対策向上加算 1-1加算施設相互チェック                  |
|            |                                   | 訪問:住友病院 来院:JCHO大阪病院                     |
| ③研修会       |                                   |                                         |
|            | 年2回                               | 全職員対象感染対策研修会(Web動画研修)                   |
|            |                                   | テーマ:「リハビリテーション部門の感染対策の取り組み」、「インフルエンザ対策」 |
|            | 年1回                               | 個人防護服着脱研修会(全職員対象(事務関連除く))               |
| ④広 報       |                                   |                                         |
|            | 月1回                               | ICT news                                |
|            | 年1回                               | アンチバイオグラム作成                             |
|            | 随時更新                              | 院内感染対策マニュアル                             |
| ⑤症例登録      |                                   |                                         |
|            | 月1回                               | 厚生労働省院内感染対策サーベイランス (全入院部門、検査部門)         |
|            | 年2回                               | 厚生労働省院内感染対策サーベイランス (SSI)                |
| ⑥院内感染症発生介入 |                                   |                                         |
|            | 随時                                | 各種耐性菌 新型コロナウイルス など                      |
| ⑦職業感染対策    |                                   |                                         |
|            | 各種ワクチン接種                          |                                         |
|            | 針刺し等事故対策                          |                                         |
|            | 感染症に関連する就業制限の実施、PCRおよび抗原定量検査実施の推進 |                                         |
|            | その他感染症に関連する就業制限の実施                |                                         |

## [学会等発表]

| 会名称                 |         | 参加形態・発表テーマ                          | 発表者  |
|---------------------|---------|-------------------------------------|------|
| 日時                  | 場所      |                                     |      |
| 第37回日本環境感染学会総会・学術集会 |         | ニルマトレビル錠／リトナビル錠の薬剤部門システムにおける併用禁忌の確立 | 眞継賢一 |
| 2022年6月16日          | パシフィコ横浜 |                                     |      |

## [論文]

| 著者                                  | タイトル                                       | 掲載誌名                                        |       |
|-------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------|-------|
|                                     |                                            | 掲載号・ページ                                     | 掲載年   |
| 小栢美雪、井尾克宏、清地秀典、眞継賢一、有島友美、鎗野りか、山田祐一郎 | 急性期病院におけるバンコマイシン耐性腸球菌のアウトブレイクとその感染制御に関する報告 | 国立感染症研究所 厚生労働省健康局 結核感染症課 病原微生物検出情報(IASR) 月報 |       |
|                                     |                                            | Vol.43No.8(No.510)21-22                     | 2022年 |
|                                     |                                            |                                             |       |

# 循環器内科・心血管治療部

## [医師] (R5.3末時)

|      |        |                                                                                                                                   |
|------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長: | 加地 修一郎 | (H5年卒 京都大学医学部)<br>京都大学医学博士、日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、<br>日本循環器学会(FJCS・専門医・近畿支部評議員)、日本心血管インターベンション治療学会専門医、<br>日本超音波学会(専門医・指導医)、日本脈管学会専門医 |
| 部 長: | 浅田 聡   | (H12年卒 京都府立医科大学医学部)<br>京都府立医科大学医学博士、日本内科学会(総合内科専門医)、日本循環器学会専門医、<br>日本心血管インターベンション治療学会(専門医・指導医)                                    |
| 医 長: | 木下 美菜子 | 京都大学医学博士、日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、日本循環器学会(専門医)                                                                                         |
| 医 長: | 宮川 浩太郎 | 京都府立医科大学医学博士、日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、日本循環器学会(専門医)<br>日本血管インターベンション治療学会(認定医)                                                           |
| 医 長: | 早野 護   | 京都大学医学博士、日本内科学会(認定医)、日本循環器学会(専門医)                                                                                                 |
| 医 長: | 宇佐美 俊輔 | 京都大学医学博士、日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、日本循環器学会(専門医)、<br>日本核医学会(核医学専門医)                                                                      |
| 医 長: | 羽溪 健   | 京都大学医学博士、日本内科学会(総合内科専門医)、日本循環器学会(専門医)                                                                                             |
| 医 員: | 青野 佑哉  | 日本内科学会(認定医)、日本循環器学会(専門医)                                                                                                          |
| 医 員: | 瀬尾 英伸  | 日本内科学会(専門医)                                                                                                                       |

## [診療日程] (R5.3末時)

| 月           |    | 火  |    | 水           |    | 木   |     | 金           |             | 土  |
|-------------|----|----|----|-------------|----|-----|-----|-------------|-------------|----|
| 午前          | 午後 | 午前 | 午後 | 午前          | 午後 | 午前  | 午後  | 午前          | 午後          | 午前 |
| 加地          | 加地 | 浅田 | 浅田 | 木下          | 木下 | 石井  | 石井  | 加地          | 加地          |    |
| 宮川          | 宮川 | 羽溪 | 羽溪 | 早野<br>[不整脈] |    | 宇佐美 | 宇佐美 | 早野<br>[不整脈] | 早野<br>[不整脈] |    |
| 早野<br>[不整脈] |    |    |    | 瀬尾          | 瀬尾 |     |     | 青野          | 青野          |    |

## [診療概要]

当科は、“**心血管疾患を持つ患者さんに安全で質の高い医療を提供する**”ことを目標とし、心臓血管外科協調して以下の心血管疾患に対する診療を行っています。

- 虚血性心疾患(急性冠症候群、狭心症など)
- 弁膜症疾患(大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症など)
- 不整脈疾患(心房細動、心室頻拍、心室細動など)
- 大動脈疾患、末梢動脈疾患(急性大動脈解離、胸部・腹部大動脈瘤、下肢閉塞性動脈硬化症など)
- 肺動脈疾患(肺塞栓症、肺高血圧症など)
- 心不全(急性・慢性心不全など)
- 静脈疾患(深部静脈血栓症など)

当科では上記疾患を持つ患者さんを24時間体制で受け入れています。近年、多職種からなるハートチームで診療にあたるのが重要になってきていますが、当科も心臓血管外科、生理検査部門、放射線科、臨床工学技術部、リハビリテーション技術部、薬剤部、栄養部、看護部という多職種で協働して日々の診療を行っています。

## [当科の特色]

当科の診療の特色は以下の通りです。

- 虚血性心疾患では、運動負荷心エコー検査、冠動脈CT検査(シーメンス社製128列CT装置)、心臓核医学検査などの非侵襲的検査を中心に正確な診断と病態評価を行っています。また冠動脈造影検査を積極的に行い、有意狭窄があれば最新の技術を用いながら冠動脈形成術を行っています。
- 弁膜症疾患では、経胸壁心エコーのみならず経食道心エコー検査を行い、病態を評価し、重症例では心臓血管外科と手術治療を施行します。軽症および中等症の症例でも適切な薬物治療や経過観察を行います。
- 不整脈疾患では、アブレーション治療を行っています。またペースメーカー等の最新のデバイス治療も多く施行しています。MRI対応デバイスにも対応しています。
- 胸部・腹部大動脈瘤では心臓血管外科と協力してステントグラフト治療を行っています。また下肢閉塞性動脈硬化症では、重症下肢虚血例における血管内治療を数多く施行しています。
- 心筋症や慢性心不全例の診断において、心臓MRI検査や心臓核医学検査を活用して正確な診断、病態評価に努めています。
- 軽症から最重症までの、あらゆる急性心不全患者さんを受け入れ、治療しています。心原性ショックを伴った超重症例では経皮的人工心肺補助装置(PCPS)を併用し、また腎不全を伴った例では持続血液濾過透析(CHDF)を併用します。

➤ 上記以外にも、心臓リハビリテーションや癌化学療法後の慢性心不全例の治療などにも注力しています。心血管疾患は多様性に富みますが、当科は各分野に専門のスタッフを有しており、質の高い医療を提供できる体制をとっています。

[診療実績]

| 名称                  | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 循環器内科 年間入院患者数       | 853   | 1,059 | 859   |
| 循環器内科 平均入院日数        | 5.6   | 5.7   | 5.9   |
| トレッドミルおよび薬剤負荷心エコー試験 | 263   | 275   | 192   |
| 経胸壁心エコー(生理検査室実施分)   | 4,276 | 5,087 | 4,973 |
| 経食道心エコー(生理検査室実施分)   | 122   | 158   | 123   |
| 運動・薬物負荷心筋血流シンチ      | 65    | 199   | 147   |
| 冠動脈CT               | 177   | 470   | 479   |
| 心臓MRI               | 23    | 68    | 66    |
| CAG(冠動脈造影)          | 477   | 579   | 460   |
| PCI(経皮的冠動脈形成術)      | 200   | 267   | 211   |
| PTA(経皮的血管形成術)       | 96    | 104   | 86    |
| ペースメーカー植え込み         | 25    | 34    | 26    |
| カテーテルアブレーション        | 63    | 105   | 68    |
| 心大血管疾患リハビリテーション患者数  | 253   | 274   | 240   |
| 心大血管疾患リハビリテーション実施件数 | 3,573 | 5,531 | 4,512 |
| TEVAR/EVAR          | 15    | 19    | 12    |

[学会発表]

| 会名称                          |       | テーマ                                              | 発表者                                                                                            |
|------------------------------|-------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                           | 場所    |                                                  |                                                                                                |
| 第32回日本心血管画像動態学会              |       | 心臓CT・MRIにおける人工知能技術の最前線                           | 加地修一郎                                                                                          |
| 2022年5月19日                   | 東京    |                                                  |                                                                                                |
| 第114回ACCP日本部会<br>定期教育講演会     |       | 急性大動脈症候群の診断と治療 最近の進歩<br>を中心に                     | 加地修一郎                                                                                          |
| 2022年8月27日                   | 京都    |                                                  |                                                                                                |
| 第63回日本脈管学会総会                 |       | 大動脈解離の内科治療                                       | 加地修一郎                                                                                          |
| 2022年10月27日                  | 横浜    |                                                  |                                                                                                |
| 日本血管外科学会<br>第35回教育セミナー       |       | 大動脈解離の内科治療                                       | 加地修一郎                                                                                          |
| 2022年10月27日                  | 横浜    |                                                  |                                                                                                |
| 第128回日本循環器学会<br>北海道地方会共催セミナー |       | TEVAR時代におけるB型大動脈解離の治療戦略<br>～どのような症例に治療介入するべきか～   | 加地修一郎                                                                                          |
| 2022年11月26日                  | 札幌    |                                                  |                                                                                                |
| 第134回日本循環器学会近畿地方会            |       | 心不全診療における心臓MRI・CTの役割                             | 加地修一郎                                                                                          |
| 2022年12月10日                  | 大阪    |                                                  |                                                                                                |
| 第134回日本循環器学会近畿地方会            |       | 3D経食道心エコーが診断に有用であった冠静脈洞型心房中隔欠損症の一例               | 木下美菜子、石井克尚、瀬尾英伸、<br>青野佑哉、羽溪 健、宇佐美俊輔、<br>早野 護、宮川浩太郎、浅田 聡、<br>加地修一郎、末永悦郎                         |
| 2022年12月10日                  | 大阪    |                                                  |                                                                                                |
| 第239回日本内科学会近畿地方会             |       | 抗凝固療法下に脳梗塞を繰り返し、左室下壁<br>真性瘤に対して心室瘤閉鎖術を施行した1例     | 木下美菜子、石井克尚、青野佑哉、<br>羽溪 健、宇佐美俊輔、宮川浩太郎、<br>浅田 聡、加地修一郎、末永悦郎                                       |
| 2023年3月4日                    | 大阪    |                                                  |                                                                                                |
| 第133回日本循環器学会近畿地方会            |       | 運動負荷心エコー図検査が治療方針決定に<br>有用であった慢性重症動脈弁閉鎖不全症の一<br>例 | 宇佐美俊輔、島袋誠地、青野佑哉、<br>羽溪 健、川崎有亮、早野 護、<br>宮川浩太郎、木下美菜子、浅田 聡、<br>川崎有亮、小澤達也、中津太郎、<br>末永悦郎、加地修一郎、石井克尚 |
| 2022年6月18日                   | web開催 |                                                  |                                                                                                |



| 会名称                       |    | テーマ                                                       | 発表者                                                                                      |
|---------------------------|----|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                        | 場所 |                                                           |                                                                                          |
| 日本超音波医学会第49回関西地方会         |    | 虚血性心疾患における機能性僧帽弁逆流症<br>に対して薬物負荷心エコーが治療方針決定に<br>有用であった一例   | 宇佐美俊輔、川崎有亮、宮川浩太郎、<br>中津太郎、木下美菜子、浅田 聡、<br>加地修一郎、末永悦郎、石井克尚                                 |
| 2022年10月8日                | 大阪 |                                                           |                                                                                          |
| 日本超音波医学会<br>第49回関西地方会学術集会 |    | 虚血性心弛緩における機能性僧帽弁逆流症<br>に対して薬物負荷心エコーが治療方針決定に<br>有用であった一例   | 宇佐美俊輔、川崎有亮、宮川浩太郎、<br>中津太郎、木下美菜子、浅田 聡、<br>加地修一郎、末永悦郎、石井克尚                                 |
| 2022年10月8日                | 大阪 |                                                           |                                                                                          |
| 第134回日本循環器学会近畿地方会         |    | 術前心エコー検査が診断と治療方針決定に有<br>用であった収縮性心膜炎に高度三尖弁閉鎖不<br>全症を合併した一例 | 宇佐美俊輔、石井克尚、瀬尾英伸、<br>青野佑哉、羽溪健、川崎有亮、<br>早野 護、中津太郎、宮川浩太郎、<br>木下美菜子、浅田 聡、中津太郎、<br>末永悦郎、加地修一郎 |
| 2022年12月10日               | 大阪 |                                                           |                                                                                          |
| 日本超音波医学会<br>第65回東北地方会学術集会 |    | 虚血性心弛緩における機能性僧帽弁逆流症<br>に対して薬物負荷心エコーが治療方針決定に<br>有用であった一例   | 宇佐美俊輔、川崎有亮、宮川浩太郎、<br>中津太郎、木下美菜子、浅田 聡、<br>加地修一郎、末永悦郎、石井克尚                                 |
| 2023年3月5日                 | 仙台 |                                                           |                                                                                          |
| 第133回日本循環器学会近畿地方会         |    | Raphel cordの剥落により急性大動脈弁閉鎖不<br>全症を来した大動脈二尖弁の1例             | 青野佑哉、木下美菜子、瀬尾英伸、<br>羽溪 健、宇佐美俊輔、早野 護、<br>宮川浩太郎、浅田 聡、加地修一郎、<br>石井克尚                        |
| 2022年6月18日                | 大阪 |                                                           |                                                                                          |
| 第239回日本内科学会近畿地方会          |    | 内科コントロールに難渋した重症心不全に対<br>し、複数の外科的手技を組み合わせる救命し<br>た1例       | 李 裕至、加地修一郎、木下美菜子、<br>瀬尾英伸、青野佑哉、宇佐美俊輔、<br>羽溪 健、川崎有亮、末永悦郎                                  |
| 2023年3月4日                 | 大阪 |                                                           |                                                                                          |

[論文発表]

| 著者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | タイトル                                                                                                                                | 掲載誌名              |      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                     | 掲載号・ページ           | 掲載年  |
| Masumoto A, Azumi Y, <b>Kaji S</b> ,<br>Miyoshi Y, Kim K, Kitai T,<br>Furukawa Y                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | Impact of antithrombotic therapy on clinical<br>outcomes in patients with type B acute aortic<br>syndrome                           | JTCVS Open        |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                     | in press          | 2022 |
| Taeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S,<br>Kitai T, Tabata H, Kitano K, Ono N, Murai R,<br>Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H,<br>Tada T, Amano M, Shiom H, Watanabe H,<br>Yoshikawa Y, Yamamoto K, Toyofuku M,<br>Tatsushima S, Kanamori N,Miyake M,<br>Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K,<br>Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M,<br><b>Usami S</b> , Sawada K, Nakazeki F, Okabayashi M,<br>Shirotani M,Inuzuka Y, Komiya T, Minatoya K,<br>Kimura T                                         | CURRENT AS Registry-2 Investigators.<br>Rationale, Design, and Baseline Characteristics<br>of the CURRENT AS Registry-2.            | Circ J            |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                     | 86(11):1769-1776  | 2022 |
| Honde K, <b>Asada S</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | Giant coronary pseudoaneurysm associated with<br>stent fracture treated successfully with coil<br>embolization and a vascular plug  | J Cardiol Cases   |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                     | 27(3):116-119     | 2022 |
| Tsujiisaka Y, <b>Hatani T</b> , Okubo C, Ito R,<br>Kimura A, Narita M, Chonabayashi K,<br>Funakoshi S, Lucena-Cacace A, Toyoda T,<br>Osafune K, Kimura T, Saito H, Yoshida Y                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | Purification of human iPSC-derived cells at large<br>scale using microRNA switch and magnetic-<br>activated cell sorting.           | Stem Cell Reports |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                     | 17(7):1772-1785   | 2022 |
| Fujita Y, Hirosawa M, Hayashi K,<br><b>Hatani T</b> , Yoshida Y, Yamamoto T,<br>Saito H                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | A versatile and robust cell purification system<br>with an RNA-only circuit composed of<br>microRNA-responsive ON and OFF switches. | Science Advances  |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                     | 8(1):eabj1793     | 2022 |
| Ohte N, Ishizu T, Izumi C, Itoh H,<br>Iwanaga S, Okura H, Otsuji Y, Sakata Y,<br>Shibata T, Shinke T, Seo Y, Daimon M,<br>Takeuchi M, Tanabe K, Nakatani S, Nii M,<br>Nishigami K, Hozumi T, Yasukochi S,<br>Yamada H, Yamamoto K, Izumo M, Inoue K,<br>Iwano H, Okada A, Kataoka A, <b>Kaji S</b> ,<br>Kusunose K, Goda A, Takeda Y, Tanaka H,<br>Dohi K,Hamaguchi H, Fukuta H, Yamada S,<br>Watanabe N, Akaishi M, Akasaka T,<br>Kimura T, Kosuge M, Masuyama T;<br>Japanese Circulation Society Joint Working Group | JCS 2021 Guideline on the Clinical Application<br>of Echocardiography.                                                              | Circ J            |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                     | 86(12):2045-2119  | 2022 |

| 著者         | タイトル                       | 掲載誌名                 |      |
|------------|----------------------------|----------------------|------|
|            |                            | 掲載号・ページ              | 掲載年  |
| 島袋誠地、加地修一郎 | 1ページでわかる内科疾患の診療ノート: 大動脈疾患  | 臨床雑誌 内科              |      |
|            |                            | 129(4); 611-614      | 2022 |
| 加地修一郎      | 循環管理のすべて: 急性大動脈解離: 診断 血液検査 | 救急集中治療               |      |
|            |                            | 34(1); 251-255       | 2022 |
| 瀬尾英伸、加地修一郎 | ステントグラフト治療の現状と未来           | 循環器内科                |      |
|            |                            | 129(4); 536-540      | 2022 |
| 島袋誠地、加地修一郎 | 大動脈疾患の診断・内科治療              | 循環器内科学レビュー 2022-2023 |      |
|            |                            | 282-287              | 2022 |

# 消化器内科・肝胆膵内科・内視鏡部

## [医師] (R05.3末時)

|       |                      |                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部長:   | 染田 仁<br>(消化器センター長兼任) | 日本内科学会認定医/指導医、日本消化器病学会専門医/指導医/近畿支部評議員<br>日本消化器内視鏡学会専門医/指導医/近畿支部評議員、日本肝臓学会専門医/指導医、<br>NSTコーディネータ、関西医科大学臨床教授、京都大学医学博士/臨床教授                                                                                                                                |
| 部長:   | 魚瀬 優                 | 日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医                                                                                                                                                                                                                     |
| 部長:   | 池田 一毅                | 日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医/指導医<br>日本消化器内視鏡学会専門医/指導医、日本超音波医学会、日本門脈圧亢進症学会、<br>京都大学医学博士                                                                                                                                                               |
| 部長:   | 藤原 幹夫                | 日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、<br>日本消化器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医、京都大学医学博士                                                                                                                                                                                    |
| 医長:   | 東 恵史朗                | 日本内科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、<br>日本肝臓学会専門医                                                                                                                                                                                                       |
| 医員:   | 河路 光介                | 日本内科学会認定医、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会                                                                                                                                                                                                                           |
| 医員:   | 小山 優花里               | 日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医<br>日本肝臓学会、日本膵臓学会                                                                                                                                                                                                    |
| 医員:   | 檜垣 華菜子               | 日本内科学会、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医                                                                                                                                                                                                                        |
| 医員:   | 佐藤 雄                 | 日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会                                                                                                                                                                                                                              |
| 医員:   | 杣 美緒                 | 日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会                                                                                                                                                                                                                              |
| 特任院長: | 千葉 勉                 | 日本内科学会認定医・評議員・功労会員、日本消化器病学会指導医・名誉会員、<br>厚労省難病対策委員会委員長、日本医療開発機構プログラムスーパーバイザー、<br>American Gastroenterology Association Member<br>Gastroenterology Member of Editorial Board<br>Gut Member of Editorial Board、Am J Gastroenterology Associate Editor etc. |

## [診療日程] (R5.3末時)

|       | 月                    |                    | 火                             |               | 水               |                   | 木              |                | 金             |                   | 土   |
|-------|----------------------|--------------------|-------------------------------|---------------|-----------------|-------------------|----------------|----------------|---------------|-------------------|-----|
|       | 午前                   | 午後                 | 午前                            | 午後            | 午前              | 午後                | 午前             | 午後             | 午前            | 午後                | 午前  |
| 消化器外来 | 藤原<br>河路<br>檜垣<br>千葉 | 藤原<br>河路<br>檜垣     | 染田<br>池田<br>東<br>千葉<br>(総合内科) | 染田<br>池田<br>東 | 魚瀬<br>加藤<br>中村  | 魚瀬<br>加藤<br>中村    | 染田<br>魚瀬<br>藤原 | 染田<br>魚瀬<br>藤原 | 池田<br>東<br>佐藤 | 池田<br>東<br>佐藤     | 交代制 |
| 消化器検査 | GS<br>EUS            | RFA<br>CS<br>(ESD) | GS<br>EUS                     | ESD<br>CS     | GS<br>造影<br>エコー | CS<br>ERCP<br>ESD | GS             | CS<br>ERCP     | GS<br>EUS     | CS<br>RFA<br>ERCP |     |

GS:上部消化管内視鏡    EUS:超音波内視鏡    CS:下部消化管内視鏡  
RFA:ラジオ波熱凝固療法    ERCP:内視鏡の逆行性胆管膵管造影    ESD:内視鏡の粘膜下層剥離術

## [実績報告]

|                     |        |                       |
|---------------------|--------|-----------------------|
| 一日平均外来患者数           | 117人/日 | 土曜含む                  |
| 一日平均入院患者数           | 28人/日  |                       |
| 新入院患者数              | 97人/月  | 1169人/年               |
| 平均在院日数              | 7.5日   |                       |
| 紹介率                 | 75.4%  |                       |
| 上部消化管内視鏡            | 4870件  | うちEIS/EVL =1/6、止血=29  |
| 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)    | 85件    | うち大腸ESD=9             |
| 内視鏡的胃瘻造設術(PEG)      | 5件     |                       |
| 下部消化管内視鏡            | 2344件  | うちpolypectomy/EMR=841 |
| 超音波内視鏡(EUS)         | 538件   | うち下部28件               |
| EUS-TA(超音波内視鏡下組織採取) | 27件    |                       |
| EUS-CD(膵仮性嚢胞ドレナージ)  | 1件     |                       |
| 小腸ダブルバルーン内視鏡        | 6件     |                       |

|                               |      |              |
|-------------------------------|------|--------------|
| 消化管ステント                       | 12件  |              |
| 胆・膵系内視鏡(ERCP)                 | 119件 | うちDBE-ERC10件 |
| 経皮・経肝的 胆道・胆嚢ドレナージ(PTBD/PTGBD) | 14件  |              |
| ラジオ波熱凝固療法(RFA)                | 48件  |              |
| 肝動脈塞栓術(TACE)                  | 13件  |              |
| 超音波ガイド下肝生検                    | 26件  |              |
| 造影超音波検査                       | 99件  |              |

○入院患者上位病名 (2022/4/1～2023/3/31 延べ人数)

|                   |      |                   |     |
|-------------------|------|-------------------|-----|
| ① 小腸・大腸の良性疾患…………… | 420人 | ⑦ 膵癌・膵腫瘍……………     | 35人 |
| ② 肝癌……………         | 100人 | ⑧ 結腸・直腸癌……………     | 34人 |
| ③ 胆管結石・胆管炎……………   | 68人  | ⑨ 食道癌……………        | 32人 |
| ④ 胃癌……………         | 43人  | ⑩ 胃の良性腫瘍……………     | 31人 |
| ④ 胃腸炎……………        | 43人  | ⑪ 虚血性腸炎……………      | 25人 |
| ⑥ 憩室炎・出血……………     | 42人  | ⑫ 急性膵炎・被包化壊死…………… | 23人 |

### [診療概要]

本年度は勤務医師数の著減(専攻医2名減、産休1名、病欠1名)及びCovid-19感染蔓延の影響により、全体的に低調でかつストレスの多い科の運営となった。人員不足による夜間の新患救急の停止も行わざるを得なくなり、救急入院件数は16.1→12.3人/月へ減少した。外来担当医師も足りなくなり、7～10月は外部医師に月2回外来担当して頂いた。平均入院患者数は、前年度と比較して34→28人/日と減少した。平均在院日数は7.1→7.5日とやや長くなり、新入院患者数は123→97人/月と減少した。紹介率は72.2→75.4%とやや増加した。入院悪性疾患は全体で298→260人/年へ減少した。主な内訳は肝癌(88→100人)で増加、胃癌(67→43人)、膵癌(60→35人)、食道癌(49→32人)、結腸・直腸癌(57→34人)で減少した。内視鏡部門では、セデーション下の上部内視鏡が、上部内視鏡検査全体の57%を占め前年度とほぼ不変であった。上部内視鏡、下部内視鏡は各々約11%、15%減少した(上部5495→4870件、下部2773→2344件)。超音波内視鏡は547→538件とほぼ不変、EUS-TAは24→27件と増加した。Interventional EUSは、EUS下感染性膵嚢胞ドレナージ1件のみであり、今後の課題である。消化管ESDは122→85件、大腸のEMRも1164→841件と減少した。ERCPは135→119件と減少した。RFAは52→48件とやや減少、肝(腫瘍)生検は37→26件と減少した。

### [人事]

2022年4月から専攻医として 柚 美緒が県立尼崎医療センターから当科へ、相馬凱大が北野病院消化器内科へ専門研修プログラムで赴任した。柚 美緒が2023年3月で退職した。

### [カンファレンス]

- ・Morningカンファ: 月・木曜 8時20分
- ・消化器内科グランドカンファ: 月曜17時
- ・消化器センターカンファ(術前・術後カンファ): 火曜17時(消化器内科, 外科, 放射線科, 病理)
- ・肝・胆・膵カンファ: 金曜8時

### [肝疾患地域連携医療の推進]

平成22年に我々が提案して立ち上げた「西部大阪肝疾患地域連携会」は初期の福島区医師会、JCHO大阪病院に加えて、此花区医師会、西区医師会、港区医師会、西淀川区医師会、大正区医師会、日本生命病院、JCHO大阪中央病院の賛同、参加を得て活発に活動している。「西部大阪肝疾患地域連携会」主催で医師向けの学術講演会をZoom配信併用で1回開催、市民公開講座を1回開催した。

#### ・第20回西部大阪肝疾患地域連携会

- 2022年09月15日 ホテル阪神 Zoom配信
- 一般演題 「超音波内視鏡下肝生検の試み」
- 「当院にて新規導入した第2世代マイクロウェーブ焼灼機による肝細胞癌局所療法の現況」
- 特別講演 上田桂秀先生(神戸大学消化器内科)
- 「急性肝障害診療～肝炎ウイルス治療から肝移植まで～」
- 参加医師: 人数不詳

#### ・「西部大阪肝疾患地域連携会」主催で市民公開講座

- 西部大阪肝疾患地域連携会市民公開講座「肝臓病を知る」
- 2023年3月11日 毎日インテシオ Zoom配信
- 参加市民: 人数不詳

[学会等発表]

| 会名称                                 |        | 参加形態・テーマ                                         | 発表者                                                                        |
|-------------------------------------|--------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 日時                                  | 場所     |                                                  |                                                                            |
| 第117回日本消化器病学会<br>近畿地方会              |        | 肝細胞癌とHNF1A不活性型肝細胞腺腫を合併し外科的切除によって診断に至った1例         | 佐藤 雄、染田 仁、杣 美緒、<br>檜垣華菜子、小山優花理、<br>河路光介、東恵史朗、藤原幹夫、<br>池田一毅、魚瀬 優、千葉 勉       |
| 2022/10/8                           | 大阪     |                                                  |                                                                            |
| 第109回日本消化器内視鏡学会<br>近畿支部会            |        | EUS-FNBを契機とした急性膵炎からCD46ヘテロバリエントを有する非典型HUSに至った1症例 | 西原小百合、東恵史朗、染田 仁、<br>杣 美緒、佐藤 雄、檜垣華菜子、<br>小山優花理、河路光介、藤原幹夫、<br>池田一毅、魚瀬 優、千葉 勉 |
| 2022/11/5                           | 京都     |                                                  |                                                                            |
| 肝細胞癌 Webセミナー                        |        | 基調講演 座長                                          | 染田 仁                                                                       |
| 2022/7/8                            | WEB    |                                                  |                                                                            |
| Upper GI ICI seminar in Nakanoshima |        | 講演1 座長                                           | 染田 仁                                                                       |
| 2022/7/22                           | 大阪 WEB |                                                  |                                                                            |
| Upper GI ICI seminar in Nakanoshima |        | 講演2 座長                                           | 藤原幹夫                                                                       |
| 2022/7/22                           | 大阪 WEB |                                                  |                                                                            |
| 第20回西部大阪肝疾患地域連携会                    |        | 超音波内視鏡下肝生検の試み                                    | 東恵史朗、染田 仁                                                                  |
| 2022/9/15                           | 大阪 WEB |                                                  |                                                                            |
| 第20回西部大阪肝疾患地域連携会                    |        | 特別講演 座長                                          | 中村武史                                                                       |
| 2022/9/15                           | 大阪 WEB |                                                  |                                                                            |
| 肝細胞癌治療の<br>集学的治療を考える会               |        | ディスカッションパート 事例②                                  | 染田 仁                                                                       |
| 2022/9/22                           | WEB    |                                                  |                                                                            |
| 肝細胞癌 Webセミナー                        |        | 基調講演 座長                                          | 染田 仁                                                                       |
| 2023/3/3                            | WEB    |                                                  |                                                                            |
| 市民公開講座 肝臓病を知る                       |        | 肝硬変ってどんな病気                                       | 小山優花理                                                                      |
| 2023/3/11                           | 大阪 WEB |                                                  |                                                                            |

[論文]

| 著者                                                                              | タイトル                                                                                                               | 掲載誌名             |      |
|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------|
|                                                                                 |                                                                                                                    | 掲載号・ページ          | 掲載年  |
| Japan Pediatric Inflammatory<br>Bowel Disease Working Group<br>(T.Chiba et al.) | Anti-Integrin $\alpha v \beta 6$ Antibody as a Diagnostic Marker<br>for Pediatric Patients With Ulcerative Colitis | Gastroenterology |      |
|                                                                                 |                                                                                                                    | 163:1094-1097    | 2022 |

# 糖尿病・代謝・内分泌センター

## 【医師】(R5.3末時)

|              |                                                                                                                                              |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| センター長： 浜本 芳之 | 京都大学医学博士、日本病態栄養学会(評議員・指導医・専門医)、日本糖尿病学会(評議員・指導医・専門医)、日本内分泌学会(評議員・指導医・専門医)、日本内科学会(総合内科専門医)、米国糖尿病学会、欧州糖尿病学会、アジア糖尿病学会、日本肥満学会                     |
| 医 長： 表 孝徳    | 日本病態栄養学会(学術評議員・指導医・専門医)、日本糖尿病学会(専門医)、日本内分泌学会、日本内科学会(総合内科専門医)、日本感染症学会(ICD制度協議会認定ICD)、アジア糖尿病学会、日本フットケア学会、日本甲状腺学会、日本体質医学会                       |
| 医 長： 桑田 仁司   | 日本内科学会、日本病態栄養学会、日本糖尿病学会(指導医・専門医)、日本内分泌学会、アジア糖尿病学会                                                                                            |
| 医 長： 臼井 亮太   | 日本内科学会、日本病態栄養学会(指導医・専門医)、日本糖尿病学会(指導医・専門医)、日本内分泌学会                                                                                            |
| 医 員： 和泉 清拓   | 日本内科学会(認定内科医)、日本糖尿病学会(専門医)、アジア糖尿病学会、日本糖尿病医療学会、日本病態栄養学会、日本内分泌学会、日本甲状腺学会、日本肥満学会                                                                |
| 医 員： 山口 裕子   | 日本内科学会(認定内科医)、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本病態栄養学会、アジア糖尿病学会                                                                                              |
| 医 員： 原口 卓也   | 日本内科学会(内科専門医)、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本病態栄養学会、アジア糖尿病学会、日本体質医学会                                                                                      |
| 医 員： 中谷 晋    | 日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会                                                                                                                       |
| 医 員： 山崎 裕自   | 日本内科学会、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本内分泌学会、アジア糖尿病学会                                                                                                     |
| 医 員： 井村 将大   | 日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会                                                                                                                       |
| 医 員： 内山 葵    | 日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会                                                                                                                       |
| 医 員： 大守 泰広   | 日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会                                                                                                                       |
| 医 員： 松城 真里   | 日本内科学会、日本内分泌学会                                                                                                                               |
| 総 長： 清野 裕    | アジア糖尿病学会(理事長)、日本糖尿病協会(理事長)、日本病態栄養学会(理事長・指導医・専門医)、日本糖尿病学会(理事・指導医・専門医)、日本内分泌学会(指導医・専門医)、日本糖尿病対策推進会議副会長、日本栄養療法協議会会長、日本栄養学術連合副代表                 |
| 副院長： 山田 祐一郎  | 日本内科学会(総合内科専門医)、日本糖尿病学会(評議員・指導医・専門医)、日本内分泌学会(指導医・専門医)、日本老年医学会(指導医・専門医)、日本病態栄養学会(指導医・専門医)、アジア糖尿病学会、日本肥満学会、日本糖尿病眼学会、日本糖尿病合併症学会、米国糖尿病学会、欧州糖尿病学会 |

## 【診療日程】(R5.3末時)

| 月              |          | 火                   |                     | 水                              |    | 木                                     |                         | 金                           |                      | 土                                       |
|----------------|----------|---------------------|---------------------|--------------------------------|----|---------------------------------------|-------------------------|-----------------------------|----------------------|-----------------------------------------|
| 午前             | 午後       | 午前                  | 午後                  | 午前                             | 午後 | 午前                                    | 午後                      | 午前                          | 午後                   | 午前                                      |
| 浜本<br>山崎<br>臼井 | 山崎<br>臼井 | 表<br>山田<br>原口<br>桑田 | 表<br>中谷<br>井村<br>桑田 | 清野<br>(新患のみ)<br>黒瀬<br>臼井<br>和泉 |    | 清野<br>(糖尿病)<br>(内分泌)<br>表<br>山崎<br>桑田 | 河邊<br>(甲状腺)<br>浜本<br>桑田 | 浜本<br>表<br>和泉<br>岡村<br>新患外来 | 中谷<br>山口<br>原口<br>和泉 | 糖尿病・生活<br>習慣病外来<br>予約外来<br>新患外来<br>＊交代制 |

## 【診療概要】

当科は、日本トップクラスの糖尿病・代謝栄養、および内分泌の臨床および研究を実施している病院として、糖尿病学会や内分泌学会、病態栄養学会、肥満学会、体質医学会などの専門医資格を有するスタッフを中心に、専攻医や研修医とともに糖尿病や内分泌疾患を幅広く診療している。

様々な社会的ニーズに応えるべく、通常の2週間程度の糖尿病教育入院に加え、2泊3日入院などの教育入院プログラムも充実させているほか、救急疾患への緊急対応も積極的に行っており、急性発症1型糖尿病や劇症1型糖尿病の経験も豊富である。甲状腺疾患はラジオアイソトープ(RI)治療も可能であり、下垂体疾患や副甲状腺疾患、副腎疾患の症例も増加しているほか、神経内分泌腫瘍などの特殊な疾患も専門的に扱っている。

糖尿病診療では、糖尿病看護認定看護師のほか、多数の日本糖尿病療養指導士(CDEJ)や地域糖尿病療養指導士(L-CDE)、フットケアの資格を有した看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、心理療法士とチーム医療を実践し、患者満足度を高めるべく個別化治療・個別化指導を実践している。また、診療上重要な臨床的疑問や臨床的課題を解決するため、数々の臨床研究や基礎研究を実施しているほか、新たな薬剤の可能性に応えるべく様々な臨床治験にも参加している。

[診療内容]

○診断

糖尿病をはじめとする内分泌・代謝疾患の成因および病型の判別あるいは病態について、各種の負荷試験や生理検査、画像診断を駆使して評価を行っている。特に、糖尿病については糖尿病の合併症や併存症の検索(糖尿病三大合併症、足病変のほか、大血管障害、悪性疾患、歯周病、認知症など)や、インスリン分泌能を詳細な負荷試験などで検討している。血糖コントロールだけではなく、健康長寿を目指す全身的な管理を実践しており、体組成計による体脂肪や骨格筋量などの検査や運動能力、筋力検査を実施することにより、ロコモティブ症候群・フレイルやサルコペニアなどの評価・診断も行っている。さらに食事療法は、日常生活における栄養学的評価を詳細に行った上で、個別治療に活かす工夫も行っている。また、高度肥満症の成因についても各種の負荷試験、画像診断を行い二次性肥満の除外を行うとともに、栄養評価や体組成などの測定を適宜実施しながら、病態の検討を行っている。

内分泌疾患については、下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患のほか、インスリノーマなど各種の内分泌疾患の特殊検査も行っており、神経内分泌腫瘍についても国内有数の専門施設である。

○治療

糖尿病治療はチーム医療を発展させ、食事、運動療法、薬物療法それぞれにおける最新の治療・知見を反映させた個別テーラーメイド医療(科学的根拠に基づく最新の治療)を各職種からのアプローチを交えて患者に適用している。また、フットケア診療の充実、NST回診の実施など院内各部署と緊密に連携し高度な医療の提供に努めており、糖尿病足病変の予防や治療に関する国内外の医師と看護師の教育、研修も行っている。内分泌疾患においては多数の甲状腺疾患、バセドウ病や甲状腺がんの放射線(RI)治療、下垂体腫瘍や多発性内分泌腫瘍、神経内分泌腫瘍に対するソマトスタチン受容体作動薬治療、下垂体機能低下症や副腎皮質機能低下症に対する補充療法、高度肥満者における超低カロリー食治療と理学療法科の応援を得て運動療法の応用など幅広く先進的な治療を実施している。特に甲状腺のRI治療はプランマー病についても積極的に施している。また外科的治療においても、下垂体腫瘍に対する経蝶形骨洞下垂体手術のほか、甲状腺、副甲状腺疾患、副腎疾患、インスリノーマなどに対する治療を日本有数の規模で実施している。

○糖尿病教育

- ①糖尿病療養指導士の資格を有する管理栄養士による日常の食習慣を加味した食事療法の提案と実施法の指導。
- ②使用中の薬物の作用機序、服薬や注射方法、副作用について糖尿病療養指導士の資格を持つ薬剤師が中心となつての指導。
- ③個々の患者に合わせた教育の実践を様々な専門職から、入院中の糖尿病Q&A、糖尿病カンパセーションマップ、糖尿病教室などの手段を用いて実施。
- ④糖尿病専門医、糖尿病療養指導士(看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師)など糖尿病診療のスペシャリストチームによる回診と個々の患者に合わせたクリニカルパスを応用した短期教育入院。

[2022年度]

2022年度も前年度に続き新型コロナウイルス・パンデミックにより、例年定期実施している患者活動や、外来の集団栄養などの一部を休止せざるを得なかった。一方、外来診療はパンデミック以前の状態にまで診療態勢は回復した。

研究では、新型コロナウイルス・パンデミックによる糖尿病治療や体重、体組成の変化を検討した結果を報告し、その検討結果を踏まえて、対策を発信しながら日常診療に当たっている。

病棟における入院患者対象の糖尿病教室は、感染リスクの高いカンパセーションマップや集団運動を除いて基本的に全てコロナ禍以前と同じ形で実施した。また、内分泌疾患についても、特に副腎腫瘍に対する機能検査として、副腎静脈サンプリングを外部講師を招いて技術指導を受け、西日本ではほとんど実施されていない超選択的副腎静脈サンプリングを実施可能とし、診断能力を大幅に向上させた。

[学会発表]

| 会名称               |    | 発表テーマ                                                                  | 発表者                                 |
|-------------------|----|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 日時                | 場所 |                                                                        |                                     |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 |    | 日本人2型糖尿病患者におけるGIP/GLP-1受容体作動薬 チルゼパチド単独療法の有効性及び安全性—SURPASS J-mono study | 稲垣暢也，竹内雅和，大浦智紀，今岡丈士，清野 裕            |
| 2022年5月12～14日     | 神戸 |                                                                        |                                     |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 |    | トログリフロジンの安全性および有効性に関する大規模調査研究-AYUMI                                    | 志原伸幸，山田祐一郎，幣憲一郎，鈴木敦詞，寺内康夫，矢部大介，清野 裕 |
| 2022年5月12～14日     | 神戸 |                                                                        |                                     |

| 会名称                 |     | 発表テーマ                                     | 発表者                                                                                                         |
|---------------------|-----|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                  | 場所  |                                           |                                                                                                             |
| 第23回日本内分泌学会近畿支部学術集会 |     | 超選択的副腎静脈サンプリングにより診断しえた両側副腎過形成と非機能性副腎腺腫の1例 | 松城真里, 原口卓也, 大守泰広, 内山 葵, 井村将大, 山崎裕自, 中谷 晋, 山口裕子, 和泉清拓, 臼井亮太, 桑田仁司, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 岡田 務, 山田祐一郎, 清野 裕, 牧田幸三 |
| 2022年11月22日         | 奈良  |                                           |                                                                                                             |
| 第72回日本体質医学会総会       |     | アルコール多飲により膵性糖尿病を発症した神経性やせ症(AN)            | 松城真里, 原口卓也, 大守泰広, 内山 葵, 井村将大, 山崎裕自, 中谷 晋, 山口裕子, 和泉清拓, 臼井亮太, 桑田仁司, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕             |
| 2022年10月1-2日        | 和歌山 |                                           |                                                                                                             |
| 第72回日本体質医学会総会       |     | 日本人の体質を考慮した健康長寿のための食                      | 清野 裕                                                                                                        |
| 2022年10月1-2日        | 和歌山 |                                           |                                                                                                             |
| 第26回日本病態栄養学         |     | ルテチウムオキシドトレオチド治療中に患者が使用した食器類の放射能汚染に関する検討  | 内山 葵, 表 孝徳, 長野圭司, 高井 剛, 真壁 昇, 板垣 康, 岡田 務, 河本 泉, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                                     |
| 2023年1月13-15日       | 京都  |                                           |                                                                                                             |
| 第26回日本病態栄養学         |     | 再発インスリン自己免疫症候群におけるScatchard解析の1例          | 山崎裕自, 桑田仁司, 松原実穂, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                                                             |
| 2023年1月13-15日       | 京都  |                                           |                                                                                                             |
| 第37回日本糖尿病合併症学会      |     | 高齢者の体組成における性別・BMI・SMI・体脂肪率などの項目と生存期間との関係  | 内山 葵, 松城真里, 山口裕子, 桑田仁司, 大守泰広, 井村将大, 山崎裕自, 中谷 晋, 原口卓也, 和泉清拓, 臼井亮太, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕             |
| 2022年10月21-22日      | 京都  |                                           |                                                                                                             |
| 第37回日本糖尿病合併症学会      |     | 糖尿病治療の歴史と発展ーインスリン発見100年を経過してー             | 山田祐一郎                                                                                                       |
| 2022年10月21-22日      | 京都  |                                           |                                                                                                             |
| 第37回日本糖尿病合併症学会      |     | スティグマ・アドボカシー                              | 山田祐一郎                                                                                                       |
| 2022年10月21-22日      | 京都  |                                           |                                                                                                             |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 神経性やせ症(AN)患者に慢性膵炎に伴う膵性糖尿病を発症した1例          | 松城真里, 原口卓也, 内山 葵, 井村将大, 山崎裕自, 中谷 晋, 山口裕子, 和泉清拓, 臼井亮太, 桑田仁司, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                   |
| 2023年11月11-12日      | 東京  |                                           |                                                                                                             |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 腫瘍摘出術前後で耐糖能を比較検討したパラガングリオーマの1例            | 松原実穂, 浜本芳之, 和泉清拓, 桑田仁司, 表 孝徳, 田中永昭, 河本 泉, 末永悦郎, 青山輝義, 山田祐一郎, 清野 裕                                           |
| 2023年11月11-12日      | 東京  |                                           |                                                                                                             |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 手術前後でグルカゴン応答性を評価したグルカゴノーマの1例              | 井村将大, 山崎裕自, 臼井亮太, 桑田仁司, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 河本 泉, 今村正之, 清野 裕                                           |
| 2023年11月11-12日      | 東京  |                                           |                                                                                                             |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 低血糖から診断に至った1型糖尿病併発汎下垂体機能低下症の1例            | 大守泰広, 中谷 晋, 臼井亮太, 松城真里, 井村将大, 内山 葵, 山崎裕自, 原口卓也, 桑田仁司, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                         |
| 2023年11月11-12日      | 東京  |                                           |                                                                                                             |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | ロキサデュスタット投与中に甲状腺機能異常と肝障害を来した一例            | 原口卓也, 桑田仁司, 中谷 晋, 山崎裕次, 表 孝徳, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                                                             |
| 2023年11月11-12日      | 東京  |                                           |                                                                                                             |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会   |     | ソマトスタチン受容体の発見から G 蛋白 共役受容体ファミリー研究への展開     | 山田 祐一郎                                                                                                      |
| 2022年5月12-14日       | 神戸  |                                           |                                                                                                             |



| 会名称               |    | 発表テーマ                                                      | 発表者                                                                                                                                 |
|-------------------|----|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                | 場所 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 |    | 経口セマグルチドの体重減少は胃腸障害以外の効果を主に介する                              | 浜本 芳之, Meier Juris J, Agesen Rikke Mette, Bardtrum Lars, Cheng Alice YY, Deenadayalan Srikanth, Montanya Eduard, E. Pratley Richard |
| 2022年5月12-14日     | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 |    | 週1回セマグルチドは対照薬と比較して血糖自己測定値の標準偏差を減少させた: SUSTAIN試験 Post-hoc解析 | 山田祐一郎, Esteban Jodar, Vanita Aroda, Yasemin Kose, Margit Kaltoft, Anette Sondergaard, Richard Pratley                               |
| 2022年5月12-14日     | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 |    | 医療従事者がもつ糖尿病患者に対するスティグマの構成概念の検討                             | 田中永昭, 井村将大, 黒飛友里, 山崎裕自, 中谷 晋, 松原実穂, 原口卓也, 山口裕子, 和泉清拓, 臼井亮太, 桑田仁司, 表 孝徳, 柳瀬昌樹, 松田政浩, 根来伸治, 東山弘子, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                   |
| 2022年5月12-14日     | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 |    | 本邦 PDX1-MODY(MODY4)における遺伝子型—表現 型関連について                     | 窪田創大, 堀川幸男, 酒井麻有, 加藤文博, 水野正巳, 廣田卓男, 諏訪哲也, 藤澤太郎, 柴田敏朗, 矢部大介                                                                          |
| 2022年5月12-14日     | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 |    | セマグルチド皮下注新規導入によるQOL, 血糖コントロール, 臨床指標に与える影響の評価               | 原口卓也, 桑田仁司, 和泉清拓, 井村将大, 黒飛友里, 山崎裕自, 中谷 晋, 松原実穂, 山口裕子, 臼井亮太, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 矢部大介, 清野 裕                                     |
| 2022年5月12-14日     | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 |    | 食べる順番への介入による食後血糖上昇に及ぼす影響について, 持続血糖モニター(CGM)による健常成人での検討     | 黒飛友里, 桑田仁司, 井村将大, 山崎裕自, 松原実穂, 中谷 晋, 原口卓也, 山口裕子, 和泉清拓, 臼井亮太, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                                           |
| 2022年5月12-14日     | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第58回日本糖尿病学会 近畿地方会 |    | デュラグルチドが高齢者において半年後HbA1c<8%達成に必要なインスリン分泌能の検討                | 和泉清拓, 浜本芳之, 桑田仁司, 黒飛友里, 山崎裕自, 中谷 晋, 原口卓也, 表孝徳, 田中永昭, 山田祐一郎, 清野 裕                                                                    |
| 2022年11月5日        | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第58回日本糖尿病学会 近畿地方会 |    | 未治療2型糖尿病に合併したヒラメ筋壊死を伴う化膿性筋炎の1例                             | 井村将大, 原口卓也, 桑田仁司, 福田麻由, 黒飛友里, 臼井亮太, 表 孝徳, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                                                                   |
| 2022年11月5日        | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第58回日本糖尿病学会 近畿地方会 |    | 虫垂癌に対してUFT/LV療法中に感冒様症状をきたし発症した劇症1型糖尿病の1例                   | 福田麻由, 表 孝徳, 井村将大, 中谷 晋, 和泉清拓, 臼井亮太, 桑田仁司, 田中永昭, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                                                                   |
| 2022年11月5日        | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第58回日本糖尿病学会 近畿地方会 |    | 日本糖尿病協会作成『サイバー糖尿病教室』の実施経験                                  | 和泉清拓, 田中永昭, 中谷 晋, 井村将大, 黒飛友里, 山崎裕自, 原口卓也, 臼井亮太, 桑田仁司, 表 孝徳, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                                                       |
| 2022年11月5日        | 神戸 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第95回日本内分泌学会学術総会   |    | 医療従事者のもつ糖尿病患者に対するスティグマの現状 高血圧患者との比較                        | 田中永昭, 井村将大, 黒飛友里, 山崎裕自, 中谷 晋, 松原実穂, 原口卓也, 山口裕子, 和泉清拓, 臼井亮太, 桑田仁司, 表 孝徳, 柳瀬昌樹, 松田政浩, 根来伸治, 東山弘子, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                   |
| 2022年6月2-4日       | 大分 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第95回日本内分泌学会学術総会   |    | ロキサデュスタットとダプロデュスタットの甲状腺機能への影響に関する後ろ向き検討                    | 原口卓也, 桑田仁司, 中谷 晋, 山崎裕自, 表 孝徳, 戸田尚宏, 古宮俊幸, 浜本芳之, 山田祐一郎, 清野 裕                                                                         |
| 2022年6月2-4日       | 大分 |                                                            |                                                                                                                                     |
| 第95回日本内分泌学会学術総会   |    | 骨形成不全症の脳動脈瘤合併についての検討                                       | 松城真里, 原田大輔, 上山 薫, 折山恭子, 柏木博子, 山田寛之, 清野佳紀                                                                                            |
| 2022年6月2-4日       | 大分 |                                                            |                                                                                                                                     |

【論文】

| 著者                                                                                                                                                                                                              | タイトル                                                                                                                                                                                                                        | 掲載誌名                       |      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------|
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 掲載号・ページ                    | 掲載年  |
| 雀部 沙絵, 森中 朋子, 山名 美奈子, 谷口 中, 中井 義勝, 安田 浩一朗, 辻 英明, 稲垣 暢也, 清野 裕, 福島 光夫                                                                                                                                             | 非肥満若年女性のインスリン感受性に影響を与える要因の検討                                                                                                                                                                                                | 日本病態栄養学会誌                  |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 25巻1号 Page79-88            | 2022 |
| Seino Y, Yamazaki Y.                                                                                                                                                                                            | Roles of glucose-dependent insulinotropic polypeptide in diet-induced obesity                                                                                                                                               | J Diabetes Investig        |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 13(7):1122-1128.           | 2022 |
| Han W, Wang L, Ohbayashi K, Takeuchi M, O'Farrell L, Coskun T, Rakhat Y, Yabe D, Iwasaki Y, Seino Y, Yada T.                                                                                                    | Glucose-dependent insulinotropic polypeptide counteracts diet-induced obesity along with reduced feeding, elevated plasma leptin and activation of leptin-responsive and proopiomelanocortin neurons in the arcuate nucleus | Diabetes Obes Metab        |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | Online ahead of print      | 2023 |
| Kim DJ, Sheu WH, Chung WJ, Yabe D, Ha KH, Nangaku M, Tan EC, Node K, Yasui A, Lei W, Lee S, Saarelainen L, Deruaz-Luyet A, Kyaw MH, Seino Y; EMPRISE East Asia Study Group.                                     | Empagliflozin is associated with lower risk of cardiovascular events and all-cause mortality in routine care in East Asia: Results from the EMPRISE study                                                                   | J Diabetes Investig        |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 14(3):417-428.             | 2023 |
| Wang L, Suyama S, Lee SA, Ueta Y, Seino Y, Sharp GWG, Yada T.                                                                                                                                                   | Fasting inhibits excitatory synaptic input on paraventricular oxytocin neurons via neuropeptide Y and Y1 receptor, inducing rebound hyperphagia, and weight gain                                                            | Front Nutr                 |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 9:994827.                  | 2022 |
| Kubota S, Haraguchi T, Kuwata H, Seino Y, Murotani K, Tajima T, Terashima G, Kaneko M, Takahashi Y, Takao K, Kato T, Shide K, Imai S, Suzuki A, Terauchi Y, Yamada Y, Seino Y, Yabe D.                          | Association of dipeptidyl peptidase-4 inhibitor use and risk of pancreatic cancer in individuals with diabetes in Japan                                                                                                     | J Diabetes Investig        |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 14(1):67-74.               | 2023 |
| Tanaka N, Hamamoto Y, Kurotobi Y, Yamazaki Y, Nakatani S, Matsubara M, Haraguchi T, Yamaguchi Y, Izumi K, Fujita Y, Kuwata H, Hyo T, Yanase M, Matsuda M, Negoro S, Higashiyama H, Yamada Y, Kurose T, Seino Y. | Stigma evaluation for diabetes and other chronic non-communicable disease patients: Development, validation and clinical use of stigma scale – The Kanden Institute Stigma Scale                                            | J Diabetes Investig        |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 13(12):2081-2090.          | 2022 |
| Rakhat Y, Kaneko K, Wang L, Han W, Seino Y, Yabe D, Yada T.                                                                                                                                                     | d-Allulose Inhibits Ghrelin-Responsive, Glucose-Sensitive and Neuropeptide Y Neurons in the Arcuate Nucleus and Central Injection Suppresses Appetite-Associated Food Intake in Mice                                        | Nutrients                  |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 14(15):3117.               | 2022 |
| Inagaki N, Takeuchi M, Oura T, Imaoka T, Seino Y.                                                                                                                                                               | Efficacy and safety of tirzepatide monotherapy compared with dulaglutide in Japanese patients with type 2 diabetes (SURPASS J-mono): a double-blind, multicentre, randomised, phase 3 trial                                 | Lancet Diabetes Endocrinol |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 10(9):623-633.             | 2022 |
| Yermek R, Wang L, Kaneko K, Han W, Seino Y, Yabe D, Yada T.                                                                                                                                                     | D-Allulose cooperates with glucagon-like peptide-1 and activates proopiomelanocortin neurons in the arcuate nucleus and central injection inhibits feeding in mice                                                          | Biochem Biophys Res Commun |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 613:159-165.               | 2022 |
| Seino Y, Miyoshi H, Bosch Traberg H, Divyalasya TVS, Nishijima K, Terauchi Y.                                                                                                                                   | A randomized trial to investigate the efficacy and safety of once-daily liraglutide 1.8 mg in Japanese adults with type 2 diabetes exhibiting an inadequate response to liraglutide 0.9 mg                                  | J Diabetes Investig        |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 13(8):1321-1329.           | 2022 |
| Yabe D, Yamada Y, Kaku K, Nishida T, Sato T, Seino Y.                                                                                                                                                           | Efficacy and safety of once-weekly semaglutide in Japanese individuals with type 2 diabetes by baseline age and body mass index                                                                                             | J Diabetes Investig        |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 13(7):1161-1174.           | 2022 |
| Takagishi M, Aleogho BM, Okumura M, Ushida K, Yamada Y, Seino Y, Fujimura S, Nakashima K, Shindo A.                                                                                                             | Nutritional control of thyroid morphogenesis through gastrointestinal hormones                                                                                                                                              | Curr Biol                  |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 32(7):1485-1496.           | 2022 |
| Sheu WH, Seino Y, Tan EC, Yabe D, Ha KH, Nangaku M, Chung WJ, Node K, Yasui A, Lei WY, Lee S, Ustyugova A, Klement R, Deruaz-Luyet A, Kyaw MH, Kim DJ; EMPRISE East Asia study group.                           | Healthcare resource utilization in patients treated with empagliflozin in East Asia                                                                                                                                         | J Diabetes Investig        |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                             | 13(5):810-821.             | 2022 |

| 著者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | タイトル                                                                                                                                                              | 掲載誌名                |      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                   | 掲載号・ページ             | 掲載年  |
| Makita S, Yasu T, Akashi YJ, Adachi H, Izawa H, Ishihara S, Iso Y, Ohuchi H, Omiya K, Ohya Y, Okita K, Kimura Y, Koike A, Kohzuki M, Koba S, Sata M, Shimada K, Shimokawa T, Shiraishi H, Sumitomo N, Takahashi T, Takura T, Tsutsui H, Nagayama M, Hasegawa E, Fukumoto Y, Furukawa Y, Miura SI, Yasuda S, Yamada S, Yamada Y, Yumino D, Yoshida T, Adachi T, Ikegame T, Izawa KP, Ishida T, Ozasa N, Osada N, Obata H, Kakutani N, Kasahara Y, Kato M, Kamiya K, Kinugawa S, Kono Y, Kobayashi Y, Koyama T, Sase K, Sato S, Shibata T, Suzuki N, Tamaki D, Yamaoka-Tojo M, Nakanishi M, Nakane E, Nishizaki M, Higo T, Fujimi K, Honda T, Matsumoto Y, Matsumoto N, Miyawaki I, Murata M, Yagi S, Yanase M, Yamada M, Yokoyama M, Watanabe N, Ito H, Kimura T, Kyo S, Goto Y, Nohara R, Hirata KI; Japanese Circulation Society/the Japanese Association of Cardiac Rehabilitation Joint Working Group. | JCS/JACR 2021 Guideline on Rehabilitation in Patients With Cardiovascular Disease                                                                                 | Circ J              |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                   | 87(1):155-235.      | 2022 |
| Sumida A, Iizuka K, Kato T, Liu Y, Kubota S, Kubota-Okamoto S, Sakurai T, Imaizumi T, Takahashi Y, Mizuno M, Takao K, Hirota T, Suwa T, Horikawa Y, Yamamoto M, Seino Y, Suzuki A, Yabe D.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | A case of familial hypocalciuric hypercalcemia type 1 due to CASR p.Pro55Leu mutation                                                                             | BMC Endocr Disord   |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                   | 22(1):164.          | 2022 |
| Hirasawa Y, Hamamoto Y.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | Association between height-corrected appendicular and regional skeletal muscle mass and insulin resistance in patients with type 2 diabetes                       | J Phys Ther Sci     |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                   | 34(5):353-359.      | 2022 |
| Yabe D, Deenadayalan S, Horio H, Kaneto H, Jensen TB, Terauchi Y, Yamada Y, Inagaki N.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | Efficacy and safety of oral semaglutide in Japanese patients with type 2 diabetes: A subgroup analysis by baseline variables in the PIONEER9 and PIONEER10 trials | J Diabetes Investig |      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                   | 13(6):975-985.      | 2022 |

# 血液内科

[医師] (R5.3末時)

|            |                                                                                                                        |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特別顧問：永井 謙一 | 日本血液学会認定血液専門医・指導医・功労会員、日本内科学会認定内科医・指導医、日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医・功労会員、日本環境感染学会議員、ICD（インフェクションコントロールドクター）、日本感染症学会、日本輸血・細胞治療学会 |
| 部 長：平田 大二  | 日本血液学会認定血液専門医・指導医、日本内科学会認定内科医、日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医、日本輸血・細胞治療学会細胞治療認定管理師、京都大学医学部臨床教授                                     |
| 部 長：井尾 克宏  | 日本血液学会認定血液専門医、日本エイズ学会                                                                                                  |
| 医 長：北川 智也  | 日本血液学会認定血液専門医、日本内科学会認定内科医、                                                                                             |
| 医 長：和泉 清隆  |                                                                                                                        |
| 医 員：岡本 晴香  |                                                                                                                        |

[診療日程] (R5.3末時)

| 月        |    | 火        |          | 水        |    | 木        |    | 金        |          | 土  |
|----------|----|----------|----------|----------|----|----------|----|----------|----------|----|
| 午前       | 午後 | 午前       | 午後       | 午前       | 午後 | 午前       | 午後 | 午前       | 午後       | 午前 |
| 平田<br>井尾 | 平田 | 平田<br>井尾 | 井尾<br>岡本 | 平田<br>和泉 | 和泉 | 和泉<br>北川 |    | 永井<br>北川 | 永井<br>北川 |    |

[診療内容・診療実績]

|               |      |       |
|---------------|------|-------|
| ・入院患者数延べ数(実数) |      |       |
| 急性骨髄性白血病      | 97例  | (27例) |
| 急性リンパ球性白血病    | 6例   | (2例)  |
| 慢性骨髄性白血病      | 8例   | (4例)  |
| 非ホジキンリンパ腫     | 357例 | (89例) |
| ホジキンリンパ腫      | 26例  | (3例)  |
| 成人T細胞性リンパ腫    | 13例  | (2例)  |
| 多発性骨髄腫        | 63例  | (26例) |
| 骨髄異形成症候群      | 88例  | (20例) |
| 骨髄増殖性疾患       | 4例   | (4例)  |
| 特発性血小板減少性紫斑病  | 10例  | (10例) |
| 自己免疫性溶血性貧血    | 8例   | (7例)  |
| 再生不良性貧血       | 9例   | (6例)  |
| キャスルマン病       | 3例   | (3例)  |
| COVID-19      | 50例  | (47例) |
| ・造血幹細胞移植件数    |      |       |
| 自家末梢血幹細胞移植    | 11例  |       |
| 同種幹細胞移植       | 6例   |       |

スタッフの移動はなかったものの関西電力病院血液内科としては初めての後期研修医として岡本先生が加わりました。病棟業務だけでなく初期研修医への指導なども積極的に行っていただきました。その甲斐もあり 例年より学会発表が多い1年でした。診療に目を向けると今年もCOVID-19の影響を受けながらの診療となりました。年度末にはCOVID-19のクラスターが14階病棟で発生し一時的に病棟閉鎖に近い状況となりました。その中で外来患者数は前年比10%程度増加し、入院患者数は前年比30%程度増加しました。診療内容としては課題であった急性骨髄性白血病はやや増加、今年度は非ホジキンリンパ腫が前年比50%以上(延べ入院数)の増加となりました。高齢者に多い骨髄異形成症候群は横ばい、多発性骨髄腫は入院患者がやや減少しました。自家末梢血幹細胞移植・同種移植に関しては例年と同程度の症例数でした。今年度も4床病室1室をクリーンルームに変更し、化学療法時の血球減少に対応できるようにするとともに収益性の上昇も目指しております。DPCの変更と相まって2022年度の入院1日あたりの単価は10%増加し1万点を上回るようになりました。

# 【論文発表】

| 著者                                                           | タイトル                                                                                                                                                                             | 掲載誌名             |       |
|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
|                                                              |                                                                                                                                                                                  | 掲載号・ページ          | 掲載年   |
| Fumiya Wada,Junya Kanda,<br>Hirokazu Hirata et al.           | Single Cord Blood Transplantation Versus HLA-Haploidentical-related Donor Transplantation Using Posttransplant Cyclophosphamide in Patients With Hematological Malignance        | Transplantation  |       |
|                                                              |                                                                                                                                                                                  | 106(6):1279-1287 | 2022年 |
| Hiroyuki Muranushi,<br>Junya Kanda,<br>Hirokazu Hirata et.al | Bortezomib-cyclophosphamide-dexamethasone induction/consolidation and bortezomib maintenance for transplant-eligible newly diagnosed multiple myeloma: phase 2 multicenter trial | Hematology       |       |
|                                                              |                                                                                                                                                                                  | 27(1):239 -248   | 2022年 |
| Makoto Iwasaki,<br>Junya Kanda,<br>Hirokazu Hirata et.al     | Establishment of a predictive model for GVHD-free, relapse-free survival after allogeneic HSCT using ensemble learning                                                           | Blood advance    |       |
|                                                              |                                                                                                                                                                                  | 6(8):2618-2627   | 2022年 |
| Tomoya Kitagawa ,<br>Takashi Onaka,<br>Akihito Yonezawa      | HIV-negative plasmablastic lymphoma sustaining long-term response after autologous peripheral blood stem cell transplantation                                                    | Rinsyo Ketsueki  |       |
|                                                              |                                                                                                                                                                                  | 63(3):201-205    | 2022年 |

# 【学会発表および参加実績】

| 会名称                          |       | 参加形態・発表テーマ                                                                           | 発表者                                |
|------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 日時                           | 場所    |                                                                                      |                                    |
| 第238回日本内科学会近畿地方会             |       | 溶血性貧血を疑った巨赤芽球性貧血の1例                                                                  | 岡田祐佳、井尾克宏、岡本晴香、和泉清隆、北川智也、平田大二、永井謙一 |
| 2022年12月10日                  | Web開催 |                                                                                      |                                    |
| 第238回日本内科学会近畿地方会             |       | 慢性期を経ずに急性転化で発症した慢性骨髄性白血病に対してベネトクラクス/アザシチジンが奏功した1例                                    | 加古敦也、和泉清隆、岡本晴香、北川智也、井尾克宏、平田大二、永井謙一 |
| 2022年12月10日                  | Web開催 |                                                                                      |                                    |
| 第113回近畿血液学地方会                |       | MTXの眼内注射とHD-MTXを中心とした全身化学療法で治療した硝子体網膜リンパ腫の1例                                         | 高折隆太、井尾克宏、和泉清隆、北川智也、平田大二、永井謙一      |
| 2022年6月4日                    | Web開催 |                                                                                      |                                    |
| 第117回近畿血液学地方会                |       | 結節性リンパ球優位型Hodgkinリンパ腫との病理的鑑別を要したT細胞/組織球豊富型B細胞リンパ腫の1例                                 | 柿原文太、井尾克宏、和泉清隆、北川智也、平田大二、永井謙一      |
| 2022年11月26日                  | 神戸    |                                                                                      |                                    |
| 第84回日本血液学会学術集会               |       | Efficacy of auto-PBSCT with thiotepa/busulfan for systemic DLBCL                     | 井尾克宏、岡本晴香、和泉清隆、北川智也、平田大二、永井謙一      |
| 2022年10月15日                  | 福岡    |                                                                                      |                                    |
| 第84回日本血液学会学術集会<br>コーポレートセミナー |       | 悪性リンパ腫に対する自家造血幹細胞移植                                                                  | 井尾克宏                               |
| 2022年10月16日                  | 福岡    |                                                                                      |                                    |
| 第84回日本血液学会学術集会               |       | Daratumumab-refractory multiple myeloma(MM) successfully treated with PVd            | 岡本晴香、井尾克宏、和泉清隆、北川智也、平田大二、永井謙一      |
| 2022年10月15日                  | 福岡    |                                                                                      |                                    |
| 第84回日本血液学会学術集会               |       | Relapsed DLBCL with PBSCH after polatuzumab vedotin-bendamustine combination therapy | 北川智也、井尾克宏、和泉清隆、平田大二、永井謙一           |
| 2022年10月15日                  | 福岡    |                                                                                      |                                    |
| 第84回日本血液学会学術集会               |       | Successfully treated CML-BP with combination of venetoclax and azacytidine           | 和泉清隆、北川智也、井尾克宏、平田大二、永井謙一           |
| 2022年10月16日                  | 福岡    |                                                                                      |                                    |

**【カンファレンス】**

| 開催日   | 内容                  | 参加者                                 | 場所    |
|-------|---------------------|-------------------------------------|-------|
| 毎週水曜日 | 血液形態カンファレンス         | 医師、研修医、臨床検査技師                       | 臨床検査室 |
| 隔週水曜日 | 血液内科抄読会<br>研修医症例発表会 | 医師                                  | 第6会議室 |
| 毎週木曜日 | 血液内科症例検討会           | 医師、研修医、看護師、理学療法士、薬剤師、<br>管理栄養士、検査技師 | 第6会議室 |
| 毎週木曜日 | 移植カンファレンス           | 医師、研修医、看護師、理学療法士、薬剤師、<br>管理栄養士、検査技師 | 第6会議室 |
| 毎週木曜日 | 病棟回診                | 医師、研修医、看護師、薬剤師、管理栄養士                | 14階病用 |

# 腎臓内科

## [医師] (R5.3末時)

|      |       |                                                                                                                                    |
|------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長: | 古宮 俊幸 | 大阪市立大学大学院 医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本腎臓学会評議員・指導医・専門医、日本透析医学会指導医・専門医、日本リウマチ学会専門医、日本移植学会認定医、日本臨床腎移植学会認定医、日本老年医学会専門医指導医、日本アフェレンス学会認定専門医 |
| 医 長: | 戸田 尚宏 | 京都大学大学院 医学博士、日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医                                                                                |
| 医 長: | 平島 尚子 | 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医                                                                                           |
| 医 員: | 倉橋 聡司 |                                                                                                                                    |
| 医 員: | 竹岡 純  |                                                                                                                                    |
| 医 員: | 佐藤 涼  |                                                                                                                                    |

## [診療日程] (R5.3末時)

| 月         |            | 火    |      | 水        |            | 木          |            | 金  |    | 土  |
|-----------|------------|------|------|----------|------------|------------|------------|----|----|----|
| 午前        | 午後         | 午前   | 午後   | 午前       | 午後         | 午前         | 午後         | 午前 | 午後 | 午前 |
| 古宮<br>担当医 | 古宮<br>腹膜透析 | 腎内初診 | 腎内初診 | 竹岡<br>戸田 | 戸田<br>腹膜透析 | 古宮<br>腹膜透析 | 古宮<br>腹膜透析 | 武曾 |    |    |

## [診療内容・実績]

2022年度も、前年度に引き続きコロナ禍であり診療に一定の影響があったが、腎臓内科として稼働を維持しながらさまざまな活動を持続できた一年であった。

今年度からリウマチ、膠原病内科が独立したが、前年度まで同様に緊密な連携を取りながら幅広い腎疾患、膠原病疾患に対応した。

2022年4月から新たに腎臓内科医師として1名（後期研修医1名）が着任し、外来・病棟業務・手術などの診療の質が大きく向上した。

2022年度も、コロナ禍の影響があり、前年度同様に不要不急の外来診察・入院・手術は大きく影響を受けたが、当科は緊急性の高い診療内容も多く、全体としての収入は増加した。腎生検や腎移植も適応に応じておこなうことができ、緊急のバスキューラーアクセス不全に対するVAIVTの件数もさらに増加していた。近年、当院の知名度・信頼度も高まっていると考えられ、近隣クリニックからの紹介も維持できていた。

血液浄化センターは、大きな事故もなく安全に運用できており、入院透析の患者数も漸増している。

腎炎から移植まで幅広くかつ質の高い医療を提供できる施設として活動を継続することができている。

## [手術・検査等]

|              |                                   |                                                                                                                          |
|--------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 腎生検病名        | 75件                               | MCNS 4名、膜性腎症 4名、IgA腎症11名、尿細管間質性腎炎3名、腎硬化症 12名、DM腎症10名、ANCA関連血管炎5名、GBM腎炎1名、IgA血管炎 2名、ループス腎炎1名、TMA1名、アミロイドーシス 1名、移植腎生検12名など |
| 年間透析数        | 1,706件                            | (HD, OHDF), GCAP 105件, PE 14件, CART 2件, LDL-A 12件, DFPP 3件, レオカーナ 25件。                                                   |
| 年間血液透析導入人数   | 11人                               |                                                                                                                          |
| 腹膜透析人数       | 27人                               |                                                                                                                          |
| 年間腹膜透析導入人数   | 8人                                |                                                                                                                          |
| 年間移植件数       | 4件                                |                                                                                                                          |
| ブラッドアクセス手術関連 | 21件                               |                                                                                                                          |
| VAIVT        | 101件                              |                                                                                                                          |
| 腹膜透析カテーテル関連  | 22件                               | (カテ入, 出口部変更, CRFなど)                                                                                                      |
| ICU症例        | CHDF 341件, HD 36件, PMX 9件, PE 20件 |                                                                                                                          |

## [学会発表]

| 会名称            |    | 参加形態・発表テーマ                       | 発表者                                                  |
|----------------|----|----------------------------------|------------------------------------------------------|
| 日時             | 場所 |                                  |                                                      |
| 第65回日本腎臓学会学術総会 |    | 当院におけるIgG4関連後腹膜線維症で水腎症をきたした症例の検討 | 藤田京花, 倉橋聡司, 谷垣克哉, 平島尚子, 戸田尚宏, 藤田昌昭, 桜井孝規, 武曾恵理, 古宮俊幸 |
| 2022/6/10-12   | 神戸 |                                  |                                                      |

| 会名称                     |    | 参加形態・発表テーマ                                                                                         | 発表者                                                                    |
|-------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 日時                      | 場所 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第67回日本透析医学会<br>学術集会・総会  |    | バクロフェンによる意識障害をきたした一例                                                                               | 倉橋聡司, 戸田尚宏,<br>藤田京花, 小川雅子,<br>谷垣克哉, 平島尚子,<br>高崎盛生, 古宮俊幸                |
| 2022/7/1-3              | 横浜 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第67回日本透析医学会<br>学術集会・総会  |    | PD導入期の左室駆出率と治療成績の検討                                                                                | 戸田尚宏, 倉橋聡司,<br>藤田京花, 谷垣克哉,<br>平島尚子, 藤田昌昭,<br>古宮俊幸                      |
| 2022/7/1-3              | 横浜 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第52回日本腎臓学会西部<br>学術集会・総会 |    | 急性膵炎を契機に発症したCD46のヘテロバリ<br>アントを有する非典型溶血性尿毒症症候群の<br>一例                                               | 吉岡和輝, 戸田尚宏,<br>倉橋聡司, 藤田京花,<br>谷垣克哉, 平島尚子,<br>藤田昌昭, 古宮俊幸                |
| 2022/11/18-19           | 熊本 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第52回日本腎臓学会西部<br>学術集会・総会 |    | ネフローゼ症候群における二峰性アルブミン血<br>症の一例                                                                      | 長谷部雅子, 戸田尚宏,<br>倉橋聡司, 藤田京花,<br>平島尚子, 藤田昌昭,<br>古宮俊幸                     |
| 2022/11/18-19           | 熊本 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第52回日本腎臓学会西部<br>学術集会・総会 |    | 重症coronavirus disease 2019(COVID-19)肺<br>炎治療後に急性間質性腎炎(acute interstitial<br>nephritis : AIN)を来した一例 | 谷垣克哉, 戸田尚宏,<br>武曾恵理, 古宮俊幸                                              |
| 2022/11/18-19           | 熊本 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第28回腹膜透析医学会<br>学術集会・総会  |    | 肝硬変を合併した難治性の透析液リークに対<br>してフィブリノゲン加第13因子製剤注入およびカ<br>テーテル周囲組織結紮が有効であった腹膜透<br>析患者の一例                  | 山崎瑞穂, 古宮俊幸,<br>佐藤 涼, 倉橋聡司,<br>竹岡純, 平島尚子,<br>戸田尚宏, 武曾恵理                 |
| 2022/11/26-27           | 岡山 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第28回腹膜透析医学会<br>学術集会・総会  |    | 加齢性男性性腺機能低下症候群を合併した腹<br>膜透析患者の一例                                                                   | 望月滉介, 倉橋聡司,<br>戸田尚宏, 原口卓也,<br>佐藤 涼, 竹岡 純,<br>山崎瑞穂, 平島尚子,<br>藤田昌昭, 古宮俊幸 |
| 2022/11/26-27           | 岡山 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第28回腹膜透析医学会<br>学術集会・総会  |    | 急性硬膜下血腫の患者に対する胃瘻造設とPD<br>導入                                                                        | 大石佳央梨, 戸田尚宏,<br>古宮俊幸                                                   |
| 2022/11/26-27           | 岡山 |                                                                                                    |                                                                        |
| 第28回腹膜透析医学会<br>学術集会・総会  |    | 出口部管理                                                                                              | 戸田尚宏                                                                   |
| 2022/11/26-27           | 岡山 |                                                                                                    |                                                                        |

## [論文発表]

| 著者                                                                                                         | タイトル                                                                                                                                             | 掲載誌名                   |      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|------|
|                                                                                                            |                                                                                                                                                  | 掲載号・ページ                | 掲載年  |
| Toda N, Takeoka J, Tanigaki K,<br>Hirashima H, Fujita M, Komiya T                                          | Two episodes of acute dyspnea that were induced<br>by COVID-19 in a peritoneal dialysis patient                                                  | CEN Case Rep           |      |
|                                                                                                            |                                                                                                                                                  | 11(1):22-25            | 2022 |
| Kurahashi S, Toda N, Fujita M,<br>Hirashima H, Tanigaki K, Takeoka J,<br>Muso E, Io K, Sakurai T, Komiya T | Acute Tubulointerstitial Nephritis in Rosai-Dorfman<br>Disease Mimicking IgG4-related Disease.                                                   | Intern Med             |      |
|                                                                                                            |                                                                                                                                                  | 61(7):1027-1032        | 2022 |
| Ogawa M, Toda N, Kurahashi S, Fujita<br>K, Hirashima H, Fujita M, Komiya T.                                | Bisalbuminemia in Nephrotic syndrome.                                                                                                            | Kidney Int             |      |
|                                                                                                            |                                                                                                                                                  | 102;943                | 2022 |
| Takada YK, Fujita M, Takada Y.                                                                             | Pro-Inflammatory Chemokines CCL5, CXCL12, and<br>CX3CL1 Bind to and Activate Platelet Integrin $\alpha$<br>IIb $\beta$ 3 in an Allosteric Manner | Cells                  |      |
|                                                                                                            |                                                                                                                                                  | 11(19), 305            | 2022 |
| Fujita C, Sakurai Y, Yasuda Y, Homma<br>R, Huang CL, Fujita M                                              | mCRP as a Biomarker of Adult-Onset Still's<br>Disease: Quantification of mCRP by ELISA.                                                          | Front Immunol          |      |
|                                                                                                            |                                                                                                                                                  | Jul 1;13:938173        | 2022 |
| Wada S, Hirano H, Uehara N, Kurotobi<br>Y, Tsuzaki K, Takamatsu N, Fujita M,<br>Hamano T.                  | Cervical Root Enlargement in Segmental Zoster<br>Paresis: A Study with Magnetic Resonance Imaging<br>and Nerve Ultrasound.                       | Intern Med             |      |
|                                                                                                            |                                                                                                                                                  | Aug 1;61(15):2361-2365 | 2022 |



| 著者                                                                | タイトル                                                                             | 掲載誌名             |      |
|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------|------|
|                                                                   |                                                                                  | 掲載号・ページ          | 掲載年  |
| Umei K, Toda N, Izumi J, Umeda Y, Iwata M, Nakanishi K, Komiya T. | Relationship Between Resistance Index and Recirculation Rate in Vascular Access. | Ren Replace Ther |      |
|                                                                   |                                                                                  | 8:56             | 2022 |
| Yokoi H, Toda N, Mukoyama M.                                      | Generation of Conditional KO Mice of CCN2 in the Kidney.                         | Methods Mol Biol |      |
|                                                                   |                                                                                  | 2582:391-409     | 2023 |
| 山崎瑞穂, 古宮俊幸, 佐藤 涼, 倉橋聡司, 竹岡 純, 平島尚子, 戸田尚宏, 武曾恵理                    | 肝硬変を合併した難治性の透析液リークに対してフィブリノゲン加第13因子製剤注入およびカテーテル周囲組織結紮が有効であった腹膜透析患者の一例.           | 腎と透析             |      |
|                                                                   |                                                                                  | 95巻別冊 腹膜透析       | 2023 |
| 望月滉介, 倉橋聡司, 戸田尚宏, 原口卓也, 佐藤 涼, 竹岡 純, 山崎瑞穂, 平島尚子, 藤田昌昭, 古宮俊幸        | 加齢性男性性腺機能低下症候群を合併した腹膜透析患者の一例.                                                    | 腎と透析             |      |
|                                                                   |                                                                                  | 95巻別冊 腹膜透析       | 2023 |

# リウマチ・膠原病内科

## [医師] (R5.3末時)

部 長： 藤田 昌昭 神戸大学医学博士、日本内科学会専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本リウマチ学会登録ソノグラフィファース、日本感染症学会、日本臨床免疫学会

## [診療日程] (R5.3末時)

|    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 午前 | 午後  | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 |
|    | 八木田 | 藤田 | 藤田 | 藤田 | 藤田 |    |    | 岡崎 | 藤田 |    |

## [診療内容・実績]

### ●リウマチ膠原病内科の診療体制の充実

2020年に腎臓内科の一部門として発足したが、2022年に診療科としての独立を実施して頂いた。当初は診療科専用の診察室を保有していなかったが、2022年からはリウマチ膠原病科として外来診療可能な専用の診察室を確保した。電子カルテシステムも当初は腎臓内科の一部としての運用となっていたが、2022年11月からは電子カルテシステム上も独立した。また、2022年7月からは前北野病院主任部長の八木田正人医師にお越しいただき、質の高い医療体制を拡充させた。これにより、岡崎、藤田、八木田の3名の専門医にて質の高い診療を提供できている。これまでは、腎臓内科のスタッフ、後期研修医とともに診療に当たっていたが、2023年4月にはリウマチ膠原病内科として後期研修医1名が着任予定である。

### ●関節エコー超音波検査の拡充

リウマチ膠原病内科は、超音波診断装置を用いた診察が標準になりつつあるが、外来診察室に超音波装置を常設している基幹病院は少ない。2022年3月に関節エコー専用の超音波装置を購入頂き、当院では外来診察室にエコー装置を導入している。これにより、早期診断、早期病勢評価が実現可能となっている。また、外来関節超音波検査の件数も飛躍的に増加した。(専用エコー導入前は月30件、専用エコー導入は月100件程度)。

### ●生物製剤導入件数の増加

これまでは、リウマチ膠原病内科が無かったため、生物製剤の導入件数に限りがあった。診療科発足後は生物製剤導入件数を飛躍的に増加させることができた(2022年;年間60例の新規導入)。

## [学会発表]

| 会 名 称               |     | 参加形態・発表テーマ            | 発表者                     |
|---------------------|-----|-----------------------|-------------------------|
| 日時                  | 場 所 |                       |                         |
| 第66回日本リウマチ学会総会・学術集会 |     | ポスター発表: 単量体CRPと自己免疫疾患 | 藤田昌昭 古宮俊幸<br>岡崎瑞江 八木田正人 |
| 2022年4月             | 横浜  |                       |                         |

## [論文発表]

| 著 者                                                                                                  | タイトル                                                                                                                                                                       | 掲載誌名            |      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------|
|                                                                                                      |                                                                                                                                                                            | 掲載号・ページ         | 掲載年  |
| Fujita C, Sakurai Y, Yasuda Y, Homma R, Huang CL, Fujita M                                           | mCRP as a Biomarker of Adult-Onset Still's Disease: Quantification of mCRP by ELISA.                                                                                       | Front Immunol   |      |
|                                                                                                      |                                                                                                                                                                            | 13:938173       | 2022 |
| Takada YK, Fujita M, Takada Y                                                                        | Pro-Inflammatory Chemokines CCL5, CXCL12, and CX3CL1 Bind to and Activate Platelet Integrin $\alpha$ IIb $\beta$ 3 in an Allosteric Manner.                                | Cells           |      |
|                                                                                                      |                                                                                                                                                                            | 11:3059         | 2022 |
| Fujita-C, Sakurai-Y, Yasuda-Y, Takada-Y, Huang-CL, Fujita-M                                          | Anti-monomeric C-reactive protein antibody ameliorates arthritis and nephritis in mice.                                                                                    | J Immunol       |      |
|                                                                                                      |                                                                                                                                                                            | 207:1-8         | 2021 |
| Sumitomo R, Huang CL, Fujita M, Cho H, Date H.                                                       | Differential expression of PD_x001e_L1 and PDL2 is associated with the tumor microenvironment of TILs and M2 TAMs and tumor differentiation in non-small cell lung cancer. | Oncol Rep       |      |
|                                                                                                      |                                                                                                                                                                            | 47:73           | 2022 |
| Wada S, Hirano H, Uehara N, Kurotobi Y, Tsuzaki K, Takamatsu N, Fujita M, Hamano T.                  | Cervical Root Enlargement in Segmental Zoster Paresis: A Study with Magnetic Resonance Imaging and Nerve Ultrasound.                                                       | Intern Med      |      |
|                                                                                                      |                                                                                                                                                                            | 8538-21         | 2022 |
| Kurahashi S, Toda N, Fujita M, Tanigaki K, Takeoka J, Hirashima H, Muso E, Io K, Sakurai T, Komiya T | Acute Tubulointerstitial Nephritis in Rosai-Dorfman Disease Mimicking IgG4-related Disease.                                                                                | Intern Med      |      |
|                                                                                                      |                                                                                                                                                                            | 61(7):1027-1032 | 2022 |

| 著者                                                                                                                   | タイトル                                                                                             | 掲載誌名                  |      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------|
|                                                                                                                      |                                                                                                  | 掲載号・ページ               | 掲載年  |
| Toda N, Takeoka J, Tanigaki K,<br>Hirashima H, Fujita M, Komiya T                                                    | Two episodes of acute dyspnea that were induced by<br>COVID-19 in a peritoneal dialysis patient. | CEN Case Rep          |      |
|                                                                                                                      |                                                                                                  | 11:22-25              | 2022 |
| Jun Takeoka, Tomomi Oka,<br>Kyoka Fujita, Satoshi Kurahashi,<br>Naohiro Toda, Toshiyuki Komiya<br>and Masaaki Fujita | Treatment of Secondary Immune Thrombocytopenia with<br>Tacrolimus.                               | Clin Image Case Rep J |      |
|                                                                                                                      |                                                                                                  | 3(9): 189             | 2021 |

# 腫瘍内科

[医師] (R5.3末時)

部 長：柳原 一広

医 員：竹下 純平

医 員：十三 且也

医 員：天野 佑美

日本臨床腫瘍学会協議員・指導医・がん薬物療法専門医、日本緩和医療学会認定医、  
日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医、日本呼吸器内視鏡学会指導医・専門医

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法指導医・専門医、日本内科学会内科専門医、日本呼吸学会専門医

[診療日程] (R5.3末時)

| 月   |     | 火  |    | 水  |    | 木   |     | 金  |    | 土  |
|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|
| 午前  | 午後  | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前  | 午後  | 午前 | 午後 | 午前 |
| 担当医 | 担当医 | 竹下 | 竹下 | 天野 | 天野 | 担当医 | 担当医 | 十三 | 十三 |    |

※平日毎日午後対応(要予約)

[診療概要・実績報告]

令和4年3月に泉野・富田が退職し、4月より天野が再度着任し柳原、古武、竹下の日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医3名と専攻医2名の5名体制となりましたが、7月より古武が京都大学に転勤し、4名体制となりました。

腫瘍内科は一般内科の一専門領域で、抗がん薬治療の適応に関わらず、悪性腫瘍をもった患者さまの診療を行う領域です。がんの診断や治療のほかに、がんの予防、終末期医療も含んでいますが、当院では腫瘍内科は主に抗がん薬治療を行う患者さまを診療しています。

がん患者さまの主治医として併存疾患や治療の合併症も含めた患者の健康および精神状態全体を把握し、がん治療には必須の集学的治療の実践のために、必要に応じて他の様々な専門医・専門職種による診療の調整を行っています。緩和医療は早期から導入することが勧められ、アドバンスト・ケア・プランニング(ACP: 人生会議)を早期から意識した診療を当院腫瘍内科でも取り入れており、残念ながら患者さまの状態により初診から症状緩和のみ(BSC)を行うこともあります。

抗がん薬は劇薬であり、より安全に、かつ効果的に投与するために、抗がん薬の作用や薬剤耐性の機序および副作用などに精通して診療にあたっています。

新規の抗がん薬だけではなく、世界標準の確立した抗がん薬治療を確実に行っていくためにも、副作用に対する支持療法についても最新の情報を取得し、実践しています。

世界標準的な確立した治療方法を患者さまにお勧めすることが、私たち医療者の使命です。

患者さまの状態にあわせて、その時点での勧められる治療法がどのようなものか、その中で抗がん薬治療がどのような意味を持つものなのか、詳細に説明してご理解頂き、一緒に治療法を考え、納得頂いた上で行っていきたいと思っています。

また現在の標準的な治療を実践するのみならず、新たな治療を確立するためにデザインと科学的背景のしっかりとした臨床試験を様々な臨床試験グループと共同で行い、新たな抗がん薬治療の開発に取り組んでいます。

そのためにも多診療科・多職種で情報を共有し、チーム一丸となって抗がん薬治療を行うようにしています。

[診療実績]

| がん腫        | 新規紹介患者数 | がん腫  | 新規紹介患者数 | がん腫     | 新規紹介患者数 |
|------------|---------|------|---------|---------|---------|
| 頭頸部がん      | 4       | 結腸がん | 9       | 卵管・卵巣がん | 6       |
| 甲状腺がん      | 3       | 直腸がん | 4       | 膀胱がん    | 1       |
| 食道がん       | 1       | 膵がん  | 4       | 肉腫      | 1       |
| 胃がん        | 2       | 胆道がん | 1       | その他     | 1       |
| 神経内分泌腫瘍・がん | 20      | 肺がん  | 40      |         |         |
| 十二指腸がん     | 2       | 乳がん  | 11      |         |         |
| 盲腸がん       | 2       | 子宮がん | 13      |         |         |
| 計          |         |      |         |         | 125     |

セカンドオピニオンは3件行いました。

## [学会発表]

| 会名称              |    | 発表テーマ                                     | 発表者                                                                                |
|------------------|----|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時               | 場所 |                                           |                                                                                    |
| 日本内科学会 ことはじめ     |    | 白血球分画と免疫チェックポイント阻害薬の<br>治療効果の関連性          | 富田和輝、古武 剛、十三且也、<br>泉野弘樹、竹下純平、柳原一広<br>(ポスター発表優秀演題賞受賞)                               |
| 2022/4/16        | 京都 |                                           |                                                                                    |
| 第62回 日本呼吸器学会     |    | 肺癌薬物療法に伴うirAEの発症状況と治療マ<br>ネジメントに関する後ろ向き検討 | 竹下純平、天野佑美、十三且也、<br>古武剛、柳原一広                                                        |
| 2022/4/22-4/24   | 京都 |                                           |                                                                                    |
| 第67回 日本人類遺伝学会    |    | 非小細胞肺癌における遺伝子パネル検査の<br>実態調査               | 竹下純平、天野佑美、十三且也、<br>古武 剛、舘 秀和、吉村聡一郎、<br>曾根莉彩、嶋田有里、田村佳菜子、<br>稲田祐也、伊東友好、吉村誉史、<br>柳原一広 |
| 2022/12/14-12/17 | 横浜 |                                           |                                                                                    |
| 第20回日本臨床腫瘍学会     |    | ペプチド受容体放射線核種療法(PRRT):腫<br>瘍内科の立場から        | 柳原一広                                                                               |
| 2023/3/16-3/18   | 福岡 |                                           |                                                                                    |

## [症例検討会]

カンファレンス時に検討

## [カンファレンス]

毎週月曜日 婦人科がん化学療法カンファレンス  
(婦人科・腫瘍内科・薬剤部・12階看護スタッフ)

毎週月曜日 消化器がん化学療法カンファレンス  
(消化器・肝胆膵内科・腫瘍内科・薬剤部)

毎週火曜日 外科化学療法カンファレンス  
(消化器外科・腫瘍内科・薬剤部・12階看護スタッフ・外来化学療法室看護スタッフ)

毎週火曜日 呼吸器がん化学療法カンファレンス  
(呼吸器センター・腫瘍内科・薬剤部・9階看護スタッフ・呼吸器外来看護スタッフ・  
リハビリ部・栄養管理室)

毎週火曜日 消化器合同カンファレンス  
(消化器外科・乳腺外科・消化器・肝胆膵内科・放射線治療科・放射線診断科・病理診断科・  
腫瘍内科・薬剤部)

毎週水曜日 がんサポートチームカンファレンス  
(緩和ケアチーム)

毎週水曜日 放射線治療カンファレンス  
(放射線治療科・放射線部技師・放射線部看護師・腫瘍内科)

毎週水曜日 乳腺外科化学療法カンファレンス  
(乳腺外科・腫瘍内科・薬剤部)

毎週木曜日 腫瘍内科病棟カンファレンス  
(腫瘍内科・9階看護スタッフ・退院調整看護師・外来化学療法室看護スタッフ・病棟薬剤師・  
理学療法士・病棟栄養士)

毎週金曜日 外来化学療法室多職種カンファレンス  
(腫瘍内科・外来化学療法室看護スタッフ・外来化学療法室薬剤師・30番クラーク)

偶数月第1金曜日 外来化学療法室運営委員会  
(腫瘍内科・外来化学療法室看護スタッフ・外来化学療法室薬剤師・30番クラーク・病態栄養師)

[医師](R5.3末時)

|        |        |                                                                                                                     |
|--------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部長:    | 伊東 友好  | 日本内科学会(認定医・専門医・指導医)、日本呼吸器学会(専門医・指導医)、日本呼吸器内視鏡学会(専門医・指導医)、日本肺癌学会<br>日本結核・非結核性抗酸菌症学会(認定医・指導医)                         |
| 医長:    | 稲田 祐也  | 日本内科学会(認定医・専門医・指導医)、日本呼吸器学会(専門医・指導医)、日本呼吸器内視鏡学会(専門医・指導医)<br>日本感染症学会、日本化学療法学会(認定医)、日本結核・非結核性抗酸菌症学会(認定医)<br>日本アレルギー学会 |
| 医員:    | 嶋田 有里  | 日本内科学会(専門医)、日本呼吸器学会、日本肺癌学会                                                                                          |
| 医員:    | 曾根 莉彩  | 日本内科学会、日本呼吸器学会                                                                                                      |
| 後期研修医: | 吉村 聡一郎 | 日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会                                                                                           |

[診療日程](R5.3末時)

| 月       |    | 火  |    | 水        |    | 木  |    | 金        |    | 土   |
|---------|----|----|----|----------|----|----|----|----------|----|-----|
| 午前      | 午後 | 午前 | 午後 | 午前       | 午後 | 午前 | 午後 | 午前       | 午後 | 午前  |
| 伊東<br>谷 |    | 曾根 |    | 伊東<br>吉田 |    | 浅井 |    | 稲田<br>嶋田 |    | 交代制 |

[診療概要・実績]

令和4年度は、大幅なスタッフの入れ替えがあり、6月までは6名体制(スタッフ4名 後期研修医2名)、7月から5名体制で診療を行った(スタッフ3名 後期研修医2名)。前年度より経験値が少ない減員体制で診療を行い、春先には慣れない環境下での精神的負担などで体調を崩したスタッフがいたが、順応するにつれてパフォーマンスの向上を確認できた。冬には複数のスタッフがCOVID19に罹患し、診療体制を縮小せざるを得ない時期もあったが、チーム医療でしのぐことができた。COVID19流行下での病棟運営の影響、入院や検査の調整困難下で、概ね前年度と同様の実績であった。

1) 腫瘍性疾患

確定診断のための気管支鏡検査(生検)は当科が主に実施している。常時呼吸器外科、腫瘍内科との症例検討を行い、早期症例については呼吸器外科へ転科し切除術を施行、進行肺癌に対しては腫瘍内科が中心となり化学療法や放射線療法で対応、間質性肺疾患や感染症合併例には当科が適宜併診している。今後も増加が予測される肺悪性腫瘍患者に対して、複数の診療科と密な連携を図り、質の高い医療を提供していきたいと考える。

2) 呼吸器感染症

呼吸器感染症の入院件数は共観患者を含めると168件あった。誤嚥性肺炎を含めた細菌性肺炎、マイコプラズマをはじめとした非定型肺炎、ニューモシスティス、アスペルギルスなどによる真菌感染、結核や非結核性抗酸菌などの抗酸菌感染、胸膜炎/膿胸など多彩な疾患の治療を行った。COVID19に対しては前年同様に全診療科協力のもとコンサルテーションを含む対応を行った。

3) 気管支喘息・COPD

気管支喘息については、外来で呼気NO測定を行い、早期の喘息診断/治療およびコントロールのモニタリングを行っている。吸入ステロイドを中心とするガイドラインに準じた治療を行う事で外来コントロールできている患者が大半を占めているが、難治性喘息に対しては生物学的製剤を導入するように努めている。入院患者は、感染契機の増悪例や難治性喘息で占められており、COPDもガイドラインに準拠した気管支拡張薬を中心とした治療を行っている。入院患者は、在宅酸素療法施行中の低肺機能症例や急性増悪を繰り返す症例で占められている。重症例には必要に応じてネーザルハイフローや非侵襲的人工呼吸器を用いた管理を行い、人工呼吸器管理の際はICUで対処して頂いている。

4) びまん性肺疾患

びまん性肺疾患の入院件数は共観患者を含めると83件あった。複数の特発性間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎、サルコイドーシス、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、薬剤性肺炎、放射線肺臓炎など多彩な疾患の治療を行った。

5) その他

気胸、咯血など。

[検査件数]

気管支鏡検査 103件

# [学会発表]

| 会名称               |             | 参加形態・発表テーマ                                 | 発表者                                        |
|-------------------|-------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 日時                | 場所          |                                            |                                            |
| 第62回日本呼吸器学会学術講演会  |             | COVID-19の危機管理・診療体制 当院でのCovid-19診療における取り組み  | 篠木聖徳, 古川雄一郎, 水谷 亮, 田村佳菜子, 稲田祐也, 伊東友好       |
| 2022/4/22         | 国立京都国際会館    |                                            |                                            |
| 第72回大阪北肺疾患勉強会     |             | 検討症例質疑・コメント                                | 曽根莉彩                                       |
| 2022/11/14        | WEB開催       |                                            |                                            |
| 内科症例検討会           |             | ～肺炎～                                       | 吉村聡一郎                                      |
| 2022/11/17        | 関西電力病院 3F講堂 |                                            |                                            |
| 第100回日本呼吸器学会近畿地方会 |             | 猫咬傷後に発症したPasteurella multocidaによる敗血症・膿胸の1例 | 曽根莉彩, 稲田祐也, 吉村聡一郎, 嶋田有里, 伊東友好              |
| 2022/12/17        | 大阪国際交流センター  |                                            |                                            |
| 第100回日本呼吸器学会近畿地方会 |             | 早期に診断した器質化肺炎を呈した肺クリプトコックス症の一例              | 嶋田有里, 吉村聡一郎, 曽根莉彩, 田村佳菜子, 稲田祐也, 桜井孝規, 伊東友好 |
| 2022/12/17        | 大阪国際交流センター  |                                            |                                            |

# [論文発表]

| 著者                                                     | タイトル                                            | 掲載誌名            |         |
|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------|---------|
|                                                        |                                                 | 掲載号・ページ         | 掲載年     |
| 稲田祐也, 伊東友好, 岩崎剛平, 古川雄一郎, 水谷 亮, 篠木聖徳, 赤木佳菜子, 桜井孝規, 川口知哉 | 広範な気管・気管支内病変を認めたメトレキサートによる医原性免疫不全症関連リンパ増殖性疾患の1例 | 気管支学            |         |
|                                                        |                                                 | 44巻 Page305-312 | 2022.07 |

# [カンファレンス]

| 開催日   | 参加者                            | 場所       |
|-------|--------------------------------|----------|
| 毎週火曜日 | 3科(呼吸器内科・呼吸器外科・腫瘍内科) 合同カンファレンス | 8F 第4会議室 |
| 毎週水曜日 | 呼吸器内科カンファレンス                   | 2F 呼吸器外来 |

# 脳神経内科

## [医師](R5.3末時)

|      |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長： | 濱野 利明 | 日本神経学会専門医/指導医/代議員、日本臨床神経生理学会専門医、日本神経治療学会、日本末梢神経学会、日本内科学会認定医/指導医、京都大学医学部臨床教授                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 部 長： | 立花 直子 | 日本神経学会専門医、日本臨床睡眠医学会理事長、日本臨床神経生理学会専門医/代議員、日本睡眠学会専門医/評議員、日本神経精神医学会評議員、日本パーキンソン病・運動障害疾患学会、World Sleep Society、American Academy of Sleep Medicine、Sleep Research Society (USA)、American Academy of Neurology、International Psychogeriatric Association、International Restless Legs Syndrome Study Group、大阪大学大学院医学系研究科連携大学院 招聘教授 |
| 医 長： | 三原 丈直 | 日本耳鼻咽喉科学会専門医/指導医/補聴器相談医、日本睡眠学会専門医、日本めまい平衡学会めまい相談医、日本登山医学会国際山岳医、日本口腔咽頭学会、日本嚥下医学会、日本臨床睡眠学会、日本耳鼻咽喉科臨床学会                                                                                                                                                                                                                        |
| 医 長： | 津崎 光司 | 日本神経学会専門医/指導医、日本認知症学会専門医/指導医、日本脳卒中学会、日本臨床神経生理学会専門医、日本内科学会認定医/総合内科専門医/指導医、日本感染症学会、日本頭痛学会                                                                                                                                                                                                                                     |
| 医 長： | 上原 尚子 | 日本神経学会専門医、日本内科学会認定医、日本臨床神経生理学会専門医、日本てんかん学会専門医                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 医 員： | 月田 和人 | 日本神経学会専門医、日本内科学会認定医、日本パーキンソン病・運動障害疾患学会                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 医 員： | 酒井 遼介 | 日本内科学会、日本神経学会、日本脳卒中学会、臨床神経生理学会                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 医 員： | 鈴木 郁  | 日本内科学会、日本神経学会、日本脳卒中学会                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 医 員： | 長岡 紗由 | 日本内科学会、日本神経学会                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## [診療日程](R5.3末時)

|           | 月        |                | 火        |     | 水  |    | 木        |    | 金        |     | 土  |
|-----------|----------|----------------|----------|-----|----|----|----------|----|----------|-----|----|
|           | 午前       | 午後             | 午前       | 午後  | 午前 | 午後 | 午前       | 午後 | 午前       | 午後  | 午前 |
| 再診        | 濱野<br>上原 | 濱野<br>津崎<br>上原 | 月田       |     | 津崎 | 酒井 | 里井       |    | 濱野       |     |    |
| 初診        | 月田       |                | 濱野<br>酒井 |     | 上原 |    |          |    | 津崎<br>鈴木 |     | 交代 |
| 睡眠覚醒      |          |                | 立花       | 三原  | 三原 |    | 立花<br>月田 | 三原 | 立花       | 三原  | 交代 |
| セカンドオピニオン |          |                |          |     |    |    | 濱野       |    |          |     |    |
| その他       |          |                |          | 神経筋 |    |    |          |    |          | 神経筋 |    |

## [診療概要・実績報告]

令和4年度、脳神経内科はスタッフ6名、専攻医3名の計9人体制で、各種変性疾患、末梢神経・筋疾患、脳血管障害、睡眠関連疾患など広く診療を行った。COVID-19の影響で新規入院患者は448人と引き続き例年に比べると減少していたが、昨年度よりは増加していた。平均在院日数は10.1日であった。外来患者数はのべ10,047人、新患は637人で、のべ患者数は49人の増加、新患数は68人の減少であった。紹介率は70.6%、逆紹介率は57.0%であった。

脳卒中診療においては脳神経外科と協力し、脳梗塞超急性期の血栓溶解療法や血管内治療にも対応できる体制を整えて、急性期治療を行っている。またリハビリテーション科や他職種とも協力して、スムーズにリハビリテーションや社会環境調整を行うように努めている。神経筋外来では、筋電図や誘発電位などの電気生理学的検査を用いて、運動ニューロン疾患、筋疾患、ポリニューロパチーなどの神経筋疾患の専門的診断を行った。また整形外科と協力し、手根管症候群などの術前後の評価や、形成外科で治療を受けた外傷性末梢神経障害患者の治療効果の評価も行った。他病院からの紹介患者を多数受け入れたほか、他病院の医師にも診療に参加して頂き、勉強して頂ける機会を設けた。電気生理学的検査に関しては、他院からも高い評価を頂いており、引き続き積極的に紹介患者を受ける方針である。

睡眠覚醒外来は睡眠関連疾患の診療に特化し、年間約150例の睡眠ポリグラフ検査(PSG)と反復睡眠潜時検査(MSLT)を行っている。当院のPSGは病棟の特別な個室を使った1泊入院で行う安全精度管理基準を満たす常時監視PSGであり、睡眠内容の詳細がわかるため、患者の満足度は高い。したがって、睡眠時無呼吸症候群(SAS)治療の第一選択であるCPAP療法導入時には、患者の無呼吸をなくすのに最適な空気圧を決定する特殊なPSGも実施できるので、他院でCPAP療法がうまく行かなかった患者にも対応している。その結果、CPAPの脱落率は低く、フォローアップ患者数は約370名に達している。SASのスクリーニングには、自宅で実施できる簡便なデバイス(酸素飽和度持続測定機器)を用いており、年間約200例の実績がある。また、MSLTは過眠症の原因検索と治療のために必須の検査であり、国内でも実施できる施設が限られるため、紹介患者が増え、2週に1回のペースで実施している。



## [入院患者数]

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| 睡眠関連疾患(睡眠時無呼吸症候群、ナルコレプシーなど)          | 132 |
| 変性疾患(パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ALS、アルツハイマー病など) | 118 |
| 脳卒中(脳梗塞、脳出血など)                       | 84  |
| 発作性疾患(てんかん、頭痛、めまいなど)                 | 25  |
| 末梢神経疾患(ギランバレー症候群、CIDPなど)             | 22  |
| 筋疾患(多発筋炎など)                          | 8   |
| 感染症(髄膜炎、脳炎など)                        | 3   |
| 脊髄・脊椎疾患(脊髄炎など)                       | 8   |
| 脱髄疾患(多発性硬化症など)                       | 8   |
| その他(水頭症、脳腫瘍、代謝性疾患など)                 | 53  |

## [検査件数]

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 頭部MRI                 | 984   |
| 頭部CT                  | 552   |
| SPECT(脳血流シンチ、心筋シンチなど) | 150   |
| 脳波                    | 275   |
| 誘発筋電図(検査神経数)          | 2,771 |
| 針筋電図(検査筋数)            | 615   |
| 大脳誘発電位                | 45    |
| 終夜睡眠ポリグラフ検査           | 135   |
| 睡眠潜時反復測定検査            | 32    |

## [論文発表]

| 著者                                                                                                                          | タイトル                                                                                                                                                  | 掲載誌名             |      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------|
|                                                                                                                             |                                                                                                                                                       | 掲載号・ページ          | 掲載年  |
| Yuwa Oka, Kazuto Tsukita, Koji Tsuzaki, Naoko Takamatsu, Ayumi Uchibori, Atsuro Chiba, Toshiaki Hamano                      | Nerve ultrasound characteristics of immunoglobulin M neuropathy associated with anti-myelin-associated glycoprotein antibodies                        | Muscle Nerve     |      |
|                                                                                                                             |                                                                                                                                                       | 65(6):667-675.   | 2022 |
| Okuda S, Nakayama T, Uemura N, Hikawa R, Ikuno M, Yamakado H, Inoue H, Tachibana N, Hayashi Y, Takahashi R, Egawa N.        | Striatal-inoculation of $\alpha$ -synuclein preformed fibrils aggravated the phenotypes of REM sleep without atonia in A53T BAC-SNCA transgenic mice. | Int J Mol Sci.   |      |
|                                                                                                                             |                                                                                                                                                       | 23(21):13390     | 2022 |
| Shinichi Wada, Hirohisa Hirano, Naoko Uehara, Yuri Kurotobi, Koji Tsuzaki, Naoko Takamatsu, Masaaki Fujita, Toshiaki Hamano | Cervical root enlargement in segmental zoster paresis: A study with magnetic resonance imaging and nerve ultrasound                                   | Intern Med       |      |
|                                                                                                                             |                                                                                                                                                       | 61(15):2361-2365 | 2022 |
| Yuwa Oka, Kazuto Tsukita, Koji Tsuzaki, Naoko Takamatsu, Toshiaki Hamano                                                    | Sonographic multifocal cranial nerve enlargement in multifocal acquired demyelinating sensory and motor neuropathy                                    | Intern Med.      |      |
|                                                                                                                             |                                                                                                                                                       | 60(17):2867-2871 | 2022 |
| 立花直子                                                                                                                        | 睡眠関連疾患の診断                                                                                                                                             | 脳神経内科            |      |
|                                                                                                                             |                                                                                                                                                       | 97(5): 561-571   | 2022 |
| 立花直子                                                                                                                        | 睡眠関連疾患の鑑別診断 終夜睡眠ポリグラフ検査を施行すべきポイント                                                                                                                     | 精神科治療学           |      |
|                                                                                                                             |                                                                                                                                                       | 38(6): 653-659   | 2022 |

## [学会発表]

| 会名称              |    | 参加形態・発表テーマ                                                                | 発表者                 |
|------------------|----|---------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 日時               | 場所 |                                                                           |                     |
| 第63回日本神経学会学術大会   |    | 「眠気の診かた」症例④/総括                                                            | 立花直子                |
| 2022年5月          | 東京 |                                                                           |                     |
| 第47回日本睡眠学会定期学術集会 |    | The afternoon CPAP titration (aPT): A new practical CPAP titration method | 紀戸恵介、清水春香、三原丈直、立花直子 |
| 2022年6月          | 京都 |                                                                           |                     |

| 会名称                          |     | 参加形態・発表テーマ                                                              | 発表者                                                               |
|------------------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 日時                           | 場所  |                                                                         |                                                                   |
| 第122回日本神経学会近畿地方会             |     | 脳神経障害による構音・嚥下障害をきたした好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の一例                             | 増田光輝、津崎光司、<br>長岡紗由、鈴木 郁、<br>酒井遼介、殿村修一、<br>上原尚子、三原丈直、<br>立花直子、濱野利明 |
| 2022年7月                      | 大阪  |                                                                         |                                                                   |
| 第13回日本臨床睡眠医学会学術集会            |     | Restless legs syndrome (RLS) / Willis-Ekbom disease (WED) の薬物療法をマスターしよう | 立花直子                                                              |
| 2022年10月                     | 奈良  |                                                                         |                                                                   |
| 第13回日本臨床睡眠医学会学術集会            |     | PSG の品質管理の現在の問題点—当センター外来から見えてくるもの                                       | 三原丈直、立花直子                                                         |
| 2022年10月                     | 奈良  |                                                                         |                                                                   |
| 第52回日本臨床神経生理学学会学術大会          |     | 持続陽圧呼吸療法(CPAP)を卒業した閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者の診断時の重症度                             | 和田晋一、紀戸恵介、<br>三原丈直、濱野利明、<br>立花直子                                  |
| 2022年11月                     | 京都  |                                                                         |                                                                   |
| 第33回小児脳機能研究会<br>「子どもの眠りと脳機能」 |     | 子どもの人生を左右する睡眠関連疾患—ナルコレプシーとレストレスレッグス症候群                                  | 立花直子                                                              |
| 2022年11月                     | 京都  |                                                                         |                                                                   |
| 第238回日本内科学会近畿地方会             |     | 椎骨動脈解離後の血行動態変化が脳塞栓の発症に影響を来した1例                                          | 平松 健、酒井遼介、<br>殿村修一、鈴木 郁、<br>増田光輝、上原尚子、<br>津崎光司、三原丈直、<br>立花直子、濱野利明 |
| 2022年12月                     | WEB |                                                                         |                                                                   |
| 第48回脳卒中学会学術集会                |     | 後方循環系に多発微小出血を合併した遺残舌下動脈の破格を伴う血行力学的脳虚血の1例                                | 鈴木 郁、殿村修一、<br>酒井遼介、津崎光司                                           |
| 2023年3月                      | 横浜  |                                                                         |                                                                   |

# 心療内科・神経科

## [医師](R5.3末時)

部 長： 垣見 亮 日本医師会認定産業医、日本内科学会、日本心身医学会、日本心療内科学会、日本産業ストレス学会、日本サイコオンコロジー学会

臨床心理士： 名村 柚香 臨床心理士/公認心理師・日本心理臨床学会・サイコオンコロジー学会・ユング心理学会

## [診療日程](R5.3末時)

| 月  |    | 火  |                       | 水  |    | 木  |    | 金  |    | 土  |
|----|----|----|-----------------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 午前 | 午後 | 午前 | 午後                    | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 |
| 垣見 | 垣見 | 藤本 | 藤本<br>サイコオンコ<br>ロジー外来 | 北浦 |    | 垣見 | 垣見 | 垣見 | 垣見 | 予約 |

## [診療概要・実績報告]

- ①R4年度は昨年度に引き続き、常勤医1名、非常勤医2名、常勤心理士1名の体制であった。
- ②サイコオンコロジー外来は当院で悪性疾患を治療中の患者を対象とした外来診療であり、平成27年4月から開始された。令和4年度の新患数15人と前年度から107%と微増している。

### ●サイコオンコロジー外来(火曜午後) 令和4年度 新患数実績

|        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 新患数(人) | 1  | 1  | 2  | 1  | 1  | 0  | 2   | 1   | 0   | 1  | 1  | 4  |

計15人

- ③従来の外来については、本人からの依頼に加えて職場の上司や健康管理室からの初診相談、家族からの相談など、いろいろな経路での初診依頼に対応している。新患総数は10人と昨年度の200%と増加した。

### ●心療内科外来 令和4年度 新患数実績

|        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 新患数(人) | 0  | 0  | 2  | 0  | 3  | 1  | 1   | 2   | 0   | 0  | 0  | 1  |

計10人中(休務入り4人)

- ④令和4年度の上司面談は復職支援プログラムの件数が減ったことから、前年度25件から12件に減少している。
- ⑤復職困難例(アルコール依存症や発達障害など)の患者についても、昨年同様職場の上司や人事労務担当者と繰り返し面談し、就労上の注意点や環境調整に関する留意点について専門的立場からコメントしている。
- ⑥心療内科入院については、これまで通り当院での入院はお断りしている。
- ⑦他科からの入院中の対診(コンサルテーションリエゾン)は基本的にすべて対応をしており、今年度は209件と昨年度に比べ対応患者総数は129%と増加している。なお入院患者の場合、退院後の当科外来通院ができないことがあるため、必要に応じて本人希望の医療機関に紹介している。
- 対診依頼の内訳として目立つのは、認知症・せん妄圏であり昨年度よりさらに増加している。その他の抑うつ圏や不安障害圏、精神病圏などはあまり変わらない。
- ⑧これまで同様、緩和ケアチームのメンバーとして心療内科医と公認心理師が緩和ケアチームカンファレンスや緩和医療委員会に参加。患者あるいは家族の全人的苦痛、特に精神的苦痛やスピリチュアルペインに関連した問題に対応するとともに、病棟スタッフの相談を聞いたり必要に応じて主科からの対診依頼を受けている。

## [検査等](令和4年度)

- ①前年度同様、外来新患については状態の評価と分かりやすい説明のために原則としてSDS(うつの評価)とSTAI(不安の評価)を施行している。
- ②前年度同様、必要に応じて実施している各種心理検査のうち、成人の発達障害や知的障害に関連し施行する知能検査(当院ではWAIS-IIIを使用)や投影法による人格検査であるロールシャッハ・テストはいずれも実施に時間を要すること、検査者と被験者が至近距離にて会話や物のやりとりをしなければならないことから新型コロナ感染症対策(アクリル板の設置、検査時間を区切るなど)を徹底したうえで実施している。
- ③引き続き他院(北浦クリニック)からの紹介患者様に対し、アサーション・トレーニング、認知行動療法を期間限定で行うとともに、検査のみで紹介された発達障害疑い患者様に対し、知能検査を施行している。
- ④前年度同様、当院新入職員(看護師、リハビリ療法士、栄養士)に対し、新型コロナ感染症対策を十分に行ったうえで90分の対面式講義を実施している。ただし、今年度に関しては講義は前期の一回のみであり後期は看護部の要請を受けて新人看護師全員を対象とした個人面談を一月に実施している。
- ⑤④が終了した後、9階～17階各病棟の師長との上司面談を実施している。
- ⑥随時、診療外として院内職員の相談に応じているが、延べ回数としては前年度よりかなり増加している。

[研修会・学会参加実績]

| 会名称               |               | テーマ                                                 | 参加者  |
|-------------------|---------------|-----------------------------------------------------|------|
| 開催月日              | 場所            |                                                     |      |
| 日本ユング心理学第10回大会    |               | ZOOM参加/共感力の再考 ほか                                    | 名村柚香 |
| 2022.6.4～5        | オンライン         |                                                     |      |
| 産業医研修会            |               | メンタルヘルス不調者の職場復帰/職域における運動                            | 垣見 亮 |
| 2022.6.15         | 大阪府医師会館       |                                                     |      |
| 関西産研64回研究会        |               | アフターコロナを見据えた海外赴任者の健康管理                              | 垣見 亮 |
| 2022.9.10         | エル大阪南ホール      |                                                     |      |
| 日本心理臨床学会第41回大会    |               | ZOOM参加/事例研究 ほか                                      | 名村柚香 |
| 2022.9.10～11      | オンライン         |                                                     |      |
| オンライン診療研修会        |               | ZOOM参加/オンライン診療の資格取得                                 | 垣見 亮 |
| 2022.11.1         | オンライン         |                                                     |      |
| 産業医研修会            |               | 小売業の労災対策/特殊健康診断の基本と嘱託産業医業務の実際                       | 垣見 亮 |
| 2022.11.9         | 大阪府医師会館       |                                                     |      |
| 産業医web研修会         |               | 産業医が裁判例を知る意義/化学物質の自律的管理と産業医                         | 垣見 亮 |
| 2022.11.18        | オンライン         |                                                     |      |
| 産業ストレス学会          |               | 産業ストレスの研究と実践の新たな幕開け                                 | 垣見 亮 |
| 2022.12.3-4       | 一橋講堂          |                                                     |      |
| 産業医研修会            |               | 騒音ガイドライン改正と個人曝露測定/テレワークガイドライン/発達障害を持つメンタルヘル不調者の事例検討 | 垣見 亮 |
| 2022.12.11        | 大阪労働衛生センター    |                                                     |      |
| 産業医研修会            |               | パワハラのない明るい職場作りと産業保健/大人の発達障害                         | 垣見 亮 |
| 2023.2.22         | 大阪府医師会館       |                                                     |      |
| 緩和ケア研修会フォローアップ研修会 |               | ZOOM参加/ACP、全人的医療、睡眠障害                               | 垣見 亮 |
| 2023.2.26         | オンライン         |                                                     |      |
| 産業医研修会            |               | 最近の労働安全衛生関連法令と産業医/事例から学ぶ職場復帰の実際                     | 垣見 亮 |
| 2023.3.1          | エル大阪南ホール      |                                                     |      |
| 労働衛生スタッフ研修会       |               | 安全衛生委員会の法的根拠と運営/多面的リスクアセスメント/有害物質の健康影響              | 垣見 亮 |
| 2023.3.12         | 大阪工業大学梅田キャンパス |                                                     |      |

[緩和ケア教育]

精神腫瘍学部門の指導者としてPEACEプログラムの緩和ケア研修会において講義を担当した。

| 会名称       |      | 内容           | 参加者  |
|-----------|------|--------------|------|
| 開催月日      | 場所   |              |      |
| 緩和ケア研修会   |      | コミュニケーションの講義 | 垣見 亮 |
| 2022.8.27 | 関電病院 |              |      |

[カンファレンス開催実績]

心療内科は常勤医師、常勤心理士のほか、非常勤医が2名いるため、情報を共有し連携を深めたり事例検討をする場として心療内科カンファレンスを行っている。

| 曜日・頻度         | 場所     | 内容             | 参加者           |
|---------------|--------|----------------|---------------|
| 毎週火曜<br>1時間程度 | 心療内科外来 | 対応困難事例の検討や業務連絡 | 垣見・名村<br>非常勤医 |

# 緩和医療科

## [医師] (R5.3末時)

部 長： 井上 直也 日本外科学会指導医、同専門医、日本消化器外科学会指導医、同専門医、  
日本がん治療認定医機構・がん治療認定医

## [診療日程] (R5.3末時)

| 月  |    | 火  |    | 水  |    | 木  |    | 金  |    | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 |
|    |    |    |    | 井上 |    | 井上 |    |    |    |    |

## [診療概要・実績報告]

抗がん治療が終わった後の症状緩和だけではなく、早い時期から緩和ケアを行うことで化学療法や放射線療法などの治療を続けやすくすることも急性期病院においては重要と考えます。当科では、入院での緩和ケアチーム(緩和ケアを提供する専門的知識や技術を有する多職種で構成されたチーム)活動を中心に、早期からの緩和ケアが院内で提供できるよう支援しています。

2022年度は常勤医師、非常勤医師 各1名体制でスタートしましたが、非常勤医師が12月に退職となり、年度末時点では常勤医師1名体制となっています。

## 緩和ケア診療加算(2022年度)

チーム依頼件数： 249件 内訳：算定対象： 240件  
算定対象外 9件 (加算対象外の心不全や、呼吸器障害等)

延加算件数： 4,182件

## [教育活動]

2023年1月12日 初期臨床研修医向け アドバンスケアプランニング講習

## [学会等発表]

| 会名称              |     | 参加形態・発表テーマ                    | 発表者                                                                               |
|------------------|-----|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 日時               | 場所  |                               |                                                                                   |
| 第24回日本医療マネジメント学会 |     | データウェアハウスを利用した緩和ケア診療加算の算定漏れ防止 | 井上直也                                                                              |
| 2022年7月          | 神戸  |                               |                                                                                   |
| 第27回日本緩和医療学会     |     | 当院における緩和ケアチーム介入時期の検討          | 井上直也、木元道雄、垣見 亮、<br>名村柚香、古武 剛、市原しのぶ、<br>塚本泰彦、荒木 悠、真壁 昇、<br>沢田 潤、砂原正和、堂本寛子、<br>柳原一広 |
| 2022年7月          | 神戸  |                               |                                                                                   |
| CLISTA! ユーザー会    |     | データを使った業務改善を現場で進めるコツ          | 井上直也                                                                              |
| 2022年12月         | Web |                               |                                                                                   |

## [論文]

| 著者   | タイトル                                                           | 掲載誌名           |      |
|------|----------------------------------------------------------------|----------------|------|
|      |                                                                | 掲載号・ページ        | 掲載年  |
| 井上直也 | データウェアハウスを利用した緩和ケア診療加算の算定漏れ削減 ～よくあるミスをチェックできる仕組みを作り、加算算定漏れを減少～ | 医事業務           |      |
|      |                                                                | 29(633): 21～24 | 2022 |

## [カンファレンス]

| 開催日 | 参加者                                                                                               | 場所  |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 週1回 | 緩和ケアチームカンファレンス<br>( 医師 [ 緩和医療科、心療内科、腫瘍内科、放射線治療科 ]、<br>看護師、薬剤師、管理栄養士、療法士、公認心理師、<br>社会福祉士、事務スタッフ等 ) |     |
| 週1回 | 婦人科カンファレンス                                                                                        |     |
| 随時  | デスカンファレンス                                                                                         | 各病棟 |

# 呼吸器外科

### [医師](R5.3末時)

|      |       |                                                                                                                          |
|------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長： | 吉村 誉史 | 京都大学医学博士、日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会認定医・正会員、<br>日本呼吸器外科学会専門医・評議員、日本呼吸器学会専門医・指導医、<br>日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、 |
| 医 長： | 舘 秀和  | 日本外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医                                                                                |

### [診療日程](R5.3末時)

| 月   |    | 火          |    | 水   |    | 木  |    | 金  |    | 土            |
|-----|----|------------|----|-----|----|----|----|----|----|--------------|
| 午前  | 午後 | 午前         | 午後 | 午前  | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前           |
| 手術日 |    | 吉村<br>(初診) | 手術 | 手術日 |    | 舘  | 検査 | 吉村 |    | 電話連絡<br>にて対応 |

### [対象疾患]

原発性肺癌、気管腫瘍、各種の原因による気管・気管支狭窄、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、自然気胸、  
嚢胞(のうほう)性肺疾患、胸壁腫瘍、膿胸、肺結核、肺真菌症、肺良性腫瘍、胸部外傷、手掌多汗症など、  
心臓大血管系以外の胸部外科治療全般

### [治療概要・実績]

当院の呼吸器疾患診療は呼吸器内科、呼吸器外科、腫瘍内科を中心に理学療法科、栄養管理科、看護部、薬剤部などと総合カンファレンスを持ち、チーム医療で行っている。当科は肺癌のみならず胸部疾患全般の外科治療(外科生検を含む)を受け持っている。特徴は低侵襲を旨とした完全胸腔鏡下手術を主としていることである。すなわち、大半の手術では、主操作のための側胸部の3-4cmの切開創と補助のための2cm程の2カ所の小切開創から、胸腔内映像のモニター視のみで手術操作をしている。また、麻酔科の協力により硬膜外麻酔やiv-PCAを併用し、早期から経口薬剤も使用することで術後疼痛の軽減を目指している。

検診で発見された早期肺癌などに対しては積極的に縮小手術を行う一方で、化学療法や放射線治療でステージダウンした進行性肺癌などに対する外科治療にも取り組んでいる。術後補助化学療法や術後再発症例治療についても腫瘍内科と連携して行い、一貫した肺癌治療を受けることの出来る環境作りを目指している。

それ以外にも他臓器癌からの転移性肺腫瘍、胸腺腫をはじめとする縦隔腫瘍、自然気胸、膿胸などの良性疾患にも取り組んでいる。

近隣の病院、医院の先生方に持参して頂いた症例や当院の症例を用いた胸部レントゲン読影会を毎月院内で開催し、呼吸器疾患関連のミニ講演会も併せて行い、地域連携を深めるよう以前から努めてきたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大による院内集会制限により休会中である。

### [手術件数の年次推移]

|               | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全手術件数(件)      | 91    | 91    | 69    | 72    | 75    |
| 全麻手術件数(件)     | 90    | 91    | 69    | 72    | 75    |
| 全胸腔鏡手術(件)     | 81    | 81    | 54    | 61    | 68    |
| 原発性肺癌手術(件)    | 39    | 44    | 37    | 37    | 33    |
| (胸腔鏡手術: VATS) | 36    | 38    | 29    | 30    | 32    |
| 転移性肺癌         | 7     | 7     | 5     | 3     | 5     |
| 良性肺腫瘍         | 3     | 2     | 4     | 1     | 3     |
| 縦隔腫瘍          | 7     | 6     | 6     | 8     | 13    |
| 気胸            | 17    | 14    | 5     | 10    | 9     |
| 膿胸            | 1     | 1     | 4     | 2     | 1     |
| 胸壁腫瘍          | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 気管・気管支狭窄      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |

### [胸腔鏡手術(VATS)の比率推移]

|              | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| VATS/肺癌手術(%) | 92.3  | 86.4  | 78.4  | 81.1  | 97.0  |
| VATS/全麻(%)   | 90.0  | 89.0  | 78.3  | 84.7  | 90.7  |

[学会発表]

| 会名称                                    |       | 参加形態・発表テーマ             | 発表者       |
|----------------------------------------|-------|------------------------|-----------|
| 日時                                     | 場所    |                        |           |
| 第122回日本外科学会定期学術集会                      |       | 当院での術後疼痛の傾向            | 舘 秀和、吉村誉史 |
| 2022/4/15                              | 熊本市   |                        |           |
| 第39回日本呼吸器外科学会学術集会                      |       | 検診で発見された迷走神経由来の神経鞘腫の1例 | 舘 秀和、吉村誉史 |
| 2022/5/20                              | 東京都   |                        |           |
| Osaka-City Respiratory Surgery Seminar |       | 座長                     | 吉村誉史      |
| 2022/8/23                              | Web開催 |                        |           |

[論文]

| 著者        | タイトル       | 掲載誌名          |      |
|-----------|------------|---------------|------|
|           |            | 掲載号・ページ       | 掲載年  |
| 舘 秀和、吉村誉史 | 巨大胸腺腫の1切除例 | 日本呼吸器外科学会雑誌   |      |
|           |            | 36巻7号・805-808 | 2022 |

[カンファレンス等実施状況]

月曜日：呼吸器外科カンファレンス・術前カンファレンス  
火曜日：腫瘍内科・呼吸器センター合同カンファレンス  
毎月最終水曜日：福島区医師会胸部レントゲン読影会(休止中)

# 消化器外科

## [医師] (R5.3末時)

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長： 滝 吉郎<br>(院長) | 京都大学医学博士、京都大学医学部臨床教授、日本外科学会専門医/指導医/代議員、日本消化器外科学会専門医/指導医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本病態栄養学会評議員、近畿外科学会評議員、日本内視鏡外科学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本肝癌研究会                                                                                                                       |
| 部 長： 河本 泉         | 京都大学医学博士、京都大学医学部臨床教授、日本外科学会専門医/指導医、日本消化器外科学会専門医/指導医、日本神経内分泌腫瘍研究会理事、日本膵臓学会認定指導医、日本病態栄養学会病態栄養専門医/評議員、日本癌治療認定医機構認定医、日本癌治療学会、日本内分泌外科学会、日本臨床腫瘍学会、近畿外科学会評議員、日本内視鏡外科学会、日本癌学会、European Neuroendocrine Tumor Society会員                                       |
| 部 長： 清地 秀典        | 愛媛大学医学博士、日本外科学会専門医/指導医、日本消化器外科学会専門医/指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医/評議員、日本癌治療認定医機構暫定教育医/認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本外科感染症学会周術期感染管理認定医/暫定教育医、近畿外科学会評議員、日本癌治療学会、日本臨床外科学会、日本環境感染学会、精中委マンモグラフィー読影医(B1判定)                                                                  |
| 医 長： 吉澤 淳         | 京都大学医学博士、日本外科学会専門医/指導医、日本消化器外科学会専門医/指導医、日本移植学会認定医、日本消化器病学会、日本小児外科学会、日本肝胆膵外科学会、日本組織適合性学会、国際移植学会(The Transplantation Society)                                                                                                                         |
| 医 長： 多代 尚広        | 京都大学医学部博士、日本外科学会専門医、近畿外科学会評議員、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会、日本臨床外科学会、日本癌学会、日本食道学会、日本大腸肛門学会                                                                                                                                                                    |
| 医 長： 稲本 道         | 日本外科学会専門医、日本消化器外科学会、日本肝胆膵外科学会、日本内視鏡外科学会、日本食道学会、日本膵臓学会、日本臨床外科学会、                                                                                                                                                                                     |
| 医 員： 置塩 達也        | 日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会                                                                                                                                                                                                                          |
| 医 員： 上殿 伶奈        | 日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会                                                                                                                                                                                                                          |
| 医 員： 林 健二郎        | 日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会                                                                                                                                                                                                                          |
| 学術顧問：今村 正之        | 京都大学医学博士、京都大学名誉教授、日本外科学会名誉会長、日本膵臓学会名誉会員、日本内分泌外科学会名誉会員、日本消化器外科学会特別会員、日本食道学会名誉会員、日本神経内分泌腫瘍研究会名誉理事、American college of Surgeons会員、American Association of Endocrine Surgeons 会員、Society of University Surgeons 名誉会員、Society Internationale Chirurgie会員 |

## [診療日程] (R5.3末時)

|             | 月       |         | 火             |    | 水        |          | 木       |    | 金        |          | 土   |
|-------------|---------|---------|---------------|----|----------|----------|---------|----|----------|----------|-----|
|             | 午前      | 午後      | 午前            | 午後 | 午前       | 午後       | 午前      | 午後 | 午前       | 午後       | 午前  |
| 一般外来        | 滝<br>吉澤 | 滝<br>吉澤 | 滝<br>河本<br>吉澤 |    | 清地<br>置塩 | 清地<br>置塩 | 滝<br>稲本 | 稲本 | 河本<br>多代 | 河本<br>多代 | 交代制 |
| 内分泌<br>腫瘍外来 |         |         |               |    |          |          |         | 今村 |          |          |     |

## [特色・診療方針]

消化器外科では消化器内科とともに消化器センターとして診療・治療にあたっている。扱っている疾患は、食道癌、胃癌、大腸癌、膵臓癌、肝臓癌、胆道癌、神経内分泌腫瘍など悪性腫瘍や胆嚢結石症、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア(脱腸)、肛門疾患などである。

診療は消化器内科、腫瘍内科など多くの診療科とカンファレンスを行い、診療科横断的に一貫した方針で行っている。

当院で専門的治療を行っている神経内分泌腫瘍は稀少癌であり、全国の主要施設の一つとしてリーダー的役割を担っている。消化器外科では神経内分泌センターの中核診療科として院内だけでなく他の施設とも協力して診療を行っている。

手術手技に関しては悪性腫瘍、良性疾患ともに積極的に腹腔鏡手術を取り入れている。また、ロボット支援下手術の導入も予定している。

## 当科の診療方針：

- 専門性の高い医療の提供  
外科学会指導医/専門医、消化器外科学会専門医/指導医、外科感染症学会認定医、内視鏡手術技術認定医、肝胆膵外科高度技能指導医、その他癌治療に関する認定資格などを有する医師がそれぞれの分野で指導的役割を果たしながら診療に当たる。  
腹腔鏡手術については積極的な取り組みを継続する。  
神経内分泌腫瘍の診療では関連診療科と神経内分泌腫瘍センターをつくりPRRTをはじめ最新の治療方針を取り入れた専門的な医療の提供を行っている。



2. 外来診療・地域連携  
地域医療に貢献するため医療機関との連携の充実を図り、積極的に救急患者の受け入れを行う。
3. 専門医教育の充実  
新専門医制度に基づいて専門医教育を行う。手術手技の向上と安定化を図るため外科スタッフの病院内外での研修を進める。

【診療概要・実績報告】

症例数の動向

令和4年の消化器外科手術件数は全手術数504件と減少したが、一方鏡視下手術に関しては312件と大幅に増加しており、全身麻酔手術に占める割合は令和2年が50.6%、令和3年が70.0%であったのに対して令和4年は74.8%とさらに増加した。特に食道癌、胃全摘、直腸癌手術、虫垂切除術はすべて胸腔鏡下で行い、胃切除、胆嚢摘出術に直腸癌手術においてもその9割以上を腹腔鏡で行った。緊急手術数については136件と増加した。

第一線病院としての外科治療の提供

当院での腹腔鏡下手術の増加については既に述べたが、食道癌、胃癌、結腸癌、直腸がん、胆嚢摘出術、虫垂切除術、鼠径ヘルニア手術において、腹腔鏡手術を標準的アプローチとしている。  
当院は日本消化器外科学会の腹腔鏡下肝切除術の施設基準を満たしている。  
安全な手術のためにERASを取り入れ、感染症対策・栄養管理など周術期管理に他職種で積極的に取り組んでいる。  
ロボット支援下手術の次年度導入に向けてスタッフの養成を行っている。

他職種との協働について

入院・外来にかかわらず日々の診療において、多職種協働による診療を重視しており、毎朝の外科医・看護師・薬剤師・栄養士による合同カンファレンス、週一回の定期的な病棟多職種合同カンファレンスや腫瘍内科、消化器内科、放射線治療科、病理診断科と合同での定期的な消化器センターカンファレンスを行っている、また、がんセンターに積極的に参加して癌診療・患者支援の充実を図っている。

地域連携に関して

多くの診療科と関連部署の協力のもと、地域の診療所、病院からの依頼や救急要請に対して迅速に救急対応できる体制を敷き、断らない診療体制を進めていけるよう努力を続けていく。

専門的な知識に基づいた医療の提供と知見の発信について

神経内分泌腫瘍センターは消化器内科、腫瘍内科、糖尿病・代謝・内分泌センター、放射線科、耳鼻咽喉科、脳神経外科など多くの診療科で構成しているが消化器外科はその中心的診療科として診療に当たっている。紹介やセカンドオピニオンの問い合わせが多く、特に治療方針の決定や治療に難渋している患者さんの紹介に対応している。  
昨年より開始したPRRTに関して院外から多くの患者を受け入れており、特別措置病室を増設した。

後進の教育に関して

外科学会の専門医制度に関して、当院では主に大阪府下の京都大学外科関連施設で構成している「大阪スペシャルミックス病院群外科専門研修プログラム」と「兵庫医科大学外科専門研修プログラム」にも参加しており、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科とともに専門医教育に取り組んでいる。  
研究発表に関しては、若手医師に積極的に学会や論文発表をさせることで医学知識向上に努めている。

【手術・検査等】

1. 手術件数
- ①全手術件数(外来手術を含める)・・・504例
  - ②鏡視下手術・・・・・・・・・・312例
  - ③全麻手術数・・・・・・・・・・417例
  - ④緊急手術数・・・・・・・・・・161例

| 治療      | 件数<br>(一部重複あり) | 治療             | 件数<br>(一部重複あり) |
|---------|----------------|----------------|----------------|
| 全手術件数   | 504            | 直腸切除術          | 4(4)           |
| 内視鏡下手術  | 312            | 肝切除術           | 9(2)           |
| 緊急手術    | 161            | 脾頭十二指腸切除・脾全摘術  | 9              |
| 食道亜全摘術  | 5(5)           | 脾体尾部切除など       | 5(3)           |
| 胃全摘術    | 7(7)           | 胆のう摘出術・拡大胆嚢摘出術 | 104(99)        |
| 幽門側胃切除術 | 15(13)         | 虫垂切除術          | 49(49)         |
| 結腸切除術   | 52(40)         | ヘルニア手術         | 97(69)         |
| 直腸前方切除術 | 7(7)           | 痔核・痔瘻手術        | 17             |

※表中の術式別症例数の括弧内の数値は鏡視下手術数を示す

# [学会発表および参加実績]

| 会名称                      |     | 参加形態・発表テーマ                                     | 発表者                                                                     |
|--------------------------|-----|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 日時                       | 場所  |                                                |                                                                         |
| 第10回日本神経内分泌腫瘍研究会<br>学術集会 |     | 一般演題・当院の十二指腸神経内分泌腫瘍<br>に対する手術療法の治療成績           | 多代尚広、河本 泉、林健二郎、<br>上殿伶奈、置塩達也、稲本 道、<br>吉澤 淳、清地秀典、滝 吉郎、<br>今村 正之          |
| 10月1日、2022               | 大阪  |                                                |                                                                         |
| 第30回日本消化器関連学会週間          |     | パネルディスカッション・切除が不可能な神<br>経内分泌腫瘍に対する集学的治療の経験     | 多代尚広、河本 泉、林健二郎、<br>上殿伶奈、置塩達也、稲本 道、<br>吉澤 淳、清地秀典、滝 吉郎、<br>今村 正之          |
| 10月28日、2022              | 福岡  |                                                |                                                                         |
| 第77回日本消化器外科学会総会          |     | ポスター・直腸切除後の人工肛門早期閉鎖7<br>例の短期成績                 | 稲本 道、西田和樹、<br>置塩達也、多代尚広、<br>吉澤 淳、清地秀典、<br>滝 吉郎、河本 泉                     |
| 7月21日、2022               | 横浜  |                                                |                                                                         |
| 第30回日本消化器関連学会週間          |     | デジタル ポスター・稀な胆道破格を伴う 肝門<br>部領域胆管癌に対する 右肝切除術の1例  | 稲本 道、置塩達也、<br>多代尚広、吉澤 淳、<br>清地秀典、滝 吉郎、<br>河本 泉                          |
| 10月29日、2022              | 福岡  |                                                |                                                                         |
| 第35回日本内視鏡外科学会総会          |     | ミニオーラル・腹腔鏡下脾動静脈温存脾体尾<br>部切除後に胃静脈瘤をきたした1例       | 稲本 道、置塩達也、<br>多代尚広、清地秀典、<br>滝 吉郎、河本 泉                                   |
| 12月9日、2022               | 名古屋 |                                                |                                                                         |
| 第35回日本内視鏡外科学会総会          |     | ミニオーラル・稀な肝動脈破格を伴う胃癌に<br>対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の一例      | 置塩達也、稲本 道、<br>多代尚広、清地秀典、<br>滝 吉郎、河本 泉                                   |
| 12月9日、2022               | 名古屋 |                                                |                                                                         |
| 第35回近畿内視鏡外科研究会           |     | 口演・腹腔鏡下修復術を施行した閉鎖孔ヘル<br>ニア嵌頓の2例                | 稲本 道、上殿伶奈、林健二郎、<br>置塩達也、多代尚広、吉澤 淳、<br>清地秀典、滝 吉郎、河本 泉                    |
| 9月17日、2022               | 西宮  |                                                |                                                                         |
| 第50回近畿肝臓外科研究会            |     | 口演・稀な胆道破格を伴う 肝門部領域胆管<br>癌に対する 右肝切除術の1例         | 稲本 道、置塩達也、<br>多代尚広、吉澤 淳、<br>清地秀典、滝 吉郎、<br>河本 泉                          |
| 1月28日、2023               | 大阪  |                                                |                                                                         |
| 第35回近畿内視鏡外科研究会           |     | 口演・腹腔鏡下に診断し、治療しえた大網裂<br>孔ヘルニアの2例               | 置塩達也、稲本 道、上殿伶奈、<br>林健二郎、多代尚広、吉澤 淳、<br>清地秀典、滝 吉郎、河本 泉                    |
| 9月17日、2022               | 西宮  |                                                |                                                                         |
| 第35回近畿内視鏡外科研究会           |     | 口演・直腸穿孔術後早期に腹腔鏡下<br>Hartmann's Reversalを施行した1例 | 上殿伶奈、河本 泉、滝 吉郎、<br>清地秀典、吉澤 淳、多代尚広、<br>稲本 道、置塩達也、林健二郎                    |
| 9月17日、2022               | 西宮  |                                                |                                                                         |
| 第206回近畿外科学会              |     | 口演・腹腔鏡補助下に切除した小腸悪性リン<br>パ腫穿孔の1例                | 上殿伶奈、河本 泉、滝 吉郎、<br>清地秀典、吉澤 淳、多代尚広、<br>稲本 道、置塩達也、林健二郎                    |
| 3月18日、2023               | 大阪  |                                                |                                                                         |
| 京大外科冬季研究会                |     | 口演・二期的に食道再建した大動脈食道瘻<br>の一例                     | 林健二郎、多代尚広、中津太郎、<br>置塩達也、川崎有亮、上殿伶奈、<br>稲本 道、吉澤 淳、清地秀典、<br>滝 吉郎、末永悦郎、河本 泉 |
| 12月3日、2022               | 京都  |                                                |                                                                         |
| 第28回日本遺伝性腫瘍学会学術総会        |     | ポスター・Mahvash病に対する遺伝学的検査<br>の経験                 | 佐藤史顕、辻なつき、<br>古田 希、鳥嶋雅子、<br>河本 泉、小杉眞司、<br>今村正之                          |
| 6月17日、2022               | 岡山  |                                                |                                                                         |

| 会名称                |    | 参加形態・発表テーマ                                                          | 発表者                                                                                                 |
|--------------------|----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                 | 場所 |                                                                     |                                                                                                     |
| 第19回 日本臨床腫瘍学会学術集会  |    | 多職種介入による神経内分泌腫瘍に対する<br>ルテチウムオキソドトロネオチドによるペプチド<br>受容体放射線核種療法(PRRT)導入 | 柳原一広、高井 剛、長野圭司、<br>六浦直樹、藤崎孝子、川野淳子、<br>大門和枝、服部悦子、津脇珠美、<br>大田和美、黒岩勇人、眞継賢一、<br>板垣 康、岡田 務、多代尚広、<br>河本 泉 |
| 2月17日、2022         | 京都 |                                                                     |                                                                                                     |
| 第34回 日本肝胆膵外科学会学術集会 |    | イブニングセミナー・膵・消化管神経内分泌<br>腫瘍 ～集学的治療の新しい話題～                            | 河本 泉                                                                                                |
| 6月10日、2022         | 松山 |                                                                     |                                                                                                     |
| 第77回 日本消化器外科学会総会   |    | ランチョンセミナー・PRRT -導入から治療に<br>至るまで-                                    | 河本 泉                                                                                                |
| 7月22日、2022         | 横浜 |                                                                     |                                                                                                     |

## 【論文発表】

| 著者                                                                                                                                                                                                                          | タイトル                                                                                                                                                 | 掲載誌名                                  |      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|------|
|                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                      | 掲載号・ページ                               | 掲載年  |
| Komoto I, Kokudo N, Aoki T, Morizane C, Ito T, Hashimoto T, Kimura W, Inoue N, Hasegawa K, Kondo S, Ueno H, Igarashi H, Oono T, Makuuchi M, Takamoto T, Hirai I, Takeshita A, Imamura M.                                    | Phase I/II study of streptozocin monotherapy in Japanese patients with unresectable or metastatic gastroenteropancreatic neuroendocrine tumors       | Japanese Journal of Clinical Oncology |      |
|                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                      | 52(7)・716-724                         | 2022 |
| Imamura M, Komoto I, Taki Y                                                                                                                                                                                                 | How to treat gastrinomas in patients with multiple endocrine neoplasia type1: surgery or long-term proton pump inhibitors?                           | Surgery Today                         |      |
|                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                      | ePub 07 December                      | 2022 |
| 河本 泉、柳原一広、岡田 務、板垣 康、多代尚広                                                                                                                                                                                                    | 膵内分泌腫瘍に対するソマトスタチン受容体を標的とした放射線治療 (PRRT)                                                                                                               | 消化器内科                                 |      |
|                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                      | 34(4)・85-91                           | 2022 |
| Hai Nam N, Taura K, Koyama Y, Nishio T, Yamamoto G, Uemoto Y, Kimura Y, Xuefeng L, Nakamura D, Yoshino K, Ogawa E, Okamoto T, Yoshizawa A, Seo S, Iwaisako K, Yoh T, Hata K, Masui T, Okajima H, Haga H, Uemoto S, Hatano E | Increased Expressions of Programmed Death Ligand 1 and Galectin 9 in Transplant Recipients Who Achieved Tolerance After Immunosuppression Withdrawal | Liver Transplantation                 |      |
|                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                      | 28(4)・647-658                         | 2022 |
| Nishikawa Y, Uza N, Hata K, Marui S, Kuwada T, Matsumori T, Maruno T, Shiokawa M, Kuriyama K, Kurita A, Yazumi S, Kodama Y, Yoshizawa A, Anazawa T, Ito T, Uemoto S, Seno H.                                                | Long-term Outcomes of Stent Placement Inside the Bile Duct for Biliary Strictures After Living Donor Liver Transplantation                           | Liver Transplantation                 |      |
|                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                      | 28(1)・88-97                           | 2022 |

# 乳腺外科

[医師] (R5.3末時)

|      |       |                                                                                                                                                                                           |
|------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長： | 佐藤 史顕 | 京都大学医学部 (平成3年卒)<br>京都大学医学博士、日本外科学会専門医、日本乳癌学会専門医・評議員 日本癌学会、<br>日本人類遺伝学会、日本癌治療学会、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会、<br>日本リンパ浮腫治療学会、日本遺伝性腫瘍学会、日本遺伝カウンセリング学会、<br>米国癌学会、米国臨床腫瘍学会、マンモグラフィ読影医、検診乳房超音波実施・判定医 |
| 非常勤： | 恒川 昭二 | 愛媛大学医学部 (昭和58年卒)<br>京都大学医学博士、日本外科学会専門医、日本乳癌学会専門医、日本肉腫学会代議員、<br>近畿外科学会評議員、日本優癌検診学会、日本消化器外科学会、日本癌治療学会、<br>日本臨床外科学会、日本大腸肛門学会、日本肉腫学会、日本大腸肛門学会、マンモグラフィ読影医                                      |
| 非常勤： | 中村 有輝 | 京都大学医学部卒<br>日本外科学会、日本乳癌学会、マンモグラフィ読影医                                                                                                                                                      |
| 非常勤： | 鳥嶋 雅子 | 認定遺伝カウンセラー、社会健康医学博士 (京都大学)、日本臨床主要学会、日本遺伝性腫瘍学会、<br>日本遺伝カウンセリング学会、日本人類遺伝学会                                                                                                                  |

[診療日程] (R5.3末時)

|              | 月  |    | 火  |    | 水               |    | 木  |    | 金  |    | 土   |
|--------------|----|----|----|----|-----------------|----|----|----|----|----|-----|
|              | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前              | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前  |
| 1診           | 恒川 | 恒川 |    | 佐藤 | 中村              | 中村 | 佐藤 | 佐藤 | 佐藤 | 検査 | 担当医 |
| 2診           |    | 佐藤 |    |    | 佐藤              | 検査 |    |    |    |    |     |
| 大阪市<br>乳がん検診 | ×  | ○  | ×  | ○  | ×               | ○  | ×  | ○  | ×  | ○  | ○   |
| 遺伝カウンセリング外来  | ×  | ×  | ×  | ×  | 第2・4水曜<br>鳥嶋・佐藤 | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×   |

[診療概要・実績報告]

- 当科の方針
- ・大阪市乳癌検診や検診要精査の方の二次検診を行い、地域の乳癌早期診断に貢献する。
  - ・地域の開業医・検診施設と密接に連携し、スムーズな乳癌診断・治療の態勢を構築する。
  - ・乳癌と良性疾患の鑑別を正確に行い、より早期に乳癌を診断する。
  - ・診断・治療は迅速におこない、無駄に長く心配させない。
  - ・患者とのコミュニケーションを大事にしている。病態と、今後の想定される経過に対する理解を促すことで、患者の不安を取り除く。患者との対話の中から患者の人生観にあった、最適な治療法を導く。
  - ・腫瘍内科、放射線治療科、形成外科、婦人科等、関係各科と最新情報を共有し、標準治療につとめる。
  - ・患者の家系情報、臨床情報から遺伝性乳癌の可能性が高い患者を拾い上げ、適切な遺伝学的検査を行う。遺伝学的検査が陽性症例には、遺伝カウンセリングを行い、必要なサーベイランス・治療に結びつける。また、遺伝性乳癌に関する正確な情報を患者に与え、リスク低減手術も希望があれば実施する。
  - ・頭皮冷却による脱毛予防、形成外科と連携した乳房再建など、患者のアピアランスへ希望を満たし高いQOLを実現する。妊孕性温存に対する情報も提供し、患者の希望に合わせた治療方針を立てる。
  - ・リンパ浮腫外来と連携し、リンパ浮腫の予防とケアに努める。
  - ・大阪の他の診療施設の乳腺外科と連携し、win-winの関係を構築する。
  - ・乳腺外科を希望する若手医師に、乳癌診療を学ぶ環境を与える。
  - ・乳癌の治療は、根治される方も術後10年の経過観察が必要で、再発されてもそこから長い闘病期間があるように、経過が長い疾患である。乳腺外科は、その乳癌診療の診断から初期治療、術後経過観察、緩和ケアのみになるまでの長い再発治療の期間、一貫して乳癌患者に寄り添い、治療と精神的なケアの両面で支えていく存在であることを肝に銘じ、患者とのコミュニケーションから良好な関係を維持する。

○手術実績(2022年4月～2023年3月)

|                   |          |      |
|-------------------|----------|------|
| 総手術件数 75例         |          |      |
| 乳腺悪性腫瘍手術          | 新規症例 56例 | 計64件 |
| 乳房温存手術            |          | 20件  |
| 乳房切除術             |          | 27件  |
| ハルステッド手術          |          | 1件   |
| 乳頭・乳輪温存全乳腺切除＋同時再建 |          | 7件   |
| 皮膚温存全乳腺切除＋同時再建    |          | 0件   |
| センチネルリンパ節生検       |          | 50件  |
| 腋窩リンパ節郭清          |          | 4件   |
| リンパ節郭清のみ          |          | 2件   |
| その他               |          | 6件   |
| 良性疾患手術 4例         |          |      |
| 乳腺腫瘍摘出術           |          | 4件   |
| 乳輪下膿瘍根治術          |          | 0件   |
| 副乳切除              |          | 0件   |
| その他 7例            |          |      |
| CVポート留置術          |          | 3件   |
| CVポート抜去術          |          | 4件   |

|                |      |  |
|----------------|------|--|
| ○針生検件数 274件    |      |  |
| 吸引式乳腺生検(VAB)   | 86件  |  |
| Core Needle生検: | 12件  |  |
| 穿刺吸引細胞診:       | 173件 |  |
| ○大阪市乳がん検診 108件 |      |  |
| マンモグラフィ:       | 97件  |  |
| 超音波:           | 11件  |  |
| ○遺伝カウンセリング 21件 |      |  |
| HBOC関連:        | 17件  |  |
| その他:           | 4件   |  |

[学会発表]

| 会名称             |         | 参加形態・発表テーマ                                   | 発表者                                     |
|-----------------|---------|----------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 日時              | 場所      |                                              |                                         |
| 第28回遺伝性腫瘍学会学術総会 |         | Mahvash病に対する遺伝学的検査の経験                        | 佐藤史顕、辻なつき、古田 希、鳥嶋雅子、河本 泉、小杉真司、今村正之      |
| 2022/6/17-18    | 岡山(web) |                                              |                                         |
| 第30回日本乳癌学会学術総会  |         | カルボプラチンが奏効した RAD51B 変異陽性の転移性トリプルネガティブ乳癌の 1 例 | 佐藤史顕、小倉信子、恒川昭二、古武 剛、桜井孝規、川口展子、戸井雅和、柳原一広 |
| 2022/6/30-7/2   | 横浜(web) |                                              |                                         |

# 心臓血管外科

[医師] (R5.3末時)

|      |       |                                                                              |
|------|-------|------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長: | 末永 悦郎 | 医学博士、心臓血管外科専門医、心臓血管外科修練指導医、外科学会専門医・指導医、胸部外科学会指導医、腹部ステントグラフト実施医、胸部ステントグラフト実施医 |
| 医 長: | 中津 太郎 | 医学博士、心臓血管外科専門医、外科学会専門医                                                       |
| 医 長: | 川崎 有亮 | 外科学会専門医                                                                      |

[診療日程] (R5.3末時)

| 月  |    | 火  |    | 水  |    | 木  |    | 金  |    | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 |
|    |    | 中津 | 川崎 |    |    | 末永 |    |    |    |    |

[診療概要]

関電病院心臓外科は2016年4月に開設しました。京都大学の関連施設です。循環器内科、麻酔科、手中治療部、看護師、臨床工学技士などのスタッフと連携しハートチームとして安定した成績をあげています。

夜間の急患にも対応できるようになりました。これにより急性大動脈解離のみならず心筋梗塞に伴う左室破裂、乳頭筋断裂による急性心不全など重症の緊急手術を行い患者様の救命に成功しています。高齢者や難手術であっても1人1人の状態にあわせ、安心・安全かつベストな手術を行うことで、納得いただける医療を提供しています。

- 冠動脈バイパス術では、動脈グラフトを使用した多枝バイパスを行っておりますが、症例に応じて脳合併症や腎機能への侵襲が少ない小切開のオフポンプ手術(MICS CABG)を行っています。
- 大動脈弁・僧帽弁はできる限り弁置換ではなく自己弁を温存した弁形成術に取り組んでいます。患者さんのニーズに応じては早期に社会復帰できる小切開心臓手術(MICS)を行っています。
- マルファン症候群などで見られる大動脈弁輪拡張症に対しては自己大動脈弁を温存して大動脈基部を人工血管に置換する「自己弁温存大動脈基部置換手術」を積極的に行います。
- 胸部、腹部大動脈瘤に対してはステント治療の施設認定を取得し低侵襲な治療を行っています。
- 急性大動脈解離の手術は、搬送後すみやかな手術開始、症例の容体や年齢に応じた適切な置換範囲の決定、良好な結果を得ています。

[手術症例数]

|       |      |
|-------|------|
| 手術症例数 | 113例 |
| 開心術   | 90例  |
| 大動脈   | 16例  |
| 冠動脈   | 40例  |
| 弁膜症   | 54例  |
| その他   | 27例  |
| 非開心術  | 23例  |

[学会発表]

| 会名称           |    | 参加形態・発表テーマ                               | 発表者            |
|---------------|----|------------------------------------------|----------------|
| 日時            | 場所 |                                          |                |
| 第50回 日本血管外科学会 |    | 巨大上行大動脈瘤によるtype I ARに対してVSRRを行った1例       | 川崎有亮、末永悦郎、中津太郎 |
| 2022/05/25-27 | 小倉 |                                          |                |
| 第50回 日本血管外科学会 |    | ITPによる血小板減少患者にAVR、MAP、TA Rwith FETを行った1例 | 中津太郎、末永悦郎、川崎有亮 |
| 2022/05/25-27 | 小倉 |                                          |                |
| 第65回 関西胸部外科学会 |    | 機能的僧帽弁閉鎖不全(FMR)を伴った重症心不全の2例              | 川崎有亮、末永悦郎、小沢達也 |
| 2022/6/17-18  | 浜松 |                                          |                |

| 会名称                    |    | 参加形態・発表テーマ                                                                                                                                             | 発表者                |
|------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 日時                     | 場所 |                                                                                                                                                        |                    |
| Japan MICS SUMMIT 2022 |    | MICS－AVRにおける連側縫合                                                                                                                                       | 川崎有亮、末永悦郎、<br>中津太郎 |
| 2022/7/9               | 福島 |                                                                                                                                                        |                    |
| 第55回 日本胸部外科学会九州地方会     |    | 広範小腸壊死による汎発性腹膜炎後の開心術症例                                                                                                                                 | 川崎有亮、末永悦郎、<br>中津太郎 |
| 2022/7/28-29           | 長崎 |                                                                                                                                                        |                    |
| 第55回 日本胸部外科学会九州地方会     |    | SIRC法による胸腹部大動脈置換術の1例                                                                                                                                   | 中津太郎、末永悦郎<br>川崎有亮  |
| 2022/7/28-29           | 長崎 |                                                                                                                                                        |                    |
| 第75回 日本胸部外科学会          |    | VSRRにおけるballoon blunt portを用いた術中評価                                                                                                                     | 川崎有亮、末永悦郎、<br>中津太郎 |
| 2022/10/5-8            | 横浜 |                                                                                                                                                        |                    |
| 第25回 日本冠動脈外科学会         |    | On-lay patch repair using ITA graft with coronary endarterectomy for diffuse coronary stenosis                                                         | 中津太郎、末永悦郎<br>川崎有亮  |
| 2022/12/1-2            | 東京 |                                                                                                                                                        |                    |
| 第52回 日本心臓血管外科学会        |    | Clover leaflet technique for the patients undergoing mitral repair concomitant with aortic insufficiency                                               | 中津太郎、末永悦郎<br>川崎有亮  |
| 2023/3/3-5             | 旭川 |                                                                                                                                                        |                    |
| 第52回 日本心臓血管外科学会        |    | ELIZABETH(Extending Line for minimizing Air embolism BETWEEN perfusion branch and left ventricular vent)circuit for minimally invasive cardiac surgery | 中津太郎、末永悦郎<br>川崎有亮  |
| 2023/3/3-5             | 旭川 |                                                                                                                                                        |                    |
| 第52回 日本心臓血管外科学会        |    | 心筋症に伴ったfMRの治療戦略について                                                                                                                                    | 川崎有亮、末永悦郎、<br>中津太郎 |
| 2023/3/3-5             | 旭川 |                                                                                                                                                        |                    |

# [論文発表]

| 著者                                                                     | タイトル                                                                                                       | 掲載雑誌                                                     |      |
|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------|
|                                                                        |                                                                                                            | 掲載号等                                                     | 発行年  |
| 小澤達也、川崎有亮、<br>中津太郎、末永悦郎                                                | 巨細胞性心筋炎罹患後の長期生存例に対し心臓外科手術を施行した一例                                                                           | 胸部外科                                                     |      |
|                                                                        |                                                                                                            | 75巻6号:472-475                                            | 2022 |
| 小澤達也、川崎有亮、<br>中津太郎、末永悦郎                                                | 後縦隔嚢胞摘出術と心臓外科手術を同時に施行した1例                                                                                  | 胸部外科                                                     |      |
|                                                                        |                                                                                                            | 76巻2号:156-159                                            | 2023 |
| 小澤達也、川崎有亮、<br>中津太郎、末永悦郎                                                | 内視鏡下大伏在静脈採取における術前単純CT評価                                                                                    | 胸部外科                                                     |      |
|                                                                        |                                                                                                            | 76巻3号:193-196                                            | 2023 |
| Kawasaki Yusuke,<br>Suenaga Etsuro,<br>Nakatsu Taro,<br>Minatoya Kenji | Endoscopic evaluation technique using a camera port for valve-sparing root reconstruction                  | Interdisciplinary cardiovascular<br>and thoracic surgery |      |
|                                                                        |                                                                                                            | 36: ivad039                                              | 2023 |
| Nakatsu Taro,<br>Suenaga Etsuro,<br>Ozawa Tatsuya,<br>Kawasaki Yusuke  | Double-patch repair for blow-out type left ventricular free wall rupture after acute myocardial infarction | JTCVS technique                                          |      |
|                                                                        |                                                                                                            | 14:101-103.                                              | 2022 |

# 整形外科

[医師] (R5.3末時)

部長： 太田 壮一

■担当専門分野：手・肘関節外科、末梢神経外科、脊椎外科、整形外科  
京都大学医学部臨床教授、京都大学医学博士、日本整形外科学会専門医、  
日本手外科学会指導医および専門医、日本リウマチ学会専門医、日本末梢神経学会評議員、  
日本肘関節学会評議員、日本マイクロサージャリー学会評議員、中部日本整形災害外科学会評議員、  
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定リウマチ医、  
日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、  
米国整形外科学会会員

部長： 井関 雅紀

■担当専門分野：脊椎外科  
京都大学医学博士、日本整形外科学会専門医、日本脊椎脊髄病学会指導医、  
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定リウマチ医

部長： 澁谷 秀幸

■担当専門分野：リウマチ関節外科、人工関節（股関節、膝関節）、関節外科（膝関節鏡）  
京都大学医学博士、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、  
日本整形外科学会認定リウマチ医

医長： 貝澤 幸俊

■担当専門分野：手・肘関節外科、末梢神経外科、マイクロサージャリー  
京都大学医学博士、日本整形外科学会専門医、米国手外科学会国際会員

医長： 馬谷 直樹

■担当専門分野：肩関節、肘関節、スポーツ  
日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター

医長： 舩本 知里

日本整形外科学会専門医

医員： 下山 貴幸

整形外科専攻医

[診療日程] (R5.3末時)

|        | 月                                                                               |    | 火                                             |    | 水                                                         |    | 木                            |    | 金                                                                 |    | 土   |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------|----|------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------|----|-----|
|        | 午前                                                                              | 午後 | 午前                                            | 午後 | 午前                                                        | 午後 | 午前                           | 午後 | 午前                                                                | 午後 | 午前  |
| 診 察    | 太田<br>[上肢]<br>[脊椎]<br><br>澁谷<br>[膝]<br>[関節]<br>[リウマチ]<br><br>貝澤<br>[上肢]<br>[外傷] |    | 澁谷<br>[膝]<br>[関節]<br>[リウマチ]<br><br>下山<br>[一般] |    | 太田<br>[上肢]<br><br>井関<br>[脊椎]<br><br>馬谷<br>[肩・膝]<br>[スポーツ] |    | 井関<br>[脊椎]<br><br>舩本<br>[一般] |    | 貝澤<br>[上肢]<br>[外傷]<br><br>馬谷<br>[肩・膝]<br>[スポーツ]<br><br>下山<br>[一般] |    | 交代制 |
| 義肢装具調整 | ○                                                                               |    | ○                                             |    | ○                                                         |    | ○                            |    | ○                                                                 |    |     |

[診療概要]

今日、医師の専門化が進み、整形外科の中でも担当の細分化が定着しつつあります。専門性の追求は、疾患に対する適切な治療を行う上では必要なことですが、整形外科疾患に関わらず、専門外の分野に関しては十分な対応ができないといった弊害がしばしば見られます。四肢の関節疾患や骨折を始めとする外傷は得意としながら、脊椎外科や手外科分野に関しては、あまり知識が無い、不得手とされる整形外科医も少なからずあります。

手のしびれの訴えのある患者さんの診察では、頸椎由来なのか末梢神経由来なのかを判断するために、脊椎外科の知識だけでなく、手外科の知識も必要とし、総合的な判断が必要となります。また、歩行障害の患者さんの診察では、下肢の関節疾患に関する知識だけでなく、歩容、姿勢などに関わる脊髄、末梢神経領域に関する知識も必要とされることがあります。当科では、そのような脊椎外科、手外科領域の診断、治療に特に重点をおいた診療を心がけるとともに、その他領域の専門医もそろえ、外傷を始めとする様々な整形外科疾患について、近隣遠方を問わず様々な相談に対応しています。

2022年4月より、標榜名を脊椎外科・手外科・整形外科から整形外科に変更すると共に、手外科・末梢神経外科センター（センター長：太田）、脊椎・脊髄外科センター（センター長：井関）に加えて、人工関節・関節鏡センター（センター長：澁谷）を新設しました。



## ■専門分野の特色

### 手外科領域

#### ・舟状骨骨折、偽関節

転倒して手をついた時などに生じる手首の小さな骨の骨折です。骨折とは気付かずに放置され、後に骨折だったと判明することもあります。

当科では、骨折や偽関節の状態に応じて、保存的治療、特殊な螺子を用いた固定術、骨移植を併用した偽関節手術などを行っています。

経皮的偽関節手術は当科オリジナルの方法で、対象は限定されますが機能的、整容的にもよい結果が得られています。偽関節の状態によっては、近傍から血管の付いた骨を移植する方法を選択することがあります。



経皮的偽関節手術の術前、術後

#### ・母指CM関節症

母指の根元の手関節に近い部分の関節が痛みます。保存的治療を行っても日常生活に支障がある場合には、手術を行っています。当科では、大菱形骨を一部切除後、第1中手骨と第2中骨間を溶けない糸で締結する方法を行っています。男性で力仕事を行うことが多い方には、関節固定術を薦めています。



関節形成術の術前、術後

#### ・骨折変形治癒

橈骨遠位端骨折後の変形治癒では、手関節の疼痛や動きの制限が生じることがあります。また、指骨骨折後の変形治癒では、隣の指と重なって指がうまく曲げられなくなることがあります。骨折の重症度や、骨折をしてからの期間にも左右されますが、骨変形を治すことにより動きや疼痛が改善することがあります。当科では、CT画像などから詳細な3次元シミュレーションを行い、手術を行っています。

#### ・手根管症候群

手関節の手のひら側で、正中神経が圧迫されて生じます。母指～環指の半分にしびれが生じ、夜間痛が生じる場合もあります。重症化すると、母指球筋というつまみ動作に必要な母指の根元の筋肉が麻痺します。麻痺が進行してしまうと、回復が非常に難しいため、それまでに手術を行うべきと考えています。母指と小指の指腹部(指紋のあるところ)の間で写真の様にくっつけることが出来なければ麻痺が進行している可能性があります。当科では、内視鏡を用いた鏡視下手根管開放術を行っています。



小指の第2関節をまっすぐ伸ばした状態で、母指と小指の指腹部をくっつけることが出来れば良いのですが、指先しか届かない、あるいは全く届かないようであれば麻痺が既に生じている可能性があります。

## ・肘部管症候群

肘の内側で尺骨神経が圧迫されて発症し、環指の小指側半分と小指にしびれが出現します。病状が進行すると、指先でつまむことや、指の間を開くこと(パーの形)が難しくなり、日常生活でかなり支障が生じます。麻痺が進行してからでは手術を行っても回復は非常に難しく、早めの手術が望ましいと考えます。

## ・胸郭出口症候群

上肢へと走行する血管や神経が、鎖骨と第1肋骨の間で、骨や筋腱などにより圧迫されて生じます。重度になると、血流障害による脱力感や、神経障害による小指などのしびれ感、握力低下などが見られます。確定診断は、様々な検査の結果を組み合わせ慎重に行います。当科では、確定診断がついた重症例に対し、顕微鏡を用いて第1肋骨切除を行っています。

## ・神経麻痺に対する再建

神経障害は、早期にその原因を除去することで、麻痺した筋肉の回復が期待できます。しかし、何らかの理由により治療が遅れた場合、あるいは外傷などにより神経が断裂した場合には、回復が思わしくないことがあります。そのような状態に対し、残存する筋肉や、腱を用いて、麻痺した機能を再建する方法を行える場合があります。

## ・ヘバーデン結節、ブシャー結節

ヘバーデン結節はいわゆる指の第1関節、ブシャー結節は第2関節に生じた変形性関節症です。現時点では、確実に効果が見られる薬物療法はありません。日常生活で支障のある方に対し、当科では、ヘバーデン結節には状態に応じて骨棘切除術や関節固定術を、ブシャー結節には滑膜切除術や人工関節置換術(シリコン製)を行っています。

## ・キーンベック病

未だ原因は明らかとはなっていませんが、手関節の中央に位置する月状骨が、血流障害に続いて、潰れてくる病気です。病気の段階により治療法が異なります。圧潰の見られない時期には、保存療法か血管柄付き骨移植術を、圧潰が進行した時期には摘出術や手根骨間固定術などを組み合わせた手術を行っています。

## 脊椎外科領域

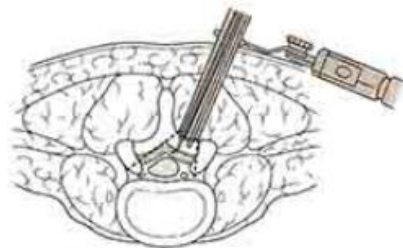
京都大学とも連携を持ち、脊椎脊髄外科グループにて研鑽を積んだ医師が担当しています。腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症・腰椎分離症、頸椎椎間板ヘルニアや頸椎性脊髄症、後縦靱帯骨化症や黄色靱帯骨化症など一般的な脊椎疾患はもちろん、近年健康寿命の延長に伴い、成人の脊柱変形(腰曲がりやそれに伴う姿勢や歩行容姿の悪化、逆流性食道炎など栄養面への悪影響)の矯正手術、脊椎圧迫骨折やそれに伴う遅発性脊髄症や偽関節の手術、脊髄腫瘍、関節リウマチに伴う脊椎疾患(環軸椎亜脱臼など)あらゆる脊椎・脊髄疾患に対応しています。

当脊椎センターの特徴は、一般的な従来の前方手術・後方手術に加えて、症例に応じて顕微鏡下手術・内視鏡下手術、低侵襲の固定術など、早期離床や早期の社会復帰を目標としたMIS(最小侵襲脊椎手術)を念頭においた治療を行っています。後述するコンピューター支援器具(O-arm:術中CT撮影装置・脊椎ナビゲーションシステム・術中神経モニタリング装置など)充実した手術支援機器を使用して、より安全に、より正確に、脊椎の高難度の手術に対しても積極的に手術を行い、良好な成績を得ています。

## 【当院脊椎外科の特徴】

### ①腰椎椎間板ヘルニア

腰椎椎間板ヘルニアは基本的には数ヶ月の保存治療(安静や鎮痛剤、理学療法など)で治癒することが多いといわれています。ヘルニアの特徴的な症状は腰痛、下肢痛ですが初期の症状は腰痛だけのことも稀ではありません。神経の圧迫が強いつきは、足趾の力が入らない(スリッパが脱げやすい、つま先立ちできない)、残尿感がきつい、便秘になる、性器、肛門付近の感覚が鈍いといった膀胱直腸障害出現することがあり、その場合は早期の手術が必要になります。2006年より脊椎内視鏡下手術を行っており、良好な成績を残しています。脊椎内視鏡手術は直径16mmの円筒リトラクターを手術部位に挿入し、その中で手術操作を行いヘルニアを摘出することで組織の障害を最小限に抑えます。手術創が小さい(2cm程度)ことに加え、術中・術後の出血が少なく、術後の痛みが少なく術後早期から離床が可能であるため入院期間が1週間から10日程度と短く、社会復帰が早いことなどが特長です。また、2021年からは従来の内視鏡をより低侵襲化したFED(全内視鏡下椎間板切除術)と呼ばれる8mm程度の切開で、より早期の復帰を目指した新しい内視鏡手術を導入しています。手術の目的は安全かつ確実に手術を遂行することであり、年齢や病態によって内視鏡手術が適さない場合がありますので、詳しくは外来担当医にご相談ください。



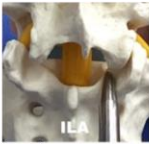
内視鏡で行った場合の傷(1.5~2cm)  
MED(Micro Endoscopic Discectomy:  
従来の内視鏡下椎間板切除術)



②腰椎すべり症や腰椎の分離症などは、単に骨や椎間板だけが神経の圧迫要因ではなく、破綻した背骨の不安定性が症状の原因の大きな要因となっています。そのため、このような病態においては、単なる内視鏡などの切除手術だけではなく、一部分背骨の動きを犠牲にしたとしても、局所を固定して安定化させる必要があります。

最小侵襲脊椎固定術

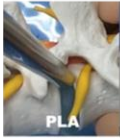
内視鏡手術のノウハウを生かし、当院では2008年より腰椎のすべり症や分離症など、不安定で背骨の部分的な固定が必要な症例に対して、最小侵襲脊椎固定術MIST (Minimally Invasive Spinal Stabilization)を行っています。従来の脊椎固定術は手術の傷が大きく、腰背部の筋肉を背骨から剥がして手術を行っていました。そのため術中・術後の出血が多く、術後の痛みも強いので患者様は手術による苦痛をある程度避けられませんでした。当院で行っている最小侵襲脊椎固定術は脊椎の1椎間の固定の場合、まず左右のどちらかに4～5cm程度皮膚を切開し、直径26mmの筒を挿入してその中で骨や椎間板の操作を行います。さらにこの傷から脊椎にスクリーを2本挿入します。左右の反対側では長さ2cm程度の小さな傷を2箇所作り、ここから組織を大きく損傷することなく脊椎にスクリーを挿入し、これらにより脊椎固定を行います。この方法により手術による出血が大幅に減少し、手術後の痛みも軽減されるため患者様の満足度は大幅に改善しています。



ILA: Interlaminar approach



PLA: Posterolateral approach



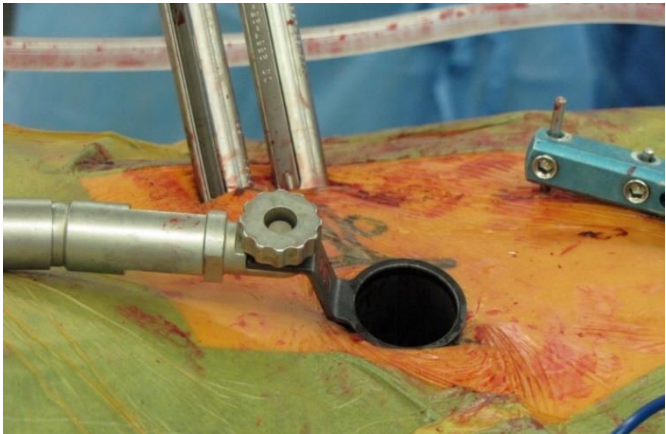
TFA: Transforaminal approach



FED(Full Endoscopic Lumbar Discectomy :全内視鏡下椎間板切除術)



立位で機能撮影 L4/5の迂りが強い

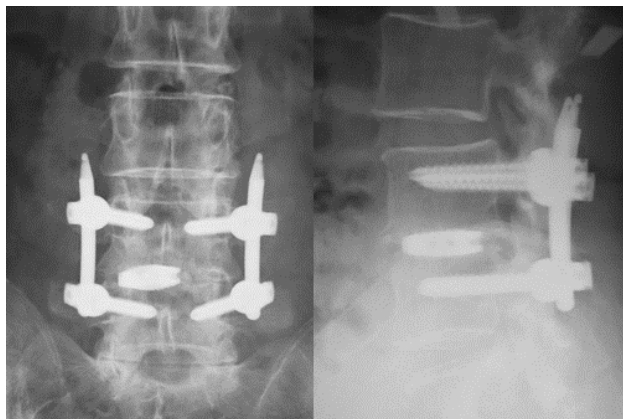


手術は経皮的にスクリーを挿入し、除圧側は26mmの筒を挿入して除圧、人工椎間板挿入を行います。



傷はスクリーを刺入する傷1cmが縦に2カ所、除圧とスクリーを挿入する側が約2cmです。

最近では側方侵入腰椎椎体間固定術(XLIF / OLIF)といってMISの手術の中でも後方の筋肉、椎弓に手術侵襲を加えない方法を採用しています。欧米では約10年前より導入されていますが、日本では2013年より承認され、現在のところ限られた医師、施設でのみ行われています。当院では2013年より導入しすでに多くの手術実績があります。手術は胸腰部側方に約4cmの小切開を加えます。専用の神経モニターシステムを用い神経をよけながら背骨、椎間板に到達し人工骨を挿入します。この手術により少ない出血量で背骨のずれや曲がりを矯正することができます。この手術の特徴は腰の神経の圧迫に対し直接背骨を削って取り除くのではなく、背骨の変形を矯正することにより間接的に神経の圧迫を軽減できるという点です。対象となる疾患は腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、再発椎間板ヘルニア、腰椎変性側彎症、腰椎後彎症などです。原則、手術翌日よりコルセットを着けて痛みに応じ、起立、歩行が可能です。ただし患者様の状態や背骨周辺の神経、血管の走行などによりこの術式が選択できない場合もありますので十分、術前に評価させていただきます。



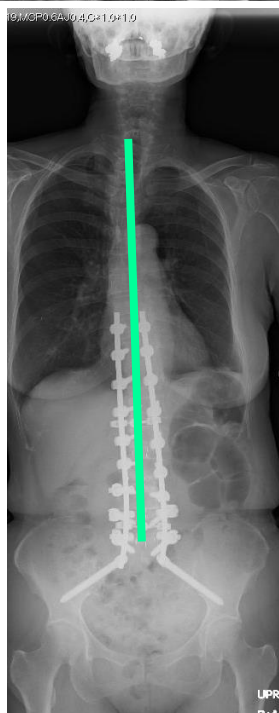
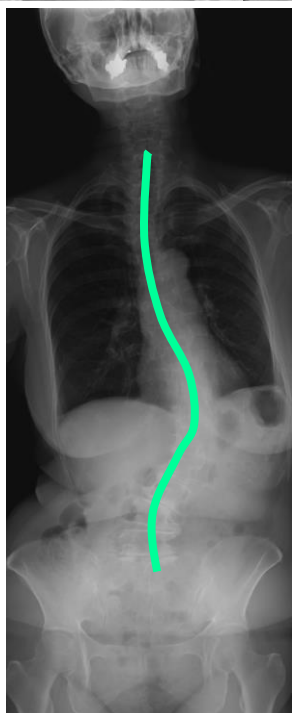
チタン製のスクリュー、ロッド、及び人工椎間板です。  
(患者さんによってはPEEK素材を使うこともあります。)



お腹の横から小切開(約3-4cm)で行います。



同時または2期的に後方からスクリュー固定  
(大半は経皮的)し、確実な矯正固定を行います。



成人の脊柱変形の患者さんです。腰曲がりによる腰痛と歩行容姿の  
不良で来院されました。

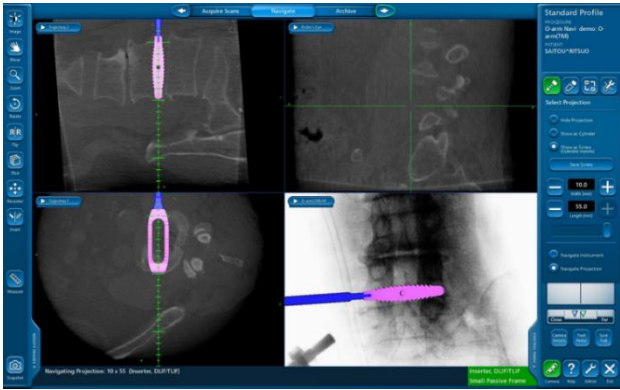
OLIF手術を使用することで腰の曲がりと姿勢の矯正が得られます。



脊椎ナビゲーションシステムと術中CT装置(O-arm R)の導入



精度は1mm以内で安全にスクリー挿入が可能です



OLIFも正確に人工椎間板が挿入できます

当院では2007年に脊椎ナビゲーションシステムを導入し、脊椎手術の安全性と信頼性を高めています。脊椎ナビゲーションシステムによりあらかじめ患者様の脊椎の情報をコンピューター内に取り込み、コンピューター支援の下に実際の患者様の体と照らし合わせて手術操作を行うことができます。特にスクリーなどで脊椎を固定する手術や、正確に骨を削る必要がある手術などでは威力を発揮します。2013年からはO-armといって術中にCT撮影を行うことで、術中の体位での正確な位置が確認できるため、より正確なナビゲーションが出来ます。これはすべての脊椎固定、除圧に有効ですが、特に頸椎においては確実性、安全性という面で強力なツールになります。

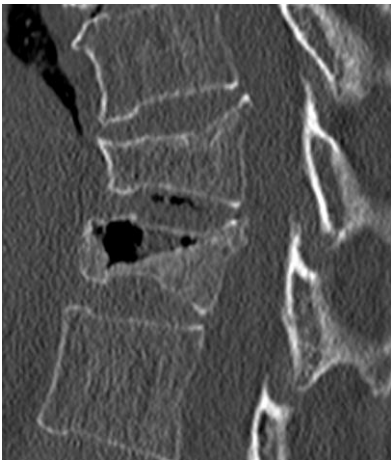
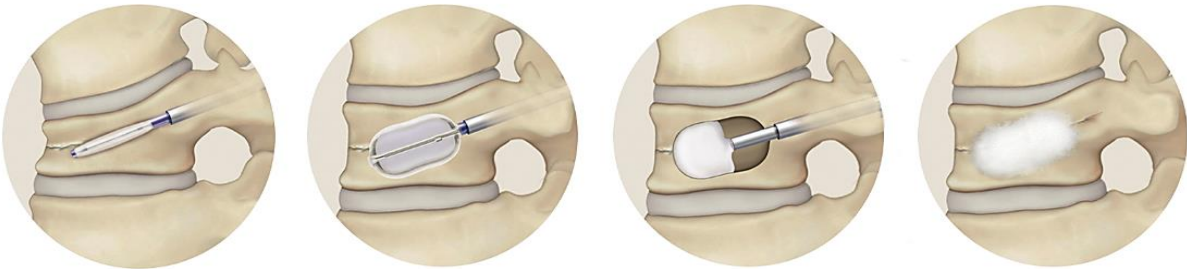
術中脊髄モニタリングを併用して、より安全に手術操作を行います。

脊椎手術は術後の麻痺や筋力の低下に細心の注意が必要な分野です。術者の経験だけに頼るのではなく、特に頸椎、胸椎の手術や前述した側方侵入腰椎椎体間固定術(XLIFやOLIF)の手術などより精度が必要となる高難度の手術では、脊髄に電気信号を通し、脊髄の機能をモニターしながら手術を行っています。これにより、より安全に手術を遂行することができます。

③近年は健康寿命の延長に伴い、元気な高齢患者様が増えています。

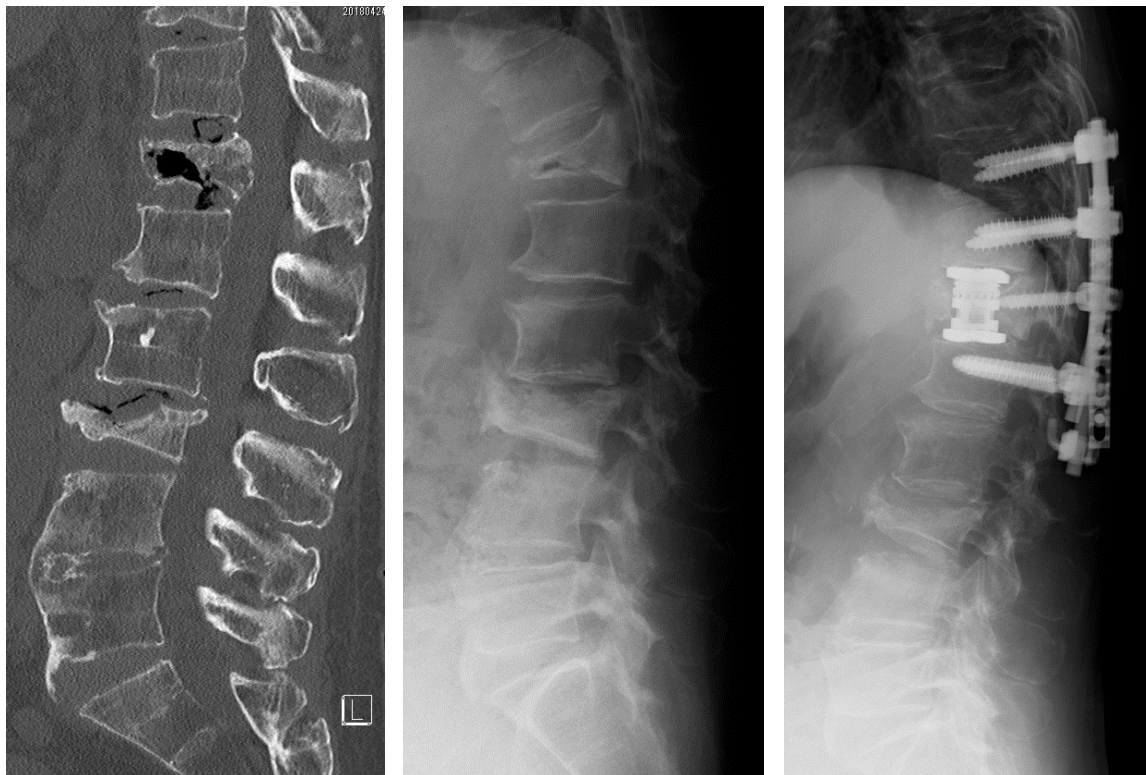
これまで圧迫骨折後の疼痛はコルセットや痛み止め、辛抱を強いるケースが多いのが実情でしたが、現在は手術手技の進歩と麻酔技術の進歩で、80歳台であっても、積極的に手術を受けられる患者様が増えています。特に、胸腰椎圧迫骨折後の偽関節や脊髄麻痺に対し セメントによる椎体形成術やインプラントによる椎体置換術などの手術を行っています。

◎骨セメントを使用した椎体形成手術



経皮的椎体形成術(BKP) (バルーンで椎体を膨らませてセメント注入する方法)を行っており、現在患者さんは100人を超えており満足されています。

## ◎インプラントを使用した椎体再建手術

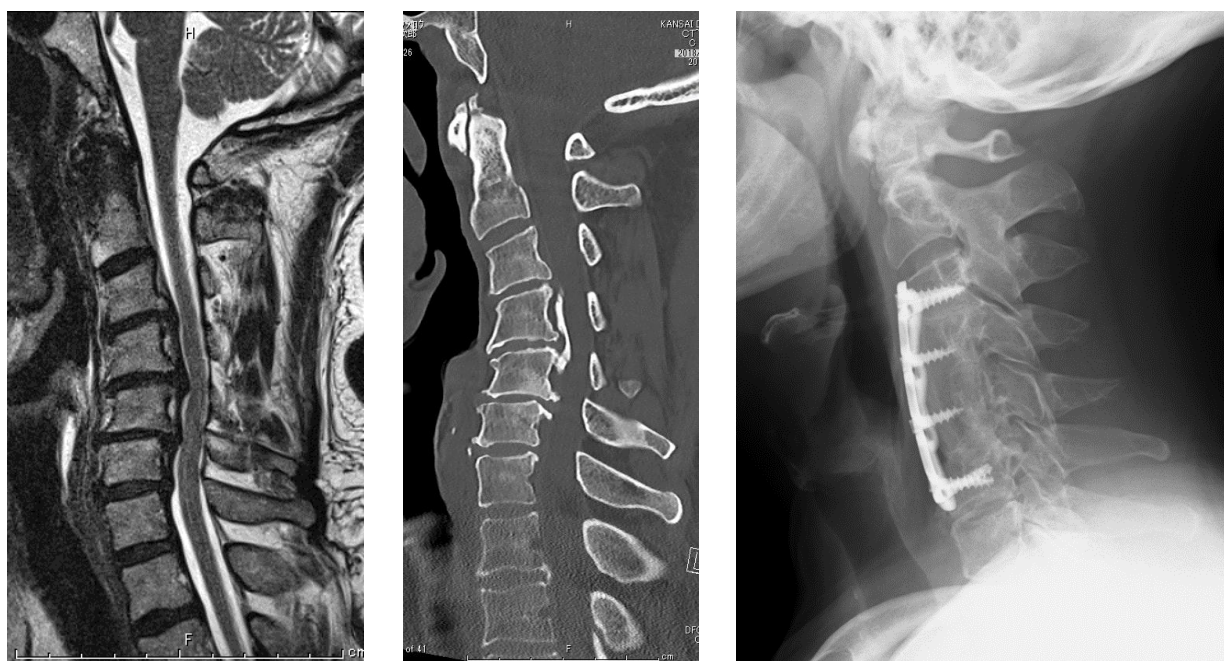


経皮的椎体形成術(BKP)で対応できないような不安定な圧迫骨折には、新しい人工椎体への置換手術で痛みの改善や姿勢の改善を目指します。

## 【頸椎手術】

頸椎手術は頸髄症、頸椎後縦靱帯骨化症、関節リウマチ関連脊髄症（輪軸椎亜脱臼など）など、より安全性と高度が技術が要される分野です。京都大学では伝統的に、頸椎の前方固定術・インプラントを駆使した高難度手術にも強く、当院でも前述のコンピューター支援器具を使用し、積極的に手術を行っています。特に頸椎の後縦靱帯骨化症は、脊髄の圧迫要因が椎間板ヘルニアのように柔らかい組織でなく、硬い骨が圧迫しているため、術後の麻痺のリスクも高く、手術難度も高いことから敬遠されがちな疾患です。当院では臆することなくこの難治性疾患にも積極的に手術を行っています。

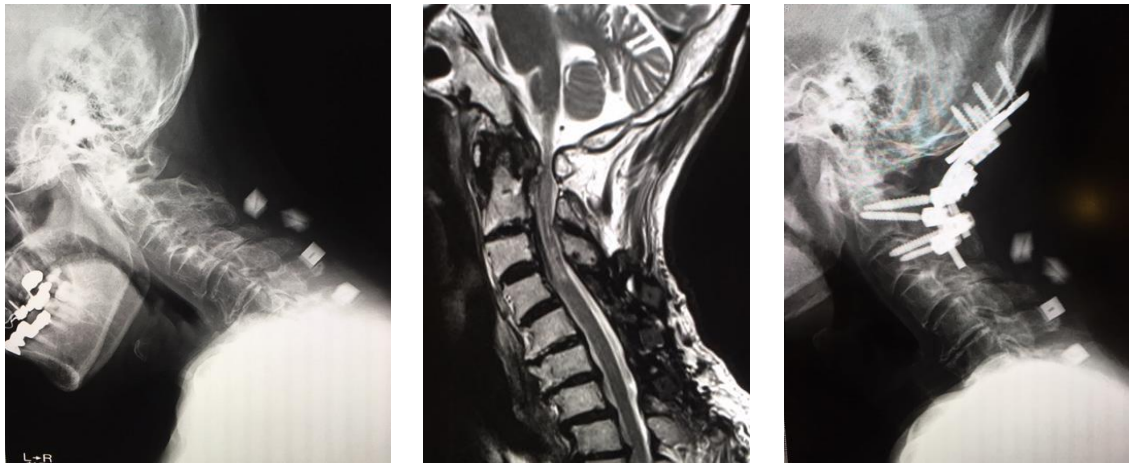
## ◎頸椎後縦靱帯骨化症に対する頸椎の前方除圧固定術



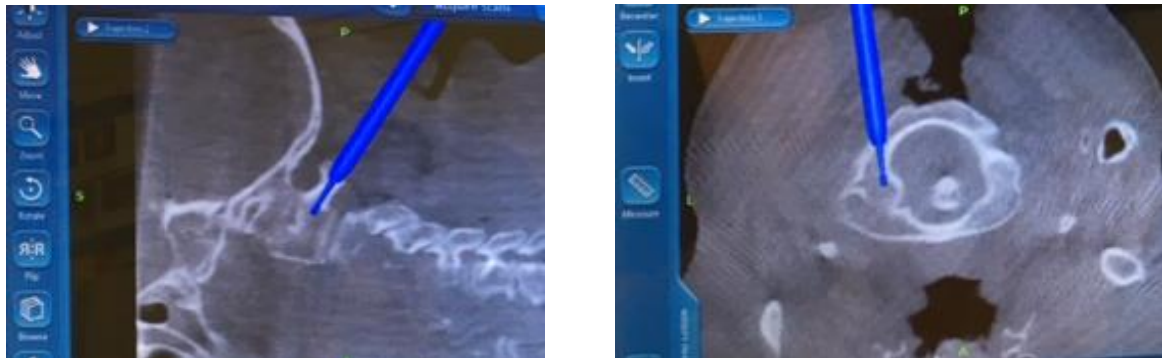
骨化のある第4,第5頸椎を前方から掘削し、ご自身の骨盤の骨を移植する頸椎の前方除圧固定術を施行し、手指の運動機能、歩行機能の改善が得られました



◎環軸椎亜脱臼、歯突起後方偽腫瘍に対するインプラントを使用した頸椎後方除圧固定術



Navigated-drill  
“Stealth-Midas(Medtronic)”



頸椎の1番(環椎)と2番(軸椎)に生じた不安定症と形成された炎症性腫瘍による延髄・脊髄の圧迫症例です。放置することで四肢の麻痺症状や呼吸の症状などの恐れがあり、ナビゲーションを使用し、安全に後頭骨から頸椎を固定する手術を行いました。

【その他手術】

脊髄の部分にできた腫瘍には脊髄のモニタリングを使用して安全に摘出を心がけています。

◎上位胸椎部に生じた髄膜種と呼ばれる硬膜内髄外腫瘍の1例



胸椎の2番目の脊柱管内に認めた髄膜種と呼ばれる良性腫瘍の1例です。  
神経合併症なく摘出を行いました。

## 膝関節外科領域

### ○膝関節の痛みについて

#### ・変形性膝関節症について

多くの場合、年齢とともに関節軟骨がすり減り、変形してくるにより起こる、変形性関節症（へんけいせいかんせつしょう）が認められます。年齢に関係なく、骨折や捻挫などの怪我の後に起きる場合もあります。変形性関節症は、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら、徐々に進行していきます。症状は痛みや腫れ、運動制限や変形などがあげられます。膝は変形性関節症の起こりやすい部位です。膝の痛みの原因として、怪我以外で症状がなかなか改善しない場合、上記の変形性膝関節症の可能性もあります。また、後述する半月板損傷を合併している場合もあります。診断はX線や診察、場合によっては注射やMRIを行うこともあります。

#### ・変形性膝関節症の保存治療（手術以外の治療）

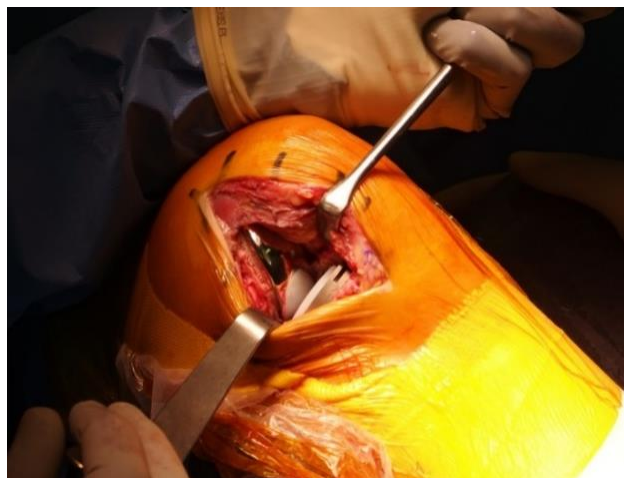
運動制限や薬物療法、運動療法などがありますが、当科では原則的には手術治療を中心に行なっておりますので、病状が落ち着けば、お近くのクリニック等での治療をお勧めしております。地域連携室を通じて、ご紹介させて頂いております。病状が進行しお困りの際にはいつでも再診できる体制をとっています。

#### ・変形性膝関節症の手術治療

前述の保存治療で症状が改善しない場合や、画像や診察上で急速に進行することが予想される場合、などが手術の適応となります。主な術式は、すり減った骨を切除して、かわりに人工の骨を移植する人工関節置換術を行ないます。虫歯で減った歯を削り、かぶせ物をして、痛みをとって噛める歯にするようなイメージです。その他に、O脚を矯正してすり減った関節を長持ちさせる、高位脛骨骨切り術（HTO: high tibial osteotomy）も行っています。この人工膝関節手術は30年以上の歴史があり、現在も少しずつ進歩しています。最近では特に最少侵襲外科手術（MIS: minimum invasive surgery）といった、身体への負担のより少ない手術という観点から、一般的に行なわれている、全置換術（TKA: total knee arthroplasty）ではなく、損傷している部分だけを置き換える単顆置換術（UKA: unicompartmental knee arthroplasty）に力を入れています。当科でのUKAは、単に皮膚の切開が小さいだけではなく、一切の筋肉を切開しない真の低侵襲手術であり、術後の早期の機能回復が期待できます。いずれも、病状やニーズに合わせた手術治療が可能となっております。また、術後の回収血輸血による、同種血輸血（他人の血液を輸血すること）の回避や、術後の抗凝固療法薬の使用による静脈血栓塞栓症の予防にも取り組んでいます。入院期間は約2～3週が目安（UKAの場合）で、長期間のリハビリをご希望される場合には、院内の回復期リハビリ病棟や、連携しているリハビリ病院にご紹介することも可能です。変形性関節症がそれほど進行していなくても、膝の痛みや水が貯まったり、運動障害が続く場合があります。診察やMRIなどで半月板損傷が疑われる場合は、関節鏡の手術が勧められます。もともと軟骨がすり減る、変形性関節症があるため、関節鏡手術で症状全てが改善する訳ではなく、病状に応じて幅があります。半月板による症状はほぼなくなるため、また保存治療を継続することで、改善が期待できます。現在治療は澁谷、馬谷医師が行っています。



UKA術後XP



UKA術中写真

#### ・半月板損傷

怪我（転倒した、捻った、高いところから落ちたなど）など、はっきりした原因がある場合もありますが、繰り返しの負担により、半月板損傷を生じる場合もあります。程度に幅はありますが、軽度の軟骨損傷を伴っていることが多いです。診断は、診察とMRIを行ないます。典型的な症状は、痛みで膝が伸ばせない、曲げられない、あるいは、膝を動かしたときに痛みとひっきり感がある、などですが、保存治療で改善しない場合は、軟骨損傷が進行する可能性もあるため、関節鏡手術を勧めています。数mm径の内視鏡で、関節内を観察、処置が可能ですので、術後の痛みも少なく、数日～10日程度で退院が可



能です。手術後もしくはリハビリを行い、経過をみていく必要があります。現在治療は馬谷医師が行っています。

## ・その他

前・後十字靱帯損傷、滑膜ひだ障害(タナ障害)、関節内遊離体(関節ねずみ)、膝関節滑膜炎など、その他の膝関節疾患の治療も行なっています。症例に応じて、関節軟骨損傷に対しては、骨軟骨柱移植術や自家培養軟骨移植術を、変形性膝関節症に対しては、高位脛骨骨切り術や大腿骨遠位骨切り術も行っています。現在治療は馬谷医師が行っています。

## リウマチ外科領域

患者さんの病気にあわせての最新の投薬、生物製剤の治療を行っています。2014年から京都大学でリウマチグループに属していた澁谷医師が精力的にリウマチ治療を行っています。2015年からリウマチセンターを立ち上げ内科と協力体制を築いています。また患者さんADL改善のため手術治療も各種行っています。現在澁谷医師を中心として積極的に治療を行っています。

## 股関節外科領域

### ○股関節の痛みについて

#### ・変形性股関節症について

変形性関節症は、多くの高齢者に見られる一種の老化現象ですが、治療が必要になる変形性股関節症として日本で一番多いのは、先天性股関節脱臼(生まれつき股関節が外れている)、臼蓋形成不全(関節の受け皿が生まれつき小さい)に続いて起こる関節症です。その他には、関節リウマチや、怪我によるもの、大腿骨頭壊死に続く場合があります。他には、はっきりとした原因なく起こる原発性股関節症も、まれにあります。通常は、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら、徐々に進行していき、痛みや可動域制限(関節の動きが悪くなる)を生じます。上記の関節症の前段階として、最近注目されている、関節唇損傷やFAI: Femoroacetabular impingement(大腿臼蓋インピンジメント)が上げられます。これまで見逃されていましたが、MRIなどの検査機器の性能向上により、診断されることが増えてきました。通常は保存治療で改善しますが、場合によっては関節鏡による治療を要す場合があります。

#### ・変形性股関節症の保存治療

運動制限、薬物療法、運動療法などがありますが、当科では原則的には手術治療を中心に行なっておりますので、病状が落ち着けば、お近くのクリニック等での治療をお勧めしております。地域連携室を通じて、ご紹介させて頂いております。病状が進行したり、お困りの際にはいつでも再診してご相談させていただきます。

#### ・変形性股関節症の手術治療

前述の保存治療で症状が改善しない場合や、画像や診察上で急速に進行することが予想される場合、などが手術の適応となります。当院では、すり減った骨と軟骨を切除して、かわりに人工の骨を移植する人工関節置換術を中心に行なっています。骨切術や関節形成術などの他の手術方法に比べ短期間で安定した成績が長所です。しかしながら、脱臼・感染・磨耗・ゆるみなど、人工関節を用いることによる短所も、少なからずあります。それぞれについて対策をたてて、個人個人に最適な治療を選択し、手術を行っていきます。ここ数年は、最少侵襲外科手術(MIS: minimum invasive surgery)、最近は筋肉をまったく切らないOCM法といった、身体への負担のより少ない手術方法、特に、皮膚の切開が小さいだけでなく、一切の筋肉を切開しない真の低侵襲手術(筋温存、muscle sparing)に取り組んでいます(低侵襲手術は初回手術のほとんどの方に行えますが、股関節の状態、特に変形や脱臼の程度によっては行えない場合があります)。また、術前の自己血貯血による、同種血輸血(他人の血液を輸血すること)の回避や、術後の抗凝固療法薬の使用による静脈血栓塞栓症の予防にも取り組んでいます。入院期間は約2~4週が目安で、長期間のリハビリをご希望される場合には、院内の回復期リハビリ病棟や、連携しているリハビリ病院にご紹介することも可能です。手術時期や手術方法などについてお悩みがあれば、一度受診しご相談下さい。現在治療は澁谷医師が行っています。



人工股関節術後XP



人工股関節の術中写真

## 肩関節外科領域

肩関節に熟練した医師(馬谷)が担当しております。腱板断裂や反復性肩関節脱臼、Loose shoulder(動揺肩)、凍結肩、肩関節拘縮、石灰沈着性腱板炎、変形性肩関節症、肩鎖関節脱臼、スポーツ障害肩、各種骨折・外傷などあらゆる肩関節周囲の疾患に対応しております。保存療法や手術療法を問わずリハビリテーション科と密に連携し、治療にあたります。手術は、原則関節鏡を中心とした最小侵襲で行います。

### ・腱板断裂

年齢とともに増加(50歳代で10%、60歳代で20%、70-80歳代で40-50%)し、そのうち症候性(有症状)の割合は1/3程度と言われています。主な症状は、疼痛や運動障害(筋力低下・易疲労性)です。外傷によるものは半数程度で、残りの半数には明らかな原因はないと言われており、加齢による変化、酷使、糖尿病、喫煙歴などに影響を受けると言われています。症状や断裂の大きさ、腱板の萎縮の程度、年齢、職種、スポーツ復帰の希望などによって治療方針を決定致します。治療は、リハビリテーションや関節内注射、手術となります。手術は、原則関節鏡を中心とした最小侵襲で行います。状態に応じて関節鏡視下腱板修復術、Debeyre-patte変法(腱板前進術)、上方関節包再建術、棘下筋回転移行術、リバース型人工肩関節全置換術などを行います。術後は3-6週間の装具固定が必要となり、その期間中は入院を推奨しております。

### ・反復性肩関節脱臼

肩関節は、全身で一番脱臼しやすい関節です。若年者ほど一度脱臼すると、再脱臼しやすくなります。(10歳代で初回脱臼すると80-90%の確率で再脱臼)脱臼や脱臼不安定感によるスポーツや仕事、日常生活への影響がみられる場合、手術を考慮致します。手術は、基本的には関節鏡視下関節唇修復術で行いますが、再脱臼のリスクが高い場合[繰り返す脱臼によって生じた関節窩(受け皿)やHill-sachs lesion(上腕骨骨頭後面)の骨欠損が大きい、コンタクトスポーツなどへの復帰を希望]には、鳥口突起移行術(Bankart&Bristow変法)を行います。スポーツ復帰の目安は術後6ヵ月以降となります。

### ・Loose shoulder(動揺肩)

元来肩関節が緩い方が軽度の外傷を契機に前方や下方、後方へ不安定になった状態です。リハビリテーションによる治療が中心となりますが、治療に反応せず日常生活に支障をきたしている場合には手術を考慮致します。手術は、関節鏡視下関節唇修復術や関節包縫縮術を行います。

### ・凍結肩(五十肩、肩関節周囲炎)

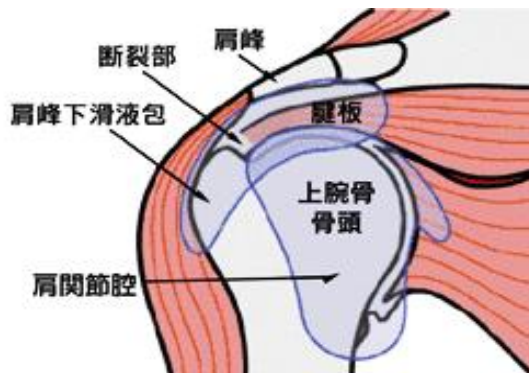
40-60歳代の普段あまり身体を動かしていない方に好発します。主な症状は、可動域制限、疼痛(特に夜間痛)です。明らかな原因なく発症しますが、軽微な外傷を契機に発症する事もあります。自然に治癒すると言われてきましたが、近年放置すると罹病期間の長期化や症状の残存が生じると言われており(特に糖尿病などの生活習慣病や喫煙歴のある方)、運動療法やリハビリテーション、関節内注射などが重要視されてきています。治療に難渋した場合には手術を考慮致します。手術は、関節鏡視下授動術(関節包解離術)を行います。手術後は集中的にリハビリテーションを行うため、術後3-4週間の入院を推奨しております。

### ・石灰沈着性腱板炎

40-50歳代の女性に好発します。肩腱板内に沈着したリン酸カルシウム結晶の炎症によって生じ、治療は局所安静やエコーガイド下穿刺・注射を行います。それでも改善しない場合には手術を考慮致します。手術は、関節鏡で石灰沈着物を除去します。

### ・変形性肩関節症

長年の酷使によって関節軟骨が擦り減った状態です。脱臼や腱板断裂によって関節軟骨に損傷が生じ、徐々に進行した場合にも生じます。主な症状は、疼痛、可動域制限、動作時の雑音(ゴリゴリといった音)です。日常生活動作に支障が出ている場合、手術を考慮致します。手術は、人工肩関節全置換術またはリバース型人工肩関節全置換術を行います。



画像: 公益社団法人 日本整形外科学会HP



画像: 公益社団法人 日本整形外科学会HP



画像: 公益社団法人 日本整形外科学会HP



画像: 一般社団法人 日本骨折治療学会HP

・肩鎖関節脱臼

高所からの転落やラグビーなどのコンタクトスポーツによる打撲で生じます。転位が大きい場合 (Rockwood分類type 3の一部, 4, 5, 6)は手術適応となります。手術は、関節鏡を併用し、2つの金属のボタンと強い糸を用いて脱臼を整復・固定します。

・スポーツ障害肩(野球肩など)

オーバーヘッド動作時(野球・ソフトボール・ハンドボール・やり投げなどの投球動作、バレーボールのアタック動作、テニスのスマッシュなど)の肩関節痛です。スポーツ障害肩は、肩関節以外に根本的な原因が存在することがよくあります。股関節や下肢の柔軟性低下などによって下肢からの運動連鎖が円滑に行えず、肩関節への大きな負荷が繰り返し生じるためです。治療は、リハビリテーションによる保存治療が中心となります。全身の機能や運動連鎖の評価を行い、適宜改善と再発予防(柔軟性や関節可動域の改善、体幹や下肢筋力の強化など)を行います。保存治療での復帰が困難と予想される場合には、手術(関節鏡)を考慮致します。

スポーツ関連領域

野球肘(離断性骨軟骨炎・内側側副靱帯損傷)、各種疲労骨折、腱炎・付着部炎、肉離れ、足関節捻挫・足関節外側側副靱帯損傷、距骨骨軟骨損傷に対する治療も行っています。

[2022年実績]

1日平均外来患者数平均                      40人／日  
平均入院患者数平均                      33人／日  
手術件数                                              720件

|                    |      |  |              |           |      |                                      |                                  |     |      |
|--------------------|------|--|--------------|-----------|------|--------------------------------------|----------------------------------|-----|------|
| 脊椎・脊髄外科<br>(腫瘍を含む) | 頸椎   |  | 16例          | 外傷外科      | 骨接合術 | 上肢                                   | 120例                             |     |      |
|                    | 胸・腰椎 |  | 73例          |           |      | 下肢                                   | 111例                             |     |      |
|                    | 脊髄腫瘍 |  | 0例           |           | 再接着  | 0例                                   |                                  |     |      |
| 間接外科               |      |  |              |           | その他  | 64例                                  |                                  |     |      |
|                    |      |  | 股関節          | 人工関節      | 20例  | 手外科<br>(骨接合術、再接着術は<br>外傷外科に含める)      | 関節手術                             |     | 35例  |
|                    |      |  |              | 人工関節再置換   | 1例   |                                      | 腱・靱帯手術                           |     | 63例  |
|                    |      |  |              | 人工骨頭      | 23例  |                                      | その他                              |     | 1例   |
|                    |      |  |              | その他       | 0例   |                                      | 末梢神経手術<br>(肘部管症候群、手根管症候群はここに含める) |     | 40例  |
|                    |      |  | 膝関節          | 人工関節      | 38例  | 骨軟部腫瘍                                |                                  | 8例  |      |
|                    |      |  |              | 人工関節再置換   | 0例   | その他                                  |                                  | 0例  |      |
|                    |      |  |              | 単顆置換      | 1例   |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  |              | 靱帯再建      | 11例  |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  |              | 半月板       | 20例  |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  |              | その他       | 16例  |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  | 肩関節          | 人工関節・人工骨頭 | 8例   | マイクロサージェリー<br>(脊椎手術以外でマイクロを使ったものすべて) |                                  | 10例 |      |
|                    |      |  |              | 腱板修復      | 16例  |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  |              | その他       | 18例  |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  | 肘関節          | 人工関節      |      |                                      |                                  |     | 全手術数 |
|                    |      |  |              | その他       | 4例   |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  | 足関節・<br>足部関節 | 人工関節      | 0例   |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  |              | 関節固定術     | 5例   |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  |              | 関節形成術     | 1例   |                                      |                                  |     |      |
|                    |      |  |              | その他       | 1例   |                                      |                                  |     |      |

[学会発表]

| 会名称                |      | 参加形態・発表テーマ                                                      | 発表者                                    |
|--------------------|------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 日時                 | 場所   |                                                                 |                                        |
| 第34回日本肘関節学会学術集会    |      | 肘頭骨折の治療成績—tension band wiring<br>法、Ring pin system固定、プレート固定の比較— | 船本知里、太田壮一、<br>貝澤幸俊                     |
| 2022.2.11-2        | 名古屋市 |                                                                 |                                        |
| 第65回日本手外科学術集会      |      | 3DCTシミュレーションを利用したSTT関節固定におけるスクリュー至適刺入位置の検討                      | 太田壮一、貝澤幸俊、<br>船本知里                     |
| 2022.4.14-15       | 北九州市 |                                                                 |                                        |
| 第95回日本整形外科学会総会     |      | 3DCTシミュレーションを利用したSTT関節固定におけるスクリュー至適刺入位置の検討                      | 太田壮一、貝澤幸俊、<br>船本知里、井関雅紀、<br>澁谷秀幸、馬谷直樹  |
| 2022.5.19-22       | 神戸市  |                                                                 |                                        |
| 第14回日本手関節外科ワークショップ |      | Kienbock病stage4に対して、近位手根列切除術に近位手根骨からの有頭骨骨頭への骨軟骨柱移植を追加した1例       | 貝澤幸俊、太田壮一、<br>大塚和史、船本知里、<br>武井大輔、下山貴幸、 |
| 2022.8.27          | 大阪市  |                                                                 |                                        |

| 会名称                   |     | 参加形態・発表テーマ                                         | 発表者                                          |
|-----------------------|-----|----------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 日時                    | 場所  |                                                    |                                              |
| 第33回日本末梢神経学会学術集会      |     | 全型腕神経損傷に対する横隔神経移行術後の肺機能障害                          | 柿木良介、大谷和裕、田中寛樹、太田壮一、池口良輔、赤木将男                |
| 2022.9.9-10           | 東京都 |                                                    |                                              |
| 第33回日本末梢神経学会          |     | 再生医学をもとにした人工神経作成への基礎的アプローチ.                        | 柿木良介、田中寛樹、貝澤幸俊、池口良輔、大谷和裕、赤木将男                |
| 2022.9.9-10           | 東京都 |                                                    |                                              |
| 第139回中部日本整形災害外科学術集会   |     | ビスフォスフォネート長期内服後に生じた尺骨非定型骨折偽関節の一例                   | 太田壮一、貝澤幸俊、船本知里、井関雅紀、澁谷秀幸、馬谷直樹                |
| 2022.10.28-9          | 大阪市 |                                                    |                                              |
| 第139回中部日本整形災害外科学術集会   |     | 全型腕神経叢損傷に対する横隔神経移行術後の肺機能障害                         | 柿木良介、大谷和裕、田中寛樹、太田壮一、池口良輔、赤木将男                |
| 2022.10.28-9          | 大阪市 |                                                    |                                              |
| 第49回日本肩関節学会.          |     | Arthroscopic transtendinous biceps tenodesisの術後成績. | 馬谷直樹、竹原元司                                    |
| 2022. 10. 7-8         | 横浜市 |                                                    |                                              |
| 第49回日本肩関節学会           |     | 上腕二頭筋長頭腱損傷の関節鏡評価.                                  | 竹原元司、馬谷直樹                                    |
| 2022. 10. 7-8         | 横浜市 |                                                    |                                              |
| 第19回日本肩の運動機能研究会       |     | SLAP損傷による腱板断裂肩への影響.                                | 井上大輔、馬谷直樹                                    |
| 2022. 10. 7-8         | 横浜市 |                                                    |                                              |
| 第19回日本肩の運動機能研究会       |     | 頚椎症性筋萎縮症例に対し肩甲胸郭関節の運動療法が奏功した一例.                    | 宇多恵一郎、馬谷直樹                                   |
| 2022. 10. 7-8         | 横浜市 |                                                    |                                              |
| 第37回日本整形外科学会基礎学術集会    |     | 小胸筋移行術における烏口突起付着部の解剖学的評価.                          | 馬谷直樹、竹原元司、船本知里、貝澤幸俊、澁谷秀幸、井関雅紀、森 大祐、猪坂直義、太田壮一 |
| 2022. 10. 13-14       | 宮崎市 |                                                    |                                              |
| 第1回大阪脊椎疾患フォーラム        |     | 先生なら私の腰痛と足の痛みを治せますか？どんな手術で治しますか？                   | 井関雅紀                                         |
| 2022.4.8              | 大阪市 |                                                    |                                              |
| 第2回大阪脊椎疾患フォーラム        |     | 腰椎後方固定術中ショックの1例                                    | 井関雅紀                                         |
| 2022.11.11            | 大阪市 |                                                    |                                              |
| 第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会     |     | 腰椎側方進入椎体間固定術後の罹患高位椎間関節の術後経時的形態変化ー自然癒合に着目してー        | 井関雅紀、太田壮一、松田秀一                               |
| 2022.4.21-23          | 横浜市 |                                                    |                                              |
| 第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会     |     | 低侵襲腰椎固定術におけるO-arm navigationの有用性 手術精度と被曝量について      | 中野恵介、森 正樹、富永智大、井関雅紀、藤尾圭司                     |
| 2022.4.21-23          | 横浜市 |                                                    |                                              |
| 脊椎若手手術手技トレーニング講習会     |     | 頸椎椎弓形成術のコツとピットフォール                                 | 井関雅紀                                         |
| 2022.4.24             | 横浜市 |                                                    |                                              |
| 第29回日本脊椎・脊髄手術手技学会学術集会 |     | 腰椎側方進入椎体間固定術後の椎間関節の術後経時的形態評価                       | 井関雅紀、太田壮一、松田秀一                               |
| 2022.9.2-3            | 別府市 |                                                    |                                              |

[講演]

| 会名称                 |     | テーマ                     | 講演者  |
|---------------------|-----|-------------------------|------|
| 日時                  | 場所  |                         |      |
| 第355回 大阪臨床整形外科医会研修会 |     | 手のしびれや麻痺を生じる末梢神経や神経根の障害 | 太田壮一 |
| 2022.10.22          | 大阪市 |                         |      |

# [論文発表]

| 著者                                                                      | タイトル                                                                                                                                                                            | 掲載誌名                 |      |
|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------|
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 掲載号・ページ              | 掲載年  |
| Ohta S, Kaizawa Y, Ikeguchi R, Noguchi T, Funamoto C                    | The Association Between the Volar Aspect of the Distal Radial Diaphysis and the Lunate Rotation Center on Lateral View X-ray of the Wrist.                                      | JHSGO                |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 4, 320-3             | 2022 |
| Izeki M, Fujio K, Ota S, Soga S, Matsuda S                              | Radiological follow-up of the degenerated facet joints after lateral lumbar interbody fusion with percutaneous pedicle screw fixation: Focus on spontaneous facet joint fusion. | J Orthop Sci         |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 27(5) :982-9         | 2022 |
| Kaizawa Y, Ohta S, Kakinoki R                                           | Peripheral Nerve Regeneration Augmented with Bone Marrow-derived Mesenchymal Stem Cell Implantation.                                                                            | J Peripher Nerv Syst |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 27 (Suppl.1)S4-5     | 2022 |
| Tanaka H, Kakinoki R, Kaizawa Y, Hara Y, Ohtani H, Ikeguchi R, Akagi M. | Peripheral Nerve Regeneration through a Capillarypermeable and Biodegradable Tube- Experimental Study in Rats.                                                                  | J Peripher Nerv Syst |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 27 (Suppl.1)S5       | 2022 |
| 曾我聡之、太田壮一、井関雅紀、貝澤幸俊、馬谷直樹、船本知里                                           | 大腿骨頸部骨折に対するHansson pinloc systemの当科における治療成績.                                                                                                                                    | 中部整災誌                |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 65(1),127-8          | 2022 |
| 貝澤幸俊、太田壮一、池口良輔、野口貴志                                                     | 手関節単純X 線側面像における月状骨遠位関節面中点と月状骨回転中心の位置関係.                                                                                                                                         | 日手会誌                 |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 38(5), 775-7         | 2022 |
| 貝澤幸俊、太田壮一                                                               | 高齢者重症手根管症候群患者における電気生理学的パラメータの鏡視下手根管開放術後変化.                                                                                                                                      | 日手会誌                 |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 38(5), 640-3         | 2022 |
| 船本知里、太田壮一、貝澤幸俊                                                          | 当科における肘頭骨折の治療成績－K-wireおよびRing pinによるTension band wiring法, プレート固定の比較－                                                                                                            | 日本肘関節学会誌             |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 29(2),119-22         | 2022 |
| 馬谷直樹、竹原元司                                                               | 上腕二頭筋長頭腱固定術における解剖学的制限.                                                                                                                                                          | 肩関節                  |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 46(2):418-422.       | 2022 |
| 柿木良介、田中寛樹、原佑紀子、橋本和彦、大谷和裕、赤木将男、貝澤幸俊、淘江宏文、池口良輔                            | 自家神経移植の代替となる人工神経開発に何が必要か.                                                                                                                                                       | 日本整形外科学会雑誌           |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 96(5):427-435        | 2022 |
| 井上大輔、堀田旭、恵飛須俊彦、井関雅紀                                                     | 腰椎椎間板ヘルニア患者の罹患側および非罹患側における傍脊柱筋断面積の比較,                                                                                                                                           | 理学療法学                |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 49(1):1-7            | 2022 |
| Ohta S, Ikeguchi R, Noguchi T, Kaizawa Y, Matsuda S                     | Intractable Fractures of the Bilateral Proximal Ulnae After 8 Years of Zoledronate Treatment for Breast Cancer Bone MetastasisRadiological follow-up.                           | J Hand Surg Am.      |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 47(4):393.e1-.e7     | 2022 |
| 竹原元司、馬谷直樹                                                               | 肩甲上腕関節まで波及した化膿性肩鎖関節炎の1例.                                                                                                                                                        | 肩関節                  |      |
|                                                                         |                                                                                                                                                                                 | 46(1):246-249        | 2022 |

# [著書]

| 著者   | タイトル                               | 掲載誌名                                    |      |
|------|------------------------------------|-----------------------------------------|------|
|      |                                    | 掲載号・ページ                                 | 掲載年  |
| 馬谷直樹 | 2章7 スポーツにおけるSLAP損傷および上腕二頭筋長頭腱炎・損傷. | 岩本航編.<br>肩のスポーツリハビリテーション<br>東京. 日本医事新報社 |      |
|      |                                    |                                         | 2022 |



# リハビリテーション科

## 【医師】(R5.3末時)

|      |        |                        |
|------|--------|------------------------|
| 部 長： | 恵飛須 俊彦 | リハビリテーション科専門医、脳神経外科専門医 |
| 医 員： | 平野 博久  | 神経内科専門医、認定内科医          |
| 医 員： | 坂田 ゆき  | リハビリテーション科専門医          |
| 医 員： | 中濱 潤美  | リハビリテーション科専門医          |

## 【技師】(R5.3末時)

|      |       |                                                        |
|------|-------|--------------------------------------------------------|
| 技師長： | 宮本 定治 | 日本手外科学会、日本マイクロサージャリー学会<br>(作業療法士)                      |
| 主 任： | 平澤 良和 | 日本理学療法士協会、日本糖尿病学会<br>(理学療法士)                           |
| 副主任： | 山本 洋司 | 日本理学療法士協会<br>(理学療法士)                                   |
| 副主任： | 松木 良介 | 日本理学療法士協会、日本心臓リハビリテーション学会、日本心不全学会、日本集中治療医学会<br>(理学療法士) |
| 副主任： | 児島 範明 | 日本作業療法士協会、日本集中治療学会、日本心臓リハビリテーション学会<br>(作業療法士)          |

## 【人員構成】

医師:4名、理学療法士:33名、作業療法士19名、言語聴覚士:7名

## 【施設基準】

脳血管等リハビリテーションⅠ、運動器リハビリテーションⅠ、呼吸リハビリテーションⅠ、心大血管疾患リハビリテーションⅠ、がんのリハビリテーションⅠ、回復期リハビリテーション病棟Ⅰ

## 【訓練方針】

地域の皆様の健康と福祉に貢献するために、患者さまに必要な最善のリハビリテーションを提供します。

## 【リハビリテーション診療ビジョン】

全国水準の安全管理技術と各領域における専門的かつ標準的治療を実現します。

## 【診療実績】(R4.4～R5.3)

|                    |                           |         |
|--------------------|---------------------------|---------|
| 実績患者数              | 急性期入院                     | 2,282名  |
|                    | 回復期入院                     | 222名    |
|                    | 外来                        | 589名    |
| 回復期リハビリテーション病棟実績   | 「重症者の割合」入院時の日常生活機能評価10点以上 | 50.1%   |
|                    | 重症者における退院時の日常生活機能評価       | 75.4%   |
|                    | 退院患者在宅復帰率(70%以上)          | 88.5%   |
|                    | リハビリテーションFIM実績指数          | 51.0    |
| 療法別リハビリテーション実績患者総数 | 理学療法                      | 49,143名 |
|                    | 作業療法                      | 29,052名 |
|                    | 言語療法                      | 8,756名  |
|                    | 総合                        | 86,951名 |
| 疾患別<br>リハビリテーション件数 | 脳血管等リハビリテーション             | 39,089件 |
|                    | 運動器リハビリテーション              | 27,776件 |
|                    | 呼吸リハビリテーション               | 9,073件  |
|                    | 心大血管疾患リハビリテーション           | 6,525件  |
|                    | がんのリハビリテーション              | 8,995件  |
|                    | 廃用症候群                     | 7,582件  |
|                    | 摂食機能療法                    | 249件    |
|                    | 回復期リハビリテーション病棟            | 36,785件 |

## 【2022年度における疾患別リハビリテーションの取り組み】

### ○運動器リハビリテーション

#### 【対象疾患】

肩腱板断裂、変形性膝関節症、変形性股関節症、骨折、頸椎および腰椎疾患、手指骨折、橈骨遠位端骨折、腱損傷、切断指再接着術後など

#### 【特色/方針】

受傷機転やX-ray/CT/MRIなど画像所見、手術所見、臨床評価から疾患毎の病態を把握し、早期から安全に最善の治療を提供することを目標として、機能解剖や生理学、運動学に基づいた個々の治療プログラムを作成している。また疾患毎に評価のポイントやリハビリテーションプロトコルを組織学/生体力学に基づき作成し、治療の標準化に努めている。他職種連携では整形外科や形成再建外科回診・カンファレンスへの同行、医師や看護師の勉強会へ参加や手術見学などを実施している。また、手外科医の認定教育施設であることから専門性に特化しており、共同研究やシンポジウム、学会発表も積極的に行い人材育成にも努めている。

### ○脳血管疾患等リハビリテーション

#### 【対象疾患】

脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)、硬膜下血腫、脳腫瘍、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、大脳基底核変性症、脊髄小脳変性症、進行性核上性麻痺、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、ギランバレー症候群

#### 【特色/方針】

当院では急性期脳卒中患者に対して、発症後早期の安全かつ効果的な離床を実施していることが特徴である。急性期における不動関連合併症や早期の日常生活動作自立を目指して、理学療法・作業療法・摂食嚥下と言語療法による包括的な医療を展開し、当院回復期リハビリテーション病棟と連携した継ぎ目のない医療を提供している。神経難病に関しては多岐にわたる神経学的な病態に合わせて、入院中の身体機能や日常生活動作能力の低下予防だけでなく在宅生活に即した環境調整や自助具などの作成・情報提供をおこなっている。特に臨床・教育の研鑽として学術活動にも力を入れており、当院における脳卒中患者の早期離床の安全性とその効果の検証をはじめ、超急性期である集中治療室からの積極的なリハビリテーションなど学会発表や共同研究にも力を入れている。

### ○心大血管疾患リハビリテーション

#### 【対象疾患】

心不全、心筋梗塞、狭心症、心臓血管外科術後、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症など

#### 【特色/方針】

集中治療領域から外来まで継続的なリハビリテーション診療を展開し、動作時の循環応答に留意した安全で効果的な離床と、運動生理学に基づく適切な運動処方による運動療法にて身体機能の改善を図っている。また周術期においては作業療法士が中心となり認知機能に対する取り組みを早期から実践している。カンファレンスだけでなく、日々の患者の状態や治療内容の変化に対応するため、毎日回診に参加しチーム連携を深めている。院外活動においては全国規模の共同研究に参加するなど医療の研鑽に努めている。

### ○呼吸器リハビリテーション

#### 【対象疾患】

慢性呼吸器疾患(間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患)、肺炎(細菌性、誤嚥性、人工呼吸器関連)、肺腫瘍(周術期)、人工呼吸管理が必要な呼吸不全患者など

#### 【特色/方針】

集中治療領域においてリハビリテーションプロトコルを運用する等、医師・看護師・療法士が連携して病態や症状に即した離床を行い、二次的合併症の予防や日常生活動作能力の改善を図っている。また退院後の生活を見据え、労作時の呼吸困難感や身体機能評価に基づく、適切な活動量と日常生活動作の指導(在宅酸素療法の指導を含む)を実施している。呼吸器センターのカンファレンスやRST、医師との勉強会に参加し、チーム医療を推進している。

### ○がんのリハビリテーション

#### 【対象疾患】

肺がん、胃がん、肝臓がん、胆嚢がん、膵臓がん、乳がん、血液腫瘍など

#### 【特色】

当院では2011年から、がんの症状や治療の合併症に伴う、二次的な機能障害を予防・改善することを目的にがんリハビリテーションを実施している。消化器外科では術後回復促進策として発足したEnhanced Recovery After Surgery (ERAS) チームの一員として、運動機能の早期回復を担っている。血液内科・腫瘍内科の患者には入院期間中のADL維持、乳癌の患者には術後、肩関節の機能低下を予防することを目的として運動療法を実施している。

また医療の質向上のために、学会や研究会での発表や論文投稿を行うなど院外での取り組みも積極的に行っている。

### ○糖尿病療養指導

#### 【対象疾患】

1型・2型糖尿病

#### 【特色/方針】

医師・看護師・管理栄養士・臨床検査技師・薬剤師・視能訓練士・理学療法士で構成された多職種チームによる糖尿病療

養指導の一環として、運動療法の療養指導を担っている。理学療法士にて身体機能評価を実施し、糖尿病の病態や病期、運動器疾患や呼吸・循環器疾患などの併存疾患による影響を加味した上で、効率的で安全かつ、患者毎の生活様式に沿った個別性の高い運動療法指導を提供している。活動は院内に留まらず、積極的に学術活動を行っているほか、地域に向けた外来糖尿病教室や糖尿病フェスタ等の行事にて運動療法教室を開催し、糖尿病に対する運動療法の啓蒙に努めている。

○摂食機能療法

【対象疾患】

脳血管疾患、神経筋疾患、呼吸器疾患、廃用症候群など

【特色・方針】

これまで嚥下障害を呈さない疾患であっても、高齢化に伴いオーラルフレイルが潜在し、疾病治療による侵襲や呼吸、循環動態の変化、体力低下、栄養障害によって誤嚥性肺炎の発症および嚥下障害を呈することが増えている。この嚥下障害を取り巻く状況は、地域に根ざした総合病院である当院においても例外ではなく、大半の診療科から摂食機能療法の対象者が存在している。嚥下障害に対する適切な評価、訓練による経口摂取の確保は、原疾患の治療経過や退院時期、場所に大きく影響し、さらにはその後のQOLに関与している。そのための評価、訓練は、嚥下内視鏡検査(耳鼻科)や嚥下造影検査(放射線科、医師)などを含め、他職種との連携し、質の高い摂食機能療法を実践していく。

○回復期リハビリテーション病棟

【対象疾患】

脳血管疾患、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脊髄損傷、多発神経炎

大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折または手術後

外科手術または肺炎等の治療時の安静による廃用症候群

【特色/方針】

当病棟では入棟日当日からリハビリテーションを開始し365日実施している。また、入棟日当日に入棟時カンファレンスを実施し、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士にて治療方針や目標を立案し、月1回の頻度でチームで治療方針や目標などの見直しを行っている。ICも同様に月1回あるいは必要に応じて実施しリハビリスタッフも同席しリハビリ経過を説明している。回復期リハビリテーション病棟の回診は医師、看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士、医療ソーシャル・ワーカーでカンファレンスを行い患者のリハビリ経過を確認した後、リハビリテーション実施中に回診を実施している。回復期リハビリ部門と看護部門は2班に分かれており、各班が担当する患者が同一になるよう患者の割り振りを行っている。回復期リハビリ部門と看護部門は平日の午後に病棟カンファレンスを行い、患者の安静度や退院支援などを協議している。また患者の担当看護師とリハビリスタッフは2週間に1度、「できるADL」と「しているADL」を確認し、病棟での日常生活動作に乖離がないように連携している。回復期リハビリ部門では各班にリーダー・サブリーダーを配置し、さらに4班に分け所属するスタッフの担当患者のリハビリ経過や治療内容を管理している。また回復期リハビリ部門内では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3職種でカンファレンスを実施し、リハビリテーションの方針や役割などを協議しチーム医療を推進している。さらに理学療法士、作業療法士、言語聴覚士は職種別でもカンファレンスを実施し、病態、評価項目、治療内容などを検討し各療法の専門性を深めている。リハビリテーション部の急性期部門(運動器班と内部障害班)とも連携を図り、回復期リハビリテーション病棟患者の治療方針やリスク管理などを協議している。

【スタッフ専門資格】

|                    |     |                  |     |
|--------------------|-----|------------------|-----|
| 博士課程修了             | 4名  | 心臓リハビリテーション指導士   | 4名  |
| 修士課程修了             | 17名 | 3学会合同呼吸療法認定士     | 9名  |
| 専門理学療法士            |     | CDEJ(日本糖尿病療養指導士) | 3名  |
| 循環                 | 1名  | 地域ケア会議推進リーダー     | 3名  |
| 基礎                 | 1名  | フレイル対策推進マネージャー   | 3名  |
| 認定理学療法士            |     | 介護予防推進リーダー       | 3名  |
| 運動器                | 2名  | 健康運動実践指導者        | 1名  |
| 脳卒中                | 8名  | BLS受講者           | 14名 |
| 循環                 | 4名  | ACLS受講者          | 2名  |
| 呼吸                 | 3名  | ICLS受講者          | 1名  |
| 物理療法               | 1名  | 福祉住環境コーディネーター2級  | 5名  |
| 代謝                 | 3名  | AMPS認定評価者        | 1名  |
| 地域理学療法             | 1名  | 心不全療養指導士         | 1名  |
| 補装具                | 1名  | 理学療法士協会指定管理者(初級) | 1名  |
| 認定作業療法士            | 1名  | 理学療法士協会指定管理者(上級) | 1名  |
| がんのリハビリテーション研修会修了者 | 32名 | 心電図検定2級          | 1名  |

【学会発表および講演実績】

| 会名称             |    | 参加形態・発表テーマ                      | 発表者(院内スタッフのみ)              |
|-----------------|----|---------------------------------|----------------------------|
| 日時              | 場所 |                                 |                            |
| 第19回日本肩の運動機能研究会 |    | 腱板断裂患者におけるSLAP損傷の有無が術前肩機能に及ぼす影響 | 井上大輔、畑中将希、宇多恵一郎、恵飛須俊彦、馬谷直樹 |
| 2022/10/7       | 横浜 |                                 |                            |



**【学会発表および講演実績】**

| 会名称                   |     | 参加形態・発表テーマ                                                            | 発表者(院内スタッフのみ)                                  |
|-----------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 日時                    | 場所  |                                                                       |                                                |
| 第50回日本集中治療医学会         |     | ICU退室後の認知機能障害に対して二重課題トレーニングが有効であった食道癌術後の1症例-Single case ABA design研究- | 松木良介、児島範明、砂原正和、崎田佳希、佐藤達也、堀田 旭、惠飛須俊彦、端野琢哉       |
| 2023/3/3              | 京都  |                                                                       |                                                |
| 第7回がんサポーターブケア学会       |     | 悪性リンパ腫に対するEPOCH-R療法の有害事象と身体状態との関連性                                    | 砂原正和、草場正彦、谷名英章、沢田 潤、宮本定治、惠飛須俊彦、井尾克宏            |
| 2022/6/18             | 山口  |                                                                       |                                                |
| 第5回日本がん・リンパ浮腫理学療法研究会  |     | 抗がん治療中に多彩な心症状・身体症状を呈した心臓病変を伴う悪性リンパ腫の一症例                               | 砂原正和、草場正彦、谷名英章、沢田 潤、宮本定治、惠飛須俊彦、和泉清隆、井尾克宏       |
| 2022/10/29            | 福岡  |                                                                       |                                                |
| 第34回大阪府理学療法学会学術大会     |     | 股関節戦略による姿勢制御能力の改善および装具療法により屋外独歩自立に至った被殻出血の一症例                         | 渡瀬 涼、山本洋司、惠飛須俊彦                                |
| 2022/7/3              | 大阪  |                                                                       |                                                |
| 第34回大阪府理学療法学会学術大会     |     | Severe COVID-19後、重度の起立性低血圧を呈した被殻出血一例に対する早期理学療法経験                      | 渡辺広希、山本洋司                                      |
| 2022/7/3              | 大阪  |                                                                       |                                                |
| 第62回近畿理学療法学会学術大会      |     | ワークシートを用いたセルフモニタリングにより身体活動量増加に繋がった間質性肺炎の一症例                           | 酒井奈菜美、堀田 旭、渡辺広希、山本洋司                           |
| 2023/2/5              | 和歌山 |                                                                       |                                                |
| 第62回近畿理学療法学会学術大会      |     | 放射線治療を受ける進行・再発固形がん患者に対するリハビリテーション介入前後の身体機能変化                          | 掛谷佳昭、草場正彦、谷名英章、砂原正和、沢田 潤、惠飛須俊彦、柳原一広            |
| 2023/2/5              | 和歌山 |                                                                       |                                                |
| 第62回近畿理学療法学会学術大会      |     | 下肢筋持久力の向上により屋内杖歩行自立を獲得した脊髄梗塞の一例                                       | 小松 良、山本洋司、渡辺広希、惠飛須俊彦                           |
| 2023/2/5              | 和歌山 |                                                                       |                                                |
| 第36回大阪府作業療法学会         |     | 脳卒中上肢運動麻痺に対しアウトリガー付きスプリントにて改善をした一症例                                   | 真島洋平、清水 完、堀田 旭、山本洋司、惠飛須俊彦                      |
| 2022/12/10            | 大阪  |                                                                       |                                                |
| 第36回大阪府作業療法学会         |     | 陳旧性ボタンホール変形に対するOberlin's bypass tendon transfer術後の作業療法経験              | 藤村春香、藤井大起、児島範明、惠飛須俊彦                           |
| 2022/12/10            | 大阪  |                                                                       |                                                |
| 第59回日本臨床生理学会総会        |     | 回復期病棟に入院時と退院時の栄養状態と転帰先との関連について                                        | 井上勝也、平澤良和                                      |
| 2022/10/21            | 東京  |                                                                       |                                                |
| 第11回がんリハビリテーション研究会    |     | 中枢神経系原発悪性リンパ腫の一例-ADL、筋力、認知機能の長期経過-                                    | 沢田 潤、草場正彦、谷名英章、掛谷佳昭、惠飛須俊彦、北川智也、井尾克宏            |
| 2023/3/11             | 名古屋 |                                                                       |                                                |
| 第21回日本電気生理運動学会        |     | Cushion heelが短下肢装具歩行の荷重応答に及ぼす影響                                       | 渡辺広希                                           |
| 2023/3/12             | 大阪  |                                                                       |                                                |
| 第37回日本環境感染学会学術集会      |     | 言語聴覚士の摂食嚥下療法に伴う感染リスクに対する心理的不安に関する意識調査                                 | 逢坂美加、児島範明、小松美雪、山田祐一郎                           |
| 2022/6/16             | 横浜  |                                                                       |                                                |
| 第20回日本神経理学療法学会学術大会    |     | 重症CIDPにより下肢の重度運動麻痺を呈した症例に対して長下肢装具歩行練習を実施し、基本動作全介助から歩行器歩行を獲得した一例       | 渡瀬涼、山本洋司、惠飛須俊彦                                 |
| 2022/10/15            | 大阪  |                                                                       |                                                |
| 第28回心臓リハビリテーション学会学術集会 |     | 冠動脈バイパス術後に腕神経叢(C8/T1)症状を呈した症例                                         | 児島範明、松木良介、堀田 旭、小澤達也、末永悦郎、惠飛須俊彦                 |
| 2022/6/11             | 沖縄  |                                                                       |                                                |
| 第20回日本神経理学療法学会学術大会    |     | 急性期脳卒中患者に対する発症後早期からの高頻度リハビリテーションの有効性と安全性                              | 高田祐輔、渡辺広希、成原 徹、酒井奈菜美、小松 良、畑中将希、渡瀬 涼、山本洋司、惠飛須俊彦 |
| 2022/10/15-16         | 大阪  |                                                                       |                                                |

| 会名称                    |     | 参加形態・発表テーマ                                    | 発表者(院内スタッフのみ)                                                |
|------------------------|-----|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 日時                     | 場所  |                                               |                                                              |
| 第8回日本糖尿病理学療法学会<br>学術大会 |     | 簡易神経伝導検査による糖尿病多発神経障害の重症度と身体機能の関係              | 渡瀬涼、松木良介、<br>平澤良和、谷名英章、<br>惠飛須俊彦、浜本芳之                        |
| 2022/9/3               | 東京  |                                               |                                                              |
| 第7回がんサポーターズケア学会        |     | 当院、血液内科病棟におけるリハビリテーション実施時の手指衛生遵守率とそのエラー傾向について | 谷名英章、児島範明、<br>宮本定治、小松美雪、<br>草場正彦、砂原正和、<br>沢田潤、惠飛須俊彦、<br>井尾克宏 |
| 2022/6/18.19           | 山口  |                                               |                                                              |
| 第9回日本糖尿病協会年次学術集会       |     | 1型糖尿病発症後の心情に寄り添ったチームアプローチ                     | 谷名英章、原口卓也、<br>末田 咲、國枝加誉、<br>橋本寛子、田中永昭、<br>清野 裕               |
| 2022/7/23.24           | 京都  |                                               |                                                              |
| 第34回大阪府理学療法学会学術大会      |     | 残存する固有感覚を考慮した装具療法により歩行能力が改善した重症被殻出血の一例        | 成原 徹、渡辺広希、<br>山本洋司、惠飛須俊彦                                     |
| 2022/7/3               | 大阪  |                                               |                                                              |
| 第72回日本体質医学会総会          |     | 回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者の体組成の変化           | 堀田 旭、梅本安則                                                    |
| 2022/10/1-2            | 和歌山 |                                               |                                                              |

## [論文発表]

| 著者                                                                               | タイトル                                                                                                                                                                           | 掲載誌名                 |       |
|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------|
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 掲載号・ページ              | 掲載年   |
| 渡瀬 涼、渡辺広希、<br>児島範明、高本雄太、<br>山本洋司                                                 | 大腿骨頸部骨折後に重症視床出血を合併した一症例～<br>免荷期からTilt tableを使用した早期起立練習の取り組み～                                                                                                                   | 総合理学療法学              |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 2巻p.55-61            | 2022年 |
| 渡瀬 涼                                                                             | 短時間でメリハリのある「インターバル運動」                                                                                                                                                          | さかえ                  |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 10月号                 | 2022年 |
| Osaki S, Amimoto K,<br>Miyazaki Y, Tanabe J,<br>Yoshihiro N.                     | Reaction time analysis in patients with mild left unilateral spatial neglect employing the modified Posner task: vertical and horizontal dimensions.                           | Exp Brain Res        |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 2143-2153            | 2022年 |
| Shida K, Amimoto K,<br>Fukata K, Osaki S,<br>Takahashi H, Makita S.              | The Effect of Trunk Position on Attentional Disengagement in Unilateral Spatial Neglect.                                                                                       | Neurol Int           |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 1036-1045            | 2022年 |
| Tanabe J, Amimoto K, Sakai K,<br>Morishita M, Fukata K,<br>Osaki S, Yoshihiro N. | Effects of visual-motor illusion in stroke hemiplegic patients with left-side personal neglect: A report of two cases.                                                         | Neuropsychol Rehabil |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 1月23日                | 2022年 |
| Tanabe J, Amimoto K, Sakai K,<br>Osaki S, Yoshihiro N,<br>Kataoka T.             | Effects and Adaptation of Visual-Motor Illusion Using Different Visual Stimuli on Improving Ankle Joint Paralysis of Stroke Survivors-A Randomized Crossover Controlled Trial. | Brain Sci            |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 1249                 | 2022年 |
| Tanabe J, Amimoto K, Sakai K,<br>Osaki S, Yoshihiro N.                           | Effects of kinesthetic illusion induced by visual stimulation on the ankle joint for sit-to-stand in a hemiparesis stroke patient: ABA' single-case design.                    | J Phys Ther Sci      |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 65-70                | 2022年 |
| Fukata K, Amimoto K,<br>Shida K, Fujino Y, Osaki S,<br>Makita S, Takahashi H.    | Effects of standing and walking training using a laser pointer based on stimulus-driven attention for behavioural outcome in spatial neglect: A single-case study              | Neuropsychol Rehabi  |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 2519-2533            | 2022年 |
| 尾崎新平                                                                             | 【臨床に活かすニューロリハビリテーション】<br>高次脳機能障害(解説)                                                                                                                                           | 理学療法ジャーナル            |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 56巻4号 441-448        | 2022年 |
| Yoshikazu Hirasawa                                                               | Association between height-corrected appendicular and regional skeletal muscle mass and insulin resistance in patients with type 2 diabetes                                    | J Phys Ther Sci      |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 34(5):353-359        | 2022年 |
| Yoshikazu Hirasawa                                                               | Relationship between echo intensisty of vastus lateralis and knee extension strength in patients with type 2 diabetes mellitus                                                 | Phys Ther Res        |       |
|                                                                                  |                                                                                                                                                                                | 25(3):113-119        | 2022年 |

[医師](R5.3末時)  
部 長： 三谷 恒雄          日本皮膚科学会認定専門医

[診療日程](R5.3末時)

| 月  |    | 火  |    | 水  |    | 木  |    | 金  |    | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 |
| 三谷 |    | 三谷 |    | 三谷 |    | 三谷 |    | 三谷 |    |    |

[診療概要・実績]

[診療概要・実績]

入院患者は、丹毒・蜂巣織炎などの細菌性疾患、水疱性類天疱瘡などの自己免疫性水疱症など、例年と同様の傾向となっているが、他臓器疾患が合併・併発した患者の場合は、他科との併診に加え、管理サポートチーム(感染、栄養、認知症、呼吸など)とリハビリの介入を得て、対処している。

また、通常の外用・内服治療では、治療に難渋する尋常性乾癬、類乾癬、尋常性白斑、円形脱毛症、アトピー性皮膚炎、痒疹などには、光線療法として、狭範囲中波長紫外線(NB-UVB)照射を行っている。

既存の内服・光線療法などの全身療法を用いても、十分な効果が得られない尋常性乾癬・乾癬性関節炎・乾癬性紅皮症において、呼吸器内科・放射線科との連携・協力により、日本皮膚科学会より生物学的製剤使用施設認定を受け、生物学的製剤注射(抗TNF α 製剤・抗インターロイキン23(p40・p19)製剤、抗IL17製剤)の投与し、著しい改善を得ている。

さらに、治療抵抗性重症アトピー性皮膚炎においても、ステロイド外用薬やカルシニューリン阻害外用薬による適切な治療を行っても コントロール不良症例において、既存の内服免疫抑制治療に比べ、安全性の高い、抗IL4,13抗体製剤、抗IL31抗体製剤の注射とJAK阻害剤内服を使用し、皮疹および掻痒の持続的軽減により、患者のQOL改善を得ている。

また、ダーモスコピーを用い、主に色素性病変の良性・悪性の鑑別に役立たせている。

皮膚腫瘍(良性・悪性)や保存的外用療法では治療困難な褥瘡・下腿潰瘍・糖尿病性足病変などは、当院形成外科と緊密に連携し、症例毎に手術適応を速やかに見定め、罹病期間の短縮を図っている。

褥瘡、医療関連機器圧迫損傷(MDRPU)、スキン・テア、失禁関連皮膚障害(IAD)、抗がん剤などの薬剤血管外漏出などの発生時は、速やかに、診察し、治療処置を開始し、継続して、皮膚排泄ケア―(WOC)ナース、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、病棟看護師、放射線技師などの多職種が参加する褥瘡対策員会を週一回開催し、患者情報を共有し、病棟回診を行い、皮膚障害の予防・治療・管理を行っている。

[検査・処置・手術]

- 皮膚生検組織診断
- ダーモスコピー
- 皮膚貼布試験(パッチテスト〔パッチテストパネル・as is〕)
- 光線過敏性試験(UVA、UVB)
- 液体窒素冷凍凝固
- 電気焼灼
- 狭範囲中波長紫外線照射(NB-UVB)

[症例検討会]

毎週水曜日午後、京都大学皮膚科臨床カンファレンス  
京都大学病院皮膚科カンファレンス室

# 形成再建外科

### [医師] (R5.3末時)

|      |       |                                                                                                                                              |
|------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部長:  | 松末 武雄 | 日本形成外科学会専門医、日本手外科学会専門医・指導医・代議員、日本マイクロサージャリー学会、日本形成外科学会認定再建・マイクロサージャリー分野指導医、日本創傷外科学会専門医、日本形成外科手術手技学会、日本美容外科学会、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会、京都大学臨床准教授 |
| 医員:  | 吉見 育馬 | 日本形成外科学会専門医、日本手外科学会、日本マイクロサージャリー学会、日本創傷外科学会、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会                                                                            |
| 医員:  | 矢野 舞  | 日本形成外科学会、日本形成外科手術手技学会                                                                                                                        |
| 医員:  | 中村 彩芳 | 日本形成外科学会                                                                                                                                     |
| 医員:  | 南谷 晃誠 | 日本形成外科学会                                                                                                                                     |
| 非常勤: | 高見 昌司 | 日本形成外科学会専門医、日本マイクロサージャリー学会評議員、日本手外科学会、日本臨床ラジオ波手術研究会代表世話人、日本美容外科学会                                                                            |

### [診療日程] (R5.3末時)

| 月  |    | 火               |    | 水  |    | 木  |    | 金               |    | 土  |
|----|----|-----------------|----|----|----|----|----|-----------------|----|----|
| 午前 | 午後 | 午前              | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前              | 午後 | 午前 |
| 手術 | 手術 | 松末<br>吉見<br>担当医 |    | 手術 | 手術 | 手術 | 手術 | 松末<br>吉見<br>担当医 |    |    |

### [関西電力病院 形成再建外科の特色]

現在、当科は形成外科専門医2名を含む5人の常勤医師体制で幅広い形成外科・再建外科の診療を行っています。形成外科は主として、体表面に近い組織・器官の先天異常、外傷、腫瘍などによる障害に対し、形態のみならず機能的にも改善することを目的としています。一般的な形成外科診療のほか、手指の痛み・変形や四肢外傷救急治療および再建手術も積極的に行っています。手の診療においても機能回復だけにとどまらず、形成外科ならではの「キズあとのケア」の観点から、整容面も含めた改善を目指した診療を行っているのが当科の特色です。

手の外傷、特に切断された指の手術は、微小な血管や神経をつなぐ必要があり、顕微鏡を用いた手術（マイクロサージャリー）でないと行うことができません。小児の指など、時には0.3mmほどの血管を吻合することもあります。手の外傷においては大阪市内のみならず、市外、府外も含めた広い範囲からの救急患者さまを受け入れております。重症四肢外傷では、単なる骨折とは異なり、神経や血管の損傷はもちろん、腱の断裂や皮膚や骨などの組織が欠損している場合もあります。骨折や関節損傷を修復する手術と、マイクロサージャリー（皮弁や血管吻合）を組み合わせることで、さまざまな四肢の外傷に対応できます。

当科ではこのマイクロサージャリーの技術を応用して、様々な治療に対応しています。

手指の欠損に対しては足趾を利用した再建手術、リンパ浮腫に対してはリンパ管と静脈を吻合する手術、耳鼻咽喉科と合同で咽頭がんに対してがんの摘出後に喉を再建する手術、乳腺外科と合同で乳がん術後に乳房を再建する手術などが挙げられます。

特に指の再建については全国でも随一の症例数であり、他院で治療後の患者さまも多数紹介され、再建手術を行っています。治療は、指を失って何年も経過してからでも実施することが可能です。指の再建では、整容面はもちろんのこと、機能的及び知覚の回復も必要です。つまり、ものを掴んだり滑らかに動かせるようになるだけでなく、触ったときの感覚を取り戻すことも目指します。また、手は顔と同様で、外見も再建することが社会的に重要な意味を持ちます。当科では、元の指の長さ・太さ・爪の大きさに近い指を再建することを心がけています。

形成再建外科の扱うからだの部位は全身です。そのため関わる疾患もさまざまであり、他科との連携した治療が重要です。また、手足の治療においては特にアフターケアとしてリハビリ治療が必須となります。当科では手を専門としたリハビリスタッフと連携して治療に取り組んでいます。治療方法も創意工夫の積み重ねで日々進歩しています。

これからも患者さまにとって最善の治療を行っていきたいと考えています。

### [診療実績] (年間麻酔別及び疾患大分類別手術手技数)

|                            | 入院  | 外来  | 計   |
|----------------------------|-----|-----|-----|
| 全身麻酔での手技数                  | 162 |     | 162 |
| 腰麻・伝達麻酔での手技数               | 201 | 16  | 217 |
| 局所麻酔・その他での手技数              | 108 | 226 | 334 |
| 入院または全身麻酔の手技数計：471         |     |     |     |
| 外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他手技数計：242 |     |     |     |
| 合計係数：592                   |     |     |     |

| 疾患第分類手技数     | 入院   |             |              | 外来   |             |              | 計   |
|--------------|------|-------------|--------------|------|-------------|--------------|-----|
|              | 全身麻酔 | 腰麻・<br>伝達麻酔 | 局所麻酔<br>・その他 | 全身麻酔 | 腰麻・<br>伝達麻酔 | 局所麻酔<br>・その他 |     |
| 外傷           | 78   | 158         | 24           |      | 17          | 62           | 339 |
| 先天異常         | 1    |             |              |      |             | 4            | 5   |
| 腫瘍           | 34   | 3           | 57           |      | 1           | 114          | 209 |
| 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド | 2    | 2           | 2            |      |             | 9            | 15  |
| 難治性潰瘍        | 26   | 26          | 10           |      |             | 4            | 66  |
| 炎症・変性疾患      | 18   | 10          | 8            |      |             | 10           | 46  |
| 美容(手術)       |      |             |              |      |             |              | 0   |
| その他          | 1    | 2           | 7            |      |             | 23           | 33  |
| Extraレーザー治療  |      |             |              |      |             |              | 0   |

## [学会発表]

| 会名称                  |     | 発表テーマ・参加状況                                         | 発表者・参加者 |
|----------------------|-----|----------------------------------------------------|---------|
| 日時                   | 場所  |                                                    |         |
| 第65回日本手外科学会学術集会      |     | 手根骨長軸脱臼の術後に、有頭有鉤骨間の動揺性を生じ、関節固定にて症状の改善を得た一例         | 吉見育馬    |
| 4月14日―15日            | 北九州 |                                                    |         |
| 京大形成外科同門会集談会         |     | 私が経験した遊離組織移植術における皮弁壊死の原因                           | 松末武雄    |
| 7月30日                | 京都  |                                                    |         |
| 第49回マイクロサージャリー学会学術集会 |     | 玉井分類Zone4再接着においてリハビリテーションを合理的かつ単純にするための意図的屈筋腱二期的再建 | 松末武雄    |
| 12月1日                | 浜松  |                                                    |         |

## [論文発表]

| 著者         | タイトル                                                                                                           | 掲載誌名                       |      |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------|
|            |                                                                                                                | 掲載号・ページ                    | 掲載年  |
| T.Matsusue | Easy and simple techniques to reconstruct natural nailfold with the wrap-around flap for finger reconstruction | Achives of Plastic Surgery |      |
|            |                                                                                                                | vol.49 No.6 p764-768       | 2022 |

[医師] (R5.3末時)

|            |                                                            |
|------------|------------------------------------------------------------|
| 副院長： 藤本 康裕 | 日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医、日本脳卒中の外科学会技術指導医            |
| 部長： 中島 英樹  | 日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医、日本脳卒中の外科学会技術指導医            |
| 医長： 高崎 盛生  | 日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医                |
| 医長： 本郷 卓   | 日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医 |
| 医員： 三宅 諒汰  |                                                            |

[診療日程] (R5.3末時)

| 午前                | 午後          | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前       | 午後 | 午前                  | 午後 | 午前 |
|-------------------|-------------|----|----|----|----|----------|----|---------------------|----|----|
| 中島<br>本郷<br>(水頭症) | 高崎<br>(頸動脈) |    |    |    |    | 藤本<br>中島 |    | 藤本<br>高崎<br>(血管内治療) |    |    |

[診療概要・実績報告]

1. 対象疾患と特色

脳血管障害：  
全入院患者の中で脳血管障害患者の占める割合は高く、脳血管障害は当科における中核的な対象疾患となっています。手術治療としては主幹脳動脈急性閉塞例に対する超急性期再開通治療や破裂脳動脈瘤に対する根治的止血術を行っています。慢性期脳血管障害では特に内頸動脈狭窄症に力を入れています。頸動脈血栓内膜剥離術と頸動脈ステント術の2つの治療を症例に応じて適用しています。  
なお、当院脳神経外科の常勤医5名のうち2名が脳血管内治療学会専門医であり、積極的に脳血管内治療を行っています。また、当院は日本脳卒中学会より、一次脳卒中センター(PSC)に認定されており、急性期脳卒中に速やかに対応することができます。

頭部外傷：  
慢性硬膜下血腫に対する穿頭手術数は前年度から横ばいで、重症頭部外傷例に対する開頭手術は近年減少傾向にあります。  
脳腫瘍：  
腫瘍摘出術とくに良性脳腫瘍の症例数は増加傾向であり、良性脳腫瘍の分野では神経内視鏡併用手術の症例が増えています。  
その他：  
水頭症、脳膿瘍などの感染症、神経血管圧迫症候群(三叉神経痛、片側顔面痙攣)など機能性疾患に対する治療も行っています。

2. 外来診療

外来は週3日行っており、一般外来だけでなく、頸動脈、水頭症、血管内治療の専門外来を行っています。いずれの外来でも投薬のみの再診をなるべく抑え、診断や術前検査、画像フォローに重心を置いた外来としています。また、病診連携による紹介や救急患者が多いことから、高い患者紹介率となっています。

3. 救急診療

脳神経内科と協力して脳卒中オンコール体制を行うとともに常時2名のオンコール医を定めており、すべての神経救急疾患に対して速やかに対応できる体制を整えています。

4. 入院診療

主な入院対象は手術治療を要する症例ですが、その他に脳卒中や頭部外傷の保存的治療、脳血管撮影検査や髄液排出検査目的の入院など、多数の非手術例も入院対象としています。カンファレンスは毎朝に診療科ミーティングを行い、週末に多職種カンファと診療科の症例/手術カンファを行っています。当科では重症脳卒中や頭部外傷の治療のほか、術後の回復室としてもICUを利用させて頂いており、ICU利用率が高いことが特徴です。中枢神経疾患の特徴から長期入院を必要とする患者が多く、平均在院日数の短縮が今後の課題です。

5. 教育

当院は日本脳神経外科学会専門医訓練施設および日本脳卒中学会認定研修施設の認定を得ており、後期研修医が専門医を取得する上で必要な研修環境が整備されています。後期研修医の教育においては外科医にとって最も重要な手術適応の理解と外科手技の習得を重点的に教育し、可能な限り手術に参加させるようにしています。また、後期研修医には年2回の学会発表を義務付け、学術的な研修の機会も不足しないようにしています。専門医においては脳血管内治療専門医や神経内視鏡認定医などのsubspeciality資格の取得を目的に、院外研修の機会を多く設けるよう努めています。

## [手術実績]

### I. 脳神経外科手術件数・・・・・・・73例

| 内 容   |                       | 件 数 |     |
|-------|-----------------------|-----|-----|
| 脳血管障害 | 脳動脈瘤クリッピング術           | 6例  | 35例 |
|       | 脳動静脈奇形摘出術             | 0例  |     |
|       | 開頭脳内血腫除去術             | 2例  |     |
|       | 頭蓋内血管バイパス術            | 3例  |     |
|       | 頸動脈血栓内膜剥離術            | 7例  |     |
|       | 減圧開頭術                 | 0例  |     |
|       | 頸動脈ステント留置術(血管内手術)     | 6例  |     |
|       | 血栓回収術(血管内手術)          | 3例  |     |
|       | 脳動脈瘤塞栓術(血管内手術)        | 8例  |     |
| 脳腫瘍   | 悪性脳腫瘍                 | 2例  | 6例  |
|       | 良性脳腫瘍                 | 2例  |     |
|       | 転移性脳腫瘍                | 2例  |     |
|       | 腫瘍動脈塞栓術／動注化学療法(血管内手術) | 0例  |     |
| 頭部外傷  | 開頭頭蓋内血腫除去術            | 3例  | 19例 |
|       | 穿頭頭蓋内血腫除去術            | 16例 |     |
| 水頭症   | 髄液シャント術               | 6例  | 7例  |
|       | 脳室ドレナージ術              | 1例  |     |
|       | その他                   | 0例  |     |
| その他   | 微笑血管減圧術               | 0例  | 6例  |
|       | 頭蓋形成術                 | 1例  |     |
|       | その他                   | 4例  |     |
|       | その他(血管愛手術)            | 1例  |     |

## [学会発表]

| 会 名 称                     |    | 参加形態・発表テーマ                                                           | 発表者  |
|---------------------------|----|----------------------------------------------------------------------|------|
| 日時                        | 場所 |                                                                      |      |
| 第81回日本脳神経外科学会<br>近畿支部学術総会 |    | 無症候性に発見されたmultinodular and<br>vacuolating tumor の3症例(一般口演)           | 本郷卓  |
| 2022/4/2                  | 大阪 |                                                                      |      |
| 第82回日本脳神経外科学会<br>近畿支部学術総会 |    | B型肝炎ウイルス関連血管炎に伴う右頸部内<br>頸動脈狭窄症に起因した脳梗塞の1例(一般<br>口演)                  | 三宅諒汰 |
| 2022/9/3                  | 大阪 |                                                                      |      |
| 第81回日本脳神経外科学会学術総会         |    | 血管内治療時代の開頭脳動脈瘤治療の適応<br>(一般口演)                                        | 中島英樹 |
| 2022/10/28-30             | 横浜 |                                                                      |      |
| 第81回日本脳神経外科学会学術総会         |    | 総頸動脈可動性プラークに対して頸動脈ステ<br>ント留置後にplaque protrusionを認め、再治<br>療した1例(ポスター) | 高崎盛生 |
| 2022/10/28-30             | 横浜 |                                                                      |      |
| 第52回日本脳卒中の外科学会学術集会        |    | 血管内治療時代の開頭脳動脈瘤治療の適応<br>(ポスター)                                        | 中島英樹 |
| 2023/3/16-18              | 横浜 |                                                                      |      |
| 第52回日本脳卒中の外科学会学術集会        |    | B型肝炎ウイルス関連血管炎に伴う右頸部内<br>頸動脈狭窄症に起因した脳梗塞の1例(ポス<br>ター)                  | 三宅諒汰 |
| 2023/3/16-18              | 横浜 |                                                                      |      |
| 脳神経外科手術手技マスターコース          |    | 血管吻合術の基本(基本講演)                                                       | 中島英樹 |
| 2022/10/22                | 大阪 |                                                                      |      |

[論文発表]

| 著者          | タイトル                                                                                                          | 掲載誌名                  |             |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------|
|             |                                                                                                               | 掲載号・ページ               | 掲載年         |
| Takasaki M  | Safety of catotid artery stenting in elderly patients by treatment selection based on plaque characteristics. | Indian J Surg         |             |
|             |                                                                                                               | 10・1007               | 2022 Oct 12 |
| Kishizaki H | Sporadic cerebellar hemagioblastoma presented as a small nodular lesion without cyst formation.               | Interdiscip Neurosurg |             |
|             |                                                                                                               | 28・101444             | 2022        |
| Kishizaki H | A rare intarcranial fusiform thrombosed aneurysm of the distal middle cerebral artery: A case report.         | Surg Neurol Int       |             |
|             |                                                                                                               | 13・57                 | 2022 Feb 18 |
| 本郷卓         | 特徴的なMRI所見で診断した無症候性multinodular vacuolating neuronal tumor (MVNT)の1例                                           | Brain Nerve           |             |
|             |                                                                                                               | 74(6)・817-818         | 2022 Jun    |

[カンファレンス]

| 開催日       | 参加者                                         | 場所 |
|-----------|---------------------------------------------|----|
| 2022/7/20 | 脳卒中予防を意識したARNIの使い方<br>(演者: 山本浩一先生、座長: 藤本康裕) | 大阪 |



# 泌尿器科

[医師] (R5.3末時)

|      |       |                                                          |
|------|-------|----------------------------------------------------------|
| 部 長: | 青山 輝義 | 日本泌尿器科学会専門医/指導医・日本癌治療学会・日本癌学会・日本泌尿器内視鏡学会・京都大学大学院医学博士     |
| 部 長: | 坂元 宏匡 | 日本泌尿器科学会専門医/指導医・日本癌学会・日本泌尿器内視鏡学会・泌尿器腹腔鏡技術認定医・京都大学大学院医学博士 |
| 医 員: | 鶴田 将史 | 日本泌尿器科学会、日本泌尿器内視鏡学会                                      |
| 医 員: | 金井 香澄 | 日本泌尿器科学会                                                 |

[診療日程] (R5.3末時)

| 月        |            | 火  |    | 水        |          | 木  |    | 金  |    | 土            |
|----------|------------|----|----|----------|----------|----|----|----|----|--------------|
| 午前       | 午後         | 午前 | 午後 | 午前       | 午後       | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前           |
| 青山<br>金井 | 外来手術<br>検査 | 今井 |    | 青山<br>鶴田 | 橋村<br>坂元 | 鶴田 |    | 坂元 |    | 初診外来<br>医師交代 |

[診療概要]

○前立腺癌  
人生100年時代にそなえ治療後QOLを重視しつつ、手術療法、放射線療法、ホルモン療法などから選択しますが、令和5年3月からはロボット支援手術を導入しました。放射線治療のうち、密封小線源前立腺挿入術をおこなっていますが、大阪市内でおこなっている施設は少なく、この治療のためご紹介いただくかたも多くいらっしゃいます。放射線治療時に直腸合併症を減らすスパーサー留置を行っています。

○膀胱癌  
表在性膀胱癌に対しては、内視鏡手術を行っています。膀胱癌は膀胱内再発率が高く、予防のために抗癌剤やBCGの膀胱注入療法等も含め、丁寧なフォローアップをおこなっています。  
浸潤性膀胱癌では、膀胱全摘術と尿路変向術が必要ですが、ケースによっては腸で膀胱を作製して、尿道から排尿できる自然排尿型尿路変向術を行っており、良好な成績を得ています。進行膀胱癌で抗癌剤無効例にはペムブロリズマブ、術後ハイリスク症例にはニボルマブを使用しています。

○腎細胞癌  
腎細胞癌の標準的治療は外科的治療ですが、低侵襲性である腹腔鏡下に腎摘出術および腎部分切除術を行なっています。2023年3月からはロボット支援手術しました。  
進行性腎癌に対しては手術に加え、アキシチニブ、ソラフェニブ、スニチニブ、パゾパニブ、カボザンチニブ、レンバチニブ、ニボルマブ、アベルマブ、イビリムマブなどの薬剤を積極的導入しています。

[手術実績]

| ○内視鏡手術 |                 |    | ○その他 |                   |     |
|--------|-----------------|----|------|-------------------|-----|
|        | 経尿道的膀胱悪性腫瘍切除術   | 50 |      | 生体腎移植術            | 4   |
|        | 経尿道的前立腺手術       | 6  |      | 前立腺小線源治療          | 11  |
|        | 経尿道的レーザー前立腺手術   | 2  |      | 前立腺生検             | 108 |
|        | 経尿道的尿管・膀胱結石破砕術  | 74 |      | 腎ろう造設術            | 1   |
|        | 尿管ステント留置術       | 55 |      | 尿失禁手術             | 2   |
|        | 経尿道的電気凝固術       | 5  |      | 包茎手術              | 1   |
|        | 経皮的尿路結石除去術      | 5  |      | 陰嚢水腫手術            | 2   |
|        | 経尿道的尿管狭窄拡張術     | 1  |      | 精巣摘出術             | 2   |
| ○開腹手術  |                 |    |      | 高位精巣摘除術           | 2   |
|        | 膀胱全摘尿路変向術       | 4  |      | 精巣外傷手術            | 1   |
|        | 後腹膜リンパ節群郭清術     | 2  |      | 精巣捻転手術            | 3   |
| ○体腔鏡手術 |                 |    |      | 体外衝撃波結石破砕術        | 35  |
|        | 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術   | 4  |      | 前立腺金マーカー・スパーサー留置術 | 99  |
|        | 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術     | 1  |      |                   |     |
|        | 腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術 | 6  |      |                   |     |
|        | 腹腔鏡下腎部分切除術      | 8  |      |                   |     |
|        | 腹腔鏡下副腎摘出術       | 5  |      |                   |     |
|        | 腹腔鏡下尿膜管摘出術      | 1  |      |                   |     |
|        | 腹腔鏡下腎盂形成術       | 1  |      |                   |     |
|        | ロボット支援前立腺悪性腫瘍手術 | 1  |      |                   |     |

[学会発表および参加実績]

| 会名称                |    | 発表テーマ・参加状況                   | 発表者・参加者             |
|--------------------|----|------------------------------|---------------------|
| 日時                 | 場所 |                              |                     |
| 前立腺癌研究会            |    | 座長                           | 青山輝義                |
| 2022/12/7          | 大阪 |                              |                     |
| 第250回日本泌尿器科学会関西地方会 |    | 前立腺癌との鑑別が困難であった前立腺マイコプラキアの1例 | 金井香澄、坂元宏匡、鶴田将史、青山輝義 |
| 2022/6/25          | 神戸 |                              |                     |
| CRPC研究会            |    | 座長                           | 青山輝義                |
| 2022/6/18          | 大阪 |                              |                     |

[論文発表]

| 著者                            | タイトル                         | 掲載誌名   |       |
|-------------------------------|------------------------------|--------|-------|
|                               |                              | 掲載号等   | 掲載年   |
| 金井香澄、坂元宏匡、今井一登、鶴田将史、桜井孝規、青山輝義 | 前立腺癌との鑑別が困難であった前立腺マイコプラキアの1例 | 泌尿器科紀要 |       |
|                               |                              | 第69巻第1 | 2023年 |

[カンファレンス実施実績]

- ・入院症例カンファレンス、部長回診  
毎週水曜日14時～15時 泌尿器科医師、薬剤師 管理栄養士 看護師
- ・術前カンファレンス  
毎週水曜日14時～15時 泌尿器科医師、薬剤師 管理栄養士
- ・外来症例およびレントゲンカンファレンス  
毎週水曜日15時～17時 泌尿器科医師
- ・泌尿器科病理カンファレンス  
月曜日 月2回 泌尿器科医師、病理医

[医師](R5.3末時)

|      |       |                                                                              |
|------|-------|------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長： | 永野 忠義 | 日本産科婦人科学会産婦人科専門医、がん治療認定医、婦人科腫瘍専門医、<br>超音波専門医・指導医、母体保護法指定医、京都大学医学博士、京都大学臨床教授  |
| 部 長： | 寺川 耕市 | 日本産科婦人科学会産婦人科専門医、がん治療認定医、婦人科腫瘍専門医、<br>日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医、母体保護法指定医、京都大学医学博士 |
| 医 員： | 辻 なつき | 日本産科婦人科学会産婦人科専門医、がん治療認定医、婦人科腫瘍専門医、<br>母体保護法指定医、臨床遺伝専門医                       |
| 医 員： | 山本 絢可 | 日本産科婦人科学会産婦人科専門医、がん治療認定医、ALSO-JAPANプロバイダー、<br>NCPR(新生児蘇生法)インストラクター           |

[診療日程](R5.3末時)

| 月        |    | 火        |    | 水  |    | 木       |    | 金  |    | 土             |
|----------|----|----------|----|----|----|---------|----|----|----|---------------|
| 午前       | 午後 | 午前       | 午後 | 午前 | 午後 | 午前      | 午後 | 午前 | 午後 | 午前            |
| 寺川<br>山本 | 寺川 | 永野<br>寺川 |    | 吉水 |    | 永野<br>辻 | 永野 | 隅野 |    | 予約外来<br>(交代制) |
|          |    |          |    | 手術 | 手術 |         |    | 手術 | 手術 |               |

[診療概要・実績報告]

婦人科良性および悪性腫瘍の治療を中心とした診療を継続した。  
良性腫瘍の数はほぼ前年並み、悪性疾患数ははコロナ禍の中での受診控えもあったのか、若干の減少を見た。  
子宮頸がんの妊孕性温存手術であるトラケレクトミー後に妊娠、大阪日赤病院での分娩(帝切)となった1例を経験した。

|      | 手術内容                       |       | 件数  |
|------|----------------------------|-------|-----|
| 良性疾患 | 腹式単純子宮全摘術                  |       | 15  |
|      | 腹腔鏡下单純子宮全摘術                |       | 27  |
|      | 子宮筋腫核出術(開腹)                |       | 8   |
|      | 腹腔鏡下子宮筋腫核出術                |       | 2   |
|      | 腹腔鏡下付属器手術                  |       | 56  |
|      | 子宮脱手術                      |       | 2   |
|      | 子宮鏡手術                      |       | 37  |
|      | 円錐切除術                      |       | 35  |
|      | その他                        |       | 3   |
|      | 計                          |       | 185 |
| 悪性疾患 | 子宮頸癌<br>(広汎子宮全摘術・トラケレクトミー) | 腹腔鏡手術 | 3   |
|      |                            | 開腹手術  | 9   |
|      | 子宮体癌<br>(PeNPAN郭清含む)       | 腹腔鏡手術 | 12  |
|      |                            | 開腹手術  | 2   |
|      | 卵巣癌(試験腹腔鏡含む)               |       | 6   |
|      | 子宮頸癌に対するセンチネルリンパ節生検        |       | 5   |
|      | 他科との合同悪性腫瘍手術               |       | 0   |
|      | 計                          |       | 37  |

[学会発表および参加実績]

| 会名称                |     | 参加形態・発表テーマ | 発表者・参加者                 |
|--------------------|-----|------------|-------------------------|
| 日時                 | 場所  |            |                         |
| 第64回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 |     | 聴講         | 寺川耕市、辻なつき               |
| 2022/7/14          | 久留米 |            |                         |
| 第74回日本産科婦人科学会学術講演会 |     | 聴講         | 永野忠義、寺川耕市、<br>辻なつき、山本絢可 |
| 2022/8/5           | 福岡  |            |                         |
| 第146回近畿産科婦人科学会学術集会 |     | 聴講         | 永野忠義、寺川耕市、<br>山本絢可      |
| 2022/6/18          | 京都  |            |                         |

| 会名称                |     | 参加形態・発表テーマ                            | 発表者・参加者                 |
|--------------------|-----|---------------------------------------|-------------------------|
| 日時                 | 場所  |                                       |                         |
| 第147回近畿産科婦人科学会学術集会 |     | 発表<br>帝王切開瘢痕部妊娠との鑑別を要した侵入全<br>胞状奇胎の一例 | 山本絢可、永野忠義、<br>寺川耕市、辻なつき |
| 2022/10/30         | 京都  |                                       |                         |
| 日本人類遺伝学会第67回大会     |     | 聴講                                    | 辻なつき                    |
| 2022/12/14         | 横浜  |                                       |                         |
| 第37回日本女性医学学会学術集会   |     | 聴講                                    | 寺川耕市                    |
| 2022/11/29         | 米子  |                                       |                         |
| 日本超音波医学会第95回学術集会   |     | 聴講                                    | 永野忠義                    |
| 2022/5/20          | 名古屋 |                                       |                         |

[出版]

| 著者   | タイトル       | 出版社    |
|------|------------|--------|
| 永野忠義 | はじめての婦人科看護 | メディカ出版 |

[医師](R5.3末時)

部 長： 竹内 篤

京都大学医学部臨床教授・京都大学博士(医学)・日本眼科学会認定専門医・身体障害者指定医(眼科)・  
日本緑内障学会・日本網膜硝子体学会・日本眼科手術学会・日本弱視斜視学会・眼科PDT認定医

医 長： 小寺 由里子

京都大学博士(医学)・日本眼科学会認定専門医・日本緑内障学会

[診療日程](R5.3末時)

| 月        |    | 火  |    | 水        |    | 木  |    | 金  |    | 土  |
|----------|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|----|
| 午前       | 午後 | 午前 | 午後 | 午前       | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 |
| 竹内<br>小寺 |    | 和田 | 竹内 | 竹内<br>小寺 | 吉田 | 岡田 | 吉田 | 和田 |    |    |

[診療概要・実績報告][診療概要・実績報告]

今年度は9月末に常勤医が1名退職したため、常勤2名体制となった。  
外来診療は、完全予約制

1. 眼科の基幹疾患である白内障・緑内障・網膜硝子体疾患・黄斑疾患に幅広く対応し、手術件数増加をめざした。  
・手術件数487件、前年度比67.8%

2. 短期入院での手術治療により、看護師などのマンパワーも含めた病棟資源の活用を最小限にして、効率よく収入を得ることをめざした。  
・総収入 1億8200万円、前年度比77.2%

3. 加齢黄斑変性、近視性脈絡膜新生血管、糖尿病黄斑症・網膜静脈閉塞症に併発する黄斑浮腫などに対する抗血管新生薬硝子体注射を積極的に行った。  
・抗血管新生薬硝子体注射154回、前年度比43.0%

4. かかりつけ医との密接な連携強化  
新規外来患者数891名、前年度比108%

5. 視能訓練士は、技師3名、医療パートナー3－4名、により検査部門の充実をはかった。  
眼科では、外来来院当日の医師診察前に視力などの多数の自科検査を行うので、患者待ち時間を減らすためにも、優秀な視能訓練士は多数必要。

6. 糖尿病網膜症院内検診システム  
他病院に先駆けて、無散瞳で広角眼底撮影が可能な最新の眼底撮影装置を用いた、院内の糖尿病患者に対する糖尿病網膜症検診システムを開始し、糖尿病網膜症眼底検査の待ち時間が大幅に改善された。  
・糖尿病網膜症検診システムでの眼底検査 972件、前年度比101.3%

7. 医療クラークの有効活用  
眼科外来では、医療クラークが、患者の中待合への呼び込み、診療介助、看護師・視能訓練士との連絡、検査手順の説明、診療処置入力、診療予約、検査予約などのすべてを行う。医療クラークは円滑な診療の鍵であり、各診察室に最低1名は必要と考え増員を希望してきたが、令和4年度もその希望はかなえられなかった。  
引き続き、優秀な医療クラークの人員確保と大幅な権限付与を希望していく。

| 項目        |  | 件数     | 項目          |  | 件数  |
|-----------|--|--------|-------------|--|-----|
| 矯正視力      |  | 8,090  | 角膜内皮細胞顕微鏡検査 |  | 381 |
| 精密眼圧      |  | 10,090 | 白内障手術       |  | 331 |
| 細隙灯顕微鏡    |  | 9,277  | 緑内障手術       |  | 11  |
| 眼底3次元画像解析 |  | 7,166  | 網膜硝子体手術     |  | 15  |
| 静的量的視野検査  |  | 4,299  | 抗血管新生薬療法    |  | 154 |

[学会等発表および参加実績]

| 会名称              |    | 参加形態・発表テーマ | 発表者        |
|------------------|----|------------|------------|
| 日時               | 場所 |            |            |
| 日本眼科学会総会         |    | 参加         | 竹内 篤、小寺由里子 |
| 2022 年4月14日 -17日 | 大阪 |            |            |

| 会名称             |    | 参加形態・発表テーマ | 発表者        |
|-----------------|----|------------|------------|
| 日時              | 場所 |            |            |
| JSCRS総会         |    | WEB参加      | 竹内 篤       |
| 2022年6月24日-26日  | 京都 |            |            |
| 日本緑内障眼科学会       |    | WEB参加      | 竹内 篤       |
| 2022年9月16日-18日  | 横浜 |            |            |
| 日本臨床眼科学会        |    | 参加         | 竹内 篤、小寺由里子 |
| 2022年10月13日-16日 | 東京 |            |            |
| 日本網膜硝子体学会       |    | 参加         | 小寺由里子      |
| 2022年12月2日-4日   | 大阪 |            |            |
| 日本眼科手術学会        |    | 参加         | 竹内 篤、小寺由里子 |
| 2023年1月27日-29日  | 東京 |            |            |

**[カンファレンス]**  
 眼科カンファレンス:眼科スタッフ  
 月曜日17時より眼科外来にて開催

# 耳鼻咽喉科

## [医師](R5.3末時)

|      |        |                                                               |
|------|--------|---------------------------------------------------------------|
| 部 長： | 藤 田 明彦 | 日本耳鼻咽喉科学会、耳鼻咽喉科臨床学会、日本耳科学会、日本気管食道科学会、日本鼻科学会、日本耳科学会認定耳科手術暫定指導医 |
| 医 長： | 和 田 忠彦 | 日本耳鼻咽喉科学会、耳鼻咽喉科臨床学会、日本耳科学会、日本気管食道科学会、日本頭頸部癌学会、日本耳科学会認定耳科手術指導医 |
| 医 員： | 羽 田 史子 | 日本耳鼻咽喉科学会、耳鼻咽喉科臨床学会、日本耳科学会、日本気管食道科学会、                         |
| 医 員： | 井 上 雄太 | 日本耳鼻咽喉科学会、耳鼻咽喉科臨床学会、日本耳科学会                                    |
| 医 員： | 曾 我 文貴 | 日本耳鼻咽喉科学会、耳鼻咽喉科臨床学会、日本耳科学会                                    |
| 顧 問： | 岩 永 迪孝 | 日本耳鼻咽喉科学会、耳鼻咽喉科臨床学会、日本耳科学会                                    |

## [診療日程](R5.3末時)

| 月              |    | 火  |    | 水              |    | 木              |    | 金              |    | 土  |
|----------------|----|----|----|----------------|----|----------------|----|----------------|----|----|
| 午前             | 午後 | 午前 | 午後 | 午前             | 午後 | 午前             | 午後 | 午前             | 午後 | 午前 |
| 藤田<br>和田<br>井上 |    |    |    | 藤田<br>和田<br>曾我 |    | 藤田<br>和田<br>井上 |    | 岩永<br>羽田<br>曾我 |    |    |

## [診療概要]

耳科分野では、鼓室形成術を中心とした慢性中耳炎に対する外科治療に加えて、高度難聴耳に対する人工内耳手術が増加傾向にある。

鼻科分野では、内視鏡下鼻内手術やアレルギー性鼻炎に対する後鼻神経切断術を中心に据え、更に分子標的薬による鼻茸の治療も行っている。

また、形成外科と共同で、機能を温存した頭頸部癌手術にも積極的に取り組んでいる。

## [手術実績]

| 耳科手術    |                     | 404 | 喉頭微細手術               |  | 18  |
|---------|---------------------|-----|----------------------|--|-----|
| 耳鼻科手術   | 鼓室形成術               | 145 | 嚥下機能改善、誤嚥防止、音声機能改善手術 |  | 0   |
|         | 鼓膜チューブ挿入術           | 80  | 喉頭形成術                |  | 0   |
|         | 人工内耳手術              | 4   | 喉頭截開術                |  | 0   |
|         | アブミ骨手術              | 8   | その他の嚥下・音声機能改善手術      |  | 0   |
|         | 顔面神経減荷術             | 3   | 頭頸部手術                |  | 52  |
|         | 先天性耳瘻管摘出術           | 5   | 頸部郭清術                |  |     |
|         | 外耳道形成術              | 0   | 単独で行った頸部郭清術          |  | 4   |
|         | 鼓膜形成術               | 2   | 頭頸部腫瘍摘出術             |  |     |
|         | 乳突削開術               | 142 | 顎下腺良性腫瘍摘出術           |  | 2   |
|         | 試験的鼓室開放術            | 0   | 顎下腺悪性腫瘍摘出術           |  | 0   |
|         | 中耳根本術               | 0   | 耳下腺良性腫瘍摘出術           |  | 13  |
|         | 内リンパ嚢開放術            | 0   | 耳下腺悪性腫瘍摘出術           |  | 0   |
|         | 聴神経腫瘍摘出術            | 0   | 甲状腺良性腫瘍摘出術           |  | 3   |
|         | その他の耳科手術            | 15  | パセドウ病手術              |  | 0   |
| 鼻科手術    |                     | 336 | 甲状腺悪性腫瘍摘出術           |  | 6   |
| 耳鼻科手術   | 内視鏡下鼻・副鼻腔手術         | 94  | 鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術         |  | 3   |
|         | 鼻中隔矯正術              | 48  | 鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術         |  | 1   |
|         | 鼻甲介切除術              | 0   | 喉頭悪性腫瘍摘出術            |  | 2   |
|         | 視神経管開放術             | 0   | リンパ節生検               |  | 10  |
|         | 涙嚢・鼻涙管手術            | 0   | 頸部嚢胞摘出術              |  | 1   |
|         | 眼窩吹き抜け骨折手術          | 0   | 顎下腺摘出術               |  | 7   |
|         | 顎・顔面骨折整復術           | 5   | その他の手頭頸部腫瘍的手術        |  | 1   |
|         | その他の鼻科手術            | 189 | その他の頭頸部手術            |  | 0   |
| 口腔咽喉頭手術 |                     | 52  | 食道異物摘出術              |  | 0   |
| 耳鼻科手術   | 扁桃摘出術(口蓋扁桃、アデノイド含む) | 43  | 気管異物摘出術              |  | 0   |
|         | 舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術        | 9   | 異物摘出術(外耳・鼻腔・咽頭)      |  | 0   |
|         | 口蓋垂・軟口蓋形成術          | 0   | 気管切開術                |  | 15  |
|         | 舌・口腔良性腫瘍摘出術         | 0   | 合計                   |  | 877 |
|         | 舌・口腔悪性腫瘍摘出術         | 4   |                      |  |     |
|         | 咽頭良性腫瘍摘出術           | 0   |                      |  |     |
|         | 咽頭悪性腫瘍摘出術           | 2   |                      |  |     |
|         | 中咽頭悪性腫瘍摘出術          | 0   |                      |  |     |
|         | 下咽頭悪性腫瘍摘出術          | 2   |                      |  |     |
|         | その他の口腔咽喉頭手術         | 0   |                      |  |     |
|         |                     |     |                      |  |     |

[論文]

| 著者                                 | タイトル                              | 掲載誌名          |       |
|------------------------------------|-----------------------------------|---------------|-------|
|                                    |                                   | 掲載号・ページ       | 掲載年   |
| 和田忠彦, 岩永迪孝, 羽田史子, 井上雄太, 曾我文貴, 藤田明彦 | 長い人工耳小骨を使用した高度浅在化鼓膜例に対する術後聴力成績の検討 | 耳鼻臨床          |       |
|                                    |                                   | 115:5;389-394 | 2022年 |
| 井上雄太, 和田忠彦, 岩永迪孝, 羽田史子, 曾我文貴, 藤田明彦 | アブミ骨手術再手術症例の検討                    | 耳鼻臨床          |       |
|                                    |                                   | 116:1;19-24   | 2023年 |



# 放射線診断科・放射線治療科・放射線部

## 【医師】(R5.3末時)

### ■放射線診断科

|      |       |                                                                                                          |
|------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部 長: | 岡田 務  | 日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本放射線科専門医会、日本神経放射線学会、北米放射線学会                                                           |
| 医 長: | 福富 光  | 日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本放射線科専門医会、磁気共鳴医学会                                                                     |
| 医 員: | 本田 茉也 | 日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本放射線科専門医会、日本乳癌学会専門医、磁気共鳴医学会、日本核医学会専門医、マンモグラフィ読影認定医師、日本乳腺甲状腺超音波医学会、日本乳癌画像研究会、国際磁気共鳴医学会 |
| 医 員: | 川田 千裕 | 日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本放射線科専門医会                                                                             |

### ■放射線治療科

|      |      |                                                                        |
|------|------|------------------------------------------------------------------------|
| 部 長: | 板垣 康 | 日本医学放射線学会放射線治療(指導医・専門医)、日本核医学会専門医、日本放射線腫瘍学会、マンモグラフィ読影認定医師、日本ハイパーサーミア学会 |
|------|------|------------------------------------------------------------------------|

## 【診療日程】(R5.3末時)

|              | 月  |    | 火  |    | 水  |    | 木  |    | 金  |    | 土  |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|              | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 |
| CT・MR        | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |    |
| RI           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |    |
| 脳血管造影        | ○  | ○  |    |    |    |    | ○  | ○  |    |    |    |
| 腹部血管造影       |    |    | ○  | ○  |    |    |    |    |    |    |    |
| 循環器血管造影(心カテ) | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |    |
| 腎臓内科血管治療     |    |    |    | ○  |    |    |    |    |    | ○  |    |
| 放射線治療        | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |    |
| 放射線治療診察      |    |    | ○  | ○  |    |    |    |    | ○  | ○  |    |
| 透視           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |    |

## 【主な保有機器】

|                          |    |                |    |
|--------------------------|----|----------------|----|
| MRI装置(1.5T)              | 1台 | 血管撮影装置(FPD)    | 2台 |
| MRI装置(3.0 T)             | 1台 | 一般撮影X線装置(FPD)  | 4台 |
| CT装置(64列マルチスライス)         | 1台 | 乳房撮影装置         | 1台 |
| CT装置(128スライスDual Source) | 1台 | 骨密度撮影装置(DXA)   | 1台 |
| CT装置(治療計画用)              | 1台 | 核医学診断装置(SPECT) | 2台 |
| X線テレビ装置(FPD)             | 4台 | 放射線治療装置        | 1台 |

## 【診療概要・実績】

| 項目    |      | 内訳      |  |
|-------|------|---------|--|
| 一般撮影  | 骨密度  | 768件    |  |
|       | 乳房   | 870件    |  |
|       | 単純撮影 | 38,392件 |  |
|       | 計    | 40,030件 |  |
| 泌尿器   |      | 233件    |  |
| Angio | 循環器  | 948件    |  |
|       | 放射線  | 145件    |  |
|       | 脳外科  | 66件     |  |
|       | 計    | 1,159件  |  |
| 項目    |      | 内訳      |  |
| CT    | 単純   | 12,852件 |  |
|       | 造影   | 5,368件  |  |
|       | 計    | 18,220件 |  |
| MR    | 単純   | 5,047件  |  |
|       | 造影   | 2,908件  |  |
|       | 計    | 7,955件  |  |
| X-TV  |      | 1,016件  |  |
| 放射線治療 |      | 2,364件  |  |
| RI    |      | 853件    |  |
| 合 計   |      | 71,830件 |  |

## 【診療概要】

R3年中から非常勤医師として放射線診断科に勤務していた川田医師がR4年4月に常勤医師に昇格、診断科は常勤専門医3名、専門修練医1名に増員となった。

R4年10月には中島医師の交代として福富医師がフランス・ボルドー大学放射線科から着任した。

非常勤医師の配置は前年度から継続。

放射線検査件数は前年度と同程度だがMRIの検査依頼数は引き続き増加傾向にあるが、検査枠の増加余地に乏しく、病院の建物使用状況からMRI増設も困難であるため、撮影時間短縮、スループット向上のためにMRI機器更新が急がれる。

画像診断管理加算2、頭部MRI管理加算に加えて、前年度から開始していた画像診断報告書の未読管理に対して報告書管理加算を算定開始した。

IVRに関しては古典的肝細胞癌の発生頻度減少に伴うIVR減少は全国的な傾向であるが、今後はSVR後に発生する肝細胞癌が一定数出現するものと予想され、また当院においては神経内分泌腫瘍の肝転移に対する塞栓術の需要も引き続き存在している。

R4年度は第2CTとガンマカメラの更新が行われ、画質向上、患者スルーブット向上が得られた。特に時間外救急診療において第2CTの画質向上が著しく、正確な診断がもたらす医療安全の向上に貢献している。

R3年10月に開始した神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体放射性核種療法 (PRRT) は全国的に注目度が高く、本院は西日本で最大となる症例数を実施していることもあり他院から情報提供の需要が高まっている。

症例蓄積と共に、治療終了後の継続治療法についても本院の治療成績が国内における標準治療の合意形成に寄与するものと推測される。

PRRT中の核医学検査と治療効果についての研究が進んでいくことが期待される。

[学会発表・参加実績]

| 会 名 称                     |                 | 参加形態・発表テーマ                                                     | 参加者・発表者   |
|---------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------|-----------|
| 開催日                       | 場 所             |                                                                |           |
| 第81回日本医学放射線学会総会           |                 | 参加                                                             | 岡田 務      |
| R4年.4月14日～4月17日           | WEB参加           |                                                                |           |
| 第81回日本医学放射線学会総会           |                 | 参加                                                             | 板垣 康、川田千裕 |
| R4年.4月14日～4月17日           | パシフィコ横浜・WEB     |                                                                |           |
| 第78回日本放射線技術学会総会学術大会       |                 | 参加                                                             | 鈴木 量      |
| R4年.4月16日～4月17日           | パシフィコ横浜         |                                                                |           |
| 第48回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会     |                 | 乳癌の術前化学療法における MRI・PETの役割 (シンポジウム)                              | 本田 菜也     |
| R4年.04月23日                | 名古屋             |                                                                |           |
| 第22回日本核医学会春季大会            |                 | スポンサードセミナー講演 「神経内分泌腫瘍に対する <sup>177</sup> Luを用いたPRRT後のSPECT/CT」 | 岡田 務      |
| R4年.5月07日～6月01日           | WEB参加           |                                                                |           |
| 第22回日本核医学会春季大会            |                 | 参加                                                             | 板垣 康      |
| R4年.5月07日～6月01日           | WEB参加           |                                                                |           |
| 令和3年度厚生労働省告示第273号研修(実技研修) |                 | 参加                                                             | 北村圭亮、河野貴幸 |
| R4年.05月22日                | 滋賀県             |                                                                |           |
| 第25回日本臨床救急医学会学術集会         |                 | 参加                                                             | 北村圭亮      |
| R4年.05月25日～05月27日         | WEB参加           |                                                                |           |
| 第156回関西キヤンサーセラピストの会       |                 | 参加                                                             | 板垣 康      |
| R4年.05月25日                | 大阪市             |                                                                |           |
| 令和3年度厚生労働省告示第273号研修(実技研修) |                 | 参加                                                             | 川上敦功      |
| R4年.06月05日                | 和歌山市南コミュニティセンター |                                                                |           |
| 福島区医師会 学術講演会              |                 | 「画像診断報告書の確認管理における関西電力病院の取り組み」<br>座長: 滝 吉郎 、講演: 岡田 務            | 岡田 務      |
| R4年.06月21日                | 福島区医師会館         |                                                                |           |
| 第42回神経放射線ワークショップ          |                 | WEB参加                                                          | 岡田 務      |
| R4年.7月07日～7月09日           | グランドパーク小樽       |                                                                |           |
| 令和3年度厚生労働省告示第273号研修(実技研修) |                 | 参加                                                             | 六浦直樹      |
| R4年.07月09日                | 済生会中津看護専門学校     |                                                                |           |
| 第23回全国X線撮影技術読影研究会         |                 | 参加                                                             | 今村光宏      |
| R4年.07月9日                 | WEB参加           |                                                                |           |
| 令和3年度厚生労働省告示第273号研修(実技研修) |                 | 参加                                                             | 鈴木 量      |
| R4年.07月10日                | 済生会中津看護専門学校     |                                                                |           |
| JCRミッドサマーセミナー             |                 | 参加                                                             | 板垣 康、川田千裕 |
| R4年.7月16日～7月17日           | 神戸ポートピアホテル・WEB  |                                                                |           |
| 第15回核医学専門技師研修セミナー         |                 | e-learning参加                                                   | 三日月清隆     |
| R4年.5月09日～6月10日           | e-learning      |                                                                |           |
| 第30回日本心血管インターベンション治療学会    |                 | 参加                                                             | 河野貴幸      |
| R4年.7月21日～7月23日           | WEB参加           |                                                                |           |

| 会名称                       |                 | 参加形態・発表テーマ                                               | 参加者・発表者             |
|---------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------|---------------------|
| 開催日                       | 場所              |                                                          |                     |
| 第23回放射線腫瘍夏季セミナー           |                 | 参加                                                       | 板垣 康                |
| R4年.8月06日～8月07日           | WEB参加           |                                                          |                     |
| 第58回日本医学放射線秋季臨床大会         |                 | 症例報告「カルチノイド再発に骨シンチグラフィとソマトスタチン受容体シンチグラフィの組み合わせが有用であった1例」 | 川田千裕、本田茉也、中島宏徳、岡田 務 |
| R4年.9月02日～9月04日           | 東京ドームホテル・WEB    |                                                          |                     |
| 第13回世界核医学会                |                 | Basic study on Lu-177DOTATATE imaging                    | 高井 剛                |
| R4年.9月07日～9月11日           | 国立京都国際会館        |                                                          |                     |
| 第53回京都放射線腫瘍研究会            |                 | 参加                                                       | 板垣 康                |
| R4年.09月10日                | WEB参加           |                                                          |                     |
| 第42回日本核医学技術学会総会学術大会       |                 | ルテチウムオキソドレオチド治療における食器類の汚染                                | 長野圭司                |
| R4年.9月10日～9月11日           | 国立京都国際会館        |                                                          |                     |
| 第124回日本医学物理学会学術大会         |                 | TomoTherapyを用いた複雑なクロイド切除痕に対する正常組織の被ばく線量を抑えた照射方法:ファントム研究  | 奥畑勝也                |
| R4年.9月15日～9月17日           | 長崎コンベンションホール    |                                                          |                     |
| 第38回日本診療放射線技師学術大会         |                 | 救急CT撮影条件の適正化と画像提出時間短縮に向けての検討                             | 北村圭亮                |
| R4年.9月16日～9月18日           | 神戸コンベンションセンター   |                                                          |                     |
| 第38回日本診療放射線技師学術大会         |                 | 参加                                                       | 今村光宏                |
| R4年.9月16日～9月18日           | 神戸コンベンションセンター   |                                                          |                     |
| 第38回日本診療放射線技師学術大会         |                 | WEB参加                                                    | 三日月清隆               |
| R4年.9月16日～9月18日           | 神戸コンベンションセンター   |                                                          |                     |
| 第38回日本診療放射線技師学術大会         |                 | WEB参加                                                    | 川上敦功                |
| R4年.9月16日～9月18日           | 神戸コンベンションセンター   |                                                          |                     |
| 第157回関西がんセラピストの会          |                 | 参加                                                       | 板垣 康                |
| R4年.09月28日                | WEB参加           |                                                          |                     |
| JSAWI第23回                 |                 | 参加                                                       | 川田千裕                |
| R4年.09月30日～10月1日          | 淡路夢舞台国際会議場      |                                                          |                     |
| 第50回日本放射線技術学会秋季学術大会       |                 | 参加                                                       | 畑田秀一                |
| R4年.10月07日～10月09日         | 東京都国際ファッションセンター |                                                          |                     |
| 令和3年度厚生労働省告示第273号研修(実技研修) |                 | 参加                                                       | 三日月清隆               |
| R4年.10月09日                | 済生会中津看護専門学校     |                                                          |                     |
| 第17回関西乳房MRI勉強会            |                 | BI-RADSに入るかもしれない乳房MRI撮影-ultrafast MRIとDWI-(講演)           | 本田茉也                |
| R4年.10月15日                | 京都市             |                                                          |                     |
| PRRT WEB WORKSHOP vol.1   |                 | 講演 発表                                                    | 高井 剛                |
| R4年.10月24日                | WEB発表           |                                                          |                     |
| 第32回日本乳癌検診学会学術総会          |                 | 参加                                                       | 眞部あよ                |
| R4年.11月11日～11月12日         | アクトシティ浜松        |                                                          |                     |
| 第32回日本乳癌検診学会学術総会          |                 | 参加                                                       | 山本実奈                |
| R4年.11月11日～11月12日         | アクトシティ浜松        |                                                          |                     |
| 第34回日本放射線腫瘍学会学術大会         |                 | 参加                                                       | 板垣 康                |
| R4年.11月11日～11月12日         | 広島市             |                                                          |                     |
| 第26回関西心臓核医学セミナー           |                 | WEB参加                                                    | 三日月清隆               |
| R4年.11月26日                | WEB開催           |                                                          |                     |
| 第52回なにわRIセミナー             |                 | WEB参加                                                    | 三日月清隆               |
| R4年.11月30日                | WEB開催           |                                                          |                     |

| 会名称                                        |           | 参加形態・発表テーマ                                             | 参加者・発表者 |
|--------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------------|---------|
| 開催日                                        | 場所        |                                                        |         |
| 放射線取扱主任者定期講習会                              |           | WEB参加                                                  | 高井 剛    |
| R4年.12月05 日                                | WEB開催     |                                                        |         |
| 第315回日本核医学技術学会近畿地方会定例研究会                   |           | WEB参加                                                  | 三日月清隆   |
| R5年.01月14 日                                | WEB開催     |                                                        |         |
| JCRミッドウィンターセミナー2023                        |           | 参加                                                     | 川田千裕    |
| R5年.1月14日～15日                              | 福岡国際会議場   |                                                        |         |
| 第39回日本血管撮影インターベンション専門<br>診療放射線技師認定機構主催セミナー |           | 参加                                                     | 畑田秀一    |
| R5年.01月18 日                                | WEB開催     |                                                        |         |
| 第23回ヨウ素125シード線源永久挿入による<br>前立腺癌密封小線源療法技術講習会 |           | 参加                                                     | 板垣 康    |
| R5年.01月28 日                                | 東京都品川区    |                                                        |         |
| 第18回前立腺癌密封小線源療永久挿入治療研究会                    |           | 小線源治療医が小線源治療を受けて考えたこと                                  | 板垣 康    |
| R5年.01月29 日                                | 東京都品川区    |                                                        |         |
| 第48回ニュータウンカンファレンス                          |           | WEB参加                                                  | 三日月清隆   |
| R5年.02月04 日                                | WEB開催     |                                                        |         |
| 第333回日本医学放射線学会関西地方会                        |           | 参加                                                     | 板垣 康    |
| R5年.02月04 日                                | WEB参加     |                                                        |         |
| 第32回日本乳癌画像研究会                              |           | UltrafastとDWI(シンポジウム)                                  | 本田茉也    |
| R5年.02月04 日                                | 東京都       |                                                        |         |
| 第54回京都放射線腫瘍研究会                             |           | 参加                                                     | 板垣 康    |
| R5年.02月11 日                                | 京都市       |                                                        |         |
| PRRT WEB WORKSHOP vol.2                    |           | 「当院での177Lu PRRT後のSPECT<br>画像における経験」<br>座長:河本 泉、講演:岡田 務 | 岡田 務    |
| R5年.02月13 日                                | グランフロント大阪 |                                                        |         |
| 第158回関西がんサーセラピストの会                         |           | 参加                                                     | 板垣 康    |
| R5年.02月22 日                                | WEB参加     |                                                        |         |
| 第18回関西乳房MRI勉強会                             |           | 60代女性 検診マンモグラフィで発<br>見された左乳房腫瘍の一例(症例検<br>討)            | 本田茉也    |
| R5年.03月01 日                                | 京都市       |                                                        |         |

## [論文]

| 著者                                                                                                                                                      | タイトル                                                                                                                                                           | 掲載誌名                                   |            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------------|
|                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                | 掲載号・ページ                                | 掲載年        |
| Maya Honda, Mami Iima                                                                                                                                   | Breast Parenchymal Enhancement as a Predictor of Efficacy for Endocrine Therapy.                                                                               | Radiology                              |            |
|                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                | 307(4) 230350-230350                   | 2023年3月28日 |
| Akane Ohashi, Masako Kataoka, Mami Iima, Maya Honda, Rie Ota, Yuta Urushibata, Marcel Dominik Nickel, Masakazu Toi, Sophia Zackrisson, Yuji Nakamoto    | Comparison of Ultrafast Dynamic Contrast-Enhanced (DCE) MRI with Conventional DCE MRI in the Morphological Assessment of Malignant Breast Lesions.             | Diagnostics                            |            |
|                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                | 13(6)                                  | 2023年3月15日 |
| Rie Ota, Masako Kataoka, Mami Iima, Maya Honda, Ayami Ohno Kishimoto, Kanae Kawai Miyake, Yosuke Yamada, Yasuhide Takeuchi, Masakazu Toi, Yuji Nakamoto | Evaluation of breast lesions based on modified BI-RADS using high-resolution readout-segmented diffusion-weighted echo-planar imaging and T2/T1-weighted image | Magnetic Resonance Imaging             |            |
|                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                | 98 132-139                             | 2023年1月    |
| Maya Honda, Denis Le Bihan, Masako Kataoka, Mami Iima                                                                                                   | Diffusion kurtosis imaging as a biomarker of breast cancer                                                                                                     | Magnetic resonance in medical sciences |            |
|                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                |                                        | 2022年8月3日  |

| 著者                                                                                                                                                                                | タイトル                                                                                                                                                             | 掲載誌名                                                                |             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------|
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                  | 掲載号・ページ                                                             | 掲載年         |
| Akane Ohashi, Masako Kataoka, Mami Iima, <u>Maya Honda</u> , Rie Ota, Yuta Urushibata, Marcel Dominik Nickel, Toi Masakazu, Sophia Zackrisson, Yuji Nakamoto                      | Prediction of Ki-67 expression of breast cancer with a multi-parametric model using MRI parameters from ultrafast DCE-MRI and DWI                                | SPIE Proceedings                                                    |             |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                  | Vol. 12286                                                          | 2022年7月13日  |
| <u>Maya Honda</u> , Masako Kataoka, Mami Iima, Rie Ota, Akane Ohashi, Ayami Ohno Kishimoto, Kanae Kawai Miyake, Marcel Dominik Nickel, Yosuke Yamada, Masakazu Toi, Yuji Nakamoto | Visual Evaluation of Ultrafast MRI in the Assessment of Residual Breast Cancer after Neoadjuvant Systemic Therapy: A Preliminary Study Association with Subtype. | Tomography                                                          |             |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                  | 8(3) 1522-1533                                                      | 2022年6月10日  |
| Mami Iima, Sunitha B. Thakur, Neil Peter Jerome, <u>Maya Honda</u> , Masako Kataoka, Eric E. Sigmund                                                                              | IVIM and Non-Gaussian DWI of the Breast                                                                                                                          | Diffusion MRI of the Breast (Elsevier)                              |             |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                  | Chapter 8                                                           | 2022年10月20日 |
| <u>Maya Honda</u> , Eric Sigmund, Masako Kataoka, Denis Le Bihan, Mami Iima                                                                                                       | Diffusion MRI of the breast: standard and advanced techniques                                                                                                    | Breast MRI: State of the Art and Future Directions (Academic Press) |             |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                  | Chapter 23                                                          | 2022年9月30日  |
| <u>Katsuya Okuhata</u> , Kenta Kijima, Kenji Nakamura, Yuya Yanagi and Hajime Monzen                                                                                              | Irradiation Methods for Accurate Dose Delivery to Postoperative Keloid Scars With Minimal Normal Tissue Exposure Using TomoTherapy: A Phantom Study              | Anticancer Research                                                 |             |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                  |                                                                     | 2022年8月23日  |
| <u>Katsuya Okuhata</u> , Mitsugu Fujita, Kenji Nakamura, Yuya Yanagi, Yusuke Sakai, Kazuki Kubo, Hiroyuki Kosaka and Hajime Monzen                                                | Development of a Novel Tabletop Device With Suction and Sanitization of Droplets against COVID-19                                                                | Cureus                                                              |             |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                  |                                                                     | 2023年1月27日  |

## [資格取得]

|                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 血管撮影・インターベンション専門認定技師 | 鈴木 量、奥畑勝也、畑田秀一            |
| 核医学専門認定技師            | 長野圭司、三日月清隆                |
| PET認定技師              | 長野圭司、三日月清隆                |
| 第1種放射線取り扱い主任者        | 長野圭司、大西克尚、三日月清隆、高井 剛      |
| 乳房撮影専門認定技師           | 三日月清隆、本川綾子、眞部あよ、山口麻衣、山本実奈 |
| 乳がん検診超音波検査実施技師       | 本川綾子                      |
| ピンクリボンアドバイザー（初級）     | 本川綾子、眞部あよ、山口麻衣、山本実奈       |
| X線CT認定技師             | 北村圭亮、福井一之、居原田寛、今村光宏       |
| 肺がんCT検診認定技師          | 北村圭亮                      |
| 救急撮影認定技師             | 北村圭亮、米田史彦、今村光宏            |
| AHA BLSヘルスケアプロバイダー   | 北村圭亮                      |
| ICLSインストラクター         | 北村圭亮                      |
| 医学物理士                | 奥畑勝也、長野圭司                 |
| 日本放射線治療専門放射線技師       | 河井直樹                      |
| 日本磁気共鳴専門技術者          | 戸村直也、河野貴幸                 |
| 医療情報技師               | 本川綾子、今村光宏                 |
| 医用画像情報専門技師           | 本川綾子、今村光宏                 |
| 医療画像情報精度管理士          | 今村光宏、北村圭亮                 |
| 画像等手術支援認定診療放射線技師     | 今村光宏、北村圭亮、福井一之、居原田寛       |
| 画像診断報告書確認管理者         | 本川 綾子                     |
| 放射線機器管理士             | 三日月 清隆 北村 圭亮 川上 敦功        |
| Ai撮影認定技師             | 北村圭亮、今村光宏                 |
| 第1種作業環境測定士           | 長野圭司、三日月清隆                |
| 第1種衛生管理者             | 長野圭司、三日月清隆                |
| 衛生工学衛生管理者            | 長野圭司、三日月清隆                |

## [施設認定]

日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関認定、  
 日本核医学会専門医教育病院、  
 大阪府がん診療拠点病院認定、  
 マンモグラフィ検診施設認定、

# 麻酔科

[医師](R5.3末時)

|      |           |                                                              |
|------|-----------|--------------------------------------------------------------|
| 部 長： | 中 筋 正 人   | 日本麻酔科学会指導医・機構専門医、日本臨床麻酔学会、日本集中治療医学会、日本小児麻酔学会、日本心臓血管麻酔学会      |
| 部 長： | 田 中 益 司   | 日本麻酔科学会指導医・機構専門医、日本ペインクリニック学会専門医、日本臨床麻酔学会、日本集中治療医学会、日本緩和医療学会 |
| 部 長： | 今 中 宜 依   | 日本麻酔科学会専門医・指導医、日本臨床麻酔学会、日本ペインクリニック学会                         |
| 医 長： | 羽 阪 め ぐ み | 日本麻酔科学会専門医・指導医                                               |
| 医 長： | 渡 邊 千 恵   | 日本麻酔科学会専門医・指導医、日本心臓血管麻酔学会専門医、日本小児麻酔認定医                       |
| 医 員： | 首 藤 喬     | 日本麻酔科学会専門医、日本区域麻酔学会、日本集中治療医学会                                |
| 医 員： | 平 井 杏 奈   | 日本麻酔科学会認定医、日本ペインクリニック学会                                      |

[診療日程](ペインクリニック R5.3末時)

| 月  |    | 火   |     | 水  |    | 木  |    | 金   |     | 土  |
|----|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|----|
| 午前 | 午後 | 午前  | 午後  | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前  | 午後  | 午前 |
|    |    | 田 中 | 田 中 |    |    |    |    | 田 中 | 田 中 |    |

[診療概要]

1. 手 術  
・手術麻酔統計

|                    | 令和2年度                  | 令和3年度                  | 令和4年度                  |
|--------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 全身麻酔               | 1,538例<br>(硬膜外麻酔併用80例) | 1,692例<br>(硬膜外麻酔併用60例) | 1,746例<br>(硬膜外麻酔併用33例) |
| 人工心肺を用いた開心術        | 71例                    | 88例                    | 87例                    |
| 全身麻酔を必要とする<br>緊急手術 | 132例                   | 175例                   | 195例                   |
| 手術中死亡例             | 1例                     | なし                     | なし                     |

2. ペインクリニック外来

- ・受診患者数

|      | 令和2年度              | 令和3年度              | 令和4年度              |
|------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 初診患者 | 33人<br>(男性15、女性18) | 38人<br>(男性19、女性19) | 31人<br>(男性13、女性18) |
| 再診患者 | 1,143人             | 1,112人             | 1,080人             |

- ・初診患者内訳

| 疾患名                      | (例) | 疾患名                   | (例) |
|--------------------------|-----|-----------------------|-----|
| 三叉神経痛                    | 1   | 帯状疱疹関連痛               | 3   |
| 他の頭・顔面痛                  | 1   | がん性痛                  | 0   |
| 中枢痛                      | 2   | 線維筋痛症・リウマチ性疾患・膠原病     | 1   |
| 頸肩 upper limb 痛 (FNSS含む) | 1   | CRPS                  | 0   |
| 胸部痛                      | 0   | 幻肢痛・断端痛               | 1   |
| 背部痛                      | 1   | 手術後遷延痛 (FNSSやFBSSを除く) | 5   |
| 腰下肢痛 (FBSS含む)            | 11  | 末梢神経障害・損傷／脊髄損傷        | 2／0 |
| 腹部痛                      | 2   | 突発性難聴                 | 0   |
| 会陰部痛                     | 0   | その他                   | 0   |

・処置内容

| 処置                | (例) | 処置                    | (例) |
|-------------------|-----|-----------------------|-----|
| 星状神経節ブロック         | 41  | 坐骨神経ブロック              | 0   |
| 胸／腰部硬膜外ブロック       | 0   | 外側大腿皮神経ブロック           | 14  |
| 仙骨部硬膜外ブロック        | 13  | 静脈内局所ブロック             | 24  |
| 浅頸神経叢ブロック         | 14  | 筋膜面ブロック(脊柱起立筋、肩甲挙筋など) | 335 |
| 後頭神経ブロック          | 24  | 他の神経ブロック・関節注射         | 9   |
| 腕神経叢ブロック          | 15  | 腱鞘内注射                 | 14  |
| 肩甲上神経ブロック         | 14  | 脊髄電気刺激装置トライアル/植込み     | 0   |
| 肩甲背神経ブロック         | 176 | 植込み→管理継続中             | 3   |
| 肩関節注射             | 4   | イオントフォレーシス            | 31  |
| 正中神経ブロック          | 18  | 薬剤点滴                  | 3   |
| 尺骨神経ブロック(肘部管ブロック) | 4   | 光線療法(キセノン光、スーパーライザー)  | 509 |
| 肋間神経ブロック          | 0   | ドラッグチャレンジテスト          | 0   |
| 腸骨下腹/鼠径神経ブロック     | 7   | 診察・処方のみ               | 462 |
| 仙腸関節枝ブロック         | 76  |                       |     |

多くの処置は超音波ガイド下を実施

[学会発表]

| 会名称                        |       | テーマ                                                     | 発表者    |
|----------------------------|-------|---------------------------------------------------------|--------|
| 日時                         | 場所    |                                                         |        |
| (社)日本麻酔科学会<br>第69回学術集会     |       | 「low BISと臍頭十二指腸切除術後の臍液瘻発症の<br>関連」                       | 平井杏奈ほか |
| 2022/6/16～18               | 神戸    |                                                         |        |
| (社)日本麻酔科学会<br>第69回学術集会     |       | 「高齢者の全身麻酔で低血圧、低BISのいわゆる<br>“Double Low”となる危険因子」         | 中筋正人ほか |
| 2022/6/16～18               | 神戸    |                                                         |        |
| (社)日本麻酔科学会<br>第68回関西支部学術集会 |       | 「感染性大動脈瘤の食道穿破に対して下行大動脈<br>置換術及び食道抜去術を行った1例」             | 渡邊千恵ほか |
| 2022/9/2～10/3              | WEB開催 |                                                         |        |
| 日本心臓血管麻酔学会<br>第27回学術大会     |       | 「ミトコンドリア病患者の開心術をSedLine®で術中管<br>理した1例」                  | 渡邊千恵ほか |
| 2022/9/17～18               | 京都    |                                                         |        |
| 日本集中治療医学会<br>第6回関西支部学術集会   |       | 「小腸切除後に左心耳内血栓に対して緊急開心術<br>となったSMA塞栓症の1例」                | 首藤 喬ほか |
| 2022/7/16                  | 大阪    |                                                         |        |
| 第50回日本集中治療医学会学術集会          |       | 「穿孔性腹膜炎手術で麻酔導入直後の乳酸値の有<br>用性」                           | 首藤 喬ほか |
| 2023/3/2～4                 | 京都    |                                                         |        |
| 第50回日本集中治療医学会学術集会          |       | 「開心術終了時に発生した左気管支からの気道出<br>血に対してICUで分離肺換気を行い治癒した1症<br>例」 | 首藤 喬ほか |
| 2023/3/2～4                 | 京都    |                                                         |        |

# 病理診断科・病理部

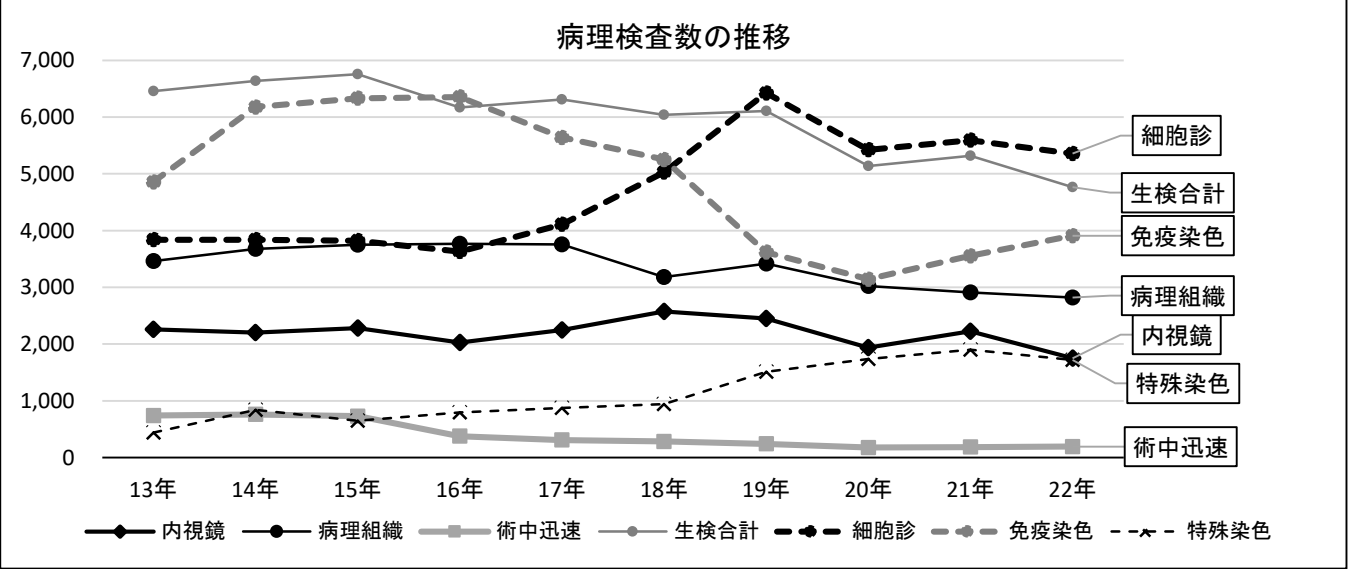
## [スタッフ](R5.3末時)

|         |        |                                                                                                                               |
|---------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部長      | 滝 吉郎   | 京都大学医学博士、京都大学医学部臨床教授、日本外科学会専門医/指導医/代議員、日本消化器外科学会専門医/指導医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本病態栄養学会評議員、近畿外科学会評議員、日本内視鏡外科学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本肝癌研究会 |
| 部長:     | 井上 直也  | 日本外科学会指導医、同専門医、日本消化器外科学会指導医、同専門医、日本がん治療認定医機構・がん治療認定医                                                                          |
| 非常勤病理医: | 羽賀 博典  | 日本病理学会病理専門医、同分子病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                           |
|         | 南口 早智子 | 日本病理学会病理専門医、同分子病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                           |
|         | 藤本 正数  | 日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                                    |
|         | 山田 洋介  | 日本病理学会病理専門医、同分子病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                           |
|         | 寺本 祐記  | 日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                                    |
|         | 竹内 康英  | 日本病理学会病理専門医、同分子病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                           |
|         | 伊藤 寛朗  | 日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                                    |
|         | 前田 紘奈  | 日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                                    |
|         | 合田 直樹  | 日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                                    |
|         | 家村 宜樹  | 日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医                                                                                                    |
| 臨床検査技師: | 長松 光美  | 臨床検査部病理検査室技師、日本臨床細胞学会細胞検査士、認定病理検査技師、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、有機溶剤作業主任者                                                            |
|         | 大上 哲也  | 臨床検査部病理検査室技師、日本臨床細胞学会細胞検査士、国際細胞検査士、二級臨床検査士(病理)、認定病理検査技師、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、有機溶剤作業主任者                                        |
|         | 村上 ひとみ | 臨床検査部病理検査室技師、日本臨床細胞学会細胞検査士、国際細胞検査士、二級臨床検査士(病理)、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、有機溶剤作業主任者                                                 |
|         | 田口 優花里 | 臨床検査部病理検査室技師、日本臨床細胞学会細胞検査士、特定化学物質及び四アルキル鉛作業主任者                                                                                |

## [活動実績]

### 病理検査件数(2013年～2022年)

|              | 13年   | 14年   | 15年   | 16年   | 17年   | 18年   | 19年   | 20年   | 21年   | 22年   |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内視鏡          | 2,256 | 2,201 | 2,279 | 2,028 | 2,246 | 2,576 | 2,447 | 1,934 | 2,226 | 1,749 |
| 病理組織 (内視鏡以外) | 3,460 | 3,675 | 3,749 | 3,766 | 3,755 | 3,182 | 3,419 | 3,024 | 2,909 | 2,821 |
| 術中迅速         | 739   | 760   | 727   | 375   | 308   | 283   | 241   | 176   | 184   | 192   |
| 生検合計         | 6,455 | 6,636 | 6,755 | 6,169 | 6,309 | 6,041 | 6,107 | 5,134 | 5,319 | 4,762 |
| 細胞診          | 3,838 | 3,839 | 3,822 | 3,631 | 4,108 | 5,028 | 6,424 | 5,422 | 5,592 | 5,355 |
| 免疫染色         | 4,857 | 6,176 | 6,331 | 6,353 | 5,639 | 5,252 | 3,618 | 3,143 | 3,554 | 3,909 |
| 特殊染色         | 438   | 842   | 647   | 792   | 874   | 941   | 1,510 | 1,738 | 1,902 | 1,721 |





[2022年度中の取り組み]

1. 体制
- 2022年10月より2023年3月までの間、病理診断を担当する常勤医師が不在となり、京都大学医学部附属病院・病理診断科より応援を得て、非常勤医師にて病理診断業務を継続した。  
田口技師が3月末で退職となった。
2. 医療安全(レポート未読対策)
- 報告書確認対策チームに井上と大上技師が参加し、医療安全管理室、放射線部等と連携してレポート未読対策に取り組む体制となった。
3. 検査部内人事交流に伴う業務従事体制の変更
- 2022年4月から8月の間、長松技師が細菌部門で、坂口技師が病理部門で技術・業務の習得に努めた。大上技師が月に数回、一般検査の支援に従事した。
4. 免疫染色
- 日本病理精度保証機構による染色サーベイ(P63、CK34βE12、CK5/6)は良好な結果であった。後期は常勤病理医不在のため不参加。
5. 日本病理学会研修認定施設、日本臨床細胞学会教育研修施設認定を維持した。

[学会発表および参加実績]

| 会名称                  |     | 参加形態・発表テーマ                         | 発表・参加者               |
|----------------------|-----|------------------------------------|----------------------|
| 日時                   | 場所  |                                    |                      |
| 第61回日本臨床細胞学会秋期大会     |     | 細胞診レポートの質の管理と臨床医師とのコミュニケーション能力     | 桜井孝規                 |
| 2022.11.5            | 仙台  |                                    |                      |
| 第61回日本臨床細胞学会秋期大会     |     | 上皮性悪性腫瘍との鑑別に苦慮したびまん性大細胞性B細胞リンパ腫の一例 | 田口優花里                |
| 2022.11.5            | 仙台  |                                    |                      |
| 第83回細胞検査士ワークショップ     |     | 聴講                                 | 村上ひとみ                |
| 2022.3.28-4.8        | web |                                    |                      |
| 第63回日本臨床細胞学会春期大会     |     | 聴講                                 | 桜井孝規、大上哲也            |
| 2022.6.15            | web |                                    |                      |
| 大阪府細胞検査士会 第45回学術集会   |     | 聴講                                 | 田口優花里                |
| 2022.7.3             | web |                                    |                      |
| 第84回細胞検査士ワークショップ 講義  |     | 聴講                                 | 武市理紗                 |
| 2022.9.26            | web |                                    |                      |
| 第61回日本臨床細胞学会 秋期大会    |     | 聴講                                 | 長松光美、大上哲也、村上ひとみ、武市理紗 |
| 2022.11.5            | web |                                    |                      |
| 大阪府臨床細胞学会総会・第47回学術集会 |     | 聴講                                 | 長松光美                 |
| 2023.3.4             | web |                                    |                      |

[論文発表]

| 著者                                                                                                                                                                                         | タイトル                                                                                                               | 掲載誌名             |      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------|
|                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                    | 掲載号・ページ          | 掲載年  |
| 金井香澄, 坂元宏匡, 今井一登, 鶴田将史, <b>桜井孝規</b> , 青山輝義                                                                                                                                                 | 前立腺癌との鑑別が困難であった前立腺マラコプラキアの1例                                                                                       | 泌尿器科紀要           |      |
|                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                    | 69: 19-24        | 2023 |
| 小椋聖子, 矢野恵子, 植田彰彦, 江木さつき, 城戸貴之, 渋谷信介, <b>桜井孝規</b> , 桜井幹己                                                                                                                                    | 液状化検体細胞診ThinPrepによる子宮内膜細胞診標本作製の試み                                                                                  | 日本臨床細胞学会 近畿連合会会誌 |      |
|                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                    | 30: 9-15         | 2022 |
| 稲田祐也, 伊東友好, 岩崎剛平, 古川雄一郎, 水谷 亮, 篠木聖徳, 赤木佳菜子, <b>桜井孝規</b> , 川口知哉                                                                                                                             | 広範な気管・気管支内病変を認めたメトトレキサートによる医原性免疫不全症関連リンパ増殖性疾患の1例                                                                   | 気管支学             |      |
|                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                    | 44: 305-312      | 2022 |
| Kumagai K, Shimizu T, Nikaido M, Hirano T, Kakiuchi N, Takeuchi Y, Minamiguchi S, <b>Sakurai T</b> , Teramura M, Utsumi T, Hiramatsu Y, Nakanishi Y, Takai A, Miyamoto S, Ogawa S, Seno H. | On the origin of gastric tumours: analysis of a case with intramucosal gastric carcinoma and oxyntic gland adenoma | J Pathol         |      |
|                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                    | 259: 362-368     | 2023 |

[CPC(研修管理委員会と共催)]

| 開催日   | 症例名                                    | 参加者                                                                        |
|-------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 6月2日  | MDSに対して同種造血幹細胞移植後、早期から呼吸不全を呈し死亡した1例    | 症例提示: 柿原文太<br>ディスカスタント: 岡本晴香<br>病理: 桜井孝規<br>司会: 平田大二                       |
| 9月22日 | 腎癌の多発転移により慢性腎不全急性増悪を来とし、急激な転帰で死亡に至った一例 | 症例提示: 加古敦也<br>ディスカスタント: 松城真里<br>病理: 桜井孝規<br>司会: 平田大二                       |
| 2月16日 | 顕微鏡的多発血管炎を背景として間質性肺炎の急性増悪に至った一例        | 症例提示: 望月滉介<br>ディスカスタント: 佐藤涼<br>病理: 喜多村(京都大学)、<br>羽賀(京都大学)<br>司会: 平田大二、藤田昌昭 |

[カンファレンス]

| 開催日   | 参加者                                        | 場所    |
|-------|--------------------------------------------|-------|
| 4月1日  | 細胞診カンファレンス 桜井、大上、村上、木地、長松                  | 病理診断室 |
| 6月13日 | 泌尿器カンファレンス 青山、坂元、鶴田、野澤、金井、桜井               | 病理診断室 |
| 月1回   | 全科カンファレンスとしてのキャンサーボード                      | 講堂    |
| 毎週1回  | 消化器カンファレンス: (消化器内科、外科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科) | 会議室   |

# 救急集中治療科

**[医師] (R5.3末時)**

|      |        |                                          |
|------|--------|------------------------------------------|
| 部 長: | 木内 俊一郎 | 日本救急医学会専門医                               |
| 部 長: | 端野 琢哉  | 救急科領域専門医、日本集中治療医学会専門医・評議員、日本麻酔科学会専門医・指導医 |
| 医 長: | 大橋 直紹  | 日本救急医学会専門医、日本集中治療医学会専門医、日本麻酔科学会専門医・指導医   |
| 医 長: | 山下 賢樹  | 日本内科学会(専門医)、日本救急医学会専門医                   |
| 医 長: | 金丸 良徳  | 日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本甲状腺学会専門医  |
| 医 員: | 植田 典子  |                                          |

**[診療体制]**

|    |   |   |
|----|---|---|
| 木内 | ○ |   |
| 端野 | ○ | ○ |
| 大橋 |   | ○ |
| 山下 | ○ |   |
| 金丸 |   | ○ |
| 植田 | ○ |   |

**●救急外来部門**

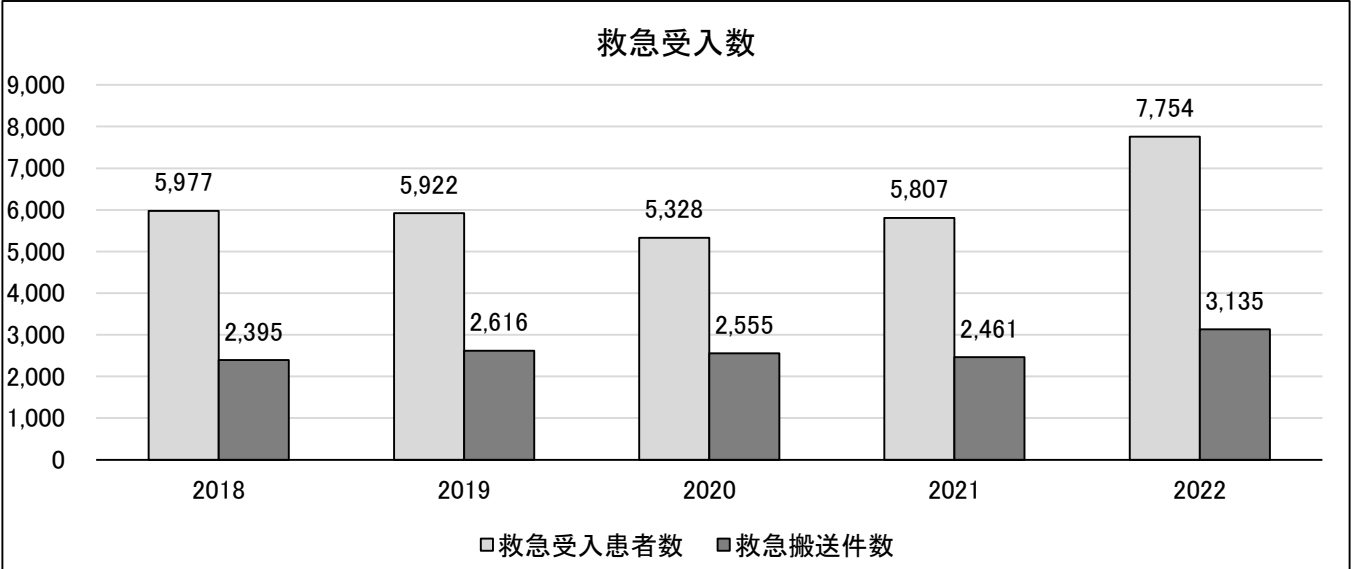
1. 当院は、24時間／365日、軽症から重症(内因性疾患から外傷)まで対応する二次告知医療機関であり、その中でも限られた下記に示す特定機能対応可能な機関・重症初期対応医療機関です。
- ア 脳血管障害 → tPA、血管内治療  
脳外科手術
  - イ 循環器疾患 → PCI等
  - ウ 消化器疾患 → 消化管内視鏡  
緊急外科手術
  - エ 外傷・外因 → 手指・足趾の再接着
2. 救急診療の診療体制は、ER型救急システムです。

**●集中治療室部門**

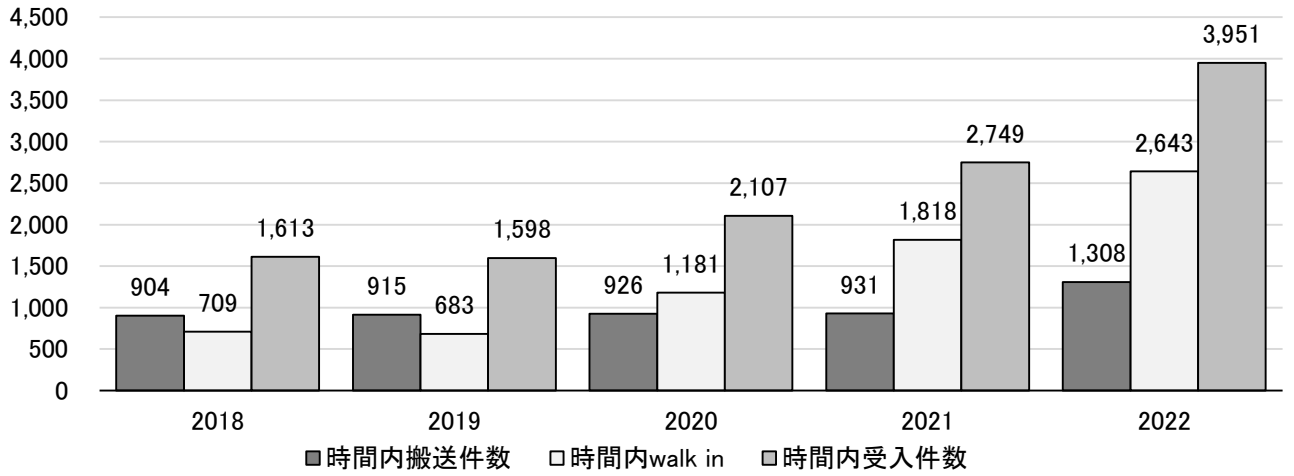
上記3名の医師がICU専従医として勤務しております。この3名を中心に当直体制も整え、1日24時間365日ICUに医師が常駐して診療にあたっています。厚生労働省認可の集中治療室で、救急受診された重症の患者さまや大手術を受けられた患者さまを診療しています。診療レベルの向上や理学療法士による重症病態改善後の早期離床等を実践し、管理栄養士による栄養指導も平素より受け入れることで、ひとりひとりの患者さまが、より早期に病態を改善されて一般病棟へ移られ、より早期に退院できることを目指しています。また、ICU退室後、退院後のADL向上に向けてICU滞在中より多職種で取り組んでおります。

**[救急外来診療統計](年間)**

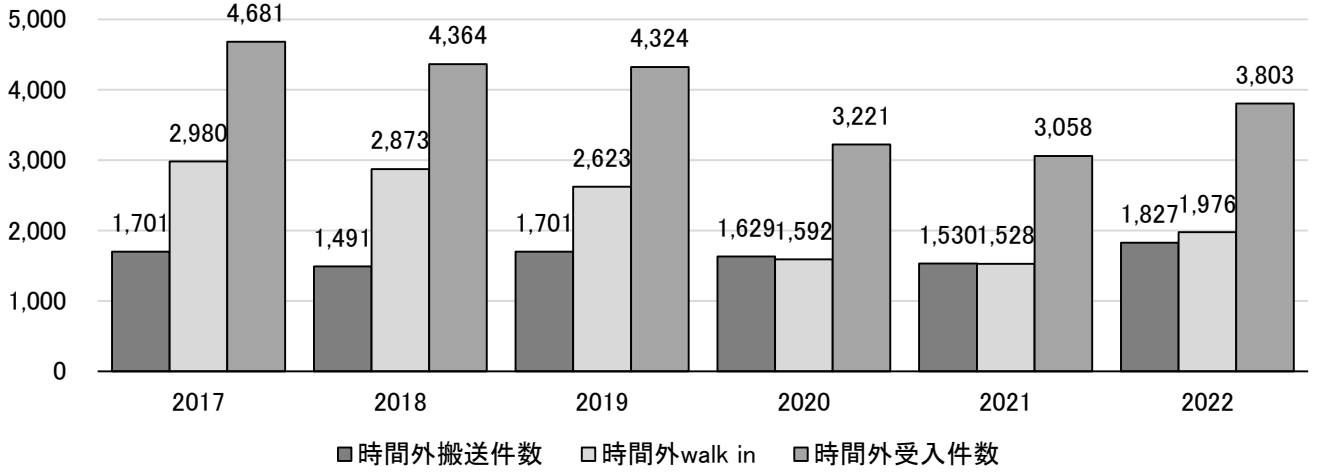
時間内外受入患者総数:7,754人  
救急車搬入:3,135台 (時間内 1,308台 時間外 1,627台)  
救急搬送患者の入院件数:1,152件



時間内救急受入



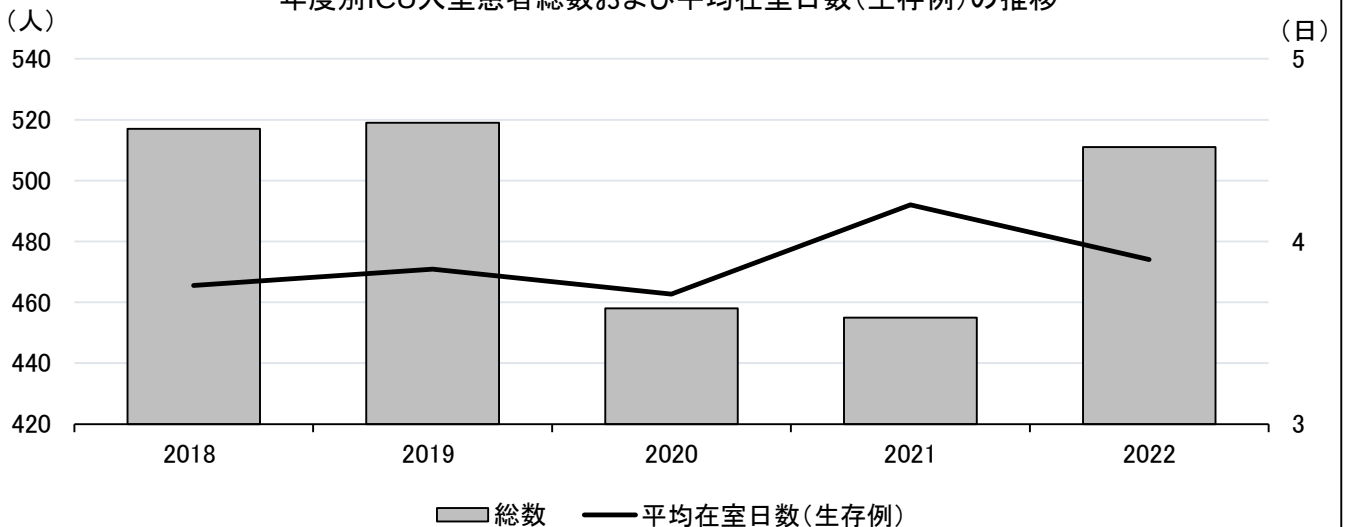
時間外救急受入



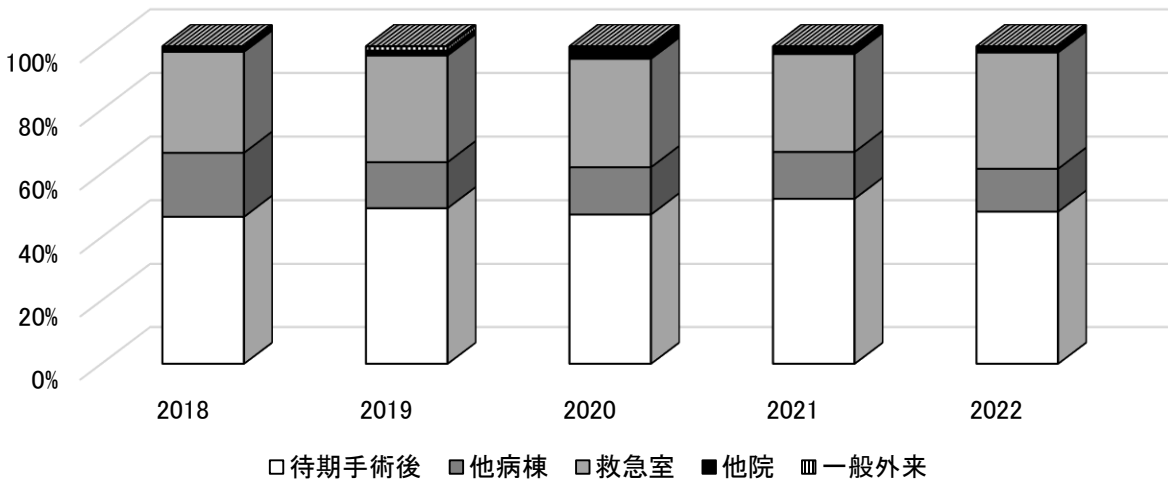
[集中治療室診療統計](年間)

入室患者数:511人  
 平均在室日数:3.87日  
 平均年齢:68.57歳  
 男女比:男325人、女186人

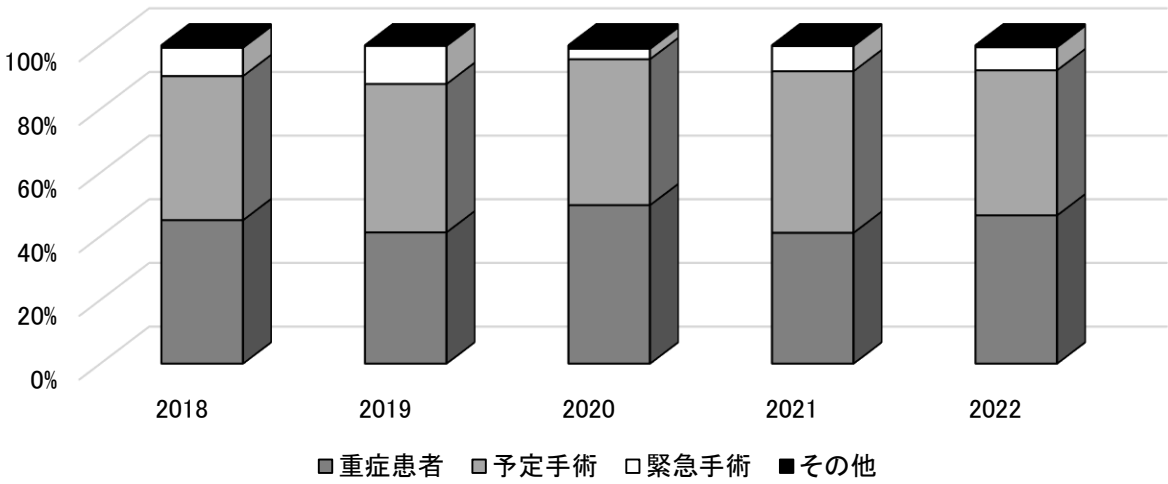
年度別ICU入室患者総数および平均在室日数(生存例)の推移



ICU入室患者の入室経路別割合の推移



年度別ICU入室患者の入室理由別割合の推移



[学会発表および参加実績]

| 会名称            |          | 参加形態・発表テーマ                                                           | 発表者                                      |
|----------------|----------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 日時             | 場所       |                                                                      |                                          |
| 日本集中治療医学会 学術集会 |          | 座長: 栄養・血糖①DM・血糖コントロール                                                | 端野琢哉                                     |
| 2023/3/2       | 国立京都国際会館 |                                                                      |                                          |
| 日本集中治療医学会 学術集会 |          | 発表: 開心術終了時に発生した左気管支からの気道出血に対してICUで分離肺換気を行い治癒した1症例                    | 首藤 喬、中筋 正人、大橋直紹、端野琢哉                     |
| 2023/3/2       | 国立京都国際会館 |                                                                      |                                          |
| 日本集中治療医学会 学術集会 |          | 発表: 穿孔性腹膜炎手術で麻酔導入直後の乳酸値の有用性                                          | 首藤 喬、中筋正人、大橋直紹、端野琢哉                      |
| 2023/3/2       | 国立京都国際会館 |                                                                      |                                          |
| 日本集中治療医学会 学術集会 |          | 発表: ICU退室後の認知機能障害に対して二重課題トレーニングが有効であった1症例 -Single case ABA design研究- | 松木良介、児島範明、砂原正和、崎田佳希、佐藤達也、堀田 旭、恵飛須俊彦、端野琢哉 |
| 2023/3/2       | 国立京都国際会館 |                                                                      |                                          |
| 日本集中治療医学会 学術集会 |          | 発表: 心臓血管術外科患者の術後認知機能障害に対するICUでの複合的非薬物療法の効果の検討                        | 児島範明、井口知也、山口 忍、松井理直、松木良介、端野琢哉、恵飛須俊彦      |
| 2023/3/3       | 国立京都国際会館 |                                                                      |                                          |

# [論文発表]

| 著者                                      | タイトル                                                                                                                                             | 掲載誌名                                   |      |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------|
|                                         |                                                                                                                                                  | 掲載号・ページ                                | 掲載年  |
| Ho Namkoong,<br>Ryuya Edahiro, et al    | DOCK2 is involved in the host genetics and biology of severe COVID-19                                                                            | Nature                                 |      |
|                                         |                                                                                                                                                  | volume 609, 754-760                    | 2022 |
| Qingbo S. Wang,<br>Ryuya Edahiro, et al | The whole blood transcriptional regulation landscape in 465 COVID-19 infected samples from Japan COVID-19 Task Force                             | Nature Communications                  |      |
|                                         |                                                                                                                                                  | volume 13, Article number: 4830 (2022) | 2022 |
| Ho Lee,<br>Shotaro Chubachi, et al      | Characteristics of hospitalized patients with COVID-19 during the first to fifth waves of infection: a report from the Japan COVID-19 Task Force | BMC Infect Dis.                        |      |
|                                         |                                                                                                                                                  | Dec 12;22(1):935                       | 2022 |

# [症例検討会]

| 開催日    | 症例名             | 参加者                      | 場所 |
|--------|-----------------|--------------------------|----|
| 平日の午前中 | 前日の時間内・外のER受診症例 | 救急集中治療科医師<br>およびローテート研修医 | ER |

# [カンファレンス]

| 開催日    | 参加者                    | 場所  |
|--------|------------------------|-----|
| 平日の午前中 | 医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師 | ICU |

# 外来化学療法室

## 【スタッフ】(R5.3末時)

- 医師
- 部長：柳原 一広

日本臨床腫瘍学会協議員・指導医・がん薬物療法専門医、日本緩和医療学会認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医、日本呼吸器内視鏡学会指導医・専門医
- 医長：竹下 純平

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法指導医・専門医、日本内科学会内科専門医、日本呼吸学会専門医
- 医員：十三 且也
- 医員：天野 佑美

- 看護師
- 外来化学療法室看護師長

: 西川恵理
- 外来化学療法室看護主任

: 中尾多見
- 外来化学療法室看護師

: 平村美奈子、高木郁子、坂部 礼、松崎美代子
- 薬剤師
- がん薬物療法認定薬剤師

: 黒岩勇人・上田綾佳
- 外来化学療法室薬剤師(併任)

: 仲宗根千佳・荒木悠・高崎奈津希・田村真由子
- クラーク
- 小金井亜弥、臼杵真美

【診療日程】(令和5年3月末)

月曜～金曜:(全日・完全予約制)

土曜:(午前中のみ・完全予約制:投与は連日投与の短時間のものに限る)

【診療概要・実績報告】

医師は令和4年3月に富田和輝が退職し、令和4年4月に天野佑美が加入した。令和4年6月末で古武 剛が退職した。

看護師は令和4年3月に三浦日登美 師長が移動し、4月より西川恵理 師長が加入した。

外来化学療法室ではリクライニングシート3床を含む15床のベッドを運用し、抗がん薬による治療を中心に、抗がん薬に準じて取扱いに注意を要する自己免疫疾患を持つ患者さまに対する生物製剤薬での治療を行っている。

患者さまとのコミュニケーションを重視した看護を提供しており、副作用についての丁寧な聞き取りや日常生活の指導を看護師および薬剤師が行い、有害事象をCTC-AEに則ったカルテ記載を行い医療スタッフ間の情報共有を図っている。

外来化学療法室に隣接する薬剤調製室に複数名の薬剤師が常駐しており、薬剤調製のみならず、薬剤説明や薬剤指導などの業務を外来化学療法室で行い、副作用対策用の薬剤の提案を医師に積極的に行っている。

外来で新規に開始される内服抗がん薬についての説明も医師の外来診療後に外来化学療法室にて行っている。

医師・看護師・薬剤師がそれぞれの視点から副作用の評価とその対策を行うことでより安全な抗がん薬治療を目指しており、毎朝のミーティング時に他診療科のカンファレンスでの内容の情報共有を図っている。

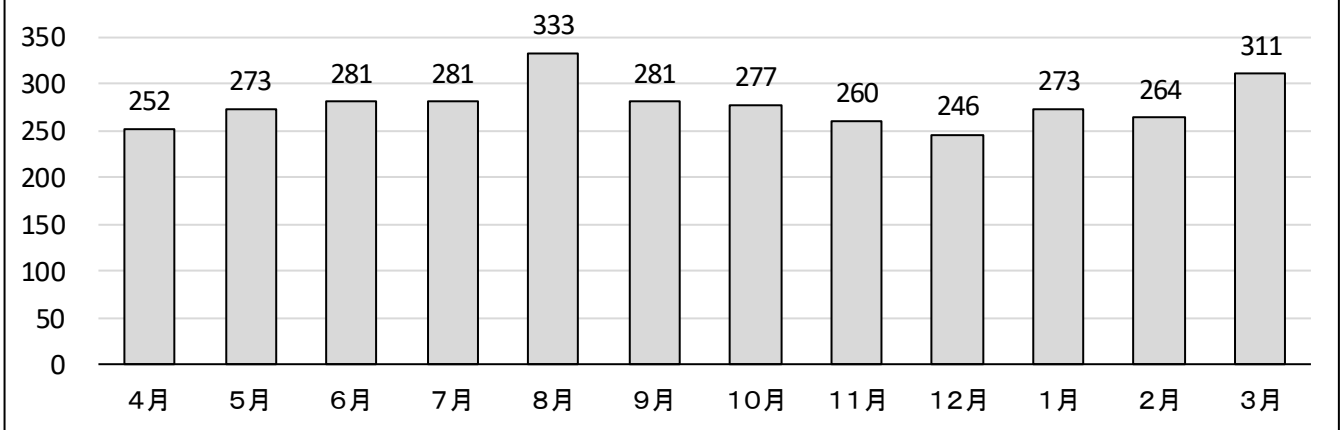
また毎週金曜日に多職種カンファレンスを行い、特に看護の点で問題をお持ちの患者さまの検討会を行っている。

令和1年10月より周術期抗がん薬治療患者を対象に希望者に対して頭皮冷却装置を用いた脱毛予防を行っており、令和4年度は8回行った。

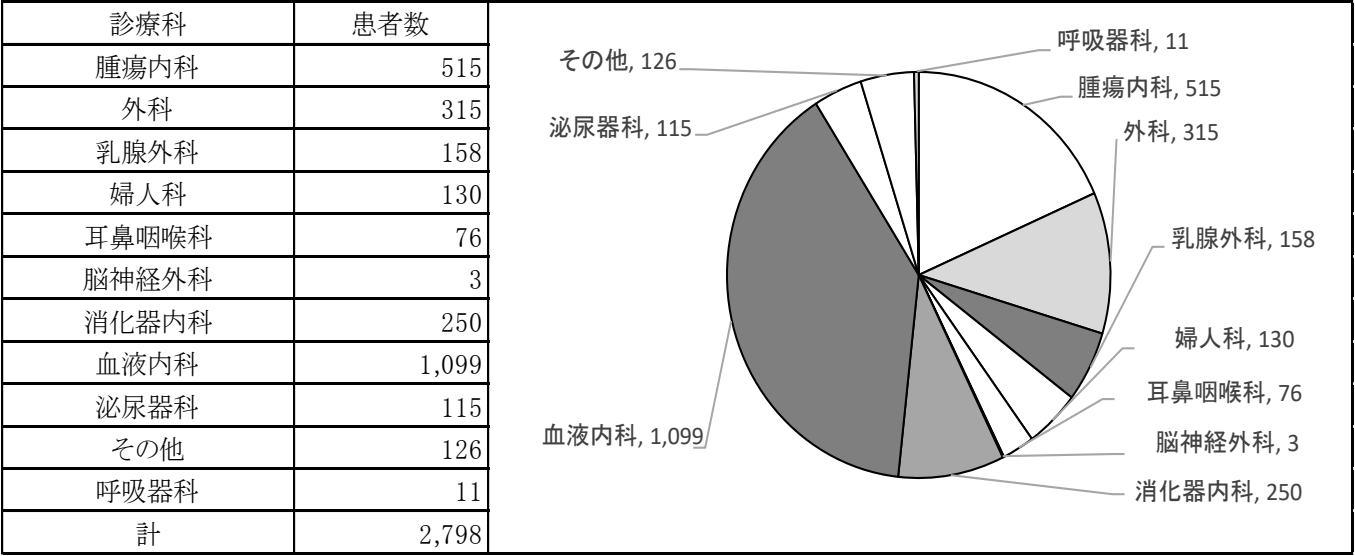
短時間の治療に限り極小数例ではあるが土曜日にも抗がん薬治療を行っている。

多施設共同研究として行っている臨床試験にも多数参加しており、観察研究のみならず、介入研究においても質の高いデータ管理が可能となっている。

2022年度化学療法実施延べ患者数



2022年度外来化学療法室利用のべ患者数



(外科・乳腺外科・婦人科・耳鼻咽喉科の一部・脳神経外科・呼吸器科の患者は腫瘍内科が診療)

[学会発表]

| 会名称            |    | 発表テーマ                                 | 発表者                                           |
|----------------|----|---------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 日時             | 場所 |                                       |                                               |
| 日本内科学会 ことはじめ   |    | 白血球分画と免疫チェックポイント阻害薬の治療効果の関連性          | 富田和輝、古武 剛、十三且也、泉野弘樹、竹下純平、柳原一広 (ポスター発表優秀演題賞受賞) |
| 2022/4/16      | 京都 |                                       |                                               |
| 第62回 日本呼吸器学会   |    | 肺癌薬物療法に伴うirAEの発症状況と治療マネジメントに関する後ろ向き検討 | 竹下純平、天野佑美、十三且也、古武剛、柳原一広                       |
| 2022/4/22-4/24 | 京都 |                                       |                                               |

[症例検討会]

カンファレンス時に検討

[カンファレンス]

- 毎週月曜日 婦人科がん化学療法カンファレンス  
(婦人科・腫瘍内科・薬剤部・12階看護スタッフ)
- 毎週月曜日 消化器がん化学療法カンファレンス  
(消化器・肝胆膵内科・腫瘍内科・薬剤部)
- 毎週火曜日 外科化学療法カンファレンス  
(消化器外科・腫瘍内科・薬剤部・12階看護スタッフ・外来化学療法室看護スタッフ)
- 毎週火曜日 乳腺外科化学療法カンファレンス  
(乳腺外科・腫瘍内科・薬剤部・12階看護スタッフ・外来化学療法室看護スタッフ)
- 毎週火曜日 呼吸器がん化学療法カンファレンス  
(呼吸器センター・腫瘍内科・薬剤部・9階看護スタッフ・呼吸器外来看護スタッフ・リハビリ部・栄養管理室)
- 毎週木曜日 腫瘍内科病棟カンファレンス  
(腫瘍内科・14階看護スタッフ・退院調整看護師・外来化学療法室看護スタッフ・病棟薬剤師・理学療法士・病棟栄養士)
- 毎週金曜日 外来化学療法室多職種カンファレンス  
(腫瘍内科・外来化学療法室看護スタッフ・外来化学療法室薬剤師・30番クラーク)
- 偶数月第1金曜日 外来化学療法室運営委員会  
(腫瘍内科・外来化学療法室看護スタッフ・外来化学療法室薬剤師・30番クラーク)



# 臨床工学部

## 【スタッフ】(R5.3末時)

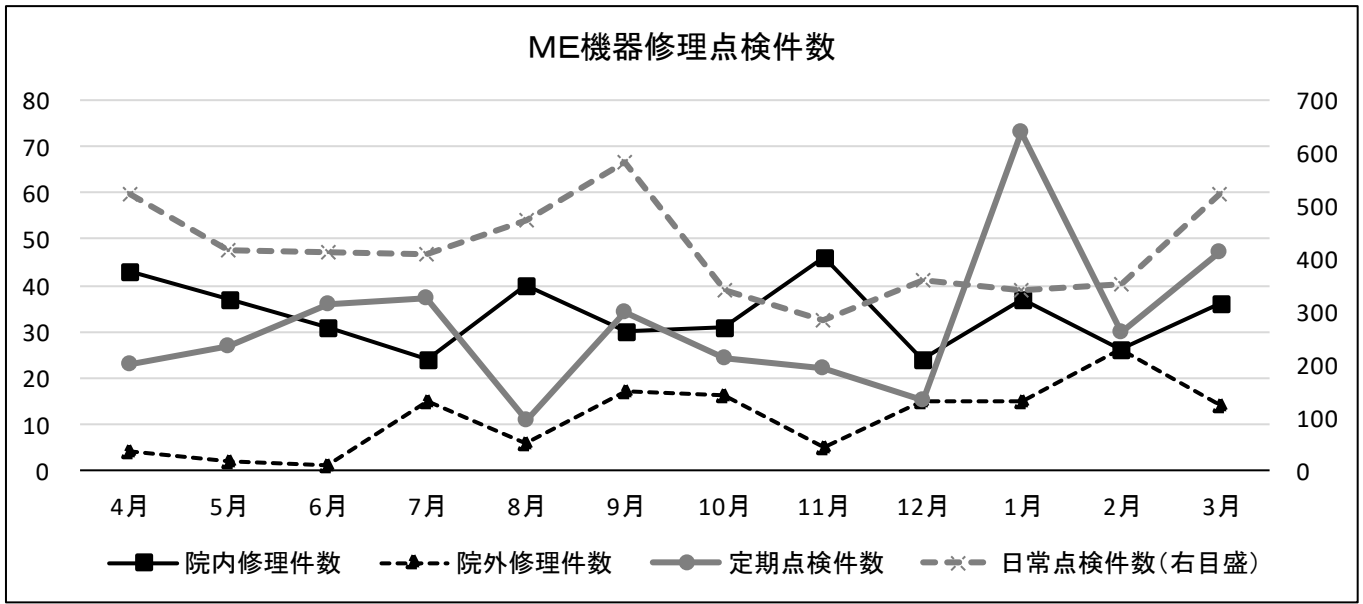
|            |                 |                                                      |  |
|------------|-----------------|------------------------------------------------------|--|
| 部 長:       | 古宮 俊幸(腎臓内科部長兼任) |                                                      |  |
| 臨床工学技士: 主任 | 中西 一秀           | (第2種ME技術認定士、透析技術認定士、医療情報技師、医療機器情報コミュニケーター)           |  |
|            | 城方 宏太           | (第2種ME技術認定士、透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士、消化器内視鏡技師)           |  |
|            | 井上 貴仁           | (第2種ME技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士、体外循環技術認定士、周術期管理チーム認定臨床工学技士) |  |
|            | 岩田 まり           | (第2種ME技術認定士、透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士)                    |  |
|            | 梅田 百合子          | (透析技術認定士)                                            |  |
|            | 伊藤 俊夫           | (第2種ME技術認定士、透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士、体外循環技術認定士)          |  |
|            | 内田 龍大朗          | (第2種ME技術認定士、透析技術認定士)                                 |  |
|            | 梅井 克行           | (第2種ME技術認定士、臨床ME専門認定士、体外循環技術認定士、認定集中治療関連臨床工学技士)      |  |
|            | 泉 樹里            | (透析技術認定士、第2種ME技術認定士)                                 |  |
|            | 田村 直樹           | (透析技術認定士、第2種ME技術認定士)                                 |  |

## 【業務内容】

- ME機器管理業務
- ・院内ME機器把握(データベースによる管理、購入から廃棄まで)
  - ・ME機器メンテナンス業務(始業点検・定期点検・保守・修理)
  - ・ME機器中央管理(バーコードによる貸出・返却管理・使用後点検)
  - ・機器購入時の機器選定

## ME機器修理点検件数

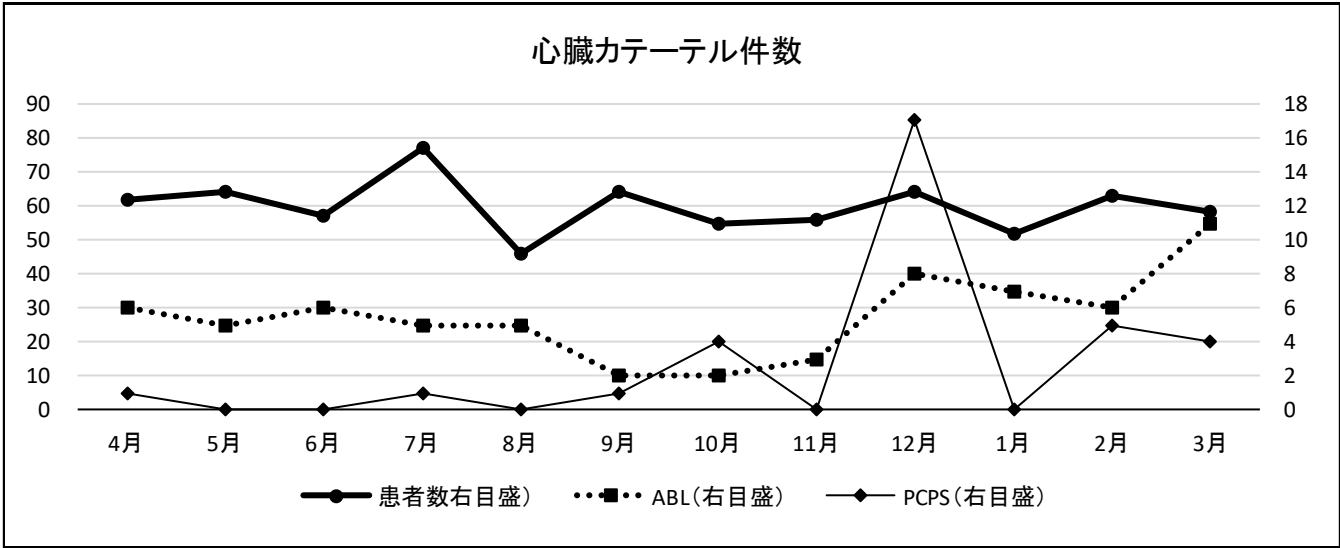
|        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 修理件数   | 47  | 39  | 32  | 39  | 46  | 47  | 47  | 51  | 39  | 52  | 252 | 50  | 741   |
|        | 院内  | 43  | 37  | 31  | 24  | 40  | 30  | 31  | 46  | 37  | 26  | 36  | 405   |
|        | 院外  | 4   | 2   | 1   | 15  | 6   | 17  | 16  | 5   | 15  | 26  | 14  | 136   |
| 日常点検件数 | 524 | 417 | 414 | 409 | 472 | 584 | 339 | 282 | 361 | 342 | 352 | 521 | 5,017 |
| 定期点検件数 | 23  | 27  | 36  | 37  | 11  | 34  | 24  | 22  | 15  | 73  | 30  | 47  | 379   |



- 心臓カテーテル検査室業務
- ・診断カテーテル及び治療、清潔介助
  - ・ペースメーカ植込み時、ペースメーカ外来時のプログラマ操作
  - ・アブレーションでの心内心電図解析装置等の操作
  - ・機器取り扱い(ポリグラフ装置、IVUS、OCT、プレッシャワイヤー、IABP、PCPS)
  - ・清潔物品の管理

心臓カテーテル件数

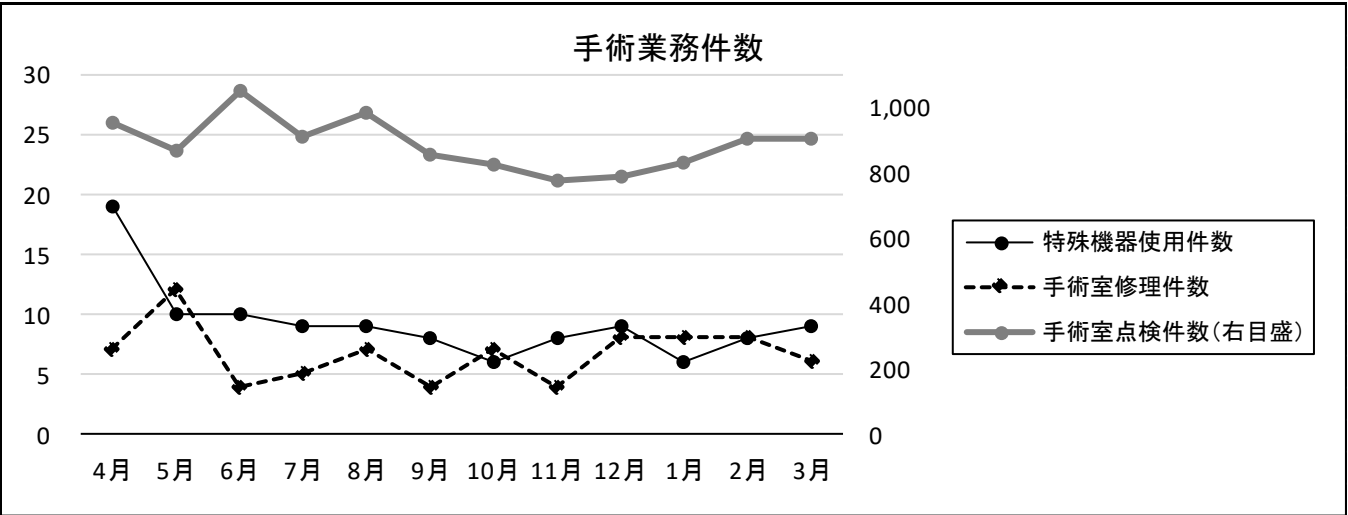
|           | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 総件数 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 患者数       | 62 | 64 | 57 | 77 | 46 | 64 | 55  | 56  | 64  | 52 | 63 | 58 | 718 |
| CAG       | 30 | 30 | 32 | 36 | 21 | 22 | 26  | 31  | 33  | 25 | 30 | 25 | 341 |
| S-G       | 3  | 2  | 6  | 5  | 0  | 6  | 3   | 3   | 7   | 6  | 2  | 3  | 46  |
| FFR       | 12 | 13 | 10 | 13 | 5  | 5  | 3   | 11  | 6   | 6  | 8  | 5  | 97  |
| Ach       | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 2   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 4   |
| PCI       | 16 | 21 | 13 | 20 | 14 | 21 | 18  | 16  | 14  | 8  | 16 | 15 | 192 |
| PTA       | 5  | 4  | 4  | 4  | 4  | 10 | 3   | 3   | 7   | 6  | 6  | 7  | 63  |
| PMI       | 3  | 3  | 0  | 7  | 1  | 2  | 4   | 0   | 0   | 2  | 2  | 1  | 25  |
| ICD/CRT-D | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| EPS       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| ABL       | 6  | 5  | 6  | 5  | 5  | 2  | 2   | 3   | 8   | 7  | 6  | 11 | 66  |
| IABP      | 3  | 2  | 6  | 2  | 1  | 3  | 5   | 0   | 18  | 10 | 35 | 3  | 88  |
| PCPS      | 1  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 4   | 0   | 17  | 0  | 5  | 4  | 33  |
| 心臓ドレナージ   | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 3  | 2  | 1  | 7   |



○手術室業務

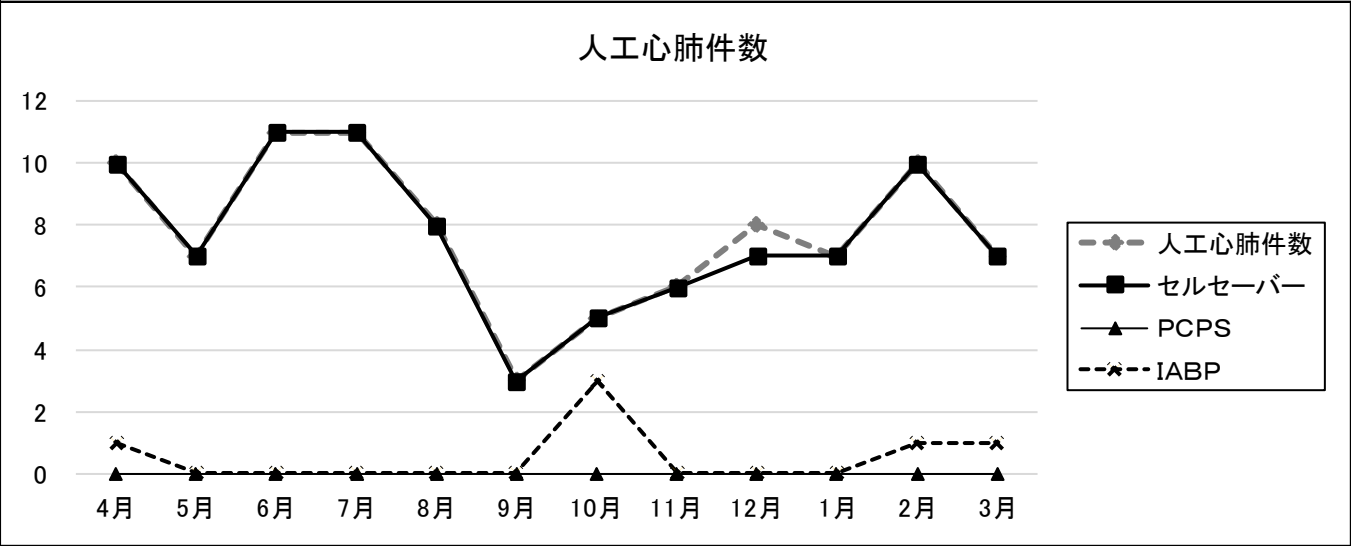
- ・機器セッティング・収納(Ns.との協力)
- ・使用前・使用中の簡易点検
- ・OP中の機器操作(ナビゲーションシステム)
- ・ME機器の修理・定期点検
- ・ペースメーカー植え込み患者の手術時の対応
- ・ME機器の購入・廃棄

|              | 4月  | 5月  | 6月    | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計     |
|--------------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 特殊機器使用件数     | 19  | 10  | 10    | 9   | 9   | 8   | 6   | 8   | 9   | 6   | 8   | 9   | 111    |
| 手術室修理件数      | 7   | 12  | 4     | 5   | 7   | 4   | 7   | 4   | 8   | 8   | 8   | 6   | 80     |
| 手術室点検件数(右目盛) | 951 | 868 | 1,052 | 911 | 983 | 856 | 821 | 773 | 785 | 828 | 905 | 906 | 10,639 |



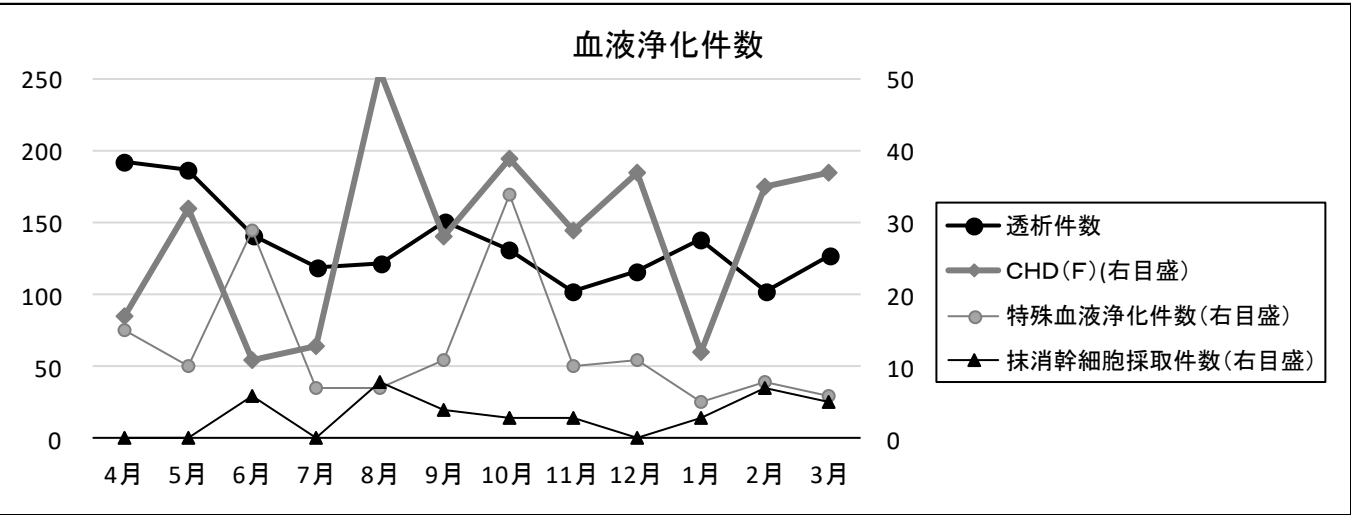
- 人工心肺業務
- ・人工心肺の操作
  - ・自己血回収装置の操作
  - ・補助循環装置の操作

|        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 人工心肺件数 | 10 | 7  | 11 | 11 | 8  | 3  | 5   | 6   | 8   | 7  | 10 | 7  | 93 |
| セルセーバー | 10 | 7  | 11 | 11 | 8  | 3  | 5   | 6   | 7   | 7  | 10 | 7  | 92 |
| PCPS   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| IABP   | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 3   | 0   | 0   | 0  | 1  | 1  | 6  |



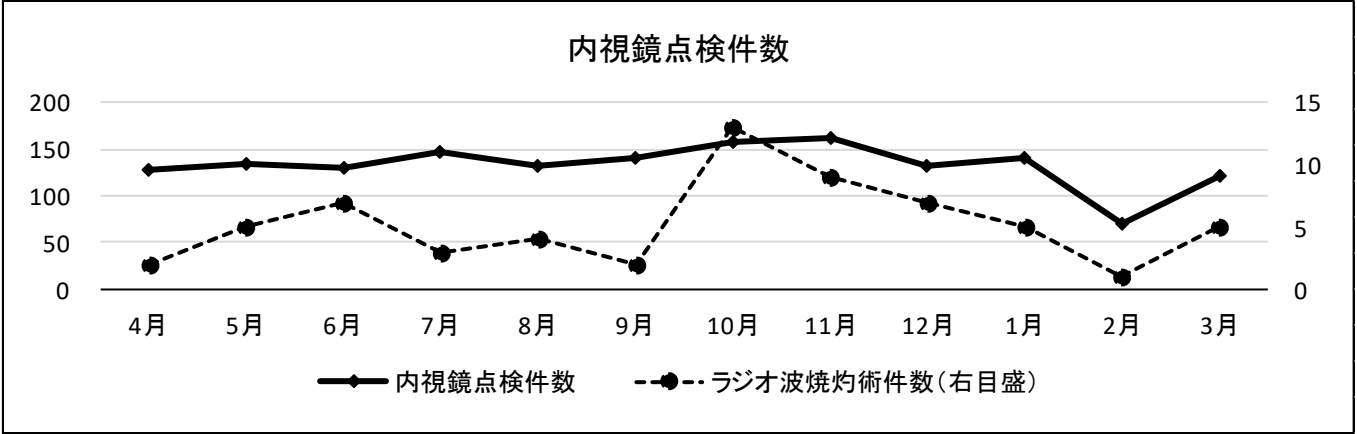
- 血液浄化業務
- ・透析装置の定期保守及び定期点検(オーバーホール・エンドトキシンカットフィルタ交換)
  - ・病棟透析(急性・慢性腎不全)
  - ・エンドトキシン吸着療法(PMX)
  - ・血漿交換療法(PE)
  - ・胸水・腹水濾過濃縮再静注療法
  - ・持続血液濾過透析(CHDF)
  - ・顆粒球吸着療法(GCAP)
  - ・血漿成分吸着療法(PA)
  - ・自家抹消血幹細胞採取(PBSCH)

|                | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 透析件数           | 192 | 187 | 141 | 119 | 122 | 151 | 131 | 103 | 117 | 139 | 103 | 127 | 1,632 |
| CHD(F)(右目盛)    | 17  | 32  | 11  | 13  | 51  | 28  | 39  | 29  | 37  | 12  | 35  | 37  | 341   |
| 特殊血液浄化件数(右目盛)  | 15  | 10  | 29  | 7   | 7   | 11  | 34  | 10  | 11  | 5   | 8   | 6   | 153   |
| 抹消幹細胞採取件数(右目盛) | 0   | 0   | 6   | 0   | 8   | 4   | 3   | 3   | 0   | 3   | 7   | 5   | 39    |



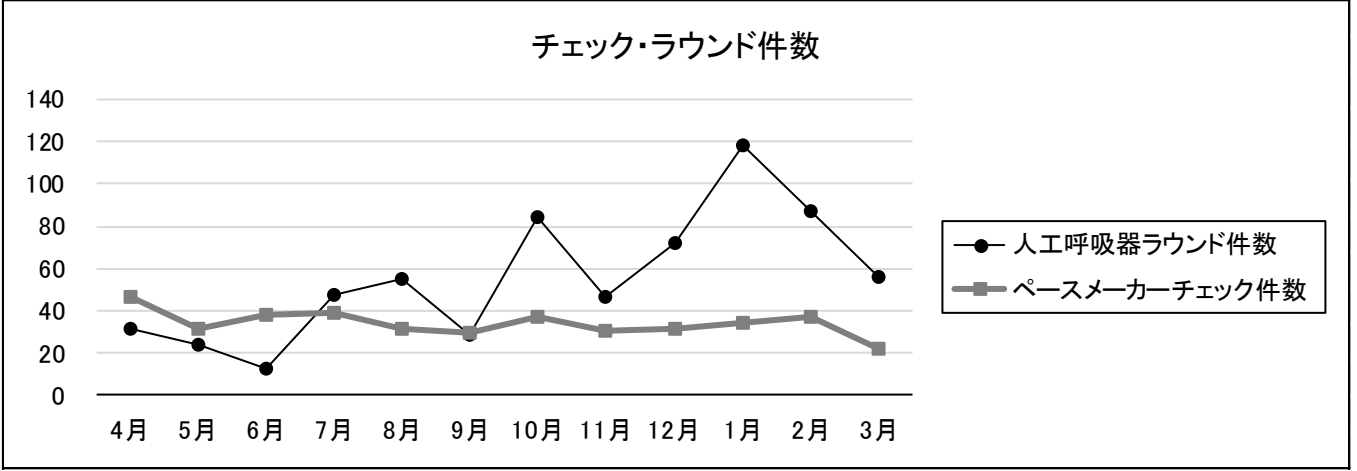
- 内視鏡業務
- ・内視鏡室内のME機器の保守管理
  - ・検査開始前の内視鏡システム及びファイバースコープのセッティング・点検
  - ・RFA時の機器操作
  - ・ME機器についての知識や取扱い上の注意点のアナウンス

|           | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月  | 合計    |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-------|
| 内視鏡点検件数   | 128 | 135 | 130 | 146 | 133 | 141 | 157 | 161 | 131 | 141 | 71 | 122 | 1,596 |
| ラジオ波焼灼術件数 | 2   | 5   | 7   | 3   | 4   | 2   | 13  | 9   | 7   | 5   | 1  | 5   | 63    |



- ラウンド・チェック業務
- ・人工呼吸器のラウンド後悠
  - ・ペースメーカーのチェック業務

|               | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 | 合計  |
|---------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|
| 人工呼吸器ラウンド件数   | 32 | 24 | 13 | 48 | 55 | 29 | 84  | 47  | 72  | 118 | 87 | 56 | 665 |
| ペースメーカーチェック件数 | 47 | 32 | 38 | 39 | 32 | 30 | 37  | 31  | 32  | 34  | 37 | 22 | 411 |



【院外活動】

北摂ME研究会 執行委員:中西一秀  
 北摂ME研究会 委員:岩田まり

【学会発表・参加実績】

| 会名称           |          | 参加形態・発表テーマ                           | 発表者    |
|---------------|----------|--------------------------------------|--------|
| 日時            | 場所       |                                      |        |
| 第61回生体医工学会大会  |          | 口頭発表・血液透析におけるシャント血管血流の血管抵抗指数と再循環率の関係 | 梅井 克行  |
| 2022.6.28～30  | 新潟・朱鷺メッセ |                                      |        |
| 第67回日本透析医学会   |          | 参加                                   | 梅田 百合子 |
| 2022.7.1～3    | パシフィコ横浜  |                                      |        |
| 第28回近畿臨工会     |          | 参加                                   | 梅田 百合子 |
| 2022.10.9     | WEB開催    |                                      |        |
| 第43回日本アフェシス学会 |          | 参加                                   | 梅田 百合子 |
| 2022.11.11～12 | ホテル日航金沢  |                                      |        |

[論文]

| 著者   | タイトル                                                                            | 掲載誌名                                                                                                  |       |
|------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
|      |                                                                                 | 掲載号・ページ                                                                                               | 掲載年   |
| 梅井克行 | Relationship between resistance index and recirculation rate in vascular access | Renal Replacement Therapy                                                                             |       |
|      |                                                                                 | DOI <a href="http://doi.org/10.1186/s41100-022-00446-z">http://doi.org/10.1186/s41100-022-00446-z</a> | 2022年 |

[院内研修会参加実績]

| 開催日        | 講演内容                            | 講師          | 対象          |
|------------|---------------------------------|-------------|-------------|
| 2022/4/25  | 生体情報モニタ                         | GEヘルスケア     | Dr. Ns, 栄養士 |
| 2022/6/17  | VIROVAC取扱い講習会                   | 日本メディカルネクスト | 看護師         |
| 2022/7/9   | 麻酔器とモニタの基礎                      | 井上貴仁        | OP室看護師      |
| 2022/7/23  | 人工呼吸器の使用方法和トラブルシューティング 除細動器の使用法 | 井上貴仁        | OP室看護師      |
| 2022/8/2   | 麻酔器とモニタの基礎                      | 井上貴仁        | OP室看護師      |
| 2022/8/23  | 除細動器の使用法                        | 井上貴仁        | OP室看護師      |
| 2022/9/22  | 人工呼吸器の使用方法和トラブルシューティング          | 井上貴仁        | OP室看護師      |
| 2022/9/30  | 外科オリンパス3Dスコープ                   | オリンパス       | CE OP室看護師   |
| 2022/10/1  | PBベンチレータ技術講習会                   | コヴィディエン     | CE          |
| 2022/10/22 | PBベンチレータ技術講習会                   | コヴィディエン     | CE          |
| 2023/3/28  | HAMILTON-C6 使用説明会               | 日本光電        | ICU看護師      |

# 看護部

## 【役職者】

看護部長： 鎗野 りか  
副 部 長： 副部長：西井弘美、吉田幸子、山口友子、大石勝美、中野あずさ、 石田紀代美（大阪府看護協会出向）  
看護師長： 木村めぐみ、舩山夏菜、中奥 彩、福田順子、福岡麗子、大門和枝、平井恵利、中山絵梨、  
杉本明子、寺村聡恵、大田和美、三浦日登美、西川恵里、西野ミチル、岡崎はるみ、山内弥生、  
大山裕子、小栢美雪、生田美也子（3/16定年退職）

## 【認定資格】

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| ① 認定看護管理者     | 5名（鎗野りか、西井弘美、山口友子、吉田幸子、大石勝美） |
| ② 日本看護協会専門看護師 |                              |
| ・がん看護         | 2名（石村 愛、服部 悦子）               |
| ・慢性疾患看護       | 1名（河野千尋）                     |
| ③ 日本看護協会認定看護師 |                              |
| ・がん化学療法看護     | 2名（松本里佳、梅本由里子）               |
| ・救急看護         | 2名（大田和美、伊志嶺典加）               |
| ・感染管理         | 2名（大石勝美、小栢美雪）                |
| ・皮膚・排泄ケア      | 2名（西口裕子、岸本諭美）                |
| ・脳卒中リハビリテーション | 2名（森田由紀子、遠山真紀）               |
| ・がん性疼痛看護      | 1名（市原しのぶ）                    |
| ・緩和ケア         | 1名（鎗野りか）                     |
| ・手術看護         | 1名（山本沙都子）                    |
| ・糖尿病看護        | 1名（面谷智子）                     |
| ・集中ケア         | 2名（三木寛之、時田良子）                |
| ・認知症ケア        | 2名（梅原裕美 杭谷美絵子）               |
| ・摂食・嚥下障害看護    | 1名（中山絵梨）                     |

## 【看護体制】

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| ① 一般病棟入院基本料   | 7対1                                |
| ② 急性期看護補助体制加算 | 25対1                               |
| ③ 看護職員夜間配置加算  | 12対1                               |
| ④ 特定入院料算定病床   | ICU、HCU、回復期リハビリテーション病棟 17階（回復期リハ1） |
| ⑤ 看護方式        | 固定チームナーシング＋継続受持ち制                  |
| ⑥ 勤務体制        | 2交替制                               |

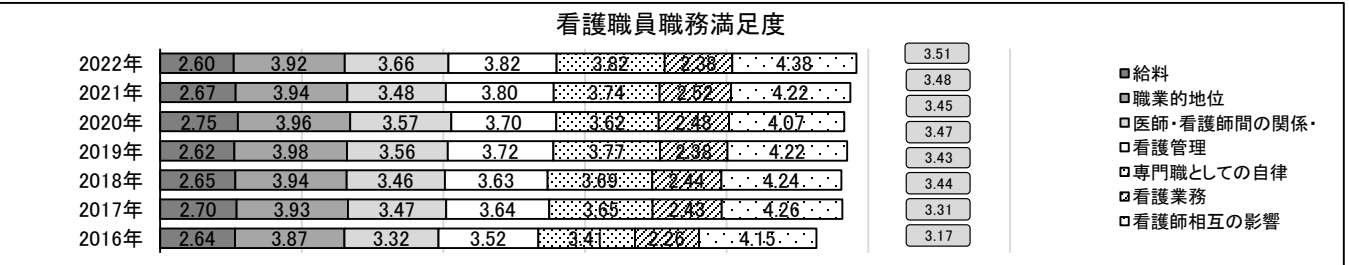
## 【看護部の活動実績】

### 1. 目標管理と人事考課制度

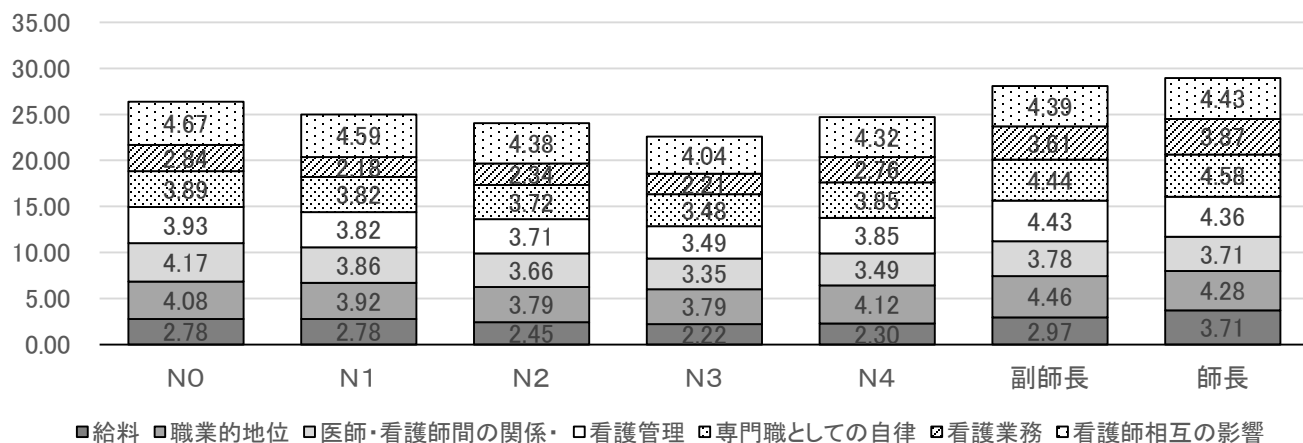
2015年4月に元来の評価基準を見直し、評価制度を再構築、2016年度より看護補助者・病棟クークの業務評価表を作成し、人事考課制度に反映させた。管理者が評価内容を共通理解し、適正な評価が行えるよう各管理者会議で継続的な取り組みを行い、多面評価を行うことで評価者の育成にも繋げてきた。2022年度は人材育成の観点から、目標管理の在り方について全容の見直しを図った。主任は部署目標から固定チームナーシングにおけるチームの戦略マップを作成し、チーム運営に意図的に参画する仕組み作りを行った。担当の副部長が方向性を確認・助言し、部署運営に繋がる活動となるようサポートした。年間を通し管理者・主任が一体となり、部署目標達成に向けて取り組む体制が整備できた。同時に職員の負担緩和にも着目し、「貢献度評価」に繋がる「目標管理評価シート」の見直しを図り、下期より使用を開始した。また「態度評価」では、評価視点において評価項目数が異なる為、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力である 社会人基礎力に着目し、能力枠組みの考えを態度評価に含め改訂した。2023年度より使用を開始する。

### 2. 職務満足度調査の実施

Stampsの職務満足度測定尺度を用い、看護職員に職務満足度調査を実施して9年目となる。「総合」は昨年度「3.48」から「3.51」に上昇。「医師・看護師間の関係」「専門職としての自立」「看護師相互の影響」が著しく上昇をしていたことより、コミュニケーションを通じた職場環境が整ってきていると考える。しかし、「看護業務」に関しては下降、COVID-19による様々な業務の追加などが影響していることが予測された。次年度に向けて、業務整理と共に改善に向けた取り組みが必要である。



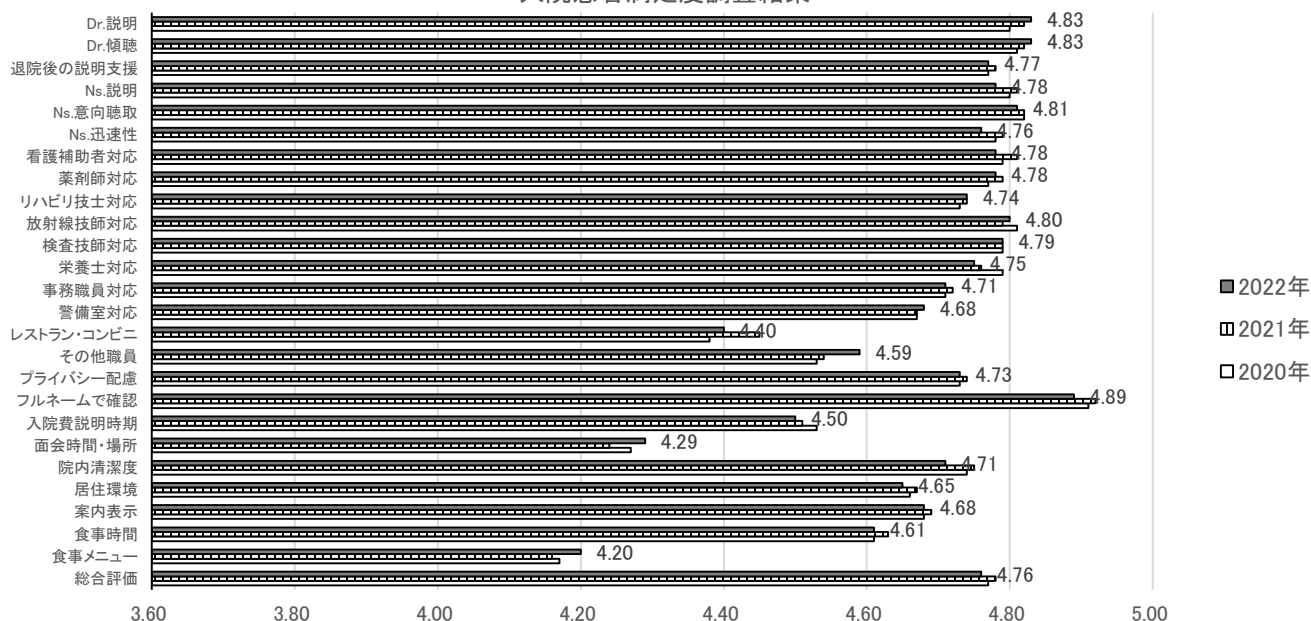
SL毎因子別職務満足度



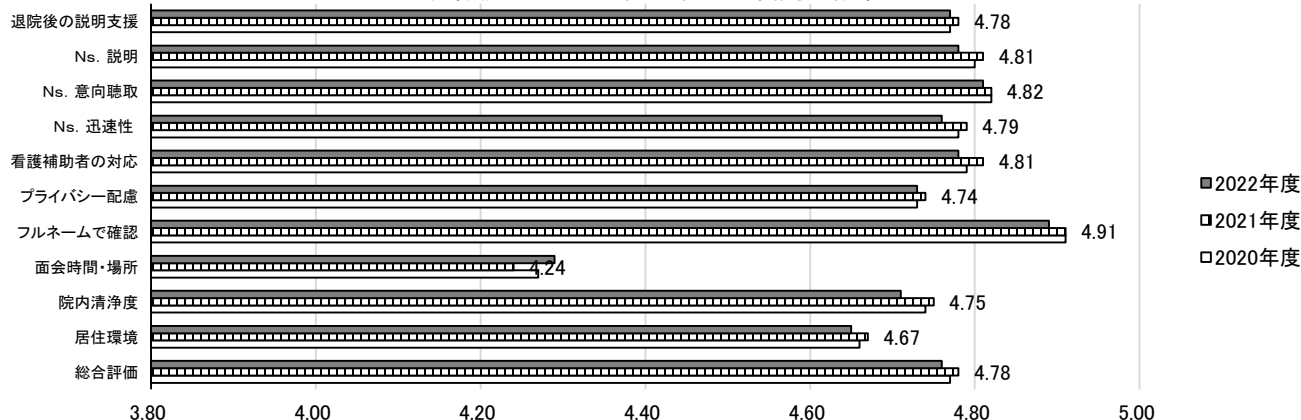
### 3. 入院患者満足度調査の実施

接遇向上委員会・看護サービス委員会を中心にデータの収集・検討を行い、質向上のための取り組みを行っている。看護部門に関する項目は「総合評価」「居住環境」「院内清潔度」「面会時間・場所」「フルネーム確認」「プライバシー配慮」「看護補助者の対応」「迅速性」「意向聴取」「説明」「退院後の説明支援」であるが、COVID-19感染症対策が3年目を迎える中、面会制限などの影響を受けることを前提に対策を講じたことで、「面会」に関しては前年度より上昇した。しかし、年間を通しコロナ患者の増加、職員の罹患など一時的に人員が手薄になったことで「居住環境」「院内清潔度」は低下し、その他の満足度も前年度より全体的に低下した。

入院患者満足度調査結果



目標値からみた入院患者満足度調査結果



4. 看護体制

2015年4月より看護提供方式を「固定チームナーシング」に変更したが、固定チームナーシングに対する本質的な理解の不足があるため、師長会・副師長会にて継続的に理解を深める活動を行い、安全に安定した看護提供ができる体制を強化している。また、部署の状況に応じた機能別看護の実践を計画し、有事に備えた看護提供体制の構築に向けた取り組みを行っている。

5. DiNQL(労働と看護の質向上のためのデータベース)事業への取り組み

2012年度より日本看護協会が取り組んでいるDiNQLへ参加し、5病棟(9階、10階、12階、14階 15階)から開始し、2015年度より全部署(ICU、9～17階)が参加している。データ入力には看護部副看護部長と専従活動をしている認定看護師が実施。2022年度参加病院数は362病院3,570病棟である。

6. 業務量調査の実施

2015年度より業務量調査を開始し、8年目となる。調査内容は2010年、大阪府看護協会職能委員会が作成した「看護業務区分表」に準じ、今年度看護行為分類の不明瞭な項目を具体化し提示した。調査方法は10分毎に業務内容を調査、調査日は10月、2月の第2水曜日は変更せず。各部署でデータを基にした業務分析を行い、エビデンスに基づいた業務改善と評価を行い、看護記録は業務全体の12.3%から9.28%、申し送り時間は今年度10月12.2%から2月10.9%へと減少、併せて看護補助者の業務内容の変更につなげることができた。また、固定チームナーシングをデータに基づいて評価することを目指し、今年度の2022年度の調査結果の分析から、固定チームナーシングにおける看護師の役割を基準化した。リーダー業務においては、薬剤業務が16.7%を占めており、薬剤関連業務の負担が増えている。さらなる業務改善に向けて、薬剤業務の負担軽減に関する検討や、就業前残業の減少など、部署の特性に応じた業務改善を進めていく。

7. 人員体制

2022年度昇格者、副看護部長1名、看護師長3名、副看護師長7名、看護主任11名

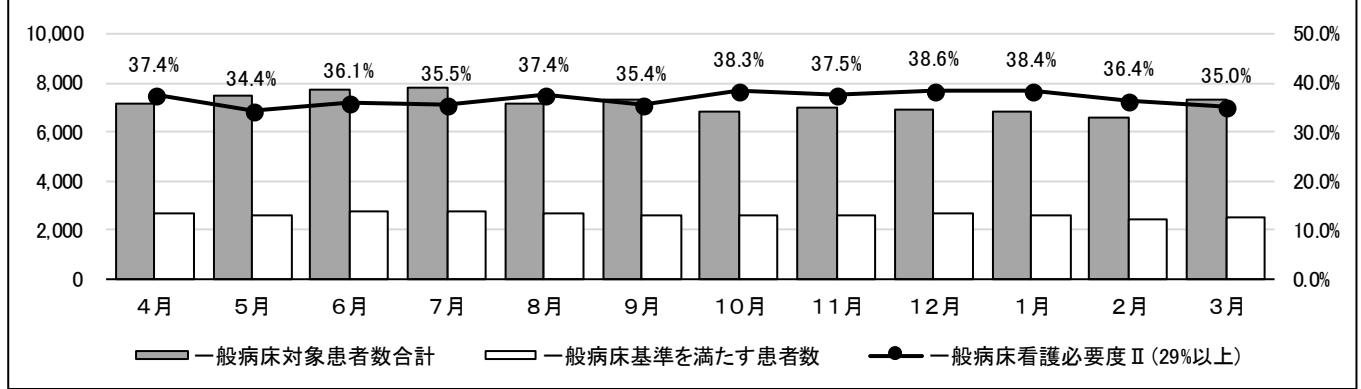
8. 入退院支援

入院前～退院後の生活を見据えた支援が実施できるシステム運用の定着、病棟や外来、在宅療養支援者との連携、入退院支援に必要な情報の聴取により支援内容についてアセスメントできるスタッフの育成、適切なコスト算定の実施などに向けて活動した。入退院支援は入院患者の約47%に介入できており、退院困難な要因について幅広く捉えて介入し、入院時支援の情報の活用や病棟との連携を行うことで支援漏れはなかった。入院時支援は予約入院患者における退院支援介入の55%に介入できた。入退院支援計画は患者や、家族の意向に沿って療養先や生活に対する希望を元に立案されており、患者満足アンケート結果Q3退院支援:4.77と前年と同評価を維持出来た。外部との継続看護について、前年度から課題として取り組んだ看護情報提供書を完成し活用出来た。今年度より指導パンフレット管理を退院支援委員会で行うことになり、療養生活を支えるという支援で必要なパンフレットの作成など慢性期ケア委員会と連携し、検討していく予定である。診療報酬改定により入退院支援加算が700点になり、前年より約360万円増収となった。

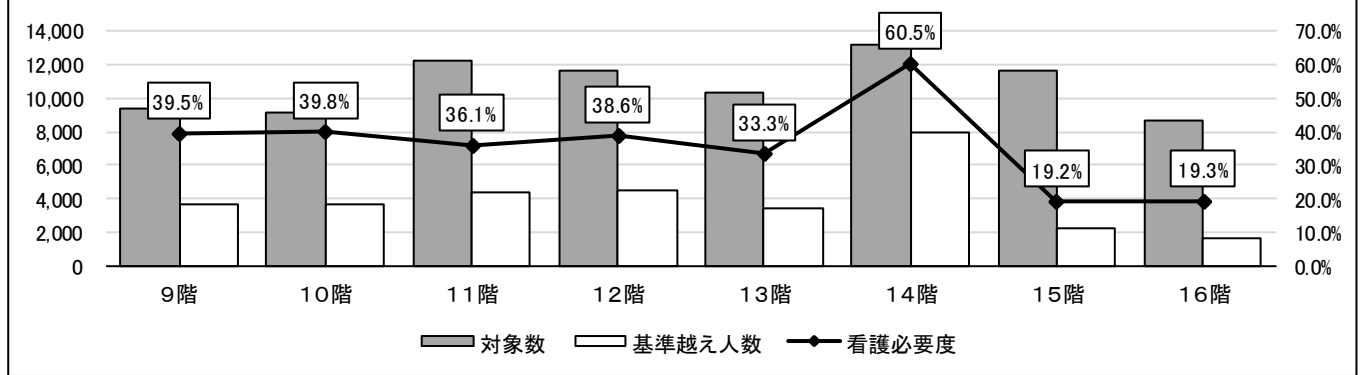
9. 患者状況

必要度の平均は36.6%であり、昨年度と大きな変化を認めることなく経過した。

2022年度月別重症度、医療・看護必要度状況



一般病棟毎看護必要度Ⅱ





10. 病床管理状況

1) COVID-19陽性者の入院病床確保に伴い、病床変更を実施。病床変更の時系列を以下に示す。

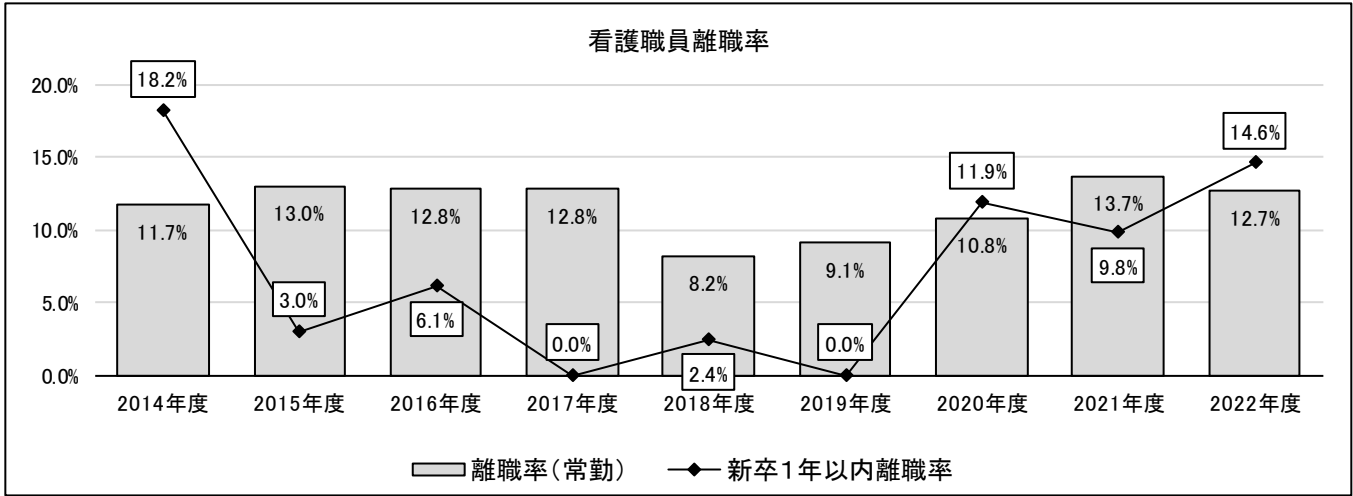
|              |                                                                        |
|--------------|------------------------------------------------------------------------|
| 2022年度2月14日～ | 20床へ減床<br>内訳:重症1床(ICU)、中等症19床(11階・12階・13階・15階各1床、9階8床、16階各7床)          |
| 5月8日～6月30日   | 19床へ減床<br>内訳:重症1床(ICU)、中等症18床(15階・14階各1床、11階・12階・13階・15階各2床、9階・16階各5床) |
| 7月1日～8月31日   | 40床へ増床<br>内訳:重症2床(ICU)、中等症38床(10階・11階・12階・13階・14階・15階各2床、9階・16階各13床)   |
| 9月1日～        | 20床へ増床<br>内訳:重症1床(ICU)、中等症19床(11階・12階・13階各2床、15階・14階各1床、9階・16階各5床)     |
| 2022年度2月14日～ | 20床へ減床<br>内訳:重症1床(ICU)、中等症19床(11階・12階・13階・15階各1床、9階8床、16階各7床)          |

2) VREの発生に伴う入院制限

14階病棟にて9月3日～10月11日、12階病棟にて9月17日～10月3日の期間、入院制限を行った。その間、14階、12階病棟入院中患者へのスクリーニングと病棟全体のUV照射を実施。入院制限解除後は、新たな発生は認めず経過。

11. 看護職員状況

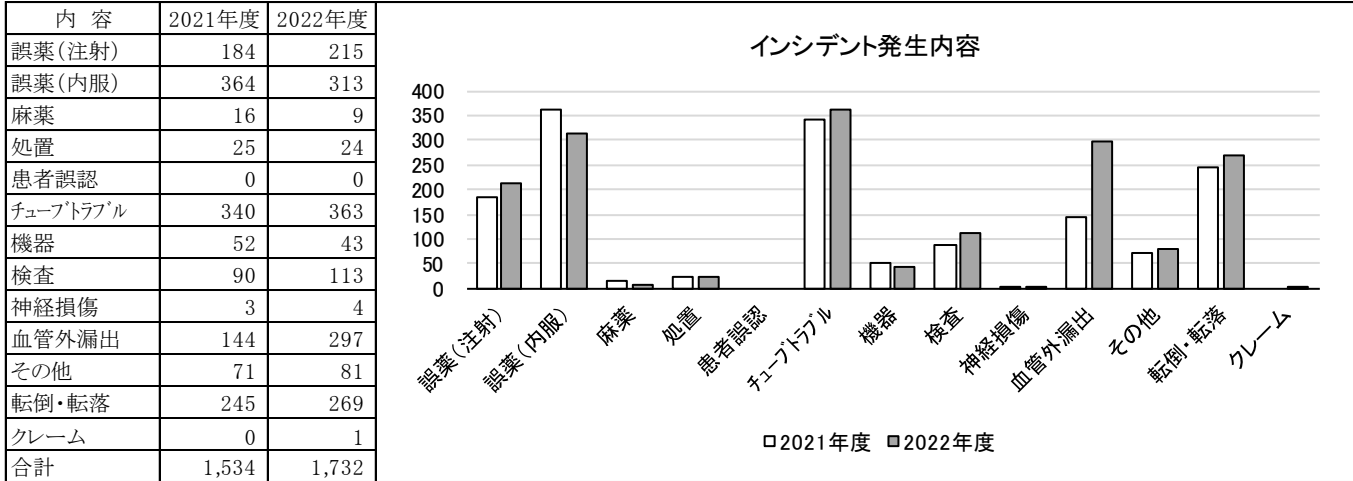
2018年度を最低値として以降、離職率は増加傾向にあるが、概ね全国平均である。新人の離職は、2019年度は離職がない状態であったが、2020年度から続くCOVID-19影響により同じく増加傾向となっており、2022年度の新人は、学生の時期に臨地実習の機会がほとんどなく就職をしたことや人との交流の場が制限されたことなどの影響から、看護師という職業になじめず1年以内の離職が上昇した。



12. 看護の質評価

1) 医療安全

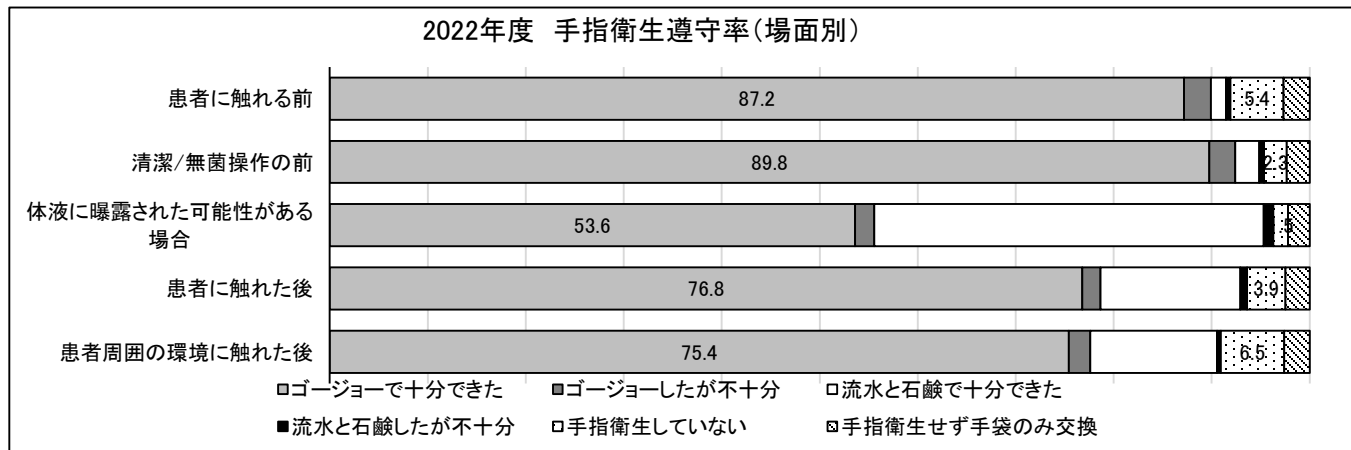
院内インシデント発生件数は1,855件、その内看護職の発生件数は1,732件であり、前年度から195件増加した。3b以上の重大事象の発生件数は9件であり、前年度から5件増加した。発生件数増加の要因は血管外漏出の報告の推進であり、新たな事象が増加したものではないと考える。3b以上の事象は、誤嚥、転倒による骨折、チューブトラブルであり前年同様の傾向であった。高齢者のインシデントはせん妄に関連することが多いため、せん妄ケアのさらなる充実が課題である。また、血管外漏出は報告件数増加により発生予防策に関する課題が明確になったため、マニュアル改訂を行った。3b以上の事象の低減については、数値目標を掲げてマニュアル改訂、インシデントの予測・予防に関する教育、具体的行動の共有を行った。次年度も引き続き、せん妄予防対策の充実とインシデントを予測・予防する能力の向上に向けて働きかける。



## 2) 感染防止対策

### (1) 手指衛生遵守率 90.3% 観察回数:52,493回

昨年度に引き続き看護部目標として手指衛生遵守率100%が掲げられ、達成と感染対策の質向上に向け部門全体で取り組む事ができた。手指衛生直接観察活動を導入し、約4年を経て直接観察を実施する活動が定着し、最も多い観察回数となった。下記グラフの通り「実施できた」割合が半数以上を占めるが、「実施していない」「手指衛生せず手袋交換」も観察されているため、引き続き観察結果のフィードバックとともに改善するための具体策を検討し、活動を継続する必要がある。次年度は、手指衛生遵守の質が高められる活動の推進が課題である。

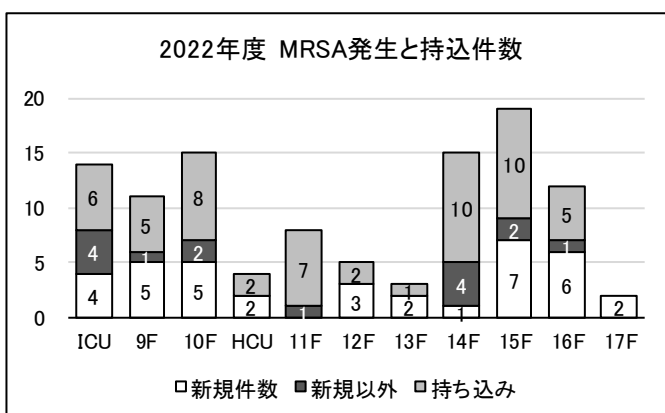
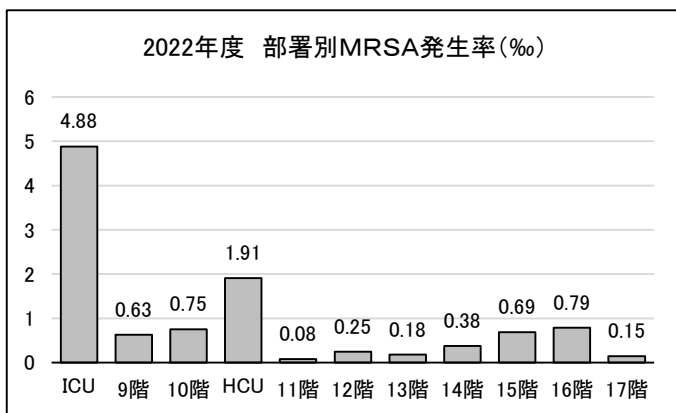


### (2) 耐性菌サーベイランス(MRSA)

発生率: 0.49‰(前年度:0.41) 、新規検出率: 0.33‰(前年度:0.29)

昨年度と比較すると発生率が上昇。アウトブレイクの発生なし。

今年度よりPOT (PCR-based ORF Typing) 法を導入し、MRSAの院内拡大を疑う事象が確認された。速やかに当該部署と情報共有の上、感染制御対策の検討を実施することができた。院内感染拡大によるアウトブレイクの徴候を察知し、拡大防止策として非常に有用である。引き続き耐性菌サーベイランスを継続の上、アウトブレイク発生防止に努める。



### (3) 新型コロナウイルス感染症対策

昨年度に引き続き、発熱外来、フォローアップセンター等からのCOVID-19患者の受入対応を継続。レッドゾーンを確保すると共にそれ以外の病棟でも陰圧個室を活用し感染防止策を徹底の上看護提供を実践した。陽性が確定している患者からの明らかな感染拡大事象は確認されず、入院時全患者スクリーニングを導入していたことで持込事例を察知することができた。一方で入院数日後に発症する事例が複数例あり、同部署内による患者および医療スタッフによるクラスターが発生し新規入院を中止した事象も発生した。都度、接触者調査と定期スクリーニングの実施と並行し、部署での感染拡大防止策の徹底が行われ感染拡大を最小に抑えることができた。医療施設以外では、感染防止策の規制緩和策が随時提案される中で、院内では感染対策徹底の継続が必要であることを認識し、マスク、フェイスシールド装着を必須とし、標準予防策を遵守するよう啓発を継続した。

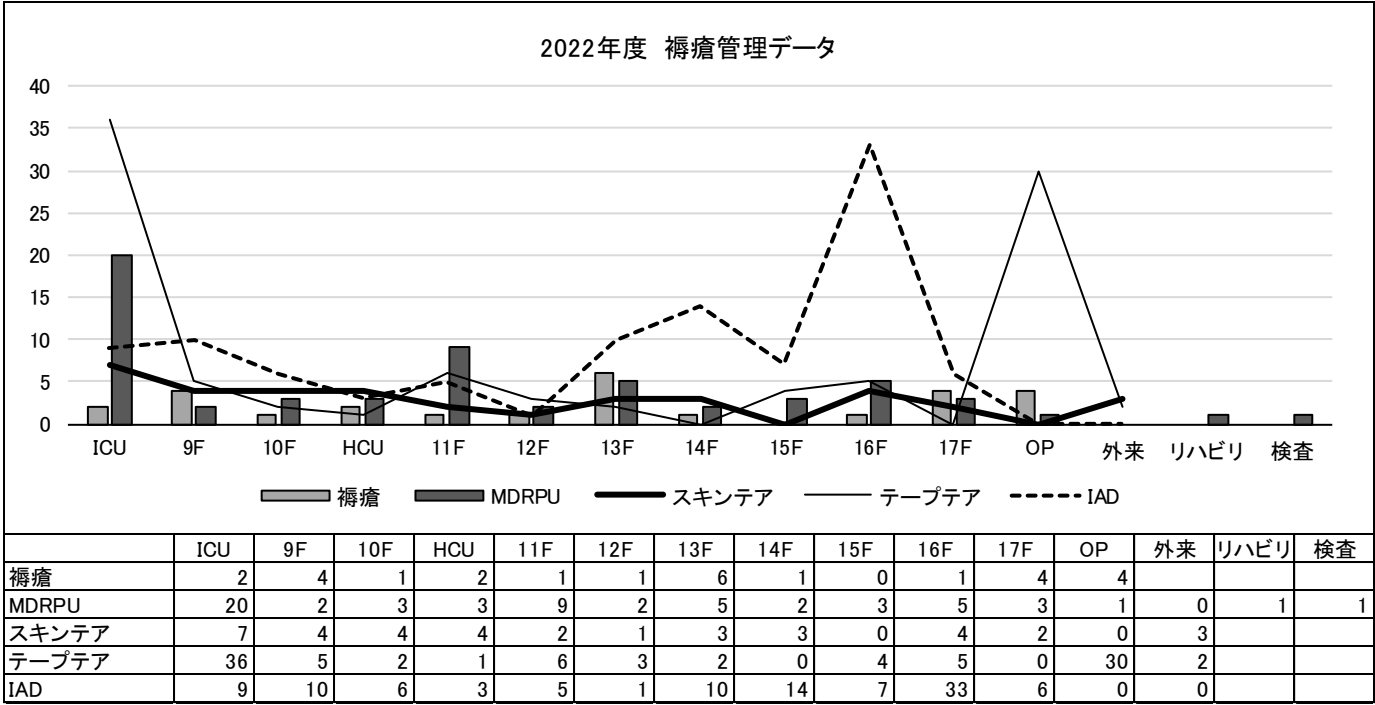
第7波の8月以降陽性者、濃厚接触者共に増加。3月までの陽性者数は134名、陽性者の就業制限日数が1027日、濃厚接触者は延べ82名、就業制限日数が301日に達した。就業制限に伴う業務ひっ迫に対して、看護方式を固定チームナースから機能別看護に切り替え、更に部署間の応援体制を強化し、職員の感染者数増加に伴う病棟閉鎖を行うことなく流行期を乗り越えた。

### 3) 褥瘡対策

(1) 褥瘡発生: 27件(Ⅱ度以上: 0件: d1=14件、d2=13件)、MDRPU62件、スキンテア36件、テープテア95件、IAD104件。

2022年度は2021年度と比較し褥瘡発生が低下した。低減した要因は、ICUの褥瘡発生件数の低減が大きく影響している。IADから褥瘡への移行0件、発生件数増加はテンプレート運用が1年経過し、スタッフのIADの認知度と予防対策が定着したためであると考えられる。発生部位は、肛門周囲33%・臀部37%・陰囊部27%・鼠径部3%であり、発生時の皮膚状態は発赤67%・糜爛33%であった。鼠径部での発生はおむつが正しく着用されておらず発生に至っている。MDRPUに関しては、膀胱留置カテーテル、弾性ストッキング、装具など2021年度と変わらないが、セラピストが関与し

ての発生が3件あった。テープテアは、水疱・表皮剥離での発見が多く早期治癒に繋がっている。  
2022年度褥瘡発生患者の特徴は2021年度時と同様で、①75歳以上②呼吸状態悪化③頭側挙上④おむつ着用⑤状態変化時早期警戒スコア(NEWS)4点以上の5項目であった。また、2021年度と同様ずれ除去不足によって発生した判断応力による発生が多い。踵部での発生も多く体幹のポジショニングはできているが、下肢の対策と観察が不足していることが2022年度明確となった。



(2)褥瘡予防対策  
①褥瘡予防ラウンド

毎週金曜日の褥瘡回診時に、各リンクナースが部署内で褥瘡発生リスクが高いと考えた症例を提示し、多職種で包括的に褥瘡予防対策を検討している。検討した症例に関してリンクナース間で共有し自部署での対策活用ができる工夫が必要である。COVID-19感染拡大による緊急事態の環境により、感染対策の観点から患者のベッドサイドでのカンファレンスは開催できなかった。そのため、他職種で創部状態が把握できるよう褥瘡カンファレンス議事録・患者リストに創部写真を提示し、多職種による予防対策検討を実施した。また、今までは褥瘡発生のみ記載であったが、院内に定められている皮膚障害全てを一覧で表記しチームで改善策・予防対策を検討することができた。

②褥瘡ハイリスクケア加算算定件数

リンクナースと共に各病棟のハイリスク該当患者の共有を行い加算に繋げた。その結果、加算件数が 件と2021年度と比較し増加した。各病棟毎にリンクナースが中心となり抽出することで、看護計画の見直しやベッドサイドでのケアカンファレンスができた皮膚障害予防や悪化予防対策に繋げることができたため継続する。

4)看護関連の外来

| 外来名       | 実施日        | 開始時期      | 実施件数   | 前年度比 |
|-----------|------------|-----------|--------|------|
| フットケア外来   | (水・木曜日午後)  | 2009年5月～  | 384件   | △43  |
| ストーマケア外来  | (月・水曜日午後)  | 2011年4月～  | 184件   | △1   |
| 呼吸ケア外来    | (月～金曜日午前)  | 2014年9月～  | 178件   | △6   |
| 糖尿病療養指導外来 | (月～金曜日午前)  | 2011年9月～  | 554件   | △129 |
| 糖尿病透析予防   | (月～金曜日午前)  | 2012年4月～  | 1,153件 | ▲177 |
| リンパ浮腫ケア外来 | (月・木 午後)   | 2012年2月～  | 77件    | △77  |
| PRRT外来    | 月曜日14時、15時 | 2021年10月～ | 27件    | △16  |

\*リンパ浮腫相談外来は、リンパ浮腫ケア外来に名称変更

\*PRRT外来は、初回もしくは他院からの患者のみ実施

13. 教育に関する取り組み

1) クリニカルラダー

- ・2022年度末のレベル申請者54名(新人・1年未満の中途採用者除く)、申請者全員が認定を受けた。  
認定内訳はレベルⅡ:27名、レベルⅢ:16名、レベルⅣ:10名。
- ・教育は、現任教育委員を中心としたラダー別研修を実施。専門看護師、認定看護師を中心に、研修動画を作成し配信を実施。
- ・看護研究では研究計画書倫理審査時より支援を行い、発表に繋げている。発表会開催後に発表演題への音声入力を依頼し、1か月間の配信を実施した。配信に対しては、スタッフより高評価を得ることができた。

2) 新人看護師研修

- ・年間教育計画を立案、予定通り研修を実施。COIVID-19による臨地実習未経験者が多く不安も大きかったことから、集合教育にて基本的看護技術（バイタルサイン、体位変換、移送、清拭、おむつ交換、口腔ケア）を実施。その後に病棟ローテーション研修を2週間2クール経験した後に、病棟配属とした。
- ・新人看護師到達指標では、9ヶ月で★Ⅰ・Ⅱの100%達成を目標に掲げ、取り組んだ。その結果、技術的側面の9ヶ月習得は★印Ⅰ：99.3%、★印Ⅱ：95.5%であった。1月以降に重症患者の看護に重点をおき実践を積み重ね、3月末にⅠ：75.3%達成、3月に「聞いてほしい私の成長」をまとめ、発表会を開催した。
- ・基本的姿勢態度、管理の視点を当院の看護実践能力評価表での評価に変更。3月末1.93であった。
- ・年度末、教育プログラム修了者と共にラダーⅠ取得となる。

○2022度 新人看護師研修年間計画

|       | 内 容                         |
|-------|-----------------------------|
| 4月    | 集合教育、病棟ローテーション研修            |
| 5月    | 医療安全、転倒転落                   |
| 6月    | 感染管理、技術演習（食事介助）、リフレッシュ研修①   |
| 7月    | 静脈注射テスト、スキンケア、メンタルヘルス       |
| 8月    | 医療安全、感染管理、急変対応、フィジカルアセスメント  |
| 9月    | リフレッシュ研修②                   |
| 10月   | ケースレポートの書き方、看護必要度、静脈留置実技テスト |
| 11月   | 医療安全、感染管理、看護過程の展開           |
| 12月   | 看護倫理、急変対応フォローアップ、リフレッシュ研修③  |
| 1月    | 認知症看護                       |
| 2月    | 医療安全、感染管理                   |
| 3月    | 聞いてほしい私の成長                  |
| 9月～3月 | ローテーション研修                   |
| 1年間   | 静脈注射実施研修                    |

3) 研修・実習の受け入れ

○臨地実習（延べ人数814名）

- ・甲南女子大学 看護リハビリテーション学部看護学科  
基盤実践看護学Ⅰ45名、基盤実践看護学Ⅱ45名、急性期36名、慢性期8名、統合（成人）14名、統合（基盤）19名
- ・摂南大学 看護学部  
基礎看護学Ⅱ35名、慢性期36名、統合10名
- ・白鳳短期大学 看護学専攻  
基礎看護学Ⅰ10名、基礎看護学Ⅱ10名、統合10名 急性期20名、慢性期20名、統合10名
- ・大阪医専  
包括的看護実践2名

○院外研修・講演・講義の講師派遣状況

| 主催者         | 研修・講演内容             | 派遣者           |
|-------------|---------------------|---------------|
| 大阪府看護協会     | セカンドレベル演習講師：統合演習Ⅱ   | 鎗野りか          |
| 富山CDE・看護研究会 | 高齢糖尿病患者への看護         | 河野千尋          |
| 日本集中治療学会    | ハンズオンセミナーインストラクター   | 時田良子          |
| 福島区社会福祉協議会  | 大阪市介護予防教室事業「あいあい教室」 | 杭谷美絵子<br>梅原裕美 |
| 臨床心臓病学教育研究会 | ファシリテーター            | 三原知枝          |
| 甲南女子大学      | キャリアデザイン・ゲストスピーカー   | 半田有希          |
| 京都光華中学・高等学校 | キャリア教育講習会           | 名所彩奈          |

○院外活動

|                 |                     |              |
|-----------------|---------------------|--------------|
|                 | 大阪府看護部長会            | 鎗野りか         |
| 大阪府看護協会<br>市西支部 | 市西支部施設代表者会議         | 鎗野りか<br>寺村聡恵 |
| 大阪府看護協会         | 看護師職能委員会            | 寺村聡恵         |
| 大阪府看護協会         | 学会委員会委員             | 中野あずさ        |
| 大阪府看護協会         | 教育委員                | 大石勝美         |
| 病院連携            | 医療安全地域連携相互ラウンド      | 山口友子         |
| 病院連携            | 感染対策向上加算 地域連携施設ラウンド | 小松美雪         |
| 福島区の在宅医療を考える会   | 世話人会                | 西井弘美         |

2022年度 看護部年間教育計画予定表

| 段 階 | 新人研修                                                                                               | レベルⅠ                                                             | レベルⅡ                                                               | レベルⅢ                  | レベルⅣ<br>主任                                  | N3以上                                 |                                                | 人材育成<br>各役割を担う者対象                                | 看護部研修会<br>時間外研修             |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------|
|     |                                                                                                    |                                                                  |                                                                    |                       |                                             | ASLS指導者研修                            | IVナーズアドバンス                                     |                                                  |                             |
| 4月  | 【集合教育】<br>基礎看護技術<br>4/8 感染管理① 13:30～<br>病棟ローテーション研修                                                |                                                                  |                                                                    |                       |                                             |                                      |                                                | 4/18,22<br>病棟・トナリ養成<br>13:45～                    | 4/25 看護研究の基礎①<br>4/27 組織分析① |
| 5月  | 5/6 静脈注射<br>5/9 診療記録・情報処理 8:45～<br>5/13 医療安全：転倒転落 13:30～<br>5/30 静脈注射③ 13:30～                      | 5/17,23<br>組織論Ⅱ 13:45～<br>(ﾌﾟﾚﾌﾟﾅｰ必須)<br>教育Ⅱ 15:30～              | 5/6<br>組織論Ⅲ 13:45～                                                 |                       |                                             |                                      |                                                |                                                  | 師長・副師長昇格者研修<br>主任昇格者研修      |
| 6月  | 6/14<br>静脈注射④ 9:00～ 感染管理② 15:15～<br>6/27<br>技術演習：食事介助(多目的室)<br>10:00～ 13:30～<br>リハビリ研修①(講堂) 15:15～ | 6/3,29<br>組織Ⅰ(2年目必須) 9:00～<br>2年目:医療安全① 10:40～<br>感染管理① 13:45～   | 6/30<br>医療安全① 13:45～                                               | 6/10<br>医療安全① 13:45～  | 6/6<br>知識編 14:00～                           | 6/14<br>新人研修担当                       | 6/21<br>臨地実習指導者養成Ⅱ<br>13:45～ (対象：N3～N4)        | 6/21 看護研究の進め方②<br>6/27 看護研究(指導者編)②<br>5/30 組織分析② |                             |
| 7月  | 7/12<br>静脈注射⑤ 筆記テスト 9:00～<br>スキャンア 10:30～<br>静脈注射実技テスト 13:15～<br>7/25<br>メンタルヘルス                   | 7/29,8/5<br>対人コミュニケーション 13:45～                                   |                                                                    |                       |                                             | 7/12<br>新人研修担当                       |                                                | 7/25 看護研究(指導者編)③                                 |                             |
| 8月  | 8/22<br>医療安全③ 9:00～ 感染管理③ 10:40～<br>急変対応①(多目的室) 13:30～ 15:15～<br>8/31<br>フィジカルアセスメント 9:30～         | 8/9,16<br>3年目:医療安全① 9:00～<br>感染管理② 10:40～                        | 8/24,29 (ﾌﾟﾚﾌﾟﾅｰ必須)<br>医療安全 10:30～<br>教育Ⅱ 13:45～<br>看護過程の展開 15:30～ |                       |                                             |                                      | 8/9,16(3年目研修後に開催)<br>病棟・トナリ情報交換会1-①②<br>13:45～ |                                                  |                             |
| 9月  | 9/20～OP・ICU・ナース公開<br>9/29<br>静脈注射⑥ 11:00～<br>リハビリ研修② 15:15～                                        | 9/16,20<br>3年目：外来研修 13:45～                                       | 9/2<br>医療安全②ﾌｫﾛｰｱﾌﾞ 13:45～<br>教育Ⅲ 15:00～                           |                       |                                             | 9/5<br>中間報告 13:45～<br>9/29<br>新人研修担当 | 9/13<br>臨地実習指導者養成Ⅰ-①<br>13:45～ (対象：N2相当)       |                                                  |                             |
| 10月 | 10/31<br>ケールボードの書き方 9:00～<br>看護必要度 10:45～<br>静脈留置針テスト 13:30～                                       | 10/7,24<br>2年目:医療安全② 9:00～<br>感染管理② 10:40～<br>緩和ケア/死に臨む看護 13:45～ | 10/18,26 (ﾌﾟﾚﾌﾟﾅｰ必須)<br>医療安全 10:30～<br>感染管理 13:45～<br>教育Ⅱ 15:30～   |                       |                                             | 10/31<br>新人研修担当                      |                                                |                                                  |                             |
| 11月 | 11/28<br>医療安全④ 9:00～ 感染管理④ 10:40～<br>看護過程の展開 13:30～ 15:15～                                         | 11/7,14<br>3年目:医療安全② 9:00～<br>ﾌｫﾛｰｱﾌﾞ以外 11:00～                   | 11/29<br>教育Ⅲ(実践報告会) 13:45～                                         | 11/11<br>医療安全② 13:45～ |                                             |                                      | 11/7,14(3年目研修後に開催)<br>病棟・トナリ情報交換会2-①② 15:00～   |                                                  |                             |
| 12月 | 12/20<br>看護倫理 10:30～<br>急変対応②(多目的室) 13:30～ 15:15～<br>12/26<br>静脈注射⑧ 13:30～<br>リハビリ研修③ 15:30～       |                                                                  |                                                                    |                       | 12/20(多目的室)<br>新人研修担当<br>①13:30～<br>②15:15～ | 12/26<br>新人研修担当                      | 12/5<br>臨地実習指導者養成Ⅰ-② 13:45～                    | 12/12 看護研究③<br>(抄録の書き方、発表の方法)                    |                             |
| 1月  | 1/23<br>認知症看護 13:30～                                                                               |                                                                  |                                                                    |                       |                                             |                                      |                                                |                                                  |                             |
| 2月  | 2/27<br>医療安全⑤ 13:30～ 感染管理⑤ 15:15～                                                                  | 2/3,6<br>2年目:医療安全③ 10:30～<br>感染管理③ 13:45～                        | 2/14,21 (ﾌﾟﾚﾌﾟﾅｰのみ)<br>教育Ⅱ:まとめ 13:45～                              |                       |                                             | 2/28<br>成果発表 14:00～                  |                                                |                                                  | 1月Ⅲｸｰﾔ発表                    |
| 3月  | 3/14<br>私の考える看護 13:00～<br>3/29<br>教育プログラム修了式 14:30～                                                |                                                                  |                                                                    |                       |                                             |                                      | 3/27,30<br>新人Ns実地指導者養成<br>13:45～               | 看護研究発表会<br>1月Ⅳｸｰﾔ発表                              |                             |

## 【院外研修参加】

<長期研修・講習・教育課程>

| 研修名                            | 参加者                              |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 大阪府看護協会主催 認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」 | 福田順子                             |
| 大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会           | 白石裕子、甲斐美穂、<br>山本真記子、嶋崎雅文         |
| 新人看護職員教育担当者研修                  | 菅原直子、川端亜美                        |
| 看護師特定行為研修                      | 西口裕子、三木寛之、<br>小松美雪               |
| 医療安全管理者養成研修                    | 大石勝美、田中園美、<br>鈴木美名               |
| 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修          | 舛山夏菜、福岡麗子、<br>福田順子、平井恵利、<br>中山絵梨 |

<大阪府看護協会主催の研修>

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 社会人基礎力に関する研修           | 3名  |
| 看護実践で考える今後の看護とキャリアデザイン | 12名 |
| 災害支援ナース育成研修            | 1名  |

<その他主催の研修参加者>

|                  |    |
|------------------|----|
| 循環器病コース          | 1名 |
| ロボット手術導入に向けた手術見学 | 5名 |

## 【院内看護研究発表会】

| 部署名      | 発表者   | タイトル                                                                                 |
|----------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 11階      | 西林佐知恵 | 急変対応部署内シミュレーションの整形外科病棟での有効性の検証                                                       |
| 9階       | 市原しのぶ | COVID-19感染症第7波の看護実践と振り返りの効果<br>～レジリエンスに着目して～                                         |
| 16階      | 花野 優  | 高次脳機能障害を有する患者の転倒転落予防カンファレンスの有効性                                                      |
| 13階      | 名所彩奈  | 内視鏡検査で鎮痛薬を使用した患者への転倒予防策の実際と今後の課題                                                     |
| 血液浄化センター | 大石千恵  | 腹膜透析を導入した患者のカテーテル感染に関する実態調査                                                          |
| 15階      | 岩本真由子 | 腹膜透析患者の退院後の生活と気づきについて                                                                |
| 14階      | 澄川美月  | A病院の血液内科患者の治療を支える看護師の現状と困難感                                                          |
| 17階      | 吉田 紗代 | 回復期リハビリテーション病棟におけるFIMの知識向上に向けた取り組み                                                   |
| 12階      | 副島 香  | 退院支援看護におけるNレベル毎の課題について明らかにする                                                         |
| 9階       | 木村早希  | 頭頸部がん放射線療法ケアシートを用いて                                                                  |
| 化学療法室    | 平村美奈子 | 頭皮冷却を受ける婦人科がん患者への看護支援                                                                |
| 看護支援室    | 石村 愛  | A病院のがん看護関連専門・認定看護師のがん患者指導管理料イ算定の記録から<br>見えてきた今後の課題                                   |
| 看護支援室    | 服部悦子  | 放射線治療部門専従のがん看護専門看護師が実施したペプチド受容体放射性<br>核種療法 (PRRT)導入までの役割                             |
| 15階      | 面谷智子  | 糖尿病教育入院患者におけるインスリン・GLP1受容体作動薬注射使用患者の皮下硬結の発生<br>状況の調査～インスリン・GLP1受容体作動薬導入後の介入の時期を検討する～ |
| 16階      | 船井明日香 | 当院の抜去指針を用いた膀胱留置カテーテル関連尿路感染症 (CAUTI) 減少へ<br>向けた取り組み                                   |
| 外来B診療部   | 松本里佳  | 日本語が理解できない患者へ配偶者を介して行った告知・意思決定支援の一事<br>例                                             |
| 支援室      | 岸本諭美  | 客観的情報を用いて患者と共にケアを検討しIADが改善した一症例                                                      |
| 9階       | 金地美希  | 呼吸ケア外来における継続看護                                                                       |
| 救急外来     | 川上智華子 | 救急外来における患者満足度評価の報告                                                                   |
| 外来診療部    | 高尾 涼子 | 外来看護師の実践能力開発を支援するOJTの実践報告<br>-新しい時代の外来看護を目指して-                                       |

[院外看護研究発表]

| 学会名                       | テ ー マ                                                 | 発表者    |
|---------------------------|-------------------------------------------------------|--------|
| 第60回日本癌治療学会学術集会           | PRRTで出現した有害事象についての報告                                  | 服部 悦子  |
| 第37回日本がん看護学会学術集会          | A病院のがん看護関連専門・認定看護師ががん患者指導管理料イ算定時の記録から見えてきた今後の課題       | 石村 愛   |
| 第37回日本がん看護学会学術集会          | A病院のがん看護委員会リンクナースを通して取り組んだインフォームドコンセントにおける看護師の役割の可視化  | 石村 愛   |
| 第37回日本がん看護学会学術集会          | ペプチド受容体放射性核種療法外来を振り返って見えてきた看護支援                       | 服部 悦子  |
| 日本クリティカルケア看護学会            | 急性期病院における早期警告スコアを用いた重症者基準見直し                          | 三木 寛之  |
| 第31回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 | 客観的情報を用いて患者と共にケアを検討しADLが改善した一症例                       | 岸本 諭美  |
| 第9回日本CNS看護学会              | 放射線治療部門の専従がん看護専門看護師が実施したペプチド受容体放射性核種療法 (PRRT) 導入までの役割 | 服部 悦子  |
| 第10回大阪府看護学会               | COVID-19感染症患者に直接かわる看護師の不安と実践を通して看護師の成長                | 伊藤 真未  |
| 第10回大阪府看護学会               | 頭皮冷却を受ける婦人科がん患者への看護支援                                 | 平村 美奈子 |

[論文発表]

| 著者   | タイトル                    | 掲載誌名         |      |
|------|-------------------------|--------------|------|
|      |                         | 掲載号・ページ      | 掲載年  |
| 石村 愛 | 終末期患者と家族への予期悲嘆・悲嘆へのケア実践 | エンド・オブ・ライフケア |      |
|      |                         | 第6巻(2)・      | 2022 |

[委員会活動]

| 委員会名(委員長)           | 活 動 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現任教育委員会<br>(大石副部長)  | 教育体制の充実と適切な教育企画・運営・評価をを 目的に、1. ラダー研修の開催と適切な評価で次年度の教育計画に繋げる。2. 部署の特徴を踏まえ部署内教育計画を立案し、スタッフ一人一人の成長を促す。3. 看護研究を通して臨床での問題を解決する思考を身につけるの3点を目標掲げ取り組んだ。<br>1. 現任教育委員はラダー研修に参加し研修評価を実施し、次年度のシラバス作成を行った。<br>2. 部署内の年間教育計画と進捗状況を、委員会で情報共有することで、自部署で不足している教育や参考となる教育などがわかり、自部署の教育に活用することができた。しかし、集合教育と部署内教育の連携が図れているか、研修による看護実践能力の向上に繋がったなどの評価には至っていないため、次年度、その視点を含めた教育計画を検討する。今年度は委員長が社会人基礎力の院外研修へ参加。当院の看護実践能力評価に社会人基礎力の要素を取り入れることを提案し、委員会でN0の看護実践能力評価表への社会人基礎力を追記した。<br>3. 院内18題 院外14題。委員を中心に運用方法を検討し、ハイブリット形式で開催することができた。発表内容も年々グレードアップし、院外発表に繋がられる内容であった。今後は、院内発表を目標とするのではなく、各々の学会発表を目指した形式として取り組めるよう 検討していく。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 看護記録委員会<br>(大門師長)   | 1. 例年通り、形式監査、質的監査を各2回/年実施した。実践能力評価表では看護記録の問題点の改善が求められ、特にN3以上では下位者の指導が含まれる。監査において、記録の改善に向けた指導が可能なベアリングを各部署で工夫し、自己評価と他者評価の結果をもとに、本人へフィードバックを行う 方法で実施した。昨年度よりこの方法を導入し今年度2年目となるが、昨年度と比較し他者評価と自己評価の差が減少しており、必要な記録への理解が進んでいると評価した。更に今年度は監査対象者の基準を委員で討議し共通認識をもつことで監査結果へ反映が見られ、より精度が高まったと考える。<br>研修は新人を対象とした電子カルテの基本的な取り扱いについて、例年の集合研修でなく 各部署で実施できるよう 整備し実施した。研修の到達指標がなく 進捗の把握が困難であったため、次年度の研修にむけて到達指標を作成した。新人への看護過程についての研修と、サポートナースへの研修についても 予定通り実施できた。次年度も 部署でのOJTの時間を増やし、新人看護師の状況をみながらスムーズに実施できるよう、研修評価に基づいた研修計画・資料を準備していく。<br>2. 記録の効率化に向け今年度は重複記録の削減を中心に活動し、10月以降各部署、毎月患者3名を選択し監査を実施した。各部署での差はあるが全体としては重複記録が減少している結果となった。また、1月の記録監査から形式監査の項目に重複記録の有無について追加し、結果は32%と全項目100%達成を 目標としている中で著明な数値となったが、意識向上への機会となったと考える。業務量調査結果では記録に関する時間が9.6%で前回の10.5%より低減が図れている。観察項目の活用や看護計画の評価時期の見直しなど、病院全体での取り組みと各委員による活動が影響したと考える。次年度は標準看護計画への移行を予定しており、質の担保をしながら効率化が図れるよう 記録マニュアルの見直しなど仕組みを整備していく。 |
| 看護サービス委員会<br>(西野師長) | 1.1)入院患者満足度の結果、アンケート回収率:56.38%、昨年度より9%低下した。Q17総合評価:4.69と昨年度よりも0.06低い結果となった。各部署の課題から年間目標を立案し、毎月の退院アンケートのご意見内容を元に対策を実施した。その内容を委員会全体で共有し、意見交換などをしていたが、目標値には至らなかった。委員会の中で、各部署の振り返りと対策の内容を共有したが、退院アンケートの数値の動きに対する具体的なアセスメントが不足していた。またコロナの感染対策の継続と患者・家族サービスに対する具体的な行動が全体として定着しなかったことが一つの要因であると考え。次年度に向けて、データでの目標管理を委員会全体で検討していくことが重要である。またコロナ5類変更後の面会などの患者・家族サービスの取り組みの実践と評価が必要である。昨年度作成した、入院時カエンテーションのワークとのは共同は実践している部署が一部であったので、次年度は対応方法も変化する(5類対応)ため、評価していく。<br>2. 1)接遇に関するご意見:139件。患者や家族への言葉かけはそれ自体が接遇であり、スタッフ一人一人が関西電力病院の代表であることを意識することが重要である。また経験年数の少ないスタッフも含め、社会人能力の向上が図れるよう、教育体制の見直しも 検討していくことが今後必要である。<br>2)身だしなみチェックは9月に実施したが、年間通じてのスタッフお互いの日々のチェックが重要であり、組織風土として互いに意見を言える関係性作りも重要である。<br>3. 職務満足度:総合3.51昨年とより0.03上昇「看護師相互の関係」4.38、昨年より0.16上昇した。アンケートのお褒めの言葉を積極的に伝達したり、自らが元氣よく 挨拶することを意識するなど各部署工夫した取り組みを行った。                                                                 |

| 委員会名(委員長)                           | 活 動 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>看護業務<br/>基準・手順委員会<br/>(木村師長)</p> | <p>各部署からのインシデント発生、医療安全対策室からのインシデント発生報告を受けて、症状別2項目、看護手順35項目の追加修正を行った。インシデント発赤時に基準手順を参照した場合にはインシデント報告書にその旨を記載するようにし、特にN1での参照が多かった。また、麻薬管理や解熱剤使用時の観察など、重大インシデントに繋がる項目について迅速に修正と各部署での周知を行い、同様インシデント発生が無かった。これにより、インシデントが発生した際に各部署、医療安全対策室と連携して基準手順、マニュアルを参照する意識付けと、必要な改訂を行い周知する事が効果的であったと評価する。</p> <p>前年度より課題であった外来実施検査・処置が病棟での看護とつながっておらず観察が不十分であるという課題があり、看護手順検査編は全項目病棟出頭から検査中、検査後までが見えるように修正を行った。修正後のインシデント発生状況により効果を確認し継続して周知を行う。</p> <p>委員が基準手順、各種マニュアルをスタッフが確実に使用出来るよう継続教育する取り組みでは、カンファレンスや看護計画立案時の看護基準使用を促し、使用回数や使用場面での評価を毎月活動報告で行うことで、基準手順に沿った看護実践の意識付けが出来るようになったと評価している。</p> <p>業務量調査では、各部署でデータを元にした業務分析を行い、エビデンスをもとにした業務改善の必要性と評価を行い、看護記録削減(2021年度12.3%→2022年度9.28%)、申し送り時間の削減(10月12.2%→2月10.9%)、補助者業務内容の変更などに繋がった。また、定期業務量調査の分析を行い、固定チームナーシングにおける看護師の役割を標準化した。</p>                                                                                                                                                                                       |
| <p>継続看護・退院支援<br/>委員会<br/>(山内師長)</p> | <p>入院前～退院後の生活を据えた支援が実施できるシステム運用の定着、病棟や外来、在宅療養支援者との連携、入院支援で必要な情報の聴取により支援内容についてアセスメントできるスタッフの育成、適切なコスト算定の実施などに向けて委員会活動を行った。患者や、家族の意向に沿った支援については療養先や生活に対する希望を元に入退院支援計画が立案されており、患者満足アンケート結果Q3退院支援:4.77と前年と同評価を維持出来た。</p> <p>委員会では毎月各部署の退院支援に関する評価、課題を話し合う事で部署での運用に関する現状把握、問題に関する取り組みが実施できた。継続看護に繋がる情報共有に向け、入退院支援に関する情報収集、記録の徹底、キーワード設定の定着などについて定期的に監査・指導を行った。退院支援の介入記録及びカンファレンス記録の病棟スタッフでの記載率は平均87～93%と8前年より改善しているが、部署間に差があり指導により改善がみられたため今後も継続した関わりが必要である。退院支援に関する記録監査は8月、1月の2回実施し結果として全体平均78%と前年より上がっており、入院時支援情報の活用効果もあると考える。外部との継続看護について、前年度から課題として取り組んだ看護情報提供書は完成したが、年度末近くで活用評価に至っていないため、次年度に評価を行う予定とした。外来へのササリについては委員会や研修で必要性について検討を行い、外来受診時での初回介入数の増加など連携向上に繋がっている。委員会メンバーが入院支援に関し、各部署で指南的役割が担えるようにリンクナースとしての役割強化に向けて委員会活動を通し学習の機会を設けたが、退職や、異動によるメンバーの入れ替えもあり、効果的な学習とならなかった。今年度より指導パンフレット管理を委員会で行うことになり、今年度は管理確認のみであったが、療養生活を支えるという支援で必要なパンフレットの作成など次年度の検討課題としていく予定である。</p>                                                                                   |
| <p>新人教育担当者会<br/>(大石副部長)</p>         | <p>厚生労働省の新人研修プログラムに基づいた研修企画及び運営ではあったが、COVID-19により、学生時に臨地実習を受けていない看護師の採用となったため、従来よりも病棟配属を遅らせ、夜勤研修などを導入、病院に慣れることを重点的に研修の組み替えを行った。また、病棟配属後の1ヶ月は主任が新人担当となり実践を思考発話法を用いて言語化するよう部署へ働きかけた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修プログラムの検討及び研修実施・評価:研修時期・内容を修正し、新人看護師の進捗状況を確認しながら、適宜研修の追加修正、次年度の研修シラバスを作成した。</li> <li>2. 新人到達目標達成に向けた支援(部署・新人)<br/>到達指標Ⅱ:技術の側面★Ⅰ・Ⅱの到達目標時期を12月(9ヶ月評価時)に繰り上げ、9ヶ月時★Ⅰ99.3%、★Ⅱ95.6%と前年度と同等の達成となった。離職率は14.6%であった。</li> <li>3. 今年度よりICU研修を技術習得に特化し、2日間に短縮、2年目の早い段階で重症管理研修を実施する内容へ変更、2日間の研修でも、問題なく技術習得を終了することができた。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>臨地実習指導者会<br/>(大石副部長)</p>         | <p>(学生受け入れに状況)2022年度より新規で基礎看護額実習Ⅱの受け入れが開始となった。2021年度より引き続きCOVID-19の影響により、学生に対してワクチン3回接種、ワクチン未接種者への週2回の抗原定量検査の実施、実習開始2週間の健康管理、実習中のサージカルマスク、フェイスシールド着用を実習受け入れ条件として対応を行った。結果、学生が感染源となる事象は発生せず、予定の実習を終了する音が多かった。</p> <p>(実習指導体制)COVID-19罹患などに伴う勤務調整の為、当日の指導者が不在になる期間もあったが、院内の実習指導者養成を強化したことで、柔軟な指導体制を構築することができた。ただ、実習全体を把握しての指導が困難であったため、次年度は実習全体を把握できる指導者の育成が課題となった。(臨地実習指導者養成について)以前より活用している実習指導に関わるスタッフに向けた自己評価表を改正を実施、今後活用しながら修正を行う予定。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>安全対策委員会<br/>(山口副部長)</p>          | <p>今年度の看護師のインシデント発生件数は1,732件/年(+195件)、3b以上のアクシデントは9件(+5件)であった。レベル別では、レベル1:1,128件(+152件)レベル2:553件(+34件)レベル3a:42件(+8件)レベル3b:9件(+5)レベル4b:0件(-1)であった。発生件数増加の要因は、血管外漏出の報告を推進した結果、報告件数が大幅に増加したことが影響したと考える。3b以上の事象は誤薬、チューブトラブル、骨折であり、昨年と同様の傾向であり、発生件数低減につながらなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会目標は以下の3点とした。1. 患者に影響の大きいインシデントの低減(①高齢者の飲食時のケアの現状把握、②CVカテーテルトラブル低減、③転倒転落の低減)2. 血管外漏出の現状把握 3. レベル0報告の有効活用とした。</li> <li>・主な活動内容として、目標1. ①誤薬リスクアセスメントや対応の現状を把握し、課題を共有した上でマニュアル改訂を検討した。誤薬リスクアセスメントに基づく予防策の立案、実践が課題である。②③CVトラブルや転倒転落を予防するために各部署をラウンドシエアの内容を共有し水平展開を行ったが、発生件数低減にはつながらなかった。せん妄コントロールやKYTラウンドの質の向上が課題である。目標2. 皮膚障害発生リスクが高い薬剤の血管外漏出の発生率が高いことが明確になった。栄養課と現状を共有すると共に、マニュアルに血管外漏出予防対策を追加したため、引き続き発生状況をモニタリングする。目標3. レベル0報告をポジティブレポートとして集合研修で活用した。通常の業務の流れからの逸脱の気づき及び、気づいた時に対処行動を起こすこと、がインシデント防止につながることを学習し、モチベーション向上につながった。レベル0報告を活用して予測する力や対処する力を向上させることが課題である。</li> </ul>                                                                        |
| <p>感染対策委員会<br/>(小松師長/感染管理認定看護師)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度より看護部目標として掲げられた手指衛生遵守率100%達成のために委員会活動として、手指衛生直接観察活動を推進している。2020年度以前からも観察は行っていたが、部門目標として数値が掲げられて以降、観察回数は年々増加し、今年度は昨年度を1万回以上を上回る観察回数となった(2021年度33411回→2022年度45096回)。観察回数のみならず遵守率も8割以上の部署が昨年度を上回る遵守率となり、看護部全体では92.0%と過去最高の結果となった。委員会内で、各部署の観察活動内容を共有し、効果的に取り組めていると考えられる部署の方法を取り入れるなどして、委員会全体に目標達成に向け、積極的に取り組んだ活動として評価する。次年度は、観察の質を上げるために、観察手法の再周知をはかり観察技術の向上を目指す。</li> <li>・看護部感染管理研修を委員メンバー主体で年間計画、内容の企画、開催後の評価、内容修正等を計画的に進められた。またその研修内容を、自部署での勉強会の資料として活用するなど自ら進んで自部署改善に取り組む姿勢もあり、自部署内でのミニレクチャーは年間で平均5.9回開催されている。off-JTとOJTの連動を図り感染防止策の実践モデルとして活動できていたと考える。次年度もこの教育体制を基盤に委員会活動として感染管理研修を計画する。</li> <li>・デバイスの適正管理を目的とした動画を撮影を実施。現場での起こりやすいエラーを抽出し、看護基準を基に撮影に取り組むことができていた。CV管理については最終完成にまで至らなかったが、現場の現状把握と、動画をどのように見せることで、実用動画となるかについてアセスメントするプロセスは委員メンバーの知識習得に繋がりと、次年度に引き続き取り組む基盤作りとなった。</li> <li>・他部署の環境ラウンドとフィードバックを実施。それにより自部署の環境改善に取り組んだ。ワンウェイ化の定着とナースワゴンのゾーニングの改善に至っており、次年度への持越し課題とし、方策の再検討が必要である。</li> </ul> |



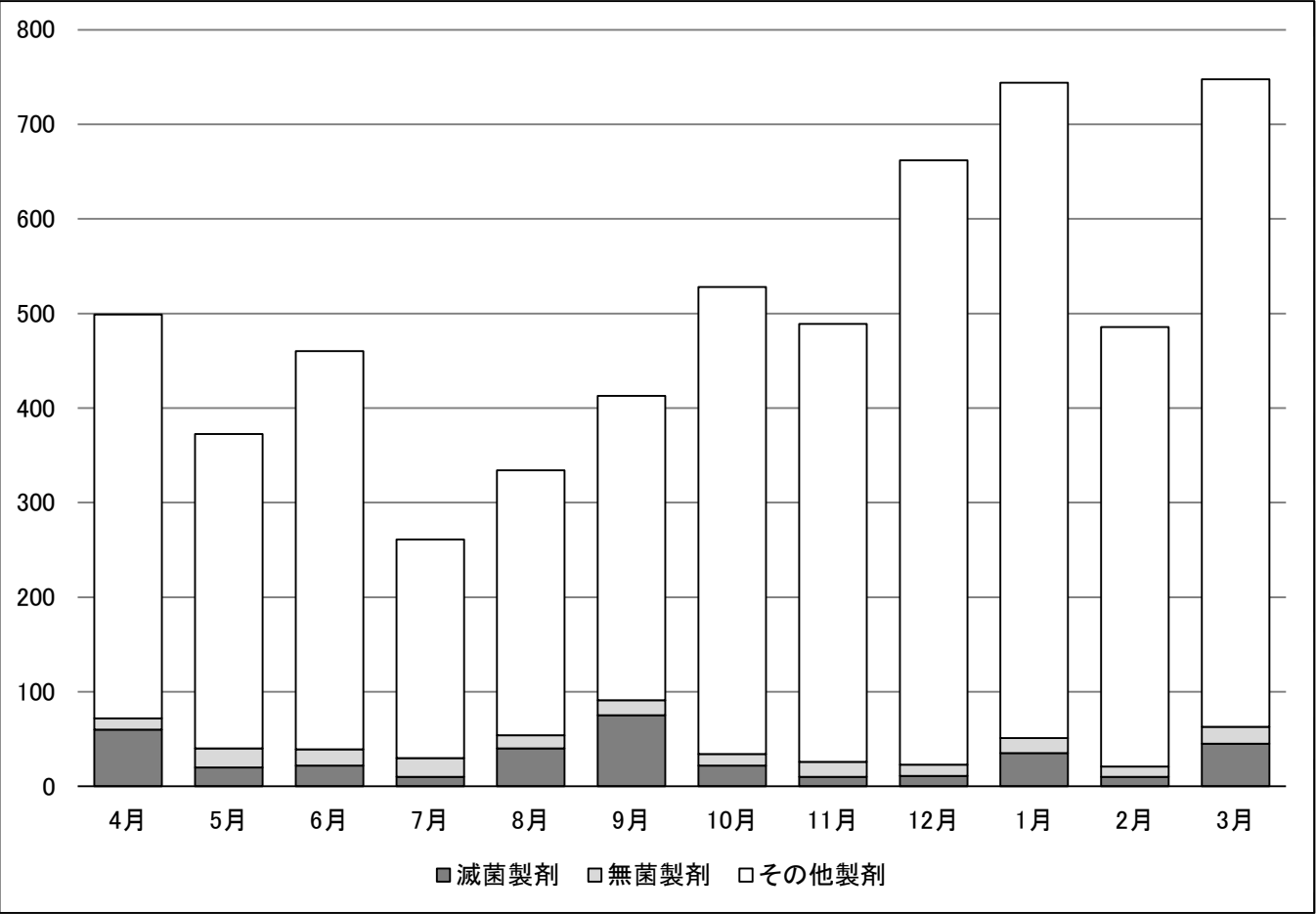
| 委員会名(委員長)                                    | 活 動 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 褥瘡対策委員会<br>(岸本主任/皮膚・排泄ケア認定看護師)               | <p>1. 褥瘡発生リスク因子保有数が多く、かつ、発生数の多い病棟であるICUと13階病棟において重点的に予防対策を実践した。各部署のリンクナースやチームリーダーと共に発生要因を抽出し、対策を継続実践できるようにしたことが部署のケアの質の底上げとなり発生数が減少した。院内全体ではIADリスクアセスメントが定着したことで、軽症かつ発生数の減少につながった。しかし、状態変化時や看護計画立案時に実施しなければならない褥瘡発生リスクの経過評価の実施率が非常に低く、エビデンスのあるリスク評価に基づかず看護実践している可能性があることがわかった。褥瘡発生リスクをもつ患者に適切な看護計画を立案し、院内全体での適切な予防ケア実施の定着が委員会の急務である。</p> <p>2. 褥瘡マニュアルや手順書を随時手に取るようになり、使用しにくい部分のピックアップはできた。各リンクナースで分担して改訂作業を行ったが、リンクナースの作業時間を確保できなかったことで完成できなかった。WOCNのリンクナースの作業への支援も少なかったことも考えられる。</p> <p>3. リンクナースに対し、期待する役割の提示が曖昧であった。そのため、リンクナースのリーダーシップ達成への評価が困難であった。委員会の規程をもとに、時代に適合した活動内容を明確にして伝える必要がある。また、データ分析やそれに基づく活動支援などが必要である。</p> <p>4. 体圧分散寝具エアマットレス アドバンの劣化・故障あり台数減少に伴い、ネクススRレンタルでの運用開始した。エアマット使用が必要な患者さまへタイムリーに使用ができるようになった。しかし、適正使用を証明するための記録や経過評価がなされていないため、整合性がない。昨年は80%の適正使用であるが、適切な対策を講じなければ適正使用率が低下することが予測される。看護計画の評価時に、患者の状態に合わせた選定ができていのかの視点も含めて評価できるようにリンクナースと共に改善する必要がある。</p> |
| NST<br>(栄養サポートチーム)委員会<br>(中山師長)              | <p>1、今年度より毎月数値化できるデータを取り全館統一して経過をみることで、自部署の傾向や他部署との比較が可視化でき委員会での質問も活発となり、有効な取り組みの共有ができた。褥瘡委員との連携は各部署小チーム活動を通して連携できつつあるがNST委員からNST介入について積極的な提案はできていない。今年度のデータを元に次年度の推移の変化、分析を行い患者の状態に応じた栄養評価をカンファレンスが開催できるよう継続して取り組む。</p> <p>2、経管栄養に関する各部署でのインシデント・対策を共有することで経腸栄養の少ない部策の共有ができた。インシデントレポートに挙がっていない事象やヒヤリハットは殆どないため各部署での記載を徹底する。胃管・窒息のインシデントは認知機能低下が関連しており引き続き高齢者に対する安全な食事環境の設定が必要。・高齢者の食生活支援についての環境設定の構築(認知機能低下を認める患者に環境設定、フレイル・サルコペニア)や各部署で食事や栄養に関連するインシデントの記載を徹底し、現状把握や対策を構築する。</p> <p>3、NST委員全員がNST認定審査を受講し知識向上を図った。口腔機能事業主催勉強会や口腔ケア往診で、スタッフの口腔ケアの重要性についての認識向上は図れたが、実践での看護技術の向上には至っていない。口腔ケアの往診を活用し、依頼の少ない部署への介入を委員が中心に介入件数加を目指す。口腔機能事業、歯科往診の活用の継続し、各部署の口腔ケア技術の向上を図る。</p> <p>4、栄養サポートチーム加算は昨年度より増加したが、栄養評価の看護計画の反映は55.31%と低く経過記録への栄養評価の記載は少なく 栄養評価は十分とは言えない。必要な患者へチーム介入がされているか毎月統計集計時に確認し、栄養評価が看護ケアに連動しているか確認し、データベースや看護計画の見直し時に栄養評価を行う。</p>                                           |
| 急性期ケア委員会<br>(大石副部長)                          | <p>今年度よりRST委員会を包含する形式で新たな委員会として発足された。1. 院内重症者のはあくとして適切なケアの提供、2、フィジカルアセスメント能力の向上、3. 人工呼吸器装着患者の人工呼吸器の適正使用の実施を目的に活動を行った。</p> <p>1.各部署でNEWS評価のカルテの記載の現状を働きかけながら、委員スタッフ・認定看護師による定点監査を実施。症例をもとに観察項目の設定やアセスメント記載、どうケアに繋げるかなど3ヵ月ペースで認定看護師が委員会へ参加し協働する中で問題が焦点化され観察項目やアセスメント記載率の上昇に繋がった。</p> <p>2)NEW評価による重症者・要観察者の把握ができるようになり、ERからの入院患者のNEWS評価も定着。重症者のNEWS点数のベースラインが明らかになり、委員会立ち上げは急性期ケアの基盤として一定の効果があつた。2.委員スタッフはシナリオを基に、意見交換をしながら動きを確認できたことで撮影はスムーズであり、実践することで経験の少ない委員会スタッフの知識・実践の向上に有効であったと考える。カンデリンクを活用することで、院内全スタッフへ一斉に情報提供が図れ、OJT、研修、動画配信を活用しながら看護ケア介入の向上を図る。3. 酸素療法管理関連においては昨年度に比べ件数は上昇。毎年の傾向でもあるが、確認不足による酸素ボンベの開閉忘れ、酸素切れが目立つ。経年件数5年目以下は25%、5年目以上のインシデントも多く、知識不足・日々の管理不足など課題である。RSTラウンドにて委員の人工呼吸器に対する知識の向上を図ったが、3ヶ月に1度の参加であり、積極的なラウンド参加を計画実施することが出来なかった。次年度からは2ヶ月1度をRSTに特化した委員活動を計画し、委員の人工呼吸器に関する知識・技術の向上に努める必要がある。</p>                                                                    |
| がん看護委員会<br>(梅本)                              | <p>委員会メンバーより、毎月以下の項目について集計を実施。①内は昨年度の数値。1)①IC同期率②IC後のカンファレンス開催率③看護計画への反映2)①苦痛のスクリーニング実施数②高得点該当者率③該当者のカンファレンス実施率④看護計画への反映率を集計した。1. ①IC同期率62% (84.7%)②IC後の理解度の確認61% (91%)③看護計画への反映58% (50.3%)と①②においては昨年度を下回った。しかし看護基準にもあるように看護師が必ずしも全てのICに参加するのではなく必要なICに同席し患者のアドボケートとして役割発揮が出来ているかが評価出来るようにデータ収集の方法を検討していく必要がある。苦痛のスクリーニングに関しては、がん患者の93.4%で実施出来た。高得点該当者については、2.②カンファレンス実施が30% (23.2%)2. ③看護計画への反映が34% (39.9%)であり苦痛のスクリーニング実施は出来るようになってきたが、患者から得た情報を看護計画に反映させることには課題が残った。</p> <p>委員会の中で部署で困った事例や共有したい事例を持ち寄り看護ケアの展開について一部署一題事例検討を行ったが、検討したい事項の焦点化が上手く出来なかったことや、他部署の事例では委員メンバーの意見交換が上手く出来ず、CN、CNSからの指導や助言で終わることも多くあつた。これらのことよりまず患者とのコミュニケーション能力の向上や得た情報を看護計画に反映させること、基本的な知識を委員メンバーが持ち、部署で活動出来るように支援していくことが来年度の課題にあがる。</p>                                                                                                                                                                  |
| DST<br>(認知症サポートチーム)委員会<br>(杭谷副師長/認知症看護認定看護師) | <p>認知症患者のアセスメントや知識・根拠に基づく看護実践ができるよう知識技術の向上を図り、質の高い認知症ケアが提供できるように取り組んだ。</p> <p>1.各部署症例報告を行い、せん妄予防などケアの振り返りを行った。部署の特殊性を踏まえた介入ができており、リンクナースが認知症ケアのロールモデルとなるように今後も継続する。</p> <p>認知症ケアに関する記録監査を2回/年実施し、定期的なカンファレンスや個別性のある看護計画は定着しているが、データベース「認知/知覚」項目の記載や身体抑制に関する記録が不足しているため再度周知を行った。リンクナースを中心に個別性のある看護計画の立案と実施が出来るように取り組んでいく。認知症ケア加算対象者のうち、身体抑制率は17.6% (前年度13.6%)入院患者の身体抑制率は3.3% (前年度2.01%)であった。抑制の緩和・解除に向けて取り組みは行ったが、COVID-19の影響もあり、チューブ抜去予防のための抑制が増加した。また、レベル3以上のチューブトラブル、転倒が発生している状況があり、委員会として詳細分析は行えていなかったため、次年度の課題とする。</p> <p>2.認知症ケア加算算定患者は、入院患者の約19.2%、せん妄・ハイリスク患者は約59.3%を占め、昨年度より増加傾向にある。加算の算定については、鑑識がないように各部署、医事課と連携して取り組んだ。教育では、認知症対応力向上研修2回、DST研修会2回、認知症看護を実施し、知識の向上に努めた。次年度は、リンクナースが中心となって研修企画・運用を検討していく。</p>                                                                                                                                                                   |

[スタッフ]

部 長： 濱口良彦  
主 任： 塚本泰彦、眞継賢一  
薬剤師： 久保しおり, 吉岡洋子, 中尾祐子, 西田修司, 寒川裕美, 林宏和, 岡本朋子, 古場建, 上田浩貴, 黒岩勇人, 野々内裕紀, 上田綾佳, 王宏維, 荒木悠, 高崎奈津希, 伊藤博美, 橋本知樹, 仲宗根千佳, 田村真由子, 丹生亜希子、河野恵(R4.6育休復職、R5.2産休), 藤山博子(R5.1期間契約退職)  
(計25名)

[診療概要・実績報告]

- ◆院外編
  - ・外来処方せん枚数;117,820枚
  - ・院外処方せん枚数;109,238枚(92.7%)
  - ・院内処方せん枚数;8,582枚 (7.3%)
  - ・疑義照会件数 ;7,185件 (6.1%)
- ◆院内編
  - ・入院処方せん枚数;84,303枚
    - 【院内処方せん枚数;84,189枚(99.86%) 手書き処方せん枚数;114枚(0.14%)】
  - ・疑義照会件数 ;2,936件(約3.48%)
  - ・注射処方せん枚数;131,606枚
    - 【外来処方せん枚数:14,496枚(11.01%) 入院処方せん枚数;117,110枚(88.99%)】
  - ・疑義照会件数 ;6,879件(約5.23%)
  - ・持参薬鑑別報告件数;5,875件(490件/月) 持参薬オーダー件数;46,213件(3,851件/月)
- ◆製剤業務;滅菌製剤 360件, 無菌製剤 184件, その他製剤 5,450.9件(合計;5,994.9件)



滅菌製剤;注射薬や手術室などで使用する製剤で, 高压蒸気滅菌および乾熱滅菌を実施した製剤  
無菌製剤;手術室などで使用する製剤で, 滅菌が実施できない製剤を無菌室にて無菌的調製した製剤  
そ の 他 ;滅菌および無菌などが不要としない製剤で調製された製剤

◆製剤業務での製剤リストと調製集計表(病院にて調製している医薬品:倫理委員会承認済み)

無菌調製(高圧蒸気滅菌機使用の調製)

| 無菌調製 | 名称                | 規格    | 件数(単位:本, 瓶, 個) |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 合計  |
|------|-------------------|-------|----------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|      |                   |       | 4月             | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |     |
| 有    | 滅菌オリーブ油           | 10mL  | 20             | 20 |    |    | 20 | 25 |     |     |     | 20 |    | 25 | 130 |
| 有    | 滅菌1%ピオクタニブルー液     | 1mL   | 20             |    | 10 |    | 10 | 10 | 12  | 10  |     | 5  | 10 | 5  | 92  |
| 有    | 滅菌墨汁              | 2mL   | 20             |    | 10 | 10 | 10 | 10 |     |     | 10  | 10 |    | 10 | 90  |
| 有    | 滅菌無水エタノール注        | 5mL   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 有    |                   | 20mL  |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 有    | 滅菌10%フェノールグリセリン注  | 10mL  |                |    |    |    |    |    |     |     | 1   |    |    |    | 1   |
| 有    | 滅菌0.84%CMC液500mL用 | 300mL |                |    |    |    |    | 2  | 10  |     |     |    |    | 5  | 17  |
| 有    | 滅菌0.05%ピオクタニン液    | 20mL  |                |    | 2  |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 2   |
| 有    | 滅菌3%亜硝酸Na注        | 5ml   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 有    | 滅菌1%パテントブルー注      | 2.5mL |                |    |    |    |    | 28 |     |     |     |    |    |    | 28  |
| 有    | 滅菌5%フェノール注        | 2ml   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
|      | 合計                |       | 60             | 20 | 22 | 10 | 40 | 75 | 22  | 10  | 11  | 35 | 10 | 45 | 360 |

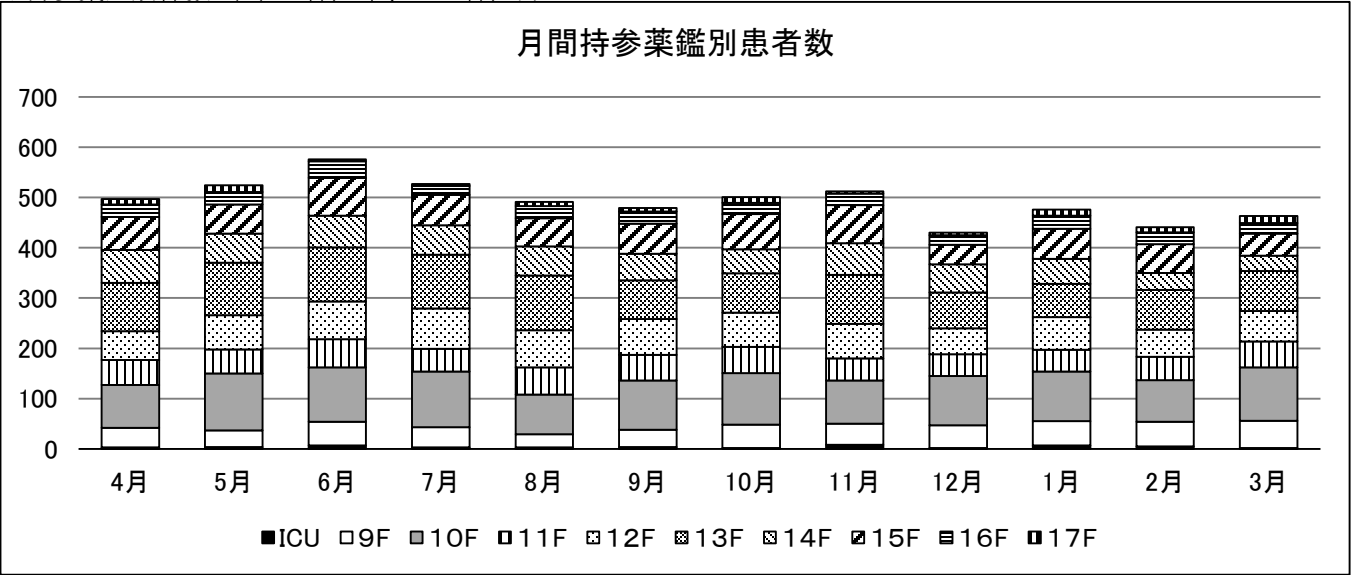
無菌調製(クラスⅡB以上の安全キャビネット及び無菌室内での調製)

| 無菌調製 | 名称            | 規格    | 件数(単位:本, 瓶, 個) |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 合計  |
|------|---------------|-------|----------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
|      |               |       | 4月             | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |     |
| 有    | 自己血清点眼液       | 10mL  |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |     |
| 有    | 4倍PAヨード点眼液    | 10mL  | 7              | 7  | 8  | 5  | 7  | 6  | 7   | 6   | 6   | 7  | 4  | 9  | 79  |
| 有    | 眼科キシロカイン      | 10mL  | 4              | 12 | 8  | 14 | 6  | 8  | 4   | 10  | 5   | 8  | 6  | 8  | 93  |
| 有    | 内服ルゴール液(内視鏡)  | 300mL | 1              | 1  | 1  | 1  | 1  | 2  | 1   |     | 1   | 1  | 1  | 1  | 12  |
| 有    | 0.5%オキシドール液   | 20mL  |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 有    | 内服ルゴール液(耳鼻科用) | 300mL |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 有    | 0.125%サンピロ点   | 5ml   |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 有    | フロリドF点眼液      | 10ml  |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 有    | 1%EDTA・2Na点眼液 | 10ml  |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
| 有    | 毒)2%デノシン点眼液   | 10mL  |                |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |
|      | 合計            |       | 12             | 20 | 17 | 20 | 14 | 16 | 12  | 16  | 12  | 16 | 11 | 18 | 184 |

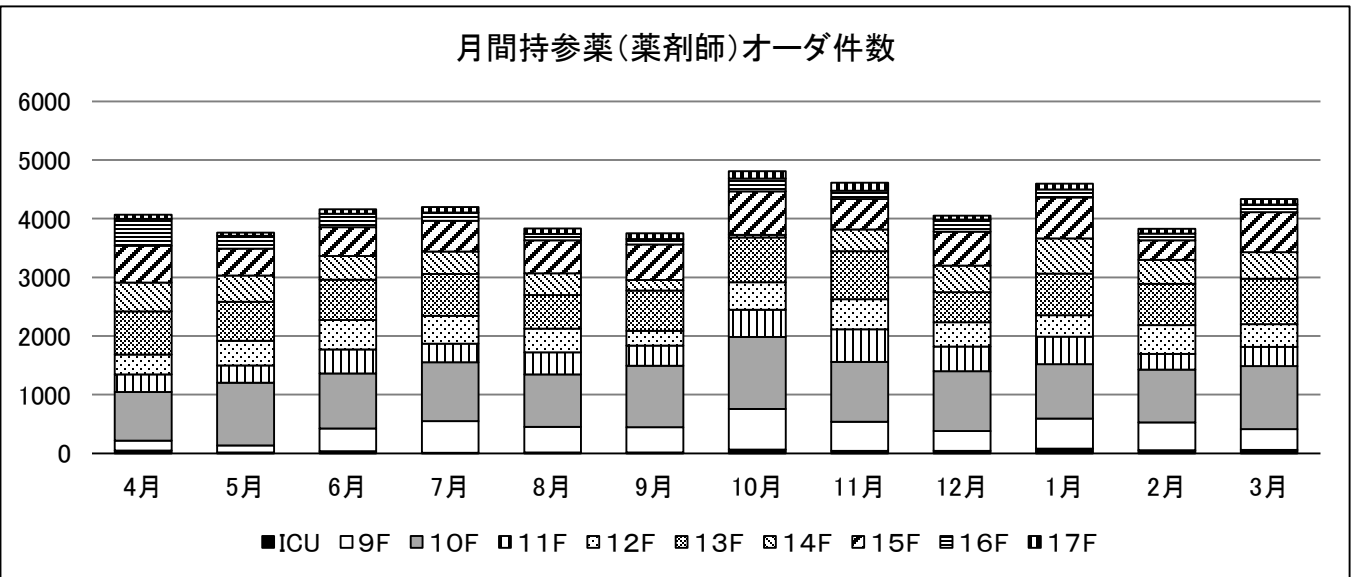
無菌調製なし

| 無菌調製 | 名称                | 規格      | 件数(単位:本, 瓶, 個) |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 合計      |
|------|-------------------|---------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
|      |                   |         | 4月             | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |         |
| 無    | ボスミン・キシロカイン混合液    | 30mL    | 3              | 11    | 4     | 4     | 5     | 4     | 4     | 3     | 9     | 5     | 5     | 6     | 63      |
| 無    | 塩化第2鉄液            | 20mL    |                | 2     |       |       | 3     |       |       |       |       | 1     |       |       | 6       |
| 無    |                   | 30mL    |                | 2     |       |       | 1     |       |       |       |       | 2     |       |       | 5       |
| 無    |                   | 15mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       | 1     |       |       | 1       |
| 無    | プリビナ点鼻液           | 10mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | のどネブ液             | 25mL    | 4              |       | 10    | 8     |       |       | 4     | 8     | 4     | 4     | 4     | 4     | 50      |
| 無    |                   | 30mL    | 9              |       | 9     | 2     |       | 7     | 10    | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 43      |
| 無    |                   | 50mL    | 3              |       |       |       |       | 1     |       |       |       |       |       |       | 4       |
| 無    | 0.1%ボスミン液         | 30mL    | 16             | 6     | 6     | 6     | 6     | 12    | 8     |       | 12    | 6     |       | 6     | 84      |
| 無    | エストリールクリーム        | 20g     |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 0.01%ホーリン軟膏       | 20g     |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | オリーブ油小分け          | 100ml   |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 1%ピオクタニン液         | 20mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 3%酢酸液             | 500mL   | 6              | 3     | 6     | 6     | 6     | 3     | 6     | 3     | 4     | 3     | 5     | 3     | 54      |
| 無    | チラージンS坐薬50μg      | 1個      |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 抑肝散坐薬             | 1個      | 165            | 118   | 78    |       | 82    |       | 82    | 42    | 146   | 163   | 163   | 121   | 1,160   |
| 無    | 鼻ネブA液             | 42mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 鼻ネブB液             | 25mL    | 4              | 2     | 2     |       | 4     | 2     |       | 2     | 2     | 2     | 2     | 2     | 24      |
| 無    |                   | 30mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    |                   | 50mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 耳垢水               | 10mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | トラマゾリン点鼻液(トーク)    | 10mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 50%DMSO液          | 35mL    |                |       |       |       |       |       | 9     |       |       |       |       |       | 9       |
| 無    | ブロー液点耳用           | 10mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 20%硝酸銀液           | 30mL    | 1              |       |       |       |       |       |       |       | 1     |       |       |       | 2       |
| 無    | 5%硝酸銀液            | 30mL    | 2              |       |       |       |       |       |       |       | 2     |       |       |       | 4       |
| 無    | 20%KOH+30%DMSO混合液 | 10mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | ハチミツグリセリン         | 400ml   |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 0.4%酢酸水           | 100ml   |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 10%モーズ軟膏          | 250g    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 0.5%グルタールアルデヒド    | 30g     |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 1%ケタミン軟膏          | 50g     |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | CA軟膏(アズノール含有)     | 50g     | 192.0          | 152.0 | 278.0 | 183.0 | 163.0 | 279.0 | 353.0 | 390.4 | 433.0 | 488.0 | 248.0 | 511.0 | 3,670.4 |
| 無    | CZ軟膏(亜鉛加単軟膏含有)    | 50g     |                |       | 1     |       |       |       | 3     |       |       |       |       |       | 4       |
| 無    | アクトシン・ネグミン混合軟膏    | 40g     | 20.0           | 36.5  | 24.0  | 21.0  | 8.5   | 9.5   | 10.0  | 8.5   | 11.5  | 10.0  | 27.5  | 26.5  | 213.5   |
| 無    | アロプリノール含嗽         | 500mL   |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | ジクロフェナク含嗽         | 300mL   | 1              |       | 2     |       |       |       |       |       | 11    | 6     | 9     | 1     | 30      |
| 無    | 経口ベクロメタゾン200倍散下部  | 1mg/cap |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 経口ベクロメタゾン200倍散上部  | 1mg/cap |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 0.5%ハベカシン点耳液      | 20mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | 1%ハベカシン点耳液        | 20mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
| 無    | モダシン(セフタジジム)点耳液   | 20mL    | 1              |       | 1     | 1     | 1     | 4     | 5     | 4     | 2     | 2     |       | 3     | 24      |
| 無    | ミノマイシン点耳液         | 20mL    |                |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       | 0       |
|      | 合計                |         | 427.0          | 332.5 | 421.0 | 231.0 | 279.5 | 321.5 | 494.0 | 462.9 | 638.5 | 694.0 | 464.5 | 684.5 | 5,450.9 |

◆持参薬鑑別件数 ;5,917件／年、493.1件／月



◆持参薬鑑別後の薬剤師オーダー件数 ;46,128件／年、3,844件／月



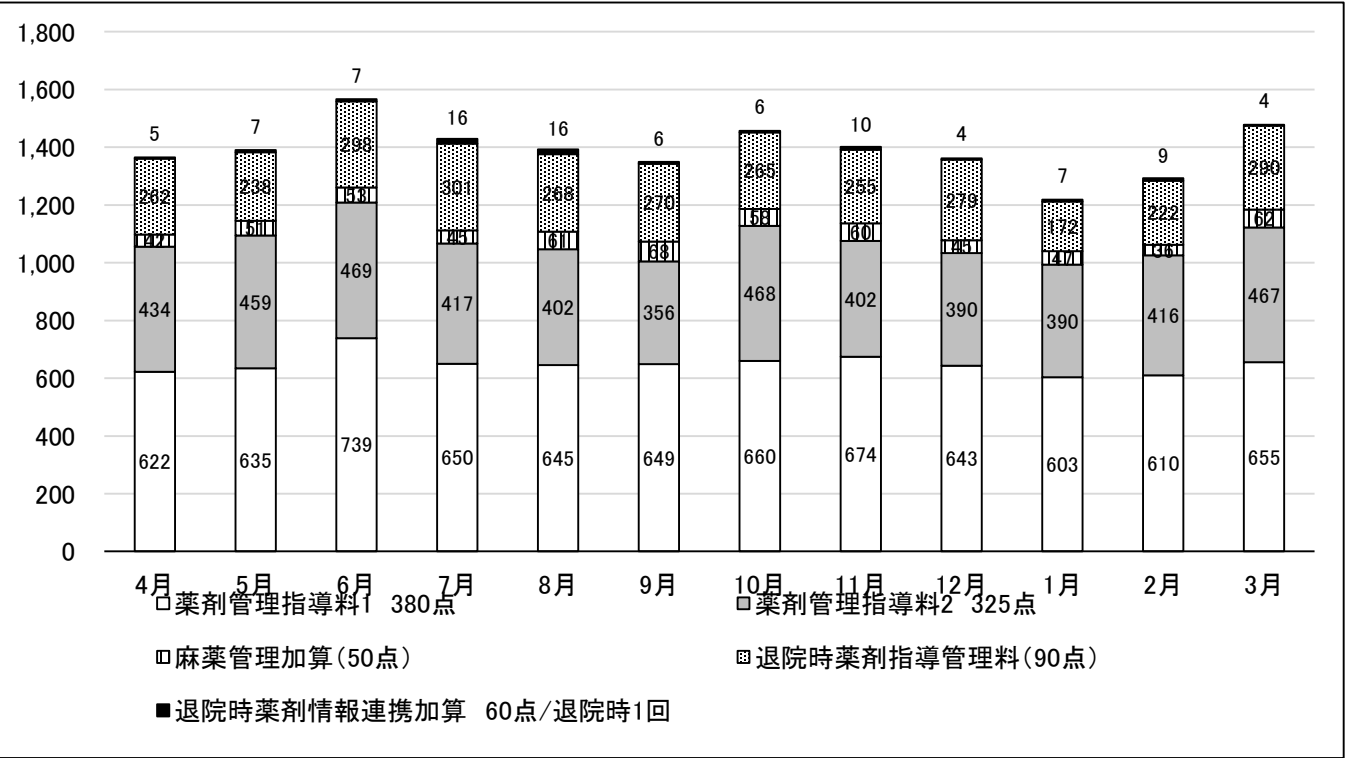
◆2022年度周術期(担当薬剤師)業務量【2022年 新設周術期薬剤管理加算】

(麻酔前診察での持参薬鑑別(抗血栓薬、サプリメントなどの鑑別含む:5月より全面開始))

| 月別  | 常用薬<br>の確認 | 術前外来<br>件数 | 術前件数<br>(全麻+局麻) | 術後件数<br>(全麻) | 術後件数<br>(局麻) | 術前件数<br>(緊急入院) | 術後件数<br>(緊急入院) | 疑義照会<br>件数 | 疑義照会<br>変更件数 |
|-----|------------|------------|-----------------|--------------|--------------|----------------|----------------|------------|--------------|
| 4月  |            | 0          | 197             | 139          | 67           | 12             | 11             | 18         | 10           |
| 5月  | 53         | 39         | 137             | 130          | 13           | 11             | 9              | 21         | 12           |
| 6月  | 152        | 78         | 138             | 155          | 0            | 12             | 9              | 19         | 14           |
| 7月  | 113        | 82         | 109             | 127          | 0            | 10             | 6              | 25         | 18           |
| 8月  | 183        | 92         | 125             | 125          | 0            | 9              | 6              | 21         | 15           |
| 9月  | 113        | 87         | 114             | 134          | 0            | 5              | 7              | 25         | 14           |
| 10月 | 100        | 91         | 129             | 146          | 7            | 8              | 12             | 29         | 18           |
| 11月 | 113        | 70         | 115             | 132          | 0            | 4              | 5              | 19         | 17           |
| 12月 | 117        | 73         | 107             | 125          | 0            | 3              | 5              | 13         | 10           |
| 1月  | 98         | 75         | 112             | 105          | 0            | 5              | 5              | 18         | 13           |
| 2月  | 113        | 90         | 121             | 142          | 0            | 8              | 7              | 21         | 15           |
| 3月  | 141        | 108        | 147             | 161          | 8            | 4              | 5              | 24         | 13           |
| 合計  | 1,296      | 885        | 1,551           | 1,621        | 95           | 91             | 87             | 253        | 169          |

術後件数(全麻)が算定対象であり、麻薬管理料Ⅰ・Ⅱ

◆病棟薬剤業務:ドクターフィー薬剤管理指導業務  
 薬剤管理指導料Ⅱ(380点) ;7,785件  
 薬剤管理指導料Ⅲ(325点) ;5,070件 } 合計;12,885件(1,071.3件/月)  
 麻薬加算件数(50点) ;628件(52.3件/月)  
 後発医薬品使用体制加算Ⅰ(42点):8,189件(682.4件/月)  
 退院時薬剤情報指導管理料(90点):3,120件(260.0件/月)  
 退院時薬剤情報連携加算(60点):97件(8.1件/月)  
 入退院支援加算Ⅰ(230点):1,212件(101件/月)  
 入退院支援加算Ⅰ(700点):3,652件(304.3件/月)  
 がん患者指導管理料3(200点):88件(7.3件/月)  
 外来がん化学療法連携充実加算(150点):1,295件(107.9件/月)  
 薬剤総合評価調製加算[1種類以下](退院時1回:100点):3件  
 薬剤総合評価調製加算[2種類以下](退院時1回:250点):0件



◆病棟薬剤業務:ホスピタルフィーとチーム医療  
 病棟薬剤業務1実施加算係数0.0079%加算(120点)×12ヶ月  
 病棟薬剤業務2実施加算係数(ICU・HCU:100点):2,325件

◆チーム医療での薬剤師参加体制  
 医療安全対策加算 加算1(85点) ;8,189件  
 医療安全対策地域連携加算 加算2(15点) ;8,189件  
 感染防止対策チーム  
 感染対策向上加算1(710点:月3回まで) ;8,189件  
 サーベイランス強化加算(1点:月1回) ;8,189件  
 指導強化加算(30点:月1回) ;8,189件  
 がん対策チーム  
 外来腫瘍化学療法診療料1(700点, 3回/月まで)イ.抗悪性腫瘍剤を投与した場合:2,225件  
 外来腫瘍化学療法診療料1(400点 週1回まで)ロ.抗悪性腫瘍剤の投与その他必要な治療管理を行った場合:33件  
 その他医療チーム  
 栄養管理チーム(NST);栄養サポートチーム加算(200点) ;4,736件  
 緩和医療チーム;緩和ケア診療加算(300点) ;4,182件  
 認知症ケア加算1(150点)14日以内 ;5,622件  
 認知症ケア加算1(30点) 15日以上 ;11,108件  
 周術期薬剤管理加算(75点) ;1,216件

2022年度薬剤部門関連診療報酬業務

|              | 項目                    |                              | 4月  | 5月  | 6月    | 7月    | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月   | 1月    | 2月  | 3月  | 合計     |
|--------------|-----------------------|------------------------------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|--------|
| 薬剤師協働でのチーム医療 | 医療安全対策加算 加算1(85点)     |                              | 693 | 723 | 735   | 718   | 720 | 659 | 673 | 657 | 609   | 666   | 619 | 717 | 8,189  |
|              | 医療安全対策地域連携加算 加算2(15点) |                              | 693 | 723 | 735   | 718   | 720 | 659 | 673 | 657 | 609   | 666   | 619 | 717 | 8,189  |
|              | 感染対策向上加算1(710点:月3回まで) |                              | 693 | 723 | 735   | 718   | 720 | 659 | 673 | 657 | 609   | 666   | 619 | 717 | 8,189  |
|              | サーベイランス強化加算(1点:月1回)   |                              | 693 | 723 | 735   | 718   | 720 | 659 | 673 | 657 | 609   | 666   | 619 | 717 | 8,189  |
|              | 指導強化加算(30点:月1回)       |                              | 693 | 723 | 735   | 718   | 720 | 659 | 673 | 657 | 609   | 666   | 619 | 717 | 8,189  |
|              | NST栄養サポートチーム加算(200点)  |                              | 366 | 368 | 433   | 438   | 419 | 437 | 374 | 375 | 370   | 361   | 365 | 430 | 4,736  |
|              | 緩和ケア診療加算(300点)        |                              | 306 | 333 | 436   | 435   | 326 | 500 | 355 | 291 | 326   | 272   | 250 | 352 | 4,182  |
|              | 認知症ケア加算1(150点)14日以内   |                              | 529 | 438 | 395   | 510   | 472 | 387 | 427 | 589 | 521   | 471   | 454 | 429 | 5,622  |
|              | 認知症ケア加算1 (30点)15日以上   |                              | 771 | 971 | 1,055 | 1,165 | 969 | 852 | 761 | 906 | 1,026 | 1,032 | 813 | 787 | 11,108 |
|              | 外来化学療法加算1. A(600点)    |                              | 207 | 212 | 217   | 196   | 223 | 230 | 196 | 221 | 214   | 218   | 199 | 238 | 2,571  |
|              | 外来化学療法加算1. B(450点)    |                              | 8   | 9   | 10    | 11    | 16  | 15  | 15  | 15  | 18    | 18    | 16  | 17  | 168    |
|              | 外来がん化学療法 連携充実加算(150点) |                              | 100 | 115 | 107   | 116   | 118 | 109 | 106 | 102 | 94    | 104   | 107 | 117 | 1,295  |
|              | がん患者指導管理料3(200点)      |                              | 11  | 7   | 7     | 3     | 10  | 8   | 9   | 4   | 6     | 5     | 10  | 8   | 88     |
| 無菌調製処理加算     | 抗がん剤調製時               | 揮発性の高い薬剤(180点)閉鎖式接続器具使用加算    | 199 | 230 | 237   | 234   | 275 | 223 | 209 | 201 | 192   | 210   | 201 | 239 | 2,650  |
|              |                       | 上記以外(45点)                    | 171 | 173 | 186   | 181   | 175 | 136 | 103 | 125 | 121   | 118   | 105 | 104 | 1,698  |
|              | 上記以外                  | 動脈・局所持続注射・肝動注点滴注射・TPNなど(40点) | 72  | 125 | 73    | 80    | 115 | 100 | 221 | 164 | 163   | 135   | 123 | 124 | 1,495  |

- ◆入院・外来化学療法混注(ミキシング)業務  
入院 3,144件, 外来3,372件(合計;6,516件, 平均;543件/月)  
レジメン監査・中止件数(薬剤監査;6,739件, 561.6件/月, 中止件数;316件, 26.3件/月)

令和4年度 抗がん薬混合調製、レジメン管理などがん担当薬剤師業務

| 月   | 入院    | 外来    | 中止  | レジメン<br>監査件数 | 皮下注ケモ<br>の件数 | 外来免疫<br>抑制剤 | 無菌製剤処理料<br>1イの件数<br>(外来化学療法件数-皮下注) |
|-----|-------|-------|-----|--------------|--------------|-------------|------------------------------------|
| 4月  | 268   | 254   | 19  | 541          | 67           | 12          | 175                                |
| 5月  | 238   | 273   | 25  | 536          | 64           | 16          | 193                                |
| 6月  | 295   | 290   | 25  | 610          | 54           | 17          | 219                                |
| 7月  | 289   | 336   | 29  | 654          | 42           | 23          | 224                                |
| 8月  | 329   | 307   | 38  | 674          | 37           | 25          | 227                                |
| 9月  | 265   | 278   | 25  | 543          | 59           | 24          | 195                                |
| 10月 | 237   | 276   | 22  | 535          | 60           | 26          | 190                                |
| 11月 | 249   | 267   | 29  | 545          | 54           | 23          | 190                                |
| 12月 | 276   | 243   | 31  | 532          | 52           | 30          | 161                                |
| 1月  | 274   | 271   | 27  | 522          | 56           | 29          | 186                                |
| 2月  | 195   | 266   | 24  | 485          | 48           | 33          | 185                                |
| 3月  | 229   | 311   | 22  | 562          | 58           | 34          | 219                                |
| 合計  | 3,144 | 3,372 | 316 | 6,739        | 651          | 292         | 2,364                              |

- ◆外来化学療法室担当薬剤師の活動  
・指導・処方介入件数(指導件数;2,511件/年, 209.3件/月, がん患者指導管理料3;100件, 8.3件/月  
介入件数;976件/年, 81.3件/月, 連携充実加算1,273件/年、106.1件/月)  
・抗がん剤注射前薬剤師による問診[副作用の確認](内服61件/年、注射61件/年, 内服・注射10件/年  
内服抗がん薬問診件数;298件/年, 24.8件/月)

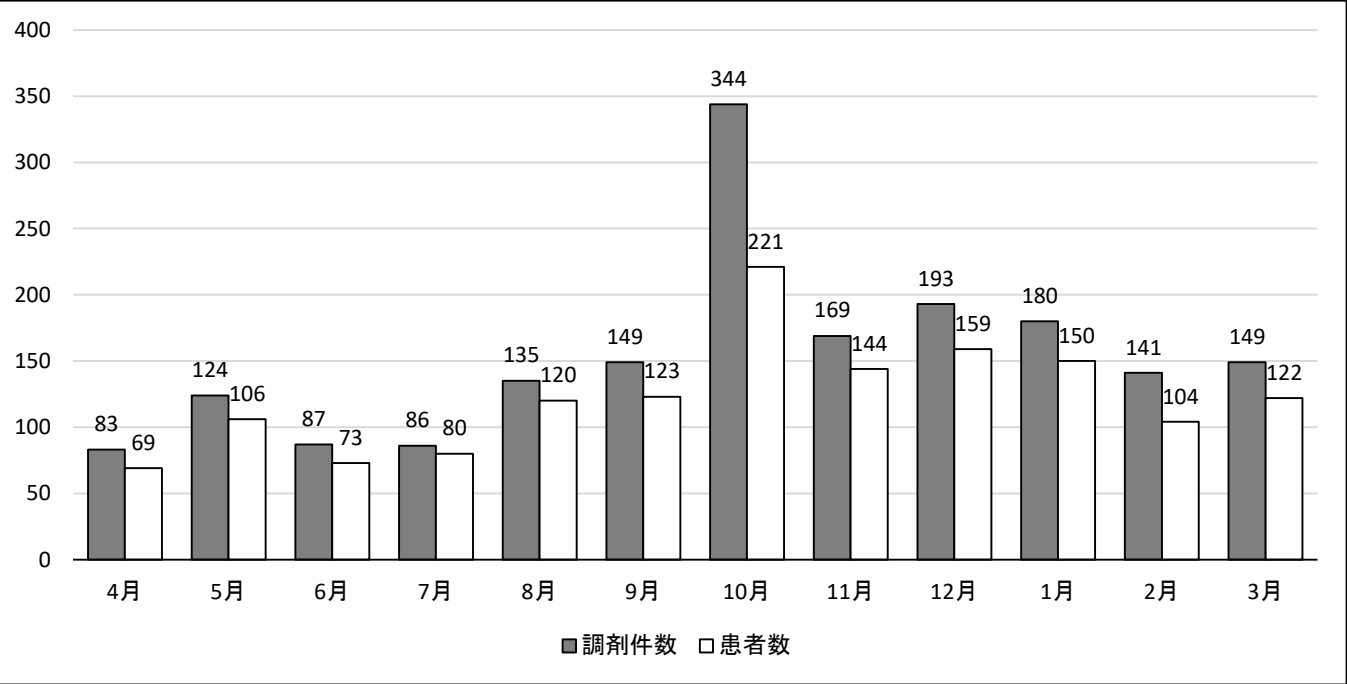
2022年度 薬剤師による外来化学療法室での服薬指導及び活動内容

|     | 指導件数  |                |        |      | 3階ケモ室事前指導 |     |       | 内服抗がん薬<br>問診件数 | 診察前<br>問診 |
|-----|-------|----------------|--------|------|-----------|-----|-------|----------------|-----------|
|     | 指導件数  | がん患者<br>指導管理料3 | 車携充実加算 | 介入件数 | 内服        | 注射  | 内服・注射 | 内服薬            | 内服薬       |
| 4月  | 188   | 12             | 89     | 63   | 8         | 8   | 0     | 17             | 0         |
| 5月  | 211   | 7              | 113    | 84   | 3         | 7   | 0     | 27             | 0         |
| 6月  | 222   | 8              | 98     | 88   | 3         | 6   | 2     | 25             | 0         |
| 7月  | 202   | 3              | 107    | 100  | 1         | 4   | 2     | 29             | 0         |
| 8月  | 257   | 11             | 112    | 91   | 10        | 6   | 0     | 22             | 0         |
| 9月  | 223   | 7              | 105    | 68   | 6         | 3   | 1     | 28             | 0         |
| 10月 | 219   | 16             | 112    | 78   | 7         | 7   | 0     | 28             | 0         |
| 11月 | 191   | 6              | 115    | 88   | 7         | 3   | 0     | 18             | 0         |
| 12月 | 186   | 7              | 95     | 88   | 6         | 1   | 3     | 32             | 0         |
| 1月  | 191   | 7              | 113    | 85   | 2         | 4   | 0     | 24             | 0         |
| 2月  | 187   | 11             | 108    | 67   | 6         | 8   | 1     | 23             | 0         |
| 3月  | 234   | 5              | 106    | 76   | 2         | 4   | 1     | 25             | 0         |
| 合計  | 2,511 | 100            | 1,273  | 976  | 61        | 61  | 10    | 298            | 0         |
| 平均  | 209.3 | 8.3            | 106.1  | 81.3 | 5.1       | 5.1 | 0.8   | 24.8           | 0.0       |

※2022年より外来腫瘍化学療法診療料1算定の場合には、がん患者指導管理料3は丸目(算定に含まれている)が1以外は算定可

◆TPN(高カロリー輸液)混注(ミキシング)業務

・患者数1,417名、 調剤件数1,840件(平均153.3件/月)、ハイカリBag使用件数634件(平均52.8件/ 月)



◆麻薬管理業務

譲受件数: 麻薬の納品件数467件/年、

交付件数: 麻薬処方せんを院外・内で手渡した件数7,203件

施用件数: 麻薬処方せんを院外・内で使用した件数7,207件

返納件数: 麻薬処方せんを院内で他渡した後、中止より開封なしで返納した件数: 763件

持参麻薬件数: 麻薬を持参して使用した件数: 221件

| 剤形  | 譲渡件数 | 交付件数  | 施用件数  | 返納件数 | 持参件数 |
|-----|------|-------|-------|------|------|
| 注射薬 | 224  | 5,528 | 5,529 | 327  | 1    |
| 内服薬 | 182  | 1,385 | 1,387 | 389  | 186  |
| 外用薬 | 61   | 290   | 291   | 47   | 34   |
| 合計  | 467  | 7,203 | 7,207 | 763  | 221  |

麻薬医薬品 年間使用量(令和3年10月～令和4年9月)

| 剤形  | 薬品名                | 2021年 |       |       | 2022年 |       |       |       |       |       |       |       |       | 合計    |
|-----|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|     |                    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    |       |
| 注射薬 | 塩酸モルヒネ注10mg        | 3     | 5     | 16    | 1     | 19    | 16    | 6     | 8     | 1     | 1     | 29    | 18    | 123   |
|     | 塩酸モルヒネ注50mg        | 7     | 0     | 2     | 0     | 7     | 4     | 0     | 4     | 5     | 2     | 1     | 0     | 32    |
|     | ペチロルフアン注5mg        | 42    | 38    | 44    | 36    | 50    | 31    | 52    | 49    | 41    | 34    | 38    | 37    | 492   |
|     | フェンタニル0.1mg        | 216   | 270   | 261   | 241   | 243   | 234   | 252   | 226   | 249   | 202   | 183   | 216   | 2,793 |
|     | フェンタニル0.25mg       | 444   | 417   | 502   | 469   | 528   | 501   | 471   | 523   | 490   | 603   | 448   | 466   | 5,862 |
|     | ケタラール静注用50mg       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 9     | 0     | 0     | 0     | 0     | 9     |
|     | ケタラール筋注用500mg      | 0     | 0     | 2     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 2     |
|     | オキファスト注10mg        | 7     | 19    | 4     | 10    | 2     | 13    | 6     | 0     | 0     | 0     | 5     | 5     | 71    |
|     | オキファスト注50mg        | 4     | -1    | 0     | 22    | 0     | 7     | 0     | 1     | 17    | 8     | 0     | 0     | 58    |
|     | アルチバ静注用2mg         | 223   | 244   | 291   | 222   | 224   | 239   | 265   | 217   | 247   | 250   | 218   | 144   | 2,784 |
|     | レミフェンタニル静注用2mg     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 102   | 102   |
|     | ナルペイン注2mg          | 0     | 17    | 83    | 131   | 62    | 49    | 7     | 0     | 21    | 36    | 14    | 2     | 422   |
|     | ナルペイン注20mg         | 0     | 0     | 0     | 0     | 42    | 0     | 0     | 0     | 0     | 16    | 19    | 0     | 77    |
| 内服薬 | 塩酸モルヒネ水和物100倍散     | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
|     | 塩酸モルヒネ塩酸塩錠10mg「DSI | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | オキノーム散2.5mg        | 71    | 59    | 31    | 93    | 44    | 32    | 49    | 104   | 108   | 57    | 41    | 434   | 1,123 |
|     | オキノーム散5mg          | 107   | 161   | 215   | 115   | 130   | 140   | 49    | 106   | 131   | 191   | 117   | 123   | 1,585 |
|     | オキノーム散10mg         | 117   | 152   | 74    | 62    | 92    | 276   | -50   | 0     | 26    | 60    | 9     | 0     | 818   |
|     | オキノーム散20mg         | 109   | 0     | 0     | 0     | 25    | 78    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 212   |
|     | パシーフカプセル30mg       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | パシーフカプセル60mg       | 62    | 42    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 104   |
|     | オキシコンチン錠TR5mg      | 280   | 341   | 333   | 252   | 290   | 57    | 97    | 133   | 225   | 41    | 25    | 182   | 2,256 |
|     | オキシコンチン錠TR10mg     | 74    | 250   | 64    | 103   | 142   | 93    | 42    | 87    | 150   | 20    | 0     | 83    | 1,108 |
|     | オキシコンチン錠TR20mg     | 297   | 75    | 105   | 61    | 140   | 301   | 58    | 16    | 82    | 129   | 12    | 52    | 1,328 |
|     | メサペイン錠5mg          | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 22    | 0     | 22    |
|     | メサペイン錠10mg         | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 105   | 0     | 105   |
|     | タペンタ錠50mg          | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | タペンタ錠100mg         | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | ナルサス錠2mg           | 43    | 119   | 80    | 240   | 222   | 135   | 17    | 83    | 36    | 49    | 159   | 148   | 1,331 |
|     | ナルサス錠6mg           | 84    | 114   | 42    | 111   | 91    | 122   | 55    | 23    | 57    | 19    | 52    | 70    | 840   |
|     | ナルサス錠12mg          | 0     | 108   | 43    | 126   | 144   | 29    | 9     | 28    | 0     | 1     | 0     | 0     | 488   |
|     | ナルサス錠24mg          | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 17    | 24    | 8     | 14    | 2     | 0     | 20    | 85    |
|     | ナルラピド錠1mg          | 15    | 128   | 101   | 261   | 249   | 112   | 63    | 286   | 401   | 24    | 102   | 99    | 1,841 |
|     | ナルラピド錠2mg          | 74    | 217   | 93    | 68    | 82    | 64    | 35    | 0     | 51    | 28    | 20    | 112   | 844   |
|     | ナルラピド錠4mg          | 120   | 177   | 73    | 253   | 320   | 211   | 204   | 30    | 0     | 64    | 259   | 168   | 1,879 |
|     | アブストラル舌下錠100μg     | 0     | 0     | 0     | 12    | -12   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | アブストラル舌下錠200μg     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | オプソ内服液5mg          | 6     | 38    | 19    | 39    | 65    | 21    | 60    | 41    | 1     | 97    | 33    | 8     | 428   |
|     | オプソ内服液10mg         | 84    | 80    | 0     | 0     | 25    | 0     | 5     | -5    | 0     | 29    | 0     | 0     | 218   |
|     | MSコンチン10mg         | 44    | 49    | 3     | 3     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 118   | 92    | 0     | 309   |
| 外用薬 | アンペック坐薬20mg        | 40    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 40    |
|     | コカイン散              | 1.0   | 1.2   | 1.4   | 1.6   | 0.8   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 6.0   |
|     | デュロテップMTパッチ2.1mg   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | フェントステープ0.5mg      | 17    | 6     | 16    | 62    | 66    | 10    | 11    | 27    | 82    | 68    | 11    | 40    | 416   |
|     | フェントステープ1mg        | 68    | 25    | 19    | 93    | 83    | 85    | 54    | 47    | 38    | 77    | 15    | 51    | 655   |
|     | フェントステープ2mg        | 14    | 25    | 10    | 9     | 72    | 62    | 27    | 0     | 23    | 1     | 30    | 14    | 287   |
|     | フェントステープ4mg        | 16    | 14    | 0     | 0     | 0     | 8     | -3    | 0     | 0     | 26    | 16    | 3     | 80    |
|     | フェントステープ6mg        | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 15    | 15    |
|     | フェントステープ8mg        | 29    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 29    |



- ◆薬剤部DI 実績報告書集計表
- ・DI問合せ件数:559件(DI室195件, 病棟薬剤師364件)
  - ・疑義紹介:471件
  - ・腎機能薬剤調査件数70件(禁忌調査件数:38件, 慎重投与調査件数32件)

薬剤部実績報告書 DI室 2022年度

| 月   | 問い合わせ   |     | 病棟<br>プレアボイド<br>(疑義照会) | DI業務          |                 |                  | 調剤室ヒヤリハット |
|-----|---------|-----|------------------------|---------------|-----------------|------------------|-----------|
|     | DI室・調剤室 | 病棟  |                        | DIニュース<br>発行数 | 腎機能別禁忌<br>薬対応件数 | 腎機能別慎重<br>投与対応件数 |           |
| 4月  | 13      | 20  | 27                     | 5             | 4               | 6                | 2         |
| 5月  | 19      | 49  | 48                     | 2             | 1               | 2                | 1         |
| 6月  | 11      | 34  | 47                     | 4             | 2               | 0                | 1         |
| 7月  | 11      | 18  | 45                     | 3             | 3               | 13               | 3         |
| 8月  | 20      | 49  | 30                     | 2             | 2               | 2                | 6         |
| 9月  | 15      | 30  | 34                     | 3             | 0               | 2                | 0         |
| 10月 | 20      | 43  | 51                     | 2             | 3               | 2                | 2         |
| 11月 | 23      | 45  | 51                     | 4             | 3               | 0                | 2         |
| 12月 | 18      | 25  | 39                     | 2             | 6               | 0                | 5         |
| 1月  | 15      | 28  | 31                     | 4             | 3               | 2                | 2         |
| 2月  | 21      | 15  | 36                     | 3             | 3               | 2                | 2         |
| 3月  | 9       | 8   | 32                     | 3             | 8               | 1                | 2         |
| 合計  | 195     | 364 | 471                    | 37            | 38              | 32               | 28        |

令和4年度 DI業務量

| 内容                            | 年間発行件数 |
|-------------------------------|--------|
| 医薬品・医療機器等安全性情報                | 9      |
| Drug Safety Update(医薬品安全対策情報) | 9      |
| 緊急安全性情報(イエローレター, ブルーレター)      | 0      |
| 関電DI NEWS                     | 36     |

◆学生実務実習状況

|                  | 期間                             | 受け入れ大学(人数)                | 合計(人数) |
|------------------|--------------------------------|---------------------------|--------|
| 第2期              | 令和3年5月23日～令和3年8月7日<br>(11週間)   | 京都薬科大学(2名)<br>近畿大学(1名)    | 2名     |
| 第3期              | 令和3年8月22日～令和3年11月6日<br>(11週間)  | 武庫川女子大学(2名)<br>近畿大学(1名)   | 0名     |
| 第4期              | 令和3年11月22日～令和4年2月13日<br>(11週間) | 武庫川女子大学(2名)<br>京都薬科大学(1名) | 0名     |
| 年間の学生実習生を受け入れ数合計 |                                |                           | 2名     |

2022年度の薬学生実務実習受入要件:コロナワクチン接種、定量検査(+3,000円)実施を宣言

◆2022年度治験実績 治験事務局 CRC;3名 13治験を実施経過報告

| 番号 | 治験課題名                                                                             | 開発相  | 治験依頼者         | 契約日            | 治験<br>終了日               | 予定<br>症例数 | 同意取得<br>症例数 | 実施<br>症例数 | 中止<br>症例数 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|----------------|-------------------------|-----------|-------------|-----------|-----------|
| 1  | 糖尿病性腎臓病患者を対象としたプラセボ対照ランダム化二重盲検比較試験                                                | 第Ⅲ相  | 協和発酵キリン株式会社   | 2018年<br>9月12日 | 2024年<br>12月31日<br>(予定) | 7例        | 7例          | 7例        | 3例        |
| 2  | 2型糖尿病患者を対象としたペマフィブラートの心血管アウトカム試験                                                  | 第Ⅲ相  | 興和            | 2019年<br>4月24日 | 2022年<br>12月28日         | 7例        | 13例         | 7例        | 6例        |
| 3  | 慢性腎臓病患者を対象とした心・腎アウトカムを評価する、エンパグリフロジン1日1回投与に関する国際多施設共同、無作為化、並行群間、二重盲検、プラセボ対照比較臨床試験 | 第Ⅲ相  | ベーリンガーインゲルハイム | 2019年<br>6月24日 | 2022年<br>10月25日         | 35例       | 36例         | 34例       | 5例        |
| 4  | 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者を対象とした48週間投与における経口エダラボンの多施設共同、二重盲検、有効性・安全性検証試験                    | 第Ⅲb相 | 田辺三菱製薬株式会社    | 2020年<br>12月7日 | 2023年<br>12月30日<br>(予定) | 8例        | 6例          | 6例        | 2例        |
| 5  | 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎プラセボ対照(テゼペルマブの有効性及び安全性)                                                | 第Ⅲ相  | アストラゼネカ株式会社   | 2021年<br>2月10日 | 2024年<br>12月(予定)        | 2例        | 3例          | 2例        | 1例        |

| 番号 | 治験課題名                                                                                                | 開発相                 | 治験依頼者                    | 契約日         | 治験終了日          | 予定症例数 | 同意取得症例数 | 実施症例数 | 中止症例数 |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|--------------------------|-------------|----------------|-------|---------|-------|-------|
| 6  | 高コレステロール血症患者を対象としたETC-1002の有効性及び安全性を評価するプラセボ対照、無作為化、多施設共同、二重盲検、並行群間試験                                | 第Ⅱ相                 | 大塚製薬株式会社                 | 2021年3月19日  | 2022年6月20日     | 4例    | 4例      | 4例    | 0例    |
| 7  | 筋委縮性側索硬化症(ALS)患者を対象とした経ロエダラボンの多施設共同、非盲検、長期安全性継続投与試験(第Ⅲ相)(MT-1186-A03試験)                              | 第Ⅲ相                 | 田辺三菱製薬株式会社               | 2021年5月24日  | 2023年7月予定      | 4例    | 4例      | 4例    | 1例    |
| 8  | 間質性膀胱炎患者を対象とした用量設定試験(JTE-051)                                                                        | 日本たばこ産業株式会社         | 泌尿器<br>青山 輝義             | 2021年6月23日  | 2024年10月(予定)   | 5例    | 2例      | 0例    | 2例    |
| 9  | 重症化リスク因子をもつ発症早期COVID-19患者を対象としたファビピラビルの臨床第Ⅲ相試験-プラセボ対照、層別ランダム化、多施設共同、二重盲検試験-                          | 富士フイルム富山化学株式会社      | 糖尿病・代謝・内分泌センター<br>山田 祐一郎 | 2021年6月16日  | 2022年4月26日     | 8例    | 0例      | 0例    | 0例    |
| 10 | 2型糖尿病患者を対象とした、週1回投与GLP-1及びGIPの有効性と安全性を検討する用量設定試験(NN9389-4606試験)                                      | ノボ ノルディスクファーマ株式会社   | 糖尿病・代謝・内分泌センター<br>浜本 芳之  | 2021年10月28日 | 2023年6月(予定)    | 2例    | 1例      | 1例    | 0例    |
| 11 | 日本人神経内分泌腫瘍患者を対象としたSURUFATINIBの非盲検試験(2020-012-00JP1)                                                  | サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社 | 消化器外科<br>河本 泉            | 2021年10月14日 | 2023年4月30日(予定) | 5例    | 2例      | 2例    | 0例    |
| 12 | 筋委縮性側索硬化症(ALS)患者を対象とした48週間投与における経ロエダラボンのMT-1186-A02試験後の多施設共同、二重盲検、有効性・安全性継続投与試験(第Ⅲb相)(MT-1186-A04試験) | 田辺三菱製薬株式会社          | 脳神経内科<br>濱野 利明           | 2022年3月9日   | 2025年5月(予定)    | 3例    | 2例      | 2例    | 0例    |
| 13 | (臨床研究)<br>糖尿病患者を対象とした完全栄養食の優越性の検討                                                                    | 日清食品ホールディングス株式会社    | 糖尿病・代謝・内分泌センター<br>浜本 芳之  | 2022年3月30日  | 2024年4月(予定)    | 20例   | 20例     | 14例   | 6例    |

[学会発表 口頭・ポスター] 8題

| 開催日                | 雑誌名称<br>題名                                                                       | 投稿者   |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 2022年<br>5月25-27日  | 第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会<br>アトルバスタチンとシクロスポリンの相互作用が原因と考えられた横紋筋融解症<br>および急性腎障害の一症例     | 野々内裕紀 |
| 2022年<br>6月16-18日  | 第37回日本環境感染症学会総会・学術集会<br>ニルマトレビル錠/リトナビル錠の薬剤部門システムにおける併用禁忌の確立                      | 眞継賢一  |
| 2022年<br>7月23-24日  | 第9回日本糖尿病協会年次学術集会<br>経ロセマグルチドの服薬状況調査                                              | 仲宗根千佳 |
| 2022年<br>9月17-18日  | 第10回日本くすりと糖尿病学会学術集会<br>拡張不全を合併する2型糖尿病患者におけるGLP-1受容体作動薬の<br>心機能への影響               | 濱口良彦  |
| 2022年<br>9月23-25日  | 第32回日本医療薬学会年会<br>当院における入院処方箋の疑義照会調査と薬剤師の<br>代行入力オーダーシステムの現状                      | 橋本知樹  |
| 2022年<br>10月20-22日 | 第60回日本癌治療学術総会<br>臨床における経皮吸収型ジクロフェナクナトリウム貼付薬の使用状況と有用性の検討                          | 荒木 悠  |
| 2022年<br>10月29-30日 | 第16回 日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会<br>VEGF阻害薬を契機とした尿蛋白にSGLT2阻害薬が著効した一例                      | 岡本朋子  |
| 2023年<br>2月4-5日    | 第25回日本薬剤師会近畿学術大会<br>第44回日本病院薬剤師会近畿学術大会 合同学術大会<br>ワルファリン感受性が低い患者に対して、病棟薬剤師が介入した一例 | 田村真由子 |

**【学術誌・論文投稿】 5題**

| 開催日   | 雑誌名称<br>題名                                                                                                                                                                                           | 投稿者          |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 5月20日 | 編集 日本病態栄養学会 発行(株)南江堂<br>病態栄養専門薬剤師のための病態栄養ガイドブック(改訂第7版)<br>『輸液剤と経腸栄養剤』                                                                                                                                | 濱口良彦         |
| 8月8日  | 編集 日本薬剤師 発行(株)薬事日報社<br>第十四改訂調剤指針 増補版<br>指針 3. 製剤各論 ④内容液剤<br>解説 6. 製剤各論に関わる解説 ①経口投与する製剤 5. 経口液剤<br>①皮膚などに適応する製剤 7. 貼付剤<br>7. 医薬品情報の収集と利活用 ⑦病棟における薬剤業務                                                 | 濱口良彦         |
| 9月25日 | 株式会社じほう 新刊書籍『薬剤師のための薬物療法問題集』2022 PP98-99<br>「循環器疾患」3. 心房細動 (PP18-25)<br>2型糖尿病 低血糖(SU薬、インスリン薬)、脂質異常症、<br>高尿酸血症・痛風、甲状腺疾患<br>「内分泌代謝疾患」コラム (PP100-133)<br>3型糖尿病 低血糖(SU薬、インスリン薬)、脂質異常症、<br>高尿酸血症・痛風、甲状腺疾患 | 上田浩貴<br>濱口良彦 |
| 1月10日 | 日本臨床救急医学会雑誌(JJSEM) Vol.26 No.1 PP46-50 2023年<br>スタチンと免疫抑制剤の相互作用が原因と考えられた<br>横紋筋融解症および急性腎障害の1症例                                                                                                       | 野々内裕紀        |

**【福島県薬剤師会共催 地域連携勉強会】 2回**

| 開催日                | 会名称<br>講演・活動・発表テーマ                                                                                          | 講演者                  |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 2022年<br>9月16日     | 第3回抗がん薬の薬局連携充実地域研修会<br>『がん化学療法の副作用評価』<br>『薬局におけるレジメン活用の実際』<br>『病院・薬局連携のがんチーム医療』                             | 大矢幸恵<br>黒岩勇人<br>柳原一広 |
| 2022年<br>11月7日-30日 | 第3回抗がん薬の薬局連携充実地域研修会<br>Web研修会(オンデマンド・youtube配信)<br>『がん化学療法の副作用評価』<br>『薬局におけるレジメン活用の実際』<br>『病院・薬局連携のがんチーム医療』 | 大矢幸恵<br>黒岩勇人<br>柳原一広 |

**【院内講演(安全管理・感染など含む)活動】 20回**

| 開催日                       | 会名称<br>講演・活動・発表テーマ                                                                                                                                                  | 講演者  |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 2022年<br>5月12日            | 16階病棟 勉強会<br>抗がん剤、曝露対策について                                                                                                                                          | 王 宏維 |
| 2022年5月19日-<br>2023年3月31日 | 2022年 新人看護師研修 基礎編講習会 1・2<br>処方性医薬品を取り扱う注意点 <関電ライブラリー配信><br>『処方せん医薬品を取扱う看護師が患者対応で知っておくとよい点』<br>新人看護師研修 基礎編 1.お薬と処方せんの種類と抗血栓薬注意点のなど<br>2. 情報の基本、薬物動態、麻薬、向精神病薬、劇薬の取り扱い | 濱口良彦 |
| 2022年<br>6月9日             | 16階病棟勉強会<br>配合変化、ハイリスク薬の取り扱いについて                                                                                                                                    | 王 宏維 |
| 2022年<br>7月13日            | 14階病棟新規薬剤勉強会<br>「ハイヤスタ」                                                                                                                                             | 橋本知樹 |
| 2022年<br>8月27日            | 第10回 関西電力病院緩和ケア研修会<br>緩和ケア研修会ファシリテーター                                                                                                                               | 荒木 悠 |
| 2022年<br>9月2日             | 14階病棟薬剤勉強会<br>「ボシユリフ」                                                                                                                                               | 橋本知樹 |

| 開催日                    | 会名称                                 | 講演者  |
|------------------------|-------------------------------------|------|
|                        | 講演・活動・発表テーマ                         |      |
| 2022年<br>10月24日        | 14階病棟新規薬剤勉強会                        | 橋本知樹 |
|                        | 「エジャイモ」                             |      |
| 2022年10月26日<br>-11月30日 | 医療安全講習会/医薬品に係わる医療安全講習会 <関電ライブラリー配信> | 濱口良彦 |
|                        | 『麻薬・向精神薬の取り扱いについて』                  |      |
| 2022年<br>12月8日         | 16階病棟 勉強会                           | 王 宏維 |
|                        | コロナ治療薬について                          |      |
| 2023年1月26日<br>-2月28日   | 医療安全講習会/医薬品に係わる医療安全講習会 <関電ライブラリー配信> | 濱口良彦 |
|                        | 『周術期の抗血栓薬(抗凝固薬・抗血小板薬)の取り扱いについて』     |      |
| 2023年1月20日             | 感染対策講演 IVナース研修                      | 真継賢一 |
|                        | 抗菌薬など                               |      |
| 2023年<br>1月26日-2月21日   | 2022年 院内感染対策研修会                     | 眞継賢一 |
|                        | 『抗インフルエンザ薬の使い方』                     |      |
| 2023年<br>2月1日          | 14階病棟新規薬剤勉強会                        | 橋本知樹 |
|                        | 「セムブリックス」                           |      |
| 2023年<br>2月25日-3月10日   | DST研修会 CoMedicsで配信                  | 王 宏維 |
|                        | 睡眠薬の分類と使い分け                         |      |
| 2023年<br>2月13日         | 14階病棟薬剤勉強会                          | 橋本知樹 |
|                        | 「ユルトミス」                             |      |
| 2023年<br>3月7日          | 16階病棟 勉強会                           | 王 宏維 |
|                        | 新人Ns.用研修用資料提供(抗生剤適正使用、配合変化)         |      |
| 2023年<br>3月10日         | 14階病棟勉強会                            | 橋本知樹 |
|                        | 「SMILE療法」                           |      |
| 2023年<br>3月14日         | RST講習会 CoMedicsで配信                  | 伊藤博美 |
|                        | 「呼吸療法における薬物療法(薬物吸入療法の種類、原理等)」       |      |
| 2023年<br>3月20日         | 14階病棟新規薬剤勉強会                        | 橋本知樹 |
|                        | 「エザルミア」                             |      |
| 2023年<br>3月28日         | 16階病棟 勉強会                           | 王 宏維 |
|                        | 抗がん剤、曝露対策について                       |      |

**【院外講演・活動】** 25題(回)

| 開催日   | 会名称                                                               | 講演者  |
|-------|-------------------------------------------------------------------|------|
|       | 活動・発表テーマ                                                          |      |
| 4月22日 | エーザイ(株)主催                                                         | 濱口良彦 |
|       | 医療安全と不眠症診療WEBセミナー 座長                                              |      |
| 5月14日 | 神戸学院大学「医療の中の薬学」                                                   | 上田浩貴 |
|       | チーム医療における薬剤師の役割/専門薬剤師                                             |      |
| 5月20日 | 日本化薬株式会社 大阪医薬支店 社内研修会                                             | 黒岩勇人 |
|       | がん認定薬剤師の業務について                                                    |      |
| 5月23日 | 2022年日本くすりと糖尿病学会 教育研修委員会主催研修会                                     | 濱口良彦 |
|       | 認定薬剤師に必要な『自験例の書き方』と『取得後の患者貢献への期待』<br>-JPDS認定委員会の統一した自験例の審査方法について- |      |

| 開催日               | 会名称                                                                                                                                                                       | 講演者          |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
|                   | 活動・発表テーマ                                                                                                                                                                  |              |
| 5月30日             | 関西電力病院 ひかり会(MR会)WEB配信                                                                                                                                                     | 濱口良彦         |
|                   | 関西電力病院でのMR活動への理解<br>第1部-ひかり会ルール、コロナ禍の中での変化-<br>第2部-大阪万博と医療の変革について-                                                                                                        |              |
| 6月4日              | 大阪感染制御薬剤師研究会 主催勉強会                                                                                                                                                        | 濱口良彦         |
|                   | ワクチンUP to DATE                                                                                                                                                            |              |
| 6月6日              | アストラゼネカ株式会社主催「第4回 病棟薬剤師の集い」                                                                                                                                               | 濱口良彦         |
|                   | Opening Remarks 若手薬剤師の医療貢献への期待<br>-患者への薬剤師ができる業務を考える力を持つ-                                                                                                                 |              |
| 6月7日              | 中外製薬株式会社 医薬品情報フォーラム2022 in Osaka-City WEB配信社                                                                                                                              | 濱口良彦         |
|                   | 『DI業務における課題』 情報共有&意見交換 スライド講演 座長                                                                                                                                          |              |
| 6月18日             | 大阪糖尿病協会 主催                                                                                                                                                                | 濱口良彦         |
|                   | 第21回大阪糖尿病患者教育担当者研修会(ODES)<br>教育講Ⅲ 多彩な血糖降下薬の 服用に関する疑問点について                                                                                                                 |              |
| 7月22日             | ファイザー株式会社 主催 第77回日本消化器外科学会総会共催セミナー                                                                                                                                        | 眞継賢一         |
|                   | 腹腔内感染症におけるAST薬剤師の役割とアプローチ3つのポイント                                                                                                                                          |              |
| 9月6日              | テルモ株式会社 大阪支店 社内講演会(WEB配信)                                                                                                                                                 | 濱口良彦         |
|                   | タスクシフティングについて 考えよう！                                                                                                                                                       |              |
| 9月20日             | 法益社団法人日本看護協会 特定行為研修                                                                                                                                                       | 眞継賢一         |
|                   | 「感染に係る薬剤投与の管理の実際-抗生剤に関する基礎知識について-」<br>各種抗生剤の①適応と使用方法(腎機能評価とTDM)②副作用③感染兆候にある者<br>に対して使用するその他の薬剤について④解熱鎮痛剤の種類と臨床薬理⑤適応と使<br>用方法⑥有害事象とその対策など                                  |              |
| 10月4日             | アストラゼネカ株式会社主催「第5回 病棟薬剤師の集い」                                                                                                                                               | 濱口良彦         |
|                   | closing Remarks :若手薬剤師の医療貢献への期待<br>-薬剤師は医師と話ができることが力を持つ近道-                                                                                                                |              |
| 10月8日・22日<br>・23日 | 大阪府糖尿病療養指導士認定機構(CDE大阪)主催 WEB配信                                                                                                                                            | 濱口良彦         |
|                   | 基礎講習会「薬物療法」                                                                                                                                                               |              |
| 10月16日            | 第20回長野県糖尿病療養指導研究会                                                                                                                                                         | 濱口良彦         |
|                   | 長野県糖尿病療養指導士会、ノボ・ノルディスクファーマ株式会社 共催<br>多彩な血糖降下薬の 服用に関する疑問点について                                                                                                              |              |
| 10月30日            | 臨床心臓病学教育研修会 WEB配信                                                                                                                                                         | 上田浩貴         |
|                   | 第1回 多職種症例検討会 ファシリテーター                                                                                                                                                     |              |
| 11月15日            | 一般社団法人大阪府病院薬剤師会所外研修委員会主催新人研修会                                                                                                                                             | 眞継賢一         |
|                   | 感染管理ICT                                                                                                                                                                   |              |
| 12月1日             | 大阪府病院薬剤師会 O.H.P.研修講座シリーズ79 WEB配信                                                                                                                                          | 上田浩貴         |
|                   | 知っておくと役に立つ！臨床で活かせる薬の知識<br>～循環器編Part1(虚血)～                                                                                                                                 |              |
| 12月10日            | 大阪府病院薬剤師会 主催 2022度 第3回地域連携推進講習会                                                                                                                                           | 濱口良彦         |
|                   | 多彩な糖尿病治療薬の最善の服用方法を考える                                                                                                                                                     |              |
| 12月17日            | 一般社団法人大阪府薬剤師会主催                                                                                                                                                           | 上田浩貴<br>濱口良彦 |
|                   | 令和4年度 薬-薬連携推進のための研修会<br>心不全患者に対する病院内での医師との連携と薬局からの必要な情報とは？<br>-最新の心不全治療薬と薬剤師の介入の必要性を考える-<br>薬局と病院薬剤師が連携して患者が安心できる心不全と糖尿病の治療継続に挑む！<br>「心不全、糖尿病などの慢性疾患の治療に なぜ薬剤師の介入が重要なのか？」 |              |

| 開催日            | 会名称<br>活動・発表テーマ                                                                                                                                                             | 講演者   |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1月6日           | 大阪府看護協会 2022年度感染管理認定看護師 教育課程 講師<br>「感染に係る薬剤投与の管理の実際-抗生剤に関する基礎知識について-」<br>各種抗生剤の①適応と使用方法(腎機能評価とTDM)②副作用③感染兆候にある者<br>に対して使用するその他の薬剤について④解熱鎮痛剤の種類と臨床薬理⑤適応と使<br>用方法⑥有害事象とその対策など | 眞継賢一  |
| 1月28日          | AMED 副作用報告研究班 2022年度第1回WEB講演会<br>DI室が“active”に活動して副作用報告につながった事例<br>～ヨードホルムガーゼによるヨードホルム中毒の一症例～                                                                               | 野々内裕紀 |
| 2月2日           | 沢井製薬株式会社 大阪支店 社内講演会<br>抗MRSA薬の使い方及び注意事項                                                                                                                                     | 眞継 賢一 |
| 2月8日           | 高尿酸血症ファーマシーWEBセミナー 持田製薬(株)主催<br>『外来患者さんの治療継続に薬剤師はどこまで関われるか』<br>周術期患者の抗血栓薬(抗凝固薬、抗血小板薬)の休止指示後から退院への向けて<br>の再開継続について「手術前外来→手術入院→入院療養→退院後までを考える」                                | 濱口良彦  |
| 2月28日<br>3月13日 | 日本くすりと糖尿病学会 教育研修委員会主催 第1回講習会 WEB配信<br>多彩な糖尿病治療薬の最善の服用方法を考える                                                                                                                 | 濱口良彦  |

## [カンファレンス]

- ・薬局会 (1回/月実施;年12回/年)
- ・薬-薬連携勉強会(1回/月実施, 門前薬局5薬局;コロナ禍により中止)  
(1回/4ヶ月:福島区薬剤師会共催 薬-薬連携勉強会;2回/年)
- ・病棟薬剤管理業務カンファレンス(毎週木曜日:36回/年)
- ・症例検討会(抄読会含む)(毎週金曜日;52回/年)

## [入会学会]

日本医療薬学会, 日本化学療法学会, 日本環境感染学会, 日本薬学会, 日本糖尿病学会, 日本循環器学会,  
日本病態栄養学会, 日本癌治療学会, 日本TDM学会, 日本臨床救急医学会, 日本臨床栄養代謝学会, 日本褥瘡学会,  
日本緩和医療薬学会, 日本臨床腫瘍学会, 日本腎臓病薬物療法学会, 日本結核病学会, 日本くすりと糖尿病学会,  
日本高血圧学会, 日本医薬品情報学会, 日本外科感染症学会, 日本臨床腫瘍薬学会, 日本乳癌学会,  
日本病院薬剤師会, 日本薬剤師会

## [専門・認定薬剤師](認定機関:薬剤師名)

| 認定先(認定期間)   | 役割              | 人数 | 薬剤部員名                                             |
|-------------|-----------------|----|---------------------------------------------------|
| 日本医療薬学会     | 指導薬剤師           | 1名 | 濱口良彦                                              |
|             | 専門薬剤師           | 4名 | 濱口良彦、眞継賢一、上田浩貴、<br>野々内裕紀                          |
| 日本病院薬剤師会    | 感染制御専門薬剤師       | 2名 | 濱口良彦、眞継賢一                                         |
|             | 感染制御認定薬剤師       | 2名 | 上田浩貴、高崎奈津希                                        |
|             | がん薬物療法認定薬剤師     | 2名 | 黒岩勇人、上田綾佳                                         |
|             | 日病薬薬学認定薬剤師      | 8名 | 塚本泰彦、寒川裕美、上田綾佳、<br>伊藤博美、仲宗根千佳、高崎奈津希、<br>橋本知樹、林 和宏 |
| 日本化学療法学会    | 抗菌化学療法認定薬剤師     | 2名 | 眞継賢一、上田浩貴                                         |
| 日本結核病学会     | 結核・抗酸菌症エキスパート   | 1名 | 上田浩貴                                              |
| 日本緩和医療薬学会   | 緩和薬物療法認定薬剤師     | 1名 | 塚本泰彦                                              |
|             | 緩和医療暫定指導薬剤師     | 1名 | 塚本泰彦                                              |
| 日本臨床栄養代謝学会  | 栄養サポートチーム専門療法士  | 3名 | 古場 建、伊藤博美、仲宗根千佳                                   |
|             | 認定NST研修履修者      | 3名 | 古場 建、伊藤博美、<br>仲宗根千佳                               |
| 日本臨床救急医学会   | 救急認定薬剤師         | 1名 | 野々内裕紀                                             |
| 日本腎臓病薬物療法学会 | 腎臓薬物療法認定薬剤師     | 1名 | 野々内裕紀                                             |
| 日本腎臓病協会     | 腎臓病療養指導士        | 1名 | 野々内裕紀                                             |
| 日本循環器学会     | 心不全療養指導士        | 1名 | 上田浩貴                                              |
| 日本高血圧学会     | 高血圧・循環器病予防療養指導士 | 1名 | 上田浩貴                                              |
| 日本くすりと糖尿病学会 | 糖尿病薬物療法認定薬剤師    | 1名 | 濱口良彦                                              |
|             | 履修薬剤師           | 1名 | 岡本朋子                                              |

| 認定先(認定期間)                                               | 役割                                              | 人数 | 薬剤部員名                                        |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|----|----------------------------------------------|
| 日本糖尿病療養指導士<br>認定機構                                      | 日本糖尿病療養指導士                                      | 3名 | 塚本泰彦、岡本朋子、<br>河野 恵                           |
| 日本アンチ・ドーピング機構<br>・日本薬剤師会                                | スポーツファーマシスト                                     | 1名 | 黒岩勇人                                         |
| 大阪府知事                                                   | 大阪府肝炎医療コーディネーター                                 | 2名 | 眞継賢一、古場 建                                    |
| 日本薬剤師研修センター                                             | 認定薬剤師                                           | 6名 | 塚本泰彦、寒川裕美、岡本朋子、<br>王 宏維、河野 恵、伊藤博美            |
|                                                         | 実務実習指導薬剤師                                       | 5名 | 濱口良彦、塚本泰彦、眞継賢一、<br>上田浩貴、王 宏維                 |
| 日本病態栄養学会                                                | 認定NST研修履修者                                      | 7名 | 西田修司、古場 建、岡本朋子、<br>久保しおり、野々内裕紀、眞継賢一、<br>上田綾佳 |
| 日本医学放射線学会<br>日本核医学会<br>日本血液学会<br>日本放射線腫瘍学会<br>日本アイトープ学会 | イットリウム-90標識抗CD20抗体を用<br>いた放射免疫治療の案全取扱講習会<br>修了者 | 4名 | 黒岩勇人、荒木 悠、王 宏維、<br>橋本知樹                      |

### [学会認定研修施設]

| 認定先(認定期間) | 研修名                 | 薬剤部員名                        |
|-----------|---------------------|------------------------------|
| 日本医療薬学会   | 薬物療法専門薬剤師制度研修施設     | 濱口良彦                         |
|           | がん専門薬剤師制度研修施設       |                              |
|           | 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設(がん) |                              |
| 日本病院薬剤師会  | がん認定薬剤師制度研修施設       | 黒岩勇人、上田綾佳                    |
| 日本緩和医療薬学会 | 緩和医療専門薬剤師研修施設       | 塚本泰彦                         |
| 薬学教育協議会   | 薬学生実務実習受入施設         | 濱口良彦、塚本泰彦、眞継賢一、<br>上田浩貴、王 宏維 |

### [薬剤部員の施設外の役割および役員会(学会など)]

| 認定先(認定期間)    | 役割               | 薬剤部員名 |
|--------------|------------------|-------|
| 日本病態栄養学会     | 学術評議員            | 濱口良彦  |
|              | NST委員会委員         |       |
| 日本くすりと糖尿病学会  | 理事               | 濱口良彦  |
|              | 認定制度委員会委員長       |       |
| 日本腎臓病薬物療法学会  | 試験委員会委員          | 野々内裕紀 |
| 大阪府病院薬剤師会    | 常任理事             | 濱口良彦  |
|              | 薬事部長             |       |
|              | 地域連携推進委員会委員長     |       |
|              | 薬事制度委員会委員        | 塚本泰彦  |
| 大阪府薬剤師会      | 患者支援推進委員会副委員長    | 眞継賢一  |
|              | 理事、8委員会担当理事等(府薬) | 濱口良彦  |
|              | 調剤業務・医療安全委員会(日薬) |       |
| 神戸薬科大学       | 臨床講師             | 上田浩貴  |
|              | 臨床教授             | 濱口良彦  |
| 大阪感染制御薬剤師研究会 | 代表世話人            | 濱口良彦  |
|              | 世話人(監事)          | 眞継賢一  |
|              |                  | 上田浩貴  |
| 関西POS薬剤研究会   | 世話人              | 濱口良彦  |
| 大阪がん薬物治療研究会  | 世話人              | 黒岩勇人  |
|              |                  | 上田綾佳  |
| 京都薬薬学連携症例検討会 | 世話人              | 眞継賢一  |
| 大阪抗菌薬倶楽部     | 世話人              | 眞継賢一  |
| 関西循環器薬剤師研究会  | 世話人代表            | 上田浩貴  |
|              | 会計(事務局)          | 上田綾佳  |
|              | 会計監査             | 濱口良彦  |

# 臨床検査部

**【スタッフ】(R05.3末時)**

|            |       |                    |
|------------|-------|--------------------|
| 部 長        | 滝 吉郎  | (病院長兼任)            |
| 部 長        | 井上 直也 | (病理部長兼任、緩和医療科部長兼任) |
| 技師長        | 寺村 智  |                    |
| 副主任        | 清水 忍  |                    |
| 副主任        | 長松 光美 |                    |
| 副主任        | 辻川 恵美 |                    |
| 臨床検査技師(常勤) | 31名   |                    |
| 〃 (非常勤)    | 2名    |                    |
| 検査助手       | 3名    |                    |

**【2022年度事業報告】**

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 臨床検査部全般                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| (1) 検査部実施項目<br>検体(生化学、免疫、血液、凝固)<br>緊急検査項目については24時間対応<br>細菌(細菌、ウイルスなど感染症検査)<br>病理(病理、細胞診、剖検)、<br>生理(心電図系検査、超音波、脳波、睡眠、肺機能、筋電図など)<br>(2) 検査実績 →[検査実績]図表参照<br>(3) 内部精度管理: 毎月精度管理委員会を開催し検証を行っている。<br>(4) 外部精度管理: 日本医師会、日本臨床検査技師会、大阪府臨床検査技師会、<br>米国病理医協会(CAP: College of American Pathologists)<br>(5) 外来中央採血部門への臨床検査技師配置(1名)<br>(6) 若手を中心とした新しい検査技術習得トレーニングと専門資格の積極的な取得<br>(7) 新たな技術の取得・知識の向上、円滑な業務運営を行うための人事交流研修実施<br>(8) 治験業務の対応拡大<br>(9) 研修医の臨床検査部研修受け入れ<br>(10) 院内周知事業: 検査発文章発信(合計)、検査ニュースの発行(合計6回)<br>(11) 部内情報共有事業<br>① 検査部定例会 : 毎月第1回(合計12回開催)<br>② 検査部執行委員会: 毎月最低1回開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 生化学・免疫部門                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| (1) 検査実績 2,346,602件(前年度比+6.9%) 患者数増、コロナ体制確立が功奏<br>(2) 新型コロナウイルス抗原定量およびインフルエンザ抗原定量検査体制・測定環境の確立、診療支援<br>(3) 新型コロナウイルスS-IgG抗体価の測定・評価およびN-IgG抗体測定に向けた調査検討<br>(4) RFIDによる院内採血管状況リアルタイム管理<br>(5) 日本臨床化学会JCCRM611-1対応によるグリコアルブミン測定の標準化<br>(6) 心疾患評価項目NT-proBNPへの統一化<br>(7) 治験業務の受託・対応の拡大(2022年:14試験 152症例 248VISIT)<br>(8) 検査情報サイト「検体検査Web」定期更新による臨床検査情報発信<br>(9) 非特異的反応がラテックス凝集法による梅毒定量検査に与える影響の調査<br>(10) 各検査と関連する診療科との連携・検査の実施<br>①肝炎再燃チェックシステムの構築・運用<br>②非特異的反応がラテックス凝集法による梅毒定量検査に与える影響の調査<br>③血糖コントロール指標HbA1cとグリコアルブミン相関関係解離についての検証<br>④可溶性IL-2レセプター測定系導入による診療支援・収支改善<br>⑤タクロリムス測定系の変更・精度向上・TATの改善<br>⑥新規ガストリン測定系の樹立・性能試験<br>⑦院内検査項目の意義・結果の解釈など患者向け検査説明パンフレット改訂・配布<br>(11) 臨地実習生の受入れおよび臨地実習指導者配置に向けた体制整備<br>(12) 施設見学者向けプログラム作成・研修指導<br>(13) 検査項目JLAC10コート化対応およびSS-MIX標準化ストレージへの参画対応<br>(14) 診療録直結型全国糖尿病データベース事業(J-DREAMS)への参加<br>(15) 診療報酬の査定・減点内容の評価と対策、診療記録の質的・量的点検<br>(16) 糖尿病内科、血液内科、腎臓内科との週次カンファレンス開催<br>(17) 外注検査依頼・報告・請求照合システムの構築 |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |  |  |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 血液・輸血部門                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |  |  |  |
| (1) 輸血システムでの幹細胞管理の実施<br>当院で採取された末梢血幹細胞の採取、細胞処理、保管、払出の各記録を輸血システムで実施<br>(2) 全自動輸血検査装置の更新<br>輸血検査時のコスト削減につながった<br>(3) 血球洗浄遠心機の更新<br>(4) 輸血用血液製剤のWEB発注への移行<br>(5) 抗CD38抗体製剤使用患者の外來輸血への対応<br>DTT処理とクロスマッチをあわせて3時間以上かかるが、外來の輸血にも対応<br>(6) 血液内科とのカンファレンス(マルク:毎週水曜、病棟:毎週木曜)                                                                                            |  |  |  |  |
| 細菌検査部門                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |  |  |  |
| (1) 検査実績 前年度比検査件数4.7%保険点数-7.8%2021年度に比べCOVID-19の保険点数が減額された事(2021年12月末)が影響していると思われる。<br>(2) ICT活動参加 (2013年～)<br>(3) 新規事業:コロナ・抗酸菌用遺伝子検査装置cobas5800導入、<br>CD毒素遺伝子検査(血液内科のみ)開始、<br>POT法によるMRSA遺伝子検査開始<br>(4) 今後の取り組み事項 血液培養陽性者の遺伝子検査開始予定                                                                                                                           |  |  |  |  |
| 生理検査部門                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |  |  |  |
| (1) 各検査と関連する診療科との検査の共同実施<br>循環器内科; 負荷心臓超音波検査、経食道心臓超音波検査<br>脳神経内科: 筋電図検査全般<br>(2) 循環器内科と心臓血管外科の手術症例カンファレンス(月1回)<br>(3) 循環器内科と血液内科の腫瘍循環器カンファレンス(月2回)<br>(4) 研修医(循環器内科、消化器内科)の超音波検査研修受け入れ<br>(5) 機器更新: 超音波診断装置(Canonメディカル; Aplio i900)、筋電図(MEB-2306)<br>(6) システム更新: Prime Vita<br>(7) 糖尿病内科 依頼の特定臨床研究に参加(2022年9月27日～)<br>「2型糖尿尿メグリミン、メトホルミンのインスリン分泌・抵抗性に対する影響の検討」 |  |  |  |  |
| 研修受け入れ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |  |  |  |
| 神戸大学医学部保健学科検査技術科学専攻 4年生2名 3週間 生理検査(2013年度より)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |  |

臨床検査部実施 緊急検査項目 24時間対応

検体到着確認後 基本30分以内報告(再検査例を除く)

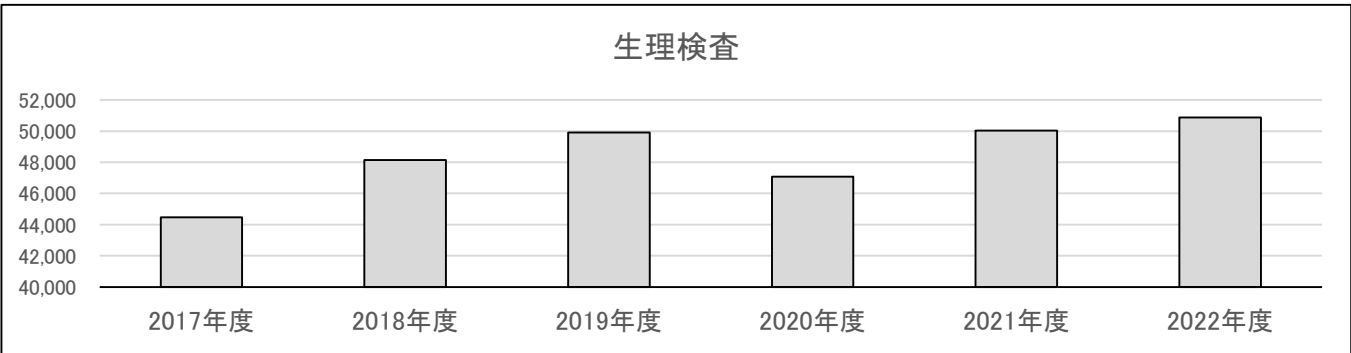
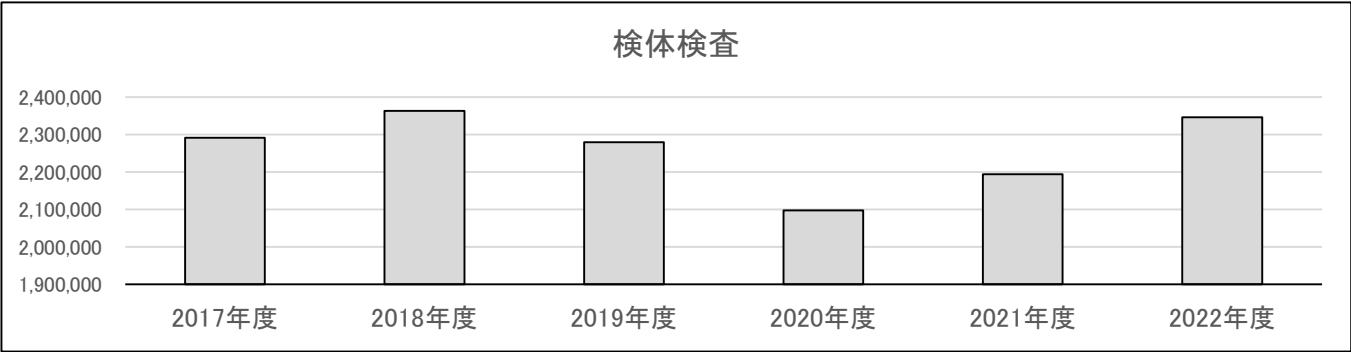
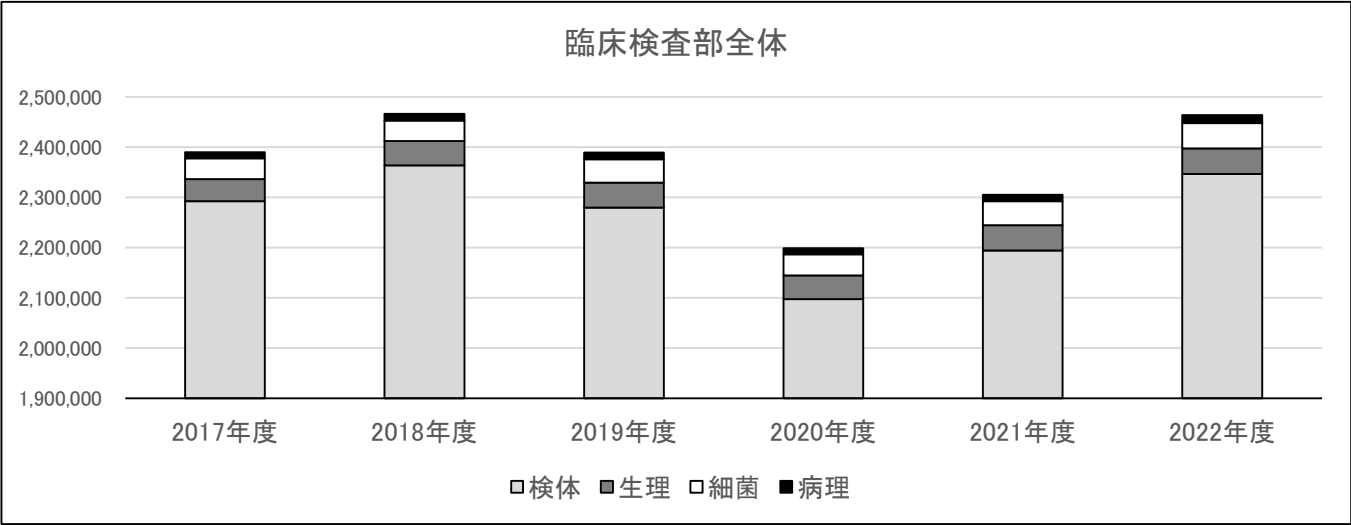
表記無い検査は、緊急対応不可

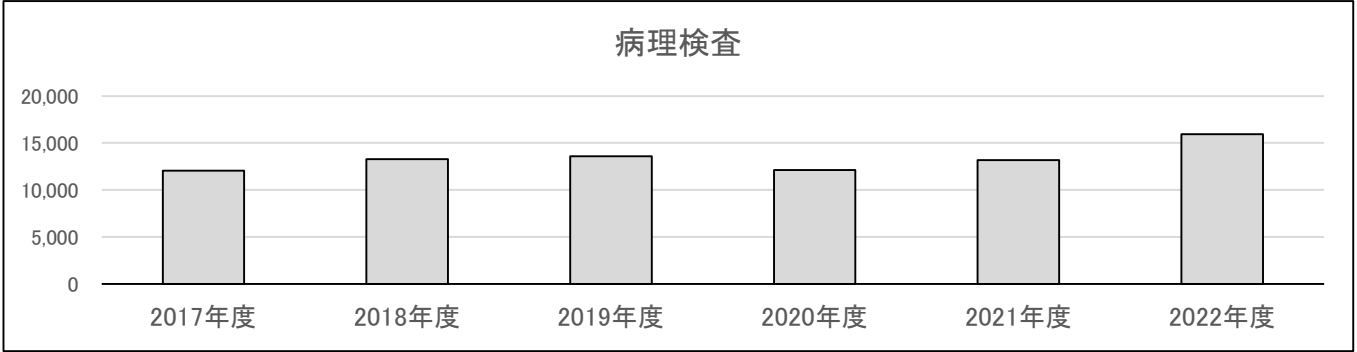
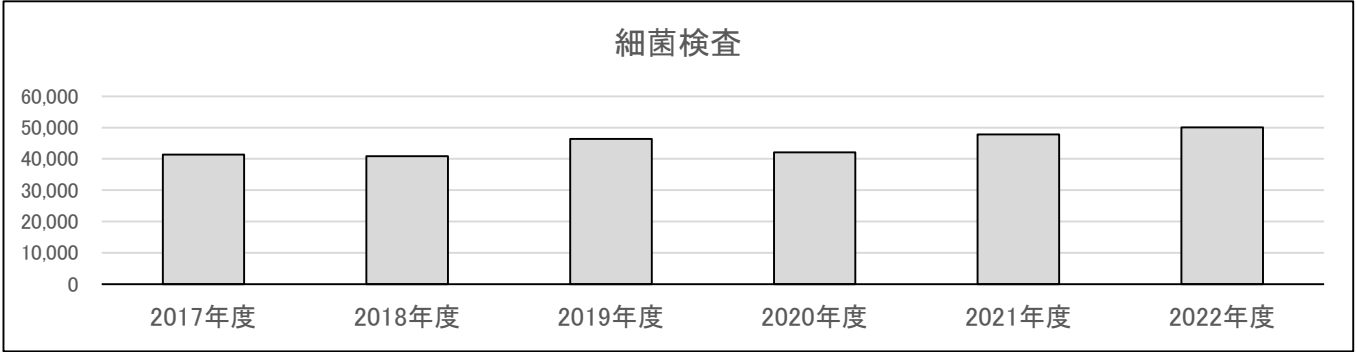
(2023年3月末現在)

| 生化学検査                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                | 免疫検査                                                                                                                                                                                                  | 血液検査                                     | 血液ガス                | 細菌・ウイルス検査                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AST (GOT)<br>ALT (GPT)<br>LDH<br>ALP<br>LAP<br>γ-GT<br>コリンエステラーゼ<br>アミラーゼ<br>リパーゼ<br>腓型アミラーゼ<br>CK<br>CK-MB<br>総タンパク<br>血清アルブミン<br>T-BiL<br>D-BiL<br>クレアチニン<br>BUN<br>UA<br>アンモニア | 総コレステロール<br>HDL-C<br>LDL-C<br>TG (中性脂肪)<br>ナトリウム<br>カリウム<br>クロール<br>カルシウム<br>マグネシウム<br>リン<br>Fe (鉄)<br>UIBC<br>BS (血糖)<br>HbA1c<br>血ケトン体<br>乳酸 | CRP<br>IgG<br>IgA<br>IgM<br>フェリチン<br>CEA<br>AFP<br>CA19-9<br>PSA<br>HBs抗原<br>HCV抗体<br>梅毒RPR定性<br>梅毒TP抗体定性<br>HIV-Ag/Ab<br>フリーT3<br>フリーT4<br>TSH<br>インスリン<br>BNP<br>トロポニンI<br>バンコマイシン<br>新型コロナウイルス抗原定量 | 血算<br><br>血液像 (DIFF)                     | 血液ガス                | 検体受付<br><br>チールネルゼン染色<br><br>非培養検査<br>ノロウイルス<br><br>インフルエンザウイルス<br>尿中レジオネラ抗原<br>尿中肺炎球菌抗原<br><br>新型コロナウイルスPCR |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                       | 凝固検査                                     | 尿検査                 |                                                                                                              |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                       | PT<br>APTT<br>フィブリノーゲン<br>FDP<br>D-Dダイマー | 尿定性<br><br>妊娠テストパック |                                                                                                              |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                       |                                          | 便検査                 |                                                                                                              |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                       |                                          | 便潜血                 |                                                                                                              |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                       | 血液型                                      | 髄液検査                | 輸血検査                                                                                                         |
|                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                       | 血液型                                      | 細胞数<br>蛋白定量<br>糖定量  | 交差適合試験<br>(血液製剤払い出し)                                                                                         |

[検査部実績]

|           | 検査件数      |           |           |           |           |           | 前年度比   |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
|           | 2017年度    | 2018年度    | 2019年度    | 2020年度    | 2021年度    | 2022年度    |        |
| 検査部全体     | 2,393,676 | 2,470,829 | 2,393,248 | 2,203,615 | 2,309,985 | 2,468,848 | 6.9%   |
| 検体検査      | 2,291,797 | 2,363,859 | 2,279,434 | 2,097,517 | 2,194,287 | 2,346,602 | 6.9%   |
| 生化学       | 1,817,349 | 1,889,543 | 1,810,427 | 1,657,946 | 1,726,669 | 1,835,863 | 6.3%   |
| 免疫        | 120,828   | 115,175   | 111,381   | 103,595   | 111,818   | 131,422   | 17.5%  |
| 血液        | 274,766   | 275,208   | 275,516   | 261,938   | 276,795   | 295,034   | 6.6%   |
| マルク       | 604       | 624       | 577       | 659       | 697       | 881       | 26.4%  |
| 穿刺        | 3,235     | 3,522     | 3,610     | 3,064     | 2,711     | 3,250     | 19.9%  |
| 一般        | 75,015    | 79,787    | 77,923    | 70,315    | 75,597    | 80,152    | 6.0%   |
| 輸血検査      | 3,940     | 4,672     | 3,933     | 4,838     | 4,667     | 5,372     | 15.1%  |
| 細菌検査      | 41,412    | 40,879    | 46,354    | 42,051    | 47,807    | 50,054    | 4.7%   |
| 病理検査      | 12,062    | 13,265    | 13,615    | 12,126    | 13,192    | 15,941    | 20.8%  |
| 組織診、細胞診   | 12,040    | 13,255    | 13,600    | 12,114    | 13,190    | 15,935    | 20.8%  |
| 剖検        | 22        | 10        | 15        | 12        | 2         | 6         | 200.0% |
| 生理検査      | 44,465    | 48,154    | 49,912    | 47,083    | 50,032    | 50,879    | 1.7%   |
| 超音波(心臓以外) | 10,364    | 10,896    | 11,193    | 11,597    | 11,782    | 12,391    | 5.2%   |
| 心臓超音波     | 4,137     | 4,646     | 4,796     | 4,802     | 5,522     | 5,288     | -4.2%  |
| 脳波 呼吸     | 6,348     | 7,010     | 8,199     | 7,832     | 8,102     | 8,482     | 4.7%   |
| 筋電図       | 1,532     | 1,515     | 1,410     | 1,246     | 1,158     | 1,157     | -0.1%  |
| 心電図全体     | 22,084    | 24,087    | 24,314    | 21,606    | 23,468    | 23,561    | 0.4%   |





**[資格・認定取得状況]**

| 資格                    | 人数 | 資格                                  | 人数  |
|-----------------------|----|-------------------------------------|-----|
| 有機溶剤作業主任者             | 4  | 国際細胞検査士                             | 3   |
| 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者  | 5  | 認定病理検査技師                            | 2   |
| 医療安全管理者               | 1  | 超音波検査士(消化器)                         | 7   |
| 第一種衛生管理者              | 1  | 超音波検査士(循環器)                         | 7   |
| 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 | 1  | 超音波検査士(血管)                          | 5   |
| 精度管理責任者               | 1  | 超音波検査士(体表)                          | 3   |
| 二級臨床検査士(免疫血清学)        | 1  | 超音波検査士(泌尿器)                         | 2   |
| 二級臨床検査士(病理学)          | 3  | 血管診療技師                              | 4   |
| 二級臨床検査士(微生物学)         | 1  | 脳神経超音波検査士                           | 2   |
| 二級臨床検査士(循環器学)         | 2  | 第2種ME技術者                            | 1   |
| 二級臨床検査士(血液学)          | 7  | 認定心電検査技師                            | 2   |
| 緊急臨床検査技師              | 4  | 認定心電図専門士                            | 2   |
| 認定血液検査技師              | 1  | 心電図検定1級                             | 2   |
| 認定救急検査技師              | 1  | 心電図検定2級                             | 5   |
| 認定輸血検査技師              | 1  | 睡眠医療認定検査技師                          | 3   |
| 認定一般検査技師              | 1  | 米国認定睡眠検査士(RPSGT)                    | 1   |
| 日本糖尿病療養指導士            | 4  | 日本臨床神経生理学会(脳波分野/<br>筋電図・神経伝導分野)認定技師 | 1   |
| 大阪糖尿病療養指導士            | 3  | 医療情報技師                              | 1   |
| 肥満症生活習慣改善指導士          | 1  | 診療情報管理士                             | 1   |
| 高血圧・循環器病予防療養指導士       | 1  | 基礎情報処理技術者                           | 1   |
| 排尿機能検査士               | 1  | 管理栄養士                               | 1   |
| 認定認知症領域検査技師           | 2  | 栄養士                                 | 1   |
| 細胞治療認定管理師             | 2  |                                     |     |
| 細胞検査士                 | 4  | 総合計                                 | 110 |

**[学会発表等]**

|   | 学会・勉強会・研究会名称                        |     | タイトル                                                         | 種別               | 発表者                  |
|---|-------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------|------------------|----------------------|
|   | 開催日                                 | 開催地 |                                                              |                  |                      |
| 1 | 日本超音波医学会<br>第95回学術集会<br>2022. 5. 20 | 愛知  | シンポジウム 脳神経超音波最前線                                             | 特別企画<br>座長       | 竹川英宏<br>濱口浩敏<br>佐藤 洋 |
| 2 | 日本超音波医学会<br>第95回学術集会<br>2022. 5. 21 | 愛知  | シンポジウム<br>血流評価における角度補正固定がよいか最<br>適値がよいか                      | 特別企画<br>演者       | 佐藤 洋                 |
| 3 | 第41回日本脳神経超音波学会<br>2022. 6. 3        | 東京  | Stroke Oncology の現状と課題<br>VTEの早期診断のポイント<br>がん、脳卒中への超音波診断の重要性 | 共催<br>セミナー<br>講演 | 佐藤 洋                 |

|    | 学会・勉強会・研究会名称               |     | タイトル                                                                                | 種別                 | 発表者          |
|----|----------------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------|
|    | 開催日                        | 開催地 |                                                                                     |                    |              |
| 4  | 第41回日本脳神経超音波学会             |     | 脳卒中診療に必要な神経超音波検査                                                                    | ハンズオン<br>座長／<br>講演 | 佐藤 洋         |
|    | 2022. 6. 4                 | 東京  |                                                                                     |                    |              |
| 5  | 第9回 日本糖尿病協会<br>年次学術集会      |     | 1型糖尿病発症後の心情に寄り添ったチーム<br>アプローチ<br>～臨床検査技師の立場より～                                      | 口演                 | 橋本寛子         |
|    | 2022. 7. 23-24             | 京都  |                                                                                     |                    |              |
| 6  | 第9回 日本糖尿病協会<br>年次学術集会      |     | コロナ禍における新たな糖尿病教室の試み<br>～検査部の立場から～                                                   | オンライン発<br>表        | 野田鮎子         |
|    | 2022. 11. 23               | 京都  |                                                                                     |                    |              |
| 7  | 第61回日本臨床細胞学会<br>秋期大会       |     | 上皮性悪性腫瘍との鑑別に苦慮した<br>Sinusoidal large B-cell lymphomaの1例<br>Large B-cell lymphomaの1例 | ポスター<br>発表         | 田口優花里        |
|    | 2022. 11. 5-6              | 宮城  |                                                                                     |                    |              |
| 8  | ECHO AWAJI CV IMAGING 2022 |     | ハンズオン<br>下肢静脈瘤                                                                      | 講習会<br>ハンズオン       | 佐藤 洋         |
|    | 2022. 11. 26               | 兵庫  |                                                                                     |                    |              |
| 9  | ECHO AWAJI CV IMAGING 2022 |     | One point lecture<br>画像調整の極意：見えない時にどうするか？                                           | 講習会<br>講演          | 佐藤 洋         |
|    | 2022. 11. 26               | 兵庫  |                                                                                     |                    |              |
| 10 | ECHO AWAJI CV IMAGING 2022 |     | はじめての心・血管エコー：実技編<br>下肢静脈エコー検査<br>ライブデモンストレーション                                      | 講習会<br>講演          | 佐藤 洋         |
|    | 2022. 11. 27               | 兵庫  |                                                                                     |                    |              |
| 11 | ECHO AWAJI CV IMAGING 2022 |     | はじめての心・血管エコー：判読編<br>下肢静脈エコーの判読                                                      | 講習会<br>講演          | 佐藤 洋         |
|    | 2022. 11. 27               | 兵庫  |                                                                                     |                    |              |
| 12 | 第15回新睡眠塾                   |     | PSG実習                                                                               | 講習会<br>ハンズオン       | 丸本圭一<br>奥谷一真 |
|    | 2022. 12. 17               | 兵庫  |                                                                                     |                    |              |
| 13 | 第15回新睡眠塾                   |     | CPAPカレンダー判読に挑んでみよう                                                                  | 講習会<br>講演          | 丸本圭一<br>奥谷一真 |
|    | 2022. 12. 18               | 兵庫  |                                                                                     |                    |              |

#### [論文発表等]

| 項目        | 著者                      | 論文名・タイトル        | 書籍名          |         |
|-----------|-------------------------|-----------------|--------------|---------|
|           |                         |                 | 掲載号・頁        | 掲載年     |
| 単行本<br>監修 | 佐藤 洋 監修<br>北川孝道、吉岡明治 編集 | 皮膚・軟部腫瘍の超音波アトラス | 超音波エキスパート 21 |         |
|           |                         |                 |              | 2022年5月 |

# 手術部

[スタッフ](R5.3末時)

<医師>  
部 長： 滝 吉郎(兼任)  
副部長： 中筋 正人(兼任)

<看護師>  
看護師長： 寺村 聡恵  
看護副師長： 船渡 布美子  
看護主任： 北川 怜美佳 山本 沙都子、矢嶋 悠香

[診療実績]

全科手術件数一覧 2022年度

| 科    |     | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 昨年比較  |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 内科   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 0     | 0     |
| 呼吸器科 |     | 7   | 6   | 9   | 6   | 3   | 5   | 9   | 7   | 5   | 4   | 5   | 9   | 75    | 72    |
| 心外   |     | 12  | 8   | 12  | 14  | 9   | 5   | 7   | 8   | 12  | 8   | 12  | 14  | 121   | 107   |
| 外科   |     | 43  | 45  | 46  | 39  | 43  | 42  | 48  | 40  | 35  | 26  | 32  | 48  | 487   | 512   |
| 整形外科 |     | 56  | 64  | 51  | 60  | 60  | 63  | 49  | 62  | 48  | 59  | 60  | 61  | 693   | 621   |
| 形成外科 |     | 42  | 41  | 62  | 34  | 48  | 48  | 47  | 47  | 41  | 37  | 37  | 53  | 537   | 546   |
| 泌尿器科 |     | 35  | 44  | 41  | 41  | 36  | 38  | 41  | 38  | 39  | 52  | 38  | 49  | 492   | 485   |
| 婦人科  |     | 18  | 20  | 29  | 24  | 23  | 24  | 20  | 18  | 12  | 16  | 17  | 22  | 243   | 204   |
| 眼科   |     | 41  | 57  | 73  | 64  | 56  | 17  | 40  | 23  | 21  | 37  | 29  | 29  | 487   | 719   |
| 耳鼻科  |     | 37  | 25  | 29  | 23  | 33  | 29  | 25  | 27  | 28  | 28  | 22  | 36  | 342   | 354   |
| 脳外科  |     | 6   | 7   | 4   | 1   | 4   | 5   | 5   | 7   | 3   | 3   | 8   | 3   | 56    | 60    |
| 麻酔科  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 1   |     |     | 1     | 0     |
| 合計   |     | 297 | 317 | 356 | 306 | 315 | 276 | 291 | 277 | 244 | 271 | 260 | 324 | 3,534 | 3,680 |
| 緊急   | 時間内 | 20  | 25  | 24  | 18  | 22  | 23  | 22  | 19  | 22  | 16  | 13  | 10  | 234   | 223   |
|      | 時間外 | 9   | 12  | 9   | 11  | 9   | 8   | 10  | 15  | 9   | 6   | 8   | 8   | 114   | 118   |
|      | 平日  | 23  | 29  | 29  | 24  | 29  | 26  | 25  | 29  | 28  | 17  | 17  | 15  | 291   | 239   |
|      | 休日  | 6   | 8   | 4   | 5   | 2   | 5   | 7   | 5   | 3   | 5   | 4   | 3   | 57    | 61    |
| 休日   |     | 48  | 48  | 68  | 47  | 54  | 32  | 38  | 37  | 31  | 52  | 30  | 51  | 536   | 677   |
| 外来入院 |     | 249 | 269 | 288 | 259 | 261 | 244 | 253 | 240 | 213 | 219 | 230 | 273 | 2,998 | 3,003 |
| 合計   |     | 297 | 317 | 356 | 306 | 315 | 276 | 291 | 277 | 244 | 271 | 260 | 324 | 3,534 | 3,680 |

全身麻酔件数一覧 2022年度

|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    | 昨年比較  |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 全身麻酔  | 154 | 140 | 167 | 143 | 139 | 141 | 154 | 141 | 130 | 123 | 147 | 167 | 1,746 | 1,692 |
| 腰椎麻酔  | 33  | 36  | 30  | 37  | 38  | 35  | 31  | 34  | 34  | 40  | 36  | 44  | 428   | 401   |
| 局所麻酔  | 51  | 60  | 68  | 46  | 51  | 59  | 47  | 59  | 46  | 56  | 28  | 64  | 635   | 651   |
| 硬膜外麻酔 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |       |       |
| その他   | 59  | 81  | 91  | 80  | 87  | 41  | 59  | 43  | 34  | 52  | 49  | 49  | 725   | 936   |
| 麻酔合計  | 297 | 317 | 356 | 306 | 315 | 276 | 291 | 277 | 244 | 271 | 260 | 324 | 3,534 | 3,680 |

※全身麻酔、腰椎麻酔には硬麻との併用件数も含まれています  
※その他には、神経ブロック・静脈麻酔・無麻酔などが該当します

# 疾患栄養治療センター・栄養管理室

[スタッフ](2023年.3末時)

|               |       |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| センター長:        | 桑田 仁司 | (詳細は糖尿病・内分泌センター参照)                                                                                                                                                                                                                                              |
| 部長兼室長:        | 真壁 昇  | 美作大学客員教授、日本病態栄養学会(監事、代議員、NST委員、編集委員)、<br>がん病態栄養専門管理栄養士(指導師)、日本臨床栄養代謝学会(学術評議員、NST専門療法士)、<br>日本栄養経営実践協会(理事、栄養経営士)、日本褥瘡学会(理事、評議員、教育委員会、<br>ガイドライン策定委員、利益相反委員、認定管理栄養士)、日本臨床栄養協会(評議員)<br>静脈経腸栄養指導者協議会(Medical Nutritionist)、関西PEG・栄養とリハビリ研究会(世話人)<br>近畿輸液・栄養研究会(世話人) |
| 主任・<br>管理栄養士: | 遠藤 隆之 | 日本病態栄養学会(病態栄養専門管理栄養士、がん病態栄養専門管理栄養士(指導師)、<br>日本病態栄養学会認定NSTコーディネーター、日本臨床栄養代謝学会(NST専門療法士)、<br>日本褥瘡学会(教育委員会ガイドライン策定委員)                                                                                                                                              |
| 栄養管理士:        | 國枝 加誉 | 日本糖尿病療養指導士認定機構(糖尿病療養指導士(CDEJ))                                                                                                                                                                                                                                  |
|               | 森口 由香 | 日本病態栄養学会(病態栄養専門管理栄養士)、<br>日本糖尿病療養指導士認定機構(糖尿病療養指導士(CDEJ))、<br>日本臨床栄養代謝学会(NST専門療法士)、<br>日本接触嚥下リハビリテーション学会認定士、日本フードスペシャリスト協会認定(フードスペシャリスト)                                                                                                                         |
|               | 若月 未来 | 日本病態栄養学会(病態栄養専門管理栄養士)                                                                                                                                                                                                                                           |
|               | 茂山 翔太 | 日本病態栄養学会(病態栄養認定管理栄養士、糖尿病病態栄養専門管理栄養士)、<br>日本糖尿病療養指導士認定機構(糖尿病療養指導士(CDEJ))、健康運動指導士                                                                                                                                                                                 |
|               | 高橋 拓也 | 日本病態栄養学会(病態栄養専門管理栄養士)<br>日本食品保蔵科学会認定 HACCP管理者                                                                                                                                                                                                                   |
|               | 高原 舞衣 | 日本病態栄養学会(病態栄養専門管理栄養士)<br>日本フードスペシャリスト協会認定(フードスペシャリスト)                                                                                                                                                                                                           |
|               | 右谷 怜奈 | 日本病態栄養学会(病態栄養専門管理栄養士)                                                                                                                                                                                                                                           |

[概要]

管理栄養士は昨年度に引き続きマイナス人員であるが、コロナ禍を考慮し人員補充を行わず業務を遂行させた。早期栄養介入管理ではHCUの新設に対応したことでICUのみでは対応できなかった外科術後などの栄養支援を行うなど早期介入の疾患の幅を広げた。また、緩和医療分野への積極的な業務展開を行い、個別対応食を充実させた。これらのことから収支面では、想定以上の部門収益となり、コロナ禍前の水準を超えた業務量となった。

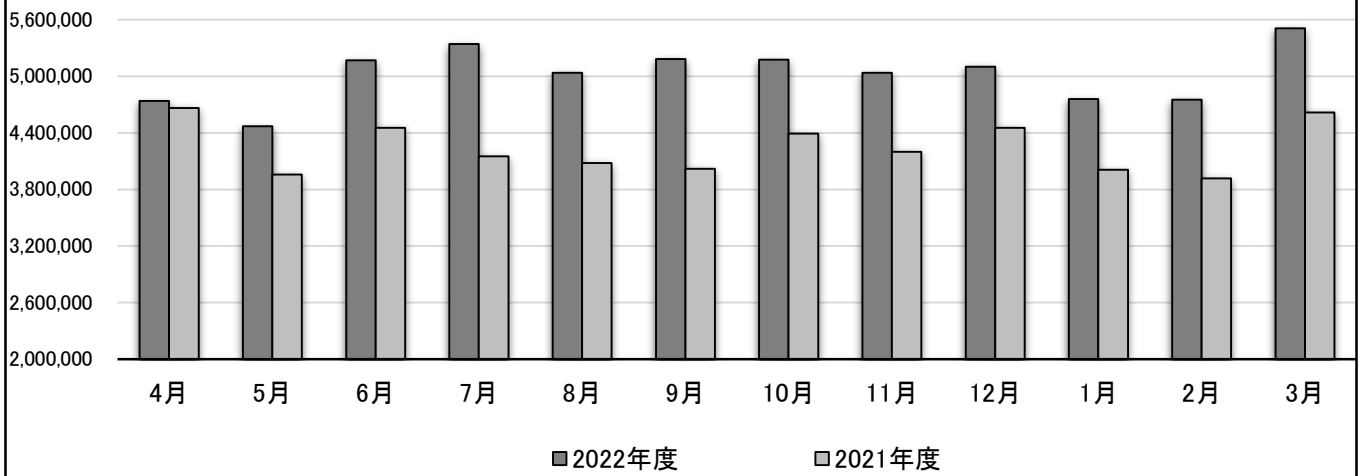
また、本年度も当院の栄養部門の実績指数は他病院とのベンチマークでもかなり高く推移し、学会発表など学際的活動も積極的に再開した。業務収益および発表・報告実績等を別紙に示した。

[NST(栄養)回診・カンファレンス]

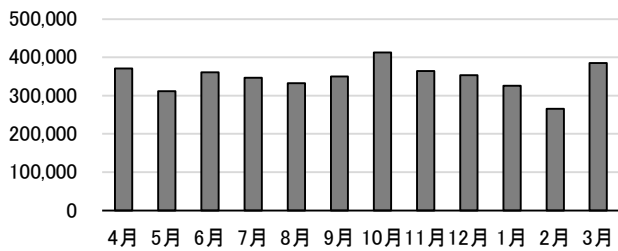
|    | 月                          | 火                                 | 水                          | 木                         | 金                                    |
|----|----------------------------|-----------------------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 午前 | 循環器内科<br>心臓血管外科<br>回復期リハ病棟 | 循環器内科<br>心臓血管外科<br>回復期リハ病棟        | 循環器内科<br>心臓血管外科<br>回復期リハ病棟 | 循環器内科<br>心臓血管外科           | 循環器内科<br>心臓血管外科<br>消化器内科<br>回復期リハ病棟  |
| 午後 | 耳鼻咽喉科<br>血液内科              | 消化器外科<br>呼吸器(外科・内科)<br>糖尿病・代謝・内分泌 | 整形外科<br>泌尿器科<br>緩和医療科      | 血液内科<br>循環器内科<br>重症患者(全科) | 脳神経外科<br>脳神経内科<br>腎臓内科<br>褥瘡予防回診(全科) |

→1週間に、30回の回診／カンファレンスを並列で対応

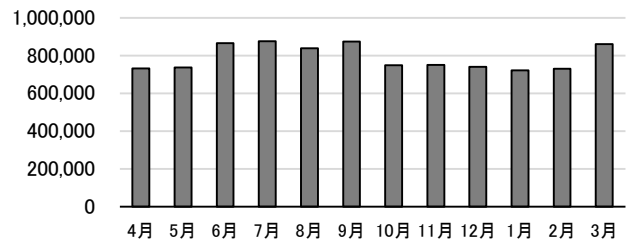
## 栄養部門における指導料等合計金額推移



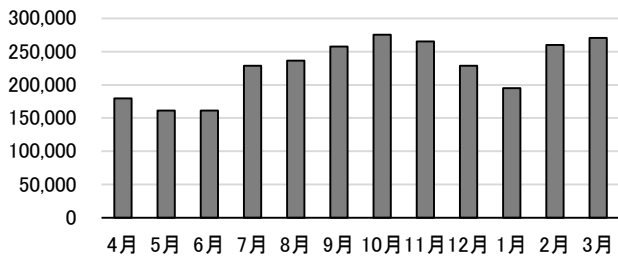
### 糖尿病透析予防指導管理料



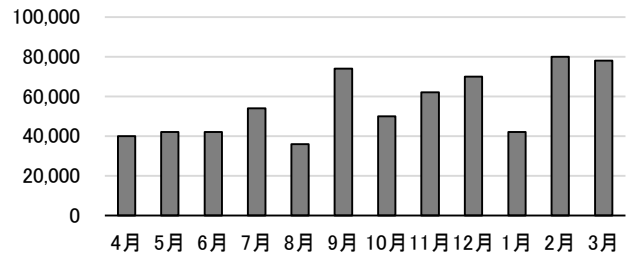
### 栄養サポートチーム加算



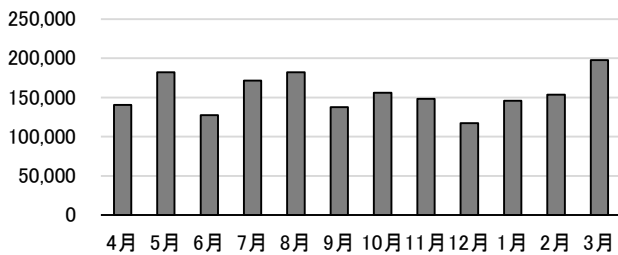
### 入院栄養食事指導料1



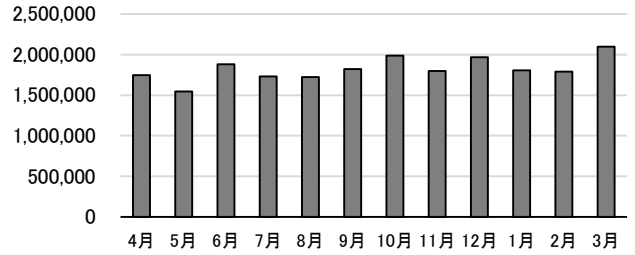
### 入院栄養食事指導料1(2回目)



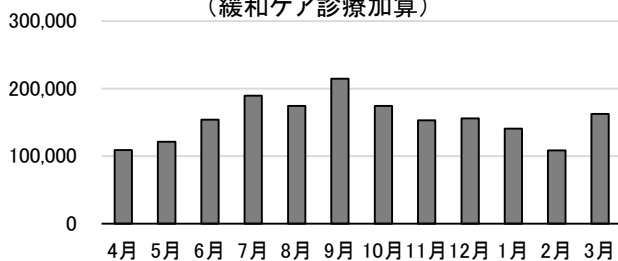
### 外来栄養食事指導料



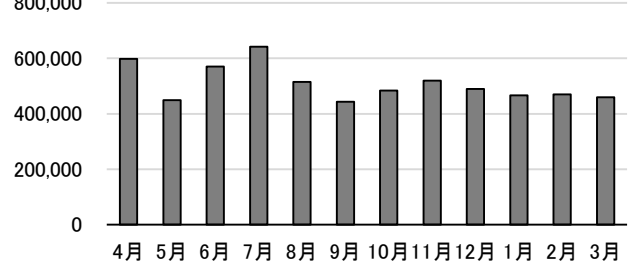
### 外来栄養食事指導料(2回目以降)



### 個別栄養食事管理加算 (緩和ケア診療加算)



### 早期栄養介入管理加算



[論文]

| 著者                                                                                                                                                                                                              | タイトル                                                                                                                                                                             | 掲載誌名                |      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|------|
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                  | 掲載号・ページ             | 掲載年  |
| Tanaka N, Hamamoto Y, Kurotobi Y, Yamazaki Y, Nakatani S, Matsubara M, Haraguchi T, Yamaguchi Y, Izumi K, Fujita Y, Kuwata H, Hyo T, Yanase M, Matsuda M, Negoro S, Higashiyama H, Yamada Y, Kurose T, Seino Y. | Stigma evaluation for diabetes and other chronic non-communicable disease patients: Development, validation and clinical use of stigma scale – The Kanden Institute Stigma Scale | J Diabetes Investig |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                  | 13(12):2081-2090.   | 2022 |
| Kubota S, Haraguchi T, Kuwata H, Seino Y, Murotani K, Tajima T, Terashima G, Kaneko M, Takahashi Y, Takao K,Kato T, Shide K, Imai S, Suzuki A, Terauchi Y, Yamada Y, Seino Y, Yabe D.                           | Association of dipeptidyl peptidase-4 inhibitor use and risk of pancreatic cancer in individuals with diabetes in Japan                                                          | J Diabetes Investig |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                  | 14(1):67-74.        | 2023 |
| 高橋樹世、飯田悠太、真壁 昇                                                                                                                                                                                                  | L-カルノシン投与がスキン-テアの治療及びスキنفレイルの改善に寄与した1症例                                                                                                                                          | 日本病態栄養学会誌           |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                  | 25巻4号, 311-316      | 2022 |
| 福原麻希、児玉直樹、真壁 昇、森兼啓太、当麻哲哉                                                                                                                                                                                        | 急性期病院における栄養サポートチームメンバーの意識と行動に関する実態調査から明らかになった充実感を持つチームの条件                                                                                                                        | 学会誌JSPEN            |      |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                  | 5巻1号, 11-20,        | 2023 |

[書籍・雑誌]

| 著者             | タイトル                                                                               | 掲載誌名               |      |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------|
|                |                                                                                    | 掲載号・ページ            | 掲載年  |
| 真壁 昇           | 【食生活と皮膚疾患-どのように食事指導するか?】(Part4.)<br>専門家から学ぶ食事指導(治療10)<br>スキン-テアの予防に着目した栄養療法        | Visual Dermatology |      |
|                |                                                                                    | 21巻6号, 612-616     | 2022 |
| 茂山翔太、若月未来、真壁 昇 | 【食生活と皮膚疾患-どのように食事指導するか?】(Part4.)<br>専門家から学ぶ食事指導(治療9)<br>減量に有用なメニューとアレンジレシピ         | Visual Dermatology |      |
|                |                                                                                    | 21巻6号, 606-611     | 2022 |
| 茂山翔太           | 【アプローチを工夫すれば、意識が変わる!“みんな”で考えてみよう糖尿病運動療法を続けてもらおうコツと技】<br>管理栄養士から 私の施設の運動継続につなげるコツと技 | 糖尿病ケア+             |      |
|                |                                                                                    | 19巻3号, 418-421     | 2022 |
| 真壁 昇           | 【栄養療法のコツとピットフォール-実践力アップに活かす最新情報】(Part 1)<br>栄養アセスメントのコツとピットフォール 身体計測の基本と重要性        | 臨床栄養               |      |
|                |                                                                                    | 141巻4号, 434-442    | 2022 |
| 北谷直美、茂山翔太      | 【超高齢化時代の糖尿病診療】<br>高齢者糖尿病における目標栄養量の設定と栄養食事指導の進め方                                    | 糖尿病                |      |
|                |                                                                                    | 65巻9号, 491-493     | 2022 |
| 真壁 昇           | 【褥瘡診療の現状と課題】<br>フレイル・サルコペニアと褥瘡                                                     | 日本医師会雑誌            |      |
|                |                                                                                    | 151巻8号, 1371-1375  | 2022 |

[学会発表]

| 会名称               |    | 参加形態・発表テーマ                           | 発表者                                                                                             |
|-------------------|----|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                | 場所 |                                      |                                                                                                 |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会 | 兵庫 | 口演<br>医療従事者がもつ糖尿病患者に対するスティグマの構成概念の検討 | 田中永昭、井村将大、黒飛友里、山崎裕自、中谷 晋、松原実穂、原口卓也、山口裕子、和泉清拓、臼井亮太、桑田仁司、表 孝徳、柳瀬昌樹、松田政浩、根来伸治、東山弘子、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕 |
|                   |    |                                      |                                                                                                 |



| 会名称                 |       | 参加形態・発表テーマ                                                       | 発表者                                                                                             |
|---------------------|-------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                  | 場所    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会   |       | 口演<br>セマグルチド皮下注新規導入によるQOL, 血糖コントロール ロール, 臨床指標に与える影響の評価           | 原口卓也、桑田仁司、和泉清拓、井村将大、黒飛友里、山崎裕自、中谷 晋、松原実穂、山口裕子、白井亮太、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、矢部大介、清野 裕                |
| 2022年5月12-14日       | 兵庫    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会   |       | 口演<br>食べる順番への介入による食後血糖上昇に及ぼす影響 について, 持続血糖モニター (CGM) による健常成人で の検討 | 黒飛友里、桑田仁司、井村将大、山崎裕自、松原実穂、中谷 晋、原口卓也、山口裕子、和泉清拓、白井亮太、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕                     |
| 2022年5月12-14日       | 兵庫    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第65回日本糖尿病学会年次学術集会   |       | 口演<br>SGLT2阻害薬カナグリフロジンの糖尿病マウスの摂食, 体重に対する効果と作用機序                  | 王 磊、中田正範、出崎克也、桑田仁司、清野 裕、矢田俊彦                                                                    |
| 2022年5月12-14日       | 兵庫    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第95回日本内分泌学会学術総会     |       | 口演<br>医療従事者のもつ糖尿病患者に対するスティグマの現状 高血圧患者との比較                        | 田中永昭、井村将大、黒飛友里、山崎裕自、中谷 晋、松原実穂、原口卓也、山口裕子、和泉清拓、白井亮太、桑田仁司、表 孝徳、柳瀬昌樹、松田政浩、根来伸治、東山弘子、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕 |
| 2022年6月2-4日         | 大分    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第95回日本内分泌学会学術総会     |       | 口演<br>ロキサデュスタットとダプロデュスタットの甲状腺機能への影響に関する後ろ向き検討                    | 原口卓也、桑田仁司、中谷晋、山崎裕自、表孝徳、戸田尚宏、古宮俊幸、浜本芳之、山田祐一郎、清野裕                                                 |
| 2022年6月2-4日         | 大分    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第8回日本医療安全学会学術総会     |       | 口演<br>メンバーの行動意識に関する調査から医療安全を高めるチームとは                             | 福原麻希、児玉直樹、真壁 昇、森兼啓太、当麻哲哉                                                                        |
| 2022年6月11-12日       | 静岡    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第34回在宅医療・看護を考える会    |       | 口演<br>心不全の栄養管理                                                   | 遠藤隆之                                                                                            |
| 2022年6月25日          | オンライン |                                                                  |                                                                                                 |
| 第27回日本緩和医療学会学術大会    |       | 口演<br>当院における緩和ケアチーム介入時期の検討                                       | 井上直也、木元道雄、垣見 亮、名村柚香、古武 剛、市原しのぶ、塚本泰彦、荒木 悠、真壁 昇、沢田 潤、砂原正和、堂本寛子、柳原一広                               |
| 2022年7月1-3日         | 兵庫    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第67回日本透析医学会学術集会・総会  |       | 学会・委員会企画<br>日本病態栄養学会との連携と今後への期待                                  | 金澤良枝、北谷直美                                                                                       |
| 2022年7月1-3日         | 神奈川   |                                                                  |                                                                                                 |
| 第9回日本糖尿病協会年次学術集会    |       | 口演<br>コロナ禍における糖尿病患者会活動の取り組みと課題                                   | 茂山翔太、谷名英章、橋本寛子、岡本朋子、面谷智子、桑田仁司、田中永昭                                                              |
| 2022年7月23-24日       | 京都    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第9回日本糖尿病協会年次学術集会    |       | 口演<br>1型糖尿病発症後の心情に寄り添ったチームアプローチ                                  | 國枝加誉、原口卓也、末田 咲、谷名英章、橋本寛子、田中永昭、清野 裕                                                              |
| 2022年7月23-24日       | 京都    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第9回日本糖尿病協会年次学術集会    |       | 口演<br>たんぱく質強化介入でサルコペニアの改善を得た高齢者糖尿病の一例                            | 若月未来、茂山翔太、真壁 昇、田中永昭、桑田仁司                                                                        |
| 2022年7月23-24日       | 京都    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第9回日本糖尿病協会年次学術集会    |       | 口演<br>高度肥満を伴う2型糖尿病患者に対する栄養食事支援の効果                                | 高原舞衣、茂山翔太、真壁 昇、田中永昭、桑田仁司                                                                        |
| 2022年7月23-24日       | 京都    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第9回日本糖尿病協会年次学術集会    |       | 口演<br>初回指摘で高度肥満を伴う糖尿病患者における栄養食事支援                                | 右谷怜奈、茂山翔太、真壁 昇                                                                                  |
| 2022年7月23-24日       | 京都    |                                                                  |                                                                                                 |
| 第24回日本褥瘡学会学術集会      |       | 教育講演<br>褥瘡とスキンケアにおける栄養管理Update                                   | 真壁 昇                                                                                            |
| 2022年8月27-28日       | 神奈川   |                                                                  |                                                                                                 |
| 第42回日本核医学技術学会総会学術大会 |       | 口演<br>ルテチウムオキソドトレオチド(177Lu DOTATATE)治療における食器類の汚染                 | 長野圭司、高井 剛、板垣 康、岡田 務、河本 泉、柳原一広、真壁 昇、金川政史、鷺坂有璃、高橋康幸                                               |
| 2022年9月9-11日        | 京都    |                                                                  |                                                                                                 |

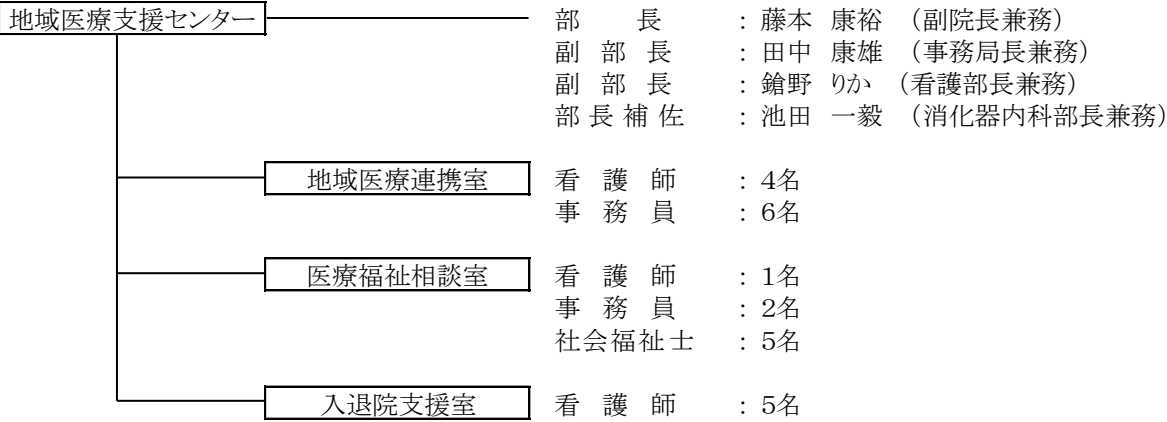
| 会名称                 |     | 参加形態・発表テーマ                                        | 発表者                                                                                       |
|---------------------|-----|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時                  | 場所  |                                                   |                                                                                           |
| 第72回日本体質医学会総会       |     | 口演<br>アルコール多飲により膵性糖尿病を発症した神経性やせ症(AN)              | 茂山翔太、真壁 昇、桑田仁司、清野 裕                                                                       |
| 2022年10月1-2日        | 和歌山 |                                                   |                                                                                           |
| 第72回日本体質医学会総会       |     | 口演<br>体質と運動・栄養療法 高齢者の筋力、筋量および身体機能に及ぼすたんぱく質摂取の影響   | 松城真里、原口卓也、大守泰広、内山 葵、井村将大、山崎裕自、中谷 晋、山口裕子、和泉清拓、臼井亮太、桑田仁司、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕          |
| 2022年10月1-2日        | 和歌山 |                                                   |                                                                                           |
| 第37回日本糖尿病合併症学会      |     | 口演<br>高齢者の体組成における性別・BMI・SMI・体脂肪率などの項目と生存期間との関係    | 内山 葵、松城真里、山口裕子、桑田仁司、大守泰広、井村将大、山崎裕自、中谷 晋、原口卓也、和泉清拓、臼井亮太、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕          |
| 2022年10月21-22日      | 京都  |                                                   |                                                                                           |
| 第58回日本糖尿病学会 近畿地方会   |     | 口演<br>デュラグルチドが高齢者において半年後HbA1c<8%達成に必要なインスリン分泌能の検討 | 和泉清拓、浜本芳之、桑田仁司、黒飛友里、山崎裕自、中谷 晋、原口卓也、表 孝徳、田中永昭、山田 祐一郎、清野 裕                                  |
| 2022年11月5日          | 兵庫  |                                                   |                                                                                           |
| 第58回日本糖尿病学会 近畿地方会   |     | 口演<br>未治療2型糖尿病に合併したヒラメ筋壊死を伴う化膿性筋炎の1例              | 井村将大、原口卓也、桑田仁司、福田麻由、黒飛友里、臼井亮太、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕                                   |
| 2022年11月5日          | 兵庫  |                                                   |                                                                                           |
| 第58回日本糖尿病学会 近畿地方会   |     | 口演<br>虫垂癌に対してUFT/LV療法中に感冒様症状をきたし発症した劇症1型糖尿病の1例    | 福田麻由、表 孝徳、井村将大、中谷晋、和泉清拓、臼井亮太、桑田仁司、田中永昭、浜本芳之、山田 祐一郎、清野 裕                                   |
| 2022年11月5日          | 兵庫  |                                                   |                                                                                           |
| 第58回日本糖尿病学会 近畿地方会   |     | 口演<br>日本糖尿病協作成『サイバー糖尿病教室』の実施経験                    | 和泉清拓、田中永昭、中谷 晋、井村将大、黒飛友里、山崎裕自、原口卓也、臼井亮太、桑田仁司、表 孝徳、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕                         |
| 2022年11月5日          | 兵庫  |                                                   |                                                                                           |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 口演<br>神経性やせ症(AN)患者に慢性膵炎に伴う膵性糖尿病を発症した1例            | 松城真里、原口卓也、内山 葵、井村将大、山崎裕自、中谷 晋、山口裕子、和泉清拓、臼井亮太、桑田仁司、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕               |
| 2022年11月11-12日      | 東京  |                                                   |                                                                                           |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 口演<br>腫瘍摘出術前後で耐糖能を比較検討したパラガングリオーマの1例              | 松原実穂、浜本芳之、和泉清拓、桑田仁司、表 孝徳、田中永昭、河本 泉、末永悦郎、青山輝義、山田祐一郎、清野 裕                                   |
| 2022年11月11-12日      | 東京  |                                                   |                                                                                           |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 口演<br>手術前後でグルカゴン応答性を評価したグルカゴノーマの1例                | 井村将大、山崎裕自、臼井亮太、桑田仁司、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、河本 泉、今村正之、清野 裕                                   |
| 2022年11月11-12日      | 東京  |                                                   |                                                                                           |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 口演<br>低血糖から診断に至った1型糖尿病併発汎下垂体機能低下症の1例              | 大守泰広、中谷晋、臼井亮太、松城真里、井村将大、内山 葵、山崎裕自、原口卓也、桑田仁司、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕                     |
| 2022年11月11-12日      | 東京  |                                                   |                                                                                           |
| 第32回臨床内分泌代謝Update   |     | 口演<br>ロキサデュスタット投与中に甲状腺機能異常と肝障害を来した一例              | 原口卓也、桑田仁司、中谷 晋、山崎裕自、表 孝徳、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕                                                  |
| 2022年11月11日-12日     | 東京  |                                                   |                                                                                           |
| 第23回日本内分泌学会近畿支部学術集会 |     | 口演<br>超選択的副腎静脈サンプリングにより診断しえた両側副腎過形成と非機能性副腎腺腫の1例   | 松城真里、原口卓也、大守泰広、内山葵、井村将大、山崎裕自、中谷 晋、山口裕子、和泉清拓、臼井亮太、桑田仁司、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、岡田 務、山田祐一郎、清野 裕、牧田幸三 |
| 2022年11月26日         | 奈良  |                                                   |                                                                                           |
| 第26回日本病態栄養学会年次学術集会  |     | 口演<br>再発インスリン自己免疫症候群におけるScatchard解析の1例            | 山崎裕自、桑田仁司、松原実穂、表 孝徳、田中永昭、浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕                                                  |
| 2023年1月13-15日       | 京都  |                                                   |                                                                                           |

| 会名称                    |    | 参加形態・発表テーマ                                           | 発表者                                                                      |
|------------------------|----|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 日時                     | 場所 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | シンポジウム<br>早期栄養介入が医療の質を向上させる                          | 真壁 昇                                                                     |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>高齢者糖尿病における1年間の筋量および筋力<br>変化とたんぱく質摂取量との関係       | 茂山翔太、高橋拓也、遠藤隆之、<br>國枝加誉、高原舞衣、右谷怜奈、<br>若月未来、真壁 昇、桑田仁司、<br>清野 裕            |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>糖尿病透析予防指導10年間におけるイベント発<br>生の実態調査               | 國枝加誉、茂山翔太、北谷直美、<br>間 伸子、西本美代子、真壁 昇、<br>浜本芳之、桑田仁司                         |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>緩和ケア食導入における実態調査                                | 森口由香、真壁 昇、井上直也、<br>木元道雄、桑田仁司                                             |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>下咽頭癌患者の嚥下障害に対する栄養管理が<br>奏功した一症例                | 若月未来、遠藤隆之、真壁 昇、<br>羽田史子、桑田仁司                                             |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>CKD患者の血清カリウム値に関する栄養教育効<br>果の検証                 | 高橋拓也、戸田尚宏、竹岡 純、<br>倉橋聡司、真壁 昇、桑田仁司、<br>古宮俊幸                               |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>早期栄養介入管理加算に伴う患者背景の実態調<br>査                     | 高原舞衣、真壁 昇、高橋拓也、<br>茂山翔太、端野琢哉、桑田仁司                                        |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>外来心臓リハビリテーションにおける栄養サポート<br>の検討                 | 遠藤隆之、佐藤達也、崎田佳希、<br>堀田 旭、真壁 昇、宇佐美俊輔、<br>桑田仁司                              |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>エネルギー・蛋白代謝変動に応じた食事調整を<br>行い体脂肪を主とした減量に成功した高度肥満 | 右谷怜奈、茂山翔太、高橋拓也、<br>真壁 昇、中谷 晋、臼井亮太、<br>松城真里、桑田仁司                          |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |
| 第26回日本病態栄養学会年次<br>学術集会 |    | 口演<br>ルテチウムオキシドトレオチド治療中に患者が使用<br>した食器類の放射能汚染に関する検討   | 内山 葵、表 孝徳、長野圭司、<br>高井 剛、真壁 昇、板垣 康、<br>岡田 務、河本 泉、田中永昭、<br>浜本芳之、山田祐一郎、清野 裕 |
| 2023年1月13-15日          | 京都 |                                                      |                                                                          |

# 地域医療支援センター

(地域医療連携室・医療福祉相談室・入退院支援室)

[組織図]



# 情報システム部

## 【スタッフ】

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 部 長      | : 垣見 亮(心療内科医長兼任)         |
| 副部長      | : 芥川 浩二(事務局次長兼任)         |
| 副課長      | : 中堂 蘭 正夫(医事課副課長兼任)      |
| 担当(情報)   | : 古川 千夏(医事課兼任)           |
|          | : 星庵 史典(医事課兼任)           |
|          | : 若林 広樹(医事課兼任)           |
| 担当(医療機器) | : 溝辺 康太郎(庶務課兼任)          |
| 委 託      | : システム運用支援4名(3交代)、開発支援2名 |

## 【業務内容】

- 1) 院内システムの保守運用管理業務
  - ・基幹システム(電子カルテ、医事会計)
  - ・部門システム(検査、病理、給食、リハビリ等)
  - ・一般システム(グループウェア、ファイル移動等)
  - ・サーバ、端末、プリンタ、ネットワーク機器等
  - ・病院情報システムの管理・改善・障害対応
- (2) ヘルプデスク業務
  - ・病院情報システム、一般システムのユーザー支援対応
- (3) 情報セキュリティ推進
  - ・電子情報取り扱いに関するルールの整備
  - ・情報セキュリティに関する意識の啓蒙
- (4) 院内電話・複合機管理

## 【業務実績】

- ・電子カルテ端末の更新に伴い、一部において各システムのバージョンアップを行い、電子カルテ端末の先行リブレースを実施した。
- ・職員の情報セキュリティ意識向上を図るため情報セキュリティ講習会(動画配信)を開催しました。
- ・職員のITスキル向上を目指し、ITスキルアップセミナーを実施した。

## 【定例保守会議】

1回／月実施

## 【医療情報システム監査】

医療情報システムのサービスレベルを定めた基準(SLA)を逸脱していないか、電子カルテへの不正アクセスの有無、外部記憶装置(貸出用USB)の所在確認を実施しました。

## 【情報セキュリティ講習会】

情報セキュリティに関する職員への意識向上のための講習会を実施  
2023年2月16日～28日(オンデマンド配信)

## 【ITスキルアップセミナー】

- ・医療用データウェアハウスシステム(CLISTA!)講習会の実施
- ・表計算ソフト(Excel)講習会の実施

## 【既存システムの改善等対応】

- ・電子カルテ機能追加(患者ロック緩和対応)
- ・生理検査システムとエコー装置、検査測定装置他の接続実施
- ・DPCコード分析システム 定期バージョンアップ
- ・リウマチ膠原病内科診療科追加
- ・服薬指導システム切り替え
- ・看護勤務管理システム機能改善検討
- ・診療録直結型全国糖尿病データベース事業(J-DREAMS)の導入

## 【診療報酬改定の対応】

- ・リフィル処方追加対応 他
- ・リハビリ部門システム 令和4年度改正バージョンアップ
- ・医事会計システム 令和4年度EF対応
- ・医事会計システム レセプト改正

[管理対象機器]

|           | 病院情報システム | 一般システム |
|-----------|----------|--------|
| システム数     | 60システム   | —      |
| サーバ       | 78台      | —      |
| 端末        | 1292台    | 580台   |
| プリンタ      | 315台     | 62台    |
| 複合機       | 14台      |        |
| 院内コードレス電話 | 988台     |        |
| ユーザー      | 1220人    |        |

[ヘルプデスクの対応実績]

|       | 問い合わせ  | メンテナンス | 不具合対応 | 業務支援 | 管理業務 | グループウェア |
|-------|--------|--------|-------|------|------|---------|
| 2020年 | 3,206件 | 1,805件 | 532件  | 134件 | 189件 | 592件    |
| 2021年 | 3,288件 | 1,807件 | 470件  | 158件 | 158件 | 575件    |
| 2022年 | 2,846件 | 1,923件 | 389件  | 253件 | 120件 | 828件    |

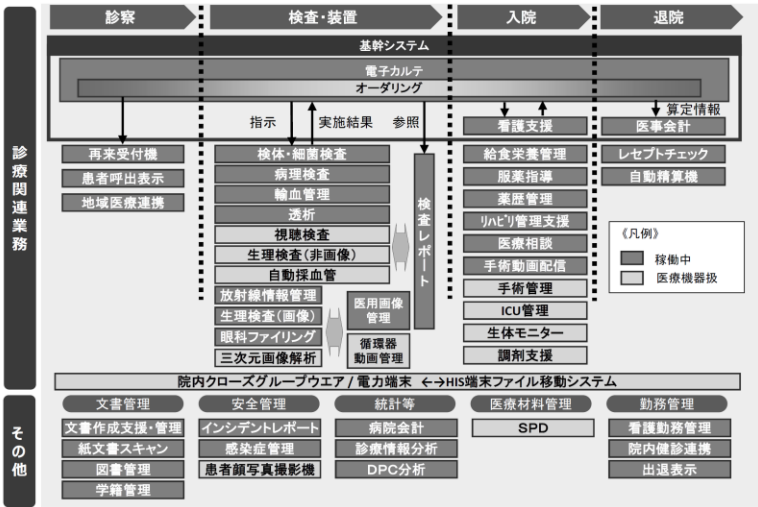
[研修・学会参加・発表]

| 会名称                                               |       | 参加形態・発表テーマ                            | 発表者・参加者 |
|---------------------------------------------------|-------|---------------------------------------|---------|
| 日時                                                | 場所    |                                       |         |
| 中部医療情報技師会 第18回研究会                                 |       | 情報セキュリティ対策を考える                        | 星庵史典    |
| 2023/1/14                                         | Web参加 |                                       |         |
| 第6回中国医療情報技師会研修会                                   |       | コロナ禍における情報管理他                         | 星庵史典    |
| 2022/8/27                                         | Web参加 |                                       |         |
| 日本医療情報学会九州・沖縄支部会<br>2022年度春季研究                    |       | あらためて情報と医療の連携を考える                     | 星庵史典    |
| 2022/5/14                                         | Web参加 |                                       |         |
| 第42回医療情報学連合大会<br>(第23回日本医療情報学会学術大会)               |       | 社会基盤としての医療情報の役割                       | 星庵史典    |
| 2022/11/17-20                                     | Web参加 |                                       |         |
| 第12回日本栄養士会災害支援チームリーダー育成<br>第7回リーダースキルアップ オンライン研修会 |       | オンライン参加・運営スタッフフェーズに応じた<br>栄養・食生活支援の実践 | 星庵史典    |
| 2022/12/3                                         | Web参加 |                                       |         |
| 第10回日本栄養士会災害支援チーム<br>JDA-DAT大阪スタッフ養成研修会           |       | 講師                                    | 星庵史典    |
| 2022/7/3                                          | 大阪    |                                       |         |

[論文発表]

| 著者                                | タイトル                           | 掲載雑誌名            |      |
|-----------------------------------|--------------------------------|------------------|------|
|                                   |                                | 掲載号・ページ          | 掲載年  |
| 小林 道、佐久間理英、<br>星庵史典、諸岡 歩、<br>下浦佳之 | 我が国における管理栄養士・栄養士の災害支援活動<br>の実態 | 北海道公衆衛生学雑誌       |      |
|                                   |                                | 巻:36 号 :2 P89-93 | 2023 |

[病院情報システム概要図]



# 臨床研修部

## 【スタッフ】

統括責任者： 藤本 康裕（副院長）  
指導責任者： 古宮 俊幸（腎臓内科部長）  
指 導 者： 表 孝徳（糖尿病・内分泌代謝センター医長）  
              舘 秀和（呼吸器外科医長）  
              津崎 光司（脳神経内科医長）  
              小山 優香里（消化器内科医員）  
チーフレジデント： 井村 将大（糖尿病・内分泌代謝センターシニアレジデント）  
                      佐藤 雄（消化器内科シニアレジデント）

## 【臨床研修部について】

レジデント部について、近年、学生実習受入れ職種が多岐に渡ること、専門医制度の見直しがなされることなど 若手の教育内容のウエイトが増加傾向にあることから、より若手の教育に力を注ぐべく、平成30年より学生実習担当部門、臨床（初期）研修担当部門、専門（後期）研修担当部門で構成することとし、名称も臨床研修部へと変更しております。  
歴代のレジデント部の先生方が築かれた実績を汚さぬよう、若手の育成に鋭意努力してまいり所存でございます。どうか各診療科・部署のスタッフの皆様方には、ご理解のうえ、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

## 【臨床研修部（臨床研修担当部門）の業務の一例】

- 研修医の採用および研修に関すること。
  - ・研修ローテーションの調整
  - ・新人採用時研修および進路相談（メンタルヘルスも含む）
  - ・協力型病院、協力施設との連携調整
  - ・研修医症例発表会の立案・施行
  - ・病院説明会（病院主催・他主催）への参加・運営
  - ・ジュニアレジデント向けの勉強会の企画・立案・運営
  - ・その他臨床研修に関すること

## 【臨床研修部（臨床研修部門）関連行事】

令和4年度の実施結果を別紙1に記載し、報告いたします。

## 【至近の臨床研修制度改定について】

令和2年度改定により、①「精神科・小児科・産婦人科・外科」が選択必修科目から必修科目へ変更 ②「一般外来」の新設（必修）が行われました。精神科・小児科・産婦人科の履修については、これまで以上に協力型病院・施設（JCHO大阪病院、ねや川サナトリウム、阪本病院など）との連携がより重要となっております。

## 【臨床研修部主催勉強会】

令和4年度は以下の勉強会を主催いたしましたので、ご報告いたします。

- 院内専門診療科医師および看護師/コメディカルスタッフによる講義（イブニングレクチャー）  
毎週木曜日午後5時より、院内各専門診療科医師による‘症候横断的ならびに実践的’を意図して講義を組みました。とくに、縫合手技やギブス手技などの実技的講義が好評でした。また、医療安全、感染対策など看護師/コメディカルスタッフによる講義も適宜、組み込まれております。  
令和4年度イブニングレクチャーの実施結果を別紙2に記載し、報告いたします。
- 救急症例カンファレンス（モーニングレクチャー）  
救急症例の検討と救急対応に必要な知識の整理のため毎週火曜日7時30分から早朝勉強会を行っております。
- 内科症例検討会  
毎月第3木曜日を原則として内科症例全体のカンファレンスが開催されており、研修医は全員、必須参加です。
- 集中講義  
コロナ感染症対策のため、未開催
- 研修医症例発表会  
当院研修の卒業試験的な発表会で毎年12月と2月に開催。研修終了認定において重要な位置づけの会です。
- その他の講義・講習・研修  
ACLS コースの参加は勿論のこと、当院主催の脳卒中病前救護コース（PSLS）など多岐にわたる研修が可能となりました。

**[2022年度 臨床研修関連行事 実施結果]**

| 日程                    | 時間            | JR関係 | 採用関 | 行事                                           |
|-----------------------|---------------|------|-----|----------------------------------------------|
| 2022年4月1日(金)、4日(月)    | 終日            | ○    |     | 2022年度採用者 オリエンテーション                          |
| 2022年6月9日(木)          | 14:00～        |      | ○   | 医科マッチング参加登録開始                                |
| 2022年6～7月頃            | —             |      | ○   | レジナビフェア                                      |
| 2022年7月2日(土)          | 13:00～15:40   |      | ○   | 2023年度採用 京都大学研修医・先行医募集説明会<br>(京大レジビナー)※WEB参加 |
| 2022年7月9日(土)          | 14:00～        |      | ○   | 2023年度採用ジュニアレジデント 病院説明会                      |
| 2022年8月4日(木)          | 14:00         |      | ○   | 医科マッチング参加登録締切                                |
| 2022年7月31日(月)         | 当日消印有効        |      | ○   | 2023年度採用ジュニアレジデント 募集締切                       |
| 2022年8月9日(水)          | 終日<br>面接はPM予定 |      | ○   | ジュニアレジデント採用選考(筆記・面接)                         |
| 2022年8月24日(木)         | 終日<br>面接はPM予定 |      | ○   | ジュニアレジデント採用選考(筆記・面接)                         |
| 2022年8月27日(土)         | 13:00～21:00   | ○    |     | 緩和ケア講習会                                      |
| 2022年9月15日(木)         | 14:00～        |      | ○   | 医科マッチング希望順位登録受付開始                            |
| 2022年9月29日(木)         | 14:00         |      | ○   | 医科マッチング中間公表前順位登録最終締切                         |
| 2022年9月30日(金)         | 14:00～        |      | ○   | 医科マッチング中間公表                                  |
| 2022年10月13日(木)        | 14:00         |      | ○   | 医科マッチング希望順位登録最終締切                            |
| 2022年10月27日(木)        | 14:00～        |      | ○   | 医科マッチング結果発表                                  |
| 2022年11月12日(土)        | 14:30～15:30   | ○    |     | 大阪公立大学医学部付属病院研修協力病院・医局合同説明会<br>対面            |
| 2022年11月24日(木)運営会議終了後 | 17:30～        | ○    |     | 第1回 臨床研修管理委員会・研修医発表会                         |
| 2022年12月19日(月)        | 18:00～19:00   | ○    |     | 第三者評価 安井委員と研修医の面談                            |
| 2022年12月21日(水)        | 17:30～19:00   | ○    |     | 第三者評価 安井委員と研修医の面談                            |
| 2023年1月19日(木)         | 18:30～19:30   | ○    |     | 虐待研修受講 ※WEB                                  |
| 2023年1月21日(土)         | 9:00～<br>120分 | ○    |     | 基本的臨床能力評価試験(JAMEP)受験                         |
| 2023年1月26日(木)運営会議終了後  | 17:30～        | ○    |     | 第2回 臨床研修管理委員会・研修医発表会                         |
| 2023年2月1日(水)          | 17:00～        |      | ○   | 大阪府医療対策課との意見交換                               |
| 2023年2月3日(金)          | 17:30～        | ○    |     | 第三者評価 安井委員と研修医の面談                            |
| 2023年2月8日(水)          | 17:30～        | ○    |     | 第三者評価 安井委員と研修医の面談                            |
| 2023年2月4日(土)、5日(月)    | —             |      | ○   | 第117回医師国家試験日                                 |
| 2023年2月18日(土)         | 11:00～16:00   |      | ○   | 臨床研修病院説明会事務局主催「臨床研修病院説明会」<br>※WEB&対面         |
| 2023年3月16日(木)         | 14:00         |      | ○   | 医師国家試験合格発表                                   |
| 2023年3月18日(土)         | 14:00～        |      | ○   | ジュニアレジデント追加採用選考(面接)                          |
| 2023年3月23日(木)運営会議終了後  | 17:30～        | ○    |     | 第3回 臨床研修管理委員会(修了認定)                          |



**[2022年度 臨床研修講義内容]**

| 日程         | 内容                    | 担当       |
|------------|-----------------------|----------|
| 2022/4/7   | オリエンテーション             | 表Dr      |
| 2022/4/14  | 採血実習                  | 担当Dr     |
| 2022/4/21  | ガウンテクニック実習            | 小松Ns     |
| 2022/4/28  | 薬剤部見学・処方の仕方講習         | 眞継さん     |
| 2022/5/12  | 腹部エコー実習               | 検査室      |
| 2022/5/19  | 症例検討会(循内)             | 担当Dr     |
| 2022/5/26  | ICU勉強会(重症患者の見分け方・評価)  | 端野Dr     |
| 2022/6/2   | CPC(血内MDS移植後の呼吸困難)    | 柿原Dr     |
| 2022/6/9   | OPE室勉強会(オリエン・感染)      | OPE室Ns   |
| 2022/6/16  | 症例検討会(血内)             | 担当Dr     |
| 2022/6/23  | ICU勉強会(急性呼吸不全の診断と治療)  | 喜多Dr     |
| 2022/6/30  | 心エコー実習                | 検査室・循内Dr |
| 2022/7/7   | オルソグラスの使い方実習          | 太田先生     |
| 2022/7/14  | B型肝炎について              | 小山先生     |
| 2022/7/21  | 症例検討会(腎内)             | 担当Dr     |
| 2022/7/28  | 千葉先生①(検査値の見方)         | 千葉Dr     |
| 2022/8/10  | 千葉先生①(問診の取り方)         | 山下Dr     |
| 2022/8/18  | 腹部CT画像クイズ             | 置塩Dr     |
| 2022/8/25  | ICU勉強会(人工呼吸)          | 大橋Dr     |
| 2022/9/1   | FNについて                | 井尾Dr     |
| 2022/9/8   | 婦人科講義                 | 山本Dr     |
| 2022/9/15  | 症例検討会(糖内)             | 担当Dr     |
| 2022/9/22  | CPC(腎癌のAKI)           | 加古Dr     |
| 2022/9/29  | 板垣先生 放射線治療について        | 板垣Dr     |
| 2022/10/6  | ちな先生②(カテコラミン受容体)      | 千葉Dr     |
| 2022/10/20 | 症例検討会(消内)             | 担当Dr     |
| 2022/10/27 | ICU勉強会(乏尿、AKI、血液浄化療法) | 金丸Dr     |
| 2022/11/10 | 下肢エコー実習               | 検査室      |
| 2022/11/17 | 症例検討会(呼内)             | 担当Dr     |
| 2022/11/24 | 研修医発表会(前半)            | 研修医      |
| 2022/12/1  | ICU勉強会(敗血症、感染症治療)     | 端野Dr     |
| 2022/12/8  | 救急講義②(アナフィラキシー)       | 山下Dr     |
| 2022/12/15 | 症例検討会(膠原病内科)          | 担当Dr     |
| 2022/12/22 | ICU勉強会(心肺蘇生、脳蘇生)      | 大橋Dr     |
| 2023/1/12  | ACP勉強会                | 井上Dr     |
| 2023/1/19  | 症例検討会(腫内)             | 担当Dr     |
| 2023/1/26  | 研修医発表会(後半)            | 研修医      |
| 2023/2/2   | 症例検討会(脳内)             | 担当Dr     |
| 2023/2/9   | 関電GIMカンファレンス          | 津崎Dr     |
| 2023/2/16  | CPC(ANCA関連血管炎)        | 望月Dr     |
| 2023/2/22  | ICU勉強会(鎮痛・鎮静)         | 金丸Dr     |
| 2023/3/2   | 千葉先生③(遺伝性疾患)          | 千葉Dr     |
| 2023/3/9   | 救急講義③(腹壁痛・胸壁痛)        | 山下Dr     |
| 2023/3/16  | 睡眠講義・実習               | 立花Dr     |
| 2023/3/23  | 年度末振り返り               | レジデント部Dr |

### 【令和4年度臨床研修修了認定医師】

令和5年3月23日開催の臨床研修管理委員会において、下記当院採用7名の研修医が無事に研修修了認定となりました。今後のご活躍を臨床研修部一同、心よりお祈り申し上げます。

令和4年度当院臨床研修修了認定者: 柿原 文太、加古 敦也、久志 瞭、高折 隆太、吉岡 和輝、麓 隆太郎(敬称略)

修了認定日: 令和5年3月31日

### 【お知らせ】

令和元年度から、2年次対象の地域医療研修において、大阪コース: 大阪地域のかかりつけ医の先生に指導を頂くコース、へき地コース: へき地診療の内容を重視したコース(福井県: 高浜・大飯・美浜地域)のうち、へき地コースについて新たに京都府: 京丹後地域(丹後中央病院)が追加されました。

令和2年度から、新たに必修科に加わった一般外来研修を目的とし、院内に総合診断科を開設しました。

### 【終わりに】

以上、臨床研修部の令和3年度の活動についてご報告申し上げます。

今後とも、レジデント教育に関し病院各部署一丸となるよう努力して参る所存でございます。今後も研修医への良質な教育が提供できますよう、引き続き忌憚のないご指導・ご鞭撻の程、臨床研修部一同心よりお願い申し上げます。

指 導 者 一 同

指導責任者 古宮 俊幸

統括責任者 藤本 康裕

# 退 院 患 者 統 計

2022年度

自 2022年4月 1日  
至 2023年3月31日

## 目 次

|                  |       |
|------------------|-------|
| 診療科別・退院月別・入退院歴数  | 1ページ  |
| 診療科別・在院期間別・入退院歴数 | 2ページ  |
| ICD10コード別・病名数    | 3ページ  |
| 疾病大分類別・在院期間別・病名数 | 10ページ |
| 疾病大分類別・年齢階層別・病名数 | 11ページ |
| 疾病大分類別・診療県別・病名数  | 12ページ |

関 西 電 力 病 院

## 診療科別・退院月別・入退院歴数

(2022/04/01-2023/03/31)

|                |    | 総数    | 構成比(%) | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 死亡  | 剖検 |
|----------------|----|-------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 総数             | 合計 | 8,186 | 100.0% | 690 | 696 | 733 | 747 | 695 | 691 | 662 | 656 | 704 | 566 | 619 | 727 | 152 | 3  |
|                | 男  | 4,816 | 58.8%  | 431 | 392 | 435 | 439 | 405 | 392 | 396 | 388 | 401 | 327 | 368 | 442 | 91  | -- |
|                | 女  | 3,370 | 41.2%  | 259 | 304 | 298 | 308 | 290 | 299 | 266 | 268 | 303 | 239 | 251 | 285 | 61  | -- |
| 内科             | 合計 | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
| 循環器内科          | 合計 | 830   | 10.1%  | 76  | 67  | 65  | 85  | 72  | 72  | 63  | 68  | 72  | 58  | 70  | 62  | 14  | 0  |
|                | 男  | 573   | 11.9%  | 57  | 56  | 49  | 58  | 43  | 50  | 40  | 46  | 46  | 35  | 49  | 44  | 7   | -- |
|                | 女  | 257   | 7.6%   | 19  | 11  | 16  | 27  | 29  | 22  | 23  | 22  | 26  | 23  | 21  | 18  | 7   | -- |
| 消化器内科          | 合計 | 1,165 | 14.2%  | 108 | 108 | 100 | 113 | 81  | 95  | 100 | 93  | 103 | 82  | 86  | 96  | 21  | 0  |
|                | 男  | 745   | 15.5%  | 72  | 63  | 67  | 73  | 50  | 57  | 59  | 64  | 65  | 58  | 58  | 59  | 14  | -- |
|                | 女  | 420   | 12.5%  | 36  | 45  | 33  | 40  | 31  | 38  | 41  | 29  | 38  | 24  | 28  | 37  | 7   | -- |
| 緩和医療科          | 合計 | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
| 糖尿病栄養<br>内分泌C  | 合計 | 381   | 4.7%   | 38  | 28  | 39  | 29  | 33  | 40  | 25  | 26  | 32  | 23  | 27  | 41  | 1   | 0  |
|                | 男  | 235   | 4.9%   | 26  | 10  | 25  | 16  | 19  | 28  | 16  | 15  | 20  | 13  | 18  | 29  | 1   | -- |
|                | 女  | 146   | 4.3%   | 12  | 18  | 14  | 13  | 14  | 12  | 9   | 11  | 12  | 10  | 9   | 12  | 0   | -- |
| 血液内科           | 合計 | 799   | 9.8%   | 55  | 67  | 65  | 74  | 80  | 62  | 66  | 76  | 80  | 60  | 53  | 61  | 22  | 0  |
|                | 男  | 475   | 9.9%   | 36  | 45  | 43  | 47  | 47  | 35  | 43  | 42  | 43  | 32  | 26  | 36  | 13  | -- |
|                | 女  | 324   | 9.6%   | 19  | 22  | 22  | 27  | 33  | 27  | 23  | 34  | 37  | 28  | 27  | 25  | 9   | -- |
| 腎臓内科           | 合計 | 411   | 5.0%   | 36  | 40  | 50  | 33  | 27  | 44  | 33  | 34  | 29  | 27  | 29  | 29  | 8   | 1  |
|                | 男  | 258   | 5.4%   | 24  | 23  | 33  | 18  | 18  | 29  | 18  | 22  | 17  | 20  | 16  | 20  | 7   | -- |
|                | 女  | 153   | 4.5%   | 12  | 17  | 17  | 15  | 9   | 15  | 15  | 12  | 12  | 7   | 13  | 9   | 1   | -- |
| リウマチ・膠<br>原病内科 | 合計 | 29    | 0.4%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 5   | 8   | 5   | 2   | 9   | 2   | 1  |
|                | 男  | 17    | 0.4%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 4   | 4   | 3   | 1   | 5   | 2   | -- |
|                | 女  | 12    | 0.4%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 4   | 2   | 1   | 4   | 0   | -- |
| 脳神経内科          | 合計 | 417   | 5.1%   | 39  | 23  | 44  | 36  | 47  | 36  | 35  | 30  | 36  | 25  | 33  | 33  | 8   | 1  |
|                | 男  | 226   | 4.7%   | 22  | 11  | 20  | 16  | 29  | 14  | 19  | 16  | 21  | 17  | 23  | 18  | 4   | -- |
|                | 女  | 191   | 5.7%   | 17  | 12  | 24  | 20  | 18  | 22  | 16  | 14  | 15  | 8   | 10  | 15  | 4   | -- |
| 呼吸器内科          | 合計 | 285   | 3.5%   | 24  | 26  | 23  | 27  | 24  | 27  | 20  | 14  | 35  | 21  | 19  | 25  | 24  | 0  |
|                | 男  | 174   | 3.6%   | 14  | 15  | 17  | 16  | 18  | 17  | 10  | 11  | 19  | 12  | 11  | 14  | 16  | -- |
|                | 女  | 111   | 3.3%   | 10  | 11  | 6   | 11  | 6   | 10  | 10  | 3   | 16  | 9   | 8   | 11  | 8   | -- |
| 腫瘍内科           | 合計 | 216   | 2.6%   | 30  | 17  | 15  | 19  | 17  | 15  | 15  | 17  | 15  | 19  | 16  | 21  | 14  | 0  |
|                | 男  | 142   | 2.9%   | 19  | 6   | 10  | 13  | 10  | 10  | 12  | 10  | 9   | 13  | 14  | 16  | 8   | -- |
|                | 女  | 74    | 2.2%   | 11  | 11  | 5   | 6   | 7   | 5   | 3   | 7   | 6   | 6   | 2   | 5   | 6   | -- |
| 外科             | 合計 | 732   | 8.9%   | 58  | 61  | 62  | 57  | 53  | 63  | 82  | 56  | 62  | 44  | 55  | 79  | 12  | 0  |
|                | 男  | 394   | 8.2%   | 31  | 27  | 35  | 32  | 30  | 31  | 57  | 28  | 35  | 16  | 28  | 44  | 3   | -- |
|                | 女  | 338   | 10.0%  | 27  | 34  | 27  | 25  | 23  | 32  | 25  | 28  | 27  | 28  | 27  | 35  | 9   | -- |
| 呼吸器外科          | 合計 | 93    | 1.1%   | 6   | 7   | 9   | 9   | 6   | 6   | 10  | 11  | 5   | 7   | 6   | 11  | 0   | 0  |
|                | 男  | 60    | 1.2%   | 6   | 2   | 5   | 5   | 3   | 1   | 7   | 9   | 2   | 7   | 5   | 8   | 0   | -- |
|                | 女  | 33    | 1.0%   | 0   | 5   | 4   | 4   | 3   | 5   | 3   | 2   | 3   | 0   | 1   | 3   | 0   | -- |
| 整形外科           | 合計 | 518   | 6.3%   | 33  | 47  | 42  | 53  | 47  | 44  | 38  | 48  | 40  | 28  | 41  | 57  | 0   | 0  |
|                | 男  | 248   | 5.1%   | 20  | 27  | 22  | 24  | 24  | 20  | 17  | 17  | 16  | 16  | 17  | 28  | 0   | -- |
|                | 女  | 270   | 8.0%   | 13  | 20  | 20  | 29  | 23  | 24  | 21  | 31  | 24  | 12  | 24  | 29  | 0   | -- |
| 形成外科           | 合計 | 210   | 2.6%   | 19  | 20  | 14  | 22  | 21  | 14  | 18  | 20  | 18  | 7   | 14  | 23  | 1   | 0  |
|                | 男  | 148   | 3.1%   | 10  | 11  | 4   | 17  | 18  | 11  | 15  | 16  | 12  | 4   | 10  | 20  | 0   | -- |
|                | 女  | 62    | 1.8%   | 9   | 9   | 10  | 5   | 3   | 3   | 3   | 4   | 6   | 3   | 4   | 3   | 1   | -- |
| 脳神経外科          | 合計 | 253   | 3.1%   | 14  | 23  | 31  | 16  | 22  | 25  | 16  | 18  | 25  | 22  | 18  | 23  | 10  | 0  |
|                | 男  | 145   | 3.0%   | 8   | 16  | 21  | 9   | 13  | 11  | 9   | 11  | 13  | 11  | 10  | 13  | 5   | -- |
|                | 女  | 108   | 3.2%   | 6   | 7   | 10  | 7   | 9   | 14  | 7   | 7   | 12  | 11  | 8   | 10  | 5   | -- |
| 心臓血管外科         | 合計 | 97    | 1.2%   | 10  | 9   | 6   | 10  | 10  | 9   | 5   | 8   | 8   | 7   | 8   | 7   | 2   | 0  |
|                | 男  | 62    | 1.3%   | 7   | 6   | 4   | 8   | 6   | 8   | 1   | 5   | 5   | 2   | 7   | 3   | 1   | -- |
|                | 女  | 35    | 1.0%   | 3   | 3   | 2   | 2   | 4   | 1   | 4   | 3   | 3   | 5   | 1   | 4   | 1   | -- |
| 皮膚科            | 合計 | 3     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 2   | 0   | 0   | 0  |
|                | 男  | 3     | 0.1%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 2   | 0   | 0   | -- |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
| 泌尿器科           | 合計 | 545   | 6.7%   | 43  | 44  | 39  | 52  | 45  | 38  | 47  | 44  | 52  | 47  | 47  | 47  | 10  | 0  |
|                | 男  | 463   | 9.6%   | 34  | 38  | 32  | 46  | 39  | 30  | 41  | 39  | 41  | 41  | 40  | 42  | 9   | -- |
|                | 女  | 82    | 2.4%   | 9   | 6   | 7   | 6   | 6   | 8   | 6   | 5   | 11  | 6   | 7   | 5   | 1   | -- |
| 婦人科            | 合計 | 357   | 4.4%   | 28  | 37  | 44  | 36  | 29  | 31  | 26  | 28  | 22  | 23  | 24  | 29  | 0   | 0  |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
|                | 女  | 357   | 10.6%  | 28  | 37  | 44  | 36  | 29  | 31  | 26  | 28  | 22  | 23  | 24  | 29  | 0   | -- |
| 眼科             | 合計 | 247   | 3.0%   | 16  | 25  | 38  | 34  | 29  | 11  | 24  | 15  | 8   | 14  | 20  | 13  | 0   | 0  |
|                | 男  | 124   | 2.6%   | 12  | 15  | 24  | 18  | 13  | 6   | 13  | 5   | 3   | 4   | 4   | 7   | 0   | -- |
|                | 女  | 123   | 3.6%   | 4   | 10  | 14  | 16  | 16  | 5   | 11  | 10  | 5   | 10  | 16  | 6   | 0   | -- |
| 耳鼻咽喉科          | 合計 | 405   | 4.9%   | 38  | 35  | 32  | 30  | 39  | 37  | 29  | 29  | 36  | 29  | 28  | 43  | 3   | 0  |
|                | 男  | 236   | 4.9%   | 22  | 19  | 16  | 17  | 19  | 26  | 17  | 22  | 19  | 15  | 18  | 26  | 1   | -- |
|                | 女  | 169   | 5.0%   | 16  | 16  | 16  | 13  | 20  | 11  | 12  | 7   | 17  | 14  | 10  | 17  | 2   | -- |
| 麻酔科            | 合計 | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
| リハビリ<br>テーション科 | 合計 | 185   | 2.3%   | 19  | 12  | 15  | 12  | 12  | 22  | 9   | 13  | 15  | 18  | 20  | 18  | 0   | 0  |
|                | 男  | 85    | 1.8%   | 11  | 2   | 8   | 6   | 6   | 8   | 1   | 5   | 9   | 8   | 11  | 10  | 0   | -- |
|                | 女  | 100   | 3.0%   | 8   | 10  | 7   | 6   | 6   | 14  | 8   | 8   | 6   | 10  | 9   | 8   | 0   | -- |
| 放射線科           | 合計 | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
| 救急部            | 合計 | 8     | 0.1%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 1   | 2   | 3   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0  |
|                | 男  | 3     | 0.1%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | -- |
|                | 女  | 5     | 0.1%   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 2   | 1   | 0   | 1   | 0   | 0   | -- |

診療科別・在院期間別・入退院歴数  
(2022/04/01-2023/03/31)

|                |    | 総数    | 構成比(%) | 延べ<br>在院日数 | 平均<br>在院日数 | 1-<br>8日 | 9-<br>15日 | 16-<br>22 | 23-<br>31日 | 32-<br>61日 | 62-<br>91日 | 3-<br>6ヶ月 | 6ヶ月<br>-1年 | 1-<br>2年 | 2年- |
|----------------|----|-------|--------|------------|------------|----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|----------|-----|
| 総数             | 合計 | 8,186 | 100.0% | 113,712    | 13.9       | 4425     | 1708      | 805       | 508        | 487        | 119        | 117       | 17         | 0        | 0   |
|                | 男  | 4,816 | 58.8%  | 66,608     | 13.8       | 2625     | 991       | 455       | 304        | 289        | 75         | 67        | 10         | 0        | 0   |
|                | 女  | 3,370 | 41.2%  | 47,104     | 14.0       | 1800     | 717       | 350       | 204        | 198        | 44         | 50        | 7          | 0        | 0   |
| 内科             | 合計 | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 循環器内科          | 合計 | 830   | 10.1%  | 5,637      | 6.8        | 632      | 107       | 53        | 20         | 17         | 1          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 573   | 11.9%  | 3,650      | 6.4        | 458      | 57        | 34        | 10         | 13         | 1          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 257   | 7.6%   | 1,987      | 7.7        | 174      | 50        | 19        | 10         | 4          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 消化器内科          | 合計 | 1,165 | 14.2%  | 9,919      | 8.5        | 754      | 254       | 77        | 42         | 30         | 6          | 1         | 1          | 0        | 0   |
|                | 男  | 745   | 15.5%  | 6,402      | 8.6        | 489      | 158       | 42        | 27         | 24         | 3          | 1         | 1          | 0        | 0   |
|                | 女  | 420   | 12.5%  | 3,517      | 8.4        | 265      | 96        | 35        | 15         | 6          | 3          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 緩和医療科          | 合計 | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 糖尿病栄養<br>内分泌C  | 合計 | 381   | 4.7%   | 4,700      | 12.3       | 132      | 163       | 56        | 17         | 13         | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 235   | 4.9%   | 2,850      | 12.1       | 78       | 109       | 33        | 9          | 6          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 146   | 4.3%   | 1,850      | 12.7       | 54       | 54        | 23        | 8          | 7          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 血液内科           | 合計 | 799   | 9.8%   | 15,098     | 18.9       | 246      | 165       | 159       | 119        | 87         | 17         | 5         | 1          | 0        | 0   |
|                | 男  | 475   | 9.9%   | 9,431      | 19.9       | 129      | 110       | 85        | 82         | 51         | 14         | 4         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 324   | 9.6%   | 5,667      | 17.5       | 117      | 55        | 74        | 37         | 36         | 3          | 1         | 1          | 0        | 0   |
| 腎臓内科           | 合計 | 411   | 5.0%   | 4,994      | 12.2       | 237      | 82        | 38        | 22         | 26         | 3          | 2         | 1          | 0        | 0   |
|                | 男  | 258   | 5.4%   | 3,211      | 12.4       | 153      | 50        | 21        | 16         | 13         | 2          | 2         | 1          | 0        | 0   |
|                | 女  | 153   | 4.5%   | 1,783      | 11.7       | 84       | 32        | 17        | 6          | 13         | 1          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| リウマチ・膠原<br>病内科 | 合計 | 29    | 0.4%   | 620        | 21.4       | 9        | 5         | 5         | 4          | 4          | 2          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 17    | 0.4%   | 388        | 22.8       | 7        | 0         | 2         | 4          | 3          | 1          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 12    | 0.4%   | 232        | 19.3       | 2        | 5         | 3         | 0          | 1          | 1          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 脳神経内科          | 合計 | 417   | 5.1%   | 4,628      | 11.1       | 225      | 102       | 42        | 24         | 18         | 5          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 226   | 4.7%   | 2,530      | 11.2       | 127      | 56        | 19        | 7          | 12         | 4          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 191   | 5.7%   | 2,098      | 11.0       | 98       | 46        | 23        | 17         | 6          | 1          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 呼吸器内科          | 合計 | 285   | 3.5%   | 4,829      | 16.9       | 114      | 63        | 36        | 31         | 34         | 4          | 2         | 1          | 0        | 0   |
|                | 男  | 174   | 3.6%   | 3,177      | 18.3       | 67       | 43        | 20        | 17         | 20         | 4          | 2         | 1          | 0        | 0   |
|                | 女  | 111   | 3.3%   | 1,652      | 14.9       | 47       | 20        | 16        | 14         | 14         | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 腫瘍内科           | 合計 | 216   | 2.6%   | 3,080      | 14.3       | 78       | 79        | 20        | 22         | 16         | 0          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 142   | 2.9%   | 2,169      | 15.3       | 52       | 47        | 14        | 15         | 13         | 0          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 74    | 2.2%   | 911        | 12.3       | 26       | 32        | 6         | 7          | 3          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 外科             | 合計 | 732   | 8.9%   | 9,048      | 12.4       | 408      | 173       | 64        | 35         | 39         | 6          | 7         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 394   | 8.2%   | 5,132      | 13.0       | 219      | 84        | 43        | 18         | 21         | 3          | 6         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 338   | 10.0%  | 3,916      | 11.6       | 189      | 89        | 21        | 17         | 18         | 3          | 1         | 0          | 0        | 0   |
| 呼吸器外科          | 合計 | 93    | 1.1%   | 1,101      | 11.8       | 29       | 47        | 13        | 2          | 1          | 1          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 60    | 1.2%   | 748        | 12.5       | 20       | 27        | 9         | 2          | 1          | 1          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 33    | 1.0%   | 353        | 10.7       | 9        | 20        | 4         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 整形外科           | 合計 | 518   | 6.3%   | 10,188     | 19.7       | 195      | 73        | 69        | 78         | 89         | 8          | 6         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 248   | 5.1%   | 5,184      | 20.9       | 87       | 33        | 42        | 35         | 43         | 4          | 4         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 270   | 8.0%   | 5,004      | 18.5       | 108      | 40        | 27        | 43         | 46         | 4          | 2         | 0          | 0        | 0   |
| 形成外科           | 合計 | 210   | 2.6%   | 4,161      | 19.8       | 81       | 37        | 34        | 23         | 21         | 8          | 6         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 148   | 3.1%   | 3,219      | 21.8       | 48       | 28        | 26        | 20         | 15         | 5          | 6         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 62    | 1.8%   | 942        | 15.2       | 33       | 9         | 8         | 3          | 6          | 3          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 脳神経外科          | 合計 | 253   | 3.1%   | 4,510      | 17.8       | 77       | 71        | 43        | 28         | 25         | 8          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 145   | 3.0%   | 2,676      | 18.5       | 49       | 36        | 22        | 15         | 16         | 6          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 108   | 3.2%   | 1,834      | 17.0       | 28       | 35        | 21        | 13         | 9          | 2          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 心臓血管<br>外科     | 合計 | 97    | 1.2%   | 1,735      | 17.9       | 16       | 36        | 26        | 12         | 5          | 1          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 62    | 1.3%   | 1,154      | 18.6       | 9        | 25        | 15        | 8          | 3          | 1          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 35    | 1.0%   | 581        | 16.6       | 7        | 11        | 11        | 4          | 2          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 皮膚科            | 合計 | 3     | 0.0%   | 28         | 9.3        | 2        | 1         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 3     | 0.1%   | 28         | 9.3        | 2        | 1         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 泌尿器科           | 合計 | 545   | 6.7%   | 4,005      | 7.3        | 392      | 89        | 32        | 15         | 16         | 0          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 463   | 9.6%   | 3,144      | 6.8        | 351      | 69        | 16        | 13         | 13         | 0          | 1         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 82    | 2.4%   | 861        | 10.5       | 41       | 20        | 16        | 2          | 3          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 婦人科            | 合計 | 357   | 4.4%   | 2,441      | 6.8        | 272      | 61        | 18        | 3          | 3          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 357   | 10.6%  | 2,441      | 6.8        | 272      | 61        | 18        | 3          | 3          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 眼科             | 合計 | 247   | 3.0%   | 766        | 3.1        | 244      | 3         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 124   | 2.6%   | 405        | 3.3        | 121      | 3         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 123   | 3.6%   | 361        | 2.9        | 123      | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 耳鼻咽喉科          | 合計 | 405   | 4.9%   | 3,766      | 9.3        | 274      | 96        | 18        | 3          | 8          | 3          | 3         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 236   | 4.9%   | 2,375      | 10.1       | 156      | 55        | 12        | 2          | 7          | 2          | 2         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 169   | 5.0%   | 1,391      | 8.2        | 118      | 41        | 6         | 1          | 1          | 1          | 1         | 0          | 0        | 0   |
| 麻酔科            | 合計 | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| リハビリ<br>テーション科 | 合計 | 185   | 2.3%   | 18,434     | 99.6       | 0        | 1         | 2         | 8          | 35         | 46         | 80        | 13         | 0        | 0   |
|                | 男  | 85    | 1.8%   | 8,729      | 102.7      | 0        | 0         | 0         | 4          | 15         | 24         | 35        | 7          | 0        | 0   |
|                | 女  | 100   | 3.0%   | 9,705      | 97.1       | 0        | 1         | 2         | 4          | 20         | 22         | 45        | 6          | 0        | 0   |
| 放射線科           | 合計 | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 0     | 0.0%   | 0          | 0.0        | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
| 救急部            | 合計 | 8     | 0.1%   | 24         | 3.0        | 8        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 男  | 3     | 0.1%   | 6          | 2.0        | 3        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |
|                | 女  | 5     | 0.1%   | 18         | 3.6        | 5        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          | 0        | 0   |

ICD10コード別・病名数  
(2022/04/01-2023/03/31)

| コード  | 名称                           | 件数  |
|------|------------------------------|-----|
| A049 | 細菌性腸管感染症, 詳細不明               | 1   |
| A081 | ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症          | 1   |
| A090 | 感染症が原因のその他及び詳細不明の胃腸炎及び大腸炎    | 4   |
| A099 | 詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎           | 21  |
| A162 | 肺結核, 細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの    | 2   |
| A165 | 結核性胸膜炎, 細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの | 2   |
| A182 | 結核性末梢(性)リンパ節症                | 1   |
| A199 | 粟粒結核, 詳細不明                   | 1   |
| A310 | 肺非結核性抗酸菌感染症                  | 8   |
| A319 | 非結核性抗酸菌感染症, 詳細不明             | 3   |
| A411 | その他の明示されたブドウ球菌による敗血症         | 1   |
| A415 | その他のグラム陰性菌による敗血症             | 4   |
| A419 | 敗血症, 詳細不明                    | 19  |
| A481 | レジオネラ症<在郷軍人病>                | 1   |
| A499 | 細菌感染症, 詳細不明                  | 2   |
| B021 | 帯状疱疹(性)髄膜炎(G02.0*)           | 1   |
| B022 | 帯状疱疹, その他の神経系合併症を伴うもの        | 2   |
| B027 | 播種性帯状疱疹                      | 1   |
| B029 | 帯状疱疹, 合併症を伴わないもの             | 1   |
| B179 | 急性ウイルス性肝炎, 詳細不明              | 3   |
| B251 | サイトメガロウイルス(性)肝炎(K77.0*)      | 1   |
| B279 | 伝染性単核症, 詳細不明                 | 1   |
| B338 | その他の明示されたウイルス性疾患             | 1   |
| B441 | その他の肺アスペルギルス症                | 3   |
| B49  | 詳細不明の真菌症                     | 2   |
| B59  | ニューモシスチス症(J17.3*)            | 2   |
| C01  | 舌根<基底>部の悪性新生物<腫瘍>            | 3   |
| C021 | 舌縁                           | 2   |
| C07  | 耳下腺の悪性新生物<腫瘍>                | 3   |
| C109 | 中咽頭, 部位不明                    | 1   |
| C119 | 鼻<上>咽頭, 部位不明                 | 1   |
| C12  | 梨状陥凹<洞>の悪性新生物<腫瘍>            | 12  |
| C130 | 後輪状軟骨部                       | 1   |
| C139 | 下咽頭, 部位不明                    | 12  |
| C151 | 胸部食道                         | 39  |
| C158 | 食道の境界部病巣                     | 2   |
| C159 | 食道, 部位不明                     | 9   |
| C160 | 噴門                           | 3   |
| C162 | 胃体部                          | 32  |
| C163 | 幽門前庭                         | 14  |
| C164 | 幽門                           | 1   |
| C169 | 胃, 部位不明                      | 16  |
| C170 | 十二指腸                         | 10  |
| C172 | 回腸                           | 3   |
| C180 | 盲腸                           | 18  |
| C181 | 虫垂                           | 1   |
| C182 | 上行結腸                         | 14  |
| C184 | 横行結腸                         | 11  |
| C186 | 下行結腸                         | 4   |
| C187 | S状結腸                         | 19  |
| C19  | 直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>          | 2   |
| C20  | 直腸の悪性新生物<腫瘍>                 | 76  |
| C220 | 肝細胞癌                         | 84  |
| C221 | 肝内胆管癌                        | 9   |
| C229 | 肝, 詳細不明                      | 1   |
| C23  | 胆のう<嚢>の悪性新生物<腫瘍>             | 6   |
| C240 | 肝外胆管                         | 10  |
| C241 | ファーター<Vater>乳頭膨大部            | 4   |
| C248 | 胆道の境界部病巣                     | 4   |
| C250 | 膵頭部                          | 29  |
| C251 | 膵体部                          | 12  |
| C252 | 膵尾部                          | 5   |
| C253 | 膵管                           | 1   |
| C254 | 内分泌膵                         | 58  |
| C259 | 膵, 部位不明                      | 5   |
| C300 | 鼻腔                           | 1   |
| C310 | 上顎洞                          | 1   |
| C311 | 篩骨洞                          | 2   |
| C320 | 声門                           | 5   |
| C329 | 喉頭, 部位不明                     | 2   |
| C340 | 主気管支                         | 4   |
| C341 | 上葉, 気管支又は肺                   | 128 |
| C342 | 中葉, 気管支又は肺                   | 8   |
| C343 | 下葉, 気管支又は肺                   | 73  |
| C349 | 気管支又は肺, 部位不明                 | 21  |
| C37  | 胸腺の悪性新生物<腫瘍>                 | 4   |
| C383 | 縦隔, 部位不明                     | 1   |

| コード  | 名称                                | 件数  |
|------|-----------------------------------|-----|
| C449 | 皮膚の悪性新生物<腫瘍>, 部位不明                | 1   |
| C450 | 胸膜中皮腫                             | 2   |
| C480 | 後腹膜                               | 1   |
| C481 | 腹膜の明示された部位                        | 1   |
| C482 | 腹膜, 部位不明                          | 14  |
| C499 | 結合組織及び軟部組織, 部位不明                  | 3   |
| C500 | 乳頭部及び乳輪                           | 2   |
| C501 | 乳房中央部                             | 3   |
| C502 | 乳房上内側4分の1                         | 18  |
| C503 | 乳房下内側4分の1                         | 9   |
| C504 | 乳房上外側4分の1                         | 25  |
| C505 | 乳房下外側4分の1                         | 12  |
| C509 | 乳房, 部位不明                          | 10  |
| C530 | 子宮頸内膜<endocervix>                 | 3   |
| C531 | 子宮頸外部<exocervix>                  | 3   |
| C539 | 子宮頸(部), 部位不明                      | 47  |
| C541 | 子宮内膜                              | 26  |
| C542 | 子宮筋層                              | 2   |
| C56  | 卵巣の悪性新生物<腫瘍>                      | 42  |
| C570 | 卵管                                | 11  |
| C61  | 前立腺の悪性新生物<腫瘍>                     | 251 |
| C629 | 精巣<睾丸>, 部位不明                      | 1   |
| C64  | 腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>                  | 25  |
| C65  | 腎盂の悪性新生物<腫瘍>                      | 15  |
| C66  | 尿管の悪性新生物<腫瘍>                      | 11  |
| C670 | 膀胱三角                              | 1   |
| C671 | 膀胱円蓋                              | 3   |
| C672 | 膀胱側壁                              | 8   |
| C673 | 膀胱前壁                              | 1   |
| C674 | 膀胱後壁                              | 4   |
| C676 | 尿管口                               | 5   |
| C679 | 膀胱, 部位不明                          | 48  |
| C680 | 尿道                                | 1   |
| C700 | 脳髄膜                               | 2   |
| C719 | 脳, 部位不明                           | 2   |
| C73  | 甲状腺の悪性新生物<腫瘍>                     | 13  |
| C770 | 頭部, 顔面及び頸部リンパ節                    | 2   |
| C771 | 胸腔内リンパ節                           | 2   |
| C773 | 腋窩及び上肢リンパ節                        | 1   |
| C780 | 肺の続発性悪性新生物<腫瘍>                    | 6   |
| C782 | 胸膜の続発性悪性新生物<腫瘍>                   | 7   |
| C786 | 後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物<腫瘍>              | 3   |
| C787 | 肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物<腫瘍>              | 11  |
| C792 | 皮膚の続発性悪性新生物<腫瘍>                   | 1   |
| C793 | 脳及び脳髄膜の続発性悪性新生物<腫瘍>               | 4   |
| C795 | 骨及び骨髄の続発性悪性新生物<腫瘍>                | 5   |
| C796 | 卵巣の続発性悪性新生物<腫瘍>                   | 2   |
| C800 | 悪性新生物<腫瘍>, 原発部位不明と記載されたもの         | 12  |
| C809 | 悪性新生物<腫瘍>, 原発部位詳細不明               | 4   |
| C810 | 結節性リンパ球優勢型ホジキン<Hodgkin>リンパ腫       | 7   |
| C812 | 混合細胞型(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫       | 7   |
| C817 | その他の(古典的)ホジキン<Hodgkin>リンパ腫        | 7   |
| C819 | ホジキン<Hodgkin>リンパ腫, 詳細不明           | 5   |
| C820 | ろく濾>胞性リンパ腫グレードI                   | 2   |
| C821 | ろく濾>胞性リンパ腫グレードII                  | 30  |
| C823 | ろく濾>胞性リンパ腫グレードⅢa                  | 23  |
| C824 | ろく濾>胞性リンパ腫グレードⅢb                  | 6   |
| C829 | ろく濾>胞性リンパ腫, 詳細不明                  | 19  |
| C830 | 小細胞型B細胞性リンパ腫                      | 31  |
| C831 | マントル細胞リンパ腫                        | 4   |
| C833 | びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫                  | 163 |
| C838 | その他の非ろく濾>胞性リンパ腫                   | 10  |
| C844 | 末梢性T細胞リンパ腫, 他に分類されないもの            | 10  |
| C845 | その他の成熟T/NK細胞リンパ腫                  | 1   |
| C851 | B細胞性リンパ腫, 詳細不明                    | 6   |
| C859 | 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫, 詳細不明      | 35  |
| C865 | 血管免疫芽球性T細胞リンパ腫                    | 9   |
| C880 | ワルデンシュトレーム<Waldenstr?m>マクログロブリン血症 | 1   |
| C884 | 節外性粘膜関連リンパ組織辺縁帯B細胞性リンパ腫           | 19  |
| C900 | 多発性骨髄腫                            | 58  |
| C903 | 孤立性形質細胞腫                          | 1   |
| C910 | 急性リンパ芽球性白血病[ALL]                  | 5   |
| C915 | 成人T細胞リンパ腫/白血病[HTLV-1関連]           | 14  |
| C920 | 急性骨髄芽球性白血病[AML]                   | 75  |
| C921 | 慢性骨髄性白血病[CML], BCR/ABL陽性          | 9   |
| C924 | 急性前骨髄球性白血病[PML]                   | 10  |
| C928 | 多系統異形成を伴う急性骨髄性白血病                 | 6   |

ICD10コード別・病名数  
(2022/04/01-2023/03/31)

| コード  | 名称                                         | 件数 |
|------|--------------------------------------------|----|
| C442 | 耳及び外耳道の皮膚                                  | 2  |
| C443 | その他及び部位不明の顔面の皮膚                            | 1  |
| D103 | その他及び部位不明の口腔                               | 1  |
| D105 | 中咽頭のその他の部位                                 | 1  |
| D107 | 下咽頭                                        | 1  |
| D110 | 耳下腺                                        | 10 |
| D117 | その他の大唾液腺                                   | 1  |
| D125 | S状結腸                                       | 1  |
| D130 | 食道                                         | 7  |
| D131 | 胃                                          | 4  |
| D132 | 十二指腸                                       | 4  |
| D135 | 肝外胆管                                       | 1  |
| D136 | 膵                                          | 1  |
| D140 | 中耳、鼻腔及び副鼻腔                                 | 1  |
| D142 | 気管                                         | 1  |
| D143 | 気管支及び肺                                     | 3  |
| D150 | 胸腺                                         | 5  |
| D152 | 縦隔                                         | 1  |
| D160 | 肩甲骨及び上肢の長骨                                 | 1  |
| D161 | 上肢の短骨                                      | 1  |
| D169 | 骨及び関節軟骨、部位不明                               | 1  |
| D170 | 頭部、顔面及び頸部の皮膚及び皮下組織                         | 1  |
| D171 | 体幹の皮膚及び皮下組織                                | 3  |
| D172 | (四)肢の皮膚及び皮下組織                              | 3  |
| D174 | 胸腔内臓器                                      | 1  |
| D175 | 腹腔内臓器                                      | 4  |
| D179 | 良性脂肪腫性新生物<腫瘍>、部位不明                         | 1  |
| D180 | 血管腫、全ての部位                                  | 3  |
| D181 | リンパ管腫、全ての部位                                | 1  |
| D211 | 上肢の結合組織及びその他の軟部組織、肩を含む                     | 3  |
| D237 | 下肢の皮膚、股関節部を含む                              | 1  |
| D239 | 皮膚、部位不明                                    | 1  |
| D24  | 乳房の良性新生物<腫瘍>                               | 1  |
| D250 | 粘膜下子宮平滑筋腫                                  | 27 |
| D251 | 壁内子宮平滑筋腫                                   | 28 |
| D252 | 漿膜下子宮平滑筋腫                                  | 6  |
| D27  | 卵巣の良性新生物<腫瘍>                               | 38 |
| D333 | 脳神経                                        | 1  |
| D34  | 甲状腺の良性新生物<腫瘍>                              | 2  |
| D350 | 副腎                                         | 3  |
| D351 | 上皮小体<副甲状腺>                                 | 1  |
| D352 | 下垂体                                        | 4  |
| D361 | 末梢神経及び自律神経系                                | 5  |
| D370 | 口唇、口腔及び咽頭                                  | 6  |
| D371 | 胃                                          | 12 |
| D372 | 小腸                                         | 5  |
| D374 | 結腸                                         | 5  |
| D375 | 直腸                                         | 1  |
| D376 | 肝、胆のう<嚢>及び胆管                               | 2  |
| D377 | その他の消化器                                    | 29 |
| D380 | 喉頭                                         | 7  |
| D381 | 気管、気管支及び肺                                  | 10 |
| D382 | 胸膜                                         | 1  |
| D383 | 縦隔                                         | 1  |
| D385 | その他の呼吸器                                    | 1  |
| D390 | 子宮                                         | 1  |
| D391 | 卵巣                                         | 5  |
| D414 | 膀胱                                         | 1  |
| D432 | 脳、部位不明                                     | 3  |
| D433 | 脳神経                                        | 1  |
| D441 | 副腎                                         | 4  |
| D443 | 下垂体                                        | 2  |
| D448 | 複数の内分泌腺                                    | 2  |
| D461 | 環状鉄芽球を伴う不応性貧血                              | 13 |
| D462 | 芽球過剰性不応性貧血                                 | 39 |
| D469 | 骨髄異形成症候群、詳細不明                              | 36 |
| D471 | 慢性骨髄増殖性疾患                                  | 1  |
| D473 | 本態性(出血性)血小板血症                              | 1  |
| D474 | 骨髄線維症                                      | 1  |
| D477 | リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の明示された新生物<腫瘍> | 5  |
| D480 | 骨及び関節軟骨                                    | 1  |
| D481 | 結合組織及びその他の軟部組織                             | 1  |
| D485 | 皮膚                                         | 1  |
| D486 | 乳房                                         | 2  |
| D487 | その他の明示された部位                                | 2  |
| D489 | 性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、部位不明                      | 1  |
| D500 | 失血による鉄欠乏性貧血(慢性)                            | 1  |

| コード  | 名称                           | 件数 |
|------|------------------------------|----|
| C940 | 急性赤白血病                       | 2  |
| D069 | 子宮頸(部)、部位不明                  | 6  |
| D595 | 発作性夜間ヘモグロビン<血色素>尿症[マルキアフ]    | 2  |
| D599 | 後天性溶血性貧血、詳細不明                | 1  |
| D619 | 無形成性貧血、詳細不明                  | 12 |
| D649 | 貧血、詳細不明                      | 8  |
| D65  | 播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]         | 1  |
| D690 | アレルギー性紫斑病                    | 3  |
| D693 | 特発性血小板減少性紫斑病                 | 11 |
| D70  | 無顆粒球症                        | 7  |
| D721 | 好酸球増加症                       | 1  |
| D751 | 続発性<二次性>赤血球増加症<多血症>          | 1  |
| D763 | その他の組織球症候群                   | 2  |
| D841 | 補体系の欠乏症                      | 12 |
| D860 | 肺サルコイドーシス                    | 2  |
| D868 | その他及び複合部位のサルコイドーシス           | 1  |
| D869 | サルコイドーシス、詳細不明                | 1  |
| E049 | 非中毒性甲状腺腫、詳細不明                | 1  |
| E059 | 甲状腺中毒症、詳細不明                  | 1  |
| E063 | 自己免疫性甲状腺炎                    | 1  |
| E100 | 1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>、昏睡を伴   | 4  |
| E101 | 1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>、ケトアシ   | 6  |
| E102 | 1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>、腎合併症   | 2  |
| E104 | 1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>、神経(学   | 1  |
| E105 | 1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>、末梢循環   | 1  |
| E107 | 1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>、多発合併   | 6  |
| E109 | 1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>、合併症を   | 5  |
| E110 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、昏睡   | 2  |
| E111 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、ケト   | 13 |
| E112 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、腎合   | 20 |
| E113 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、眼合   | 9  |
| E114 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、神経   | 33 |
| E115 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、末梢   | 4  |
| E116 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、その   | 6  |
| E117 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、多発   | 90 |
| E119 | 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>、合併   | 60 |
| E131 | その他の明示された糖尿病、ケトアシドーシスを伴うも    | 1  |
| E134 | その他の明示された糖尿病、神経(学的)合併症を伴     | 1  |
| E145 | 詳細不明の糖尿病、末梢循環合併症を伴うもの        | 1  |
| E15  | 非糖尿病性低血糖性昏睡                  | 1  |
| E162 | 低血糖症、詳細不明                    | 2  |
| E213 | 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症、詳細不明         | 1  |
| E220 | 末端肥大症<先端巨大症>及び下垂体性巨人症        | 2  |
| E230 | 下垂体機能低下症                     | 4  |
| E232 | 尿崩症                          | 2  |
| E236 | その他の下垂体障害                    | 1  |
| E240 | 下垂体依存性クッシング<Cushing>病        | 2  |
| E260 | 原発性アルドステロン症                  | 15 |
| E270 | その他の副腎皮質機能亢進症                | 1  |
| E272 | アジソン<Addison><クリーゼ>発症        | 1  |
| E274 | その他及び詳細不明の副腎皮質機能不全(症)        | 3  |
| E328 | その他の胸腺の疾患                    | 2  |
| E669 | 肥満(症)、詳細不明                   | 5  |
| E835 | カルシウム代謝障害                    | 4  |
| E850 | 非ニューロパチ<シ>一性遺伝性家族性アミロイドー     | 1  |
| E854 | 臓器<器官>限局性アミロイドーシス<アミロイド症>    | 3  |
| E858 | その他のアミロイドーシス<アミロイド症>         | 4  |
| E86  | 体液量減少(症)                     | 6  |
| E870 | 高浸透圧及び高ナトリウム血症               | 1  |
| E871 | 低浸透圧及び低ナトリウム血症               | 11 |
| E875 | 高カリウム<K>血症                   | 3  |
| E876 | 低カリウム<K>血症                   | 11 |
| E878 | その他の電解質及び体液障害、他に分類されないもの     | 2  |
| E888 | その他の明示された代謝障害                | 1  |
| F100 | アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害      | 1  |
| F104 | アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害      | 1  |
| F453 | 身体表現性自律神経機能不全                | 1  |
| G039 | 髄膜炎、詳細不明                     | 1  |
| G049 | 脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎、詳細不明            | 5  |
| G10  | ハンチントン<Huntington>病          | 1  |
| G112 | 晩発性小脳性運動失調(症)                | 1  |
| G119 | 遺伝性運動失調(症)、詳細不明              | 1  |
| G122 | 運動ニューロン疾患                    | 32 |
| G128 | その他の脊髄性筋萎縮症及び関連症候群           | 2  |
| G20  | パーキンソン<Parkinson>病           | 50 |
| G211 | その他の薬物誘発性続発性パーキンソン<Parkinson | 1  |
| G231 | 進行性核上性眼筋麻痺[スティール・リチャードソン・オ   | 1  |

ICD10コード別・病名数  
(2022/04/01-2023/03/31)

| コード  | 名称                                   | 件数  |
|------|--------------------------------------|-----|
| D508 | その他の鉄欠乏性貧血                           | 3   |
| D509 | 鉄欠乏性貧血, 詳細不明                         | 6   |
| D539 | 栄養性貧血, 詳細不明                          | 1   |
| D591 | その他の自己免疫性溶血性貧血                       | 4   |
| G309 | アルツハイマー<Alzheimer>病, 詳細不明            | 4   |
| G310 | 限局性脳萎縮(症)                            | 1   |
| G312 | アルコールによる神経系の変性                       | 1   |
| G318 | 神経系のその他の明示された変性疾患                    | 1   |
| G319 | 神経系の変性疾患, 詳細不明                       | 8   |
| G35  | 多発性硬化症                               | 5   |
| G360 | 視神経脊髄炎[デビック<Devic>病]                 | 2   |
| G402 | 複雑部分発作を伴う(巣状)(部分)症候性てんかん及びてんかん(性)症候群 | 2   |
| G407 | 小発作, 詳細不明, 大発作を伴わないもの                | 4   |
| G408 | その他のてんかん                             | 8   |
| G409 | てんかん, 詳細不明                           | 8   |
| G419 | てんかん重積(状態), 詳細不明                     | 2   |
| G450 | 椎骨脳底動脈症候群                            | 4   |
| G451 | 頸動脈症候群(半球性)                          | 7   |
| G459 | 一過性脳虚血発作, 詳細不明                       | 1   |
| G471 | 過度の傾眠[過眠症]                           | 2   |
| G472 | 睡眠・覚醒スケジュール障害                        | 1   |
| G473 | 睡眠時無呼吸                               | 73  |
| G474 | ナルコレプシー及びカタプレキシー                     | 28  |
| G478 | その他の睡眠障害                             | 11  |
| G510 | ベル<Bell>麻痺                           | 5   |
| G523 | 舌下神経障害                               | 1   |
| G540 | 腕神経そうく叢>障害                           | 4   |
| G545 | 神経痛性筋萎縮症                             | 1   |
| G560 | 手根管症候群                               | 4   |
| G562 | 尺骨神経の病変                              | 12  |
| G610 | ギラン・バレー<Guillain-Barré>症候群           | 4   |
| G618 | その他の炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>ー               | 6   |
| G629 | 多発(性)ニューロパチ<シ>ー, 詳細不明                | 13  |
| G700 | 重症筋無力症                               | 7   |
| G711 | 筋強直性障害                               | 1   |
| G724 | 炎症性ミオパチ<シ>ー, 他に分類されないもの              | 1   |
| G903 | 多系統変性(症)                             | 3   |
| G908 | 自律神経系のその他の障害                         | 4   |
| G912 | 正常圧水頭症                               | 9   |
| G919 | 水頭症, 詳細不明                            | 2   |
| G934 | 脳症<エンセファロパチ<シ>ー>, 詳細不明               | 1   |
| G938 | 脳のその他の明示された障害                        | 1   |
| H024 | 眼瞼下垂                                 | 3   |
| H250 | 老人性初発白内障                             | 207 |
| H251 | 老人性核白内障                              | 4   |
| H260 | 乳児, 若年及び初老期白内障                       | 19  |
| H330 | 網膜剥離, 網膜裂孔を伴うもの                      | 1   |
| H353 | 黄斑及び後極の変性                            | 4   |
| H401 | 原発開放隅角緑内障                            | 6   |
| H431 | 硝子体出血                                | 3   |
| H438 | 硝子体のその他の障害                           | 1   |
| H440 | 化膿性眼内炎                               | 1   |
| H46  | 視神経炎                                 | 1   |
| H470 | 視神経の障害, 他に分類されないもの                   | 1   |
| H490 | 第3脳神経[動眼神経]麻痺                        | 5   |
| H493 | 全(外)眼筋麻痺                             | 1   |
| H604 | 外耳道真珠腫(症)                            | 9   |
| H609 | 外耳炎, 詳細不明                            | 1   |
| H659 | 非化膿性中耳炎, 詳細不明                        | 3   |
| H663 | その他の慢性化膿性中耳炎                         | 47  |
| H71  | 中耳真珠腫                                | 76  |
| H729 | 鼓膜穿孔, 詳細不明                           | 1   |
| H740 | 鼓室硬化症                                | 2   |
| H741 | 癒着性中耳疾患                              | 2   |
| H809 | 耳硬化症, 詳細不明                           | 7   |
| H810 | メニエール<M?ni?re>病                      | 2   |
| H811 | 良性発作性めまい<眩暈(症)>                      | 9   |
| H812 | 前庭神経炎                                | 2   |
| H813 | その他の末梢性めまい<眩暈(症)>                    | 12  |
| H814 | 中枢性めまい<眩暈(症)>                        | 2   |
| H819 | 前庭機能障害, 詳細不明                         | 3   |
| H831 | 迷路癰(孔)                               | 4   |
| H903 | 両側性感音難聴                              | 4   |
| H905 | 感音難聴, 詳細不明                           | 2   |
| H907 | 片側性混合難聴, 反対側の聴力障害を伴わないもの             | 4   |
| H908 | 混合難聴, 詳細不明                           | 1   |
| H912 | 突発性難聴(特発性)                           | 9   |

| コード  | 名称                          | 件数  |
|------|-----------------------------|-----|
| G238 | 基底核のその他の明示された変性疾患           | 2   |
| G253 | ミオクローヌス                     | 1   |
| G258 | その他の明示された錐体外路障害及び異常運動       | 4   |
| G301 | 晩発性のアルツハイマー<Alzheimer>病     | 1   |
| I10  | 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)         | 4   |
| I200 | 不安定狭心症                      | 47  |
| I201 | 記録されたれんく攣>縮を伴う狭心症           | 16  |
| I208 | その他の型の狭心症                   | 168 |
| I209 | 狭心症, 詳細不明                   | 40  |
| I210 | 前壁の急性貫壁性心筋梗塞                | 4   |
| I211 | 下壁の急性貫壁性心筋梗塞                | 3   |
| I219 | 急性心筋梗塞, 詳細不明                | 18  |
| I249 | 急性虚血性心疾患, 詳細不明              | 3   |
| I251 | アテローム<じゅくく粥>状>硬化性心疾患        | 8   |
| I252 | 陳旧性心筋梗塞                     | 13  |
| I253 | 心室瘤                         | 1   |
| I255 | 虚血性心筋症                      | 5   |
| I256 | 無痛性<無症候性>心筋虚血               | 110 |
| I259 | 慢性虚血性心疾患, 詳細不明              | 1   |
| I269 | 急性肺性心の記載のない肺塞栓症             | 6   |
| I270 | 原発性肺高血圧(症)                  | 2   |
| I309 | 急性心膜炎, 詳細不明                 | 2   |
| I311 | 慢性収縮性心膜炎                    | 7   |
| I319 | 心膜の疾患, 詳細不明                 | 6   |
| I330 | 急性及び亜急性感染性心内膜炎              | 2   |
| I340 | 僧帽弁閉鎖不全(症)                  | 9   |
| I350 | 大動脈弁狭窄(症)                   | 17  |
| I351 | 大動脈弁閉鎖不全(症)                 | 19  |
| I422 | その他の肥大型心筋症                  | 5   |
| I440 | 房室ブロック, 第1度                 | 1   |
| I441 | 房室ブロック, 第2度                 | 2   |
| I442 | 房室ブロック, 完全                  | 9   |
| I447 | 左脚ブロック, 詳細不明                | 1   |
| I460 | 蘇生に成功した心停止                  | 1   |
| I469 | 心停止, 詳細不明                   | 1   |
| I471 | 上室(性)頻拍(症)                  | 11  |
| I472 | 心室(性)頻拍(症)                  | 1   |
| I480 | 発作性心房細動                     | 26  |
| I481 | 持続性心房細動                     | 39  |
| I482 | 慢性心房細動                      | 2   |
| I489 | 心房細動及び心房粗動, 詳細不明            | 15  |
| I493 | 心室性早期脱分極                    | 10  |
| I495 | 洞不全症候群                      | 6   |
| I500 | うっ血性心不全                     | 73  |
| I509 | 心不全, 詳細不明                   | 29  |
| I518 | その他の診断名不明確な心疾患              | 3   |
| I600 | 頸動脈サイフォン及び頸動脈分岐部からのくも膜下出血   | 1   |
| I601 | 中大脳動脈からのくも膜下出血              | 2   |
| I602 | 前交通動脈からのくも膜下出血              | 3   |
| I606 | その他の頭蓋内動脈からのくも膜下出血          | 1   |
| I608 | その他のくも膜下出血                  | 1   |
| I609 | くも膜下出血, 詳細不明                | 4   |
| I610 | (大脳)半球の脳内出血, 皮質下            | 35  |
| I611 | (大脳)半球の脳内出血, 皮質             | 1   |
| I613 | 脳幹の脳内出血                     | 4   |
| I614 | 小脳の脳内出血                     | 8   |
| I615 | 脳内出血, 脳室内                   | 2   |
| I619 | 脳内出血, 詳細不明                  | 3   |
| I620 | 硬膜下出血(急性)(非外傷性)             | 6   |
| I633 | 脳動脈の血栓症による脳梗塞               | 68  |
| I634 | 脳動脈の血栓症による脳梗塞               | 19  |
| I635 | 脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞       | 3   |
| I638 | その他の脳梗塞                     | 36  |
| I639 | 脳梗塞, 詳細不明                   | 13  |
| I650 | 椎骨動脈の閉塞及び狭窄                 | 2   |
| I652 | 頸動脈の閉塞及び狭窄                  | 17  |
| I660 | 中大脳動脈の閉塞及び狭窄                | 2   |
| I670 | 脳動脈壁の解離, 非<未>破裂性            | 3   |
| I671 | 脳動脈瘤, 非<未>破裂性               | 13  |
| I674 | 高血圧性脳症                      | 1   |
| I675 | もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>           | 3   |
| I678 | その他の明示された脳血管疾患              | 3   |
| I691 | 脳内出血の続発・後遺症                 | 1   |
| I693 | 脳梗塞の続発・後遺症                  | 2   |
| I702 | (四)肢の動脈のアテローム<じゅくく粥>状>硬化(症) | 72  |
| I710 | 大動脈の解離[各部位]                 | 8   |
| I711 | 胸部大動脈瘤, 破裂性                 | 1   |



ICD10コード別・病名数  
(2022/04/01-2023/03/31)

| コード  | 名称                                        | 件数 |
|------|-------------------------------------------|----|
| I050 | 僧帽弁狭窄(症)                                  | 4  |
| I052 | 閉鎖不全(症)を伴う僧帽弁狭窄(症)                        | 1  |
| I071 | 三尖弁閉鎖不全(症)                                | 3  |
| I080 | 僧帽弁及び大動脈弁の合併障害                            | 4  |
| I081 | 僧帽弁及び三尖弁の合併障害                             | 2  |
| I083 | 僧帽弁, 大動脈弁及び三尖弁の合併障害                       | 1  |
| I724 | 下肢の動脈瘤及び解離                                | 1  |
| I726 | 椎骨動脈の動脈瘤及び解離                              | 8  |
| I728 | その他の明示された動脈の動脈瘤及び解離                       | 4  |
| I729 | 部位不明の動脈瘤及び解離                              | 2  |
| I742 | 上肢の動脈の塞栓症及び血栓症                            | 2  |
| I743 | 下肢の動脈の塞栓症及び血栓症                            | 4  |
| I748 | その他の動脈の塞栓症及び血栓症                           | 1  |
| I749 | 詳細不明の動脈の塞栓症及び血栓症                          | 1  |
| I770 | 動静脈瘤, 後天性                                 | 1  |
| I771 | 動脈の狭窄                                     | 2  |
| I802 | 下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎                 | 4  |
| I81  | 門脈血栓症                                     | 4  |
| I839 | 潰瘍又は炎症を伴わない下肢の静脈瘤                         | 9  |
| I859 | 出血を伴わない食道静脈瘤                              | 6  |
| I890 | リンパ浮腫, 他に分類されないもの                         | 2  |
| I891 | リンパ管炎                                     | 1  |
| I951 | 起立性低血圧(症)                                 | 4  |
| J030 | 連鎖球菌による扁桃炎                                | 1  |
| J039 | 急性扁桃炎, 詳細不明                               | 1  |
| J060 | 急性喉頭咽頭炎                                   | 1  |
| J111 | その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの | 1  |
| J151 | 緑膿菌による肺炎                                  | 4  |
| J159 | 細菌性肺炎, 詳細不明                               | 42 |
| J180 | 気管支肺炎, 詳細不明                               | 2  |
| J189 | 肺炎, 詳細不明                                  | 31 |
| J304 | アレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>, 詳細不明                    | 2  |
| J320 | 慢性上顎洞炎                                    | 1  |
| J323 | 慢性蝶形骨洞炎                                   | 1  |
| J324 | 慢性汎副鼻腔炎                                   | 13 |
| J328 | その他の慢性副鼻腔炎                                | 15 |
| J341 | 鼻及び副鼻腔の, のう<嚢>胞及び粘液のう<嚢>胞<腫>              | 2  |
| J342 | 鼻中隔彎曲症                                    | 23 |
| J350 | 慢性扁桃炎                                     | 13 |
| J36  | 扁桃周囲膿瘍                                    | 11 |
| J383 | 声帯のその他の疾患                                 | 1  |
| J384 | 喉頭浮腫                                      | 2  |
| J387 | 喉頭のその他の疾患                                 | 3  |
| J42  | 詳細不明の慢性気管支炎                               | 1  |
| J441 | 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患, 詳細不明                     | 3  |
| J448 | その他の明示された慢性閉塞性肺疾患                         | 1  |
| J449 | 慢性閉塞性肺疾患, 詳細不明                            | 1  |
| J459 | 喘息, 詳細不明                                  | 3  |
| J46  | 喘息発作重積状態                                  | 9  |
| J47  | 気管支拡張症                                    | 1  |
| J679 | 詳細不明の有機粉じん<塵>による過敏性肺臓炎                    | 1  |
| J680 | 化学物質, ガス, フューム及び蒸気による気管支炎及び肺臓炎            | 1  |
| J690 | 食物及び吐物による肺臓炎                              | 55 |
| J704 | 薬物誘発性間質性肺障害, 詳細不明                         | 1  |
| J80  | 成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>                        | 1  |
| J81  | 肺水腫                                       | 1  |
| J841 | 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患                         | 35 |
| J849 | 間質性肺疾患, 詳細不明                              | 7  |
| J852 | 肺炎を伴わない肺膿瘍                                | 4  |
| J869 | 瘻(孔)を伴わない膿胸(症)                            | 4  |
| J90  | 胸水, 他に分類されないもの                            | 8  |
| J931 | その他の自然気胸                                  | 14 |
| J938 | その他の気胸                                    | 1  |
| J939 | 気胸, 詳細不明                                  | 1  |
| J942 | 血胸                                        | 3  |
| J969 | 呼吸不全, 詳細不明                                | 2  |
| J980 | 気管支の疾患, 他に分類されないもの                        | 1  |
| J981 | 肺虚脱                                       | 1  |
| J982 | 間質性気腫                                     | 1  |
| J984 | 肺のその他の障害                                  | 2  |
| J985 | 縦隔の疾患, 他に分類されないもの                         | 2  |
| K098 | その他の口腔部のう<嚢>胞, 他に分類されないもの                 | 1  |
| K115 | 唾石症                                       | 2  |
| K116 | 唾液腺粘液のう<嚢>胞<腫>                            | 2  |
| K210 | 食道炎を伴う胃食道逆流症                              | 1  |
| K222 | 食道閉塞                                      | 5  |
| K254 | 胃潰瘍, 慢性又は詳細不明, 出血を伴うもの                    | 5  |

| コード  | 名称                         | 件数  |
|------|----------------------------|-----|
| I712 | 胸部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの         | 8   |
| I714 | 腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの         | 15  |
| I716 | 胸腹部大動脈瘤, 破裂の記載がないもの        | 2   |
| I720 | 頸動脈瘤及び解離                   | 5   |
| I721 | 上肢の動脈瘤及び解離                 | 1   |
| I723 | 腸骨動脈瘤及び解離                  | 2   |
| K311 | 成人の肥厚性幽門狭窄                 | 1   |
| K315 | 十二指腸閉塞                     | 3   |
| K317 | 胃及び十二指腸のポリープ               | 16  |
| K318 | 胃及び十二指腸のその他の明示された疾患        | 3   |
| K353 | 限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎             | 9   |
| K358 | 急性虫垂炎, その他及び詳細不明           | 43  |
| K36  | その他の虫垂炎                    | 3   |
| K37  | 詳細不明の虫垂炎                   | 7   |
| K402 | 両側性そけい<鼠径>ヘルニア, 閉塞及びえ<壊>   | 5   |
| K403 | 一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア, 閉   | 9   |
| K409 | 一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア, 閉   | 58  |
| K413 | 一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア, 閉塞を   | 3   |
| K419 | 一側性又は患側不明の大腿<股>ヘルニア, 閉塞及   | 1   |
| K420 | 臍ヘルニア, 閉塞を伴い, え<壊>疝を伴わないもの | 1   |
| K429 | 臍ヘルニア, 閉塞及びえ<壊>疝を伴わないもの    | 3   |
| K432 | 癒痕ヘルニア, 閉塞及びえ<壊>疝を伴わないもの   | 10  |
| K439 | その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア, 閉塞及びえ<   | 1   |
| K458 | その他の明示された腹部ヘルニア, 閉塞及びえ<壊>  | 1   |
| K501 | 大腸のクローン<Crohn>病            | 1   |
| K508 | その他のクローン<Crohn>病           | 1   |
| K510 | 潰瘍性(慢性)全大腸炎                | 5   |
| K512 | 潰瘍性(慢性)直腸炎                 | 1   |
| K515 | 左側大腸炎                      | 2   |
| K519 | 潰瘍性大腸炎, 詳細不明               | 3   |
| K521 | 中毒性胃腸炎及び大腸炎                | 1   |
| K529 | 非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎, 詳細不明     | 3   |
| K550 | 腸の急性血行障害                   | 28  |
| K559 | 腸の血行障害, 詳細不明               | 1   |
| K561 | 腸重積症                       | 1   |
| K562 | 軸捻(転)                      | 11  |
| K565 | 閉塞を伴う腸癒着[索条物]              | 31  |
| K566 | その他及び詳細不明の腸閉塞              | 6   |
| K567 | イレウス, 詳細不明                 | 14  |
| K572 | 穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患          | 4   |
| K573 | 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患        | 50  |
| K580 | 下痢を伴う過敏性腸症候群               | 1   |
| K589 | 下痢を伴わない過敏性腸症候群             | 1   |
| K590 | 便秘                         | 3   |
| K603 | 痔瘻                         | 7   |
| K610 | 肛門膿瘍                       | 2   |
| K621 | 直腸ポリープ                     | 14  |
| K625 | 肛門及び直腸の出血                  | 1   |
| K628 | 肛門及び直腸のその他の明示された疾患         | 2   |
| K631 | 腸穿孔(非外傷性)                  | 5   |
| K633 | 腸潰瘍                        | 1   |
| K635 | 大腸<結腸>のポリープ                | 396 |
| K642 | 第3度痔核                      | 1   |
| K649 | 痔核, 詳細不明                   | 6   |
| K650 | 急性腹膜炎                      | 5   |
| K658 | その他の腹膜炎                    | 1   |
| K661 | 腹腔内出血                      | 1   |
| K701 | アルコール性肝炎                   | 2   |
| K703 | アルコール性肝硬変                  | 3   |
| K709 | アルコール性肝疾患, 詳細不明            | 1   |
| K719 | 中毒性肝疾患, 詳細不明               | 1   |
| K720 | 急性及び亜急性肝不全                 | 3   |
| K729 | 肝不全, 詳細不明                  | 6   |
| K739 | 慢性肝炎, 詳細不明                 | 1   |
| K743 | 原発性胆汁性肝硬変                  | 1   |
| K746 | その他及び詳細不明の肝硬変              | 7   |
| K750 | 肝膿瘍                        | 3   |
| K766 | 門脈圧亢進(症)                   | 2   |
| K768 | その他の明示された肝疾患               | 2   |
| K769 | 肝疾患, 詳細不明                  | 8   |
| K800 | 急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石       | 1   |
| K801 | その他の胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石     | 1   |
| K802 | 胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石       | 40  |
| K803 | 胆管炎を伴う胆管結石                 | 10  |
| K805 | 胆管炎及び胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石      | 28  |
| K810 | 急性胆のう<嚢>炎                  | 40  |
| K819 | 胆のう<嚢>炎, 詳細不明              | 1   |

ICD10コード別・病名数  
(2022/04/01-2023/03/31)

| コード  | 名称                                              | 件数 |
|------|-------------------------------------------------|----|
| K255 | 胃潰瘍、慢性又は詳細不明、穿孔を伴うもの                            | 3  |
| K259 | 胃潰瘍、急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの                    | 2  |
| K264 | 十二指腸潰瘍、慢性又は詳細不明、出血を伴うもの                         | 1  |
| K265 | 十二指腸潰瘍、慢性又は詳細不明、穿孔を伴うもの                         | 2  |
| K269 | 十二指腸潰瘍、急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの                 | 7  |
| K289 | 胃空腸潰瘍、急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの                  | 1  |
| K293 | 慢性表層性胃炎                                         | 1  |
| K298 | 十二指腸炎                                           | 1  |
| K861 | その他の慢性膵炎                                        | 1  |
| K862 | 膵のうく囊>胞                                         | 2  |
| K913 | 術後腸閉塞                                           | 3  |
| K918 | 消化器系のその他の処置後障害、他に分類されないもの                       | 1  |
| K920 | 吐血                                              | 1  |
| K922 | 胃腸出血、詳細不明                                       | 31 |
| L031 | (四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>                           | 17 |
| L039 | 蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明                                  | 1  |
| L059 | 膿瘍を伴わない毛巣のうく囊>胞                                 | 1  |
| L080 | 膿皮症                                             | 3  |
| L600 | かंक>嵌>入爪(甲)                                     | 2  |
| L609 | 爪の障害、詳細不明                                       | 1  |
| L720 | 表皮のうく囊>胞                                        | 4  |
| L893 | ステージIVじょく>褥>瘡性潰瘍                                | 1  |
| L905 | 皮膚の癒痕状態及び線維症                                    | 4  |
| L910 | 肥厚性癒痕                                           | 3  |
| L97  | 下肢の潰瘍、他に分類されないもの                                | 5  |
| L984 | 皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの                              | 6  |
| M009 | 化膿性関節炎、詳細不明                                     | 7  |
| M060 | 血清反応陰性関節リウマチ                                    | 1  |
| M061 | 成人発症スチル<Still>病                                 | 4  |
| M069 | 関節リウマチ、詳細不明                                     | 8  |
| M112 | その他の軟骨石灰化症                                      | 3  |
| M131 | 単(発性)関節炎、他に分類されないもの                             | 2  |
| M151 | ヘバーデン<Heberden>結節(関節障害を伴うもの)                    | 1  |
| M152 | ブシャール<Bouchard>結節(関節障害を伴うもの)                    | 3  |
| M160 | 原発性股関節症、両側性                                     | 8  |
| M161 | その他の原発性股関節症                                     | 11 |
| M169 | 股関節症、詳細不明                                       | 2  |
| M170 | 原発性膝関節症、両側性                                     | 25 |
| M171 | その他の原発性膝関節症                                     | 7  |
| M174 | その他の続発性膝関節症、両側性                                 | 1  |
| M181 | 第1手根中手関節のその他の原発性関節症                             | 1  |
| M189 | 第1手根中手関節の関節症、詳細不明                               | 3  |
| M190 | その他の関節の原発性関節症                                   | 4  |
| M191 | その他の関節の外傷後関節症                                   | 1  |
| M199 | 関節症、詳細不明                                        | 5  |
| M200 | 指の変形                                            | 2  |
| M240 | 関節内遊離体                                          | 1  |
| M244 | 関節の反復性脱臼及び亜脱臼                                   | 3  |
| M245 | 関節拘縮                                            | 9  |
| M248 | その他の明示された関節内障、他に分類されないもの                        | 1  |
| M300 | 結節性多発(性)動脈炎                                     | 7  |
| M301 | 肺の併発症を伴う多発(性)動脈炎[チャウグ・シュトラウス<Churg-Strauss>症候群] | 4  |
| M311 | 血栓性微小血管障害                                       | 2  |
| M313 | ウェゲ<ジ>ナー<Wegener>肉芽腫                            | 12 |
| M316 | その他の巨細胞(性)動脈炎                                   | 1  |
| M317 | 顕微鏡的多発(性)血管炎                                    | 10 |
| M318 | その他の明示されたえく壊>死性血管障害                             | 6  |
| M331 | その他の皮膚筋炎                                        | 1  |
| M332 | 多発性筋炎                                           | 3  |
| M340 | 全身性進行性硬化症                                       | 7  |
| M349 | 全身性硬化症、詳細不明                                     | 1  |
| M350 | 乾燥症候群[シェーグレン<Si?gren>症候群]                       | 1  |
| M351 | その他の重複症候群                                       | 3  |
| M353 | リウマチ性多発筋痛症                                      | 6  |
| M358 | その他の明示された全身性結合組織疾患                              | 1  |
| M359 | 全身性結合組織疾患、詳細不明                                  | 7  |
| M418 | その他の型の(脊柱)側弯(症)                                 | 1  |
| M419 | (脊柱)側弯(症)、詳細不明                                  | 1  |
| M431 | 脊椎すべり症                                          | 5  |
| M463 | 椎間板の感染症(化膿性)                                    | 1  |
| M465 | その他の感染性脊椎障害                                     | 1  |
| M471 | ミエロパチ<シ>ー<脊髄障害>を伴うその他の脊椎症                       | 11 |
| M478 | その他の脊椎症                                         | 1  |
| M480 | 脊柱管狭窄(症)                                        | 32 |
| M500 | 頸部椎間板障害、ミエロパチ<シ>ー<脊髄障害>を伴うもの(G99.2*)            | 1  |
| M502 | その他の頸部椎間板ヘルニア<変位>                               | 3  |
| M512 | その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>                            | 13 |

| コード  | 名称                             | 件数  |
|------|--------------------------------|-----|
| K828 | 胆のうく囊>のその他の明示された疾患             | 2   |
| K830 | 胆管炎                            | 30  |
| K831 | 胆管閉塞                           | 7   |
| K850 | 特発性急性膵炎                        | 2   |
| K851 | 胆石性急性膵炎                        | 3   |
| K852 | アルコール性急性膵炎                     | 5   |
| K858 | その他の急性膵炎                       | 1   |
| K859 | 急性膵炎、詳細不明                      | 14  |
| M720 | 手掌腱膜線維腫症[デュピュイトラン<Dupuytren>拘] | 3   |
| M726 | えく壊>死性筋膜炎                      | 1   |
| M750 | 癒着性肩関節包炎                       | 4   |
| M793 | 皮下脂肪組織炎、詳細不明                   | 1   |
| M795 | 軟部組織内の残留異物                     | 1   |
| M840 | 骨折の変形癒合                        | 10  |
| M841 | 骨折の骨癒合不全[偽関節]                  | 5   |
| M842 | 骨折の癒合遅延                        | 1   |
| M844 | 病的骨折、他に分類されないもの                | 2   |
| M866 | その他の慢性骨髄炎                      | 1   |
| M869 | 骨髄炎、詳細不明                       | 3   |
| M870 | 骨の特発性無菌く腐>性えく壊>死               | 1   |
| M871 | 薬物による骨えく壊>死                    | 1   |
| M879 | 骨えく壊>死、詳細不明                    | 4   |
| M931 | 成人のキーンバック<Kienbock>病           | 1   |
| M966 | 整形外科的挿入物、関節プロステシス又は骨プレー        | 1   |
| N017 | 急速進行性腎炎症候群、びまん性半月体(形成)性糸       | 1   |
| N019 | 急速進行性腎炎症候群、詳細不明                | 2   |
| N028 | 反復性及び持続性血尿、その他                 | 24  |
| N039 | 慢性腎炎症候群、詳細不明                   | 5   |
| N040 | ネフローゼ症候群、軽微糸球体変化               | 2   |
| N041 | ネフローゼ症候群、巣状及び分節状糸球体病変          | 2   |
| N049 | ネフローゼ症候群、詳細不明                  | 7   |
| N052 | 詳細不明の腎炎症候群、びまん性膜性糸球体腎炎         | 1   |
| N083 | 糖尿病(共通4桁項目.2を伴うE10-E14t)における糸  | 1   |
| N10  | 急性尿細管間質性腎炎                     | 3   |
| N111 | 慢性閉塞性腎盂腎炎                      | 1   |
| N12  | 尿管管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの       | 29  |
| N130 | 尿管腎盂移行部閉塞を伴う水腎症                | 2   |
| N131 | 尿管狭窄を伴う水腎症、他に分類されないもの          | 4   |
| N132 | 腎結石性及び尿管結石性閉塞を伴う水腎症            | 34  |
| N133 | その他及び詳細不明の水腎症                  | 4   |
| N135 | 水腎症を伴わない尿管の屈曲及び狭窄              | 3   |
| N137 | 膀胱尿管逆流性尿路疾患                    | 1   |
| N151 | 腎膿瘍及び腎周囲膿瘍                     | 1   |
| N178 | その他の急性腎不全                      | 2   |
| N179 | 急性腎不全、詳細不明                     | 2   |
| N183 | 慢性腎臓病、ステージ3                    | 16  |
| N184 | 慢性腎臓病、ステージ4                    | 23  |
| N185 | 慢性腎臓病、ステージ5                    | 164 |
| N189 | 慢性腎臓病、詳細不明                     | 4   |
| N19  | 詳細不明の腎不全                       | 2   |
| N200 | 腎結石                            | 5   |
| N201 | 尿管結石                           | 34  |
| N209 | 尿路結石、詳細不明                      | 3   |
| N210 | 膀胱結石                           | 3   |
| N288 | 腎及び尿管のその他の明示された障害              | 3   |
| N289 | 腎及び尿管の障害、詳細不明                  | 1   |
| N308 | その他の膀胱炎                        | 1   |
| N309 | 膀胱炎、詳細不明                       | 4   |
| N321 | 膀胱腸瘻                           | 1   |
| N359 | 尿道狭窄、詳細不明                      | 4   |
| N360 | 尿道瘻                            | 3   |
| N390 | 尿路感染症、部位不明                     | 24  |
| N40  | 前立腺肥大(症)                       | 6   |
| N410 | 急性前立腺炎                         | 10  |
| N419 | 前立腺の炎症性疾患、詳細不明                 | 2   |
| N433 | 精巣<睾丸>水腫、詳細不明                  | 1   |
| N44  | 精巣<睾丸>捻転                       | 3   |
| N459 | 膿瘍を伴わない精巣<睾丸>炎、精巣上体<副睾丸        | 2   |
| N481 | 亀頭包皮皮炎                         | 1   |
| N63  | 乳房の詳細不明の塊<lump>                | 2   |
| N700 | 急性卵管炎及び卵巣炎                     | 2   |
| N709 | 卵管炎及び卵巣炎、詳細不明                  | 2   |
| N719 | 子宮の炎症性疾患、詳細不明                  | 1   |
| N735 | 女性骨盤腹膜炎、詳細不明                   | 3   |
| N739 | 女性骨盤炎症性疾患、詳細不明                 | 1   |
| N751 | バルトリン<Bartholin>腺膿瘍            | 1   |
| N800 | 子宮の子宮内膜症                       | 5   |

ICD10コード別・病名数  
(2022/04/01-2023/03/31)

| コード  | 名称                           | 件数 |
|------|------------------------------|----|
| M513 | その他の明示された椎間板変性(症)            | 1  |
| M541 | 神経根障害                        | 1  |
| M545 | 下背部痛                         | 1  |
| M625 | 筋の消耗及び萎縮, 他に分類されないもの         | 3  |
| M628 | その他の明示された筋障害                 | 2  |
| M653 | ばねく弾発>指                      | 3  |
| M659 | 滑膜炎及び腱鞘炎, 詳細不明               | 4  |
| M662 | 伸筋腱の特発性断裂                    | 1  |
| M674 | ガングリオン                       | 1  |
| M678 | 滑膜及び腱のその他の明示された障害            | 6  |
| N892 | 高度腔異形成, 他に分類されないもの           | 2  |
| N907 | 外陰のうく囊>胞                     | 1  |
| N939 | 子宮及び腔の異常出血, 詳細不明             | 1  |
| N946 | 月経困難症, 詳細不明                  | 1  |
| O001 | 卵管妊娠                         | 2  |
| O021 | 稽留流産                         | 3  |
| O244 | 妊娠中に発生した糖尿病                  | 1  |
| Q181 | 前耳介洞及び前耳介のうく囊>胞              | 3  |
| Q210 | 心室中隔欠損(症)                    | 2  |
| Q211 | 心房中隔欠損(症)                    | 3  |
| Q371 | 硬口蓋裂, 片側性唇裂を伴うもの             | 1  |
| Q438 | 腸のその他の明示された先天奇形              | 2  |
| Q444 | 先天性胆道拡張症<総胆管のうく囊>胞>          | 1  |
| Q613 | 多発性のうく囊>胞腎, 病型不明             | 1  |
| Q742 | 下肢のその他の先天奇形, 骨盤帯を含む          | 1  |
| Q878 | その他の明示された先天奇形症候群, 他に分類されないもの | 1  |
| R040 | 鼻出血                          | 3  |
| R042 | 喀血                           | 2  |
| R048 | 気道のその他の部位からの出血               | 1  |
| R090 | 窒息                           | 1  |
| R091 | 胸膜炎                          | 1  |
| R18  | 腹水                           | 4  |
| R195 | その他の異常便                      | 1  |
| R31  | 詳細不明の血尿                      | 1  |
| R33  | 尿閉                           | 2  |
| R402 | 昏睡, 詳細不明                     | 1  |
| R42  | めまい<眩暈>感及びよろめき感              | 1  |
| R509 | 発熱, 詳細不明                     | 4  |
| R568 | その他及び詳細不明のけいれん<痙攣>           | 2  |
| R579 | ショック, 詳細不明                   | 1  |
| R609 | 浮腫, 詳細不明                     | 1  |
| R91  | 肺の画像診断における異常所見               | 1  |
| S000 | 頭皮の表在損傷                      | 1  |
| S001 | 眼瞼及び眼球周囲部の挫傷                 | 1  |
| S008 | 頭部のその他の部位の表在損傷               | 1  |
| S010 | 頭皮の開放創                       | 1  |
| S023 | 眼窩底部骨折                       | 1  |
| S024 | 頬骨及び上顎骨骨折                    | 3  |
| S029 | 頭蓋骨及び顔面骨の骨折, 部位不明            | 1  |
| S045 | 顔面神経損傷                       | 1  |
| S060 | 振とうく盪>(症)                    | 8  |
| S062 | びまん性脳損傷                      | 3  |
| S064 | 硬膜外出血                        | 4  |
| S065 | 外傷性硬膜下出血                     | 31 |
| S066 | 外傷性くも膜下出血                    | 20 |
| S092 | 鼓膜の外傷性破裂                     | 1  |
| S120 | 第1頸椎骨折                       | 1  |
| S122 | その他の明示された頸椎骨折                | 1  |
| S129 | 頸部の骨折, 部位不明                  | 1  |
| S141 | 頸髄のその他及び詳細不明の損傷              | 5  |
| S220 | 胸椎骨折                         | 5  |
| S223 | 肋骨骨折                         | 2  |
| S271 | 外傷性血胸                        | 1  |
| S302 | 外性器の挫傷                       | 1  |
| S314 | 腔及び外陰の開放創                    | 1  |
| S320 | 腰椎骨折                         | 19 |
| S324 | 寛骨臼骨折                        | 2  |
| S373 | 尿道損傷                         | 1  |
| S379 | 詳細不明の骨盤臓器の損傷                 | 1  |
| S390 | 腹部, 下背部及び骨盤部の筋及び腱の損傷         | 1  |
| S399 | 腹部, 下背部及び骨盤部の詳細不明の損傷         | 1  |
| S420 | 鎖骨骨折                         | 27 |
| S421 | 肩甲骨骨折                        | 2  |
| S422 | 上腕骨近位端骨折                     | 18 |
| S423 | 上腕骨骨幹部骨折                     | 4  |
| S424 | 上腕骨遠位端骨折                     | 1  |
| S431 | 肩鎖関節脱臼                       | 4  |

| コード  | 名称                       | 件数  |
|------|--------------------------|-----|
| N801 | 卵巣の子宮内膜症                 | 18  |
| N812 | 不(完)全子宮腔脱                | 1   |
| N836 | 卵管留血症                    | 1   |
| N838 | 卵巣, 卵管及び広間膜のその他の非炎症性障害   | 4   |
| N840 | 子宮体(部)ポリープ               | 19  |
| N850 | 子宮内膜腺様のうく囊>胞性増殖症         | 1   |
| N870 | 軽度子宮頸(部)の異形成             | 1   |
| N871 | 中等度子宮頸(部)異形成             | 5   |
| N872 | 高度子宮頸(部)の異形成, 他に分類されないもの | 18  |
| N888 | 子宮頸(部)のその他の明示された非炎症性障害   | 2   |
| S610 | 爪の傷害を伴わない指の開放創           | 4   |
| S618 | 手首及び手のその他の部位の開放創         | 1   |
| S623 | その他の中手骨骨折                | 9   |
| S626 | その他の指の骨折                 | 12  |
| S627 | 指の多発骨折                   | 4   |
| S634 | 中手指節関節及び指節間関節の靱帯の外傷性断裂   | 3   |
| S644 | その他の指の指神経損傷              | 1   |
| S660 | 手首及び手の母指の長屈筋及び腱の損傷       | 1   |
| S661 | 手首及び手のその他の指の屈筋及び腱の損傷     | 6   |
| S663 | 手首及び手のその他の指の伸筋及び腱の損傷     | 3   |
| S668 | 手首及び手のその他の筋及び腱の損傷        | 3   |
| S670 | 母指及びその他の指の挫滅損傷           | 1   |
| S680 | 母指の外傷性切断(完全)(部分的)        | 4   |
| S681 | その他の単指の外傷性切断(完全)(部分的)    | 29  |
| S682 | 複数の指のみの外傷性切断(完全)(部分的)    | 16  |
| S689 | 手首及び手の外傷性切断, 部位不明        | 1   |
| S711 | 大腿の開放創                   | 2   |
| S720 | 大腿骨頸部骨折                  | 35  |
| S721 | 転子貫通骨折                   | 28  |
| S722 | 転子下骨折                    | 1   |
| S723 | 大腿骨骨幹部骨折                 | 6   |
| S724 | 大腿骨遠位端骨折                 | 1   |
| S761 | 大腿四頭筋及び腱の損傷              | 1   |
| S820 | 膝蓋骨骨折                    | 9   |
| S821 | 脛骨近位端骨折                  | 8   |
| S822 | 脛骨骨幹部骨折                  | 1   |
| S823 | 脛骨遠位端骨折                  | 1   |
| S824 | 腓骨のみの骨折                  | 7   |
| S825 | 内果骨折                     | 4   |
| S826 | 外果骨折                     | 6   |
| S827 | 下腿の多発骨折                  | 1   |
| S828 | 下腿のその他の部位の骨折             | 7   |
| S832 | 半月裂傷<断裂><Tear>, 新鮮損傷     | 20  |
| S835 | 膝の(前)(後)十字靱帯の捻挫及びストレイン   | 12  |
| S860 | アキレス腱損傷                  | 5   |
| S920 | 踵骨骨折                     | 2   |
| S921 | 距骨骨折                     | 1   |
| S923 | 中足骨骨折                    | 4   |
| S924 | 母趾の骨折                    | 1   |
| S925 | その他の趾<足ゆび>の骨折            | 3   |
| S961 | 足首及び足の長趾伸筋の筋及び腱の損傷       | 1   |
| T021 | 胸部<郭>の骨折, 下背部及び骨盤部の骨折を伴う | 3   |
| T022 | 一側上肢の多部位の骨折              | 1   |
| T023 | 一側下肢の多部位の骨折              | 1   |
| T026 | 上肢の多部位の骨折, 下肢の骨折を伴うもの    | 1   |
| T140 | 部位不明の表在損傷                | 2   |
| T141 | 部位不明の開放創                 | 3   |
| T144 | 部位不明の神経損傷                | 1   |
| T181 | 食道内異物                    | 1   |
| T182 | 胃内異物                     | 1   |
| T184 | 大腸内異物                    | 2   |
| T212 | 体幹の第2度熱傷                 | 1   |
| T252 | 足首及び足の第2度熱傷              | 1   |
| T509 | その他及び詳細不明の薬物, 薬剤及び生物学的製剤 | 2   |
| T782 | アナフィラキシーショック, 詳細不明       | 3   |
| T796 | 筋の外傷性阻血                  | 4   |
| T814 | 処置に続発する感染症, 他に分類されないもの   | 5   |
| T818 | 処置のその他の合併症, 他に分類されないもの   | 6   |
| T821 | 心臓電子器具の機械的合併症            | 4   |
| T826 | 人工心臓弁による感染症及び炎症性反応       | 1   |
| T828 | 心臓及び血管のプロステシス, 挿入物及び移植片の | 12  |
| T840 | 体内関節プロステシスの機械的合併症        | 5   |
| T852 | 眼内レンズの機械的合併症             | 1   |
| T855 | 胃腸プロステシス, 挿入物及び移植片による機械的 | 1   |
| T868 | その他の移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応    | 1   |
| T941 | 損傷の続発・後遺症, 部位の明示されないもの   | 1   |
| U071 | エマー・ジェンシーコードU07.1        | 233 |

ICD10コード別・病名数  
(2022/04/01-2023/03/31)

| コード  | 名称                | 件数 |
|------|-------------------|----|
| S460 | 肩(回旋筋)腱板の筋及び腱の損傷  | 13 |
| S461 | 上腕二頭筋長頭部の筋及び腱の損傷  | 1  |
| S498 | 肩及び上腕のその他の明示された損傷 | 1  |
| S519 | 前腕の開放創, 部位不明      | 1  |
| S520 | 尺骨近位端骨折           | 5  |
| S521 | 橈骨近位端骨折           | 1  |
| S523 | 橈骨骨幹部骨折           | 1  |
| S525 | 橈骨遠位端骨折           | 40 |
| S526 | 尺骨及び橈骨の両遠位端の骨折    | 1  |
| S533 | 内側側副靱帯の外傷性断裂      | 1  |
| S561 | 前腕のその他の指の屈筋及び腱の損傷 | 12 |
| S564 | 前腕のその他の指の伸筋及び腱の損傷 | 1  |

| コード  | 名称         | 件数 |
|------|------------|----|
| Z520 | 血液提供者<ドナー> | 5  |
| Z524 | 腎提供者<ドナー>  | 2  |
| Z940 | 腎移植後の状態    | 1  |
|      |            |    |
|      |            |    |
|      |            |    |
|      |            |    |
|      |            |    |
|      |            |    |
|      |            |    |
|      |            |    |

# 疾病大分類別・在院期間別・病名数

(2022/04/01-2023/03/31)

| 2022/04/01 - 2023/03/31                 |    |        |        | 総数      | 構成比(%) | 延べ<br>在院日数 | 平均<br>在院日数 | 1-<br>8日 | 9-<br>15日 | 16-<br>22 | 23-<br>31日 | 32-<br>61日 | 62-<br>91日 | 3-<br>6ヶ月 | 6ヶ月<br>-1年 | 1-<br>2年 | 2年- |
|-----------------------------------------|----|--------|--------|---------|--------|------------|------------|----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|----------|-----|
| 総数                                      | 合計 | 15,886 | 100.0% | 109,680 | 6.9    | 7943       | 4341       | 1619     | 775       | 489       | 472        | 118        | 113        | 16        | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 9,358  | 58.9%  | 64,131  | 6.9    | 4679       | 2577       | 942      | 440       | 292       | 280        | 75         | 64         | 9         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 6,528  | 41.1%  | 45,549  | 7.0    | 3264       | 1764       | 677      | 335       | 197       | 192        | 43         | 49         | 7         | 0          |          |     |
| 感染症及び寄生虫症                               | 合計 | 178    | 1.1%   | 1,461   | 8.2    | 89         | 42         | 22       | 12        | 3         | 6          | 1          | 2          | 1         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 110    | 1.2%   | 1,061   | 9.6    | 55         | 27         | 13       | 6         | 1         | 4          | 1          | 2          | 1         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 68     | 1.0%   | 400     | 5.9    | 34         | 15         | 9        | 6         | 2         | 2          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 新生物                                     | 合計 | 4,888  | 30.8%  | 31,515  | 6.4    | 2444       | 1254       | 548      | 269       | 190       | 142        | 23         | 17         | 1         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 2,768  | 29.6%  | 19,101  | 6.9    | 1384       | 694        | 291      | 148       | 125       | 95         | 17         | 13         | 1         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 2,120  | 32.5%  | 12,414  | 5.9    | 1060       | 560        | 257      | 121       | 65        | 47         | 6          | 4          | 0         | 0          |          |     |
| 血液及び造血器の疾患並び<br>に免疫機構の障害                | 合計 | 160    | 1.0%   | 1,809   | 11.3   | 80         | 27         | 18       | 7         | 9         | 15         | 3          | 0          | 1         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 72     | 0.8%   | 899     | 12.5   | 36         | 6          | 9        | 5         | 6         | 7          | 3          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 88     | 1.3%   | 910     | 10.3   | 44         | 21         | 9        | 2         | 3         | 8          | 0          | 0          | 1         | 0          |          |     |
| 内分泌、栄養及び代謝疾患                            | 合計 | 714    | 4.5%   | 4,514   | 6.3    | 357        | 118        | 155      | 54        | 19        | 10         | 0          | 1          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 440    | 4.7%   | 2,691   | 6.1    | 220        | 67         | 107      | 30        | 11        | 5          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 274    | 4.2%   | 1,823   | 6.7    | 137        | 51         | 48       | 24        | 8         | 5          | 0          | 1          | 0         | 0          |          |     |
| 精神及び行動の障害                               | 合計 | 6      | 0.0%   | 12      | 2.0    | 3          | 3          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 4      | 0.0%   | 10      | 2.5    | 2          | 2          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 2      | 0.0%   | 2       | 1.0    | 1          | 1          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 神経系の疾患                                  | 合計 | 710    | 4.5%   | 3,424   | 4.8    | 355        | 223        | 75       | 21        | 18        | 12         | 6          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 398    | 4.3%   | 1,867   | 4.7    | 199        | 130        | 41       | 12        | 5         | 6          | 5          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 312    | 4.8%   | 1,557   | 5.0    | 156        | 93         | 34       | 9         | 13        | 6          | 1          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 眼及び付属器の疾患                               | 合計 | 514    | 3.2%   | 880     | 1.7    | 257        | 248        | 6        | 2         | 1         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 254    | 2.7%   | 447     | 1.8    | 127        | 121        | 5        | 1         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 260    | 4.0%   | 433     | 1.7    | 130        | 127        | 1        | 1         | 1         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 耳及び乳様突起の疾患                              | 合計 | 404    | 2.5%   | 1,324   | 3.3    | 202        | 154        | 38       | 10        | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 196    | 2.1%   | 692     | 3.5    | 98         | 69         | 22       | 7         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 208    | 3.2%   | 632     | 3.0    | 104        | 85         | 16       | 3         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 循環器系の疾患                                 | 合計 | 2,376  | 15.0%  | 20,226  | 8.5    | 1188       | 690        | 187      | 130       | 51        | 57         | 22         | 40         | 11        | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 1,586  | 16.9%  | 12,353  | 7.8    | 793        | 501        | 107      | 73        | 31        | 38         | 13         | 24         | 6         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 790    | 12.1%  | 7,873   | 10.0   | 395        | 189        | 80       | 57        | 20        | 19         | 9          | 16         | 5         | 0          |          |     |
| 呼吸器系の疾患                                 | 合計 | 670    | 4.2%   | 5,798   | 8.7    | 335        | 130        | 85       | 41        | 38        | 30         | 6          | 5          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 464    | 5.0%   | 4,048   | 8.7    | 232        | 95         | 65       | 23        | 21        | 17         | 6          | 5          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 206    | 3.2%   | 1,750   | 8.5    | 103        | 35         | 20       | 18        | 17        | 13         | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 消化器系の疾患                                 | 合計 | 2,170  | 13.7%  | 8,687   | 4.0    | 1085       | 742        | 223      | 66        | 20        | 28         | 4          | 2          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 1,386  | 14.8%  | 5,175   | 3.7    | 693        | 497        | 131      | 34        | 13        | 14         | 2          | 2          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 784    | 12.0%  | 3,512   | 4.5    | 392        | 245        | 92       | 32        | 7         | 14         | 2          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 皮膚及び皮下組織の疾患                             | 合計 | 96     | 0.6%   | 1,028   | 10.7   | 48         | 18         | 11       | 5         | 4         | 6          | 3          | 1          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 64     | 0.7%   | 719     | 11.2   | 32         | 10         | 7        | 4         | 4         | 5          | 1          | 1          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 32     | 0.5%   | 309     | 9.7    | 16         | 8          | 4        | 1         | 0         | 1          | 2          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 筋骨格系及び結合組織の<br>疾患                       | 合計 | 636    | 4.0%   | 8,315   | 13.1   | 318        | 79         | 51       | 51        | 47        | 66         | 12         | 12         | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 356    | 3.8%   | 4,246   | 11.9   | 178        | 49         | 30       | 34        | 19        | 35         | 7          | 4          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 280    | 4.3%   | 4,069   | 14.5   | 140        | 30         | 21       | 17        | 28        | 31         | 5          | 8          | 0         | 0          |          |     |
| 尿路生殖器系の疾患                               | 合計 | 1,086  | 6.8%   | 5,456   | 5.0    | 543        | 358        | 97       | 40        | 20        | 22         | 3          | 2          | 1         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 576    | 6.2%   | 3,322   | 5.8    | 288        | 178        | 58       | 20        | 14        | 13         | 3          | 1          | 1         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 510    | 7.8%   | 2,134   | 4.2    | 255        | 180        | 39       | 20        | 6         | 9          | 0          | 1          | 0         | 0          |          |     |
| 妊娠、分娩及び産褥                               | 合計 | 12     | 0.1%   | 22      | 1.8    | 6          | 6          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 0      | 0.0%   | 0       | 0.0    | 0          | 0          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 12     | 0.2%   | 22      | 1.8    | 6          | 6          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 周産期に発生した病態                              | 合計 | 0      | 0.0%   | 0       | 0.0    | 0          | 0          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 0      | 0.0%   | 0       | 0.0    | 0          | 0          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 0      | 0.0%   | 0       | 0.0    | 0          | 0          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 先天奇形、変形及び<br>染色体異常                      | 合計 | 30     | 0.2%   | 141     | 4.7    | 15         | 12         | 1        | 0         | 0         | 2          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 12     | 0.1%   | 63      | 5.3    | 6          | 5          | 0        | 0         | 0         | 1          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 18     | 0.3%   | 78      | 4.3    | 9          | 7          | 1        | 0         | 0         | 1          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 症状、徴候及び異常臨床<br>所見・異常検査所見で<br>他に分類されないもの | 合計 | 54     | 0.3%   | 384     | 7.1    | 27         | 14         | 4        | 3         | 4         | 1          | 1          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 32     | 0.3%   | 248     | 7.8    | 16         | 10         | 0        | 2         | 2         | 1          | 1          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 22     | 0.3%   | 136     | 6.2    | 11         | 4          | 4        | 1         | 2         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| 損傷、中毒及びその他の<br>外因の影響                    | 合計 | 1,166  | 7.3%   | 14,634  | 12.6   | 583        | 216        | 97       | 64        | 65        | 75         | 34         | 31         | 1         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 632    | 6.8%   | 7,166   | 11.3   | 316        | 112        | 56       | 41        | 40        | 39         | 16         | 12         | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 534    | 8.2%   | 7,468   | 14.0   | 267        | 104        | 41       | 23        | 25        | 36         | 18         | 19         | 1         | 0          |          |     |
| 健康状態に影響を及ぼす<br>要因及び保健サービスの<br>利用        | 合計 | 16     | 0.1%   | 50      | 3.1    | 8          | 7          | 1        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 8      | 0.1%   | 23      | 2.9    | 4          | 4          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 8      | 0.1%   | 27      | 3.4    | 4          | 3          | 1        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
| その他                                     | 合計 | 0      | 0.0%   | 0       | 0.0    | 0          | 0          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 男  | 0      | 0.0%   | 0       | 0.0    | 0          | 0          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |
|                                         | 女  | 0      | 0.0%   | 0       | 0.0    | 0          | 0          | 0        | 0         | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0          |          |     |

疾病大分類別・年齢階層別・病名数

(2022/04/01-2023/03/31)

|                                         |    | 総数    | 構成比(%) | 平均<br>年齢 | 4歳<br>以下 | 5-<br>9歳 | 10-<br>14歳 | 15-<br>19歳 | 20-<br>29歳 | 30-<br>39歳 | 40-<br>49歳 | 50-<br>59歳 | 60-<br>64歳 | 65-<br>69歳 | 70-<br>74歳 | 75-<br>79歳 | 80-<br>84歳 | 85-<br>89歳 | 90<br>歳～ |
|-----------------------------------------|----|-------|--------|----------|----------|----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------|
| 総数                                      | 合計 | 7,943 | 100.0% | 66.1     | 1        | 7        | 11         | 36         | 246        | 307        | 646        | 1172       | 705        | 766        | 1223       | 1154       | 953        | 476        | 240      |
|                                         | 男  | 4,679 | 58.9%  | 66.4     | 0        | 6        | 5          | 22         | 131        | 161        | 290        | 682        | 475        | 491        | 820        | 711        | 540        | 251        | 94       |
|                                         | 女  | 3,264 | 41.1%  | 65.6     | 1        | 1        | 6          | 14         | 115        | 146        | 356        | 490        | 230        | 275        | 403        | 443        | 413        | 225        | 146      |
| 感染症及び寄生虫症                               | 合計 | 89    | 1.1%   | 64.0     | 0        | 0        | 0          | 1          | 4          | 5          | 12         | 12         | 5          | 8          | 10         | 12         | 9          | 6          | 5        |
|                                         | 男  | 55    | 1.2%   | 61.1     | 0        | 0        | 0          | 1          | 3          | 4          | 8          | 9          | 2          | 5          | 5          | 8          | 4          | 2          | 4        |
|                                         | 女  | 34    | 1.0%   | 68.5     | 0        | 0        | 0          | 0          | 1          | 1          | 4          | 3          | 3          | 3          | 5          | 4          | 5          | 4          | 1        |
| 新生物                                     | 合計 | 2,444 | 30.8%  | 67.1     | 0        | 0        | 0          | 2          | 36         | 61         | 215        | 358        | 201        | 277        | 479        | 388        | 277        | 100        | 50       |
|                                         | 男  | 1,384 | 29.6%  | 69.6     | 0        | 0        | 0          | 1          | 11         | 25         | 54         | 152        | 129        | 163        | 340        | 261        | 162        | 57         | 29       |
|                                         | 女  | 1,060 | 32.5%  | 63.7     | 0        | 0        | 0          | 1          | 25         | 36         | 161        | 206        | 72         | 114        | 139        | 127        | 115        | 43         | 21       |
| 血液及び造血器の疾患並び<br>に免疫機構の障害                | 合計 | 80    | 1.0%   | 65.1     | 0        | 0        | 0          | 0          | 2          | 2          | 7          | 25         | 3          | 4          | 7          | 11         | 17         | 2          | 0        |
|                                         | 男  | 36    | 0.8%   | 65.7     | 0        | 0        | 0          | 0          | 2          | 1          | 2          | 9          | 2          | 2          | 4          | 4          | 10         | 0          | 0        |
|                                         | 女  | 44    | 1.3%   | 64.7     | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 1          | 5          | 16         | 1          | 2          | 3          | 7          | 7          | 2          | 0        |
| 内分泌、栄養及び代謝疾患                            | 合計 | 357   | 4.5%   | 63.3     | 0        | 0        | 0          | 1          | 9          | 26         | 32         | 73         | 33         | 31         | 48         | 46         | 35         | 18         | 5        |
|                                         | 男  | 220   | 4.7%   | 61.7     | 0        | 0        | 0          | 1          | 3          | 18         | 23         | 54         | 23         | 20         | 25         | 21         | 22         | 8          | 2        |
|                                         | 女  | 137   | 4.2%   | 65.8     | 0        | 0        | 0          | 0          | 6          | 8          | 9          | 19         | 10         | 11         | 23         | 25         | 13         | 10         | 3        |
| 精神及び行動の障害                               | 合計 | 3     | 0.0%   | 44.0     | 0        | 0        | 0          | 0          | 1          | 0          | 1          | 1          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 男  | 2     | 0.0%   | 52.0     | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 1          | 1          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 女  | 1     | 0.0%   | 28.0     | 0        | 0        | 0          | 0          | 1          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
| 神経系の疾患                                  | 合計 | 355   | 4.5%   | 58.8     | 0        | 0        | 0          | 11         | 30         | 18         | 37         | 70         | 28         | 36         | 45         | 38         | 30         | 8          | 4        |
|                                         | 男  | 199   | 4.3%   | 59.2     | 0        | 0        | 0          | 4          | 15         | 8          | 20         | 48         | 17         | 22         | 22         | 21         | 18         | 3          | 1        |
|                                         | 女  | 156   | 4.8%   | 58.3     | 0        | 0        | 0          | 7          | 15         | 10         | 17         | 22         | 11         | 14         | 23         | 17         | 12         | 5          | 3        |
| 眼及び付属器の疾患                               | 合計 | 257   | 3.2%   | 73.6     | 0        | 0        | 0          | 0          | 1          | 2          | 2          | 17         | 21         | 22         | 62         | 57         | 45         | 23         | 5        |
|                                         | 男  | 127   | 2.7%   | 72.7     | 0        | 0        | 0          | 0          | 1          | 1          | 2          | 10         | 8          | 12         | 30         | 30         | 21         | 12         | 0        |
|                                         | 女  | 130   | 4.0%   | 74.4     | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 1          | 0          | 7          | 13         | 10         | 32         | 27         | 24         | 11         | 5        |
| 耳及び乳様突起の疾患                              | 合計 | 202   | 2.5%   | 55.2     | 0        | 7        | 7          | 5          | 12         | 26         | 17         | 29         | 15         | 11         | 22         | 30         | 11         | 9          | 1        |
|                                         | 男  | 98    | 2.1%   | 50.3     | 0        | 6        | 3          | 4          | 6          | 16         | 12         | 13         | 6          | 3          | 8          | 14         | 5          | 2          | 0        |
|                                         | 女  | 104   | 3.2%   | 59.8     | 0        | 1        | 4          | 1          | 6          | 10         | 5          | 16         | 9          | 8          | 14         | 16         | 6          | 7          | 1        |
| 循環器系の疾患                                 | 合計 | 1,188 | 15.0%  | 71.1     | 0        | 0        | 1          | 1          | 6          | 7          | 48         | 161        | 134        | 113        | 212        | 188        | 145        | 103        | 69       |
|                                         | 男  | 793   | 16.9%  | 69.6     | 0        | 0        | 0          | 1          | 3          | 4          | 30         | 114        | 112        | 95         | 161        | 116        | 79         | 55         | 23       |
|                                         | 女  | 395   | 12.1%  | 74.0     | 0        | 0        | 1          | 0          | 3          | 3          | 18         | 47         | 22         | 18         | 51         | 72         | 66         | 48         | 46       |
| 呼吸器系の疾患                                 | 合計 | 335   | 4.2%   | 66.1     | 0        | 0        | 0          | 4          | 28         | 17         | 21         | 39         | 14         | 26         | 35         | 47         | 48         | 35         | 21       |
|                                         | 男  | 232   | 5.0%   | 66.8     | 0        | 0        | 0          | 3          | 17         | 11         | 11         | 28         | 12         | 19         | 30         | 31         | 32         | 27         | 11       |
|                                         | 女  | 103   | 3.2%   | 64.5     | 0        | 0        | 0          | 1          | 11         | 6          | 10         | 11         | 2          | 7          | 5          | 16         | 16         | 8          | 10       |
| 消化器系の疾患                                 | 合計 | 1,085 | 13.7%  | 66.3     | 0        | 0        | 0          | 0          | 25         | 39         | 85         | 174        | 127        | 120        | 146        | 151        | 137        | 50         | 31       |
|                                         | 男  | 693   | 14.8%  | 65.8     | 0        | 0        | 0          | 0          | 17         | 20         | 54         | 112        | 95         | 82         | 93         | 103        | 79         | 28         | 10       |
|                                         | 女  | 392   | 12.0%  | 67.1     | 0        | 0        | 0          | 0          | 8          | 19         | 31         | 62         | 32         | 38         | 53         | 48         | 58         | 22         | 21       |
| 皮膚及び皮下組織の疾患                             | 合計 | 48    | 0.6%   | 64.5     | 0        | 0        | 0          | 0          | 2          | 3          | 4          | 10         | 2          | 4          | 6          | 7          | 6          | 3          | 1        |
|                                         | 男  | 32    | 0.7%   | 63.9     | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 3          | 3          | 7          | 2          | 3          | 4          | 6          | 2          | 1          | 1        |
|                                         | 女  | 16    | 0.5%   | 65.9     | 0        | 0        | 0          | 0          | 2          | 0          | 1          | 3          | 0          | 1          | 2          | 1          | 4          | 2          | 0        |
| 筋骨格系及び結合組織の<br>疾患                       | 合計 | 318   | 4.0%   | 66.7     | 0        | 0        | 2          | 4          | 7          | 13         | 17         | 44         | 22         | 41         | 49         | 41         | 52         | 23         | 3        |
|                                         | 男  | 178   | 3.8%   | 64.9     | 0        | 0        | 2          | 2          | 7          | 9          | 9          | 23         | 11         | 24         | 34         | 23         | 20         | 13         | 1        |
|                                         | 女  | 140   | 4.3%   | 68.9     | 0        | 0        | 0          | 2          | 0          | 4          | 8          | 21         | 11         | 17         | 15         | 18         | 32         | 10         | 2        |
| 尿路生殖器系の疾患                               | 合計 | 543   | 6.8%   | 63.1     | 0        | 0        | 0          | 2          | 26         | 40         | 82         | 72         | 37         | 35         | 52         | 76         | 57         | 43         | 21       |
|                                         | 男  | 288   | 6.2%   | 67.7     | 0        | 0        | 0          | 2          | 2          | 10         | 26         | 46         | 21         | 21         | 37         | 48         | 44         | 22         | 9        |
|                                         | 女  | 255   | 7.8%   | 57.9     | 0        | 0        | 0          | 0          | 24         | 30         | 56         | 26         | 16         | 14         | 15         | 28         | 13         | 21         | 12       |
| 妊娠、分娩及び産褥                               | 合計 | 6     | 0.1%   | 32.5     | 0        | 0        | 0          | 0          | 2          | 2          | 2          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 男  | 0     | 0.0%   | －        | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 女  | 6     | 0.2%   | 32.5     | 0        | 0        | 0          | 0          | 2          | 2          | 2          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
| 周産期に発生した病態                              | 合計 | 0     | 0.0%   | －        | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 男  | 0     | 0.0%   | －        | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 女  | 0     | 0.0%   | －        | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
| 先天奇形、変形及び<br>染色体異常                      | 合計 | 15    | 0.2%   | 58.5     | 0        | 0        | 1          | 0          | 1          | 1          | 2          | 1          | 1          | 2          | 2          | 0          | 4          | 0          | 0        |
|                                         | 男  | 6     | 0.1%   | 64.2     | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 1          | 1          | 0          | 2          | 0          | 0          | 2          | 0          | 0        |
|                                         | 女  | 9     | 0.3%   | 54.8     | 0        | 0        | 1          | 0          | 1          | 1          | 1          | 0          | 1          | 0          | 2          | 0          | 2          | 0          | 0        |
| 症状、徴候及び異常臨床<br>所見・異常検査所見で<br>他に分類されないもの | 合計 | 27    | 0.3%   | 65.1     | 0        | 0        | 0          | 0          | 1          | 1          | 4          | 6          | 1          | 1          | 2          | 3          | 5          | 3          | 0        |
|                                         | 男  | 16    | 0.3%   | 62.7     | 0        | 0        | 0          | 0          | 1          | 0          | 2          | 6          | 0          | 1          | 1          | 1          | 3          | 1          | 0        |
|                                         | 女  | 11    | 0.3%   | 68.5     | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 1          | 2          | 0          | 1          | 0          | 1          | 2          | 2          | 2          | 0        |
| 損傷、中毒及びその他の<br>外因の影響                    | 合計 | 583   | 7.3%   | 62.2     | 1        | 0        | 0          | 5          | 50         | 44         | 55         | 79         | 60         | 35         | 46         | 59         | 75         | 50         | 24       |
|                                         | 男  | 316   | 6.8%   | 57.6     | 0        | 0        | 0          | 3          | 41         | 31         | 31         | 49         | 34         | 17         | 26         | 24         | 37         | 20         | 3        |
|                                         | 女  | 267   | 8.2%   | 67.6     | 1        | 0        | 0          | 2          | 9          | 13         | 24         | 30         | 26         | 18         | 20         | 35         | 38         | 30         | 21       |
| 健康状態に影響を及ぼす<br>要因及び保健サービスの<br>利用        | 合計 | 8     | 0.1%   | 42.6     | 0        | 0        | 0          | 0          | 3          | 0          | 3          | 1          | 1          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 男  | 4     | 0.1%   | 40.5     | 0        | 0        | 0          | 0          | 2          | 0          | 1          | 0          | 1          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 女  | 4     | 0.1%   | 44.8     | 0        | 0        | 0          | 0          | 1          | 0          | 2          | 1          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
| その他                                     | 合計 | 0     | 0.0%   | －        | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 男  | 0     | 0.0%   | －        | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |
|                                         | 女  | 0     | 0.0%   | －        | 0        | 0        | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0        |

# 疾病大分類別・診療県別・病名数

(2022/04/01-2023/03/31)

| 総数                              |    |       |        | 構成比(%) |      | 福島区  | 大阪市内 | 大阪府 | 兵庫県 | 奈良県 | 和歌山県 | 京都府 | 滋賀県 | その他 |
|---------------------------------|----|-------|--------|--------|------|------|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 総数                              | 合計 | 7,943 | 100.0% | 1495   | 3474 | 1743 | 752  | 137 | 194 | 25  | 26   | 97  |     |     |
|                                 | 男  | 4,679 | 58.9%  | 849    | 1919 | 1108 | 483  | 81  | 139 | 17  | 21   | 62  |     |     |
|                                 | 女  | 3,264 | 41.1%  | 646    | 1555 | 635  | 269  | 56  | 55  | 8   | 5    | 35  |     |     |
| 感染症及び寄生虫症                       | 合計 | 89    | 1.1%   | 26     | 42   | 13   | 6    | 1   | 0   | 0   | 0    | 1   |     |     |
|                                 | 男  | 55    | 1.2%   | 13     | 25   | 10   | 5    | 1   | 0   | 0   | 0    | 1   |     |     |
|                                 | 女  | 34    | 1.0%   | 13     | 17   | 3    | 1    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
| 新生物                             | 合計 | 2,444 | 30.8%  | 455    | 967  | 615  | 257  | 52  | 47  | 7   | 8    | 36  |     |     |
|                                 | 男  | 1,384 | 29.6%  | 266    | 520  | 346  | 160  | 26  | 33  | 7   | 6    | 20  |     |     |
|                                 | 女  | 1,060 | 32.5%  | 189    | 447  | 269  | 97   | 26  | 14  | 0   | 2    | 16  |     |     |
| 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害            | 合計 | 80    | 1.0%   | 15     | 32   | 27   | 3    | 0   | 0   | 0   | 1    | 2   |     |     |
|                                 | 男  | 36    | 0.8%   | 9      | 17   | 6    | 3    | 0   | 0   | 0   | 0    | 1   |     |     |
|                                 | 女  | 44    | 1.3%   | 6      | 15   | 21   | 0    | 0   | 0   | 0   | 1    | 1   |     |     |
| 内分泌、栄養及び代謝疾患                    | 合計 | 357   | 4.5%   | 49     | 178  | 72   | 37   | 4   | 13  | 1   | 0    | 3   |     |     |
|                                 | 男  | 220   | 4.7%   | 35     | 98   | 47   | 23   | 1   | 12  | 1   | 0    | 3   |     |     |
|                                 | 女  | 137   | 4.2%   | 14     | 80   | 25   | 14   | 3   | 1   | 0   | 0    | 0   |     |     |
| 精神及び行動の障害                       | 合計 | 3     | 0.0%   | 0      | 1    | 1    | 0    | 0   | 1   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 男  | 2     | 0.0%   | 0      | 1    | 1    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 女  | 1     | 0.0%   | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 1   | 0   | 0    | 0   |     |     |
| 神経系の疾患                          | 合計 | 355   | 4.5%   | 45     | 166  | 73   | 43   | 9   | 7   | 0   | 3    | 9   |     |     |
|                                 | 男  | 199   | 4.3%   | 21     | 88   | 47   | 24   | 5   | 5   | 0   | 3    | 6   |     |     |
|                                 | 女  | 156   | 4.8%   | 24     | 78   | 26   | 19   | 4   | 2   | 0   | 0    | 3   |     |     |
| 眼及び付属器の疾患                       | 合計 | 257   | 3.2%   | 62     | 93   | 52   | 34   | 0   | 13  | 0   | 0    | 3   |     |     |
|                                 | 男  | 127   | 2.7%   | 22     | 39   | 33   | 21   | 0   | 9   | 0   | 0    | 3   |     |     |
|                                 | 女  | 130   | 4.0%   | 40     | 54   | 19   | 13   | 0   | 4   | 0   | 0    | 0   |     |     |
| 耳及び乳様突起の疾患                      | 合計 | 202   | 2.5%   | 31     | 68   | 53   | 11   | 14  | 14  | 2   | 4    | 5   |     |     |
|                                 | 男  | 98    | 2.1%   | 12     | 35   | 23   | 6    | 7   | 8   | 0   | 3    | 4   |     |     |
|                                 | 女  | 104   | 3.2%   | 19     | 33   | 30   | 5    | 7   | 6   | 2   | 1    | 1   |     |     |
| 循環器系の疾患                         | 合計 | 1,188 | 15.0%  | 211    | 574  | 227  | 118  | 15  | 31  | 2   | 6    | 4   |     |     |
|                                 | 男  | 793   | 16.9%  | 121    | 345  | 187  | 93   | 13  | 25  | 1   | 5    | 3   |     |     |
|                                 | 女  | 395   | 12.1%  | 90     | 229  | 40   | 25   | 2   | 6   | 1   | 1    | 1   |     |     |
| 呼吸器系の疾患                         | 合計 | 335   | 4.2%   | 86     | 146  | 57   | 23   | 8   | 8   | 5   | 0    | 2   |     |     |
|                                 | 男  | 232   | 5.0%   | 64     | 99   | 36   | 16   | 4   | 7   | 4   | 0    | 2   |     |     |
|                                 | 女  | 103   | 3.2%   | 22     | 47   | 21   | 7    | 4   | 1   | 1   | 0    | 0   |     |     |
| 消化器系の疾患                         | 合計 | 1,085 | 13.7%  | 235    | 444  | 237  | 112  | 13  | 30  | 4   | 0    | 10  |     |     |
|                                 | 男  | 693   | 14.8%  | 144    | 272  | 164  | 77   | 7   | 22  | 1   | 0    | 6   |     |     |
|                                 | 女  | 392   | 12.0%  | 91     | 172  | 73   | 35   | 6   | 8   | 3   | 0    | 4   |     |     |
| 皮膚及び皮下組織の疾患                     | 合計 | 48    | 0.6%   | 5      | 25   | 7    | 6    | 0   | 3   | 0   | 0    | 2   |     |     |
|                                 | 男  | 32    | 0.7%   | 4      | 16   | 5    | 5    | 0   | 1   | 0   | 0    | 1   |     |     |
|                                 | 女  | 16    | 0.5%   | 1      | 9    | 2    | 1    | 0   | 2   | 0   | 0    | 1   |     |     |
| 筋骨格系及び結合組織の疾患                   | 合計 | 318   | 4.0%   | 64     | 160  | 56   | 23   | 6   | 5   | 1   | 0    | 3   |     |     |
|                                 | 男  | 178   | 3.8%   | 37     | 84   | 38   | 10   | 3   | 3   | 0   | 0    | 3   |     |     |
|                                 | 女  | 140   | 4.3%   | 27     | 76   | 18   | 13   | 3   | 2   | 1   | 0    | 0   |     |     |
| 尿路生殖器系の疾患                       | 合計 | 543   | 6.8%   | 104    | 268  | 108  | 43   | 5   | 9   | 1   | 1    | 4   |     |     |
|                                 | 男  | 288   | 6.2%   | 53     | 135  | 68   | 18   | 4   | 6   | 1   | 1    | 2   |     |     |
|                                 | 女  | 255   | 7.8%   | 51     | 133  | 40   | 25   | 1   | 3   | 0   | 0    | 2   |     |     |
| 妊娠、分娩及び産褥                       | 合計 | 6     | 0.1%   | 2      | 4    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 男  | 0     | 0.0%   | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 女  | 6     | 0.2%   | 2      | 4    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
| 周産期に発生した病態                      | 合計 | 0     | 0.0%   | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 男  | 0     | 0.0%   | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 女  | 0     | 0.0%   | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
| 先天奇形、変形及び染色体異常                  | 合計 | 15    | 0.2%   | 3      | 5    | 4    | 2    | 0   | 1   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 男  | 6     | 0.1%   | 3      | 1    | 2    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 女  | 9     | 0.3%   | 0      | 4    | 2    | 2    | 0   | 1   | 0   | 0    | 0   |     |     |
| 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 合計 | 27    | 0.3%   | 6      | 14   | 6    | 1    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 男  | 16    | 0.3%   | 4      | 6    | 6    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 女  | 11    | 0.3%   | 2      | 8    | 0    | 1    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
| 損傷、中毒及びその他の外因の影響                | 合計 | 583   | 7.3%   | 95     | 286  | 133  | 31   | 10  | 12  | 2   | 3    | 11  |     |     |
|                                 | 男  | 316   | 6.8%   | 40     | 137  | 89   | 21   | 10  | 8   | 2   | 3    | 6   |     |     |
|                                 | 女  | 267   | 8.2%   | 55     | 149  | 44   | 10   | 0   | 4   | 0   | 0    | 5   |     |     |
| 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用        | 合計 | 8     | 0.1%   | 1      | 1    | 2    | 2    | 0   | 0   | 0   | 0    | 2   |     |     |
|                                 | 男  | 4     | 0.1%   | 1      | 1    | 0    | 1    | 0   | 0   | 0   | 0    | 1   |     |     |
|                                 | 女  | 4     | 0.1%   | 0      | 0    | 2    | 1    | 0   | 0   | 0   | 0    | 1   |     |     |
| その他                             | 合計 | 0     | 0.0%   | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 男  | 0     | 0.0%   | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |
|                                 | 女  | 0     | 0.0%   | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |     |     |